

2015年7月31日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における
母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2015年7月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. ワークプラン(原案)作成

業務計画書をベースにワークプラン（原案、和文、西文）を作成し、保健省対外協力局、保健サービス総局、両 SILAIS および各支所（後述、7月17日 JICA ニカラグア事務所の項参照）、JICA 事務所参加のもと運営委員会で、ワークプランを提案、修正した。内容は文言・表現の修正と調査・研修項目の追記であり、業務計画書との違いは、2015年度実施予定の第三国類似案件技術交換対象国が「グアテマラ」から「パラグアイ」へ変更した点である。以上は、保健サービス総局長、両 SILAIS 長、プロジェクト間の定期会議で合意した。（添付ワークプラン参照）。

課題：成果品として、監督職員へ提出する。

1-2. ベースライン調査

ワークプランに基本的な調査手法を表記し、関係者間で基本合意した。合意内容は、調査を2段階に分け、第1段階は医療サービス組織（病院、ESAFIC）及び保健行政（SILAIS、支所）に対して、用紙への記入方式による数値、指標の収集を行う。第1段階を踏まえパイロット市候補（2SILAIS×2市）を選定する。第2段階はパイロット市において、コミュニティネットワークに対する聞き取り調査、各2保健セクターにおける家庭訪問調査、医療施設利用者に対する出口調査を実施する。

課題：第1段階調査の調査様式を完成し、調査を開始する。地元の大学と調整し、第2段階調査の訪問調査員を確保する。また、第2段階調査の調査様式を作成する。

1-3. 既存の省令、マニュアル等のレビュー

母子保健専門家を中心にレビューを開始している。レビューは、プロジェクトと SILAIS チョンタレスが中心となり実施することを第1回運営委員会で確認した。

課題：レビューした参考文献および選択内容を整理する。また、他ドナーと協議し、レビュー教材を確認する。

1-4. 関係機関との協議、および合意事項

保健省本省で対外協力局長、保健サービス総局長、両 SILAIS 長、JICA 事務所長をはじめ関係者間で協議し、以下の合意を得た。

(7月17日、保健省本省)

- ワークプラン(原案)の作成と承認プロセス
- 合同調整委員会の2016年3月の開催
- 運営委員会の開催(第1回7月28日)とメンバー変更(対象病院長を増やす)
- 両 SILAIS の技術審議会への専門家の参加承認
- プロジェクトを2期に分け実施
- 保健サービス総局および両 SILAIS のプロジェクト責任者
- 活動の安全対策上、フィールド活動でのC/Pの同行
- 保健サービス総局長、両 SILAIS 長、プロジェクトとの本省定期会議(毎月1回)

(7月17日、JICA ニカラグア事務所)

- JICA、プロジェクト間の定期会議の開催(隔月1回)
- 市レベルの保健行政組織の表記を「市保健課」から「支所」へ変更統一する。

(7月28日、第1回運営委員会、計45名参加)

- ワークプラン(原案)作成
- プロジェクト略称の合意「Proyecto SAMANI」
- 第2回運営委員会開催日程(場所:ヌエバ・ギネア、日時:8月25日午前8:30)

(7月31日、第1回保健省定期会議)

- ワークプラン(原案)の合意
- モニタリングシート(Version.1)の合意
- 第2回保健省定期会議日程(暫定:8月28日)

1-5. 運營業務

- SILAIS チョントレスに専門家3名、テクニカル・アシスタント1名、アシスタント秘書1名が業務するプロジェクト事務所を開設し、SILAIS セラヤ・セントラルでテクニカル・アシスタント1名が業務するスペースを確認した。
- テクニカル・アシスタント候補7名の書類審査、アシスタント秘書候補7名の面接、プロジェクト運転手候補7名の面接を経て、採用者を決定した。テクニカル・アシスタント2名は7月中に業務を開始し、アシスタント秘書1名とプロジェクト運転手2名は8月より業務を開始する。また、労務契約書作成に際しては、SILAIS チョントレスの支援を受け、現地の労働省、社会保険庁、財務庁と協議および確認した。
- 必要資機材および事務家具の購入手続きを実施中。
- JICA ニカラグア事務所の支援を得て、査証、身分証およびプロジェクト車両2台分の車両保険を契約し、納車手続きを進めている。
- 機材に関して、SILAIS チョントレスプロジェクト事務所に既存の空調が設置してあることから、修理をしてプロジェクトで使用することとした。

課題: 調達機材を確定し、調達機材の内容および、業務計画書内の第三国類似案件技術交換対象国が「グアテマラ」から「パラグアイ」へ変更したことに関して、打合簿を交わす。

2. 活動日程

<7月>

- 12日: 専門家3名(中村二郎:総括/地域保健、渡辺咲子:副総括/業務調整/地域保健、石原尚子:母子保健)着任、業務開始。
- 13日~27日: ワークプラン原案作成および西訳
- 13日: JICA ニカラグア事務所、日本大使館表敬
- 13日~: ベースライン調査票原案作成

- 14日：滞在ビザ、供与車両、ニカラグア社会保険、交通安全に関する JICA 事務所オリエンテーション
- 14日～：事務所機材、消耗品調達準備と購入
- 15日：SILAIS チョンタレス表敬、プロジェクト事務所スペース確認、テクニカル・アシスタント、秘書、運転手面接。ローカルスタッフ雇用にかかわる確認（チョンタレス県税務署、INSS、労働省）
- 16日：SILAIS セラヤ・セントラル表敬 プロジェクト事務所スペース確認
- 17日：保健省表敬および協議、JICA 事務所との協議、安全対策オリエンテーション
- 22日：SILAIS チョンタレス技術審議会（プロジェクト概要説明など）テクニカル・アシスタント契約交渉
- 23日：SILAIS セラヤ・セントラル技術審議会（プロジェクト概要説明など）テクニカル・アシスタント契約締結。運転手、秘書契約交渉
- 24日：テクニカル・アシスタント業務開始
- 28日：第1回プロジェクト運営委員会
- 31日：第1回 JICA ニカラグア事務所定期会議（業務進捗報告）、第1回本省定期会議。運転手、秘書契約締結

3. 今後の予定

<8月>

- 3日：プロジェクト車両納車
- 4日：吉岡浩太専門家（公衆衛生：調査分析）着任
- 25日：第2回運営委員会（於：ヌエバ・ギネア）
- 28日：第2回本省定期会議（暫定）

<9月>

- 11日：第2回 JICA 定期会議

4. 業務従事者の従事計画／実績表 別添のとおり

以上

- (注) 1 業務主任者は、契約期間の月毎に本業務従事月報を作成し、監督職員へ提出する。
- 2 本月報により報告のあった内容については、必要に応じ監督職員より確認を行う場合がある。
- 3 別添には、業務計画書作成時点での「業務従事計画」と現時点での業務従事実績及び今後の従事計画を記入する。

2015年9月1日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における
母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2015年8月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. ベースライン調査

【第1段階調査】

- 1) 社会調査および母子保健調査の様式を作成した。
- 2) SILAIS、支所、保健セクターで様式の事前検証を行った。
- 3) 各保健レベルのC/Pへ調査様式を配布し、調査を開始した。
- 4) 8月中の調査様式の回収状況は、下記の通り。

保健省計画開発総局（1/1）、SILAIS(2/2)、病院(1/4)、支所(10/14)、保健セクター(60/150)。以下の表は回収したデータに基づくものである。

保健省本省とSILAISのデータは一致しているが、支所レベルとの整合性がとれない。

分母	分子	SILAISチョンタレス(2014年)			SILAISセラヤ・セントラル(2014年)			2 SILAIS総合(2014年)		
		分母	分子	指標	分母	分子	指標	分母	分子	指標
出生数(居住地別)	妊産婦死亡数	4,524	2	44.2	4,129	1	24.2	8,653	3	34.7
出生数(居住地別)	乳児死亡数	4,524	64	14.1	4,129	56	13.6	8,653	120	13.9
出生数(居住地別)	5歳未満児死亡数	4,524	68	15.0	4,129	67	16.2	8,653	135	15.6
5歳未満児に対する 成長発達検診の実施 回数	5歳未満の栄養不良 児を発見した成長発 達健診数*	51,089	142	0.28	CZ県データ未取得					
出生数(居住地別)	4回目の産前健診の 実施回数	4,524	3,784	83.6	4,129	4,208	101.9	8,653	7,992	92.4
捕捉された妊婦数(居 住地別)	4回目の産前健診の 実施回数	5,130	3,784	73.8	4,536	4,208	92.8	9,666	7,992	82.7
出生数(居住地別)	専門技能者が立ち 会う分娩数	4,524	4,210	93.1	4,129	3,792	91.8	8,653	8,002	92.5
出生数(居住地別)	中期産後健診の実 施回数	4,524	3,497	77.3	4,129	3,343	81.0	8,653	6,840	79.0
出生数(居住地別)	後期産後健診の実 施回数	4,524	1,603	35.4	4,129	1,516	36.7	8,653	3,119	36.0
1歳未満の推定人口	1歳未満児に対する 成長発達健診の実 施回数	4,156	5,580	133.8	4,045	5,410	133.7	8,201	10,970	133.8
5歳未満の推定人口	5歳未満児に対する 成長発達健診の実 施回数	17,335	8,936	51.5	15,337	7,148	46.6	32,672	16,084	49.2

出所：保健省計画開発総局(DGPD/MINSA)、*SILAISチョンタレス統計課

【第2段階調査】

- 1) 調査方針について、吉岡短期専門家(指導分野：公衆衛生(調査分析))を交えプロジェ

クト内で協議し、①KAP 調査、②保健ボランティアおよび母親を対象としたフォーカスグループディスカッション、③保健サービス施設における出口調査、④医療機材調査について、手法・実施を第 2 回運営委員会で C/P と確認した。

- 2) KAP 調査は、調査様式、研修カリキュラムを作成し、調査員はフィガルパ市の国立自治大学と調整した。

課題

- (1) 保健省本省と SILAIS のデータは一致しているが、支所レベルとの整合性がとれない。
→ 両 SILAIS で開催する保健技術委員会で第 1 段階調査様式を追加回収する。
- (2) 第 2 段階調査の KAP 調査の準備推進。
→ SILAIS セラヤ・セントラル管内で大学と調整し調査員を確保する。調査員への研修を開催し、パイロット市の 8 保健セクターにおいて調査を開始する。保健サービス施設への調査日程を決定する。

1-2. パイロット市の選定

- 1) パイロット市の選定条件を提案し、第 2 回運営委員会で C/P と共有・修正し、合意した。

・パイロット市選定基準

- ① 支所職員の労働意欲
- ② 必要な情報が提供可能
- ③ 過去における母子の死亡
- ④ 慢性栄養不良児の割合

- 2) パイロット保健セクターの選定基準についても同様に定めた

・パイロット保健セクターの選定基準

- ① ESAFC に医師と看護師が在籍
- ② ESAFC の労働意欲
- ③ 車でアクセスが可能
- ④ 集落地図が整備済
- ⑤ 支所事務所より保健セクター中心地までが、車で 1 時間以上 2 時間以内
- ⑥ 類似案件がない

課題

パイロット市、パイロット保健セクターの選定。

→ ベースライン調査第 1 段階の結果を踏まえ、C/P と協議しパイロット市候補を定める。

1-3. インパクト評価

プロジェクト内で効果測定のための指標検討会議を実施し、その設定に必要な項目を明確にした。

- ① 具体的な介入案
- ② 上記実施によって得られる具体的な効果（介入とその効果の関係性）

課題

評価デザインの再検討

→ ベースライン調査分析の後に、介入案が具体的になった時点で、再度、評価デザインを検討する。

1-4. 既存の省令、マニュアル等のレビュー

- 1) プロジェクト内でレビューを実施し、研修プログラム(案)の作成を進めた。
- 2) 第 2 回運営委員会で研修プログラム策定計画を C/P と共有し、各 SILAIS において各 5 名の C/P が参加するプログラム策定グループを設置した。

- ・ SILAIS チョントレスのプログラム策定グループ
 - ① SILAIS 看護師長（グループ調整官）
 - ② カモアパ市支所長
 - ③ フィガルパ市保健センター医師
 - ④ エル・アヨテ市ヌエバ・ルス保健ポスト看護師
 - ⑤ アコヤパ市助産師
- ・ SILAIS セラヤ・セントラルのプログラム策定グループ
 - ① SILAIS 保健サービス担当官（グループ調整官）
 - ② エル・ラマ市一次病院長
 - ③ ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス市一次病院一般医
 - ④ ヌエバ・ギネア市一次病院助産師
 - ⑤ エル・コラル市准看護師

3) 他ドナーの教材レビューについて、保健省対外協力局が調査した上で、協議することで合意した。この調査結果は、8月中旬に共有される予定であったが遅れている。

課題 (1) 研修プログラム作成

→ ワークプランの研修テーマに沿った研修プログラムを作成する。

(2) 他ドナーの教材レビューと調査結果の共有

→保健省対外協力局の許可を得て、他ドナーと協議・情報交換を図る。

1-5. 第2回運営委員会

8月25日、SILAIS セラヤ・セントラル管内で実施した。

参加者：保健省保健サービス総局長、対外協力局技官、両 SILAIS 長および技官、対象 14 市支所長および技官、JICA 事務所オフィサー、プロジェクト専門家ら 48 名。

協議内容および合意事項：

ベースライン調査、パイロット市の選定、研修プログラムの策定、プロジェクトロゴの決定

1-6. 運營業務

- 1) 調達機材を全て購入した。
- 2) プロジェクト車両 2 台を配置し、業務運行を開始した。
- 3) 第三国技術交換「パラグアイ国際地域医療フォーラム」へ保健省保健サービス総局保健サービス課長、SILAIS チョントレス長、プロジェクト総括の 3 名を派遣することで JICA ニカラグア事務所と合意し、調整・準備を進めた。

課題 確定した調達機材の打合簿による確認

→打ち合わせ簿の作成と送付、相互確認。

2. 活動日程

< 8 月 >

- 1 日～：ベースライン調査、第 1 段階調査様式の作成
- 4 日：吉岡浩太短期専門家（公衆衛生：調査分析）着任（9 月 10 日まで）
- 6 日：ベースライン調査、第 1 段階調査様式の事前検証（保健支所レベル）
- 7 日：ベースライン調査、第 1 段階調査様式の事前検証（保健セクターレベル）
- 10 日：両 SILAIS の保健技術委員会で第 1 段階調査様式の確定
- 12 日～：ベースライン調査、第 1 段階調査開始
- 13 日～：ベースライン調査、第 2 段階 KAP 調査様式の作成
- 19 日：エル・アヨテ市および同市ヌエバ・ルス保健セクター訪問

- 25日：第2回プロジェクト運営委員会（於：ヌエバ・ギネア）
- 27日：研修プログラム策定グループ会議（SILAIS セラヤ・セントラル）
- 28日：研修プログラム策定グループ会議（SILAIS チョントレス）

3. 今後の予定

<9月>

- 10日：吉岡浩太専門家（公衆衛生：調査分析）離任
- 11日：第2回 JICA ニカラグア事務所定期会議
- 16日：訪問調査員研修（於：SIALIS チョントレス）
- 18～19日：SILAIS チョントレスのパイロット市において訪問調査
- 25～26日：SILAIS チョントレスのパイロット市において訪問調査
- 22～26日：パラグアイ国際地域医療フォーラム派遣日程

<10月>


- 28～29日：第1回半期評価会＋ワークショップ

4. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

以上

- (注) 1 業務主任者は、契約期間の月毎に本業務従事月報を作成し、監督職員へ提出する。
2 本月報により報告のあった内容については、必要に応じ監督職員より確認を行う場合がある。
3 別添には、業務計画書作成時点での「業務従事計画」と現時点での業務従事実績及び今後の従事計画を記入する。



2015年10月1日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における
母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2015年9月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. ベースライン調査

【第1段階調査】

- 1) 調査を終了し、集計作業を進めている。

【第2段階調査】

- 1) KAP 調査様式の事前検証を行った。
- 2) 下記の現地教育機関と連携し、KAP 調査員として女子学生の募集、選考および適切な調査実施のための研修を行った。
 - SILAIS チョンタレス：国立自治大学フィガルパ校（農学部、商学部、情報システム学部）
 - SILAIS セラヤ・セントラル：エル・ラマ市が私立マルティン・ルテロ大学（経済学部）
 - ヌエバ・ギネア市：私立ウラカン大学（工学部、経済学部）
- 3) 8か所のパイロット保健セクターを訪問し、ESAFIC および保健ボランティア・ネットワークに KAP 調査を説明し、調査への協力依頼・調整を行った。
- 4) サント・ドミンゴ市パイロット保健セクターより SILAIS チョンタレスおよびセラヤ・セントラルで 2014 年に分娩した女性を対象に KAP 調査を開始した。各集落の 2014 年出産者リストは、SILAIS の出産データ、各保健セクターの妊産婦健診データ、新生児予防接種データからリストを作成した。また、2014 年出産者を対象とした理由は、ベースライン調査（2014 年出産者）とエンドライン調査（2017 年出産者）を比較するためである。
- 5) 保健サービス施設での出口調査様式（調査票？）を作成し、検証した。

課題

- 1) 第1段階調査を集計し、SILAIS と共に分析を行い、各支所へフィードバックする。
- 2) 第2段階調査の KAP 調査を全パイロット保健セクターで実施する。
- 3) 第2段階調査の FGD（フォーカスグループディスカッション）および機材調査を準備する。
- 4) 第2段階調査の出口調査を開始する。

1-2. パイロット市の選定

1) ベースライン調査を基に、パイロット4市を選定した。選定基準は下記表のとおり。

- ① アコヤパ市 (SILAIS チョントレス)
- ② サント・ドミンゴ市 (SILAIS チョントレス)
- ③ ヌエバ・ギネア市 (SILAIS セラヤ・セントラル)
- ④ エル・ラマ市 (SILAIS セラヤ・セントラル)

Municipio	CHONTALES										ZELAYA CENTRAL			
	Juigalpa	Comalapa	Cuapa	Acoyapa	Santo Tomás	Villa Sandino	San Pedro de Lóvago	Libertad	Santo Domingo	El Ayote	Nueva Guinea	El Rama	Muelle de los Bueyes	El Corral
支所職員の労働意欲			○	○	○	○	○	○	○			○		
必要な情報が提供された	○		○	○	○	○	○		○		○			
過去2年の母の死亡		○			○							○	○	
病院へのアクセスが悪い				○			○	○	○	○	○	○		
市中心部から1時間以上、2時間以内のセクターがある	○	○		○				○	○	○	○	○	○	
得点	2	2	2	4	3	2	3	3	4	2	3	4	2	0
パイロット市				○					○		○	○		

2) 各パイロット市におけるパイロット8保健セクター。その選定基準は下記表のとおり。

SILAIS チョントレス

アコヤパ市：

- ・ エル・サポテ保健セクター（同市第7保健セクター）、
- ・ サン・フェリペ保健セクター（同市第8保健セクター）

サント・ドミンゴ市：

- ・ ロス・チナモス保健セクター（同市第3保健セクター）
- ・ ブルン2保健セクター（同市第4保健セクター）

Municipio	Acoyapa									Santo Domingo				
	Sector	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4
C/SからP/SもしくはCasa Baseが1時間以上、2時間以内のセクター								○	○	○			○	○
市街地がない			○	○	○			○	○	○			○	○
医師、看護師がいる	○		○					○		○	○		○	
訪問調査が可能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2014年の出産が30以上	○	○			○		○	○	○	○	○	○		
得点	3	2	3	2	3	1	4	5	3	3	3	4	4	
パイロット保健セクター							○	○				○	○	

SILAIS セラヤ・セントラル（次頁の表参照）

エル・ラマ市：

- ・ カベセラ・バレンティン保健セクター（同市第12保健セクター）
- ・ グアピ保健セクター（同市第14保健セクター）

ヌエバ・ギネア市：

- ・ タロリング保健セクター（同市第9保健セクター）
- ・ ナシオネス・ウニダス保健セクター（同市第26保健セクター）

Municipio	Nueva Guineas																																		
Sector	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33		
運河工事の対象セクターでない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
C/SからP/SもしくはCasa Baseが1時間以上、2時間以内のセクター									○	○	○				○		○		○	○							○	○	○	○	○	○	○	○	
市街地でない					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
過去データがある	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
医師、看護師がいる	○	○	○	○	○	○	○		○			○	○				○		○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
訪問調査が可能	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
2014年の出産が30以上	○	○	○	○									○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
得点	5	5	5	5	5	4	5	4	6	5	4	4	6	5	4	5	5	4	5	5	1	2	2	6	4	6	5	5	5	5	5	4	5		
パイロット保健セクター									○																										

パイロット保健セクター候補： 9, 13, 24, 26
 パイロット保健セクターの選定： 上記4保健セクターのうち、「9」および「26」が最も遠距離なので選定

Municipio	El Rama																					
Sector	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
C/SからP/SもしくはCasa Baseが1時間以上、2時間以内のセクター	○			○			○					○	○	○	○					○	○	
妊産婦の死亡あり							○					○		○				○				
医師、看護師がいる	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○		○					○			
車両でのアクセスが可能	○		○		○	○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
訪問調査が可能					○	○		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
得点	3	1	2	2	2	3	2	2	2	1	1	5	3	5	3	2	2	3	3	2	2	2
パイロット保健セクター												○		○								

課題 運営委員会メンバーに説明し、承認を得る。(半期評価会で実施予定)

1-3. 既存の省令、マニュアル等のレビュー

1) 研修プログラム(案)を作成した。

研修プログラムの項目の設定にあたり、①研修プログラム策定グループ内での産科・小児科テーマにおける保健省の既存のモニタリングを実施する上で、課題となっている項目の問題分析を行った。②研修プログラム策定グループメンバーがファシリテーターとなり、ESAFG 対象の問題分析ワークショップを実施。③ これら①、②の異なったレベルの医療従事者による問題分析の結果を総合した結果、抽出された問題に対するプロジェクト専門家と C/P の認識の差異はほとんどなかった。

2) PAHO、Unicef の母子保健担当官と個別に協議し、活動、成果、課題、指標、供与機材、新規活動計画に関して協議した。

活動：ルクセンブルグ、米州開発銀行(BID)、世界銀行(WB)、Unicef と共に MDG 母子プロジェクトを実施中。2015年12月終了。Unicef 担当：延長の可能性あり。

成果：各種母子保健関連のマニュアル作成・刷新・更新。全て省令化。全国で研修開催。情報処理システムの導入・展開・情報処理機材供与。等多数。

課題：妊産婦・新生児の栄養改善。サービスの質向上。住民参加。

指標：後日、共有することで合意。指標の統一を検討。

供与機材：ほぼ終了。今後も聴診器、血圧計などの小型機材は供与あり。

課題 研修プログラム作成

研修内容、研修実施に対する優先順位の確認作業を行い(保健ポスト等での出口調査含む)、ワークプランの研修テーマに沿った研修プログラムを作成する。

1-4. パラグアイ国際地域医療フォーラム

パラグアイ、アスンシオンにおいて、国内および中米カリブ 8 か国から約 200 名が参加し、地域保健に関する情報交換を行った。ニカラグアからは、保健サービス総局のマリア・エストラーダ保健サービス課長、SILAIS チョントレスのサミール・アギラル局長とプロジェクト総括の中村二郎の 3 名が参加し、アギラル局長が「1 次・2 次・3 次緊急医療」に関して SILAIS チョントレスの事例を紹介した。

1-5. 運營業務

- 1) JICA ニカラグア事務所と第 2 回定期会議を開催し、進捗、課題、計画を確認した。また、保健分野の JOCV 派遣に関して連携・協力の要請を受けた。
- 2) 調達機材の確定に関し、打合せ簿を交わした。
- 3) プロジェクトロゴ入りの T シャツと帽子を作成し、KAP 調査員へ配布した。
- 4) 第 1 期要員計画の修正案を JICA ニカラグア事務所へ提出した。この修正に伴う、日当・宿泊料など経費の変更は発生しない。(業務従事者の従事計画／実績表参照)
- 5) 保健省の承認を得て、プロジェクト HP の発信手続きを行った。また、ニュースレターの発信を始めた。

2. 活動日程

<9 月>

- 1 日：ムエジェ・デ・レス・ブエジェス保健所（以下 C/S）で保健データ確認、同市 1 次病院での SILAIS による質管理評価同行。
- 2 日：SILAIS チョントレス技術審議会（以下 CTD）、SILAIS セラヤ・セントラル CTD にて活動進捗報告及びパイロット市選定作業。エル・ラマ C/S でデータ確認。
- 3 日：ビジャ・サンディーノ C/S、サン・ペドロ・デ・ロバゴ C/S、エル・コラル C/S で保健データ確認。
- 4 日：JICA ニカラグア事務所安全対策協議会。
- 7 日：SILAIS チョントレス CTD 進捗報告。SILAIS セラヤ・セントラル CTD 進捗報告。リベルタ市内保健従事者対象問題分析ワークショップ。
- 8 日：フィガルパ市内保健ポスト（以下 P/S）KAP 調査事前検証。エル・ラマ市 KAP 調査調整。グアピ P/S でデータ確認。
- 9 日：ビジャ・サンディーノ市内保健従事者対象問題分析ワークショップ。国立自治大学フィガルパ校で KAP 調査員調整。
- 10 日：吉岡浩太専門家（公衆衛生：調査分析）離任。サント・ドミンゴ市内パイロットセクター KAP 調査調整。サント・ドミンゴ市内保健従事者問題分析ワークショップ。ブルン 2 P/S、ロス・チナモス P/S でデータ確認。
- 11 日：PAHO ニカラグアの母子保健担当と協議。アコヤパ市内パイロットセクター KAP 調査調整。第 2 回 JICA ニカラグア事務所定期会議。
- 16 日：KAP 調査員研修（於：SILAIS チョントレス）。
- 17 日：サント・ドミンゴ市ロス・チナモス P/S、アコヤパ市サポテ P/S 及びエル・チナル地区保健ベースでヘルスポランティア会議。
- 18 日：Unicef ニカラグアの母子保健担当と協議。ヌエバ・ギネア市タロリンガ P/S KAP 調査調整。
- 19 日：サント・ドミンゴ市エル・モノ地区 KAP 調査。
- 21 日：SILAIS チョントレス CTD 進捗報告。
- 22 日：アコヤパ市パイロットセクターサン・フェリッペ P/S ヘルスポランティア会議。チョコントレス警察表敬訪問。

- 23日：サント・ドミンゴ市パイロット地区 KAP 調査調整。
24日：エル・ラマ市パイロット地区 KAP 調査調整。
25～26日：SILAIS チョンタレスのサント・ドミンゴ市において KAP 調査。
23～25日：パラグアイ国際地域医療フォーラム（出張日程：22～26日）。
28日：SILAIS チョンタレス CTD 進捗報告。
29日：エル・ラマ市パイロット地区 KAP 調査調整。
30日：SILAIS セラヤ・セントラル CTD 進捗報告。ヌエバ・ギネア市パイロット地区 KAP 調査調整。ナシオネス・ウニダス P/S でデータ確認。

3. 今後の予定

<10月>

- 1～2日：SILAIS チョンタレスのアコヤパ市において KAP 調査
1日：フイガルパ市内 P/S で出口調査検証
4日：KAP 調査員研修（於：エル・ラマ市マルティンルテオ大学）
5～6日：SILAIS セラヤ・セントラルのエル・ラマ市において KAP 調査
8日：リベルタ市内 P/S 出口調査
9日：SILAIS チョンタレス、ベースライン第1段階調査分析会議
12日：SILAIS チョンタレス CTD
13日：KAP 調査員研修（於：ヌエバ・ギネア市ウラカン大学）、SILAIS セラヤ・セントラル、ベースライン第1段階調査分析会議
14～15日：SILAIS セラヤ・セントラルのヌエバ・ギネア市において KAP 調査
16日：サント・トマス市内 P/S 出口調査
28～29日：第1回半期評価会＋ワークショップ

4. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

以上

- (注) 1 業務主任者は、契約期間の月毎に本業務従事月報を作成し、監督職員へ提出する。
2 本月報により報告のあった内容については、必要に応じ監督職員より確認を行う場合がある。
3 別添には、業務計画書作成時点での「業務従事計画」と現時点での業務従事実績及び今後の従事計画を記入する。

業務従事者の従事計画／実績表

監督職員確認印:【監督職員氏名】伊藤 賢一 印

契約件名: ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

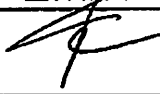
1. 現地業務

氏名 (担当業務)	格付	渡航回数	2015年						2016年												2017年			日数合計 (日)	人月合計 (M/M)	自社負担 日数合計 (日)		
			7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
中村 二郎 (総括/地域保健)	2	計画	2	251日						95日						94日			540	18.00								
		実績	1	(2015年7月12日~9月30日)															81	2.70	0							
渡辺 咲子 (副総括/業務調整/地域保健)	4	計画	4	150日						60日						45日			60日			30日			345	11.50		
		実績	1	(2015年7月12日~9月30日)																		81	2.70	0				
石原 尚子 (母子保健)	3	計画	3	165日						57日						206日						428	14.27					
		実績	1	(2015年7月12日~9月30日)																		81	2.70	0				
吉岡 浩太 (公衆衛生:調査分析)	4	計画	1	30日間																		30	1.00					
		実績		(2015年8月4日~9月11日)																		30	1.00	9				
村上 友美子 (公衆衛生:ヘルスプロモーション)	3	計画	2	30日間												30日間						60	2.00					
		実績																										
濱口 陽子 (公衆衛生:ヘルスプロモーション)	4	計画	1							30日間												30	1.00					
		実績																										
花田 恭 (保健行政/マネージメント)	3	計画	2							10日間						11日間						21	0.70					
		実績																										
狐崎 知己 (保健行政)	3	計画	1							9日間												9	0.30					
		実績																										
高木 史江 (産科/小児ケア)	3	計画	1							9日間												9	0.30					
		実績																										
凡例:				業務従事実績						業務従事計画						自社負担						現地業務小計			計画	1,472	49.07	
																						実績			273	9.10	9	

2. 国内業務:該当しないため割愛

報告書等	計画	△ W/P(原案)+M/S(Ver.1) △ M/S(Ver.2)		△ M/S(Ver.3)		△ P/R		△ F/R
	実績	△ W/P(原案)+M/S(Ver.1)						

注1)各業務従事者の現地、国内のそれぞれの人月は、現地業務期間は30日、国内業務期間は20日で除した数字の小数点以下第3位を四捨五入して算定すること。
 注2)現地業務と国内業務の振替えは人月単位で行うこととするため、日数に端数が出るが、この端数は国内業務の日数で調整することとし、合計人月は変更しないこと。
 注3)各業務従事者の各配置期間の下には、日数を括弧書きで記入すること。
 注4)実績については各配置期間の開始日、終了日を記載すること。計画については記入不要。
 注5)通訳についても記載すること。
 注6)コンサルタント業務従事月報の添付資料とするときは、月報提出月以降の「業務従事予定日程」を括弧書きで記載すること。



2015年11月3日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における
母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2015年10月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. ベースライン調査

【第1段階調査】

- 1) 調査の結果をSILAISと共有・分析し、半期評価会で発表した。
- 2) 第1段階の調査を通じ、データ管理に係わる以下の事柄が確認された。
 - PHC体制をとっている国では、一般的に、末端の保健セクターで収集された地域の保健データが支所レベルに上げられ、そこに、市の保健センターや地域病院などで得られたデータが加えられてSILAISに報告され、それをSILAISが県の保健情報として取りまとめるといった、積み上げ式のデータ管理システムが運用されているが、ニカラグアでは、保健セクターと支所、SILAISが、このような積み上げ式ではなく、それぞれが異なる方法で保健データの収集を行っていることが判明した。このため、例えば、保健セクターが把握している担当地域の出生数や死亡数とSILAISが把握している同地域の数値が異なる結果となっている。（参考資料：別添1. チョンタレスにおける調査データのまとめ）
 - 妊産褥婦に関する有効な情報源となりうる「妊産婦管理シート」（担当地域で捕捉された妊産褥婦の一般情報やケアの必要性などが記載された名簿）がプロジェクト担当地域では、正確な記載や情報の更新がされておらず、情報が途切れていることが多い。

【第2段階調査】

- 1) 8パイロット保健セクターにてKAP調査を実施した。
チョンタレス県のKAP調査数は別添資料2の表01を参照
- 2) 調査は各セクターで1～2日を要し、最も遠方の調査対象者は、エル・ラマ市とサント・ドミンゴ市の住民で、その集落に到着するまで、支所（保健センター）から車で未舗装道路を含む2時間の移動に加えて馬で3時間を要した。
プロジェクトのパイロット地図は別添資料3参照
- 3) 基準・手順（省令）に沿って提供することになっている母子保健サービスについて、

その実状を確認するため、妊婦健診および小児健診を受けた利用者からの聞き取り（出口調査）を開始した。このインタビュー後、受診者のカルテと実際に提供されたサービス内容を比較・確認し、結果を研修プログラムに反映させてゆく。

4) 供与する医療機材の配置と優先順位を特定する作業を開始した。

課題 第 1 段階調査結果のまとめと活用

- (1) 本省、SILAIS および支所・病院と母子保健データ管理・運用・分析に関して協議し、データ管理の改善に取り組む。
- (2) PDM の上位目標およびプロジェクト目標で取り扱う母子保健指標を特定する。

第 2 段階調査の継続

- (1) KAP 調査の集計を行う。
- (2) 保健施設での出口調査を継続する。
- (3) パイロットセクターで母親を対象としたフォーカス・グループ・ディスカッションを実施する。

1-2. 研修プログラムと研修マニュアルの作成

- 1) ESAFC と病院職員を対象としたそれぞれの研修プログラムの枠組み決定
研修に係わるワーキンググループを結成し、質の高い母子保健サービスの提供のためにその強化が急がれるテーマの絞り込み作業を行った。

ESAFc 向け研修	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊産婦管理シート (Censo gerencial) の適正運用 2. 妊婦健診 3. 産科緊急ケア 1 「妊娠高血圧症候群」 4. 産科緊急ケア 2 「出血」 5. 小児の成長発達
病院職員向け研修	リファレル・カウンターリファレル

- 2) 同ワーキンググループを中心に以下の形式で研修テキストを作成することを決定した。
 - ESAFC 向け研修では、前記 5 項目ごとに 1 冊ずつテキストを作成し、最終的に、1 冊のフォルダーにまとめて保管する。
 - 上記テキストを基に、研修ファシリテーター用の研修ガイドを作成する。これには教授法や使用する教材番号、研修運営上の注意点などを盛り込む。

尚、研修教材（テキスト、PowerPoint、テスト用紙など）は、保健省に既存のもの、他の JICA 類似プロジェクトの成果品を最大限に活用する。

課題 (1) 研修プログラムの完成

(2) 研修テキスト作成

研修枠組みをベースに受講者用研修テキストとファシリテーター用研修ガイドの作成を開始する。

1-3. 第 1 回半期評価会、ワークショップ

保健省本省、SILAIS、支所、パイロット保健セクター等から 1 日目 37 名、2 日目 44 名

の職員と JICA 事務所担当者及びプロジェクト専門家らが出席し、プロジェクトの進捗状況を確認・評価し、課題やその対策などについて協議した。

- 1) ベースライン調査第 1 段階の母子保健データの記録・管理・運用について、調査結果を共有し、各レベル間で差異の激しいデータに関して改善方法を検討した。
- 2) ワークショップでは、ベースライン第 1 段階調査で適切な運用がされていないことが明らかになった妊産婦管理シートおよびレファラル・カウンターレファラルについて、グループワークを実施し、各レベルの作業マッピングにより、実践的なシステム構築に向けて業務フローを作図した。

- 課題**
- 1) 妊産婦管理シートと業務フロー図が適切に運用されるための活動計画を立案し、その実施について巡回指導する。
 - 2) 3 カ月後に計画に基づいた活動が実施されているか、状況の評価・分析する。

1-4. 関連事項

- 1) プロジェクトの活動目標から「Familia sana, Comunidad feliz!」(健康な家族は集落の幸せ!)を対象地域で掲げるスローガンとし、住民へ浸透させることを決定した。
- 2) 保健セクターの見直しが、保健省本省を中心に全国で進められており、詳細計画策定調査時、70に分割されていた SILAIS チョントレスの保健セクターは、現在 78に増え、SILAIS セラヤ・セントラルでも 54 だった保健セクターの分割が 74 に変更されている。今後、さらなる保健セクター分割が計画されている SILAIS チョントレスでは、これに伴い、医師及び看護師を増員する必要があるほか、セクターを見直したばかりの SILAIS セラヤ・セントラルでは、まだ人員配置が定まっておらず、新規および現任者の配置転換やそれによる離職者発生など、必要な人材の確保と配置についてしばらくは流動的な状況が続くことが予想される。
- 3) プロジェクト開始当初、猛威を振るっていたチクングニア熱は、9 月下旬ごろから落ち着いてきたものの、10 月に入ってから Dengue 熱の発症数が増加し、SILAIS セラヤ・セントラルが全国 1 位、SILAIS チョントレスが 2 位という非常事態となっている。
- 4) JICA ニカラグア事務所が所有する中古車両を SILAIS セラヤ・セントラルへ供与し、プロジェクト活動で運用する方向で、JICA 事務所が保健省との手続を開始した。

1-5. 運營業務

- 1) JICA ニカラグア事務所と第 3 回定期会議を開催し、進捗、課題、計画を確認した。
- 2) 村上友美子短期専門家(公衆衛生:ヘルスプロモーション)が着任した。
- 3) プロジェクト・ニュースレターを発行し、関係者と共有した。
- 4) プロジェクト開始式を開催し、高田 JICA ニカラグア事務所長が主賓として列席した。
- 5) プロジェクト開始式が、ローカルテレビ・ラジオで報道された。

2. 活動日程

<10 月>

- 1 日: フィガルパ市内 P/S で出口調査検証
- 1~2 日: SILAIS チョントレスのアコヤパ市において KAP 調査
- 3 日: プロジェクト、ベースライン第 1 段階調査分析会議
- 5 日: KAP 調査員研修(於: エル・ラマ市マルティンテオ大学)
- 6~7 日: SILAIS セラヤ・セントラルのエル・ラマ市において KAP 調査
- 7 日: SILAIS セラヤ・セントラルの保健ボランティア総会でプロジェクト説明、SILAIS セ

ラヤ・セントラル CTD 進捗報告

- 8日：リベルタ市内 P/S で出口調査
 9日：SILAIS チョントレス、ベースライン第1段階調査分析会議、研修プログラム会議（スカイプにて両 SILAIS 代表者意見交換）
 12日：SILAIS チョントレス CTD
 13日：KAP 調査員研修（於：ヌエバ・ギネア市ウラカン大学）、SILAIS セラヤ・セントラル、ベースライン第1段階調査分析会議
 14日：ヌエバ・ギネア市内 P/S で出口調査
 14日：SILAIS セラヤ・セントラル CTD 進捗報告
 14～15日：SILAIS セラヤ・セントラルのヌエバ・ギネア市において KAP 調査
 15日：SILAIS セラヤ・セントラル研修プログラム会議
 16日：SILAIS チョントレス研修プログラム会議
 19日：半期評価会・ワークショップ準備会議
 20日：SILAIS セラヤ・セントラル研修プログラム会議
 21日：SILAIS チョントレス CTD 進捗報告
 22日：SILAIS チョントレス研修プログラム会議
 25日：村上友美子短期専門家（公衆衛生：ヘルスプロモーション）着任
 29日：プロジェクト開始式（於：フィガルパ市内ホテル）
 29～30日：第1回半期評価会＋ワークショップ開催（於：SILAIS チョントレス）
 30日：研修プログラム会議（両 SILAIS 合同）

3. 今後の予定

<11月>

- 3日：SILAIS セラヤ・セントラル CTD（妊産婦管理シートと業務フロー図運用計画立案）
 4日：SILAIS チョントレス CTD（妊産婦管理シートと業務フロー図運用計画立案）
 5日：村上友美子短期専門家（研修プログラム策定グループ・ワークショップ）
 9日：エル・ラマ支所保健審議会にてパイロット活動の説明
 28日：村上友美子短期専門家（公衆衛生：ヘルスプロモーション）離任

<12月>

- 8日：渡辺咲子専門家（副総括/業務調整/地域保健）離任
 9日：SILAIS セラヤ・セントラル CTD（妊産婦管理シートと業務フロー図運用評価）
 10日：SILAIS チョントレス CTD（妊産婦管理シートと業務フロー図運用評価）
 21日：石原尚子専門家（母子保健）離任

<1月>

- 20日：渡辺咲子専門家（副総括/業務調整/地域保健）着任
 25日：石原尚子専門家（母子保健）着任

4. 業務従事者の従事計画／実績表

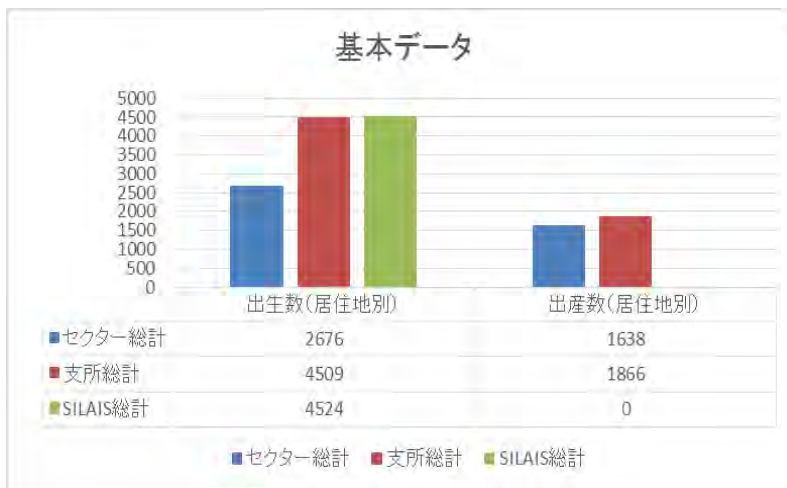
別添のとおり

- (注) 1 業務主任者は、契約期間の月毎に本業務従事月報を作成し、監督職員へ提出する。
 2 本月報により報告のあった内容については、必要に応じ監督職員より確認を行う場合がある。
 3 別添には、業務計画書作成時点での「業務従事計画」と現時点での業務従事実績及び今後の従事計画を記入する。

2015 年 10 月月報 別添資料

1. チョントレスにおける調査データまとめ

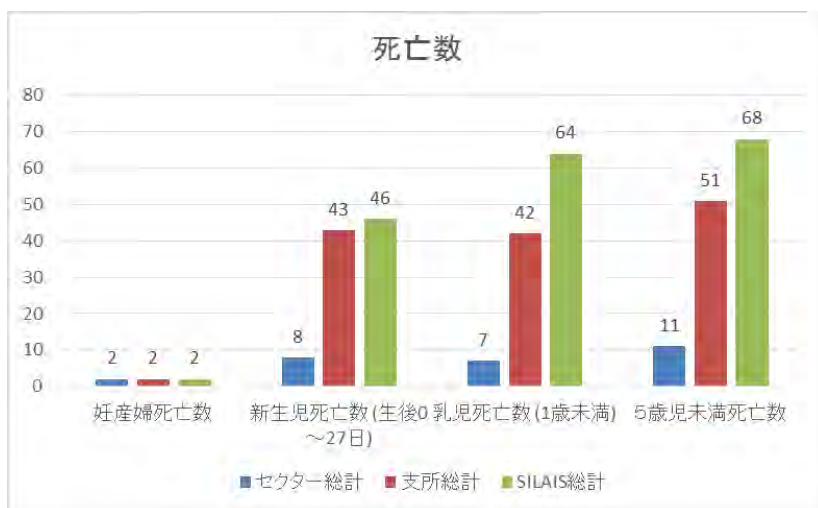
グラフ 01 <出生数>



SIL AISと支所は市役所に提出された出生届や病院で作成した出生記録から出生数を把握しており両者の数値の差はさほど大きくない。一方、セクターレベルでは、ES AFCの記録や妊産婦管理シートから出生数を把握しているが、ES AFCと接点のないまま、市の保健センターや病院でお産をした場合、出生情報がセクターレベルにフィードバックされず、ES AFCの記録から抜けてしまった可能性がある。

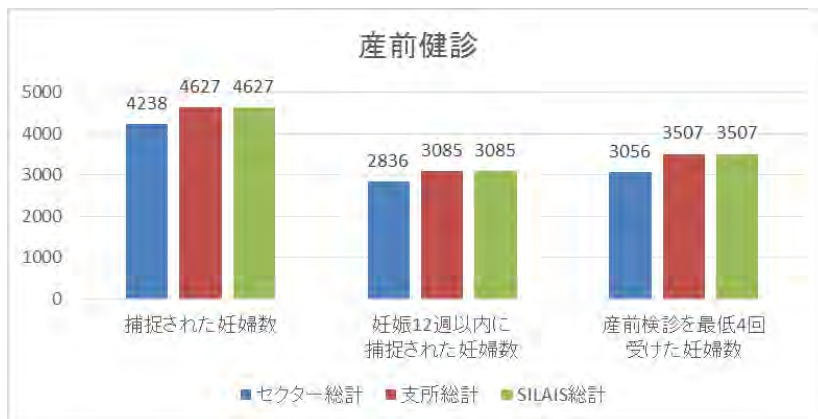
出産数（出生数＋死産数）のデータは SIL AIS では取り扱っていない。出生数とはデータのソースが異なるのか、保健セクターおよび支所で把握されている出産数は出生数の半数以下の数値になっている。

グラフ 02 <死亡数>



妊産婦死亡数は、各レベルが把握している数値が一致している。しかし、新生児・乳児・5歳未満児の死亡数は、保健セクターレベルで把握している数値と、最も多く把握されている SIL AIS の数値との間に大きな差があり、各レベル間でデータの情報共有や、すり合わせがされていないことがわかる。

グラフ 03 <産前健診>



産前健診は保健省が重視している活動であるためか、捕捉された妊婦数および産前健診を4回受けた妊婦数は、他の項目と比較して、各レベルで大きな差がなくその数が把握されている、特に SIL AIS・支所間では数値が完全に一致しており、上部への報告や各レベル間の情報共有がなされていると思われるデータである。

グラフ 04 <分娩数>



SIL AIS と支所では「施設分娩数」よりも「専門技能者が付き添う分娩数」の方が多く把握されている。これは専門技能者の中に研修および資格証明を受けた産婆も含まれ、自宅など施設以外での分娩数の加算があるためと考えられる。他方、帝王切開はリスクが高い妊産婦の分娩であるにも関わらず、保健セクターが把握している件数が少なく、母親の状態やその経過等、病院から退院後にセクターレベルで継続的にフォローすべき情報が上

部部署から保健セクターに向けてフィードバックされていないことが考えられる。

グラフ 05 <産後健診>



セクターレベルで実施されている中期産後健診の回数に比べて、SIL AIS・支所レベルが実施を把握している回数は半数以下である。この産後健診については、受診者の産後日数と実施回数の記録のみで、産後健診が必要な母親に対して適切な時期と内容で実施されているか否かは不明である。

グラフ 06 <小児健診>



1歳未満時に対する成長発達健診はSIL AISとその支所が、その実施回数を同様に把握しているが1歳から4歳児に対する健診に関してはSIL AISではその実施回数を把握していない。また、乳児健診数は予防接種数から算出されており、全ての乳児に対し適切な健診が実施されているかどうかは不明である。

<その他>

各セクターで開催されることになっている保健ボランティアネットワーク集会は、保健省職員が主導しており、ボランティアが主体的に実施している集会は全くなかった。また、年間に4回以上保健ボランティア集会を開催しているのは、SIL AIS チョントレスで16ESAFG、SIL AIS セラヤ・セントラルで3ESAFGに留まっている。

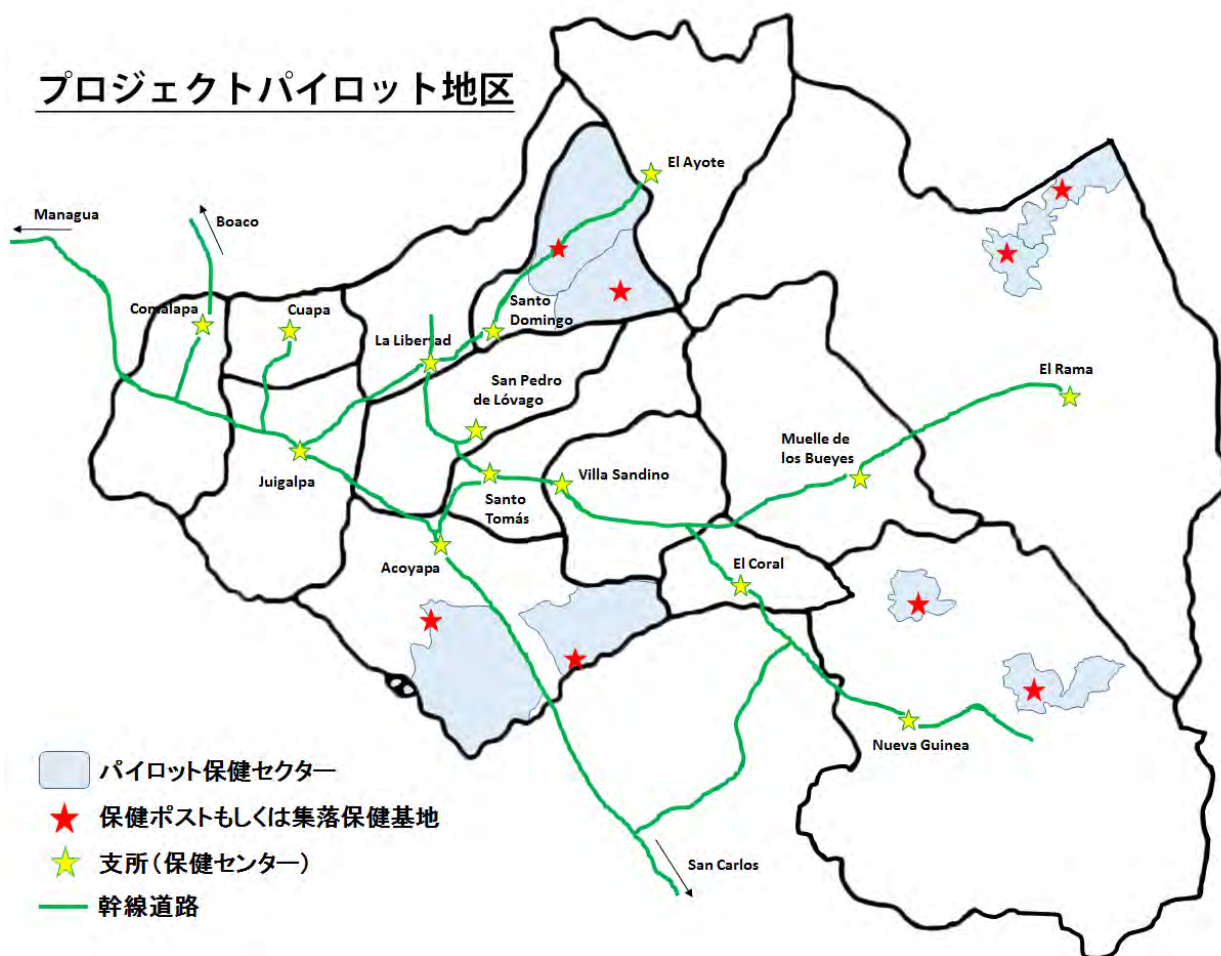
2. KAP 調査の調査数

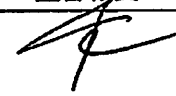
表 01

市	セクター	集落数	通電集落数	人口	調査対象者数	調査実数	調査割合	投入調査員数
SD	3	8	1	3,875	88	61	69.3	18
	4	5	0	2,427	30	29	96.7	19
AC	7	11	4	1,730	33	34	103.0	13
	8	7	3	2,631	32	26	81.3	12
ER	12	5	0	2,837	45	41	91.1	10
	14	9	9	3,393	64	64	100.0	10
NG	9	4	1	2,055	31	18	58.1	12
	26	5	1	4,689	60	37	61.7	12
合計		54	19	23,637	383	310	80.9	106

SD: サント・ドミンゴ市、AC: アコヤパ市、ER: エル・ラマ市、NG: ニエバ・ギネア市

3. 地図





2015年12月1日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における
母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2015年11月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. ベースライン調査

【第2段階調査】

- 1) 基準・手順（省令）に沿って提供することになっている母子保健サービスについて、保健省がその質の保障を目的に作成した業務モニタリングツールを活用し、妊産婦健診と小児の成長発達健診について、パイロット市の保健ポスト利用者の受診記録からそれらの実施状況を調査した。また、その中から同調査の当日に健診を受けた利用者に対し、彼女たちが「実際に受けた」と認識したサービスを施設出口で聞き取り、受診記録と照合する作業を各保健管区で20件ずつ実施した。
- 2) パイロット4市において、2014年に出産をしたコミュニティの女性を対象にフォーカス・グループ・ディスカッションを実施した。

課題 第2段階調査の集計

- (1) KAP調査とフォーカス・グループ・ディスカッションの結果の集計および分析を進める。
- (2) 保健施設で実施した出口調査で得られた結果を分析し、研修プログラムに反映する。

1-2. 研修プログラムと研修マニュアルの作成

- 1) 両 SILAIS の母子保健技術委員会（ワーキンググループと称している）により ESAFGメンバーを対象とした母子保健研修プログラム¹が完成した。
- 2) 全5冊の研修テキスト「妊産婦管理台帳」「妊婦健診」「妊娠性高血圧」「産後出血」「小児の成長発達」（案）の作成を開始した。

¹ 「研修プログラム」は研修内容を明記した、いわゆる研修カリキュラムである。各研修の時間割はプログラムではなく「研修スケジュール」と表記し、これらを区別する。またカレンダー上の研修日程は「研修実施計画表」とする。

- 3) 今後、研修ファシリテーター養成の役割を担う母子保健技術委員会メンバーに対し、教授法の基礎に関する研修を実施した。

課題 作成されたテキストを C/P と検証し、仮印刷に回す。

1-3. レファラル・カウンターレファラル

- 1) 半期評価会後にワークショップを実施し、これまで実施されていない部分があったレファラル・カウンターレファラルの緊急搬送、通常リファー、データ管理等の業務について、各 SILAIS は、その全工程を改めて整理しフローチャートの形で可視化した。
- 2) 上記の作業で明確になった、レファラル・カウンターレファラルで新たに導入すべき業務方式について、各支所レベルからカスケード方式の研修が実施され周知された。
- 3) 各レベルにおいて、適切な業務実施がなされるための巡回指導を開始した。

課題 (1) 巡回指導を継続し、各レベルで実施される業務状況を把握しつつ、必要に応じて指導を行う。
(2) 各 SILAIS の運営上の課題を抽出する。

1-4. ESAFC によるコミュニティ活動

- 1) 8か所のパイロット保健セクターにおいて、保健ボランティアネットワーク集会を開催し、プロジェクトの説明を行った。

課題 (1) 省令をもとに保健ボランティアネットワークの活動の手順などを整理する。
(2) パイロット地区で開催される保健ボランティアネットワーク集会をフォローし、適宜 ESAFC メンバーへの OJT を行う。

1-5. 巡回指導

- 1) 妊産婦管理台帳 (Genso Gerencial) が適切に運用されるよう、SILAIS の保健サービス技官と共に支所への巡回指導を開始した。訪問先では、①支所と ESAFC が共同で行う妊産婦管理台帳の毎週の分析 ②予防接種管理台帳などとの毎月のデータ照合 ③各支所が立案した活動計画の実施 の三点に関して指導を行っている。
- 2) プロジェクトで導入したレファラル・カウンターレファラルの業務方式が適切に実施されているか、巡回指導を開始した。

課題 両 SILAIS において、活動の実施状況をモニタリング評価する。

1-6. 運營業務

- 1) PDM 指標に関して、両 SILAIS および保健省本省と協議し、基準値と目標値を検討した。また、一部指標の標記について修正案が示された。

課題 JICA へ協議内容を共有する。

- 2) 第3回保健省定期会議、第4回 JICA ニカラグア事務所との定期会議を開催し、当プロジェクト活動の進捗を共有した。

1-7. 関連事項

- 1) JOCV の助産師隊員が2年間の任期で SILAIS チョンタレスに着任した。
- 2) JOCV ニカラグア保健医療部会の訪問を受け、保健省および当プロジェクトについてのオリエンテーションを行った。
- 3) SILAIS セラヤ・セントラルにおいて技術協力および医療機材供与の支援を行うスペイン NGO・FUDEN と協議し、情報を共有した。

2. 活動日程

<11月>

- 3日：SILAIS チョンタレスおよびセラヤ・セントラル技術審議会（以下、CTD）にてレファラル・カウンターレファラル業務のフローチャート作成
- 4日：ビジャ・サンディーノ C/S で出口調査
- 5日：村上友美子短期専門家、母子保健技術委員会に対する教授法の基礎研修
アコヤパ支所でレファラル・カウンターレファラル研修
フィガルパ C/S で出口調査
- 6日：ヌエバ・ギネア市内 P/S、フィガルパ C/S で出口調査
- 9日：エル・ラマ市ワピ保健セクター会議、SILAIS チョンタレス CTD で進捗報告
- 10日：フィガルパ C/S で出口調査
- 11日：妊産婦管理台帳・レファラルシステム巡回指導（於：クアパ支所、フィガルパ地域病院）、SILAIS セラヤ・セントラル研修テキスト会議
- 12日：エル・ラマ市ワピ P/S で出口調査、エル・ラマ市ワピ保健セクターでフォーカス・グループ・ディスカッション（以下、FGD）、研修テキスト会議（於：アコヤパ支所）
- 13日：ヌエバ・ギネア市ナシオネス・ウニダス P/S で出口調査、ヌエバ・ギネア市ナシオネス・ウニダス保健セクターで FGD、SILAIS チョンタレス研修テキスト会議、エル・ラマ市 CTM 出席
- 16日：ヌエバ・ギネア市内 P/S で出口調査、妊産婦管理台帳・レファラルシステム巡回指導（於：コマラパ支所）
- 17日：アコヤパ市サン・フェリペ、ヌエバ・ギネア市タロリング保健セクター会議、サント・ドミンゴ市チナモス保健セクター会議
- 18日：妊産婦管理台帳・レファラルシステム巡回指導（於：ビジャ・サンディーノ支所、サント・トマス支所、サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所、エル・アヨテ支所、サント・ドミンゴ支所、リベルタ支所）
- 19日：ヌエバ・ギネア市ナシオネス・ウニダ保健セクター会議産、妊産婦管理台帳・レファラルシステム巡回指導（於：ヌエバ・ギネア支所）、サント・ドミンゴ市チナモス保健セクターで FGD
- 20日：JOCV ニカラグア医療部会プロジェクト訪問、妊産婦管理台帳・レファラルシステム巡回指導（於：エル・コラル支所）、アコヤパ市サン・フェリペ保健セクターで FGD、SILAIS セラヤ・セントラル研修テキスト会議
- 23日：アコヤパ市エル・サポテ保健セクター会議
- 24日：SILAIS チョンタレス PDM 指標会議、妊産婦管理台帳・レファラルシステム巡回指導（於：エル・ラマ支所）

- 25 日 : SILAIS セラヤ・セントラル研修テキスト会議、妊産婦管理台帳・レファラルシステム巡回指導（於：ムエジェ・デ・ロウ・ブエジェス支所）、サント・ドミンゴ市ブルン2 保健セクター会議
- 26 日 : SILAIS セラヤ・セントラル PDM 指標会議
- 27 日 : 第 4 回 JICA ニカラグア事務所定期会議、NGO・Fuden 情報交換協議
- 28 日 : 村上友美子短期専門家（公衆衛生：ヘルスプロモーション）離任
第 3 回保健省定期会議

3. 今後の予定

<12 月>

- 8 日 : 渡辺咲子専門家（副総括/業務調整/地域保健）離任
- 9 日 : SILAIS セラヤ・セントラル CTD（妊産婦管理シートと業務フロー図運用評価）
- 10 日 : SILAIS チョントレス CTD（妊産婦管理シートと業務フロー図運用評価）
- 21 日 : 石原尚子専門家（母子保健）離任

<1 月>

- 20 日 : 渡辺咲子専門家（副総括/業務調整/地域保健）帰任
- 25 日 : 石原尚子専門家（母子保健）帰任

<2 月>

- 17-18 日 : 半期評価会&ワークショップ

<3 月>

- 16 日 : 第 1 回合同調整委員会〔調整中〕

4. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

- (注) 1 業務主任者は、契約期間の月毎に本業務従事月報を作成し、監督職員へ提出する。
- 2 本月報により報告のあった内容については、必要に応じ監督職員より確認を行う場合がある。
- 3 別添には、業務計画書作成時点での「業務従事計画」と現時点での業務従事実績及び今後の従事計画を記入する。

業務従事者の従事計画／実績表

監督職員確認印:【監督職員氏名】伊藤 賢一 印

契約件名: ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト


1. 現地業務

氏名 (担当業務)	格付	渡航回数	2015年						2016年						2017年			日数合計 (日)	人月合計 (M/M)	自社負担 日数合計 (日)						
			7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9				10	11	12	1	2	3
中村 二郎 (総括/地域保健)	2	計画	251日						95日						194日			540	18.00							
		実績	2015年7月12日～11月30日															142	4.73	0						
渡辺 咲子 (副総括/業務調整/地域保健)	4	計画	150日						60日						45日			60日			30日			345	11.50	
		実績	2015年7月12日～11月30日																		142	4.73	0			
石原 尚子 (母子保健)	3	計画	165日						57日						206日						428	14.27				
		実績	2015年7月12日～11月30日																		142	4.73	0			
吉岡 浩太 (公衆衛生:調査分析)	4	計画	30日間																		30	1.00				
		実績	2015年8月4日～9月11日																		30	1.00	9			
村上 友美子 (公衆衛生:ヘルスプロモーション)	3	計画	30日間												30日間						60	2.00				
		実績	2015年10月25日～11月30日																		30	1.00	7			
濱口 陽子 (公衆衛生:ヘルスプロモーション)	4	計画							30日間												30	1.00				
		実績																								
花田 恭 (保健行政/マネージメント)	3	計画							10日間						11日間						21	0.70				
		実績																								
狐崎 知己 (保健行政)	3	計画													9日間						9	0.30				
		実績																								
高木 史江 (産科/小児ケア)	3	計画													9日間						9	0.30				
		実績																								
凡例: ■ 業務従事実績 □ 業務従事計画 ▬ 自社負担															現地業務小計			計画	1,472	49.07						
																		実績	486	16.20	16					

2. 国内業務: 該当しないため割愛

報告書等	計画	△ W/P(原案)+M/S(Ver.1)	△ M/S(Ver.2)	△ M/S(Ver.3)	△ P/R	△ F/R
	実績	△ W/P(原案)+M/S(Ver.1)				

注1) 各業務従事者の現地、国内のそれぞれの人月は、現地業務期間は30日、国内業務期間は20日で除した数字の小数点以下第3位を四捨五入して算定すること。
 注2) 現地業務と国内業務の振替えは人月単位で行うこととするため、日数に端数が出るが、この端数は国内業務の日数で調整することとし、合計人月は変更しないこと。
 注3) 各業務従事者の各配置期間の下には、日数を括弧書きで記入すること。
 注4) 実績については各配置期間の開始日、終了日を記載すること。計画については記入不要。
 注5) 通訳についても記載すること。
 注6) コンサルタント業務従事月報の添付資料とするときは、月報提出月以降の「業務従事予定日程」を括弧書きで記載すること。

様式 1
監督職員


2015年1月4日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における
母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2015年12月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. ベースライン調査

1) KAP 調査のデータ入力終了し集計を行った。分析、報告書の作成を進めている。

課題 プロジェクトで分析を進め、適宜 C/P と進捗状況を協議し、PDM 指標の作成を進める。

1-2. 研修プログラムと研修マニュアルの作成

- 1) ベースライン調査第2段階のKAP調査、出口調査およびフォーカスグループディスカッションで得られた情報と、保健ポスト・保健センター・SILAISで実施した業務の現状分析と問題点の抽出に加え、改訂された保健省令や類似案件で作成されたテキストの内容を参考に、研修プログラムの内容を再検討している。研修の流れが、PHC (MOSAFC) 体制の基本である“継続ケア”の概念に基づき、産前から産後までの切れ目のない手当ての確保と、その質の向上に向けた構成となるよう内容を整理中である。
- 2) 上記プログラムの原案に沿って、母子保健技術委員会は、研修テキスト「妊産婦管理台帳」「妊婦健診」「妊娠性高血圧」「産後出血」「小児の成長発達」全5冊の第1稿を作成した。周産期と出産、産褥期および新生児ケアと乳幼児の成長発達確認まで、基本的な一連の母子保健サービスを網羅しつつ、プログラム作成ワークショップを通じて、特に、その能力強化が、重要かつ急務であるとされた、妊娠・出産各期の異常の早期発見と緊急対応に重きを置いた内容となっている。テキスト原稿は推敲作業の終わったテーマから、両 SILAIS において保健省に提出する前段階の内容確認作業を進めている。

課題 (1) 継続ケアの概念に沿った研修プログラムの整理作業の完了
(2) SILAIS による、保健省本省提出前の研修テキスト原稿の確認
(3) 保健省本省のテキスト承認手続きの進行状況の確認とその後の印刷

1-3. レファラル・カウンターレファラル

- 1) 半期評価会後にワークショップの合意事項をフォローし、新たに導入した業務方式の活動状況をモニタリングした。一部、レファラル・カウンターレファラルの記録漏れが確認され指導した。
- 2) 両 SILAIS において、活動の実施状況に関して検討を行い、レファラルは比較的改善が見られるが、カウンターレファラルは、地域病院における治療結果の情報漏れが多く指摘され、改善を指導した。

- 課題** (1) 巡回指導を継続し、継続ケアの基本であるレファラル・カウンターレファラルシステムの各レベルで実施される業務状況を把握し、必要に応じて指導を行う。
- (2) 各 SILAIS の技術審議会にて抽出された課題を協議し改善を図る。

1-4. ESAFC によるコミュニティ活動

- 1) 8か所のパイロット保健セクターのうち5カ所において、保健ボランティアネットワーク集会を開催し、出産計画指導、各コミュニティ訪問活動などについて協議した。適宜、助言・提言を行った。
- 2) ベースライン調査から ESAFC の最大の弱点は、頻繁な職員異動や交代であり、活動の継続性が低いことが指摘された。プロジェクトは、コミュニティ活動に関わる保健省令を基にパイロット保健セクター用に、ESAFc によるコミュニティ活動の手順を整理し、C/P と協議して下記 13 項目の活動手法（案）を作成した。
 - (1) 保健ボランティアネットワークリストの作成
 - (2) 保健ボランティアネットワーク集会の毎月の開催
 - (3) 家族調査票の作成
 - (4) コミュニティマップの作成
 - (5) 保健ボランティアネットワークとの保健セクター分析
 - (6) 保健ボランティアネットワーク向けの出産計画研修実施
 - (7) 出産計画の実施
 - (8) 保健活動の計画・実施・評価
 - (9) 保健ボランティアネットワークによるコミュニティ集会の開催
 - (10) 保健ボランティアネットワークによる活動計画立案
 - (11) 保健ボランティアネットワークによる活動の実施
 - (12) 保健ボランティアネットワークによる活動の評価
 - (13) 他保健セクターとの知見共有

- 課題** (1) ESAFC によるコミュニティ活動の活動手法をテキスト化する。
- (2) 保健ボランティアネットワーク集会が実施されなかった3か所の保健セクターにおいて、保健ボランティアネットワーク集会の開催を促進する。
- (3) SILAIS、支所、パイロット地区の ESAFC と協議し、ESAFc によるコミュニティ活動の活動手法の導入を進める。
- (4) 保健ボランティアネットワーク集会をフォローし、適宜 ESAFC メンバーへの OJT を継続して実施する。

1-5. 巡回指導

- 1) 支所レベルでは各 ESAFC との間で、妊産婦管理台帳 (Censo Gerencial) の適切な記載、高リスク妊婦の特定およびフォローの有無などを毎週確認している。プロジェクトは、両 SILAIS と共に活動状況をモニタリングし、必要に応じて適宜指導した。
- 2) プロジェクトで導入したレファラル・カウンターレファラルの業務方式が適切に実施されているか、巡回指導を継続した。所定の様式において記述の不備が明らかになったので、OJT を行った。

課題 両 SILAIS において、活動の実施状況をモニタリング評価する。

1-6. 運營業務

- 1) PDM 指標に関して、JICA 人間開発部担当者およびニカラグア事務所担当者と協議し、基準値と目標値を検討した。また、一部指標の標記について修正案が示された。

課題 PDM 指標について、設定可能の可否などを整理し、指標案を提示する。

- 2) NGO・FUDEN が SILAIS セラヤ・セントラルで計画している医療機材の重複供与の回避を目的として、JICA ニカラグア事務所と協力し FUDEN との情報交換を開始した。

課題 FUDEN が供与した医療機材の品目・個数・配置場所を確認する。

1-7. 関連事項

- 1) プロジェクト開始式の模様が、地元 TV や JICA ニカラグア事務所の Facebook で紹介された。

2. 活動日程

<12月>

- 1日：SILAIS セラヤ・セントラル技術審議会（以下、CTD）（妊産婦管理シートと業務フローチャート運用評価）
- 2日：両 SILAIS 研修テキスト会議
- 3日：エル・ラマ市巡回指導
- 4日：SILAIS セラヤ・セントラル研修テキスト会議
- 5日：JICA 人間開発部・大里職員、JICA ニカラグア事務所・堀江企画調査員とプロジェクト事務所で協議
- 8日：渡辺咲子専門家（副総括/業務調整/地域保健）離任
- 9日：サント・トマス支所、アコヤパ支所巡回指導、SILAIS チョントレスおよびセラヤ・セントラル CTD
- 10日：ヌエバ・ギネア市ナシオネス・ウニダス保健セクター会議、アコヤパ市サン・フェリペ保健セクター会議、SILAIS セラヤ・セントラル CTD
- 11日：ヌエバ・ギネア市ナシオネス・ウニダス保健セクター会議、ヌエバ・ギネア支所巡回指導、SILAIS チョントレス研修テキスト会議

- 14日：エル・ラマ市ワピ保健セクター会議、エル・ラマ市巡回指導
- 15日：サント・ドミンゴ市チナモス保健セクター会議、サント・ドミンゴ支所巡回指導
- 16日：SILAIS セラヤ・セントラル研修テキスト会議
- 17日：SILAIS チョントレス研修テキスト会議
- 18日：ヌエバ・ギネア支所巡回指導、SILAIS セラヤ・セントラル研修テキスト会議、SILAIS チョントレス研修テキスト会議
- 21日：石原尚子専門家（母子保健）離任、フィガルパ地域病院巡回指導、SILAIS セラヤ・セントラル技術審議会
- 22日：両 SILAIS と ESAFC のコミュニティ活動手法会議
- 23日：SILAIS チョントレス ESAFC のコミュニティ活動手法会議

3. 今後の予定

<1月>

- 5日：SILAIS チョントレスおよびパイロット市と ESAFC のコミュニティ活動手法会議
- 6日：SILAIS セラヤ・セントラルおよびパイロット市と ESAFC のコミュニティ活動手法会議、サント・ドミンゴ市ブルン2保健セクター会議
- 8日：エル・ラマおよびヌエバ・ギネアパイロット市およびパイロット保健セクターと ESAFC のコミュニティ活動手法会議
- 11日：エル・ラマ市ワピ保健セクター会議
- 12日：サント・ドミンゴ市チナモス保健セクター会議
- 14日：ヌエバ・ギネア市ナシオネス・ウニダス保健セクター会議
- 20日：渡辺咲子専門家（副総括/業務調整/地域保健）着任
- 25日：石原尚子専門家（母子保健）着任

<2月>

- 17-18日：半期評価会&ワークショップ

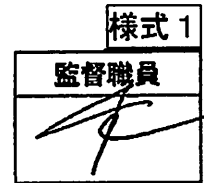
<3月>

- 9日：第1回合同調整委員会〔調整中〕

4. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

- (注) 1 業務主任者は、契約期間の月毎に本業務従事月報を作成し、監督職員へ提出する。
2 本月報により報告のあった内容については、必要に応じ監督職員より確認を行う場合がある。
3 別添には、業務計画書作成時点での「業務従事計画」と現時点での業務従事実績及び今後の従事計画を記入する。



2016年2月2日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における
母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2016年1月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. ベースライン調査

1) ベースライン調査結果を集計、分析し、報告書の作成を進めている。

- 計画 (1) ベースライン調査結果を保健省（本省、SILAIS、支所）へ報告する。
(2) ベースライン調査報告書を JICA へ提出する。

1-2. 研修プログラムと研修マニュアルの作成

- 1) 研修プログラムが、保健省の「家族コミュニティ保健モデル (MOSAFC)」で展開される、母子継続ケアのプロセスに沿って構成されたものであることを示す概念図(案)を日本人専門家側で作成した。(添付1参照)
- 2) 上記プログラムの原案に沿って、研修プログラム5項目の「妊産婦管理台帳」「妊婦健診」「妊娠性高血圧」「産後出血」「小児の成長発達」について、研修テキスト(受講者用)、研修事前事後テスト、ケーススタディを作成し、その内容が、ニカラグアの現状(最新の情報)に即したものとなっているか、説明や表現方法の正確性、適切さなどについて、検証を進めている。
- 3) 研修用ガイド(ファシリテーター用)の草稿を作成した。

- 計画 (1) 日本人専門家側にて作成した研修プログラム継続ケア概念図をカウンターパートと共有し、確定する。
(2) 保健省本省および SILAIS と研修テキスト等の教材の最終検証を行う。
(3) 研修に必要な資機材を揃え、ファシリテーター研修の準備を進める。
(4) 14市から選抜された28名のうち、14名(医師7名+看護師7名)に対して第1回ファシリテーター研修を開催する。

1-3. ESAFC による保健セクター活動

- 1) ESAFC がコミュニティネットワーク¹ (Red Comunitaria、以下 RC) に働きかけ、地域で保健活動を展開するための、13 項目の活動手法 (案) を C/P と共に作成した。13 項目のうち、下記 (1)～(8) は MOSAFC の既存の活動であり、(9)～(13) はプロジェクトが推進する活動である。(1)～(12) は保健セクター内の活動であり、(13) は支所レベルの活動である。
 - (1) RC リストの作成
 - (2) 保健セクター会議の毎月の開催
 - (3) 家族調査票の作成
 - (4) 集落マップの作成
 - (5) RC との保健セクターおよび集落の分析
 - (6) RC 向けの出産計画研修実施
 - (7) 出産計画の実施
 - (8) 保健活動の計画・実施・評価
 - (9) RC による集落集会の開催
 - (10) RC による活動計画立案
 - (11) RC による活動の実施
 - (12) RC による活動の評価
 - (13) 保健セクター間の知見共有
- 2) 8 パイロット保健セクターで、13 項目の活動を 1 年間で実施する計画で各パイロット市および ESAFC と合意し、活動を開始した。プロジェクトは各パイロット保健セクターにおいて活動支援を開始した。
- 3) ESAFC と RC の活動のモニタリング様式 (案) を作成した。
- 4) ESAFC 活動の現状を添付 2 に記載した。

- 計画** (1) ESAFC による RC との 13 活動を支所担当官と共にフォロー、モニタリングし、適宜 OJT を実施する。
- (2) 上記では、作成したモニタリング様式を試用し、改訂する。

1-4. 巡回指導

- 1) 支所レベルでは各 ESAFC との間で、妊産婦管理台帳の適切な記載、高リスク妊婦の特定およびフォローの有無などを毎週確認している。プロジェクトは、両 SILAIS と共に活動状況をモニタリングし、必要に応じて適宜指導した。
- 2) プロジェクトで導入したレファラル・カウンターレファラルの業務方式が適切に実施されているか、巡回指導を継続している。所定の様式における記述の不備が明らかになったので、OJT を行った。

- 計画** (1) 両 SILAIS および各支所と活動の実施状況をモニタリング評価する。
- (2) レファラル・カウンターレファラル業務フローチャートの見直しを行う。

¹ 保健セクター会議に参加するメンバーのこと。主に保健ボランティア、伝統的分娩助産者、マラリアボランティアなどで構成される。地域により警察官、教員、政党代表などもメンバーとなっている。

1-5. 運營業務

- 1) PDM 指標の確定に向けて、両 SILAIS とベースライン調査データを基に協議を進めている。協議では、ニカラグアでは、多くの母子保健基本指標はすでに高水準に設定されており、PDM 指標の具体的な数値を巡っては、毎回、議論が白熱する。SILAIS レベルでは確定できない指標もあり、保健省との調整が不可欠である。プロジェクトでは、数値の決定に際して、保健省のデータベースもしくはエンドライン調査で入手可能なデータを用いることにしている。

計画 PDM 指標（案）を JICA 人間開発部および保健省本省へ提示する。

- 2) 供与機材の確定次第、FUDEN から情報が提供されることになった。JICA が供与する機材のスペックやメンテナンス基準を決定するため、JICA ニカラグア事務所と共に、保健省対外協力局および保健資材総局からヒアリングし、機材配置基準、留意事項、機材メンテナンスの課題などを確認した。

計画 (1) SILAIS セラヤ・セントラルと FUDEN の供与機材の配置計画を確認する。
(2) 両 SILAIS から申請のあった供与機材のスペックを作成する。

1-6. 留意・懸念事項

- 1) 中南米で拡大しているジカ熱の感染が1月下旬にニカラグアでも確認された。ニカラグア国内ではデング熱の感染率も高く、ファシリテーター研修やパイロット市などの今後のプロジェクト活動への影響が懸念される。また、保健省のジカ熱に関連する母子保健政策の動きを注視する
- 2) 保健セクターの再編成が今年度に入り新たに協議されており、今後の動向によりパイロット保健セクターを含む保健セクターの分割・合併などの可能性がある。分割・合併が起きると、保健施設の移動・変更、ESAFc 職員の人事異動、新たなコミュニティネットワークの構築などが起こり、パイロット保健セクターで進めている実践的な活動は振出しに戻る可能性がある。

2. 活動日程

<1月>

- 4日：SILAIS チョントレス ESAFC の保健セクター活動手法会議
- 5日：SILAIS セラヤ・セントラル技術審議会（以下、CTD）（ESAFc の保健セクター活動手法共有）
- 6日：サント・ドミンゴ市ブルン2保健セクター会議、エル・ラマ市 ESAFC13 項目活動会議
- 8日：第4回保健省定期会議、エル・ラマ市 ESAFC の保健セクター活動手法会議
- 11日：エル・ラマ市ワピ保健セクター会議、ヌエバ・ギネア市 ESAFC と保健セクター活動手法会議
- 12日：アコヤパ市サン・フェリペ保健セクター会議（於：オルケタ集落）、サント・ドミンゴ市チナモス保健セクター会議

- 13日：ヌエバ・ギネア支所巡回指導
- 14日：ヌエバ・ギネア市ナシオネス・ウニダス保健セクター会議、サント・トマス支所巡回指導、サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所巡回指導
- 15日：ES AFC 活動モニタリング様式作成会議、PDM 指標会議
- 18日：SILAIS チョントレス CTD（以下、CTD）（ES AFC の保健セクター活動手法共有）
- 19日：ヌエバ・ギネア市タロリング保健セクター会議、コマラパ支所巡回指導、クアパ支所巡回指導
- 20日：渡辺咲子専門家（副総括/業務調整/地域保健）着任、アコヤパ市 ES AFC13 項目活動会議、ラ・リベルタ支所巡回指導
- 21日：サント・ドミンゴ市 ES AFC13 項目活動会議、エル・コラル巡回指導、ムエジェ・デ・ロス・ブエセス支所巡回指導
- 22日：第5回 JICA ニカラグア事務所定期会議
- 25日：石原尚子専門家（母子保健）着任、SILAIS セラヤ・セントラル PDM 指標会議、SILAIS チョントレス PDM 指標会議
- 26日：コマラパ支所巡回指導、クアパ支所巡回指導
- 27日：エル・ラマ支所巡回指導、SILAIS チョントレス PDM 指標会議
- 28日：アコヤパ市エル・サポテ保健セクター会議
- 29日：両 SILAIS 合同 PDM 指標会議、保健省本省供与機材会議

3. 今後の予定

<2月>

- 1日：SILAIS チョントレス CTD および SILAIS セラヤ・セントラル CTD（第2回半期評価会活動設定）
- 2日：保健省本省・SILAIS 合同の研修教材検証会議（於：フィガルパ）
- 3日：アコヤパ市サン・フェリペ保健セクター会議（於：サン・フェリペ集落）、サント・ドミンゴ市ブルン2保健セクター会議
- 6日：第4回保健省定期会議
- 9日：サント・ドミンゴ市チナモス保健セクター会議
- 11日：ヌエバ・ギネア市ナシオネス・ウニダス保健セクター会議
- 12日：エル・ラマ市ワピ、マロン保健セクター会議
- 18日：ヌエバ・ギネア市タロリング保健セクター会議
- 23-24日：第2回半期評価会&ワークショップ
- 24-26日：第1回ファシリテーター研修
- 26日：アコヤパ市エル・サポテ保健セクター会議（於：エル・サポテ集落）

<3月>

- 2-4日：第2回ファシリテーター研修
- 3日：アコヤパ市エル・サポテ保健セクター会議（於：チナル集落）
- 9日：第1回合同調整委員会（調整中）

4. 業務従事者の従事計画／実績表

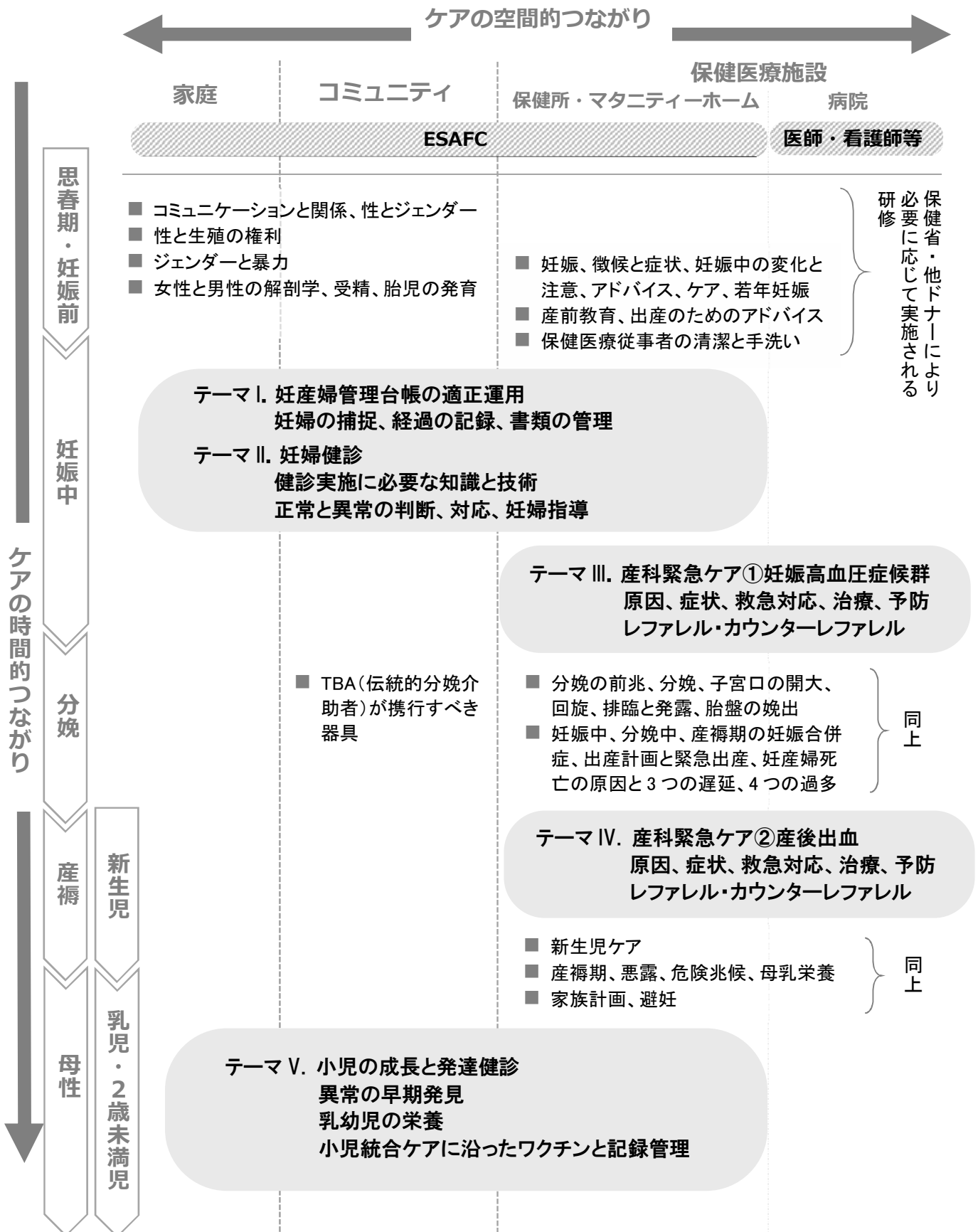
別添のとおり

添付1

ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト
Proyecto SAMANI

継続ケアの概念と NORMA(省令)に沿った母子保健研修プログラム概要

(テーマ I ~ V)



添付2

各パイロット保健セクターの現状は下記のとおりである。

市	保健セクター（セクター番号）	集落数	現 状
サント・ドミンゴ	チナモス (3)	8	ES AFC は RC 集会、集落訪問を1年以上実施していなかった。1月のRC集会は8集落中4集落から参加した。集落マップ作成を開始した。今後セクター再編成の可能性はある。
	ブルン2 (4)	5	ES AFC は RC 集会を実施していなかったが、集落訪問は実施していた。1月のRC集会は5集落中1集落のみ参加した。RCの構築が必要である。
アコヤパ	サン・フェリペ (7)	11	ES AFC は毎月集落を訪問し、集落別にRCと個別協議している。パイロット保健セクター中、唯一出産計画が実施されている。不定期だったRC集会は2地域に分割し、隔月で実施する予定である。1月のRC集会はオルケタ集落で開催し、呼びかけた4集落全てが参加した。今後セクター再編成の可能性はある。
	エル・サポテ (8)	7	ES AFC は毎月集落を訪問し、集落別にRCと個別協議している。不定期だったRC集会は2地域に分割し、隔月で実施する予定である。1月のRC集会はチナル集落で開催し、呼びかけた5集落中4集落が参加した。集落2つの増加が想定されている。また、保健セクター再編成の可能性はある。
エル・ラマ	マロン (12)	5	2015年に1つの保健セクターが5つに分かれた。2015年にこの保健セクターで妊産婦が死亡した。集落カベセラ・バレンティンから集落マロンへ保健施設である保健の家が2015年12月に移動したことにより保健セクターの名称がマロンへ変更された。1月のRC集会は5保健セクター合同で実施した。保健セクターの基本的機能が開始されていない。
	グアピ (14)	9	2015年に1つの保健セクターが5つに分かれた。1月のRC集会は5保健セクター合同で実施した。保健セクターの基本的機能が開始されていない。
ヌエバ・ギネア	タロリンガ (9)	4	ES AFC は RC 集会を年1回実施していた。この保健セクターのRC集会は保健ボランティアや伝統的分娩介助者以外に、警察、政党员なども参加している。1月のRC集会は4集落中2集落から参加した。1月から人員交替した医師が着任した。
	ナシオネス・ウニダス (26)	5	ES AFC は RC 集会を1年以上実施していなかった。2015年12月に担当医師が退職し、現在は医師が不在である。1月のRC集会は5集落全てから参加した。退職した医師へのクレームがRCメンバーより挙げられた。集落マップ作成を開始した。

業務従事者の従事計画／実績表

監督職員確認印:【監督職員氏名】伊藤 賢一 印

契約件名: ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

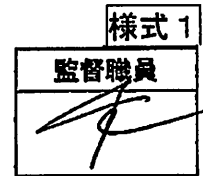
1. 現地業務

氏名 (担当業務)	格付		渡航回数	2015年												2016年												2017年			日数合計 (日)	人月合計 (M/M)	自社負担 日数合計 (日)																																																	
				7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																																										
中村 二郎 (総括/地域保健)	2	計画	2	251日												95日												194日			540	18.00																																																		
		実績	1	[実績]												(2015年7月12日～2016年1月31日)															204	6.80	0																																																	
渡辺 咲子 (副総括/業務調整/地域保健)	4	計画	4	[計画]												60日												45日												60日			345	11.50																																						
		実績	1	[実績]												150日												[実績]												(2016年1月20日～1月31日)			162	5.40	0																																					
石原 尚子 (母子保健)	3	計画	3	[計画]												57日												206日															428	14.27																																						
		実績	1	[実績]												165日												[実績]												(2016年1月25日～1月31日)			172	5.73	0																																					
吉岡 浩太 (公衆衛生:調査分析)	4	計画	1	[計画]												[計画]												30日間			30	1.00																																																		
		実績		[実績]												39日															30	1.00	9																																																	
村上 友美子 (公衆衛生:ヘルスプロモーション)	3	計画	2	[計画]												[計画]												30日間			60	2.00																																																		
		実績		[実績]												37日															30	1.00	7																																																	
濱口 陽子 (公衆衛生:ヘルスプロモーション)	4	計画	1	[計画]												[計画]												30日間			30	1.00																																																		
		実績		[実績]												[実績]																																																																		
花田 恭 (保健行政/マネージメント)	3	計画	2	[計画]												10日間												11日間			21	0.70																																																		
		実績		[実績]												[実績]																																																																		
狐崎 知己 (保健行政)	3	計画	1	[計画]												[計画]												9日間			9	0.30																																																		
		実績		[実績]												[実績]																																																																		
高木 史江 (産科/小児ケア)	3	計画	1	[計画]												[計画]												9日間			9	0.30																																																		
		実績		[実績]												[実績]																																																																		
凡例:				業務従事計画																								業務従事実績																								自社負担																								現地業務小計			計画	1,472	49.07	
																																																																															実績	598	19.93	16

2. 国内業務: 該当しないため割愛

報告書等	計画	△ W/P(原案) + M/S(Ver.1)	△ M/S(Ver.2)	△ M/S(Ver.3)	△ P/R	△ F/R
	実績	△ W/P(原案) + M/S(Ver.1)				

注1)各業務従事者の現地、国内のそれぞれの人月は、現地業務期間は30日、国内業務期間は20日で除した数字の小数点以下第3位を四捨五入して算定すること。
 注2)現地業務と国内業務の振替えは人月単位で行うこととするため、日数に端数が出るが、この端数は国内業務の日数で調整することとし、合計人月に変更しないこと。
 注3)各業務従事者の各配置期間の下には、日数を括弧書きで記入すること。
 注4)実績については各配置期間の開始日、終了日を記載すること。計画については記入不要。
 注5)通訳についても記載すること。
 注6)コンサルタント業務従事月報の添付資料とするときは、月報提出月以降の「業務従事予定日程」を括弧書きで記載すること。



2016年3月5日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における
母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2016年2月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. ベースライン調査

- 1) 専門家が分担して作業してきたベースライン調査の集計が終わり、結果報告書（和文）の作成を専門家が分担して進めている。
主な記載内容は、PDM 指標のベースとなる第1次調査の母子保健行政に関わる基本情報、社会資本情報、プロジェクトの詳細な活動内容を決める第2次調査の KAP 調査、フォーカスグループディスカッション、母子保健サービス実状調査について、調査手法、結果と考察で構成されている。
- 2) 結果報告書（和文）をベースとして、翻訳作業も進めている。
- 3) 結果概要（西文）について、保健省本省（保健サービス総局、対外協力局）、SILAIS、支所に対し半期評価会で発表した。KAP 調査のマタニティホームに関する調査結果では、C/P の予想に反して半数近くの妊婦がサービス内容を知らなかった。また、実状調査結果では、基本的な妊婦のバイタルサインの結果分析すらできていなかったことを反省していた。

計画

- (1) 合同調整委員会（JCC）において、ベースライン調査報告を発表する。
- (2) ベースライン調査報告書（和文）を JICA 人間開発部へ提出する。
- (3) ベースライン調査報告書（西文）を専門家とテクニカルアシスタントが分担して作成する。

1-2. 研修プログラムと研修マニュアルの作成

- 1) 研修プログラムの継続ケア概念図（月報 2016 年 1 月参照）をカウンターパートと共有し、確定した。

- 2) プログラム策定グループ（両 SILAIS が選抜した 10 名、月報 2015 年 8 月、1-4 参照）で策定した研修テキストおよびプレ・ポストテストを検証するための会合を開催した。参加者は、保健省本省（保健サービス局 MOSAFC 担当技官、同リプロダクティブヘルス担当技官、同母子保健担当技官、同看護課副課長）、両 SILAIS 代表者およびプログラム策定グループメンバーであった。この検証の結果、研修テキストの修正・加筆が行われ、保健省からの印刷許可を得て研修テキスト（試行版）が完成した。
- 3) SILAIS と共に研修ファシリテーター選定基準を協議し、対象 14 支所からファシリテーターとして医師・看護師を選出することとなった。これは、各支所の医療従事者に対して研修をカスケード方式で実施できるように配慮した。各 SILAIS から適任と思われる医師・看護師計 28 名を選出した。
- 4) 第 1 回ファシリテーター研修は、各支所から 1 名招集し、受講者の構成は医師および看護師を各 7 名、計 14 名とした。研修プログラム作成に携わったプログラム策定グループのメンバーが講師として各テーマや役割分担を決めて研修を開催した。専門家とテクニカルアシスタントは、研修をサポートした。
- 5) 研修内容は、継続ケアの概念に沿った 5 項目「妊産婦管理台帳」「妊婦健診」「妊娠性高血圧」「産後出血」「小児の成長発達」および喫緊の課題である「ジカ熱対策」とした。研修は、研修テキスト（試行版）をベースとし、テキスト内容の Powerpoint 教材、各項目の指導法、研修事前事後テスト、実践的な技術作業、グループワーク、ビデオ映像などを含み、3 日間の日程で実施した。

- 計画 (1) 14 市から選抜された 28 名のうち、残り 14 名（医師 7 名＋看護師 7 名）に対して第 2 回ファシリテーター研修を開催する。
- (2) パイロット市（SILAIS チョントレスのアコヤパ市、サント・ドミンゴ市、SILAIS セラヤ・セントラルのエル・ラマ市、ヌエバ・ギネア市）で実施する研修計画を立案する。

1-3. ESAFC による保健セクター活動

- 1) 4 市 8 か所のパイロット保健セクターの ESAFC は、コミュニティネットワーク（Red Comunitaria、以下 RC）を招集し、保健セクター会議を開催した。プロジェクトが導入した住民参加型保健強化活動の試行モデル（以下 13 項目活動、月報 2016 年 1 月、1-3 参照）に即し、13 項目の活動の中から優先順位をつけて、それぞれ活動に取り組んでいる。これまでに取り組んだ主な活動は、RC リストの作成、集落マップの作成、家族調査票の作成、出産計画研修実施である。また、各 ESAFC は、ジカ熱に関する基本情報および対策に関して、RC に対し啓発研修を開催し、住民に対する感染予防活動の実施を推奨した。
- 2) プロジェクトは、SILAIS および支所の C/P と共に 8 か所のパイロット保健セクターをモニタリングし、ESAFc および RC に対して、適宜、保健セクター会議・研修支援、活動実施に向けたモチベーションの向上を図り、助言、OJT を行った。
- 3) プロジェクトは 13 項目活動のモニタリング評価シート（添付 1）を策定し、本省、両 SILAIS および 14 支所が参加した半期評価会において、評価基準の修正を加え、パイロット保健セクターから同モニタリング評価シートを導入することを決めた。同モニタリング評価シートは、13 項目活動に合わせたチェック項目で評価する。プロジェクトは半期ごと、SILAIS および支所は 3 カ月おきに評価することで合意した。また、モニタリング活動を重ねて、必要に応じてモニタリング評価シートを改定する計画であ

る。

- 計画 (1) ESAFCによるRCとの13項目活動を支所担当官と共にフォロー、モニタリングし、適宜OJTを実施する。

1-4. 第2回半期評価会、ワークショップ

2015年10月に開催した第1回半期評価会・ワークショップに続き、第2回を開催した。保健省本省（保健サービス総局、対外協力局）、SILAIS、支所、病院から1日目40名、2日目34名の職員とJICA事務所担当者およびプロジェクト専門家、テクニカルアシスタントらが出席した。1日目は妊産婦管理台帳等、ESAFcに関わる内容であったことから、パイロット支所のESAFc担当官も出席した。プロジェクトの進捗状況を確認・評価し、課題やその対策などについて協議した。主な内容を下記に示す。

- 1) プロジェクトの進捗を発表し、ワークプランの活動内容・計画に沿って遅延のないことを共有・確認した。
- 2) 第1回半期評価会・ワークショップで立案した妊産婦管理台帳に関する活動計画の進捗、活動における課題（データ入力確認、分析および行動の決定、妊産婦のフォロー等）を各支所が発表し共有した。それら課題に対する解決方法や管理および分析方法の改善に関して参加者間で意見交換を行った。
- 3) 第2次ベースライン調査（KAP調査、フォーカスグループディスカッション、保健サービスの実状調査）に関して、プロジェクトは調査結果および分析結果を発表し、保健省C/Pと意見交換を行った。すでに研修プログラムに含めている技術研修や住民に対するプロモーション活動が必要であるという認識を共有した。
- 4) 第1回半期評価会・ワークショップで業務フローチャートを作図し、活動を取り組み始めたレファラル・カウンターレファラルについて、2015年11月から2016年1月までの支所・病院の記録数を確認した。その結果、記録データの一致率の低いことが確認された。課題を抽出し、その改善方法について参加者間で意見交換を行い、改善策を立案した。抽出された課題は、レファラルにおける送り側と受入側のコミュニケーション不足、カウンターレファラルにおける診断・診療に関わる記載漏れや乱筆、記録の送受および未記録等が挙げられた。改善方法は、SILAIS、病院と支所間の合同レファラルシステム会議の開催、病院医師に対する再研修、分析不足等が挙げられた。また、それらの結果を踏まえ、業務フローチャートを改図した（添付2参照）。

表）緊急搬送とカウンターレファラルの記録

支所名	緊急搬送記録数						カウンターリファラー記録数						
	支所			リージョナル病院			リージョナル病院			支所			
	11月	12月	1月	11月	12月	1月	11月	12月	1月	11月	12月	1月	
SILAIS チオンタレス	アコヤバ	70	54	70	37	37	47	119	114	95	31	30	40
	コマラバ	9	15	8	10	13	16	32	53	43	5	43	12
	クアパ	12	9	17	3	2	18	21	18	24	5	1	4
	エル・アヨテ	7	13	8	8	8	14	31	40	39	18	22	10
	フィガルバ	0	0	1	4	3	14	484	507	476	105	59	16
	ラ・リベルタ	29	23	62	15	20	45	82	66	65	27	69	28
	サン・ペドロ・デ・ロバゴ	15	10	18	11	12	28	30	44	45	22	12	12
	サント・ドミンゴ	2	1	2	20	4	22	51	43	43	64	38	30
	サント・トマス	4	3	3	35	32	55	87	80	79	64	57	43
	ビジャ・サンディーノ	30	30	22	36	12	33	63	57	55	20	23	20
チオンタレス合計	178	158	211	179	143	292	1000	1022	964	361	354	215	
SILAIS セラヤ・セントラル	エル・コラル	14	27	21	11	10	16	29	35	25	1	9	6
	エル・ラマ	66	60	171	54	59	72	113	113	102	記録なし	記録なし	155
	ムエジェ・デ・ロス・ブエセス	55	35	60	47	16	48	38	43	42	記録なし	記録なし	記録なし
	ヌエバ・ギネア	175	130	187	67	77	176	218	208	215	121	147	153
	セラヤ・セントラル合計	310	252	439	179	162	312	398	399	384	122	156	314

- 5) ESAFC とコミュニティネットワークの 13 項目活動に関するモニタリング評価シート（1-3, 3 参照）、ファシリテーター研修計画（1-2 参照）に関して情報共有および意見交換を行った。

第 2 回半期評価会、ワークショップにおける主な合意内容は以下のとおりである

- 1) 各支所は、妊産婦管理台帳の運用に関して共有した課題や対策を反映した半期の活動計画を作成し、3 月 8 日および 10 日に両 SILAIS で開催される技術審議会に提出する。
- 2) パイロット保健セクターにおいて、13 項目活動に関するモニタリング評価シートを用いた評価を半期ごとに実施する。
- 3) レファラル・カウンターレファラルについて、医師に対する記録・記載強化、定期的なモニタリング、継続ケアの必要な患者の管理および情報共有などの合意した活動を即時実施する。

- 計画** (1) 妊産婦管理台帳に関する半期活動計画を確認し、その実施について巡回指導する。
- (2) レファラル・カウンターレファラルの活動をスーパーバイズし、適宜指導する。

1-5. 運營業務

1) PDM version2 の作成

PDM 指標の確定に向けて、保健省および JICA 人間開発部と意見交換をしつつ、PDM 指標について調整を進めている。また、3 月 9 日に開催予定のプロジェクト合同調整委員会の開催に関して、保健省と調整している。

- 計画** PDM 指標を確定し、合同調整委員会において PDM ver. 2 の承認を得る。

2) 供与機材

各 SILAIS が選定した機材リストを基に、保健省本省（保健サービス総局、保健資機材総局、調達総局、対外協力局）と供与機材の配置・選定・仕様基準および数量に関して協議を重ねた。供与機材の機材仕様書（西文）は、保健資機材総局の協力を得て作成した。また保健省の推奨する医療機材業者 9 社を訪問し、製造元が OECD-DAC 加盟国で、現地調達が可能な医療機材の情報収集をしつつ、仮見積りの取り付けを開始し、暫定購入価格の確定を進めている。最終選定された機材リストを添付する（添付 3）。スペイン系 NGO の FUDEN から提供されることになっていた SILAIS セラヤ・セントラル向けの機材情報は、活動資金元のスペイン国際開発協力庁（AECID）の承認を得られず、提供できないと連絡があった。プロジェクトは、継続して FUDEN と情報の共有を図る。

- 計画** (1) 合同調整委員会において、供与機材リストおよび配置計画の承認を得る。
- (2) 仮見積もりを揃え、JICA 事務所へ提出する。
- (3) SILAIS セラヤ・セントラルをとおして、FUDEN の供与機材情報を確認する。

1-6. 関連事項

- 1) 2016 年度保健省予算と計画
2016 年度の保健省予算が確定し、保健省は活動計画と共に各 SILAIS（支所、ESAFIC を含む）へ配分した。予算の配分は前年度の SILAIS の実績を基に保健省本省が定める。SILAIS はこの予算と計画に沿って、活動を実施しなければならない。
- 2) 運河工事および大統領選挙に関わる動き
昨年まで盛んに聞かれた運河工事の話題は、ニュースに挙がらなくなったが、SILAIS セラヤ・セントラルの管轄地域の運河工事予定地では、外国人とのトラブルの話が散見される。運河工事をはじめ現政府への反対派は毎週水曜日に各地で集会を催しているが、今のところ限定的である。今年は大統領選挙の年であり、運河に限らず政権派、反政権派は共に活発な行動が予想されている。保健省職員は今年に入り政党活動も兼ねて毎週土曜日にも保健活動に従事している。金・土曜日は全国的にフィールド活動が推奨されており、通常隔週の金曜日に記載されていた保健大臣審議会は、現在隔週木曜日に開催されている。この方針は 10 月まで続くと SILAIS 局長から説明があった。

2. 活動日程

<2月>

- 1 日：SILAIS チョントレス CTD および SILAIS セラヤ・セントラル CTD（第 2 回半期評価会
アジェンダ設定）
- 2 日：保健省本省・SILAIS 合同の研修教材検証会議（於：フィガルパ）
- 3 日：アコヤパ市サン・フェリペ保健セクター会議、サント・ドミンゴ市ブルン 2 保健セ
クター会議
- 5 日：SILAIS セラヤ・セントラル研修教材策定会議
- 6 日：第 4 回保健省定期会議
- 8 日：医療機材業者訪問
- 9 日：サント・ドミンゴ市チナモス保健セクター会議、医療機材業者訪問、保健省と機材
スペック会議
- 10 日：SILAIS チョントレス研修教材策定会議
- 11 日：保健省本省で供与機材スペックおよび数量会議、ヌエバ・ギネア市ナシオネス・ウ
ニダス保健セクター会議
- 12 日：エル・ラマ市ワピ、マロン保健セクター会議
- 16 日：SILAIS セラヤ・セントラル研修教材策定会議
- 17 日：SILAIS チョントレス研修教材策定会議
- 18 日：ヌエバ・ギネア市タロリング保健セクター会議
- 22 日：保健省本省で PDM 指標会議
- 23-24 日：第 2 回半期評価会&ワークショップ
- 24-26 日：第 1 回ファシリテーター研修
- 26 日：アコヤパ市エル・サポテ保健セクター会議、高田 JICA ニカラグア所長がファシリテ
ーター研修を視察。
- 28 日：花田短期専門家（保健行政・マネージメント）着任
- 29 日：保健省本省で PDM 指標会議

3. 今後の予定

<3月>

- 2日：サント・ドミンゴ市ブルン2保健セクター会議
- 2-4日：第2回ファシリテーター研修
- 3日：アコヤパ市エル・サポテ保健セクター会議（於：チナル集落）
- 9日：第1回合同調整委員会
- 10日：花田恭短期専門家離任
- 15日：ヌエバ・ギネア市タロリング保健セクター会議
- 17日：ヌエバ・ギネア市ナシオネス・ウニダス保健セクター会議
- 18日：エル・ラマ市マロン保健セクター会議
- 19日：渡辺咲子専門家離任
- 20日：石原尚子専門家離任

4. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

5. 添付書類

添付1：13項目活動のモニタリング評価シート

添付2：レファラル・カウンターレファラルシステムの業務フローチャート

添付3：最終選定された供与機材リスト

業務従事者の従事計画／実績表

監督職員確認印:【監督職員氏名】伊藤 賢一 印

契約件名: ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

1. 現地業務

氏名 (担当業務)	格付		渡航 回数	2015年												2016年												2017年			日数 合計 (日)	人月 合計 (M/M)	自社負担 日数合計 (日)
				7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3									
中村 二郎 (総括/地域保健)	2	計画	2	251日												95日												194日			540	18.00	/
		実績	1													(2015年7月12日～2016年2月29日)															233	7.77	0
渡辺 咲子 (副総括/業務調整/地域保健)	4	計画	4	60日												45日												60日			345	11.50	/
		実績	1	150日												(2016年1月20日～2月29日)												30日			191	6.37	0
石原 尚子 (母子保健)	3	計画	3	57日												206日															428	14.27	/
		実績	1	165日												(2016年1月25日～2月29日)															201	6.70	0
吉岡 浩太 (公衆衛生:調査分析)	4	計画	1	39日																											30	1.00	/
		実績																													30	1.00	9
村上 友美子 (公衆衛生:ヘルスプロモーション)	3	計画	2	30日間																											60	2.00	/
		実績		37日																											30	1.00	7
濱口 陽子 (公衆衛生:ヘルスプロモーション)	4	計画	1	30日間																											30	1.00	/
		実績																															/
花田 恭 (保健行政/マネージメント)	3	計画	2	11日間																											21	0.70	/
		実績		(2016年2月28日～2月29日)																													2
狐崎 知己 (保健行政)	3	計画	1	9日間																											9	0.30	/
		実績																															/
高木 史江 (産科/小児ケア)	3	計画	1	9日間																											9	0.30	/
		実績																															/
凡例:		■ 業務従事計画		□ 業務従事実績		≡ 自社負担		現地業務小計												計画	1,472	49.07	/										
																				実績	685	22.83	18										

2. 国内業務: 該当しないため割愛

報告書等	計画	△ W/P(原案)+M/S(Ver.1)	△ M/S(Ver.2)	△ M/S(Ver.3)	△ P/R	△ F/R
	実績	△ W/P(原案)+M/S(Ver.1)				

注1) 各業務従事者の現地、国内のそれぞれの人月は、現地業務期間は30日、国内業務期間は20日で除した数字の小数点以下第3位を四捨五入して算定すること。
 注2) 現地業務と国内業務の振替えは人月単位で行うこととするため、日数に端数が出るが、この端数は国内業務の日数で調整することとし、合計人月は変更しないこと。
 注3) 各業務従事者の各配置期間の下には、日数を括弧書きで記入すること。
 注4) 実績については各配置期間の開始日、終了日を記載すること。計画については記入不要。
 注5) 通訳についても記載すること。
 注6) コンサルタント業務従事月報の添付資料とするときは、月報提出月以降の「業務従事予定日程」を括弧書きで記載すること。



ES AFC・コミュニティネットワーク13項目活動モニタリング評価シート

SILAIS:

支所:

保健セクター:

集落:

モニタリングシート			1	2	3	4	5	6	
			ES AFC(家庭地域保健チーム)の活動						
結果	活動		コミュニティネットワークのメンバーリストの作成	保健セクター会議の毎月の開催	家族調査票の作成	集落マップの作成	コミュニティネットワークとの保健セクターおよび集落の分析	コミュニティネットワーク向けの出産計画研修実施	
無	記録がない(0%)	0点							
可	稼働した	1点							
良	実施状況が50%以上75%未満	2点							
優	実施状況が75%以上95%未満	3点							
秀	実施状況が95%以上	4点							
			7	8	9	10	11	12	13
			ES AFC(家庭地域保健チーム)に活動		コミュニティネットワークの活動				支所の活動
活動	出産計画の実施		保健活動の計画・実施・評価(1集落につき1回計上)	コミュニティネットワークによる集落集会の開催	コミュニティネットワークによる活動計画立案	コミュニティネットワークによる活動の実施	コミュニティネットワークによる活動の評価	保健セクター間の知見共有	
無									
可									
良									
優									
秀									

評価相当枠内に評価日を記入する。



ESAFc・コミュニティネットワーク13項目活動モニタリング評価シート（評価基準）

SILAIS:

支所:

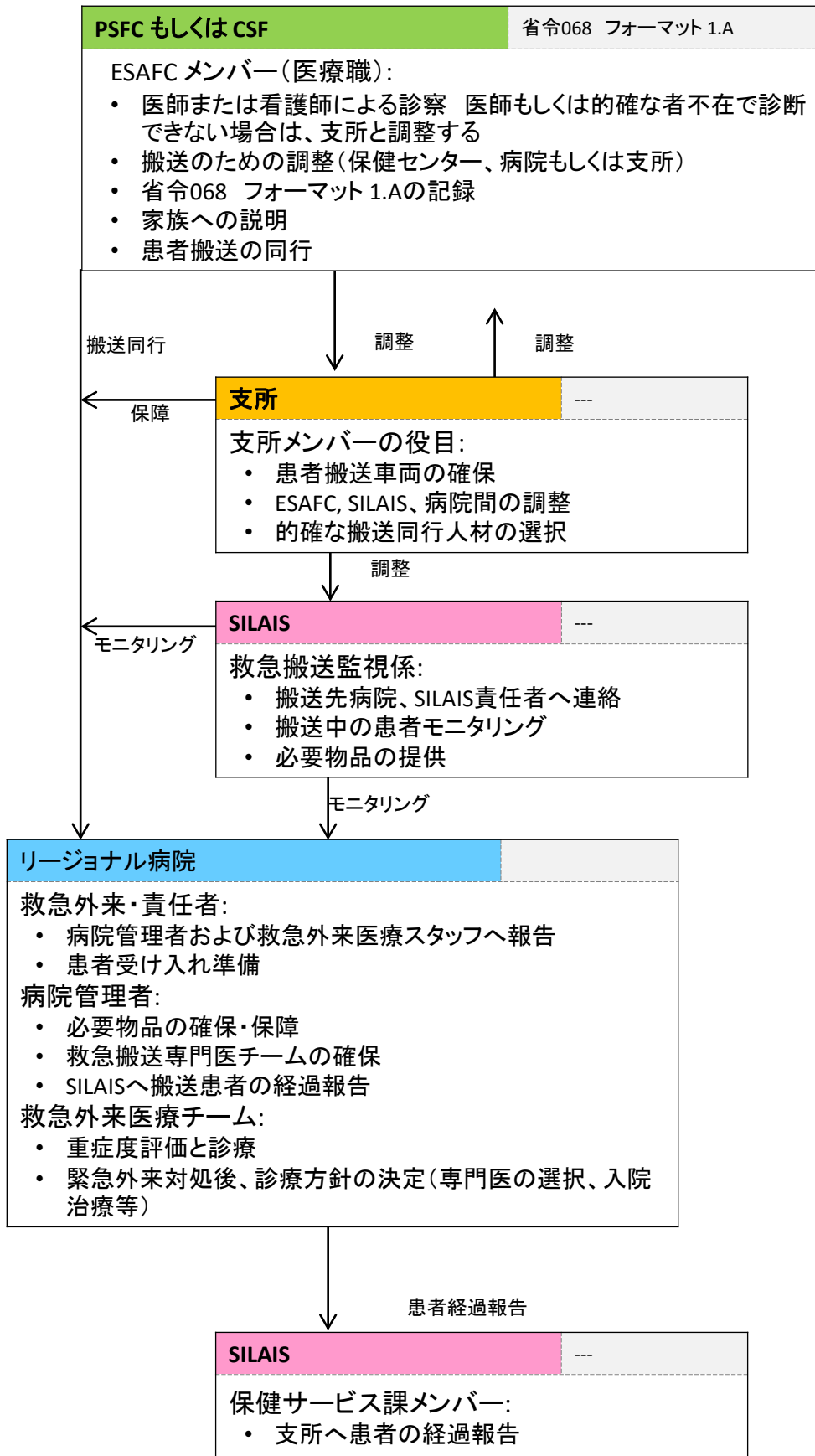
保健セクター:

集落:

モニタリングシート			1	2	3	4	5	6
ESAFc(家庭地域保健チーム)の活動								
結果	活動		コミュニティネットワークのメンバーリストの作成	保健セクター会議の毎月の開催	家族調査票の作成	集落マップの作成	コミュニティネットワークとの保健セクターおよび集落の分析	コミュニティネットワーク向けの出産計画研修実施
無	記録がない(0%)	0点	なし	なし	なし	なし	なし	なし
可	稼働した	1点	コミュニティネットワークのメンバーリストがある	年に1回開催されている	家族調査票の作成を始めた	集落地図がある	セクターの分析表を作成した	コミュニティネットワークに対して研修を行った
良	実施状況が50%以上75%未満	2点	各集落の代表が決まっている	年に6回開催されている	セクター内の50%以上の家族調査票を作成した	セクター内の50%以上の集落地図を作成した	セクター内の50%以上の集落の分析票を作成した	セクター内の50%以上の集落で出産計画研修を実施した
優	実施状況が75%以上95%未満	3点	メンバーの75%以上が活動に参加している	年に10回開催されている	セクター内の75%以上の家族調査票を作成した	セクター内の75%以上の集落地図を作成した	セクター内の75%以上の集落の分析票を作成した	セクター内の75%以上の集落で出産計画研修を実施した
秀	実施状況が95%以上	4点	メンバーの95%以上が活動に参加している	毎月開催されている	セクター内の95%以上の家族調査票を作成した。	セクター内の95%以上の集落地図を作成した。	セクター内の95%以上の集落の分析票を作成した	セクター内の95%以上の集落で出産計画研修を実施した

	7	8	9	10	11	12	13
	ESAFc(家庭地域保健チーム)に活動		コミュニティネットワークの活動				支所の活動
活動	出産計画の実施	保健活動の計画・実施・評価(1集落につき1回計上)	コミュニティネットワークによる集落集会の開催	コミュニティネットワークによる活動計画立案	コミュニティネットワークによる活動の実施	コミュニティネットワークによる活動の評価	保健セクター間の知見共有
無	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
可	少なくとも1人、マタニティホームへ送った	半期に少なくとも1度および計画の10%が実施された	ESAFcとコミュニティネットワークが合意・署名した	少なくとも1つの集落が計画を立案した	少なくとも1度および半期計画のうち5%が実施された	少なくとも1つの集落が支所と共に評価を実施した	少なくとも1つの別のセクターと知見を共有した
良	50%の妊婦をマタニティホームもしくは病院へ送った	半期に少なくとも3度および計画の50%が実施された	セクター内の50%以上の集落が協議し議事録に署名した	セクター内の25%の集落が計画を立案した	少なくとも2度および半期計画のうち25%が実施された	少なくとも25%の集落で支所と共に評価が実施された	支所内の50%のセクターが知見を共有した
優	75%の妊婦をマタニティホームもしくは病院へ送った	半期に少なくとも5度および計画の75%が実施された	セクター内の75%以上の集落が協議し議事録に署名した	セクター内の50%の集落が計画を立案した	少なくとも3度および半期計画のうち50%が実施された	少なくとも50%の集落で支所と共に評価が実施された	支所内の75%のセクターが知見を共有した
秀	95%の妊婦をマタニティホームもしくは病院へ送った	半期に少なくとも7度および計画の95%が実施された	セクター内の95%以上の集落が協議し議事録に署名した	セクター内の70%の集落が計画を立案した	少なくとも4度および半期計画のうち75%が実施された	少なくとも75%の集落で支所と共に評価が実施された	支所内の95%のセクターが知見を共有した

図 1: 救急搬送レファラル業務フロー (SILAIS Chontales)



N° 2: 救急搬送以外の患者レファラル (SILAIS Chontales)

PSFC

省令068 フォーマット 1.A

ESAFC (医療職):

- 医師または看護師による診察
- 省令068 フォーマット 1.Aの記入
- マタニティーホームへレファラーする場合は支所と調整する

支所

管理メンバー:

- 搬送手段確保
- ESAFCとマタニティーホーム間の調整

マタニティーホーム

マタニティーホーム責任者:

- 入退所登録
- 支所へ報告
- *妊産婦の観察・経過のモニタリング

CSF

ESAFC:

- 診察・評価
- 診断・判断

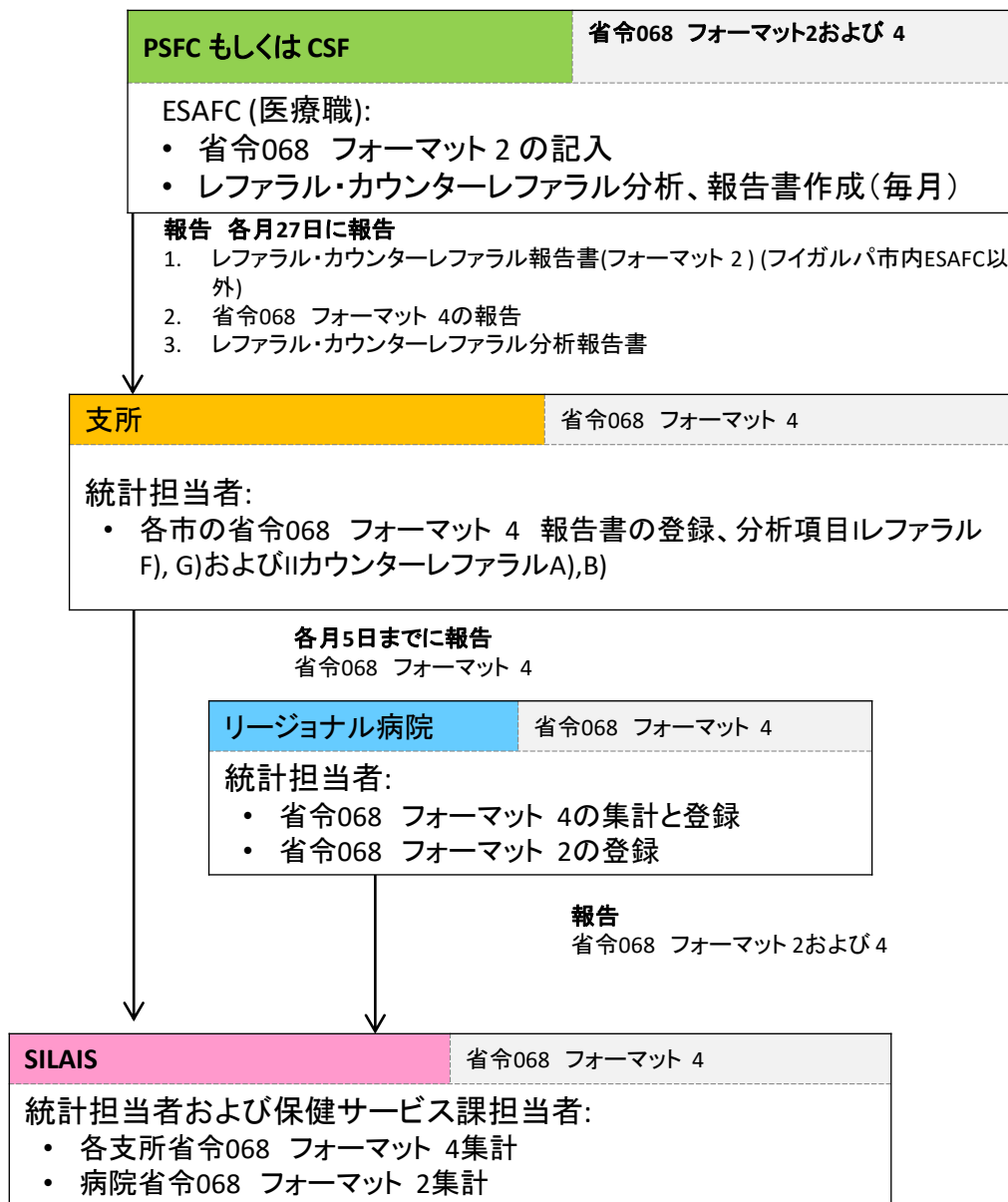
リージョナル病院

外来診療科:

- 診察

* 緊急時 支所へ報告する

N° 3: レファラル記録 業務フォロー図 (SILAIS Chontales)



№ 4: カウンターレファラルデータ管理業務フォロー図 (SILAIS Chontales)

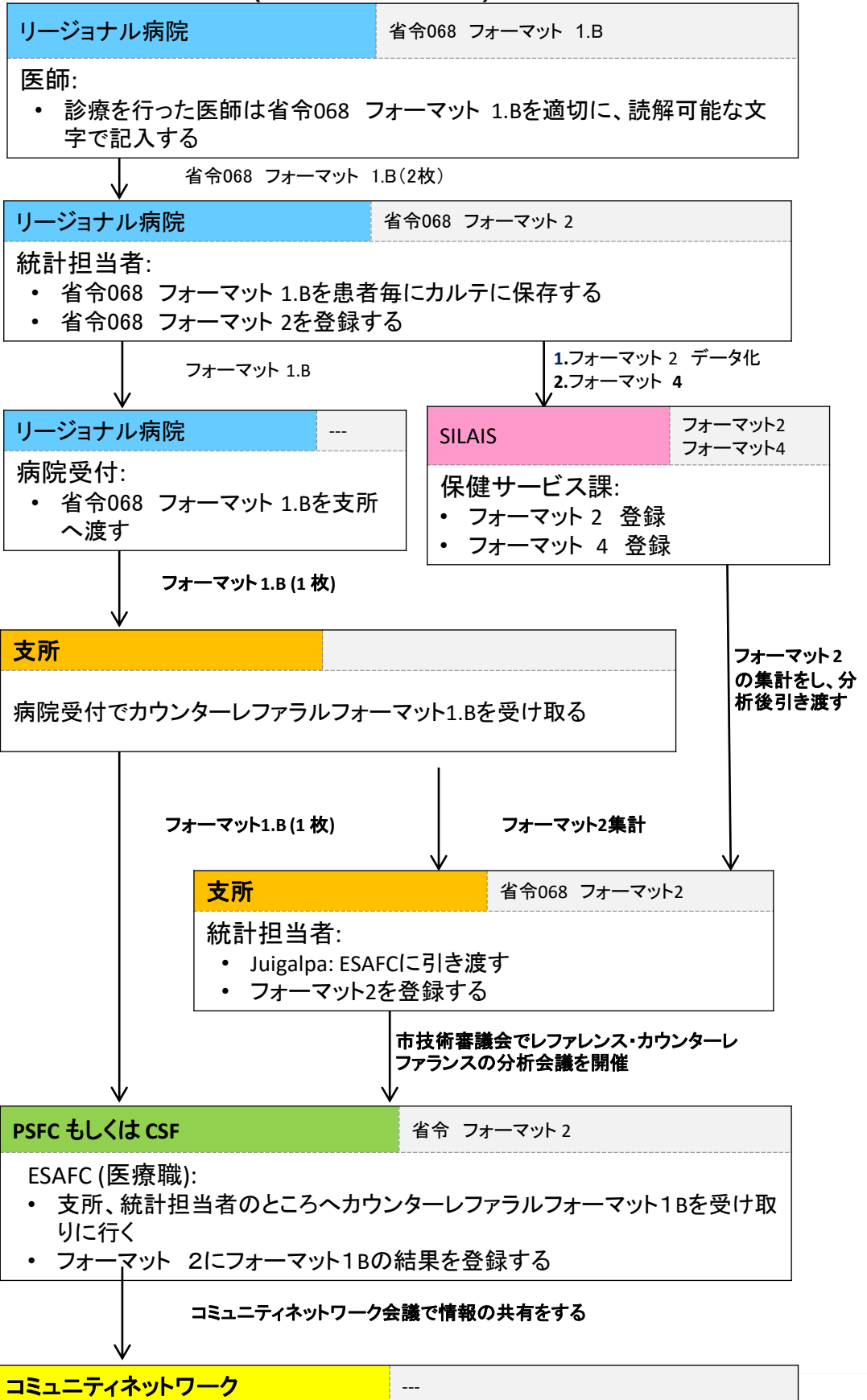
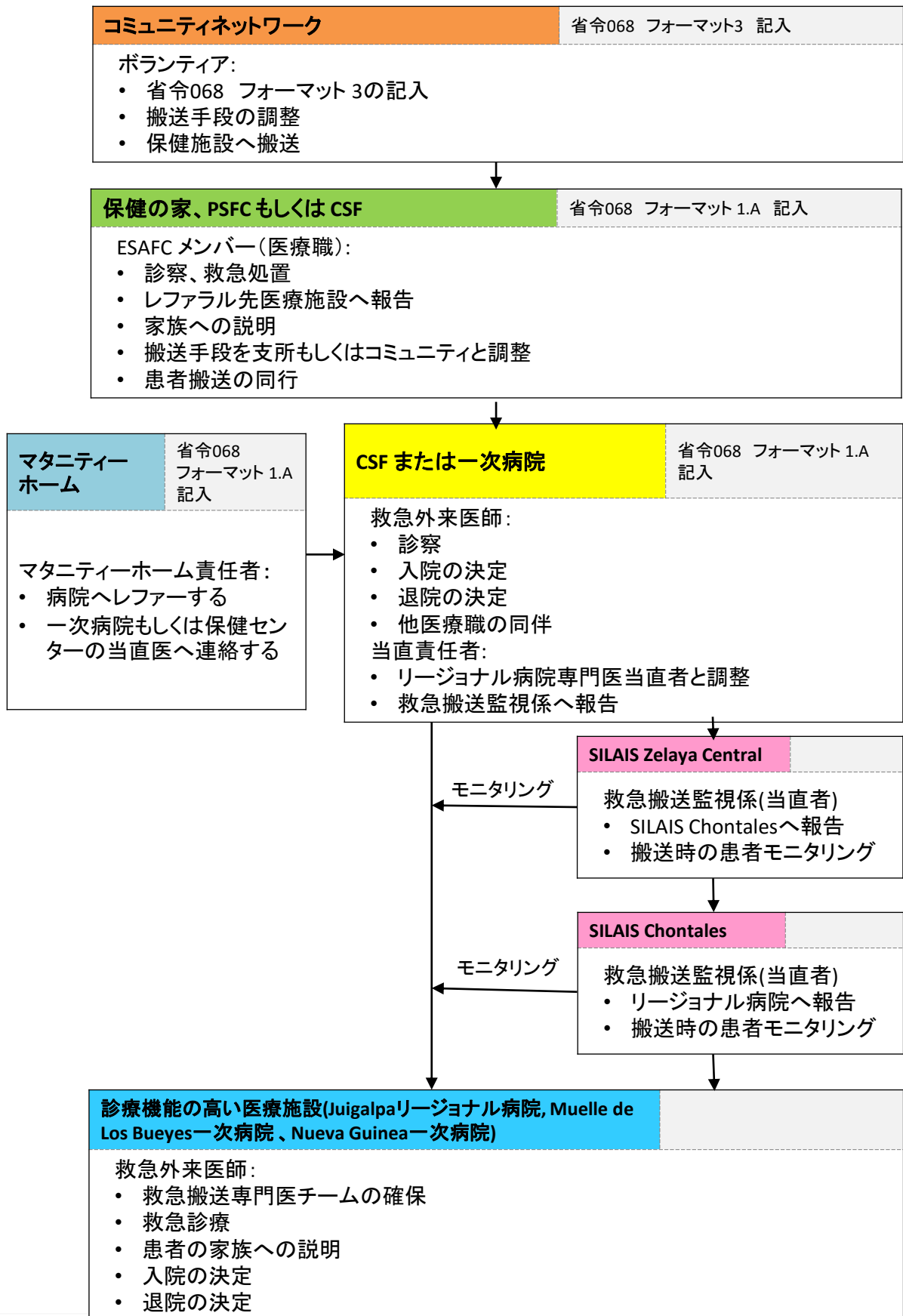


図 1: 救急搬送レファラル業務フロー
(SILAIS Zelaya Central)



コミュニティネットワーク

省令068 フォーマット3 記入

ボランティア:

- 省令068 フォーマット 3の記入
- 搬送手段の調整
- 保健施設へ搬送

保健の家、PSFCもしくはCSF

省令068 フォーマット 1.A 記入

ES AFCメンバー(医療職):

- 診察、救急処置
- レファラル先医療施設へ報告
- 家族への説明
- 搬送手段を支所もしくはコミュニティと調整
- 患者搬送の同行

マタニティーホーム

省令068
フォーマット 1.A
記入

マタニティーホーム責任者:

- 病院へレファラーする
- 一次病院もしくは保健センターの当直医へ連絡する

CSF または一次病院

省令068 フォーマット 1.A
記入

救急外来医師:

- 診察
- 入院の決定
- 退院の決定
- 他医療職の同伴

当直責任者:

- リージョナル病院専門医当直者と調整
- 救急搬送監視係へ報告

SILAIS Zelaya Central

救急搬送監視係(当直者)

- SILAIS Chontalesへ報告
- 搬送時の患者モニタリング

モニタリング

SILAIS Chontales

救急搬送監視係(当直者)

- リージョナル病院へ報告
- 搬送時の患者モニタリング

モニタリング

診療機能の高い医療施設(Juigalpaリージョナル病院, Muelle de Los Bueyes一次病院、Nueva Guinea一次病院)

救急外来医師:

- 救急搬送専門医チームの確保
- 救急診療
- 患者の家族への説明
- 入院の決定
- 退院の決定

Nº 2: 救急搬送以外の患者レファラル (SILAIS Zelaya Central)

コミュニティネットワーク

省令068 フォーマット3 記入

ボランティア:

- 省令068 フォーマット 3の記入
- 保健施設へ患者をレファールする

保健の家、PSFCもしくはCSF

省令068 フォーマット 1.A記入

ESAFC (医療職):

- 診察
- 省令068 フォーマット 1.A記入
- 支所担当者へ病院外来の予約を申請

マタニティーホーム

マタニティーホーム責任者:

- 入退所登録
- 支所へ報告
- 妊産婦の観察・経過のモニタリング

診察が必要な場合はレファールする

CSF

省令068 フォーマット 1.A
記入

外来診療科医師:

- 診察・患者評価
- 保健センター外来診療
- 一次病院の外来予約を調整(El Coralの場合)

一次病院

省令068 フォーマット
1.A記入

外来診療科医師:

- 診察・患者評価
- 病院外来診療

一次病院

看護課長もしくは病院副院長:

- 外来診療予約者計画の作成

診療機能の高い医療施設(Juigalpaリージョナル病院, Muelle de Los Bueyes一次病院)

メディカルケア副管理者:

- 専門医外来診療予約者計画の作成

№ 3: レファラル記録 業務フォロー図 (SILAIS Zelaya Central)

保健の家、PSFCもしくはCSF	省令068 フォーマット2に登録
ESAFC (医療職): <ul style="list-style-type: none">省令068 フォーマット2に登録する	

月例報告(毎月3日)
省令068 フォーマット2を毎月報告

一次病院	省令068 フォーマット2に 登録
救急外来長: <ul style="list-style-type: none">救急患者の場合省令068 フォーマット2に記載する 統計担当者: <ul style="list-style-type: none">救急患者以外の場合省令068 フォーマット2に記載する	

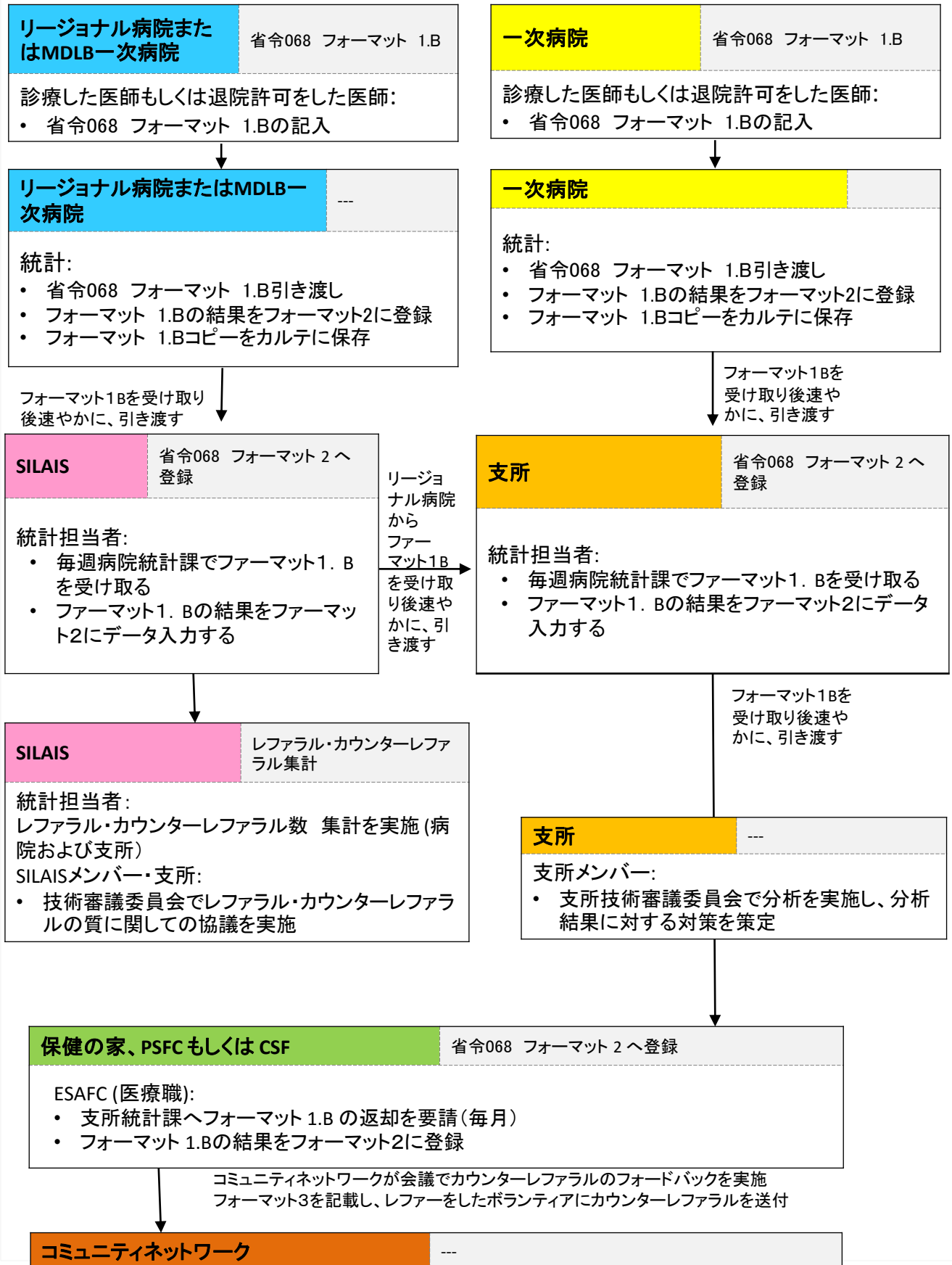
月例報告(毎月3日)
省令068 フォーマット2
および4

支所およびCSF	省令068 フォーマット2に登録
統計担当者: <ul style="list-style-type: none">2日間で省令068 レファラル・カウンターレファラル患者をフォーマットに登録する	

監視日報
省令068 フォーマット2
毎月5日月例報告
省令068 フォーマット4(数値)
月例データの確認
統計担当者およびSILAIS統計担当者による報告書
フォーマット2の確認

SILAIS	省令068 フォーマット2に登録
疫学担当者: <ul style="list-style-type: none">省令068 フォーマット2 データ集計と入力 統計担当者: <ul style="list-style-type: none">疫学監視データの収集レファラル・カウンターレファラル集計	

№ 4: カウンターレファラルデータ管理業務フォロー図 (SILAIS Zelaya Central)



添付3

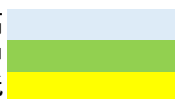
選定した医療機材リスト

SILAIS チョンタレス向け供与機材

番号	機材	リージョナル病院	保健センター	保健ポスト	合計
1	ネブライザー(複数吸引口型)		16	20	36
2	立脚式血圧計(聴診器付、新生児、小児、成人用セット)	26	39	36	101
3	産婦人科処置台		10	36	46
4	胎児ドップラー		11		11
5	新生児用人工呼吸器	2			2
6	成人用身長体重計			36	36
7	オートクレーブ 保健センター用		8	12	20
8	インファントウォーマー	3			3
9	新生児用喉頭鏡セット	2			2
10	成人、小児用喉頭鏡セット	4			4
11	携帯用酸素ボンベ		11		11
12	ポータブル超音波診断装置		5		5
13	器械台		10	42	52
14	グースネックランプ			25	25
15	出産キット		19	34	53
16	新生児用体重計		22	41	63
17	小児用蘇生バッグ		11		11
18	大人用蘇生バッグ		9	14	23
19	乳児用蘇生バッグ		11		11
20	酸素タンク用流量計(調湿付)		11		11
21	検眼・耳鼻鏡		11	30	41
22	IUDキット		19	40	59
23	産婦人科用踏み台		18	29	47
24	外傷手術キット		11	20	31
25	新生児用ベット		11		11
26	手術機材棚		8	23	31
27	ストレッチャー	4	11		15
28	吸引器		10		10
29	回転椅子	10	10		20
30	点滴スタンド	20	28	30	78
31	大人用喉頭鏡	4			4
32	携帯用血圧計(聴診器付、新生児、小児、成人用セット)			79	79
33	携帯用体重計			41	41
34	携帯用身長計			41	41
35	ピナード式聴診器	5	24	41	70

優先順位

高
中
低

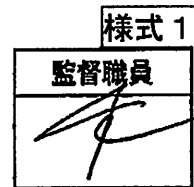


SILAIS セラヤ・セントラル向け供与機材

番号	機 材	一次医療病院	保健センター	保健ポスト	合計
1	立脚式血圧計(聴診器付、新生児、小児、成人用セット)	14	10	40	50
2	成人用身長体重計	5	2	11	13
3	新生児用喉頭鏡セット	4			0
4	分娩台	3	1		1
5	ワクチン用冷蔵庫			2	2
6	ポータブル超音波診断装置	2	1		1
7	酸素タンク用流量計(調湿付)	4	3	1	4
8	出産キット	15	2	21	23
9	オートクレーブ 保健センター用		1	4	5
10	オートクレーブ 病院用	4			0
11	インファントウォーマー	2			0
12	産婦人科処置台	4	3	13	16
13	胎児ドップラー	7	3		3
14	ネブライザー(複数吸引口型)		1	5	6
15	ゲースネックランプ	8	7	12	19
16	検眼・耳鼻鏡	4	3	20	23
17	医用分光器	1			0
18	新生児用ベット	4	1		1
19	ストレッチャー	6	3		3
20	IUDキット	6	6	20	26
21	産婦人科用踏み台	9	4	20	24
22	外傷手術キット	10	6	20	26
23	手術機材棚	6	3	20	23
24	小児用蘇生バッグ	2	2		2
25	大人用蘇生バッグ	4	2	19	21
26	乳児用蘇生バッグ	4	1	1	2
27	器械台	7	5	20	25
28	吸引器	2	2		2
29	回転椅子	4	2	20	22
30	車椅子	6	4		4
31	血糖測定器	2	3	2	5
32	打診器/ティラーハンマー	10	9	20	29
33	点滴スタンド	10	6	20	26
34	不妊手術用器具	7			0
35	携帯用血圧計(聴診器付、新生児、小児、成人用セット)		75		
36	携帯用体重計		44		44
37	携帯用身長計		44		44
38	ピンード式聴診器	9	8	75	83

優先順位

高
中
低



2016年4月5日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における
母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2016年3月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. ベースライン調査

- 1) ベースライン調査報告書（和文）を人間開発部へ提出した。
同報告書は、プロジェクト概要から、PDM 指標のベースとなる第1次調査の母子保健行政に関わる基本情報、社会資本情報、プロジェクトの詳細な活動内容を決める第2次調査の KAP 調査、フォーカスグループディスカッション、母子保健サービス実状調査について、調査手法、結果と考察を中心に構成されている。略語表や調査の写真、参考文献等を本文に組み入れた上で、今回使用した調査用紙類のほか、第一次調査で入手した各市の詳細なデータを添付資料とした。
- 2) ベースライン調査報告書（和文）の西訳作業を進めている。
- 3) ベースライン調査結果概要を、プロジェクト合同調整委員会（JCC）で発表した。

計画 (1) ベースライン調査報告書（西文）を JICA 本部および保健省へ提出する。

1-2. ファシリテーター研修開催

- 1) 14 支所から選出された全 28 名の医師と看護師のうち、14 名に対して 2 月に開催した第 1 回目のファシリテーター研修に続き、残りのメンバーを対象とした第 2 回ファシリテーター研修を 3 月 2 日から 3 日間の日程で開催した。研修初日に SILAIS チョンタレスからファイガルパ支所のファシリテーターとして看護師 1 名増員の依頼を受け、最終的に合計 15 名が参加した。研修内容には、継続ケアの概念に沿った 5 項目「妊産婦管理台帳」「産前健診」「妊娠性高血圧」「産後出血」「乳幼児健診」のほか、新たに「ジカ熱対策」を加えた。研修テキスト（試行版）をベースに講義を進め、参加者は、同テキスト内容に対応した Powerpoint 教材の使用、各項目の指導法、研修事前事後テスト、グループワークなどの実施方法を学習した。また、ジカ熱対策についてはビデオ映像を

教材として用いた。2 回のファシリテーター研修で、合計 29 名のファシリテーターが養成された。

- 2) 研修終了後、母子保健技術委員会メンバーと両 SILAIS 代表者で研修を振り返り、運営や講義で改善すべき点を明確にするとともに、研修モニタリング・評価の枠組みについて、確認するための会合を実施した。
 - ① 研修の事前事後テスト結果を分析し、研修手法や研修教材の見直し、修正ポイントの確認を行った。パワーポイント教材、グループワークに使用する教材には大きな修正は必要ないが、事前事後テストについては、いくつかの問題の文章がわかりにくいという受講者の指摘から、正しく問題を認識し、回答できるように内容を修正した。修正された研修事前事後テストは、パイロット市の研修で活用する。
 - ② 研修モニタリングで市ファシリテーターによる研修実施状況を確認する評価表（案）を作成した。このモニタリングは、母子保健技術委員会メンバーや SILAIS によって行われる。また、研修受講者である ESAFC を対象に、研修後の知識・技術の定着、補完すべき課題などの確認には、既存の「サービスの質保障のためのモニタリングシート」を活用する。
- 3) 上記会合で、2 回の研修結果を確認し、今後、立案していくカスケード方式を用いた ESAFC の研修計画を両 SILAIS 技術審議会でも共有、承認することで合意した。
- 4) 4 カ所のパイロット市において、カスケード方式による継続ケアの概念に沿った 5 項目にジカ熱対策を加えた ESAFC に対する研修の実施計画立案を進めている。基本的に、この研修は、保健省の既存の継続教育枠（業務時間中に、職員の知識・技術強化に当てる時間）を用い、5 週に分けて実施する。アコヤパ市とサント・ドミンゴ市は毎週木曜日、エル・ラマ市とヌエバ・ギネア市は毎週金曜日を継続教育に当てている。また、パイロット市以外でも、ファシリテーターのイニシアチブで自主的に研修を開始した市があり、今後その経過を把握していく。
- 5) 改訂された保健省令 No. 11（低リスクでの産前健診、出産ケア、産後健診、新生児ケアの基本方針）が、3 月末に公布された。いくつかの重要な変更点について、旧省令に沿って作成した研修テキストの内容を修正する必要があるとあり、保健省本省サービス総局母子保健担当官と緊密に連絡を取り合うとともに、得られた情報をプロジェクト関係者でも共有している。

- 計画** (1)パイロット市(SIL AIS チョントレスのアコヤパ市、サント・ドミンゴ市、SIL AIS セラヤ・セントラルのエル・ラマ市、ヌエバ・ギネア市)のパイロット保健セクターを対象に実施する研修計画を立案する。
- (2)上記(1)で立案した計画に沿って研修を実施する。

1-3. 第1回合同調整委員会 (JCC)

- 1) 2016 年 3 月 9 日に、保健大臣主導で、第 1 回プロジェクト合同調整委員会が開催された。R/D に即し、ニカラグア側は、保健大臣、保健サービス総局長、対外協力局長、両 SILAIS 局長、保健サービス担当官などが参加したほか、外務省からもオブザーバー参加があった。日本側は、JICA 事務所長、企画調査員（案件担当）、現地職員（案件担当）およびプロジェクト専門家とテクニカルアシスタントが参加した。（添付 1 の議事録和訳参照）
- 2) 議題は、①プロジェクト進捗・成果・計画、②ベースライン調査報告、③機材供与リスト、④PDM 指標（PDM ver. 2）の 4 点であった。

- 3) プロジェクトより、ベースライン調査結果の報告として、①レベル間におけるデータの相違 ②妊産婦管理台帳、レファラル・カウンターレファラル記録、診療記録などのデータ管理と、それらデータの分析不足 ③母子保健に関わるプロモーション活動の不足 ④保健医療従事者間および保健医療従事者と住民の間での情報伝達と理解の不足など、明らかになった問題点と課題を説明した。保健大臣は両 SILAIS と保健サービス総局に対し、調査内容を把握しているか否かの確認に加え、改善への取り組みを指示した。
- 4) 供与機材リストの超音波診断装置について、保健大臣より、世銀・IDB・国庫から同機材の予算が確保されたので、リストから削除すること、また、ニカラグア保健省の 2016 年度の予算が確定したことから、他にもこの保健省予算で購入可能な機材が供与リストに入っていないかを再確認するよう指示があった。
- 5) PDM 指標については、保健大臣の指導により、慢性栄養不良児の割合、施設分娩の質改善、マタニティホーム利用割合、ES AFC における実践的モデルの導入割合などの指標がより高い数値に修正された。
- 6) 合同調整委員会から 1 週間以内に、ワークプラン（公認版）を保健省の各レベル（本省、SILAIS、支所）と JICA 本部および JICA 事務所に提出・共有した。両 SILAIS は、SILAIS 保健技術審議会において全対象支所に対し、PDM ver.2 の指標について説明した。

1-4. ES AFC による保健セクター活動

- 1) 4 市 8 か所のパイロット保健セクターにおいて、ES AFC とコミュニティネットワークが参加する保健セクター会議を SILAIS および支所のスタッフと巡回し、活動の進捗をモニタリングしている。
- 2) 住民参加型保健強化活動の試行モデルの 13 項目の活動について、各パイロット支所と協議し、パイロット支所の指導による活動計画の詳細を立案することで合意した。プロジェクトは、13 項目の活動計画作成を支援する。
- 3) 8 パイロット保健セクターの進捗状況にそれぞれ違いはあるが、全てのパイロット保健セクターにおいてプロジェクトが進める 13 項目の活動のうち、①コミュニティネットワークリストの作成、②保健セクター会議の毎月の開催、③家族調査票の作成、④集落マップの作成の 4 項目手法について、ES AFC はコミュニティネットワークの協力を得て進めている。

計画 (1) ES AFC によるコミュニティネットワークとの 13 項目活動を支所担当官と共に支援し、巡回指導する。

(2) 2 月に開催した第 2 回半期評価会で合意したモニタリングシートを用いた 13 項目活動の進捗をモニタリング評価する。

1-5. 運營業務

- 1) 供与機材リスト
機材リストをベースとした機材仕様書、および下見積りを作成したが、JCC での保健大臣の指示を受け、保健省より今年度購入予定の機材リストを入手するとともに SILAIS セラヤ・セントラルから FUDEN の供与機材情報を入手し、再度、両 SILAIS と機材リストの最終確認を行った。

計画 (1) SILAIS セラヤ・セントラル管轄のエル・ラマの一次病院が増築され、機材供

与もされていることから、現地で供与状況を確認する。

(2) 保健サービス総局と機材リストの最終確認を行い、JICA 事務所へ提出する。

2) 要員派遣計画の修正

ヘルスプロモーションの専門家の派遣計画について、当初 11 月に予定していた村上友美子専門家の派遣を 4 月下旬～6 月下旬の 2 か月間（うち 1 か月間は会社負担）とし、濱口陽子専門家の派遣を 6 月中旬から 7 月中旬で調整を進めている。村上専門家の派遣時期および期間修正の理由は、下記のとおり。

- ① 今年 11 月の大統領選挙前後はパイロット保健セクターでも政治集会在最優先されるため、この時期にフィールドを活用しての地域活動指導を避ける。
- ② ESAFC によるコミュニティ活動の体制づくりが想定していたよりもはるかに早く進み、具体的な活動に必要な知識と技術指導を急ぐ必要が出てきた。
- ③ 全国的なワクチンキャンペーンやジカ熱対策に伴い保健省のフィールド活動が活発化しているため、この時期はより活動が進めやすい。
- ④ 当初 11 月に計画されていた研修テキストの見直しはニカラグア側の体制が整ったので同専門家の派遣がなくても現地主導で可能である。
- ⑤ IEC の専門家でもある村上専門家の派遣を早め C/P の基礎知識と技術を強化する、総合的に早めのヘルスプロモーション強化体制を整える方向で活動時期を修正している。これらの変更に伴う予算やワークプランの修正は生じない。

計画 (1) 社内で速やかに派遣計画を確定し、C/P と情報を共有する。

3) プロジェクト事務所に活動および予算の効率化を図るため、インターネットおよび固定電話を設置した。固定電話番号は (505) 2512-2625。

1-6. 関連事項

1) ジカ熱に関する情報

プロジェクト対象地域において、今までにジカ熱感染に疑いのある者は、SILAIS チョントレスで 3 名いたものの、確定検査の結果陰性であった。SILAIS セラヤ・セントラルでは、現在までに感染疑いのある者は出ていない。

2. 活動日程

<3月>

- 2日：サント・ドミンゴ市ブルン2保健セクター会議
- 2-4日：第2回ファシリテーター研修
- 3日：アコヤパ市エル・サポテ保健セクター会議（於：チナル集落）
- 8日：JICA事務所プロジェクト担当者とのプロジェクト進捗報告およびJCC準備
保健省本省保健サービス総局との会議およびJCC準備
- 9日：第1回合同調整委員会
- 10日：花田恭短期専門家（保健行政/マネージメント）離任
- 11日：サント・ドミンゴ市ブルン2およびエル・ラマ市ワピ保健セクター会議
- 14日：保健省本省保健サービス総局母子保健担当官との研修テキスト修正作業
- 15日：ヌエバ・ギネア市タロリング保健セクター会議
- 17日：ヌエバ・ギネア市ナシオネス・ウニダス保健セクター会議、母子保健技術委員会の

カスケード方式研修計画会議

- 18日：エル・ラマ市マロン保健セクター会議、JICA 専門家連絡協議会（於：JICA 事務所）
- 19日：渡辺咲子専門家（副総括/地域保健/業務調整）離任
- 20日：石原尚子専門家（母子保健）離任
- 30日：SILAIS チョントレスと供与機材の最終確認
- 31日：SILAIS セラヤ・セントラルと供与機材の最終確認

3. 今後の予定

<4月>

- 1日：エル・ラマ市ワピ保健セクター会議、SILAIS セラヤ・セントラルにおけるカスケード方式研修計画会議
- 4日：SILAIS チョントレスにおけるカスケード方式研修計画会議
- 6日：エル・ラマ一次病院医療機材確認
- 8日：リージョナル病院でレファラール・カウンターレファラルシステム会議
- 12日：ヌエバ・ギネア市タロリング保健セクター会議
- 14日：ヌエバ・ギネア市ナシオネス・ウニダス保健セクター会議
- 19日：サント・ドミンゴ市チナモス保健セクター会議
- 26日：アコヤパ市サン・フェリペ、オルケッタ地区保健セクター会議
- 27日：エル・ラマ市マロン保健セクター会議
- 28日：アコヤパ市サン・フェリペ保健セクター会議

4. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

添付1

チョンタレス保健管区およびセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト 第1回合同調整委員会議事録

場所：ニカラグア保健省内会議室

日時：2016年3月9日 10時～12時30分

参加者

保健省本省

Sonia Castro González、保健大臣 プロジェクト・ダイレクター

María de los Ángeles Boedeker、対外協力局長

Carlos Cruz、保健サービス総局長

Perla E. López、対外協力局技官

Xiomara Hernandez、保健サービス総局技官

外務省

Eddy Solís Corea、アジア担当官

JICA ニカラグア事務所

高田宏仁、所長

堀江瑠美、企画調査員

Elizabeth Hernández、ナショナルスタッフ

SILAIS Chontales:

Samir Aguilar、SILAIS 局長 プロジェクトコーディネーター1

Marisol Mejía、保健サービス課長

Petronila Flores、看護課長

SILAIS Zelaya Central:

Fernando Canales、SILAIS 局長 プロジェクトコーディネーター1

Ana Aracelly Fuentes、保健サービス課長

Claudia Padilla、HIV・TB 担当官

SAMANI プロジェクト

中村二郎 専門家 総括

渡辺咲子 専門家 調整員

石原尚子 専門家 母子保健

花田恭短期 専門家 公衆衛生

Doribel Tercero テクニカルアシスタント

式次第

開会の挨拶	Ing. María Boedeker/対外協力局長
プロジェクト進捗状況（発表）	Dr. Samir Aguilar /SILAIS チョンタレス長
ベースライン調査結果（発表）	Sr. Jiro Nakamura/プロジェクト SAMANI 総括

供与機材リスト（発表）
PDM 指標（発表）
ミニッツ書面の確認
JICA からの挨拶
JCC 閉会の挨拶

Dr. Fernando Canales /SILAIS セラヤ・セントラル長
Dr. Carlos Cruz/保健サービス総局長
保健省、JICA 代表者
Sr. Hirohito Takata/JICA ニカラグア事務所長
Dra. Sonia Castro González/保健大臣

議題

プロジェクト進捗状況：

Dr. Samir Aguilar /SILAIS チョントレス長による、プロジェクト進捗状況の発表を行った。内容は別添「プロジェクト進捗と成果」のとおり。

発表中にこれらの活動はワークプランに則り実施している。作成時は指標が決定されていないので草案であったが、指標が決まれば、完成版となると発言があった。

ベースライン調査結果：

中村総括によりベースライン調査結果の発表を行った。内容は別添「ベースライン調査結果概要」のとおり。

保健大臣よりコメント：調査結果についての指摘された問題は、同国の実状に近いものとなっており、各責任者は調査結果に対して同意している。各 SILAIS は状況を維持するためや弱点を強みに変えるために、課題に対する解決のための活動方針をたて、強化すべき課題を明確化すべきである。

合意：2015 年 10 月運営委員会で合意された、パイロット市、地区の選定に対し、JCC メンバーもこの選定に合意する。

供与機材リスト：

Dr. Fernando Canales /SILAIS セラヤ・セントラル長より供与機材リストに関して発表があった。内容は別添「機材供与リスト」のとおり。

大臣からのコメント：リストにある超音波診断装置に関して、保健省で今年購入が決定したため、プロジェクトでの購入はしない。そのため、機材リストから削除し、その他の機材を優先的に購入すべき。

供与機材リスト候補を共有した。

PDM 指標：

Dr. Carlos Cruz/保健サービス総局長より、PDM 指標設定に関する発表があった。内容は別添「PDM 指標」のとおり。指標はプロジェクト開始時にベースライン調査が行われていなかったため、プロジェクト指標は未設定であったが、調査と協議の結果、指標を設定した。

（JCC 以前に協議された指標を基に PDM ver. 2 を発表したが、JCC 中に修正が加えられた。PDM ver2 の発表内容は別添「PDM 指標」を参照。JCC で修正が加えられた指標の文言部分を斜字で記す。）

1. 上位目標 3「対象地域で（5 歳未満の）慢性栄養不良児 の割合が 12.8%から低下す。」に関して、ENDESA を指標としているが、保健省の目標は毎年、栄養に関する全戸調査を実施すること

であるため、2014年に実施された全戸調査を使用することとなった。このため、指標入手手段の変更とベースラインの指標が変更となる。

2. プロジェクト目標1「対象地域で、妊婦が1回目の産前健診を妊娠12週以内に受診する割合が2014年の62.5%（ベースライン）から2018年の69.3%（エンドライン）に上昇する」は75%に上昇するに変更。
3. プロジェクト目標2「分娩施設で現在有効な分娩3期ケアと出産直後の新生児ケアの質の指標を満たす割合が2015年の59.5%（ベースライン）から2018年の75.0%（エンドライン）に上昇する。」は80%に上昇するに変更
4. プロジェクト目標5は文言を追加した結果「対象地域で、施設分娩のためにマタニティホームに宿泊した農村地域の妊婦の割合が2015年（ベースライン）の42.1から2018年の50.0%（エンドライン）に上昇する。」となった。
5. プロジェクト成果1の指標は事前協議より変更なし。
6. プロジェクト成果2 指標2-1 文言を追加し、指標を変更したことから「対象地域において、100%のES AFCが住民参加型保健強化手法を用いて、活動計画を策定・実施する。」に変更した。
7. プロジェクト成果2の指標2-2は事前協議より変更なし。
8. プロジェクト成果2 指標2-3 文言を追加し「全てのセクターにおいて、ES AFCはコミュニティとともに分析や反映を行う。」と変更した。
9. プロジェクト成果3 指標3-1は事前協議より変更なし。
10. 指標3-2の文言を変更し指標変更となり「全支所は、毎月ES AFCとSILAISが同席し、妊産婦及び2歳未満児のケアに関してする活動方針を決める情報分析会議を実施する。」に変更した。
11. プロジェクト成果4 変更なし
12. これらのPDM設定において、プロジェクトの活動計画、予算、投入に日本側、ニカラグア側の変更がないことを確認した。

合意事項：

PDM指標に関して、同JCCで修正された指標を変更する。

PDM指標が決定した後、JICA-保健省でミニッツが締結される。

ワークプランは、プロジェクト指標を追加し、JCCメンバーに2016年3月15日までに手交し、合意とする。

以上

別添：

1. アジェンダ
2. 「プロジェクト進捗と成果」プレゼンテーション（翻訳版）
3. 「ベースライン調査結果概要」プレゼンテーション（翻訳版）
4. 「機材供与リスト」プレゼンテーション（翻訳版）
5. 「PDM指標」プレゼンテーション（翻訳版）
6. 議事録 西語版
7. 参加者リスト

署名欄

Dra. Sonia Castro González
保健大臣
プロジェクト・ダイレクター

Ing. María de los Ángeles
Boedeker
対外協力局長.

Dr. Carlos Cruz
保健サービス総局長

高田宏仁
JICA ニカラグア事務所長

Dr. Samir Aguilar
SILAIS 局長
プロジェクトコーディネー
ター1

Dr. Fernando Canales
SILAIS 局長
プロジェクトコーディネー
ター2

中村二郎専門家
総括

石原尚子専門家
母子保健

渡辺咲子専門家
調整員

花田恭短期専門家
公衆衛生

様式 1



2016年5月5日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における
母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2016年4月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. ベースライン調査

1) ベースライン調査報告書（西文）を作成し、両 SILAIS と内容の確認を進めている。

計画 (1) ニカラグア保健省と JICA 人間開発部へ提出する。

(2) KAP 調査およびフォーカス・グループ・ディスカッションを実施したパイロット保健セクター8 か所で、ESAFc とボランティアネットワークに対し調査結果概要（全データとセクターとの比較）と共に、問題解決に必要な対策についてフィードバックする。

1-2. パイロット地区における ESAFC 研修開催

1) カスケード方式による研修の第2段階として2月、3月に養成したファシリテーターが、両 SILAIS の8カ所のパイロット保健セクターの ESAFC に対し、「妊産婦管理台帳」「産前健診」「妊娠性高血圧」「産後出血」「乳幼児健診」および「ジカ熱」の5項目について研修を開始した。

2) 上記の実施計画は、全内容を7回の研修で終了するよう構成され、各地区で毎週確保されている継続教育の時間を利用し、下記日程期間で実施する。

アコヤパ : 毎週金曜日、4月8日～5月20日

サント・ドミンゴ : 毎週木曜日、4月14日～6月2日

エル・ラマ : 毎週金曜日、4月15日～6月3日

ヌエバ・ギネア : 毎週金曜日、4月15日～6月3日

3) 4市で実施されているこれらの研修は、両 SILAIS、母子保健技術委員会メンバー、プロジェクトから少なくとも2人がスーパーパイザーとして参加し、指導や支援を行って

いる。また、各回のスーパーバイズの結果は、SILAIS、パイロット市の支所長に対し、参加者、研修内容、質問内容、合意事項などについてメールで報告している。

- 計画** (1)パイロット市で実施する研修を引き続きスーパーバイズし、適宜、指導や支援を行う。
- (2)研修終了後に実施する活動評価に関し、その実施計画、手法などについて、両SILAIS および母子保健技術委員会メンバーと確認する。

1-3. ESAFC による保健セクター活動

- 1) 4市8か所のパイロット保健セクターにおいて、ESAFc とコミュニティネットワークが参加する保健セクター会議をSILAIS および支所のスタッフと巡回し、活動の進捗をモニタリングしている。
- 2) 各SILAIS とパイロット支所は、プロジェクトと共にパイロット保健セクター長と個別に会合を持ち、住民参加型保健強化活動の試行モデル（以下13項目活動）の進捗状況および来年1月までの活動計画を確認した。
- 3) 8パイロット保健セクターにおいて、第2回半期評価会で合意した13項目活動モニタリングシートを用い、進捗状況を評価した。その結果は、下表のとおりであった。（評価基準は月報2016年2月添付書類2を参照）

支所名	保健セクター名	13項目活動													評価結果 (点)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
アコヤバ	サン・フェリペ	4	4	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	13
	エル・サボテ	3	2	2	1	0	2	2	2	1	1	1	0	0	17
サント・ドミンゴ	チナモス	4	4	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	11
	ブルン2	3	4	2	2	0	4	0	1	1	0	0	0	0	17
エル・ラマ	マロン	3	3	1	3	0	2	2	0	1	1	1	0	0	17
	ワピ	2	4	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	10
ヌエバ・ギネア	タロリンガ	2	4	3	4	2	3	3	1	0	1	1	0	0	24
	ナシオネス・ウニダス	4	4	1	1	0	4	4	0	4	1	1	1	0	25

52点満点、各活動において、無：0点、可：1点、良：2点、優：3点、秀：4点

- 計画** (1)ESAFc によるコミュニティネットワークとの13項目活動を支所担当官と共に巡回指導し、支援する。
- (2)モニタリングシートの評価結果を両SILAIS および各支所と分析し、活動促進の対策を立てる。

1-4. 巡回指導

- 1) 両SILAIS は、2月に開催した半期ワークショップでの提案に従い、妊産婦管理台帳およびレファラル・カウンターレファラルの活動について巡回指導を行った。
- 2) レファラル・カウンターレファラルに関しては、SILAIS セラヤ・セントラルとチョンタレスの地域病院が協議し、活動における課題（緊急患者レファラーの判断、緊急患者のレファラー手順、書類への記載事項、判読可能な文字の使用など）を抽出し、対策を取り決め合意した。プロジェクトとSILAIS チョンタレスは、この会議の開催と協議内容に関して、支援・助言した。

- 計画 (1) 両 SILAIS は、プロジェクトと巡回指導計画に基づき、巡回指導を実施する。
(2) SILAIS セラヤ・セントラルと地域病院は、両者の合意書に基づき業務を遂行し、課題の解決に着手する。

1-5. 運營業務

- 1) 供与機材リスト
SILAIS セラヤ・セントラルのエル・ラマ市の一次病院に保健省から供与された医療機材を確認し、プロジェクトの供与機材リストから重複する機材を削除した。保健サービス総局と供与機材リストの最終確認を行い、JICA ニカラグア事務所へ機材リスト、優先順位、配置リストおよびアクセス状況、機材仕様書、下見積もり、「供与機材の基本方針と基本計画」を提出した。
- 2) JICA 人間開発部との会合
専門家 3 名（花田、石原、村上）が JICA 本部で人間開発部の伊藤課長、大里職員、貝淵職員に対し、プロジェクト合同調整委員会（JCC）、プロジェクトの進捗状況、インパクト評価に関わる案など説明し、意見を交換した。
- 3) 保健セクターの分割
SILAIS チョントレスは、75 の保健セクターを 87 保健セクターへと再分割することが正式に発表された。しかし、一部の保健セクターでは ESAFC 人材が補充されておらず、実施は 5 月以降になる。プロジェクトの 2 パイロット市（アコヤパ、サント・ドミンゴ）でも、今後、保健セクターの再編成が実施される。
- 4) 第 6 回 JICA ニカラグア事務所との定期会議
プロジェクトの PDM 指標の修正、活動進捗、供与機材、JOCV グループ派遣との連携などに関して協議した。議事録を添付する。
- 5) JOCV グループ派遣との連携要請
JICA ニカラグア事務所より、プロジェクト対象地域にグループ派遣される保健分野の JOCV との活動連携の要請を受けた。SILAIS チョントレスにすでに配置されている 1 名の助産師隊員が同グループのリーダーを担い、フィガルパ支所およびアコヤパ支所にそれぞれ 1 名の助産師隊員を今年 10 月以降に派遣するとの計画である。

- 計画 (1) JICA ニカラグア事務所、JOCV グループ、SILAIS チョントレスと相談しつつ、活動の連携を図る。

1-6. 関連事項

- 1) SILAIS セラヤ・セントラル県病院建設（無償案件）
保健省と JICA ニカラグア事務所間で交わされた標記 (G/A) 署名式に出席した。
- 2) 全国予防接種キャンペーン
3 月 28 日から始まった全国予防接種キャンペーンは、4 月 24 日に終了した。推定人口に対する予防接種の全体カバー率は、SILAIS チョントレスは 107%、SILAIS セラヤ・セントラルは 103%であった。

2. 活動日程

< 4月 >

- 1日：エル・ラマ市ワピ保健セクター会議、SILAIS セラヤ・セントラルにおける ESAFC 研修計画会議
- 4日：SILAIS チョントレスにおける ESAFC 研修計画会議
- 6日：エル・ラマ一次病院医療機材確認、SILAIS セラヤ・セントラル、エル・ラマ支所およびパイロット保健セクターとの 13 項目進捗確認会議
- 8日：チョントレス地域病院でレファラール・カウンターレファラールシステム会議、アコヤパ支所第 1 回 ESAFC 研修
- 11日：SILAIS セラヤ・セントラル、ヌエバ・ギネア支所およびパイロット保健セクターとの 13 項目進捗確認会議
- 12日：SILAIS チョントレス、アコヤパ支所およびパイロット保健セクターとの 13 項目進捗確認会議
- 13日：SILAIS チョントレス、第 1 四半期評価会
- 14日：ヌエバ・ギネア市ナシオネス・ウニダス保健セクター会議、サント・ドミンゴ支所第 1 回 ESAFC 研修
- 15日：保健省保健サービス局 PDM 指標修正会議、第 6 回 JICA ニカラグア事務所定期会議、アコヤパ支所第 2 回 ESAFC 研修、エル・ラマ支所第 1 回 ESAFC 研修、ヌエバ・ギネア支所第 1 回 ESAFC 研修
- 19日：サント・ドミンゴ市チナモス保健セクター会議、ヌエバ・ギネア市タロリング保健セクター会議
- 20日：エル・ラマ市マロン保健セクター会議
- 26日：アコヤパ市エル・サポテ地区保健セクター会議
- 27日：サント・ドミンゴ支所第 2 回 ESAFC 研修、SILAIS チョントレス、サント・ドミンゴ支所およびパイロット保健セクターとの 13 項目進捗確認会議
- 28日：アコヤパ市サン・フェリペ保健セクター会議、SILAIS セラヤ・セントラル県病院建設署名式（於：マナグア）
- 29日：アコヤパ市サン・フェリペ保健セクター会議（於：カレタ集落）、アコヤパ支所第 3 回 ESAFC 研修、エル・ラマ支所第 2 回 ESAFC 研修、ヌエバ・ギネア支所第 2 回 ESAFC 研修

3. 今後の予定

< 5月 >

- 2日：村上友美子専門家（ヘルス・プロモーション）着任
- 3日：アコヤパ市エル・サポテ地区保健セクター会議（於：チナル集落）
- 5日：サント・ドミンゴ支所第 3 回 ESAFC 研修
- 6日：SILAIS チョントレスにおける 13 項目活動進捗会議、アコヤパ支所第 4 回 ESAFC 研修、エル・ラマ支所第 3 回 ESAFC 研修、ヌエバ・ギネア支所第 3 回 ESAFC 研修
- 8日：地域病院でレファラール・カウンターレファラールシステム会議
- 12日：サント・ドミンゴ支所第 4 回 ESAFC 研修
- 13日：アコヤパ支所第 5 回 ESAFC 研修、エル・ラマ支所第 4 回 ESAFC 研修、ヌエバ・ギネア支所第 4 回 ESAFC 研修
- 15日：石原尚子専門家（母子保健）着任
- 17日：ヌエバ・ギネア市タロリング保健セクター会議
- 18日：サント・ドミンゴ市チナモス保健セクター会議

- 19日：ヌエバ・ギネア市ナシオネス・ウニダス保健セクター会議、サント・ドミンゴ支所第5回 ESAFC 研修
- 20日：アコヤパ支所第6回 ESAFC 研修、エル・ラマ支所第5回 ESAFC 研修、ヌエバ・ギネア支所第5回 ESAFC 研修
- 24日：第3回プロジェクト運営委員会（於：フィガルパ）
- 25日：エル・ラマ市マロン保健セクター会議
- 26日：アコヤパ市カレタ保健セクター会議、サント・ドミンゴ支所第6回 ESAFC 研修
- 27日：アコヤパ支所第7回 ESAFC 研修、エル・ラマ支所第6回 ESAFC 研修、ヌエバ・ギネア支所第6回 ESAFC 研修


4. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

添付書類 1

JICA ニカラグア事務所と SAMANI プロジェクトの第 6 回定期会議議事録

日時	2016 年 4 月 15 日、午後 3:00 – 午後 4:15
場所	JICA ニカラグア事務所
目的	<ul style="list-style-type: none"> 1. PDM 指標の修正、プロジェクトの進捗状況について 2. プロジェクト対象地における保健分野 JOCV のグループ型派遣について 3. プロジェクト供与機材について
出席者	<ul style="list-style-type: none"> 1. 名井次長、堀江企画調査員、山本企画調査員（以上、JICA 事務所）、中村 2. 堀江企画調査員、山本企画調査員（以上、JICA 事務所）、中村 3. 柳川職員、堀江企画調査員（以上、JICA 事務所）、中村
<p>1. PDM 指標の修正、プロジェクトの進捗状況について（協議時間：約 45 分）</p> <p>プロジェクトは、JICA 事務所に対して、以下の説明を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① PDM 指標の修正に関して、SILAIS および保健省本省における作業進捗状況を説明。 ② JCC の協議内容を説明。今後、JICA 本部での RD 変更決裁が完了次第、JICA 事務所が保健省と調整の上、PDM 変更についてのミニッツ署名を行う。 ③ ベースライン調査報告書の西訳作業の進捗と今後のプロセスを説明。 ④ カスケード方式研修をパイロット 4 市のパイロット保健セクターを管轄する ESAFC を対象に実施中であることを説明。 ⑤ ESAFC とコミュニティネットワークの 13 項目活動の進捗状況を説明。 ⑥ 現地で供与された機材を反映し、供与機材数を修正したことを説明。 ⑦ JICA 人間開発部と帰国中の専門家が 4 月 15 日にインパクト評価等に関して協議したことを説明。 <p>2. プロジェクト対象地における保健分野 JOCV のグループ型派遣について（協議時間：約 15 分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① JICA 事務所は、JOCV のグループ派遣「母子保健サービス強化支援」をプロジェクト対象地域で展開することを説明。 ② JICA 事務所は、上記グループ派遣について SILAIS チョントレスとの協議（4 月 22 日）に際し、プロジェクトへ同席を要請。 <p>3. プロジェクト供与機材について（協議時間：約 15 分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① JICA 事務所はプロジェクトが提出した書類を踏まえ、供与機材の入札準備を進めることを確認。 ② プロジェクトは、必要に応じて新たな情報提供や書類作成を支援することで合意。 <p style="text-align: right;">以上</p>	



2016年6月7日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における
母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2016年5月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. ベースライン調査

- 1) ベースライン調査報告書（西文）を作成し、JICA 人間開発部、保健省本省へ提出した。
- 2) KAP 調査およびフォーカス・グループ・ディスカッションを実施したパイロット保健セクター8か所で、ESAFc とコミュニティネットワーク（Red Comunitaria、以下 RC）に対し、今回の調査で得られた全体のデータと、各セクターのデータとを比較して提示しながら、調査結果を共有した。また、この結果を踏まえたディスカッションを行い、それぞれのパイロット保健セクターにおける課題を明らかにした。各セクターに共通の主要な課題は、マタニティホームのサービス情報の不足、ESAFc による母子保健活動の情報が妊産婦に正しく伝わっていないことであった。

1-2. パイロット地区における ESAFc 研修開催

- 1) パイロット保健セクターの ESAFc に対して、「妊産婦管理台帳」「産前健診」「妊娠性高血圧」「産後出血」「乳幼児健診」および「ジカ熱」の6項目について、カスケード方式の研修を4月より実施している。研修は「理論」と「症例検討」を組み合わせ構成されており、各支所の既存の継続研修時間枠（週約2時間）を使っている。継続教育の時間枠を活用することで、通常業務への影響を避けるとともに、ローカルコストの削減や職員の能力強化の継続性を高めている。
- 2) 5月末までの研修実施状況は、以下のとおりである。ワクチンキャンペーンや緊急のデング熱対策などにより、一部で予定より1・2週間の遅れが生じているが、日程の厳守ではなく、研修の質を保つことを優先し、状況に応じて研修日程を変更している。
 - アコヤパ : 4項目の研修を修了、6月10日に全項目終了予定
 - サント・ドミンゴ : 4項目の研修を修了、6月10日に全項目終了予定

エル・ラマ : 3 項目の研修を修了、6 月 10 日に全項目終了予定
 ヌエバ・ギネア : 5 項目の研修を修了、6 月 3 日に全項目終了予定

- 3) この研修には、両 SILAIS、母子保健技術委員会、プロジェクトから少なくとも 2 人がスーパーバイザーとして参加し、指導や支援を行っている。また、各回で、スーパーバイザーが観察・指導した内容や研修前・後のテスト結果を、両 SILAIS と母子保健技術委員会間で共有・分析し、次回研修で、その結果をパイロット地区のファシリテーターと研修受講者へフィードバックしている。
- 4) 第 3 回プロジェクト運営委員会において、ESAFc 研修の進捗状況を共有した。多くのパイロット地区で研修が終了している「妊産婦管理台帳」「産前健診」「乳幼児健診」の 3 項目について研修前・後のテスト結果を比較し、そのすべてで点数の上昇がみられた。しかし、「産前健診」「乳幼児健診」については、共通した誤解答のテーマが確認され、再強化が必要であるという共通認識が運営委員会で得られた。誤解答の多かったテーマは、妊婦の体重管理、血圧管理、予防接種管理などであった。
- 5) 上記誤解答の多かったテーマの研修では、「理論」の講義の後に行う「症例検討」が、業務の都合により 2~3 週間後になっているケースがあり、理論と演習を組み合わせた知識強化では、途中、時間が開くことで、学習効果が低下する可能性が考えられる。また、研修受講者から「業務に追われ研修テキストを読む時間が取れない」という声が聞かれたため、「症例検討」に入る前に「理論」の復習を必ず行い、受講者の理解度や反応を見ながら研修方法を工夫するように、ファシリテーターへ指導した。
- 6) さらに、誤解答の多かったテーマについては、テストの内容や問題表記が適切であったかを母子保健技術委員会メンバーらと検討・修正した後、両 SILAIS からパイロット保健セクターで再テストを実施することの合意を得た。
- 7) 毎年 4 月に、社会奉仕期間の研修医と研修看護師の人事異動ある。パイロット保健セクターにおいても、大半のメンバーが異動し、新しいメンバーによる活動が始まるこの時期の研修開始は適切であった。
- 8) 研修終了後に実施する活動評価に関し、その実施計画、手法などについて、両 SILAIS および母子保健技術委員会メンバーと協議を継続している。
- 9) 両 SILAIS と協議し、ESAFc に対して、妊娠性高血圧と産後出血などの緊急搬送に関する知識強化を目的として、ビデオ教材の制作を開始した。完成後この教材を、ESAFc 研修に加えてゆく。

計画

- ① パイロット市で実施する研修を引き続き巡回し、適宜、指導や支援を行う。
- ② 研修終了後に実施する活動評価手法を構築し、モニタリングを開始する。
- ③ ビデオ制作作業を継続する。

1-3. 保健セクターの活動

- 1) アコヤパ市パイロット保健セクターであるサン・フェリペ保健セクターは、サン・フェリペ保健セクター（セクター番号 7、集落 5）とラ・カレタ保健セクター（セクター番号 10、集落 6）に分割された。また、同市エル・サポテ保健セクターも、エル・サポテ保健セクター（セクター番号 8、集落 3）とチナル保健セクター（セクター番号 11、集落 6）に分割された。パイロット保健セクターが 2 か所から 4 か所に増えるにあたり、SILAIS チョンタレスとアコヤパ支所と協議している。しばらくは、4 か所をパイロット保健セクターとしてフォローすることで合意した。

- 2) 4市の10パイロット保健セクターにおいて、ES AFC と RC が参加する保健セクター会議を SILAIS および支所のスタッフと巡回し、活動の進捗をモニタリングしている。セクター会議では集落への訪問日程の調整や、妊産婦の健診状況などについて検討がなされている。
- 3) 13活動のうち「(1)RC リストの作成」「(2)保健セクター会議の毎月の開催」「(3)家族調査票の作成」「(4)集落マップの作成」は、徐々にではあるが着実に活動が進んでいる。
- 4) 家族調査票は、基本的に ES AFC が全項目を記入し作成することになっているが、時間・移動手段・人員などのリソースが絶対的に不足しており、ほとんど進んでいなかった。この状況に対し、プロジェクトから実施可能な手法として、調査票の基本情報の記入を RC が担い、医療及び分析情報は ES AFC が記入することを提案し、両 SILAIS 合意の上実施している。この手法の導入に際し、RC が記入の一部を担うことに難色を示す C/P もいたが、これまでのところ順調に進んでいる。
- 5) 集落マップは、RC が作成し、ES AFC が追加情報を記載している。集落マップには集落内の全家屋が記載され番号が割り振られており、家屋番号順の家長リストが添付されている。
- 6) ヌエバ・ギネア市のタロリング保健セクターやアコヤパ市のサン・フェリペ保健セクターでは、RC の主導により「(6)RC 向けの出産計画研修実施」が行われている。
- 7) ES AFC は、全家屋が記載されている集落マップ、家長リスト、家族調査票で構成された集落ごとのファイルを作り、集落訪問、妊産婦及び乳幼児の住居確認、健診や啓発活動などに利用している。
- 8) RC 用のプロジェクトロゴとスローガン「Familia sana, Comunidad feliz!」(健康な家族は集落の幸せ!)のデザインされた T シャツと帽子を配布し、RC のチームビルディングと活動の促進を図っている。
- 9) 13項目活動モニタリングシートを用いた進捗評価の結果、ES AFC による「(5)RC との保健セクターおよび集落の分析」の取組みが滞っていることが確認された。両 SILAIS 技術審議会にて、保健セクターおよび集落の分析方法を取り決め、各パイロット保健セクターの ES AFC に指導した。

- 計画** ① ES AFC によるコミュニティネットワークとの 13 項目活動を支所担当官と共に巡回指導する。
- ② ES AFC と RC が協力して取り組む「(5)RC との保健セクターおよび集落の分析」を支援する。

1-4. レファラル・カウンターレファラルおよび妊産婦管理の巡回指導

- 1) SILAIS と共に取り組んでいるレファラル・カウンターレファラルに関する巡回指導では、①ワークショップで作成した業務フロー図に沿った実施、②保健省令で義務付けられている所定の用紙への必要な情報の的確な記録、③ES AFC への情報のフィードバック、について、継続して業務確認および指導を行っている。
- 2) 支所と共に取り組んでいるパイロット保健セクターにおける妊産婦管理に関する巡回指導では、台帳の正しい記入、出産計画、妊産婦健診、家族計画、ハイリスク妊婦のレファラルなどの状況を確認している。

- 計画** ① 両 SILAIS は、プロジェクトと巡回指導計画に基づき、巡回指導を実施する。

1-5. ヘルス・プロモーション活動

- 1) ジカ熱とともに、非常事態宣言が出ているデング熱の発生を受け、住民啓発活動用のステッカー作成を SILAIS チョントレスの媒介虫対策技官とともに進めている。
- 2) 一次医療施設に配布する、マタニティホームの利用促進のためのポスター制作を開始した。

1-6. 第3回運営委員会（添付資料、アジェンダ参照）

➤ 妊産婦管理

- 1) 妊産婦管理台帳が的確に使用される方法として以下を提案し、合意を得た。
 - ① ESAFC は、妊産婦管理台帳を毎日更新する。
 - ② ESAFC は、妊産婦健診など予定日等を確実に定め、実施されない場合は、あらゆる手段（通話、RC 経由、隣人経由、直接訪問など）を講じて妊産婦の状況を確認する。
 - ③ 支所は、各 ESAFC が管理する妊産婦台帳を毎週もしくは隔週確認し、研修内容どおりの記入がされ、継続監視が滞っていないかどうかを確認する。
- 2) 妊産婦管理台帳とは別に、「向こう 4 週間の出産予定者リスト」を作成し、安全な出産を監視する。
 - ① ESAFC は毎週「向こう 4 週間の出産予定者リスト」を作成し、支所へ提出する。
 - ② ESAFC は、農村部在住の妊産婦のレファラルを確実に実施し、「向こう 4 週間の出産予定者リスト」の妊婦ごとにレファラル状況を記入する。
 - ③ 支所は、ESAFc より毎週「向こう 4 週間の出産予定者リスト」を受け取り、Excel 様式に入力し、SILAIS へ送付する。
 - ④ 支所は、ESAFc がレファラルした農村部の妊産婦を継続監視し、レファラル先（マタニティホーム、保健センター、地域病院など）、出産日などを随時確認し、ESAFc へフィードバックする。
 - ⑤ SILAIS は、支所が妊産婦の継続監視を実施した結果を 2 週間ごとに SILAIS 技術審議会で確認する。
- 3) その他の合意事項は、以下の 2 点である。
 - ① 支所と ESAFC は、毎月妊産婦管理に関して分析するための会議を開催する。
 - ② 妊産婦の地域病院へのレファラルの際には、病院長もしくは副病院長へ電話する。

➤ レファラル・カウンターレファラル

- 1) 妊産婦及び乳幼児の緊急レファラルとカウンターレファラルの記録状況は次頁表のとおりであった。本来、支所が把握している件数と、地域病院が有する件数とは一致していなければならない。2 月にレファラル・カウンターレファラルの実施数を初めて評価した時と比較し、レファラルについては、支所と地域病院の記録数の一致率が高まったが、カウンターレファラルは、地域病院と支所の記録数の差が大きかった。プロジェクトは、SILAIS チョントレスとともに地域病院内のデータ管理、データ共有

方法の改善策を提案し、病院は改善案に取り組み始めた。また、SILAIS チョントレスは、今運営委員会にて、専属のレファラル・カウンターレファラル担当官を任命した。

レファラル・カウンターレファラル 実施記録表		妊産婦及び乳幼児の緊急レ ファラル数				妊産婦及び乳幼児のカウン ターレファラル数			
		1月	2月	3月	4月	1月	2月	3月	4月
SILAIS チョントレス 合計	10支所記録数	50	111	115	126	32	213	208	227
	地域病院記録数	119	142	104	147	377	379	392	442
	差異数	69	31	11	21	345	166	184	215
	記録一致率	42.0	78.2	90.4	85.7	8.5	56.2	53.1	51.4
SILAIS セラヤ・セントラル 合計	4支所記録数	123	96	92	100	328	29	224	8
	地域病院記録数	84	100	91	124	202	138	163	195
	差異数	39	4	1	24	126	109	61	187
	記録一致率	68.3	96.0	98.9	80.6	61.6	21.0	72.8	4.1

2) SILAIS セラヤ・セントラル、地域病院、ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス一次病院がレファラル・カウンターレファラルの運営管理に関して現状を分析し発表した。その結果、以下の多岐にわたる問題点が明らかになり、各レベルでのレファラル・カウンターレファラルに関する省令の再研修が提案された。

- ① レファラル・カウンターレファラルの省令 068 が遵守されていない。
- ② 業務フロー図に記載されている手順が各レベルにおいて実施されていない。
- ③ 医師が記入するレファラルおよびカウンターレファラルの診断書の文字が読み取れない。
- ④ データ管理課担当官の継続ケアに関する知識不足により、記録の交差チェックが十分になされていないことに加え、記入ミスが発生している。

3) レファラル・カウンターレファラルに関する主な合意事項は、下記のとおりである。

- ① 6月以降、近隣 SILAIS に参加を呼びかけ、SILAIS 間でレファラル・カウンターレファラル隔月会議を開催する。
- ② 両 SILAIS はカウンターレファラルについて、毎月フォローおよび分析をするための会議を開催する。
- ③ 支所と ESAFC は、毎月レファラル・カウンターレファラルに関してフォローおよび分析をするための会議を開催する。

➤ ベースライン調査報告書

ベースライン調査報告書を 14 支所長に配布し、ベースライン調査の第 1 次および第 2 次調査の考察について、その内容の確認および調査結果から抽出された課題の解決方法などの検討を行った。データ管理に関しては、SILAIS、支所、ESAFc による情報分析が重要であることが参加者により再確認された。課題の検討からは、妊産婦管理台帳やレファラル・カウンターレファラルシステムの強化、支所における技術審議会への SILAIS の参加促進、住民や妊産婦に対する啓発活動の強化を引き続き図ることが合意された。

➤ ヘルス・プロモーション活動研修

地域におけるヘルス・プロモーション活動の強化のため、6月に実施するファシリテーター研修について、その研修内容を提示し、SILAIS チョントレスで2回、SILAIS セラヤ・セントラルで1回の研修開催が合意された。各回の参加者は、SILAIS と支所から15名である。研修内容は、保健セクターおよび集落の分析結果・家族調査票・集落マップなどの活用法、健康教育教材の効果的な使用法、住民の行動変容を促すアプローチ手法である。

➤ ESAFC 関連事項

パイロット保健セクターで実施している ESAFC と RC の 13 項目活動の進捗、ESAFc 研修の進捗について、それぞれカウンターパートにより発表された。

運営委員会における、その他の合意事項は、以下の2点であった。

- ① 妊産婦管理台帳、レファラル・カウンターレファラルの改善案を即時実施する。
- ② 2SILAIS は各支所へ訪問し、技術統合巡回指導を実施する。

1-7. 運營業務

1) 保健セクターの分割

SILAIS チョントレスは、75 の保健セクターを 87 保健セクターへと再分割した。アコヤパ市の 2 パイロット保健セクターは、前述(1-3)のとおり 4 保健セクターに分割された。

1-8. 関連事項

1) 名井次長のプロジェクト視察

JICA ニカラグア事務所の名井次長が、SILAIS チョントレスで実施したプロジェクト運営委員会とプロジェクト事務所、SILAIS セラヤ・セントラルの医療施設を視察し、総括が同行した。

2) JICA と米州開発銀行 (IDB) との会議

JICA ニカラグア事務所の依頼を受け、IDB との保健分野における会議に総括が同席した。IDB の病院建設などの活動説明、JICA の病院建設の説明に続き、本プロジェクトの活動概要を説明した。

3) 保健分野の JOCV との連携活動

SILAIS チョントレス配属の中村望美助産師隊員は、管内各所のマタニティホームへ宿泊し訪問調査をしており、同隊員とマタニティホームの実情について情報交換を随時行った。また、保健医療分野 JOCV による医療部会 (6 名) から、健康教育教材の作成や活用スキル向上を目的とした勉強会に、プロジェクトのヘルス・プロモーション専門家が講師依頼を受け、JICA ニカラグア事務所の同意を得たので6月中にマナグアで開催する勉強会に派遣することとなった。

4) 帰国研修員のアクションプランの支援

SILAIIS セラヤ・セントラルから本邦集団研修「公衆衛生活動による母子保健強化」に参加した C/P が、研修で作成したアクションプランの若年妊娠対策の活動を、パイロット保健セクターで開始した。その内容は、思春期リプロダクティブヘルスを推進するため、保健セクターの RC を介して思春期青少年を招集し、ピアエデュケーターの育成を行うものである。プロジェクトでは活動プロセスの支援と助言を行っている。

2. 活動日程

<5月>

- 2日：村上友美子専門家（ヘルス・プロモーション）着任
- 3日：アコヤパ市チナル地区保健セクター会議
- 5日：サント・ドミンゴ支所第3回 ESAFC 研修、ヌエバ・ギネア支所第3回 ESAFC 研修
- 6日：SILAIIS チョンタレスにおける13項目活動進捗会議、アコヤパ支所第3回 ESAFC 研修
- 8日：地域病院でレファラル・カウンターレファラルシステム会議
- 10日：SILAIIS セラヤ・セントラルにおける13項目活動進捗会議
- 11日：サント・ドミンゴ市ブルン2保健セクター会議、エル・ラマ市ワピ保健セクター会議
- 13日：アコヤパ支所第4回 ESAFC 研修、エル・ラマ支所第3回 ESAFC 研修、ヌエバ・ギネア支所第4回 ESAFC 研修
- 15日：石原尚子専門家（母子保健）着任
- 17日：ヌエバ・ギネア市タロリング保健セクター会議
- 18日：サント・ドミンゴ市チナモス保健セクター会議
- 19日：ヌエバ・ギネア市ナシオネス・ウニダス保健セクター会議、サント・ドミンゴ支所第4回 ESAFC 研修、アコヤパ支所第5回 ESAFC 研修
- 20日：エル・ラマ支所第4回 ESAFC 研修、ヌエバ・ギネア支所第5回 ESAFC 研修、JICA・IDB 保健分野会議（於：マナグア）
- 24日：第3回プロジェクト運営委員会（於：フィガルパ）、JICA ニカラグア事務所次長プロジェクト視察
- 25日：エル・ラマ市マロン保健セクター会議、JICA ニカラグア事務所次長プロジェクトフィールド（SILAIIS セラヤ・セントラルの医療施設）視察
- 26日：アコヤパ市サン・フェリペ保健セクター会議
- 27日：エル・ラマ支所第5回 ESAFC 研修、ヌエバ・ギネア支所第6回 ESAFC 研修
- 31日：両 SILAIIS において支所とのレファラル・カウンターレファラル会議

3. 今後の予定

<6月>

- 2日：アコヤパ市エル・サポテ保健セクター会議、アコヤパ支所第6回 ESAFC 研修、サント・ドミンゴ支所第6回 ESAFC 研修
- 3日：ヌエバ・ギネア支所第7回 ESAFC 研修、エル・ラマ支所第6回 ESAFC 研修
- 7日：アコヤパ市チナル保健セクター会議
- 8日：アコヤパ市保健技術合同審議会
- 9日：第5回保健省定期会議、アコヤパ市ラ・カレタ保健セクター会議、アコヤパ支所第7回 ESAFC 研修

- 10日：エル・ラマ支所第7回 ESAFC 研修
- 11日：JOCV 医療部会「健康教育教材等に関する勉強会」開催（於：JICA ニカラグア事務所）
- 12日：濱口陽子専門家（ヘルス・プロモーション）着任
- 15日：サント・ドミンゴ市チナモス保健セクター会議、ヘルス・プロモーション研修(SILAIS セラヤ・セントラル)
- 16日：ヌエバ・ギネア市ナシオネス・ウニダス保健セクター会議、エル・ラマ市ワピ保健セクター会議、ヘルス・プロモーション研修（SILAIS チョントレス第1グループ）
- 22日：ヘルス・プロモーション研修（SILAIS チョントレス第2グループ）、サント・ドミンゴ市ブルン2保健セクター会議
- 24日：渡辺咲子専門家（副総括/地域保健/業務調整）着任
- 28日：ヌエバ・ギネア市タロリング保健セクター会議、村上友美子専門家（ヘルス・プロモーション）離任
- 29日：中村二郎専門家（総括/地域保健）離任

4. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

月報添付資料

SAMANI プロジェクト

第 3 回プロジェクト運営委員会

日時、場所：

5月24日（火）午前8時、SILAIS チョントレス会議室

アジェンダ（結果）

時刻	内容	ファシリテーター
08:00 -	受付	
09:10 -	第3回プロジェクト運営委員会開会主旨	両 SILAIS 局長
09:40 -	自己紹介	参加者全員
09:50 -	前合意事項（2月の半期評価会）の確認	SILAIS チョントレス保健サービス課長
10:10 -	妊産婦管理台帳の運営管理 ➤ 安全な出産の強化	SILAIS チョントレス保健サービス課長
11:40 -	ベースライン調査報告書、考察内容の確認	SILAIS セラヤ・セントラル保健サービス課長
12:20 -	昼食	
13:10 -	レファラル・カウンターレファラルシステムの検証 ➤ 病院・支所の実施記録数の確認 ➤ SILAIS、地域病院、一次病院による実施状況の分析	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト総括 ・SILAIS セラヤ・セントラル保健サービス課長 ・地域病院長 ・ムエジェー一次病院長
15:00 -	パイロット保健セクターにおける 13 項目の活動進捗状況	SILAIS セラヤ・セントラル妊産婦担当官
15:30 -	一次医療におけるプロモーション活動と研修	プロジェクト専門家
15:50 -	パイロット保健セクター向け ESAFC 研修の進捗状況	SILAIS チョントレス看護担当官
16:30 -	合意事項作成	両 SILAIS 保健サービス課長

業務従事者の従事計画／実績表

監督職員確認印:【監督職員氏名】伊藤 賢一 印

契約件名: ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

1. 現地業務

氏名 (担当業務)	格付	渡航 回数	2015年						2016年												2017年			日数 合計 (日)	人月 合計 (M/M)	自社負担 日数合計 (日)																																																									
			7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																																												
中村 二郎 (総括/地域保健)	2	計画	■						251日			■			95日			■			194日			540	18.00	9																																																									
		実績	■						251日			(2015年7月12日～2016年5月31日)															316	10.53																																																							
渡辺 咲子 (副総括/業務調整/地域保健)	4	計画	■						60日			■			45日			■			60日			30日			345	11.50	0																																																						
		実績	■						150日			60日																		210	7.00																																																				
石原 尚子 (母子保健)	3	計画	■						57日			■						206日						428	14.27	0																																																									
		実績	■						165日			57日			(2016年5月15日～2016年5月31日)									239	7.97																																																										
吉岡 浩太 (公衆衛生:調査分析)	4	計画	□						30日																		30	1.00	9																																																						
		実績	□						39日																		30	1.00																																																							
村上 友美子 (公衆衛生:ヘルスプロモーション)	3	計画	■						30日			■						60日間						60	2.00	7																																																									
		実績	■						37日			(2016年5月2日～2016年5月31日)									60	2.00																																																													
濱口 陽子 (公衆衛生:ヘルスプロモーション)	4	計画	■						■						30日間						30	1.00																																																													
		実績	■						■																																																																										
花田 恭 (保健行政/マネージメント)	3	計画	■						10日			■						11日間						21	0.70	4																																																									
		実績	■						14日			■												10	0.33																																																										
狐崎 知己 (保健行政)	3	計画	■						■						9日間						9	0.30																																																													
		実績	■						■																																																																										
高木 史江 (産科/小児ケア)	3	計画	■						■						9日間						9	0.30																																																													
		実績	■						■																																																																										
凡例:		■	業務従事計画																								□	業務従事実績																								■	自社負担																								現地業務小計			計画	1,472	49.07	
																																																																																実績	865	28.83	29

2. 国内業務: 該当しないため割愛

報告書等	計画	△ W/P(原案) + M/S(Ver.1)	△ M/S(Ver.2)	△ M/S(Ver.3)	△ P/R	△ F/R
	実績	△ W/P(原案) + M/S(Ver.1)				

注1) 各業務従事者の現地、国内のそれぞれの人月は、現地業務期間は30日、国内業務期間は20日で除した数字の小数点以下第3位を四捨五入して算定すること。
 注2) 現地業務と国内業務の振替は人月単位で行うこととするため、日数に端数が出るが、この端数は国内業務の日数で調整することとし、合計人月は変更しないこと。
 注3) 各業務従事者の各配置期間の下には、日数を括弧書きで記入すること。
 注4) 実績については各配置期間の開始日、終了日を記載すること。計画については記入不要。
 注5) 通訳についても記載すること。
 注6) コンサルタント業務従事月報の添付資料とするときは、月報提出月以降の「業務従事予定日程」を括弧書きで記載すること。



2016年7月5日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における
母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2016年6月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. パイロット地区における医療従事者研修

1) 4月より実施していた8か所のパイロット保健セクターの医療従事者に対する、「妊産婦管理台帳」「産前健診」「妊娠性高血圧」「産後出血」「乳幼児健診」および「ジカ熱」の6項目の研修を全て修了した。

2) 研修の研修前・後テストの結果は、以下のとおりであった。

	妊産婦管理台帳		産前健診		妊娠性高血圧		産後出血		乳幼児健診	
	事前	事後	事前	事後	事前	事後	事前	事後	事前	事後
平均 点数	82	92	59	70	76	92	89	94	61	75

3) 「妊産婦管理台帳」「妊娠性高血圧」「産後出血」の研修後テストは90点台取得したものの、「産前健診」「乳幼児健診」は70点台取得であったため、後者の2項目に対する強化の必要性が再認識された。

4) 「産前健診」では、妊婦の体重管理（妊婦体重増加の評価）、血圧管理（子癩前症の識別）、予防接種管理（予防接種歴による対応）、「乳幼児健診」では、乳幼児の成長評価についての理解と知識の活用が不十分であることが課題として挙げられた。両 SILAIS から再強化が必要なテーマに焦点をあて、補完研修を行うことの合意を得た。

5) 研修前・後テストについては、得点が低かったテーマの問題文について母子保健技術委員会、支所ファシリテーターらと検討を重ね、医師だけでなく看護師、准看護師が理解できる文章表記へと最終修正した。両 SILAIS からは、補完研修時に再テストを実施することの合意を得ている。

6) また、研修後の知識と技術の定着状態と、補完研修が必要な項目などの確認のため、既存の「サービスの質保障のためのモニタリングシート」を研修モニタリング・評価枠組みの中で活用していくことで合意しており、このモニタリングシートを基に「産前健診」と「乳幼児健診」についての活動評価チェックリストを両 SILAIS および母子保健

技術委員会と作成し、検証を開始した。

- 計画**
- ①パイロット市で実施する補完研修を巡回し、適宜、指導や支援を行う。
 - ②研修終了後に実施する活動評価手法を構築し、モニタリングを開始する。
 - ③研修教材の見直しを行う。
 - ④ビデオ制作作業を継続する。

1-2. ESAFC 活動

- 1) プロジェクトは、「ES AFC」の定義を「保健セクターの医療従事者」としていたが、保健サービス総局および両 SILAIS と協議し、国が進める家庭地域保健モデル（MOSAFC）の概念の中で示されている ESAFC をより明確に表す「保健セクターの医療従事者およびコミュニティネットワーク」と定義とすることで共通認識を得た。また、これに伴い、プロジェクトが導入した保健セクターにおける「ES AFC とコミュニティネットワークの 13 活動」は、今後「ES AFC 活動」と呼称を改定することで合意した。
- 2) プロジェクトは、保健省による再分割作業で、2 か所から 4 か所に増えたアコヤパ市のパイロット保健セクターについてアコヤパ支所と検討し、サン・フェリペ保健セクター（セクター番号 7、集落 5）とチナル保健セクター（セクター番号 11、集落 6）をパイロット保健セクターと定め、これまでのセクターから分離したラ・カレタ保健セクター（セクター番号 10、集落 6）とエル・サポテ保健セクター（セクター番号 8、集落 3）は、集落数、妊産婦数が少ないことから、パイロット保健セクターではなく、必要時にフォローする対象集落とすることに決め、ワークプランに沿って 8 保健セクターをパイロットセクターとすることで合意した。
- 3) 4 市の 8 パイロット保健セクターにおいて、ES AFC と RC が参加する保健セクター会議を SILAIS および支所のスタッフと巡回し、活動の進捗をモニタリングしている。セクター会議では集落への訪問日程の調整や、妊産婦の健診状況などについて検討がなされている。
- 4) ESAFC 活動の 13 項目のうち「(3) 家族調査票の作成」「(4) 集落マップの作成」は、出来上がったものが集落ごとにフォルダにまとめられ、一部のセクターでは医療従事者による集落訪問に使われ始めた。地図と家族構成が明記された家族調査票を集落訪問に使うことで、産前健診や乳幼児健診の計画が立てやすくなった。

- 計画**
- ① ESAFC による 13 項目活動を支所担当官と共に巡回指導する。
 - ② ESAFC の医療従事者と RC が協力して取り組む「(5) RC との保健セクターおよび集落の分析」を継続して支援する。

1-3. レファラル・カウンターレファラルおよび妊産婦管理の巡回指導

- 1) レファラル・カウンターレファラルの巡回指導をとおして、多くの社会奉仕期間の研修医が、レファラル・カウンターレファラルに必要な手続きを把握していなことが明らかになった。SILAIS チョンタレスでは、パイロット市において、レファラル・カウンターレファラルシステムに関する保健省令に沿って、医療従事者向けの研修を開始した。SILAIS セラヤ・セントラルでは、レファラル・カウンターレファラルの記録を継続して巡回指導している。

- 2) 妊産婦管理に関する巡回指導は、パイロット市およびパイロット保健セクターを重点的に行っている。「向こう 4 週間の出産予定者リスト」は毎週金曜日に両 SILAIS に届けられることになっているが、SILAIS チョントレスでは 10 市中 6 市しか提出されていない。継続して提出を働き掛けている。

計画 ① 両 SILAIS は、プロジェクトと巡回指導計画に基づき、巡回指導を実施する。

1-4. ヘルス・プロモーション活動

- 1) 一次医療施設に配布するマタニティホームの利用促進のためのポスターと、ジカ熱、デング熱等の対策として啓発ステッカーを制作した。ポスターやステッカーは複数の案を C/P 機関の職員をはじめ地元の小学生等に提示し、最も効果が期待できるとされ、選ばれた各 1 作について、保健省保健サービス総局を通じて保健大臣に使用許可を申請している。
- 2) 研修ファシリテーターおよび両 SILAIS の C/P に対して、地域での質の高い保健サービスの提供と教授法を含むコミュニケーション技術の強化を目的としてヘルス・プロモーション研修を実施した。SILAIS セラヤ・セントラルで 1 回、SILAIS チョントレスで 2 つのグループに対して各 1 回、計 45 人に対し、公衆衛生/ヘルス・プロモーション短期専門家 2 名が講師を務めて行った研修の内容は以下のとおりである。
 - ① MOSAFC において実施するヘルス・プロモーションの特徴：従来は、健康教育として、医療従事者が一方的に保健情報を提供していたが、MOSAFC の求めるヘルス・プロモーションは、地域の健康に係わる問題を、住民とともに見極めるとともに、そこにある人的・物的資源をフル活用して、地域の力で住民が自身や家族の健康を維持増進させるための行動をとるようになることを目指しているのが特徴であることを確認した。
 - ② ヘルス・プロモーション計画のための情報収集：ESAFC の 13 活動のひとつである「地域診断」は、そのフォーマット（用紙）は存在するものの、作成が進まず、またその結果が全く活用されていない現実に対し、正確な地域診断により、効果的なヘルス・プロモーション計画が立案できることが理解でき、地域診断に取り組む ESAFC の意欲の向上を目的として、地域診断の意義と、その情報がヘルス・プロモーション活動にどう活かせるのかを示した。
 - ③ IEC (Information Education Communication: インフォメーション・エディケーション・コミュニケーション) と BCC (Behavior Change Communication 行動変容を促すコミュニケーション)：なぜ行動変容を促すことは難しいのか、どのように働きかければヘルス・プロモーションの最大の効果が狙えるのかを、IEC と BCC の概念を基に、行動を変えない人をタイプ別に分類し、研修参加者の体験を交えながら学習した。
 - ④ エドガー・戴尔の「経験の三角錐」の理論：様々な情報伝達と学習の手法について、この理論を通して、視聴覚教材、デモンストレーションや実習など、ひとつひとつの手法の目的、効果の違いについて確認した。ここでは、自分たちに最も身近な、ポスターや保健情報ボードについて、どのような内容をどのような構成で、どこにどのように提示すると効果が上がるかを示した。
 - ⑤ 母子栄養に焦点をあてたヘルス・プロモーション：母子栄養を例に、省令ではどのようなプロモーションを奨励しているか、そのためには、どのような情報収集が必

要か、計画立案時にはどのような点に着目するかを示した。また、参加者が実際に演習でいくつか異なる手法や教材を用いることで、①～④で得た知識を実際の場面でどのように活用するのかを体験した。

- ⑥ グループワーク：実務で取り組んでいるテーマ（産前健診促進、マタニティホームの利用増加、妊娠時の異常への早期対応など）を例に、ヘルス・プロモーションを行うために得ておくべき情報とその収集方法、対象者、実施者、実施場所、予算、実施方法に関して計画立案し発表した。このグループワークを通して、研修で学んだ知識を整理し、地域の情報や資源を今後の啓発活動に、どのように活用していいのかを再確認し、知識の定着と普及を促した。

3) ヘルス・プロモーション研修のファシリテーター用ガイドの作成

今回受講したファシリテーターが、各市で ESAFC の医療従事者に対して伝達研修を実施できるよう、プロジェクトは上記研修のファシリテーター用ガイドの作成を開始した。

- 計画 ① 保健省よりステッカーとポスターの使用許可を得て、啓発活動に取り組む。
 ② ヘルス・プロモーション研修のファシリテーター用ガイドを作成する。
 ③ 両 SILAIS は、各市レベルにおいてファシリテーターによるヘルス・プロモーション研修の実施計画を立案する。

1-5. 運營業務

1) モニタリングシート ver. 3 の作成と提出

モニタリングシート ver. 3 を両 SILAIS の局長と保健サービス担当官とともに作成し、JICA ニカラグア事務所へ西文・和文各 2 部を提出した。また、保健省保健サービス総局に対して両 SILAIS の局長と保健サービス担当官の署名を添えて西文 2 部を提出した。

2) 保健省での第 5 回定期会議

5 月 24 日に開催した第 3 回プロジェクト運営委員会には、本省の対外協力局は出席したものの、デング熱対策など諸事情により保健サービス総局は出席できなかった。運営委員会の協議内容、PDM 指標の進捗状況、ヘルス・プロモーション研修、JICA ニカラグア事務所から SILAIS セラヤ・セントラルに対する中古車両の供与等に関して、成果と課題の説明、研修目的、供与手続きの状況などに関して情報を共有した。

3) JICA ニカラグア事務所との第 7 回定期会議

所長、次長、案件担当〔企画調査員〕に対して、プロジェクト活動（研修、ESAFc 活動、巡回指導など）の進捗状況を説明した。

1-6. 関連事項

1) SILAIS セラヤ・セントラルにおける病院建設案件の表敬に同行

JICA ニカラグア事務所の依頼を受け、病院建設案件のミッションが、ヌエバ・ギネア市役所を表敬訪問するにあたり JICA ニカラグア事務所長とともに総括が同行した。ヌエバ・ギネア市長や SILAIS セラヤ・セントラル長など、市の主な関係者に対して、総括が SAMANI プロジェクト活動の発表を行い、協力を要請した。

- 2) 保健分野 JOCV に対する勉強会開催
保健医療分野 JOCV による医療部会（6 名）に対して、健康教育教材の作成や活用スキル向上を目的とした勉強会を JICA ニカラグア事務所で開催した。各 JOCV が作成した教材を紹介するとともに、プロジェクトのヘルス・プロモーション専門家が講師研修を開催した。
- 3) 国立自治大学フィガルパ校看護教育学科「妊婦体操」特別講義の実施
SILAIS をとおして看護教育学科教官の依頼を受け、2 名の日本人専門家および JOCV 隊員は、教官 2 名、看護学生 50 名に対し、妊婦体操の特別講義を行った。専門家は、妊婦体操の紹介と実技のフォローを担当し、JOCV 隊員は、実技を担当した。日本で実施している「妊婦体操」をビデオ紹介するとともに、実技をとおして教官、看護学生へ講義を行った。

2. 活動日程

<6月>

- 2 日：アコヤパ市エル・サポテ保健セクター会議、アコヤパ支所第 6 回 ESAFC 研修、サント・ドミンゴ支所第 6 回 ESAFC 研修
- 3 日：ヌエバ・ギネア支所第 7 回 ESAFC 研修、エル・ラマ支所第 6 回 ESAFC 研修
- 7 日：アコヤパ市チナル保健セクター会議、タロリング保健セクター母子保健研修後モニタリング
- 8 日：アコヤパ市保健技術合同審議会、ナシオネス・ウニダス保健セクター母子保健研修後モニタリング
- 9 日：第 5 回保健省定期会議、アコヤパ市ラ・カレタ保健セクター会議、アコヤパ支所第 7 回 ESAFC 研修
- 10 日：エル・ラマ支所第 7 回 ESAFC 研修
- 11 日：JOCV 医療部会「健康教育教材等に関する勉強会」開催（於：JICA ニカラグア事務所）
- 12 日：濱口陽子専門家（公衆衛生／ヘルス・プロモーション）着任
- 13 日：JICA 病院建設案件のヌエバ・ギネア市役所公式訪問に同行
- 15 日：サント・ドミンゴ市チナモス保健セクター会議、第 1 回ヘルス・プロモーション研修（SILAIS セラヤ・セントラル）
- 16 日：ヌエバ・ギネア市ナシオネス・ウニダス保健セクター会議、エル・ラマ市ワピ保健セクター会議、第 2 回ヘルス・プロモーション研修（SILAIS チョントレス第 1 グループ）
- 17 日：モニタリングシート作成会議（於：SILAIS チョントレス）
- 20 日：モニタリングシート作成会議（於：SILAIS セラヤ・セントラル）、ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス市保健技術合同審議会
- 21 日：サント・ドミンゴ市ブルン 2 保健セクター会議、国立自治大学フィガルパ校看護教育学科「妊婦体操」特別講義出席
- 22 日：第 3 回ヘルス・プロモーション研修（SILAIS チョントレス第 2 グループ）、エル・ラマ市マロン保健セクター会議
- 23 日：サント・ドミンゴ支所第 7 回 ESAFC 研修
- 24 日：渡辺咲子専門家（副総括/地域保健/業務調整）着任
- 27 日：第 7 回 JICA ニカラグア事務所定期会議
- 28 日：ヌエバ・ギネア市タロリング保健セクター会議、村上友美子専門家（公衆衛生／ヘルス・プロモーション）離任

- 29日：エル・ラマ市技術審議会(情報分析会議)、中村二郎専門家(総括/地域保健) 離任
アコヤパ市サン・フェリペ保健セクター会議・母子保健研修後モニタリングシート
検証
- 30日：エル・ラマ市マロン保健セクター母子保健研修後モニタリングシート検証

3. 今後の予定

<6月>

- 1日：ヌエバ・ギネア市技術審議会(情報分析会議)
- 7日：アコヤパ市チナル保健セクター会議
- 11日：濱口陽子専門家(公衆衛生/ヘルス・プロモーション) 離任
- 13日：サント・ドミンゴ市チナモス保健セクター会議、エル・ラマ市ワピ保健セクター会議
- 14日：ヌエバ・ギネア市ナシオネス・ウニダス保健セクター会議
- 21日：エル・ラマ市マロン保健セクター会議
- 26日：ヌエバ・ギネア市タロリンガ保健セクター会議
- 27日：サント・ドミンゴ市ブルン2保健セクター会議、アコヤパ市サン・フェリペ保健セクター会議、

4. 業務従事者の従事計画/実績表

別添のとおり

活動写真

パイロット市の医療従事者研修(エル・ラマ市)



パイロット市の医療従事者研修(アコヤパ市)



ヘルス・プロモーション研修(SILAIS チョンタレス)



ヘルス・プロモーション研修(濱口専門家)



ヘルス・プロモーション研修



小学校での啓発ステッカー検証



保健セクター会議(エル・ラマ市)



保健セクター会議(アコヤパ市)



コミュニティネットワーク(アコヤパ市)



コミュニティネットワークが建てたカサバセ



保健分野 JOCV の勉強会



業務従事者の従事計画／実績表

監督職員確認印:【監督職員氏名】伊藤 賢一 印

契約件名: ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

1. 現地業務

氏名 (担当業務)	格付	渡航 回数	2015年						2016年												2017年			日数 合計 (日)	人月 合計 (M/M)	自社負担 日数合計 (日)
			7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
中村 二郎 (総括/地域保健)	2	計画	■						■ 251日						■ 95日						■ 194日			540	18.00	9
		実績	■						■ 251日						■ 95日						■ (2015年7月12日～2016年6月30日)			346	11.53	9
渡辺 咲子 (副総括/業務調整/地域保健)	4	計画	■						■ 60日						■ 45日						■ 60日			345	11.50	0
		実績	■ 150日						■ 60日						■ (2016年6月24日～2016年6月30日)						■ 30日			217	7.23	0
石原 尚子 (母子保健)	3	計画	■						■ 57日						■ 206日									428	14.27	0
		実績	■ 165日						■ 57日						■ (2016年5月15日～2016年6月30日)									269	8.97	0
吉岡 浩太 (公衆衛生:調査分析)	4	計画	■ 30日																					30	1.00	9
		実績	■ 39日																					30	1.00	9
村上 友美子 (公衆衛生:ヘルスプロモーション)	3	計画							■ 30日						■ 60日間									60	2.00	37
		実績							■ 37日						■ 60日						■ (2016年5月2日～2016年6月30日)			60	2.00	37
濱口 陽子 (公衆衛生:ヘルスプロモーション)	4	計画													■ 30日間									30	1.00	9
		実績													■ (2016年6月13日～2016年6月30日)									18	0.60	9
花田 恭 (保健行政/マネージメント)	3	計画							■ 10日						■ 11日間									21	0.70	4
		実績							■ 14日															10	0.33	4
狐崎 知己 (保健行政)	3	計画													■ 9日間									9	0.30	9
		実績																						9	0.30	9
高木 史江 (産科/小児ケア)	3	計画													■ 9日間									9	0.30	9
		実績																						9	0.30	9
凡例: ■ 業務従事計画 □ 業務従事実績 ▬ 自社負担															現地業務小計			計画	1,472	49.07	59					
																		実績	950	31.67	59					

2. 国内業務: 該当しないため割愛

報告書等	計画	△ W/P(原案) + M/S(Ver.1)	△ M/S(Ver.2)	△ M/S(Ver.3)	△ P/R	△ F/R
	実績	△ W/P(原案) + M/S(Ver.1)				

注1) 各業務従事者の現地、国内のそれぞれの人月は、現地業務期間は30日、国内業務期間は20日で除した数字の小数点以下第3位を四捨五入して算定すること。
 注2) 現地業務と国内業務の振替は人月単位で行うこととするため、日数に端数が出るが、この端数は国内業務の日数で調整することとし、合計人月は変更しないこと。
 注3) 各業務従事者の各配置期間の下には、日数を括弧書きで記入すること。
 注4) 実績については各配置期間の開始日、終了日を記載すること。計画については記入不要。
 注5) 通訳についても記載すること。
 注6) コンサルタント業務従事月報の添付資料とするときは、月報提出月以降の「業務従事予定日程」を括弧書きで記載すること。

2016年8月8日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における
母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2016年7月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. パイロット地区における医療従事者研修

- 1) パイロット保健セクターの医療従事者に対する研修で、「産前健診」は、妊婦の体重管理（妊婦体重増加の評価）、血圧管理（子癇前症の識別）、予防接種管理（予防接種歴による対応）が、また「乳幼児健診」では、乳幼児の成長評価についての理解と知識の活用が不十分であることが課題として挙げられたことから、ヌエバ・ギネア市、エル・ラマ市、アコヤパ市のパイロット市で補完研修を行った。残るサント・ドミンゴ市は、8月第1週目実施の計画である。
- 2) 補完研修を実施したヌエバ・ギネア市とエル・ラマ市において、研修前・後テストの結果は以下のとおりであった。

	産前健診		乳幼児健診	
	事前	事後	事前	事後
平均点数	84	97	89	99

- 3) アコヤパ市は「乳幼児健診」に特化した研修を行った。テストの結果は、研修前（平均65点）、研修後（平均74点）であった。研修受講者は、初回研修より前向きに症例検討に取り組んでいたが、個人の成績は初回研修結果とほぼ同じであった。アコヤパ支所長から、引き続き課題に対する取り組みが必要であること、課題内容を理解できるまで継続研修枠を活用して研修を繰り返していくこと、現場へ巡回指導を行い、直接指導していくことが報告された。また、8月第1週目に「産前健診」の補完研修を実施する計画である。
- 4) 「産前健診」と「乳幼児健診」の研修後のモニタリングについては、既存の「サービスの質保障のためのモニタリングシート」を活用した活動評価の検証と活動の質向上に取り組んでいる。また、母子保健技術委員会で「妊産婦管理台帳」の研修後モニタリン

グシートを作成し、その検証を開始した。残りの研修テーマである「妊娠性高血圧」「産後出血」については、「サービスの質保障のためのモニタリングシート」の活用を考慮し、内容の検討を開始した。

- 5) 母子保健技術委員会を各 SILAIS で毎月実施し、研修後モニタリングシートの検証と修正、研修テキストの見直しを行っている。

計画

- ①パイロット市で実施する補完研修を巡回し、適宜、指導や支援を行う。
- ②研修後モニタリングシートの検証と修正を継続する。
- ③研修教材の見直しを継続する。

1-2. ESAFC 活動

- 1) 4市の8パイロット保健セクターにおいて、ESAFcの医療従事者とコミュニティネットワークが参加する保健セクター会議を SILAIS および支所のスタッフと巡回指導し、活動の進捗をモニタリングした。保健セクター会議では、13項目活動の地域診断のほか、妊産婦の健診状況などについて検討され、医療従事者の集落訪問日程調整がされた。
- 2) ESAFC13活動は、パイロット保健セクターで実施中であり、主な進捗状況は下記のとおりである。

パイロット市	アコヤパ市		サント・ドミンゴ市		ヌエバ・ギネア市		エル・ラマ市	
	サン・フェリペ	チナル	チナモス	ブルン2	ナシオネス・ウニダス	タロリンガ	ワピ	マロン
(1)RC リストの作成	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了
(2)保健セクター会議の毎月の開催	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
(3)家庭調査票の作成	4/6 集落	6/6 集落	6/7 集落	3/5 集落	5/5 集落	4/4 集落	2/10 集落	2/4 集落
(4)集落マップの作成	6/6 集落	5/6 集落	6/7 集落	3/5 集落	5/5 集落	4/4 集落	2/10 集落	3/4 集落
(5)地域分析		問題分析を開始	問題分析を開始		問題分析を開始	問題分析を開始		
(6)出産計画の研修	実施済み 2016.7	実施済み 2016.7	実施済み 2016.2	実施済み 2016.2	実施済み 2016.5	実施済み 2016.5	実施済み 2016.5	実施済み 2016.5

注) 空白の欄は、活動を開始していないことを意味する。

計画

- ①ESAFcによる13項目活動を、支所担当官と共に巡回指導する。
- ②13項目モニタリングについての指導を、SILAIS およびパイロット支所メンバーに行う。
- ③保健省より先月作成のステッカーとポスターの使用許可を得て、啓発活動に取り組む
- ④ヘルス・プロモーション研修のファシリテーター用ガイドを作成する。
- ⑤両 SILAIS は、各市レベルにおいてファシリテーターによるヘルス・プロモーション研修の実施計画を立案する。

1-3. レファラル・カウンターレファラルおよび妊産婦管理の巡回指導

- 1) これまではテーマごとの巡回指導に留まっていたが、医療従事者に対する研修や保健セクター会議の機会をとおして、SILAIS や支所の技術者が巡回指導に訪問する機会が増加したため、統合的なモニタリングを計画的に実施できるよう検討を開始した。
- 2) SILAIS チョンタレスは、病院とレファラル・カウンターレファラルシステム改善に関わる協議を行った。この結果、救急外来を受診して、入院に至らず帰宅となるケースに対しても、カウンターレファラル用紙を作成し、継続ケアを行うため支所へカウンターレファラル用紙を渡すことになった。
- 4) レファラル・カウンターレファラルの巡回指導では、パイロット市以外のプロジェクト対象市でもモニタリングを実施した。その結果、既定の用紙が用いられるようになり、患者の記録もレファラル・カウンターレファラルの記録もされるようになった。しかし、レファラル用紙の記入漏れや、乱筆による読解不能な診断用紙が散見された。
- 5) 妊産婦管理に関して、「向こう 4 週間の出産予定者リスト」は毎週各支所から SILAIS に報告されている。SILAIS セラヤ・セントラルではすべての支所が毎週提出を行っているが、データの取り扱いに不備があるため、支所へのモニタリングの際に指導を行っている。SILAIS チョンタレスでは、10 市中 5 市が毎週提出を行っている。残り 5 市に関しては、SILAIS から確認の電話やメールを通じて情報の更新を行っている。今後、情報更新が確実に実施されるため、8 月 1 週目に各市の母子保健担当者を招集して再度研修を行う予定である。

- 計画** ① 両 SILAIS は、巡回指導計画に基づき、プロジェクトと巡回指導を実施する。
② 母子保健データの正確な管理に関して、記録管理およびモニタリング方法をさらに検討する。

1-4. 運營業務

- 1) 医療機材供与にかかわる保健省医療機材総局との会議
保健省保健資機材総局、保健サービス総局、対外協力局と協議を行った。スペックに関してはオートクレーブの設置条件が追加されたが、その他の協議事項は JICA の入札に関する質問であったため、質問事項を議事録にまとめ、JICA 事務所担当者へ送付した。
- 2) JICA ニカラグア事務所との第 8 回定期会議
次長と案件担当の企画調査員に対して、6 月の月報を基に研修、ESAFG 活動、巡回指導など、プロジェクト活動の進捗状況を報告し、8 月までの計画を説明した。

1-5. 関連事項

- 1) エル・ラマ市の洪水
7 月 9 日、SILAIS セラヤ・セントラル管轄地域のエル・ラマ市で、熱帯性高気圧による大雨となり、河川周辺の集落で洪水が発生した。政府はエル・ラマ市における災害緊急宣言を発した。市内に 11 箇所の避難所が設置され、387 人が避難生活を送った。保健省は、緊急医療隊を周辺 SILAIS および首都から派遣した。エル・ラマ市はパイ

ロット市であり、そのパイロット保健セクターは大きな被害を受けなかったものの、保健セクター会議開催は延期となった。河川は 14 日までに平常の水位となり、15 日に避難所は廃止された。

2) ジカ熱状況

今月のジカ熱罹患状況は、SILAIS チョンタレスで確定診断 1 人（陽性累計 15 人）、SILAIS セラヤ・セントラルで確定診断 1 人（陽性累計 1 人）となった。

2. 活動日程

<7月>

- 1 日：母子保健技術委員会（研修後モニタリングシート作成）
- 4 日：保健省本省供与機材調整会議
- 7 日：サント・ドミンゴ支所技術委員会及び巡回指導、アコヤパ市チナル保健セクター会議、および研修後モニタリングシート検証
- 8 日：コマラパ市巡回指導、SILAIS セラヤ・セントラル母子保健技術委員会会合
- 11 日：SILAIS チョンタレス母子保健技術委員会会合、濱口陽子専門家（公衆衛生／ヘルス・プロモーション）離任
- 12 日：SILAIS セラヤ・セントラル母子保健技術委員会会合
- 13 日：サント・ドミンゴ市チナモス保健セクター会議、および研修後モニタリングシート検証
- 14 日：ヌエバ・ギネア市ナシオネス・ウニダス保健セクター会議、両 SILAIS 母子保健技術委員会会合
- 21 日：エル・ラマ市マロン保健セクター会議
- 25 日：JICA ニカラグア事務所との第 8 回定期会議、保健省保健サービス総局技官との会議
- 26 日：ヌエバ・ギネア市タロリンガ保健セクター会議
- 27 日：アコヤパ市レファラル・カウンターレファラル巡回指導、アコヤパ市サン・フェリペ保健セクター会議および研修後モニタリングツールの検証
- 28 日：エル・ラマ市ワピ保健セクター会議、アコヤパ市ラ・カレタ保健セクター会議及び、アコヤパ市パイロット保健セクター医療従事者補完研修及び研修後モニタリングツールの検証
- 29 日：ヌエバ・ギネア市パイロットセクター医療従事者補完研修、エル・ラマ市パイロット保健セクター医療従事者補完研修及び研修後モニタリングツールの検証、ビジャ・サンディーノ市研修後モニタリングツールの検証

3. 今後の予定

<8月>

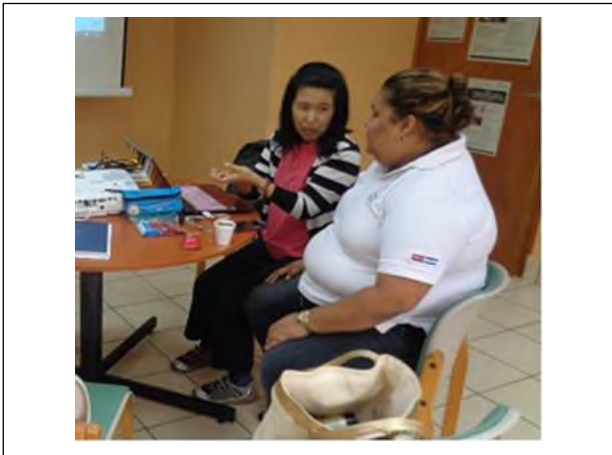
- 3 日：サント・ドミンゴ市ブルン 2 保健セクター会議
- 4 日：サント・ドミンゴ市パイロットセクター医療従事者補完研修
- 5 日：アコヤパ市パイロットセクター医療従事者補完研修
- 9 日：中村二郎専門家（総括/地域保健）着任
- 10 日：渡辺咲子専門家（副総括/地域保健/業務調整）離任
- 11 日：ヌエバ・ギネア市ナシオネス・ウニダス保健セクター会議
- 17 日：サント・ドミンゴ市チナモス保健セクター会議
- 21 日：狐崎知己専門家（保健行政）着任
- 23-24 日：第 3 回プロジェクト半期評価会・ワークショップ
- 25 日：アコヤパ市サン・フェリペ保健セクター会議

27 日：狐崎知己専門家（保健行政）離任

4. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

活動写真



SILAIS セラヤ・セントラル母子保健委員会で協議中の専門家と SILAIS セラヤ・セントラル保健サービス課長



SILAIS チョントレスと地域病院のレファラル・カウンターレファラル会議救急外来の医師達



アコヤパ市補完研修・産前健診票の研修
ファシリテーター(左)と
ES AFC 医療従事者(右・中央)



エル・ラマ市補完研修
研修前テストをする ES AFC 医療従事者



サント・ドミンゴ チナモス保健セクター
モニタリングシート検証 SILAIS 看護課長、
専門家、ES AFC



アコヤパ市サン・フェリッパ保健セクターモニタリングシート検証 SIAIS 母子保健担当官、
アコヤパ市看護担当官、専門家、ES AFC



ヌエバ・ギネア市ナシオネス・ウニータ
保健セクター会議
ヌエバ・ギネア支所長と ESAFC



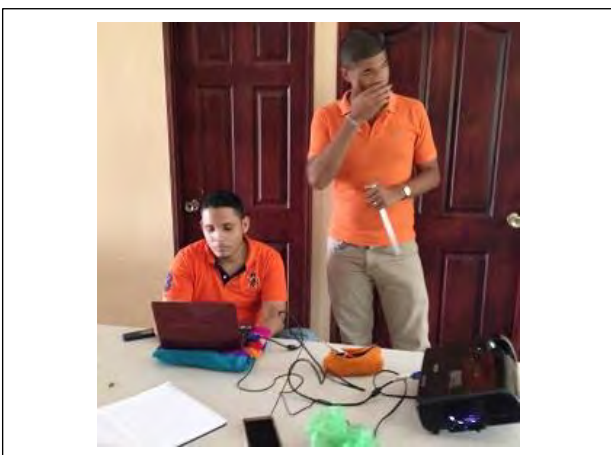
アコヤパ市チナル保健セクター会議
地域分析を発表する ESAFC



コマラパ支所レファラル・カウンターレファラル
巡回指導
SILAIS チョントレス統計担当者と専門家



サント・ドミンゴ市チナモス
保健セクター会議
地域分析の進捗を聞くボランティア



サント・ドミンゴ支所技術審議会
各保健セクター四半期評価を発表する医師



エル・ラマ市洪水被害

業務従事者の従事計画／実績表

監督職員確認印:【監督職員氏名】伊藤 賢一 印

契約件名:ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

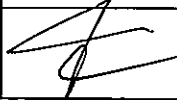
1. 現地業務

氏名 (担当業務)	格付	渡航回数	2015年						2016年												2017年			日数合計 (日)	人月合計 (M/M)	自社負担 日数合計 (日)	
			7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
中村 二郎 (総括/地域保健)	2	計画	[業務従事計画]						251日 [業務従事実績]						95日 [業務従事実績]						194日 [業務従事実績]			540	18.00	9	
		実績	[業務従事実績]						251日 [業務従事実績]						95日 [業務従事実績]									346	11.53		
渡辺 咲子 (副総括/業務調整/地域保健)	4	計画	[業務従事計画]						60日 [業務従事実績]			45日 [業務従事実績]			60日 [業務従事実績]			30日 [業務従事実績]			345	11.50	0				
		実績	150日 [業務従事実績]						60日 [業務従事実績]			(2016年6月24日～2016年7月31日)									248	8.27					
石原 尚子 (母子保健)	3	計画	[業務従事計画]						57日 [業務従事実績]			206日 [業務従事実績]									428	14.27	0				
		実績	165日 [業務従事実績]						57日 [業務従事実績]			(2016年5月15日～2016年7月31日)									300	10.00					
吉岡 浩太 (公衆衛生:調査分析)	4	計画	30日 [業務従事計画]																					30	1.00	9	
		実績	39日 [業務従事実績]																					30	1.00		
村上 友美子 (公衆衛生:ヘルスプロモーション)	3	計画	30日 [業務従事計画]						60日間 [業務従事計画]															60	2.00	37	
		実績	37日 [業務従事実績]						60日 [業務従事実績]															60	2.00		
濱口 陽子 (公衆衛生:ヘルスプロモーション)	4	計画							30日間 [業務従事計画]															30	1.00		
		実績							30日 [業務従事実績]															30	1.00		
花田 恭 (保健行政/マネジメント)	3	計画							10日 [業務従事計画]			11日間 [業務従事計画]									21	0.70	4				
		実績							14日 [業務従事実績]												10	0.33					
狐崎 知己 (保健行政)	3	計画							9日間 [業務従事計画]															9	0.30		
		実績																									
高木 史江 (産科/小児ケア)	3	計画							9日間 [業務従事計画]															9	0.30		
		実績																									
凡例:			[業務従事計画]						[業務従事実績]						[自社負担]						現地業務小計			計画	1,472	49.07	
																								実績	1,024	34.13	59

2. 国内業務:該当しないため割愛

報告書等	計画	△ W/P(原案)+M/S(Ver.1)	△ M/S(Ver.2)	△ M/S(Ver.3)	△ P/R	△ F/R
	実績	△ W/P(原案)+M/S(Ver.1)				

注1)各業務従事者の現地、国内のそれぞれの人月は、現地業務期間は30日、国内業務期間は20日で除した数字の小数点以下第3位を四捨五入して算定すること。
 注2)現地業務と国内業務の振替は人月単位で行うこととするため、日数に端数が出るが、この端数は国内業務の日数で調整することとし、合計人月に変更しないこと。
 注3)各業務従事者の各配置期間の下には、日数を括弧書きで記入すること。
 注4)実績については各配置期間の開始日、終了日を記載すること。計画については記入不要。
 注5)通訳についても記載すること。
 注6)コンサルタント業務従事月報の添付資料とするときは、月報提出月以降の「業務従事予定日程」を括弧書きで記載すること。



2016年9月8日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2016年8月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. パイロット市における医療従事者研修

- 1) 8パイロット保健セクターの医療従事者に対する「産前健診」と「乳幼児健診」の補完研修を終了した。事前事後テストの結果（平均点数）は以下のとおりであった。

	産前健診		乳幼児健診	
	事前	事後	事前	事後
初回研修	59	70	61	75
補完研修	80	86	77	86

- 2) 個人によって知識の習得進度の違いはあるものの、繰り返して学習を行うことで効果が表れていくといえる。この結果をもとに、母子保健技術委員会で14市に展開する研修教材の見直しを進めている。
- 3) 研修成果モニタリングシートは、「産前健診」と「乳幼児健診」が完成した。「妊産婦管理台帳」「妊娠性高血圧」「産後出血」の研修成果モニタリングシートについては、引き続き母子保健技術委員会で、省令に基づくサービスの質保障に沿ってフォーマットの作成作業を進めており、9月中の完成を目指している。
- 4) 完成した研修成果モニタリングシートを用いて、「産前健診」と「乳幼児健診」について、研修で学んだ内容と、実際に記入されたカルテとの整合性から研修成果を検証した。「産前健診」では、①家族歴、病歴、産科歴の評価、②妊婦体重増加の評価とグラフの記入、③予防接種歴による対応、④血圧の評価、⑤子宮底長の評価とグラフ記入、⑥検査結果の評価の6項目でカルテの記入ミスが確認された。また、「乳幼児健診」

では、①乳幼児の成長評価とグラフ記入、②貧血や栄養リスクの問題への対応、③早期成長発達カウンセリング、④鉄分とビタミンAサプリメントの処方4項目でカルテの記入ミスが確認された。補完研修の実施で、徐々に事前・事後テストの点数は改善しているものの、現場での継続的な指導が必要である。

- 5) 各パイロット支所において、医療従事者に対しモニタリング結果をフィードバックし、改善指導を実施した。
- 6) 6月に対象14支所のファシリテーター向けに実施したヘルスプロモーション研修は、カスケード研修をサント・ドミンゴ市で実施した。

- 計画**
- ① 研修成果モニタリングシート「産前健診」「乳幼児健診」を用いて、パイロット市の巡回を実施し、指導や支援を行う。
 - ② 残りの研修成果モニタリングシートの検証と修正を継続する。
 - ③ 研修教材の見直しを継続する。
 - ④ 残り13市においてファシリテーターによるヘルスプロモーション研修のカスケード研修を実施する。

1-2. ESAFC 活動

- 1) 4市の8パイロット保健セクターにおいて、SILAIS および支所のスタッフとともに巡回指導し、ESAFcの医療従事者とコミュニティネットワーク(RC)が参加する保健セクター会議および活動の進捗をモニタリングした。各パイロット保健セクター会議では、13項目活動で進捗が遅れがちな活動項目5(地域診断)をはじめ、項目8(保健省主体の保健活動)が取り組まれた。また、妊産婦の健診状況などについて現状と今後の取り組みが検討され、医療従事者による具体的な集落訪問日程がRCと調整された。
- 2) 各パイロット支所にてSILAIS立会いのもと、ESAFc13活動のモニタリング・評価を実施した。各項目の達成状況を4月の評価と比較した結果は、下記のとおりである。

ESAFc13活動 評価結果	13項目活動の各活動の平均点(各4満点)													評価 平均点
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
4月実施の結果	3.1	3.6	1.5	1.8	0.3	2.1	1.6	0.8	0.9	0.5	0.5	0.1	0	16.8
8月実施の結果	3.6	4.0	3.5	3.1	1.1	4.0	2.4	0.9	2.1	2.1	2.6	2.3	0.8	32.5

無	可	良	優	秀	評価点
0 - 0.4	0.5 - 1.4	1.5 - 2.4	2.5 - 3.4	3.5 - 4.0	52点満点

進捗が大きかったのは活動項目3(家庭調査票の作成)、活動項目4(集落マップの作成)で、RCの協力を得て、順調に作業が進んでいる。活動項目6(RC向けの出産計画研修実施)は全パイロット保健セクターで終了し、それに伴う活動項目7(出産計画の実施)も徐々に増えてきている。また、活動項目9(RCによる集落集会の開催)、活動項目10(RCによる活動計画立案)、活動項目11(RCによる活動の実施)、活動項目12(RCによる活動の評価)は、各集落で抱える衛生的課題の解決に向けた活動や媒介虫対策などにRCの積極的な参加が増え、評価結果が改善している。

- 3) SILAIS および4パイロット支所長とESAFc13活動の進捗状況を評価し、4月と比べて全体的に得点が上がっていること、しかしながら、まだ達成度の低い活動項目5(地域診断)、項目8(保健省主体の保健活動)、項目13(セクター間の知見共有)があり、

これらに関しては、今後も継続的に取り組むことが必要であることを確認した。

- 計画
- ① ESAFC による 13 項目活動を、支所担当官と共に巡回指導する。
 - ② 先々月保健省に申請したジカ熱対策のステッカーとマタニティホーム利用ポスターの使用許可が遅れているので、促進中であり、許可が得られれば、すぐにこれらを活用した啓発活動に取り組む。

1-3. レファラル・カウンターレファラルシステム

- 1) 両 SILAIS のレファラル・カウンターレファラルシステムの業務フローチャートに、記録内容や資料提出時期の変更など修正を加えた。
- 2) レファラル用紙およびカウンターレファラル用紙の記載ミス、レファラル・カウンターレファラル記録簿の記入ミスや記入漏れ、統計担当のモニタリング不足によるデータの不一致など、様々な記録・管理ミスが確認され、医療従事者および統計担当に対する継続教育の必要性が挙げられた。
- 3) 妊産婦へのレファラル・カウンターレファラルを強化し、継続ケアを充実させるため、省令で定められているレファラル・カウンターレファラルの記録簿に「妊娠者枠」を増設し、試行することを、本省・SILAIS・支所間で決定した。アスンシオン地域病院の 7・8 月の全レファラル数 978 人中 466 人(47.6%)は妊娠者であった。「妊娠者枠」を設けることで、妊産婦の搬送者数と、これら継続ケアが必要なリスク妊婦の情報をより把握しやすくなる。
- 4) レファラル・カウンターレファラル記録簿について、SILAIS チョントレスと地域病院が共同して、患者の年齢層、地域、疾病・傷病などについて量的分析を始めた。これにより今までレファラル件数として大まかに把握されていたレファラルされる患者の特徴が明らかとなった。2 歳未満児のアスンシオン地域病院に対する 7・8 月のレファラル数は 978 人中 97 人(9.9%)で、気管支喘息が最も多かった。また、978 人中 327 人(33.4%)は SILAIS セラヤ・セントラルの住民で近隣の SILAIS リオ・サン・ファンや SILAIS ラアスを合わせると、383 人(39.2%)に達し、ヌエバ・ギネアの県病院が開院することにより、常に混み合うチョントレス地域病院の診察状況が、大幅に改善されることが予想される。
- 5) 地域病院の救急外来、一般外来、母子外来の受付、待合室について SILAIS チョントレスとともに、レファラル患者の受付改善の取り組みを開始した。受付では複数ある一般外来と母子外来のレファラル受付窓口が、利用者にとってわかりにくい、またその混乱から、レファラル記録が正しくされない、などの問題を改善するために、窓口を 1 本化した。また、混雑しやすい受付窓口の整列管理を指導した。

- 計画
- ① SILAIS チョントレスと地域病院の成果を、SILAIS セラヤ・セントラルへ反映する。
 - ② 両 SILAIS は、修正された業務フローチャートを使い、再度レファラル・カウンターレファラルシステムに関して各市を指導し、各市は医療従事者に対して再指導する。
 - ③ レファラル・カウンターレファラル記録簿の適正な用語および記載方法を修正する。
 - ④ 両 SILAIS の巡回指導を計画どおり実施する。

1-4. 妊産婦管理台帳および向こう4週間の出産予定者リスト

- 1) 妊産婦管理に関して、「向こう4週間の出産予定者リスト」は毎週各支所から SILAIS に報告されている。SILAIS セラヤ・セントラルでは支所からの提出率は100%（4市中4市で、SILAIS はモニタリングを実施、毎週の SILAIS 保健審議会で記録簿を支所と共有し、妊婦管理の維持さらなる改善などについて検討を行っている。SILAIS チョントレスは支所からの提出率は50%（10市中5市）であったが、母子保健担当者に再度研修を行い支所からの提出率が80%に改善された。残り2市に関しては、SILAIS から確認の電話やメールを通じて情報の更新を行っている。課題は、妊娠中、または産後、ESAFIC の医療従事者などに告げずに出産・育児のため親戚を頼るなどして転居する、または季節労働で家族と共に移動する妊産婦が少なからずおり、全ての妊産婦の所在確認が難しいことである。

- 計画 ① 両 SILAIS の巡回指導を計画どおり実施する。
② 妊産婦管理台帳の記録・管理および妊婦のモニタリング方法をさらに改善する。

1-5. 第3回半期評価会・ワークショップ

2016年2月の第2回半期評価会・ワークショップに続き、8月23-24日に第3回をサント・トマス市で開催した。保健省保健サービス総局、SILAIS、支所、病院から1日目42名、2日目39名の職員とJICA事務所担当者およびプロジェクト専門家、テクニカルアシスタントらが出席した。1日目はPDM指標、研修やESAFIC13活動の進捗、妊産婦管理台帳、レファラル・カウンターレファラルシステム等に関わる内容であったことから、パイロット保健セクターや地域病院から医療従事者が出席し、2日目はSILAISと支所におけるデータ管理およびデータ分析に関するグループワークのため公衆衛生監視担当官、統計担当官が参加した。主な成果と決定事項は下記のとおり。

➤ PDM指標

- 1) 両SILAIS局長が保健省とJICAの間で合意したPDM指標を説明し、「成果」達成に向けPDMで計画されている「活動」の確認を行った。
2) 2016年上半期の確認できたPDM指標の結果は下記のとおりである。

	PDM指標	SILAISチョントレス			SILAISセラヤ・セントラル			両SILAIS合計		
		分母	分子	指標	分母	分子	指標	分母	分子	指標
上位 目標1	妊産婦死亡比（出生10万対）	1,968	1	50.8	1,873	1	53.4	3,841	2	52.1
上位 目標2	乳児死亡率（出生千対）	1,968	27	13.7	1,873	29	15.5	3,841	56	14.6
	5歳未満児死亡率（出生千対）	1,968	33	16.8	1,873	33	17.6	3,841	66	17.2
プロ 目標1	妊娠12週以内に産前健診を受診した割合（%、推定妊婦数対）	2,583	1,487	57.6	2,331	1,414	60.7	4,914	2,901	59.0
プロ 目標3	中期（産後2～10日）産後健診を実施した割合（%、推定分娩数対）	2,326	1,465	63.0	2,101	1,591	75.7	4,427	3,056	69.0
プロ 目標4	1～4歳児に1回目の乳幼児健診を実施した割合（%、年代別推定人口対）	8,574	3,914	45.6	7,534	3,229	42.9	16,108	7,143	44.3

注) 上位目標の分母は、保健省統計局で集計された出産数であり、プロジェクト目標の指標1の分母はニラカグア国家統計局(INIDE)の推定妊婦数、指標3は同推定分

換数を採用しているため、数値に開きがある。

上記評価結果から妊産婦死亡比は1人の死亡で数値が大きく変わることが明らかである。また、妊産婦死亡比以外は全て目標値に達成していなかった。

- 3) PDM成果3の指標3-1、3-2、3-3の定義、方法、実施者、内容についてグループワークを行った。その結果、下記方法で向こう6カ月取り組むことを定めた。

3-1. SILAISの技術統合巡回指導	<ul style="list-style-type: none"> ● 支所が毎月開催する情報分析会議にSILAISが参加し、モニタリングデータに対し分析の支援・助言をする。 ● 保健省の既存の評価手法を用いて、患者のカルテを随時チェックし、記録内容、診察状況を確認の上、改善・指導する。
3-2. 支所の情報分析会議	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎週、妊産婦管理記録、疫学監視記録、政府が定める保健活動記録、レファラル・カウンターレファラル記録から活動状況を保健省の目標と比較し、達成状況を分析する。 ● 毎月保健セクターが既存の活動の進捗状況を発表し、課題を分析し対策を講じる。また、同時に好事例を共有する。
3-3. 情報の正確な記録と分析	<ul style="list-style-type: none"> ● 保健セクターが提出する既存データを支所長および統計担当が参加して記録を検証する。 ● 統計担当が随時保健セクターを訪問し、既存の記録データの確認、情報の整合性の検証を行う、必要に応じてOJTする。

➤ 狐崎知己専門家（保健行政）による発表

- 1) ニカラグア、ドミニカ共和国、ハイチの3か国の経済指標を比較し、ニカラグアの保健指標の優位性を示した。そして強みとしてES AFCの存在があり、その制度を検証することで当プロジェクトの波及効果の発現に有益であると説明した。
- 2) 上記に加え、ニカラグアの貧困人口割合とそこで起きている「貧困の罨」を示し、「貧困の罨」を断ち切るためには、住民に対する教育が必要であり、住民が主体性を持って活動に参加するためにも、ES AFC活動をとおした住民への働き掛けが重要であることを説明した。ES AFC13活動におけるPDCAの繰り返しにより、住民の主体性を高めることができること、またES AFCへのKAP調査により効果の検証が可能となることが提言された。

1-6. 運營業務

- 1) 第三国技術交換（ドミニカ共和国）

ドミニカ共和国で実施中の「第三保健地域母と子のプライマリーヘルスケアプロジェクト」との間で、技術交換を10月初めに実施するため、ドミニカ共和国側プロジェクト専門家と日程調整を実施した。また、両SILAISと調整し、人選を進めている。

- 2) マタニティホームの管理

フィガルパのマタニティホームは利用者数が減少してきており、SILAIS チョントラスは市役所と運営に関して協議を進めている。プロジェクトは、スタッフの24時間常駐、夜間スタッフとして准看護師の教育実習生を交替で配置、妊産婦の病院への車両移送スケジュールの作成、などを助言した。

- 3) 人事異動

4月に社会奉仕の医師や看護師は入り、ES AFCの医療従事者の異動があった。パイロットセクターや病院なども職員の異動があり、全ての職員が定着する訳ではなく、辞

職や移動も多い。エル・ラマ市のマロン保健セクターでは看護師不在が2か月、サント・ドミンゴ市のブルン2保健セクターも看護師不在が1か月半、アコヤパ市のチナル保健セクターやサン・フェリペ保健セクターは、医師が不在の週も多くある。移動や交代、そして欠員などは頻繁に起きている。

1-7. 関連事項

1) 本邦研修「公衆衛生活動による母子保健強化」

11月9日から12月23日の日程で実施される本邦研修の研修員3名の派遣手続きを開始した。3名とも今年初めに派遣された両SILAIS研修員のアクションプランを拡大・継続する視点で人選された。研修員候補は以下のとおりである。

氏名	所属先	役職
ペトロニラ・フローレス	SILAIS チョントレス	看護課長
バネッサ・タイングエ	フィガルパ支所	看護課責任者
ホセ・カルモナ	ヌエバ・ギネア支所	ナシオネス・ウニダス保健セクター長、 医師

2) ジカ熱状況

デング熱とチクングニア熱が減少してきている一方、ジカ熱は7月下旬から急激に感染が拡大し始めた。SILAIS チョントレスの陽性累計は37人となり、うち25名は妊婦であり、妊娠初期感染者は3名となっている。国内でジカ熱検査の試薬数が少ないと言われながら、このように妊婦の感染に関する細かいデータがあり、保健省はジカ熱の感染推定者に対する確定診断について、妊婦優先で検査を行っていると考えられる。SILAIS セラヤ・セントラルの陽性者数の累計は1人のままである。

3) 保健データによる評価

保健省保健サービス局では、当プロジェクトがベースライン調査で指摘したSILAISと支所の保健データの差異を解消するために、四半期評価において、SILAISおよび支所のデータを取り扱うことを決めた。

2. 活動日程

<8月>

- 3日：サント・ドミンゴ市ブルン2保健セクター会議および研修成果モニタリングシート検証
- 9日：中村二郎専門家（総括/地域保健）着任、アコヤパ市チナル保健セクター会議および研修成果モニタリングシート検証
- 10日：渡辺咲子専門家（副総括/地域保健/業務調整）離任、両SILAIS母子保健技術委員会（於：SILAIS チョントレス）
- 11日：ヌエバ・ギネア市ナシオネス・ウニダス保健セクター会議、サント・ドミンゴ市パイロットセクター医療従事者補完研修および研修成果モニタリングシート検証
- 17日：サント・ドミンゴ市チナモス保健セクター会議
- 18日：サント・ドミンゴ市ヘルスプロモーション研修
- 19日：アコヤパ市パイロットセクター医療従事者補完研修
- 21日：狐崎知己専門家（保健行政）着任
- 23-24日：第3回プロジェクト半期評価会・ワークショップ

- 25日：アコヤパ市サン・フェリペ保健セクター会議、ヌエバ・ギネア市タロリング保健セクター会議
26日：JICA 安全対策連絡協議会
27日：狐崎知己専門家（保健行政）離任
29日：サント・ドミンゴ支所技術統合巡回指導および研修成果モニタリングシート検証
30日：SILAIS チョントレスと地域病院との会議、アコヤパ市保健セクター間会議
31日：エル・ラマ市ワピ、マロン保健セクター会議

3. 今後の予定

<9月>

- 1日：SILAIS チョントレス保健サービス課 PDM 活動会議、サント・トマス支所技術統合巡回指導
6日：アコヤパ市チナル保健セクター会議
7日：サント・ドミンゴ支所ブルン 2 保健セクター会議、エル・アヨテ支所技術統合巡回指導、クアパ市技術統合巡回指導
8日：第 6 回保健省定期会議、ビジャ・サンディーノ支所技術統合巡回指導
9日：コマラパ支所技術統合巡回指導
17日：高木史江専門家（産科/小児ケア）着任
19日：柳沢 JICA 理事プロジェクト視察
20日：サント・ドミンゴ市チナモス保健セクター会議
22日：ヌエバ・ギネア市ナシオネス・ウニダス保健セクター会議
23日：高木史江専門家（産科/小児ケア）離任
27日：ヌエバ・ギネア市タロリング保健セクター会議
28日：エル・ラマ市ワピ、マロン保健セクター会議、アコヤパ市サン・フェリペ保健セクター会議
29日：レファラル・カウンターレファラル SILAIS 間会議

<10月>

- 2日：渡辺咲子専門家（副総括/地域保健/業務調整）着任
2～6日：第三国技術交換（ドミニカ共和国）

<11月>

- 6日：ニカラグア大統領選挙投票日
9～12月23日：本邦集団研修「公衆衛生活動による母子保健強化」
23日：第 4 回プロジェクト運営委員会
30日：渡辺咲子専門家（副総括/地域保健/業務調整）離任

4. 活動写真

別添のとおり

5. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

4. 活動写真



第3回半期評価会・ワークショップ
開会を告げる保健省保健サービス総局技官



第3回半期評価会・ワークショップ
SILAISの技術統合巡回指導方法について
グループワーク



研修成果モニタリングシートを用いた
研修効果の検証
サント・ドミンゴ支所



研修成果モニタリングシートの作成会議
母子保健技術委員会
(両 SILAIS 合同)



ヘルスプロモーション研修の
カスケード研修
サント・ドミンゴ支所



ファイガルパ市アスンシオン地域病院
レファラル・カウンターレファラル記録簿に
関して SILAIS と分析



巡回指導
アコヤパ市サン・フェリペ保健セクター
家庭調査票を確認



ヌエバ・ギネア市ナシオネス・ウニダス保健セクターの保健セクター会議
地域分析と改善活動計画



アコヤパ市サン・フェリペ保健セクター
地域分析結果の掲示板
ES AFC13 活動の項目 5 の活動結果



アコヤパ支所
ES AFC13 活動の項目 13
保健セクター間の知見共有会議



コミュニティネットワーク身分証
エル・ラマ市マロン保健セクター
(一部で身分証の発行が始まった)



アスンシオン地域病院の整列改善
(床面に誘導テープを付けた)

業務従事者の従事計画／実績表

監督職員確認印:【監督職員氏名】伊藤 賢一 印

契約件名: ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

1. 現地業務

氏名 (担当業務)	格付	渡航 回数	2015年						2016年						2017年			日数 合計 (日)	人月 合計 (M/M)	自社負担 日数合計 (日)
			7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
中村 二郎 (総括/地域保健)	2	計画	351日						189日									540	18.00	
		実績	355日(うち自社負担9日)						(2016年8月9日~8月31日)									369	12.30	9
渡辺 咲子 (副総括/業務調整/地域保健)	4	計画	150			60日			105日			30日						345	11.50	
		実績	150日			60日			48日(うち自社負担3日)									255	8.50	3
石原 尚子 (母子保健)	3	計画	165日						203日									428	14.27	
		実績	165日						(2016年5月15日~8月31日)									331	11.03	0
吉岡 浩太 (公衆衛生:調査分析)	4	計画	30日															30	1.00	
		実績	39日(うち自社負担9日)															30	1.00	9
村上 友美子 (公衆衛生:ヘルスプロモーション)	3	計画				30日						30日						60	2.00	
		実績				37日(うち自社負担4日)			60日(うち自社負担30日)									63	2.10	34
濱口 陽子 (公衆衛生:ヘルスプロモーション)	4	計画							30日									30	1.00	
		実績							30日									30	1.00	
花田 恭 (保健行政/マネージメント)	3	計画							10日						11日			21	0.70	
		実績							14日(うち自社負担4日)									10	0.33	4
狐崎 知己 (保健行政)	3	計画													9日			9	0.30	
		実績													6日			6	0.20	
高木 史江 (産科/小児ケア)	3	計画													9日			9	0.30	
		実績																0	0.00	
現地業務小計															計画	1,472	49.07			
															実績	1,094	36.47	59		

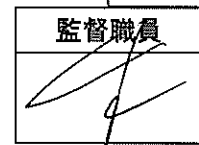
凡例: ■ 業務従事計画 □ 業務従事実績 ≡ 自社負担

2. 国内業務: 該当しないため割愛

報告書等	計画	▲ W/P(原案)+M/S(Ver.1)	▲ M/S(Ver.2)	▲ M/S(Ver.3)	△ P/R	△ F/R
	実績	△ W/P(原案)+M/S(Ver.1)	△ M/S(Ver.2)	△ M/S(Ver.3)		

注1)各業務従事者の現地、国内のそれぞれの人月は、現地業務期間は30日、国内業務期間は20日で除した数字の小数点以下第3位を四捨五入して算定すること。
 注2)現地業務と国内業務の振替えは人月単位で行うこととするため、日数に端数が出るが、この端数は国内業務の日数で調整することとし、合計人月に変更しないこと。
 注3)各業務従事者の各配置期間の下には、日数を括弧書きで記入すること。
 注4)実績については各配置期間の開始日、終了日を記載すること。計画については記入不要。
 注5)通訳についても記載すること。
 注6)コンサルタント業務従事月報の添付資料とするときは、月報提出月以降の「業務従事予定日程」を括弧書きで記載すること。

様式 1



2016年9月8日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2016年9月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. パイロット市における医療従事者研修

- 1) 母子保健技術委員会で先月に続けて、プロジェクト対象14市に配布する研修教材の見直しを行い、改定案を完成させた。現在、保健省保健サービス総局で内容の審査を行っている。
- 2) 「産前健診」と「乳幼児健診」に続き、「妊産婦管理台帳」「妊娠性高血圧」「産後出血」について研修成果モニタリングシートの作成作業を進めた。設定したモニタリング項目が、「省令に基づくサービスの質保証」として保健省令の規定に合致しているかパイロット4市において検証した。その結果を踏まえ母子保健技術委員会にて加筆修正を行った。これにより「産前健診」と「乳幼児健診」に続き、「妊産婦管理台帳」「妊娠性高血圧」「産後出血」の5項目すべての研修成果モニタリングシートが完成した。
- 3) 8月23・24日の半期評価会において、上記を用いた、研修後のモニタリング（産前健診、乳幼児健診）が決定され、その実施計画が策定された。この計画に沿って9月よりパイロット保健セクターでのモニタリングを開始した。ラマ市においてはモニタリングが実施されたが、他市では11月の大統領選挙関連活動の影響を受け、実施が延期されている。
- 4) 研修ファシリテーター用の教授法ガイドについては、5項目の草稿ができ、母子保健技術委員により校閲が行われている。
- 5) ヘルスプロモーション研修は、支所ごとに計画されていたが、大統領選挙の関連活動の影響を受け、実施が延期されている。

計画 ① 研修教材の審査を保健省とともに実施し、承認後に印刷する。

- ② 教授法ガイドの校閲を完了し、SILAIS と保健省の承認後に印刷する。
- ③ 研修成果モニタリングシート「産前健診」「乳幼児健診」に「妊産婦管理台帳」「妊娠性高血圧」「産後出血」を加え、パイロット市の巡回指導を実施し、指導と支援を行う。
- ④ ファシリテーターによるヘルスプロモーション研修のカスケード研修を継続する。

1-2. ESAFC 活動

- 1) 4市のパイロット8保健セクターにおいて、SILAIS および支所のスタッフとともに巡回指導し、ESAFc の医療従事者とコミュニティネットワーク (RC) が参加する保健セクター会議および活動の進捗をモニタリングした。アコヤパ市サン・フェリペ保健セクターのセクター会議は、他の保健イベントのため中止となった。
- 2) 各パイロット保健セクターで、完成しつつある活動項目3(家庭調査票)と活動項目4(集落マップ)の有効な使い方をモニタリングした。集落マップと家庭調査票が集落訪問、妊婦の所在地管理などに活用されていることが5カ所の保健セクター(アコヤパ市サン・フェリペ保健セクター、サント・ドミンゴ市チナモス保健セクター、ヌエバ・ギネア市ナシオネス・ウニダス保健セクターおよびタロリング保健セクター、エル・ラマ市マロン保健セクター)で確認された。
- 3) 13項目活動の活動項目5(地域診断)は、エル・ラマ市ワピ保健セクターを除く7カ所のパイロット保健セクターで取り生まれ、各保健セクターおよび集落の課題、解決方法、必要な活動等がESAFc 内で検討された。主な課題は、水の衛生管理、ごみ処理、産前健診および妊婦のマタニティホームへの搬送であった。産前健診およびマタニティホーム搬送にあたって、医療従事者、保健ボランティア、伝統的分娩介助者による推進活動だけでなく、集落の有力者や警察官などを巻き込む方法が多くのESAFc からあがった。
- 4) 集落訪問など、通常の活動計画以外に、SILAIS による保健ボランティア集会、伝統的産婆分娩介助者集会、保健フェアの計画が共有され、これらの集会への参加および協力が要請された。
- 5) パイロット保健セクターで実施しているESAFc 活動の経験を踏まえ、ESAFc 活動ガイドの見直しを始めた。
- 6) 保健省保健大臣室よりマタニティホームのポスターの承認が下りた。ポスターは図柄と文言が修正され、添付のとおりとなった。プロジェクトが推奨した「無料、ケア、愛情」という保健スローガンは認可されなかった。本ポスターは、下部に最寄りのマタニティホームを記載することになっている。なお、ジカ熱対策のステッカーの承認はいまだ下りていない。

計画

- ① ESAFC による13項目活動を、支所担当官とともに巡回指導する。
- ② パイロット支所およびパイロット保健セクターの関係者とともに、活動の経験を踏まえ、ESAFc 活動ガイドの修正作業を継続する。
- ③ マタニティホーム利用促進のポスターを印刷・配布し、掲示前に効果を高めるためのプロモーション指導を行う。

1-3. レファラル・カウンターレファラルシステム

- 1) 高木史江専門家(産科/小児ケア)により、岩手県一関市藤沢地区で国民健康保険病院藤沢が中心となって展開している地域包括ケアシステムを両 SILAIS および地域病院幹部に説明した。これにより、治療およびケアの継続性と一貫性の重要性およびその実施と発展のためのリーダーシップ、多職種連携、チームアプローチ、保健医療施設と住民間のコミュニケーションの重要性が CP たちに示された。また、SILAIS チョントレスのレファラル・カウンターレファラル担当技官に対し、レファラル・カウンターレファラルシステムにおける緊急性と非緊急性のカテゴリー化、カウンターレファラルの迅速化、そのための作業工程と担当官の役割などについて助言があった。
- 2) 両 SILAIS 間のレファラル・カウンターレファラル会議を 2 度回開催した。1 回目は両 SILAIS と地域病院の幹部のみで、レファラル用紙およびカウンターレファラル用紙、レファラル・カウンターレファラル記録簿の記入ミスや記入漏れ、統計担当のモニタリング不足によるデータの不一致など、様々な記録・管理ミスの改善に関して検討された。2 回目は両 SILAIS、地域病院の幹部ほか、14 支所長、一次病院長と救急担当医師が参加した。会議では、地域病院長よりレファラル患者の傾向、レファラル用紙の記入ミスなどが紹介され、各事例に関して対策の検討を行った。
- 3) 両 SILAIS、地域病院、14 支所との合同会議で、レファラルにおいて以下 3 点が合意された。なお、カウンターレファラルの改善は、レファラルを優先し今後の課題とした。
 - ① 地域病院が例示した多様な記入ミスを、各市の医療従事者に説明し改善を促す。
 - ② レファラル用紙の使用徹底と、医師の診断による緊急・非緊急をレファラル用紙に記入する。
 - ③ 各 SILAIS は、保健サービス課、看護課、統計課、支所から人員を選抜し、レファラル・カウンターレファラル委員会を設置し、より実践可能なシステム構築に向けた改善を目指す。各 SILAIS で改善案を実施し、その結果を両 SILAIS 間のレファラル・カウンターレファラル会議で検討する。

計画 ① 両 SILAIS は、レファラル・カウンターレファラル委員会を設置し、業務フローチャートに則し、さらなる改善に取り組む。

1-4. 妊産婦管理台帳および向こう 4 週間の出産予定者リスト

- 1) 妊産婦管理に関して、「向こう 4 週間の出産予定者リスト」は毎週各支所から SILAIS に報告されている。SILAIS セラヤ・セントラルではすべての支所が毎週提出を行い、SILAIS はモニタリングしている。SILAIS 保健審議会では記録簿を支所と共有し、妊婦管理について検討を行っている。SILAIS チョントレスでは、母子保健担当者に再度研修を行った。この結果、10 市中毎週提出を行っているのが、先月の 8 市から 9 市に増加した。残り 1 市のビジャ・サンディーノに関しては、SILAIS から確認の電話やメールを通じて情報の更新を行っている。
- 2) 妊産婦管理台帳の巡回指導は、プロジェクト車両を運行するパイロット 4 市に限られている。

3) 乳児死亡症例検討会が、両 SILAIS 保健サービス課主導で開始された。

- 計画 ① 両 SILAIS の巡回指導をパイロット市以外に拡大する。
 ② 妊産婦管理台帳の記録・管理および妊婦のモニタリング方法をさらに改善する。

1-5. 運營業務

1) 第三国技術交換（ドミニカ共和国）

ドミニカ共和国で実施中の「第三保健地域母と子のプライマリーヘルスケアプロジェクト」との間で、技術交換を10月2日から6日の日程で実施する。ドミニカ共和国側プロジェクト専門家と日程の調整や両 SILAIS から C/P4 名の人選等を行った。

氏名	所属先	役職
ネイリン・ペレス	ヌエバ・ギネア支所	タロリング保健セクター責任者、看護師
タニア・ガルシア	エル・ラマ支所	エル・ラマ一次医療病院、医師
ジェイミ・リバス	アコヤパ支所	アコヤパ支所長、看護師
マルジン・ブラボー	サント・ドミンゴ支所	サント・ドミンゴ支所長、医師
石原 尚子	SAMANI プロジェクト	母子保健専門家

2) 国際地域保健フォーラム（ドミニカ共和国）

11月16日から18日に開催される国際地域保健フォーラム(仮称)へ派遣する3名のC/P候補を保健省本省と両 SILAIS から以下のとおり人選した。フォーラムへの招待が届いた後、正規の手続きを進める。同行予定の専門家は総括もしくは副総括を想定している。

氏名	所属先	役職
カルロス・クルス	保健省保健サービス総局	保健省保健サービス総局長
ディルマ・シリア	SILAIS チョントレス	疫学課責任者
フェルナンド・カナレス	SILAIS セラヤ・セントラル	SILAIS 局長

3) JICA ニカラグア事務所から SILAIS セラヤ・セントラルへ車両供与

昨年より手続きを進めていた JICA ニカラグア事務所所有の中古車両を SILAIS セラヤ・セントラルへ供与する手続きは、9月20日に完了した。SILAIS セラヤ・セントラルは運行前に、タイヤを全て交換し、足回りなどのチェックのためにメンテナンスへ出したところ、総額3,500米ドルの支出となった。保険料と合わせると約5,000米ドルの支出である。

4) 業務従事者の従事計画変更

運営指導調査団の11月派遣が延期されたのに伴い、渡辺咲子（副総括/地域保健/業務調整）の派遣時期を10月16日から12月4日と2017年1月16日から3月11日へ変更した。また、花田恭（保健行政/マネージメント）の業務時期の変更（11月を12月以降へ）を検討している。

1-6. 関連事項

1) JICA 柳沢理事、プロジェクト訪問

JICA 本部より柳沢理事が高田ニカラグア所長とともにプロジェクトを訪問し、保健大臣、両 SILAIS 局長をはじめ多くの保健省幹部とプロジェクト専門家が対応した。

SILAIIS チョントレス局長がプロジェクトの進捗を発表し、プロジェクト総括が JOCV や病院無償案件との連携に関して発表した。質疑応答の後、プロジェクト事務所、アコヤパ市保健センター、アコヤパ市のマタニティホームを視察し、保健大臣をはじめとする上述メンバーが同行・対応した。アコヤパ市保健センターでは、アコヤパ支所長が支所としての行政管轄、保健センター内の施設と機能を説明し、理事からの多様な質問に保健大臣が対応した。また、マタニティホームでは、保健大臣が施設の概要を説明し、滞在している出産間近の妊婦への質問などを行った。

2) ジカ熱状況

デング熱とチクングニア熱が減少してきている一方、ジカ熱は 7 月下旬から急激に感染が拡大し始めた。SILAIIS チョントレスの陽性者数累計は 44 人となり、うち 25 名は妊婦であり、妊娠初期感染者は 3 名となっている。9 月中旬から新規感染は確認されていない。SILAIIS セラヤ・セントラルの陽性者数累計は 1 人である。

3) 選挙活動

11 月 6 日の大統領および国会議員選挙まで 2 カ月を切り、選挙活動によりプロジェクト活動計画の変更が増えてきている。特に巡回指導や ESAFC 活動のキャンセルが相次いでいる。今年に入り毎週金・土曜日のフィールド活動に加え、月曜から木曜日においても保健集会などの活動が活発化してきているためである。保健集会とは、保健ボランティアの SILAIIS 集会、障害者保健集会、伝統的分娩介助者集会、保健フェアなどである。保健省では 10 月 27 日の保健パレードまで選挙活動と連動した保健活動が計画されている。

2. 主な活動日程

<9 月>

- 1 日：SILAIIS チョントレス保健サービス課 PDM 活動会議、サント・トマス支所情報分析会議巡回指導
- 5 日：ヌエバ・ギネア支所技術統合巡回指導
- 6 日：アコヤパ市チナル保健セクター会議
- 7 日：サント・ドミンゴ支所ブルン 2 保健セクター会議、クアパ支所情報分析会議巡回指導、ヌエバ・ギネア支所技術統合巡回指導
- 8 日：第 6 回保健省定期会議、ビジャ・サンディーノ支所情報分析会議巡回指導
- 12 日：チョントレス母子保健技術委員会
- 13 日：ラ・リベルタ支所情報分析会議巡回指導、サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所情報分析会議巡回指導、チョントレス看護師長会議
- 17 日：高木史江専門家（産科/小児ケア）着任
- 19 日：柳沢 JICA 理事・保健大臣プロジェクト視察
- 21 日：両 SILAIIS 合同レファラル・カウンターレファラルシステム会議
- 22 日：ヌエバ・ギネア市ナシオネス・ウニダス保健セクター会議
- 23 日：高木史江専門家（産科/小児ケア）離任、アコヤパ支所情報分析会議巡回指導
- 26 日：両 SILAIIS 母子保健技術委員会（SILAIIS セラヤ・セントラル）
- 27 日：ヌエバ・ギネア市タロリング保健セクター会議
- 28 日：エル・ラマ市ワピ、マロン保健セクター会議、アコヤパ市サン・フェリペ保健セクター会議、両 SILAIIS 合同レファラル・カウンターレファラルシステム会議
- 30 日：保健省・JICA 供与機材会議（マナグア）

3. 今後の予定

<10月>

- 1日：緊急搬送ビデオ撮影
- 2～6日：第三国技術交換（ドミニカ共和国）
- 4日：SILAIS チョンタレス・レファラル・カウンターレファラル会議
- 5日：サント・ドミンゴ支所ブルン2保健セクター会議
- 6日：アコヤパ市チナル保健セクター会議
- 7日：SILAIS セラヤ・セントラル・レファラル・カウンターレファラル会議、研修
テキスト見直し会議（本省）
- 12日：サント・ドミンゴ市チナモス保健セクター会議
- 16日：渡辺咲子専門家（副総括/地域保健/業務調整）着任
- 26日：エル・ラマ市ワピ、マロン保健セクター会議
- 27日：ヌエバ・ギネア市タロリング、ナシオネス・ウニダス保健セクター会議
- 28日：アコヤパ市サン・フェリペ保健セクター会議

<11月>

- 6日：ニカラグア大統領選挙投票日
- 9～12月23日：本邦集団研修「公衆衛生活動による母子保健強化」
- 23日：第4回プロジェクト運営委員会

<12月>

- 4日：渡辺咲子専門家（副総括/地域保健/業務調整）、石原尚子専門家（母子保健）離任

添付書類：マタニティホームポスター

4. 活動写真

別添のとおり

5. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

添付書類： マタニティホームのポスター

Gobierno de Reconciliación y Unidad Nacional
El Pueblo, Presidente!
MINISTERIO DE SALUD

Casa Materna

Vidas salvadas

Servicios gratuitos

- Alojamiento
- Alimentación 3 veces al día
- Uso de cocina
- Atención médica
- Acompañamiento de un familiar femenino
- Aceptación con su hijo pequeño
- Traslado al hospital
- Uso después del parto
- Televisión, radio o música
- Manualidades, actividades recreativas

Casa Materna más cercana:

Puede usar cualquier Casa Materna en el país

Proyecto de Salud de Madres y Niños en SILAIS Chontales y SILAIS Zelaya Central

SAMANI

JICA

(和訳)

保健省ロゴ

表題：マタニティホーム

副題：命を救う

無料サービス

- 宿泊
- 1日3度の食事
- 台所使用可能
- 医師の診察
- 女性の家族付き添い可能
- 子どもの随伴可能
- 病院への搬送
- 出産後も利用可能
- テレビ、ラジオ、音楽あり
- 手工芸やレクリエーション活動あり

最寄りのマタニティホーム（マタニティホーム名を記載する）

国内のどこのマタニティホームも利用できます。

SAMANI プロジェクトと JICA ロゴ

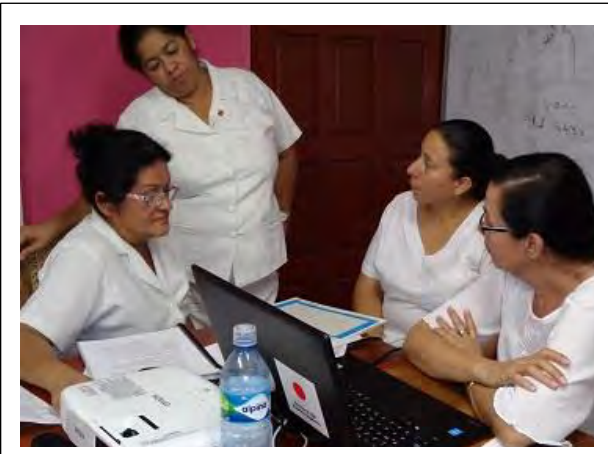
4. 活動写真



JICA 柳沢理事(左)とカストロ保健大臣(右)
出産間近の妊婦と面談
アコヤパ市マタニティホーム



JICA 柳沢理事(左)とカストロ保健大臣(右)
シャーガス病対策のサシガメ回収箱を説明
アコヤパ市保健センター



研修テキストの見直し
SILAIS チョントレスの母子保健技術委員会



研修教授法ガイド作成会議
母子保健技術委員会(両 SILAIS 合同)



保健セクターでの地域分析
サント・ドミンゴ市ブルン2保健セクター



パイロット保健セクターでの保健フェア
アコヤパ市チナル保健セクター



巡回指導
アコヤパ市チナル保健セクター
家庭調査票と集落マップの活用を指導



乳児死亡症例検討会
SILAIS チョントレス



レファラル・カウンターレファラル聞き取り調査
フィガルパ保健センター



レファラル・カウンターレファラル両 SILAIS
合同会議



改修された NICU(新生児集中管理治療室)
1台のインファントウォーマーに新生児が2人
アスンシオン地域病院



1200人以上が集まった保健ボランティア集会
フィガルパ市にて

業務従事者の従事計画／実績表

監督職員確認印:【監督職員氏名】伊藤 賢一 印

契約件名: ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

1. 現地業務

氏名 (担当業務)	格付	渡航 回数	2015年						2016年						2017年			日数 合計 (日)	人月 合計 (M/M)	自社負担 日数合計 (日)															
			7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9				10	11	12	1	2	3									
中村 二郎 (総括/地域保健)	2	計画	351日						189日									540	18.00																
		実績	355日						(2016年8月9日~9月30日)									399	13.30	9															
渡辺 咲子 (副総括/業務調整/地域保健)	4	計画	150			60日			105日			30日						345	11.50																
		実績	150日			60日			48日									255	8.50	3															
石原 尚子 (母子保健)	3	計画	165日						203日									428	14.27																
		実績	165日						(2016年5月15日~9月30日)									361	12.03	0															
吉岡 浩太 (公衆衛生:調査分析)	4	計画	30日															30	1.00																
		実績	39日															30	1.00	9															
村上 友美子 (公衆衛生:ヘルスプロモーション)	3	計画				30日						30日						60	2.00																
		実績				37日			60日									63	2.10	34															
濱口 陽子 (公衆衛生:ヘルスプロモーション)	4	計画							30日									30	1.00																
		実績							30日									30	1.00																
花田 恭 (保健行政/マネージメント)	3	計画							10日						11日			21	0.70																
		実績							14日									10	0.33	4															
狐崎 知己 (保健行政)	3	計画										9日						9	0.30																
		実績										6日						6	0.20																
高木 史江 (産科/小児ケア)	3	計画										9日						9	0.30																
		実績										9日						9	0.30																
凡例: 業務従事計画															 業務従事実績 自社負担															現地業務小計			1,472	49.07	
																		1,163	38.77	59															

2. 国内業務: 該当しないため割愛

報告書等	計画	▲ W/P(原案)+M/S(Ver.1)	▲ M/S(Ver.2)	▲ M/S(Ver.3)	△ P/R	△ F/R
	実績		△ W/P(原案)+M/S(Ver.1)	△ M/S(Ver.2)	△ M/S(Ver.3)	

注1) 各業務従事者の現地、国内のそれぞれの人月は、現地業務期間は30日、国内業務期間は20日で除した数字の小数点以下第3位を四捨五入して算定すること。
 注2) 現地業務と国内業務の振替は人月単位で行うこととするため、日数に端数が出るが、この端数は国内業務の日数で調整することとし、合計人月は変更しないこと。
 注3) 各業務従事者の各配置期間の下には、日数を括弧書きで記入すること。
 注4) 実績については各配置期間の開始日、終了日を記載すること。計画については記入不要。
 注5) 通訳についても記載すること。
 注6) コンサルタント業務従事月報の添付資料とするときは、月報提出月以降の「業務従事予定日程」を括弧書きで記載すること。

2016年10月8日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2016年10月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. パイロット市における医療従事者研修

- 1) 研修の中核を担う母子保健技術委員会では、各委員の業務内容や量とこれまでの作業への参加率などを考査し、委員会活動の効果的な継続のために、一部のメンバー交替が行われ、下記10名で同委員会が再編成された。

SILAIS	No	氏名	役職
チョンタ レス	1	ペトロニラ・フローレス	SILAIS 看護課長
	2	アドリアン・チャベス	SILAIS レファラル・カウンターレファラル担当官
	3	ダルリン・ブラボー	SILAIS 准看護師教育長
	4	シオマラ・メネセス	フィガルパ保健センター・一般医
	5	ディオニシア・セビージャ	アコヤパ支所・母子担当官
セラヤ・ セントラ ル	6	アナ・フエンテス	SILAIS 保健サービス課長
	7	タニア・ガルシア	エル・ラマー次病院、内科医
	8	ベルタ・バジャダーレス	ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス次病院・一般医
	9	ソランチ・ドウアルテ	エル・コラル保健センター・准看護師
	10	ギジェルミーナ・クルス	ヌエバ・ギネア支所・疫学担当官

- 2) 補完研修後の保健サービス提供状況についてのモニタリングを、上記メンバーにより継続している。
- 3) パイロット市以外の協力対象地域へ研修を拡大するにあたり、保健省保健サービス総局と研修教材(テキスト)について、内容の確認と修正を行っている。これまでに「産前健診」「妊産婦管理台帳」「妊娠性高血圧」「産後出血」4項目で作業が終了し、それぞれ320冊の印刷を開始した。残された「乳幼児健診」については、現在、子

もの成長発達過程に関する説明部分について、最終の調整作業を行っている。

- 4) 研修ファシリテーター用の教授法ガイドも、同様に保健省保健サービス総局との見直し・改訂作業を進めている。
- 5) 母子保健技術委員会と実地検証を進めてきた試作の研修成果モニタリングシートに関して、保健省本省と検討会議を行った。研修項目に特化して作成されたモニタリングシートであったが、既存の業務モニタリングシートと共通する項目が多いことから、新たにツールを増やすことはせず、これまで保健省が使用してきた業務モニタリングシートを活用して研修成果も評価することが決定された。ただし、この既存のモニタリングシートは、「できている・できていない」の2択となっており、その評価基準が具体的に示されていない。その結果、支所レベルにおける自己評価が甘く、省令に精通した SILAIS 職員による評価は厳しいことから、評価者による評価結果に違いが生じることが課題となっている。これを解決し、適正な評価の実施に向けた活動計画の必要性を確認した。
- 6) ヘルスプロモーション研修は、支所ごとに計画されていたが、大統領選挙に関連した行事や政党活動が通常業務に影響しており、先月に続いて研修の実施が延期されている。
- 7) プロジェクト活動を通じて SILAIS が明確化したレファラル・カウンターレファラルの業務フローの中で、特に緊急時のレファラルを強化するためビデオを作成し可視化することにした。これについて、ES AFC の医療従事者が行うべき諸手続き（関係機関への連絡手順・伝達内容・時期）と必要書類の流れと管理などの知識強化を目的に、妊娠性高血圧により状態が急変した妊婦への対応を例に、母子保健研修用のビデオ教材の作成を開始した。

- 計画**
- ① 承認されたテキストを用いて、14 市の研修ファシリテーターを 2 グループに分け、研修を開始する。
 - ② パイロット市の巡回指導と研修成果のモニタリングを継続する。
 - ③ 既存の業務モニタリングシートが適正に評価される方法を C/P と検討する。
 - ④ マタニティホームのポスター配布に合わせ、ファシリテーターによるヘルスプロモーション研修のカスケード研修を実施する。
 - ⑤ 母子保健研修用のビデオ教材作成を継続する。

1-2. ES AFC 活動

- 1) 4 市の 8 パイロット保健セクターを、SILAIS および支所のスタッフとともに巡回し、ES AFC の医療従事者とコミュニティネットワーク (RC) が参加する保健セクター会議および活動の進捗をモニタリングし、必要に応じて指導した。各市の保健セクター会議は、大統領・国会議員選挙に伴う住民活動のため延期されたところもあるものの、最終的に 8 か所全てで実施された。
- 2) 各パイロット保健セクターでは、活動項目 3 (家庭調査票) と活動項目 4 (集落マップ) の活用状況を先月に引き続きモニタリングした。その結果、新たにアコヤパ市“エル・チナル保健セクター”とサント・ドミンゴ市“ブルン 2 保健セクター”でも、家庭調査票と集落マップが集落訪問、妊婦の所在地管理などで活用されていることが

確認できた。

- 3) 活動項目 5(地域診断)を踏まえた活動項目 11 (RC による活動実施) が確認できた。その活動内容は、媒介虫対策のための集落清掃 (チナモス、マロン保健セクター)、集落住民集会での保健教育 (タロリング、ナシオネス・ウニダス、サン・フェリペ保健セクター)、保健フェア (サン・フェリペ、エル・チナル保健セクター)、妊産婦戸別訪問 (ナシオネス・ウニダス保健セクター)、保健ポストの建設 (マロン保健セクター)、トイレ建設の市役所への申請 (サン・フェリペ保健セクター) などである。
- 4) パイロット保健セクターで実施している ESAFC 活動の経験を踏まえ、プロジェクトでは ESAFC 活動ガイドの改定作業を、SILAIS、パイロット支所、パイロット保健セクターの職員を集めて実施した。改定版を保健省保健サービス総局に提出し、承認手続きを進めている。最終的に 13 項目に変わりはないものの、構成は以下のとおり改訂された。

No	改定前・ESAF13 活動	改定後・EASFC13 活動
1	RC リストの作成	RC リストの作成
2	保健セクター会議の月例開催	保健セクター会議の月例開催
3	家族調査票の作成	MOSAF13 (家庭地域保健モデル) 研修
4	集落マップの作成	RC 向けの出産計画研修実施
5	RC と保健セクターおよび集落の分析	出産計画の実施
6	RC 向けの出産計画研修実施	保健省の活動の実施と評価
7	出産計画の実施	家族調査票の作成
8	保健活動の計画・実施・評価	集落マップの作成
9	RC による集落集会の開催	保健セクターおよび集落の分析
10	RC による活動計画立案	ESAF13 による活動計画立案
11	RC による活動の実施	ESAF13 による活動の実施
12	RC による活動の評価	ESAF13 による活動の評価
13	保健セクター間の知見共有	保健セクター間の知見共有

MOSAF13 研修を加えたのは、ESAF13 (医療従事者とコミュニティネットワークで構成される家庭地域保健チーム) の MOSAF13 への理解が低いことに起因する。活動項目 6 (保健省の活動) は保健省主導の活動であり、活動項目 10・11・12 (RC による活動) は、活動項目 9 (地域分析) を基にした ESAFC による活動と定義した。

- 5) マタニティホームのポスターの印刷を発注した。また、フィールド活動用にプロジェクトロゴ入りポロシャツ、Tシャツ、帽子、バック、ボールペン、ノート、ステッカーの作成を進めている。
- 6) 子どもたちが選び、保健省に申請していたジカ熱対策のステッカーは、デザイン的大幅な変更を求められたため、前回次点となったデザインで再申請を行っている。

計画

- ① ESAFC による 13 項目活動を、支所担当官と共に巡回指導する。
- ② 保健省保健サービス総局と ESAFC 活動ガイドの修正作業を行う。
- ③ マタニティホーム利用のポスターを配布するに当たり、効果を高めるためのプロモーション指導を 14 市で実施する。

- 1) 両 SILAIS は、レファラル・カウンターレファラルシステム改善のため、専門の委員会を立ち上げ、一次医療レベルから二次医療レベルへのレファラルを優先して改善の取り組みを進めている。SILAIS チョンタレスでは、救急搬送と非救急搬送の判断基準を検討し、レファラル記録の伝達および管理方法と業務フロー図の修正がなされた。一方、SILAIS セラヤ・セントラルでは、一次医療レベルと SILAIS との搬送記録の比較、救急搬送と非救急搬送の症例検討のほか、救急搬送と非救急搬送の判断基準の整備、業務フロー図の修正がなされた。
- 2) 各支所は、地域病院から指摘されたレファラル用紙の記入ミス、記入漏れ、不明確な内容、判断できない文字（乱筆）などについて、医師に対する指導を行った。また、プロジェクトは各支所に対して、緊急搬送の症例検討の必要性を提言した。救急搬送となった理由と対応について、レファラル用紙を用いた自己評価を推奨するとともに、モニタリングを行い、適宜指導する。
- 3) 両 SILAIS は、SILAIS 技術審議会にて、9 月に改訂したレファラル・カウンターレファラル記録簿を用いて、搬送数、搬送理由などの分析を行っている。

計画 ①レファラル・カウンターレファラルの活動状況をモニタリングし、さらなる改善に取り組む。

1-4. 支所およびパイロット保健セクターでの巡回指導

- 1) パイロット支所およびパイロット保健セクターでの巡回指導では、妊産婦管理台帳と「向こう 4 週間の出産予定者リスト」、レファラル・カウンターレファラルの記録簿を確認し、記録内容、実施内容をチェックし、必要に応じて指導とトレーニングを行っている。
- 2) 8 月に実施した半期評価会での合意に基づき、ESAFc の医療従事者を集めて毎月 1 度各支所で開催される保健技術審議会に SILAIS 技官とともに参加し、モニタリングを開始した。プロジェクトでは、当面保健技術審議会に同席し、各市の保健技術審議会の進行、構成、分析などをモニタリングする。その上で、SILAIS とともに各支所の保健技術審議会の好事例を検討する。各支所の好事例を踏まえ、来年 2 月に開催する半期ワークショップで改善のためのグループワークを実施する計画である。

計画 ① 両 SILAIS の職員に同行し、各支所で開催される保健技術審議会をモニタリングする。
② 各支所で開催される保健技術審議会の好事例をまとめ、ワークショップの課題を作成する。

1-5. SILAIS 内の技術審議会

- 1) 両 SILAIS の主な技術審議会は、毎週月曜日に開催される SILAIS 幹部による技術審議会、そして、月 1-2 回開催される SILAIS と支所の技術審議会である。SILAIS チョンタレスは隔週火曜日もしくは水曜日に支所との技術審議会を開催してきた。SILAIS セラヤ・セントラルはプロジェクト開始当初は開催されてなかったが、現在は隔週もしくは 3 週ごと不定期に開催している。プロジェクトは、開始当初より技術

審議会に出席し、母子保健活動だけでなく、媒介虫対策、運営管理業務、保健フェアなど様々な活動に関して助言提言を行ってきた。

2) プロジェクトは、これらに加え、プロジェクト活動で強化しているテーマに関わる審議会発足の必要性について提言し、両 SILAIS の合意を得た。

3) プロジェクトの提言を受け、両 SILAIS では 9 月より、保健サービス課による技術審議会を毎週開催するようになり、これが定例化され始めた。同審議会では「向こう 4 週間の出産予定者リスト」「子宮頸がん検査実施・治療状況」「レファラル情報」を基本に、SILAIS 幹部による技術審議会向けの発表の精査、保健サービス課の活動の調整、疫学課が作成した多様な感染症に関する情報の共有などが議題となっている。

SILAIS チョントレス
支所別新生児・乳児死亡数
2015年・2016年比較、第42週まで

支所	誕生後0-6日		誕生後7-27日		誕生後28日-11か月	
	2015	2016	2015	2016	2015	2016
EL AYOTE	5	2	1	0	1	0
ACOYAPA	4	5	0	0	0	0
COMALAPA	0	1	0	0	1	1
JUIGALPA	7	7	2	2	4	3
LA LIBERTAD	5	8	0	1	1	1
CUAPA	1	0	1	0	0	0
SAN PEDRO	0	1	0	0	0	0
SANTO DOMINGO	4	2	1	0	1	0
SANTO TOMAS	1	5	0	0	0	1
VILLA SANDINO	3	2	0	0	1	0
合計	30	33	5	3	9	6

ここで議論の資料として活用している新生児死亡に関するデータの例を示す。これらを基に、「向こう 4 週間の出産予定者リスト」や「レファラル情報」などが予防や問題への早期対応のためにどう生かすかが話し合われる。

SILAIS チョントレス
母体側合併症

死亡原因	新生児死亡数		市街地／遠隔地 (2016年)		妊娠週 (2016年)		産前健診数 (2016年)	
	2015年	2016年	市街地	遠隔地	36週未満	36週以後	4回未満	4回以上
切迫早産	3	9	2	3	3	1	2	3
前置胎盤	3	2	1	3	2	1	1	2
妊娠性高血圧	10	7	4	3	3	2	3	5
羊水過少	2	1	1	1	3		1	5
妊婦肥満	6	3	1	2	3	1	1	2
尿路感染の反復	6	6	1	2	4	2	3	2
前期破水	2	5	1	2	5	3	1	2
合計	32	33	11	22	23	10	12*	21

*9例は産前健診記録なし

1-6. 技術交換

- 1) ドミニカ共和国「第三保健地域母と子のプライマリーヘルスケアプロジェクト」との技術交換を10月2日から5日間の日程で実施し、下記5名が渡航した。(添付資料参照)

氏名	所属先	役職
ネイリン・ペレス	ヌエバ・ギネア支所	タロリング保健セクター責任者、看護師
タニア・ガルシア	エル・ラマ支所	エル・ラマ一次医療病院、医師
ジェイミ・リバス	アコヤパ支所	アコヤパ支所長、看護師
マルジン・ブラボー	サント・ドミンゴ支所	サント・ドミンゴ支所長、医師
石原 尚子	SAMANI プロジェクト	母子保健専門家

- 2) 参加したC/Pは、他国で実施されている同分野の案件を知ることで、特に下記2点について、ニカラグアの強みを発見した。

- ① マタニティホームの活用により、医療施設へのアクセスが悪い地域の妊婦に対し質の高い継続ケアを提供できる。
- ② 歴史的にRCシステムが発達しており、医療従事者とRCのさらなる連携強化によりESAFG活動を促進・継続できる。

また、産後のカウンターレファラルシステムが強化されているのを見聞きし、C/Pは出産後の継続ケアの重要性を再認識した。これにより、現在、妊産婦管理台帳と「向こう4週間の出産予定者リスト」にて妊産婦の管理に取り組んでいるが、産後の褥婦ケアに関しても同様式を用いて管理することを検討している。

- 計画** ① 技術交換の経験を踏まえ、産後健診の管理強化の方法を両SILAISと検討する。

1-7. 運營業務

- 1) 中南米国際保健フォーラム

11月16日から18日にドミニカ共和国で開催が計画されている中南米国際保健フォーラムに出席する2名のC/P候補と専門家を下記のとおり決定した。

氏名	所属先	役職
ディルマ・シリア	SILAIS チョントレス	疫学課責任者
フェルナンド・カナレス	SILAIS セラヤ・セントラル	SILAIS 局長
渡辺 咲子	SAMANI プロジェクト	副総括／業務調整／地域保健

- 2) 保健行政/マネージメント専門家の派遣日程

11月に派遣が予定されていた保健行政/マネージメント専門家の派遣は、2017年1月に派遣時期を変更した。派遣目的は、プロGRESSレポートの5項目評価である。

1-8. 関連事項

- 1) ジカ熱状況

ジカ熱は、9月中旬から新規感染は確認されていない。SILAIS チョントレスの陽性者数の累計は44人(うち25人は妊婦であり、妊娠初期感染者は3人)、SILAIS セラ

ヤ・セントラルは1人のままである。10月のジカ熱とデング熱の感染疑い者数は、それぞれ SILAIS チョントレスで 26 人と 364 人、SILAIS セラヤ・セントラルでは 8 人と 171 人あった。10月にデング熱の感染が確認された人数は、SILAIS チョントレスおよびセラヤ・セントラルで、それぞれ 4 人ずつであった。チクングニア熱の新規陽性患者は、両 SILAIS とともに確認されていない。

2) 選挙活動

大統領および国会議員選挙 10 日前の 10 月 28 日に、選挙活動は規定によりすべて終了した。SILAIS チョントレス事務所をはじめ、多くの保健施設は投票場所として利用される。

2. 主な活動日程

<10 月>

- 1 日：救急搬送ビデオ撮影（保健ポスト、地域病院）
- 2～6 日：第三国技術交換（ドミニカ共和国）
- 4 日：SILAIS チョントレス・レファラル・カウンターレファラル会議
- 5 日：SILAIS セラヤ・セントラル・レファラル・カウンターレファラル会議、ラ・リベルタ支所統合巡回指導
- 6 日：アコヤパ市チナル保健セクター会議
- 7 日：巡回指導：エル・アヨテ支所技術審議会
- 10 日：研修テキスト見直し会議（於：本省）
- 11 日：SILAIS チョントレス、ESAFc 活動ガイド作成会議
- 12 日：サント・ドミンゴ市チナモス、ブルン 2 保健セクター会議、ムエジェデロスブエジェ支所技術審議会
- 14 日：SILAIS チョントレス・レファラル・カウンターレファラル会議
巡回指導：ラマ支所技術審議会
- 16 日：渡辺咲子専門家（副総括/地域保健/業務調整）着任
- 18 日：緊急搬送ビデオ撮影（保健センター）
- 19 日：SILAIS セラヤ・セントラル・レファラル・カウンターレファラル会議および ESAFc 活動ガイド作成会議、研修テキスト見直し会議（於：本省）、サント・ドミンゴ支所技術審議会、エル・ラマ市ワピ、マロン保健セクター統合巡回指導
- 20 日：JICA ニカラグア事務所との第 9 回定期会議、アコヤパ市サン・フェリペ保健セクター会議
- 25 日：ヌエバ・ギネア市タロリング保健セクター会議
- 26 日：エル・ラマ市ワピ、マロン保健セクター会議
- 27 日：ナシオネス・ウニダス保健セクター会議

3. 今後の予定

<11 月>

- 6 日：ニカラグア大統領選挙投票日
- 6～12 月 25 日：本邦集団研修「公衆衛生活動による母子保健強化」（研修期間：11 月 9 日～12 月 23 日）
- 10 日：アコヤパ市エル・チナル保健セクター会議、SILAIS セラヤ・セントラル・レフ

アラル・カウンターレファラル会議

- 15～19日：国際地域保健フォーラム（於：ドミニカ共和国）
16日：サント・ドミンゴ支所チナモス、ブルン2保健セクター会議
17日：ナシオネス・ウニダス保健セクター会議
23日：第4回プロジェクト運営委員会（ヌエバ・ギネア）
24日：ヌエバ・ギネア市タロリング保健セクター会議
24～25日：第1回研修ファシリテーター向け母子保健研修
29～30日：第2回研修ファシリテーター向け母子保健研修
30日：ニカラグ事務所とのJOCVプログラム派遣に関する会議、エル・ラマ市ワピ、マロン保健セクター会議

<12月>

- 4日：渡辺咲子専門家（副総括/地域保健/業務調整）、石原尚子専門家（母子保健）離任
9日：パイロット保健セクター評価会

4. 添付書類

- ・ 第三国類似案件との技術交換（ドミニカ共和国）実施計画書
- ・ 第三国研修ドミニカ共和国・FOAPRISEN 案件との技術交換、C/P 報告書

5. 活動写真

別添のとおり

6. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

第三国類似案件との技術交換 = ドミニカ共和国 = 実施計画書



1. 実施の背景

ドミニカ共和国(以下「ド」国)は、ニカラグア共和国(以下「ニ国」)とほぼ同じ時期にプライマリヘルスケアを基本とした保健戦略を導入し展開し始めた。ド国で現在活動中の「第三保健地域母と子のプライマリヘルスケアプロジェクト」プロジェクトの開始に至った、医療現場における国家標準ケアの遵守、医療従事者への現任教育、保健行政機関によるモニタリングの不足、若年妊娠等、両国に共通する課題があるものと想定される。妊娠から出産とその後の継続ケアの適切な提供を目指した医療従事者に対する研修や、レファラル・カウンターレファラルのシステム強化等、取り組む活動も類似点が多い。

2. 実施目的

- 1) 先行して活動が進んでいるド国プロジェクトを訪問し、特に下記の2つのテーマについて、活動の経験や工夫、得られた教訓を学び活用していくことで母子保健サービスの向上を目指す。
 - ① 研修プログラムの作成、実施、評価を行う上で、確認された課題、取り組んだ解決策、現場での工夫等を習得し、ニ国における活動の素材とする。
 - ② ニ国におけるレファラル・カウンターレファラルシステムをスムーズに機能させる上で、抽出されている課題を挙げ、意見交換を行う。また、ド国の同システムにおいて挙げた課題、取り組んだ活動および解決策、現場の反応等を習得する。
- 2) 両上記(1)、(2)の課題解決以外にコミュニティ活動などの現在実施中もしくは実施予定の母子保健活動における課題、解決策、活動や工夫を学び、今後のニ国における活動に生かす。

3. 訪問期間

2016年10月2日(日)～6日(木)、国内移動日を含めて4泊5日間

4. 訪問人数 (計5名)

- プロジェクトカウンターパート候補者4名
 - ① ネイリン・ペレス(ヌエバ・ギネア支所・タロリング保健センター、看護師)
 - ② タニア・ガルシア(エル・ラマ支所一次医療病院内科医、母子保健技術委員会メンバー)
 - ③ ジェイミ・リバス(パイロット市・アコヤパ支所長、看護師)
 - ④ マルジン・ブラボ(パイロット市・サント・ドミンゴ支所長、医師)
- 日本人専門家1名、石原尚子(引率)

5. 訪問日程と活動内容

日付	時間	活動	場所
10/2 (日)	午前	チョンタレスもしくはセラヤ・セントラル→マナグアへ移動	サント・ドミンゴ泊 Apartahotel Drake SRL
	11:27 発 19:22 着	移動: 二国マナグア→ド国サント・ドミンゴ	
10/3 (月)	午前	移動: サント・ドミンゴ→サマナ (2 時間) <ul style="list-style-type: none"> FOAPRISEN チーフアドバイザーより、二国間の保健システムの違いについてオリエンテーション 二国プロジェクト活動の紹介 	マリア・トリニダド・サンチェス泊 Hotel Sinai
	午後	<ul style="list-style-type: none"> サマナ県 パイロット地域・UNAP 訪問、ヘルスプロモーションアプローチ手法視察 移動: サマナ→マリア・トリニダド・サンチェス(1 時間)	
10/4 (火)	午前	<ul style="list-style-type: none"> マリア・トリニダド・サンチェス県 県保健サービス局・県病院視察 カウンターレファラルシステム紹介 レファラル・カウンターレファラルシステムの課題とその改善にむけた取り組みについて意見交換 移動: マリア・トリニダド・サンチェス→サンフランシスコ・デ・マコリス(1 時間)	サンフランシスコ・デ・マコリス泊 Hotel Las Caobas
	午後	<ul style="list-style-type: none"> エルマナ・ミラバル県病院 両国母子保健研修の進め方についての紹介 母子保健地域委員会メンバーと研修の課題およびその改善にむけた取り組みや工夫について意見交換 	
10/5 (水)	午前	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトサイト地域保健サービス局、県保健事務所、県保健サービス局担当者との意見交換 ド国および二国の PHC・母子保健への取り組み、プロジェクト活動など発表 課題およびその改善にむけた取り組みや工夫について意見交換 	サント・ドミンゴ泊 Apartahotel Drake SRL
	午後	会議終了後、移動: サンフランシスコ・デ・マコリス→サント・ドミンゴ(3 時間)	
10/6 (木)	08:42 発 12:53 着	移動: ド国サント・ドミンゴ→二国マナグア 移動: マナグア→チョンタレスもしくはセラヤ・セントラル	

第三国研修ドミニカ共和国・FOAPRISEN案件との技術交換、C/P報告書

No.	氏名 (役職)	ドミ共案件で得た新たな認識	ドミ共案件との技術交換で得た教訓	ドミ共案件での学びからSILAISもしくは支所におけるフィードバックできる活動	次回技術交換への提言
1	ネイリン・ペレス (ヌエバギネア支所タロリング保健セクター責任者、看護師)	<ul style="list-style-type: none"> ・FOAPRISEN案件の成果は、彼ら自身の成果であり、政府の支援を受けたものではない。 ・一般プロモーターの給金が1000ペソで、政府プロモーターが7000ペソの給金を得ている。一方、ニカラグアのボランティアは無償である。 ・出産計画はあるが、マタニティホームはなく、遠隔地の妊婦は健診を受けるのが難しく、有効に機能していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・FOAPRISEN案件のレファラル・カウンターレファラルの手法と戦略は多くを学んだ。特に72時間以内の産後健診に力を入れている。 ・産褥婦の補足と産後退院決定者を12時前に病院から即日報告の徹底。また妊産婦手帳があり、産前健診、出産計画、産後ケアなど個別の用紙ではなく、統一された様式を用い、記録はデジタル化されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入院した妊婦のカウンターレファラルについて、病院職員や支所職員の継続ケアを強化することで産後健診の指標を改善できる。 ・レファラル・カウンターレファラルのシステムを改善し、様式を統一化することで、より効果的なケアが可能である。支所職員が注力することで改善できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SAMANI案件の支援によりESAFIC活動のモニタリング指標を改善し、効果的な予防対策やプロモーション活動を紹介する。 ・SAMANI案件の地域保健活動と搬送活動の改善を示す。 ・私たちの活動が短期間で有効に機能していることが、ドミ共との技術交換で確認できた。
2	タニア・ガルシア (エル・ラマー次医療病院、医師)	<ul style="list-style-type: none"> ・病院からのカウンターレファラルが強化されている。 ・リプロダクティブヘルス委員会による多様な取り組みがある。 ・病院職員だけでなく、県行政の職員も継続ケアに関わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リプロダクティブヘルス委員会が母子保健の強化を進めている。 ・病院における教訓として、レファラル・カウンターレファラルだけでなく、プロジェクト活動強化のための委員会を組織し、実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SILAISは重度の妊産婦だけでなく、全ての産褥婦に対する日々の情報交換などレファラル・カウンターレファラルシステムを改善する。また、産前産後を統一に管理できる様式を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・技術交換は大変有効だと思う、一方テーマも多いことからより時間が必要であり、実践的な取り組みを見るため現場訪問は重要である。

No.	氏名 (役職)	ドミ共案件で得た新たな認識	ドミ共案件との技術交換で得た教訓	ドミ共案件での学びからSILAISもしくは支所におけるフィードバックできる活動	次回技術交換への提言
3	ジェイミ・リバス (アコヤパ支所長、看護師)	<ul style="list-style-type: none"> ・プロモーション活動発表において、プロジェクトによる看護師の強化は見られるが、医師が参加していない。 ・ボランティアネットワークは弱く政策的なプロモーターで給金がある。 ・効果的なレファラル・カウンターレファラルシステムが存在する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・産後72時間以内のケアは強化されているものの、その後のケアはされていない。 ・帝王切開による妊産婦死亡数の多いことに驚いた。 ・レファラル・カウンターレファラルシステムが有効であり、幹部の支援が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスプロモーションの改善。 ・レファラル・カウンターレファラルによるタイムリーな継続ケア。 ・信頼関係とコミュニケーションの強化と環境づくり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大変質問が多かったことから、事前にしっかりと提供できる情報を準備する。 ・ドミニカ共和国のカウンターパートの多くが、私たちのコミュニティネットワーク活動に興味を示した。
4	マルジン・ブラボー (サント・ドミンゴ支所長、医師)	<ul style="list-style-type: none"> ・レファラル・カウンターレファラルが強化され、特に産後72時間以内のケアと記録管理が徹底されていた。 ・ドミニカ共和国はコミュニティネットワークが機能していない。 ・妊産婦死亡率の改善のためにマタニティホームの重要性が注目されたが、ドミニカにはマタニティホームのような施設はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・我々が各集落で取組む地域保健活動におけるボランティアネットワークの重要性と進捗度の理解を深めた。 ・私たちの政府が取組んでいるマタニティホームなどの有効性を再確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レファラル・カウンターレファラルにおいて、妊産婦の病院からの情報提供や継続ケアを強化する。 ・遠隔地の集落におけるコミュニティネットワークの強化を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に提言することはない。技術交換での学びは多く、自分たちの活動の有効性や効果、そして課題を見つけることができる。

4. 活動写真



ドミニカ共和国 JICA 保健案件と技術交換
サント・ドミンゴ支所長が集落活動を発表



ドミニカ共和国の JICA 保健案件と技術交換
全体写真 (前列 5 名がニカラグアチーム)



研修教材作成会議
保健省本省



レファラル・カウンターレファラル委員会
SILAIIS セラヤ・セントラル



保健セクター会議
サント・ドミンゴ市ブルン2保健セクター



保健セクター会議
妊産婦管理台帳を使って妊婦情報を共有
ナシオネス・ウニダス保健セクター



住民参加の媒介虫対策活動
サント・ドミンゴ市チナモス保健セクター



住民参加により建設された保健ポスト
エル・ラマ市マロン保健セクター



巡回指導
パイロット保健セクター
エル・ラマ市ワピ保健セクター



巡回指導
支所保健技術審議会
ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス



SILAIS チョンタレス技術統合巡回指導
ラ・リベルタ



保健キャラバン
サント・トマス

業務従事者の従事計画／実績表

監督職員確認印:【監督職員氏名】伊藤 賢一 印

契約件名: ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

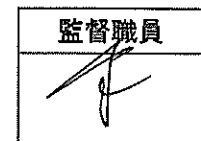
1. 現地業務

氏名 (担当業務)	格付	渡航 回数	2015年												2016年												2017年			日数 合計 (日)	人月 合計 (M/M)	自社負担 日数合計 (日)
			7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3									
中村 二郎 (総括/地域保健)	2	計画	351日												189日															540	18.00	
		実績	355日												84日															430	14.33	9
渡辺 咲子 (副総括/業務調整/地域保健)	4	計画	150日						60日			105日						30日						345	11.50							
		実績	150日						60日			48日						16日						271	9.03	3						
石原 尚子 (母子保健)	3	計画	165日						60日			203日												428	14.27							
		実績	165日						57日			171日												392	13.07	0						
吉岡 浩太 (公衆衛生:調査分析)	4	計画	30日																					30	1.00							
		実績	39日																					30	1.00	9						
村上 友美子 (公衆衛生:ヘルスプロモーション)	3	計画							30日									30日						60	2.00							
		実績							37日			60日												63	2.10	34						
濱口 陽子 (公衆衛生:ヘルスプロモーション)	4	計画										30日															30	1.00				
		実績										30日															30	1.00				
花田 恭 (保健行政/マネジメント)	3	計画							10日									11日						21	0.70							
		実績							14日															10	0.33	4						
狐崎 知己 (保健行政)	3	計画																9日									9	0.30				
		実績																6日									6	0.20				
高木 史江 (産科/小児ケア)	3	計画																			9日									9	0.30	
		実績																			9日									9	0.30	
凡例:		■ 業務従事計画		□ 業務従事実績		≡ 自社負担														現地業務小計			計画			1,472	49.07					
																				実績			1,241	41.37	59							

2. 国内業務: 該当しないため割愛

報告書等	計画	▲ W/P(原案) + M/S(Ver.1)	▲ M/S(Ver.2)	▲ M/S(Ver.3)	△ P/R	△ F/R
	実績	△ W/P(原案) + M/S(Ver.1)	△ M/S(Ver.2)	△ M/S(Ver.3)		

注1) 各業務従事者の現地、国内のそれぞれの人月は、現地業務期間は30日、国内業務期間は20日で除した数字の小数点以下第3位を四捨五入して算定すること。
 注2) 現地業務と国内業務の振替は人月単位で行うこととするため、日数に端数が出るが、この端数は国内業務の日数で調整することとし、合計人月は変更しないこと。
 注3) 各業務従事者の各配置期間の下には、日数を括弧書きで記入すること。
 注4) 実績については各配置期間の開始日、終了日を記載すること。計画については記入不要。
 注5) 通訳についても記載すること。
 注6) コンサルタント業務従事者月報の添付資料とするときは、月報提出月以降の「業務従事予定日程」を括弧書きで記載すること。



2016年12月7日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2016年11月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. パイロット市における医療従事者研修

- 1) 4市8パイロット保健セクターでのカスケード研修の結果や保健省令の変更事項などを踏まえ、母子保健研修用の「産前健診」「妊産婦管理台帳」「妊娠性高血圧」「産後出血」「乳幼児健診」5項目の研修テキストを印刷した。また、保健省保健サービス総局と上記5項目の教授法ガイドの改定作業を終えた。
- 2) 対象全14支所へ研修展開のため、医師と看護師で構成された研修ファシリテーター28名に対して、母子保健研修を実施した。研修受講者を2グループに分け、「産前健診」「妊産婦管理台帳」「妊娠性高血圧」「産後出血」の4テーマを1日かけて、母子保健技術委員会メンバーの5名が講師となり指導した。研修教材は、研修テキスト、事前・事後テスト、教授法ガイド、DVD教材、パワーポイントを用いた。また、今回の研修には、保健省保健サービス総局より担当技官が助言者として参加した。
- 3) 研修モニタリングの手法を運営委員会で協議する計画であったが、ハリケーンの影響を受けて延期された。
- 4) ヘルスプロモーション研修テキスト（草稿）を作成した。
- 5) 緊急時のレファラルを強化するためのビデオ教材は、撮影を終了し、編集作業を進めている。

計画

- ① 「乳幼児健診」「ジカ熱対策」について、研修ファシリテーター向け母子保健研修を開催する。
- ② 母子保健研修を対象14支所へ展開する研修計画および教材配布計画を立案する。
- ③ 既存の業務モニタリングシートを用いた研修評価が、適正に実施される方法

を C/P と検討する。

- ④ ヘルスプロモーション研修テキストの承認を得て、マタニティホームのポスター配布と共にヘルスプロモーション研修のカスケード研修を実施する。
- ⑤ 母子保健研修用のビデオ教材作成を継続する。

1-2. ESAFC 活動

- 1) 4市の7パイロット保健セクターを、SILAIS および支所のスタッフとともに巡回し、ESAFc の医療従事者とコミュニティネットワーク (RC) が参加する保健セクター会議および活動の進捗をモニタリングし、指導した。残りのヌエバ・ギネア市タロリング保健セクターについては、セクター会議がハリケーンの影響で中止となった。
- 2) 各パイロット保健セクターで実施してきた ESAFC13 活動は、8 パイロット保健セクター中7セクターで概ね受け入れられ、作業が進められている。一例としてアコヤパ市エル・チナル保健セクターでは、安価な資材を用いたペットボトルライトを集落の保健の家に設置し、診察室の環境改善が行われた。これは、シャーガス病対策で用いていた手法である。一方、中々活動が進まないのは、8パイロット保健セクターの中で最も市街地に近く、人口の多いエル・ラマ市ワピ保健セクターである。ここは、アクセスは他の保健セクターよりも恵まれているものの、RC は日常の仕事に忙しいという理由で、毎月開催されているセクター会議への参加率が低い。今後、パイロット保健セクターの合同会議で、他の保健セクターの取り組みを知る機会を設け、活動の活性化を促してゆく。
- 3) ESAFC13 活動ガイドの改定作業は、保健サービス総局と、詰めの協議に入っている。構成については合意が得られているが、文言の表記や活動における現地リソースとの連携、そして評価の枠組みに関して、議論を重ねている。
- 4) 今年6月から申請していたジカ熱対策のステッカーは、デザインの修正を重ね、11月中旬に保健省の承認が下りた。JICA ニカラグア事務所と相談し、これの印刷を JICA 事務所予算のジカ熱対策費で行うこととなった。

- 計画**
- ① 8パイロット保健セクターから代表を集め、パイロット支所、SILAIS、本省と共に ESAFC13 活動を検証する。また、好事例と困難な事例を抽出し検証する。
 - ② パイロット保健セクター間で、医療従事者と RC が参加して知見を共有する。

1-3. レファラル・カウンターレファラルシステム

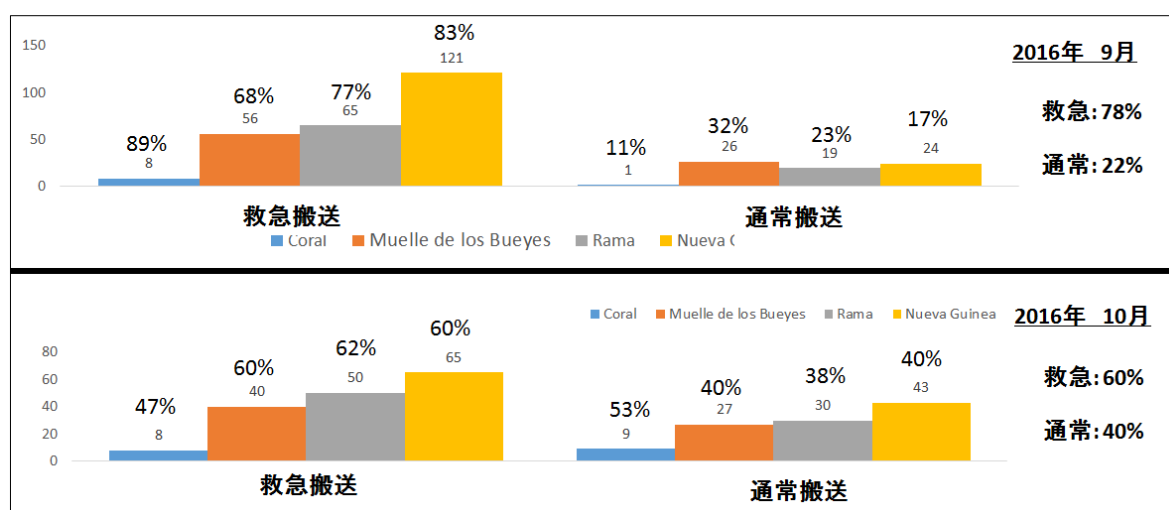
レファラル・カウンターレファラルに関しては、課題も多く、両 SILAIS では、まずレファラルから改善を進めている。

- 1) SILAIS チョントレスのレファラル・カウンターレファラル委員会は、業務フロー図を再修正し、10支所長を集め、SILAIS 局長より業務フロー図に沿った作業の徹底を指示した。特に課題とされたのは、情報の伝達である。救急搬送は各支所が必ず SILAIS 疫学監視課へ電話連絡を入れることになっているが、全ての情報が届いているわけではない。また、支所が SILAIS へ毎週提出している情報に不備があり、提出

前のチェックが行われていないのが現状である。このことから、SILAIS 保健サービス課では、各支所から提出されるレファラル・カウンターレファラル記録簿と SILAIS 疫学監視課への電話連絡の記録を照らし合わせたところ、医師によりレファラル・カウンターレファラル記録簿に記録する、SILAIS 疫学課へ電話連絡する、両方欠かさず行う、両方行わないなど、対応に違いがあることが判明した。その結果を各支所へフィードバックし、改善を促した。

- 2) SILAIS セラヤ・セントラルのレファラル・カウンターレファラル委員会は、救急搬送と非救急搬送のデータ比較、搬送理由の確認、支所が SILAIS へ毎週提出するデータと疫学監視課の記録データの比較、その数値の違いに関して議論した。緊急性の判断と整理作業の改善から、搬送先の振り分けが適正になされるようになったことで、10月の緊急搬送は前月より明らかに減少している（グラフ「SILAIS セラヤ・セントラルから地域病院への救急搬送と通常搬送の割合」参照）。特に、麻酔医と産婦人科医がいるムエジェ・デ・ロス・ブエジェス一次病院で対応できるケースはそちらに搬送することで、フィガルパの地域病院への搬送が減少した。

グラフ：SILAIS セラヤ・セントラルから地域病院への救急搬送と通常搬送の割合



- ①レファラル・カウンターレファラルの活動状況をモニタリングし、さらなる改善に取り組む。

1-4. 支所およびパイロット保健セクターでの巡回指導

- 1) パイロット支所およびパイロット保健セクターでの巡回指導では、特に、以下の記録のクロスチェックをしている。
- 妊産婦管理台帳×向こう4週間の出産予定者リスト
 - 妊産婦管理台帳×予防接種管理台帳
- また、上記の記録簿に加え、レファラル・カウンターレファラルの記録簿についても同様に、実施内容をチェックし、指導とトレーニングを行っている。

- ① 両 SILAIS の職員に同行し、各支所で開催される保健技術審議会をモニタリングする。

1-5. 第4回運営委員会

- 1) 11月21日の第4回運営委員会は、ハリケーンのため中止となった。前日の午後6時に保健省職員の移動禁止が本省より発令されたためである。
- 2) 2016年1月から10月のPDM指標の実績は、添付資料のとおりである。
- 3) 運営委員会で議論する計画であった下記8項目は、運営委員会の再開、もしくは技術審議会や保健省定期会議などの場を利用し協議する。
 - ① 2016年1月から10月のPDM指標
 - ② プロジェクト合同評価会
 - ③ 研修モニタリングの評価手法
 - ④ ESAFC13活動の評価モニタリングに用いる各活動のエビデンスリスト
 - ⑤ 母子保健研修計画
 - ⑥ ヘルスプロモーション研修計画
 - ⑦ ESAFC13活動導入計画
 - ⑧ 中南米国際保健フォーラム活動報告

1-6. 運營業務

1) 中南米国際保健フォーラム

11月16日から18日にドミニカ共和国で開催された中南米国際保健フォーラムにC/P2名と専門家1名がプロジェクトから参加した。現地では、SILAISセラヤ・セントラル局長によるプロジェクト活動の発表、展示ブースでの教材等の紹介、他案件関係者との質疑応答、ドミニカ共和国で実施中の「第三保健地域母と子のプライマリーヘルスケアプロジェクト」の現場視察を行った。

2) PAHO との協議

中南米国際保健フォーラム開催中に、参加したPAHO本部事務局およびPAHOニカラグア事務所の人間の安全保障担当職員に、プロジェクトをPAHOの人間の安全保障の事例案件¹として取り扱うことを提案した。PAHOによるプロジェクト視察を経て、事例案件にするか検討されることとなったので、今後も協議を進める。

1-8. 関連事項

1) ジカ熱状況

9月中旬以降、ジカ熱の新規感染例は確認されていない。SILAIS チョントレスの陽性者数の累計は44人（うち妊婦は25人、妊娠初期感染者は3人）である。SILAIS セラヤ・セントラルは1人である。

2) 大統領選挙後

現政権であるサンディニスタ解放戦線（FSLN）は、得票率72%を獲得し、3期目の継続が確定した。今年初めより実施されていた週末の保健活動は、来年の統一地方

¹ PAHO/WHO と JICE の「人間の安全保障」に関するケーススタディ（http://iris.paho.org/xmlui/bitstream/handle/123456789/28286/9784889071474_eng.pdf?sequence=1&isAllowed=y&ua=1）。

選挙の結果を考慮するとされつつ、継続する方向で調整されている。

3) ハリケーン・オット被害状況

ハリケーン・オットは11月19日から20日にかけて、パナマやコスタリカのカリブ海側に、洪水や土砂崩れなどの大きな被害をもたらし、北上した。これを受け、ニカラグア政府は21日、南カリブ自治区、リオ・サン・フアン県、チョンタレス県に非常事態警報を発令した。24日に上陸したハリケーンは1日でニカラグアを横断した。リオ・サン・フアン県を中心に倒木などの被害は報告されたが、人命被害はなかった。

2. 主な活動日程

<11月>

- 1日：母子保健技術委員会 SILAIS チョンタレス
- 3日：母子保健技術委員会 SILAIS セラヤ・セントラル
- 6日：ニカラグア大統領選挙投票日
- 6～12月25日：本邦集団研修「公衆衛生活動による母子保健強化」（研修期間：11月9日～12月23日）
- 10日：アコヤパ市エル・チナル保健セクター会議、SILAIS セラヤ・セントラル・レファラル・カウンターレファラル会議
- 14日：母子保健技術委員会セラヤ・セントラル
- 15日：母子保健技術委員会 SILAIS チョンタレス
- 15～19日：国際地域保健フォーラム（於：ドミニカ共和国）
- 16日：サント・ドミンゴ支所チナモス、ブルン2保健セクター会議
- 17日：ナシオネス・ウニダス保健セクター会議
- 18日：SILAIS セラヤ・セントラルのレファラル・カウンターレファラル委員会
- 22日：アコヤパ市サン・フェリペ保健セクター会議
- 28日：PAHO/WHO の人間の安全保障担当職員と協議
- 29～30日：第1回研修ファシリテーター向け母子保健研修
- 30日：エル・ラマ市ワピ、マロン保健セクター会議

3. 今後の予定

<12月>

- 1日：保健省との第7回定期会議
- 4日：渡辺咲子専門家（副総括/業務調整/地域保健）、石原尚子専門家（母子保健）離任
- 6日：パイロット保健セクター評価会
- 7日：JICA ニカラグア事務所との第10回定期会議
- 9日：ヌエバ・ギネア支所パイロット保健セクター技術交換会
- 10日：プロジェクト合同自己評価準備会議
- 13日：SILAIS チョンタレスパイロット保健セクター技術交換会
- 14～15日：第2回研修ファシリテーター向け母子保健研修

<1月>

- 5日：渡辺咲子専門家（副総括/業務調整/地域保健）着任
- 6日：プロジェクト合同自己評価準備会議

11日：プロジェクト合同自己評価会議

13日：第4回運営委員会

<2月>

13-14日：運営指導調査団現地視察

15日：第2回合同調整委員会

16日：中村二郎専門家（総括）、渡辺咲子専門家（副総括/業務調整/地域保健）離任

4. 添付書類

・PDM指標、2016年1月から10月の評価結果

5. 活動写真

別添のとおり

6. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

PDM Versón 2指標、2016年1月～10月評価結果

チョンタレス保健管区およびセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

目標と成果	指標	SILAIS	分母	分子	結果	
上位目標 チョンタレス保健管区とセラヤ・セントラル保健管区の母子の健康が改善される。	1. 対象地域における2011年から2014年までの期間の妊産婦死亡比平均70.8（出生10万対）が、2018年から2021年の期間で低下する。	チョンタレス	3,669	1	27.3	
		セラヤ・セントラル	3,114	3	96.3	
		両SILAIS	6,783	4	59.0	
	2. 対象地域における2014年の乳児死亡率14.1（出生千対）、及び2014年の5歳未満児死亡率15.8（出生千対）が低下する。	乳児死亡率	チョンタレス	3,669	52	14.2
			セラヤ・セントラル	3,114	50	16.1
			両SILAIS	6,783	102	15.0
		5歳未満児死亡率	チョンタレス	3,669	58	15.8
			セラヤ・セントラル	3,114	58	18.6
			両SILAIS	6,783	116	17.1
	3. 対象地域で（5歳未満の）慢性栄養不良児の割合が10.5%から低下する。	チョンタレス	5歳未満の調査を実施していないのでデータなし			
セラヤ・セントラル		5歳未満の調査を実施していないのでデータなし				
両SILAIS						
プロジェクト目標 対象地域において妊産婦と2歳未満児を対象とする質の高い保健医療サービスがより利用される。	1. 対象地域で、妊婦が1回目の産前健診を妊娠12週以内に受診する割合が2014年の62.5%（ベースライン）から2018年の75.0%（エンドライン）に上昇する。	チョンタレス	4,304	2,492	57.9	
		セラヤ・セントラル	3,885	2,422	62.3	
		両SILAIS	8,189	4,914	60.0	
	2. 分娩施設で現在有効な分娩3期ケアと出産直後の新生児ケアの質の指標を満たす割合が2015年の59.5%（ベースライン）から2018年の80.0%（エンドライン）に上昇する。	チョンタレス	98.9	96.9	97.9	
		セラヤ・セントラル	42.0	52.0	47.0	
		両SILAIS	70.5	74.5	72.5	
	3. 対象地域で中期（産後2～10日）産後健診の受診率が2014年の75.3%（ベースライン）から2018年（エンドライン）に上昇する。	チョンタレス	3,877	2,549	65.7	
		セラヤ・セントラル	3,500	2,655	75.9	
		両SILAIS	7,377	5,204	70.5	
	4. 対象地域で1～4歳の1回目乳幼児健診を受ける割合が2014年の47.5%（ベースライン）から2018年の58.5%（エンドライン）に上昇する。	チョンタレス	14,290	6,448	45.1	
		セラヤ・セントラル	12,555	4,985	39.7	
		両SILAIS	26,845	11,433	42.6	
	5. 対象地域で、施設分娩のためにマタニティホームに宿泊した農村地域の妊婦の割合が2015年（ベースライン）の42.1から2018年の50.0%（エンドライン）に上昇する。	チョンタレス	1,778	812	45.7	
		セラヤ・セントラル	2,227	1,366	61.3	
		両SILAIS	4,005	2,178	54.4	
成果 1. 妊産婦と2歳未満児を対象とする医療施設でのサービス提供能力が強化される。	1-1. 保健施設で現在有効な2歳未満児へのケアの質の指標を満たす割合が2014年の46.3%から2018年の60.0%に上昇する。	チョンタレス	10支所で実施した評価の平均		89.7	
		セラヤ・セントラル	4支所で実施した評価の平均		80.1	
		両SILAIS	14支所で実施した評価の平均		84.9	
	1-2. 保健施設で現在有効な産前ケアの指標を満たす割合が2014年の46.2%から2018年の60.0%に上昇する。	チョンタレス	10支所で実施した評価の平均		82.7	
		セラヤ・セントラル	4支所で実施した評価の平均		64.8	
		両SILAIS	14支所で実施した評価の平均		73.8	
	1-3. レファラル・カウンターレファラル省令を満たす形で支所から病院へ緊急レファラルされた妊産婦及び2歳未満児のレファラル台帳の記録が80%の割合で一致する。	チョンタレス	5月～10月の平均値		86.2	
		セラヤ・セントラル	5月～10月の平均値		78.6	
		両SILAIS	5月～10月の平均値		82.4	
	1-4. レファラル・カウンターレファラル省令を満たす形で病院から支所へカウンターレファラルされた妊産婦及び2歳未満児のレファラル台帳の記録が70%の割合で一致する。	チョンタレス	5月～10月の平均値		31.0	
		セラヤ・セントラル	5月～10月の平均値		43.5	
		両SILAIS	5月～10月の平均値		37.3	
2. 妊産婦と2歳未満児の健康に関するコミュニティ活動が強化される。	2-1. 対象地域において、100%のES AFCが住民参加型保健強化手法を用いて、活動計画を策定・実施する。	チョンタレス	4	4	100.0	
		セラヤ・セントラル	4	4	100.0	

目標と成果	指標	SILAIS	分母	分子	結果
	2-2. コミュニティネットワークのイニシアチブの合意として実施された活動数が増加する。	両SILAIS	8	8	100.0
		チョンタレス	4	4	100.0
		セラヤ・セントラル	4	3	75.0
	2-3. 全てのセクターにおいて、ESAFCはコミュニティとともに分析や反映を行う。	両SILAIS	8	7	87.5
		チョンタレス	4	4	100.0
		セラヤ・セントラル	4	3	75.0
3. 妊産婦と2歳未満児の健康に関するSILAISの行政能力が強化される。	3-1. SILAISの技術統合巡回指導（妊産婦管理台帳と予防接種台帳における妊産婦及び2歳未満児のケアに関するデータの正確な記録と分析、プロジェクトが実施した研修のフォロー）を受ける支所の数	チョンタレス	10	10	100
		セラヤ・セントラル	4	4	100
		両SILAIS	14	14	100
	3-2. 全支所は、毎月ESAFCとSILAISが同席し、妊産婦及び2歳未満児のケアに関してする活動方針を決める情報分析会議を実施する。	チョンタレス	30	8	26.7
		セラヤ・セントラル	12	7	58.3
		両SILAIS	42	15	35.7
	3-3. 妊婦と2歳未満児に関する情報を正確に記録し、分析する第1次保健施設の割合が増加する。	チョンタレス	10	7	70.0
		セラヤ・セントラル	4	4	100.0
		両SILAIS	14	11	78.6

5. 活動写真



中南米国際保健フォーラム



中南米国際保健フォーラム
ニアラグア案件展示ブース



課題別研修(沖縄)
公衆衛生活動による母子保健強化



研修ファシリテーター向け母子保健研修



両 SILAIS 母子保健技術委員会
SILAIS チョンタレス



レファラル・カウンターレファラル委員会
SILAIS セラヤ・セントラル



SILAIS 技術審議会
SILAIS セラヤ・セントラル



巡回指導
アコヤパ市サン・フェリペ保健セクター



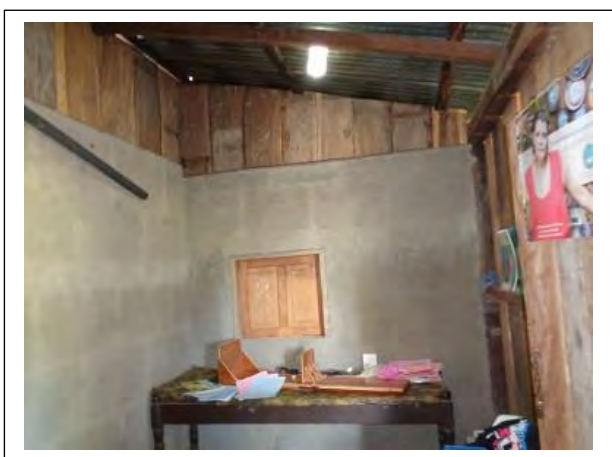
医療従事者とコミュニティネットワーク
サント・ドミンゴ市チナモス保健セクター



子宮頸がんの説明会
アコヤパ市サン・フェリペ保健セクター



保健施設改善の活動で作成された
ペットボトルライト



屋根にペットボトルライトを設置
アコヤパ市エル・チナル保健セクター

業務従事者の従事計画／実績表

監督職員確認印:【監督職員氏名】伊藤 賢一 印

契約件名: ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

1. 現地業務

氏名 (担当業務)	格付		渡航 回数	2015年						2016年						2017年			日数 合計 (日)	人月 合計 (M/M)	自社負担 日数合計 (日)		
				7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9				10	11
中村 二郎 (総括/地域保健)	2	計画	2	■ 351日						■ 189日									540	18.00			
		実績	1	□ 355日						□ 114日									460	15.33	9		
渡辺 咲子 (副総括/業務調整/地域保健)	4	計画	4	■ 150日			■ 60日			■ 105日			■ 30日						345	11.50			
		実績	3	□ 150日			□ 60日			□ 48日			□ 46日						301	10.03	3		
石原 尚子 (母子保健)	3	計画	3	■ 165日			■ 60日			■ 203日									428	14.27			
		実績	2	□ 165日			□ 57日			□ 201日									422	14.07	0		
吉岡 浩太 (公衆衛生:調査分析)	4	計画	1	■ 30日														30	1.00				
		実績	1	□ 39日														30	1.00	9			
村上 友美子 (公衆衛生:ヘルスプロモーション)	3	計画	2				■ 30日									■ 30日			60	2.00			
		実績	2				□ 37日					□ 60日							63	2.10	34		
濱口 陽子 (公衆衛生:ヘルスプロモーション)	4	計画	1							■ 30日									30	1.00			
		実績	1								□ 30日								30	1.00			
花田 恭 (保健行政/マネージメント)	3	計画	2						■ 10日							■ 11日			21	0.70			
		実績	1						□ 14日										10	0.33	4		
狐崎 知己 (保健行政)	3	計画	1											■ 9日						9	0.30		
		実績	1											□ 6日						6	0.20		
高木 史江 (産科/小児ケア)	3	計画	1												■ 9日						9	0.30	
		実績	1												□ 9日						9	0.30	
凡例: ■ 業務従事計画 □ 業務従事実績 ≡ 自社負担													現地業務小計			計画	1,472	49.07					
																実績	1,331	44.37	59				

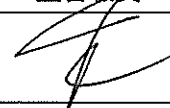
2. 国内業務: 該当しないため割愛

報告書等	計画	▲ W/P(原案)+M/S(Ver.1)	▲ M/S(Ver.2)	▲ M/S(Ver.3)	△ P/R	△ F/R
	実績	△ W/P(原案)+M/S(Ver.1)	△ M/S(Ver.2)	△ M/S(Ver.3)		

注1) 各業務従事者の現地、国内のそれぞれの人月は、現地業務期間は30日、国内業務期間は20日で除した数字の小数点以下第3位を四捨五入して算定すること。
 注2) 現地業務と国内業務の振替は人月単位で行うこととするため、日数に端数が出るが、この端数は国内業務の日数で調整することとし、合計人月に変更しないこと。
 注3) 各業務従事者の各配置期間の下には、日数を括弧書きで記入すること。
 注4) 実績については各配置期間の開始日、終了日を記載すること。計画については記入不要。
 注5) 通訳についても記載すること。
 注6) コンサルタント業務従事月報の添付資料とするときは、月報提出月以降の「業務従事予定日程」を括弧書きで記載すること。

様式 1

監督職員



2017年1月5日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2016年12月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. パイロット市における医療従事者研修

- 1) 先月に続き、対象全 14 支所へ研修を展開するため、研修ファシリテーターを務める医師と看護師 28 名に対して、母子保健技術委員会メンバーの 5 名が講師となり、母子保健研修を実施した。研修受講者を 2 グループに分け、「ヘルスプロモーション」「乳幼児健診」「ジカ熱対策」の 3 テーマを 1 日かけて指導した。研修テキスト、事前・事後テスト、教授法ガイド、DVD 教材、パワーポイント、ビデオ教材を研修教材に用いた。また、助言者として保健省保健サービス総局 (DGSS) より研修に参加した担当技官との質疑応答が積極的に行われ、研修ファシリテーターは研修実施への意欲を高めた。
- 2) 母子保健研修のモニタリングは、既存のモニタリングシートを用いて実施することが決まっているが、評価基準や手法が明確でないことから、評価者によって結果に差異が生じてしまう。この課題に関し、DGSS、両 SILAIS、プロジェクト間で協議した。その結果、DGSS、両 SILAIS が合同で既存のモニタリングシートを用いて、パイロット市においてモニタリングを実施し、モニタリング対象となる診察カルテの選定方法、各モニタリング項目のチェック対象、作業手順などが、適正に評価できるようにするための評価基準・評価手法を検討することが決まった。
- 3) SILAIS の指導の下、対象 14 支所が母子保健研修のカスケード研修計画を作成した。印刷を終えた 5 項目のテキスト教材をひとつのセットとし、各研修ファシリテーターへ 1 セット、受講者用として両 SILAIS および 14 支所に対し 3~10 セット、162 保健セクターに対し 1 セットを配布した。1 月 2 日、サント・ドミンゴ支所を皮切りにカスケード研修を開始する。研修は、各支所において 3 グループに分け実施されるため、研修終了まで半年ほど必要となる。

- 4) 緊急のレファラル時の手順や注意点等、医師と看護師に必要な知識強化を目的としたビデオ教材は、仮編集を終了した。本編集作業に取り掛かるためビデオ制作会社と調整を続けている。

計画

- ① 母子保健のカスケード研修を対象 14 支所へ展開する。
- ② DGSS、両 SILAIS が合同で既存のモニタリングシートを用いた研修評価を実施し、適正な評価手法を検討する。
- ③ 母子保健研修用のビデオ「緊急時のレファレル」を完成させる。

1-2. ESAFC 活動

- 1) 4 市の 8 パイロット保健セクターで取り組んできた ESAFC13 活動の評価会を実施した。参加者は、各パイロット保健セクターから代表 1 名、パイロット支所から支所長とモニタリング担当官、SILAIS から保健サービス課長、集落活動担当技官、母子保健担当技官、DGSS から 2 名の技官が参加した。
- 2) 1 年間取り組んできた 13 活動が、どこまで達成できたかを検証するため、各パイロット保健セクターは、実績を証明するエビデンス（下表参照）を活動ごとにひとつずつ確認した。

	13 活動	必要なエビデンス
1	RC リストの作成	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健セクター内の全集落のコミュニティネットワークリスト(保健施設に掲載されているメンバーの写真) 2. 保健セクター内の全集落の RC リスト(実物) 3. 可能であれば、RC 個々人の写真とリスト
2	保健セクター会議の月例開催	<ol style="list-style-type: none"> 1. 月例会議の議事録 2. 議事録に記載された合意事項と主要議題 3. 議事録に記載された集落訪問計画 4. 集落活動報告書
3	家庭調査票の作成	<ol style="list-style-type: none"> 1. セクター内の全集落の全家屋調査票
4	集落マップの作成	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健セクター内の全集落の集落マップと家屋番号順の家屋長リスト 2. 医療施設に掲示してある集落マップ 3. 可能であれば、集落マップの写真
5	RC との保健セクターおよび集落の分析	<ol style="list-style-type: none"> 1. 問題分析表 2. 保健セクター内の全集落の集落分析結果 3. 保健セクター分析結果 4. RC との分析会議議事録
6	RC 向けの出産計画研修実施	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研修実施記録と参加者の署名 2. 可能であれば、研修実施の写真
7	出産計画の実施	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊産婦管理台帳の更新記録 2. 向こう 4 週間の出産者リスト 3. 遠隔地集落の救急搬送担当者リスト 4. 妊産婦宅をマーキングした集落マップ
8	保健活動の計画・実施・評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. 活動計画 2. 月例活動報告書

		3. 可能であれば、活動写真
9	RCによる集落集会の開催	1. 会議の議事録 議事録に記載された参加者の署名
10	RCによる活動計画立案	1. 活動計画の議事録 2. 活動計画を存じているか、RCへの聞き取り調査
11	RCによる活動の実施	1. 活動実施記録と参加者署名 2. 可能であれば、活動写真
12	RCによる活動の評価	1. 評価記録と参加者の署名 2. 評価結果記録と新規活動計画の合意記録
13	保健セクター間の知見共有	1. 写真と知見共有参加者リスト 2. 知見共有会議の記録 3. 組織として救命できた(妊産婦などの)ケース記録

- 3) 評価結果は、8パイロット保健セクター中7パイロット保健セクターで大変良い実績が確認された。4月・8月・12月と評価した結果は添付資料のとおりである。
- 4) 計画どおり2017年2月から14支所へ改正後のESAF13活動を導入することが合意された。
- 5) SILAIS チョンタレス、ヌエバ・ギネア市とエル・ラマ市で、パイロット保健セクターのコミュニティネットワーク(RC)を集め、それぞれ互いの活動についての感想と意見交換ができる機会を設けた。ベテランのRCメンバーからは、「いろいろな活動に取り組むことができ、集落内のコミュニケーションが育った」「家庭調査票の作成に参加して、集落の隅々を知る良い機会となった」「しばらく活動から離れていたが、毎月集まることで地域の活性化につながった」「集落で心配されていた保健サービスが届くようになり良かった」などの意見が聞かれ、多くの参加者から保健省や各職員などに対して感謝の言葉が述べられていた。年間5回以上保健活動に参加したRCに対して感謝状とSAMANIロゴ入りバックが手渡された。
- 6) ESAF13活動ガイドの改定作業を終え印刷した。同ガイドは表紙を合わせ全54頁で、9つの省令とパイロットでの活動経験から得られた知見から抜粋された以下の内容で構成されている。
- 13項目ごとの活動ガイド(省令をベースとした活動の説明)
 - 添付書類(各種様式、評価枠組み、評価に必要なエビデンス)
- 7) マタニティホームの利用度を高めるためのプロモーション活動として、同施設のサービスの広報を強化している。プロジェクトでは、マタニティホーム利用の啓発ポスター配布とともに、各医療施設の最寄りのマタニティホームの情報を伝える掲示板作成を、全162ESAF13を対象に取り組んでおり、掲示板制作に必要な資材を配布した。本活動手法は、ヘルスプロモーション研修の内容に含まれている。

- 計画**
- ① 8パイロット保健セクターから代表を集め、パイロット支所、SILAIS、本省と共に好事例と困難な事例を抽出し検証する。
 - ② 14支所全162保健セクターへESAF13活動を導入する計画を立てる。
 - ③ マタニティホーム利用の啓発活動に関して、モニタリングを行う。

1-3. レファラル・カウンターレファラルシステム

- 1) SILAIS チョンタレスでは、先月に引き続き、救急搬送の手続きを改善するため、各支所長が参加する SILAIS 技術審議会において、レファラル・カウンターレファラルの記録簿の分析結果を共有した。各支所は、SILAIS のレファラル・カウンターレファラル担当技官が示したレファラル・カウンターレファラル記録簿（各支所から届けられた記録を集計したもの）と SILAIS 疫学監視課へ電話連絡する救急搬送記録簿の齟齬について、搬送を担当した医師に対してフィードバックすることを合意した。
- 2) SILAIS セラヤ・セントラルのレファラル・カウンターレファラル委員会は、救急搬送と非救急搬送のデータ比較、搬送理由の確認、支所が SILAIS へ毎週提出するデータと疫学監視課の記録データの比較を行った。ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス一次病院での救急患者受け入れについて、仕事量が増えることを理由とした組合の反対があり、レファラルに影響を受ける可能性がある。

計画 ①レファラル・カウンターレファラルの活動状況をモニタリングし、さらなる改善に取り組む。

1-4. 合同自己評価委員会

- 1) プロジェクト第1期活動の評価を目的として、合同自己評価委員会を立ち上げた。メンバーは以下のとおりである。

日本側評価委員会メンバー

	氏名	所属・役職
1	中村 二郎	プロジェクト、総括／地域保健専門家（日本側評価リーダー）
2	渡辺 咲子	プロジェクト、副総括／業務調整／地域保健専門家
3	花田 恭	プロジェクト、保健行政／マネジメント専門家
5	パイロン・ペレス	プロジェクト、テクニカルアシスタント
6	ドリベル・テルセロ	プロジェクト、テクニカルアシスタント
7	エリザベス・エルナンデス	ニカラグア事務所、プログラム・オフィサー

ニカラグア側評価委員会メンバー

	氏名	所属・役職
1	カルロス・クルス	保健サービス総局長（ニカラグア側評価リーダー）
2	シオマラ・エルナンデス	保健サービス総局、技官
3	マリア・ポエデッカー	対外協力局長
4	ペルラ・ロペス	対外協力局、分析官
5	サミール・アギラル	SILAISチョンタレス局長
6	マリソル・メヒア	SILAISチョンタレス、保健サービス課長
7	フェルナンド・カナレス	SILAISセラヤ・セントラル局長
8	アナ・フエンテス	SILAISセラヤ・セントラル局長、保健サービス課長

- 2) プロジェクトは、DAC5 項目評価を含む評価グリッドを作成し、各項目に関して評価委員会で協議し、プログレスレポートの作成を進めている。プログレスレポートは、プロジェクトの日本人専門家を含めた評価委員以外のメンバーへフィードバックされコメントが加えられる。その後、評価委員会がそのコメントを反映した改訂版を作成、提示し、プロジェクトで再確認・検討する、といった作業を繰り返している。

- 計画 ① プロGRESSレポート（和文・西文）を完成させる。
② プロジェクト第 1 期合同自己評価会を開催する。

1-5. 運營業務

1) 供与医療機材

プロジェクト供与機材入札説明会が JICA ニカラグア事務所で開催され、プロジェクトから総括がそれに同席した。入札は全ての機材を 1 ロットとし実施されることとなった。参加企業からの「車両でアクセスできない保健ポストも含め、納入業者が配置しなければならないのか」という質問に対し、JICA ニカラグア事務所担当者よりプロジェクトに対しコメントを求められ「スペックで納入時の設置が記載されている機材は、設置まで責任を持っていただきたい。納入に際しては保健省と共にサポートする」と返答した。質問説明会へ参加した企業は 25 社、後日、入札に関して公式な質問を送付した企業は 5 社であった。

2) 課題別研修「公衆衛生活動による母子保健強化」研修員帰国

標記課題別研修に参加していた 3 名が帰国した。研修員は 1 月の第 4 回運営委員会でアクションプランなどを発表する。

3) 人間の安全保障に関わる PAHO との連携

11 月に PAHO ニカラグア事務所で、PAHO ワシントン本部の「人間の安全保障」担当職員および PAHO ニカラグア事務所長代理と、本プロジェクトにおける住民参加活動を人間の安全保障の事例案件とすべく意見交換を行った。今後、プロジェクトは、保健省と JICA ニカラグア事務所と本件を協議し、保健大臣の許可を得て PAHO との連携を模索していくこととなった。プロジェクトは保健大臣宛に知見共有の承認レターを提出し、内諾を受けた。現在、公式の了承を待っている。尚、PAHO との連携は、PAHO ニカラグア事務所の技官がプロジェクトの「人間の安全保障」に関わる活動（ESAF13 活動）を記録し、事例として発表することを考えている。この活動に伴う JICA 側から PAHO に対する経費支出は発生しない。

1-6. 関連事項

1) ジカ熱状況

9 月中旬以降、ジカ熱の感染者は増えておらず、終息に向かっていると判断できる。在ニカラグア日本大使館は、ジカ熱の感染症危険情報「レベル 1：十分注意してください。」を解除した。

2) 大陸横断運河建設反対運動

オルテガ大統領の再選に伴い、12 月初めに各地で運河建設反対運動が行われ、幹線道路の封鎖などが発生した。ヌエバ・ギネア市では、運河建設予定地域へ通ずる橋へのアクセス路を警察が破壊し、住民が銃器などで武装し市街地へ侵入しようとするなど、一触即発の危険な状況となったこともあった。12 月 2 週目以降は落ち着きを取り戻してきている。プロジェクトは引き続き情報を入手し、反対運動が起きる可能性がある時には近づかない、また巻き込まれないように注意する。

2. 主な活動日程

<12月>

- 1日：保健省との第7回定期会議
- 2日：ESAF13活動ガイド作成会議（保健サービス総局）
- 4日：渡辺咲子専門家（副総括/業務調整/地域保健）、石原尚子専門家（母子保健）離任
- 6日：パイロット保健セクター評価会
- 7日：プロジェクト供与機材入札説明会、JICA ニカラグア事務所と第10回定期会議
- 8日：ESAF13活動ガイド作成会議（保健サービス総局）
- 10日：プロジェクト合同自己評価準備会議
- 13日：SILAIS チョントレスパイロット保健セクター技術交換会
- 14～15日：第2回研修ファシリテーター向け母子保健研修
- 16日：ヌエバ・ギネア支所パイロット保健セクター技術交換会、エル・ラマ支所パイロット保健セクター技術交換会
- 21日～1月2日：ニカラグア公官庁冬期休暇
- 21日：プロジェクト合同自己評価準備会議
- 28日：緊急時のレファラルビデオ編集会議
- 30日：プロジェクト合同自己評価準備会議

3. 今後の予定

<1月>

- 2日：サント・ドミンゴ支所よりカスケード研修開始
- 4日：ESAF13活動好事例・困難な事例検証会議
- 6日：プロジェクト合同自己評価準備会議
- 8日：渡辺咲子専門家（副総括/業務調整/地域保健）、花田恭専門家（保健行政/マネージメント）着任
- 11日：プロジェクト合同自己評価会議
- 13日：第4回運営委員会
- 14日：花田恭専門家（保健行政/マネージメント）離任
- 16～20日：保健サービス総局、SILAIS 合同研修モニタリング

<2月>

- 7-8日：第4回半期評価会・ワークショップ
- 13-14日：運営指導調査団現地視察
- 15日：第2回合同調整委員会
- 16日：中村二郎専門家（総括）、渡辺咲子専門家（副総括/業務調整/地域保健）離任

4. 添付書類

- ・パイロット保健セクターの評価結果

5. 活動写真

別添のとおり

6. 業務従事者の従事計画/実績表

別添のとおり

添付資料

パイロット保健セクターにおけるESAF13活動の評価結果

2016年4月の評価結果

支所	保健セクター	各13活動の点数（各4点満点）													評価点
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
アコヤバ	サン・フェリペ	4	4	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	13
	エル・チナル	3	2	2	1	0	2	2	2	1	1	1	0	0	17
サント・ドミンゴ	チナモス	4	4	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	11
	ブルン2	3	4	2	2	0	4	0	1	1	0	0	0	0	17
エル・ラマ	マロン	3	3	1	3	0	2	2	0	1	1	1	0	0	17
	ワピ	2	4	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	10
ヌエバ・ギネア	タロリンガ	2	4	3	4	2	3	3	1	0	1	1	0	0	24
	ナシオネ・ウニダス	4	4	1	1	0	4	4	0	4	1	1	1	0	25

2016年8月の評価結果

支所	保健セクター	各13活動の点数（各4点満点）													評価点
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
アコヤバ	サン・フェリペ	3	4	4	4	1	4	2	2	1	2	2	1	1	31
	エル・チナル	3	4	3	4	1	4	3	1	1	1	4	3	1	33
サント・ドミンゴ	チナモス	3	4	4	3	2	4	1	2	2	1	2	1	2	31
	ブルン2	4	4	3	3	3	4	1	2	1	1	1	1	2	30
エル・ラマ	マロン	4	4	3	3	0	4	2	0	3	3	3	3	0	32
	ワピ	4	4	3	1	0	4	2	0	1	1	1	1	0	22
ヌエバ・ギネア	タロリンガ	4	4	4	4	0	4	4	0	4	4	4	4	0	40
	ナシオネ・ウニダス	4	4	4	3	2	4	4	0	4	4	4	4	0	41

2016年12月の評価結果

支所	保健セクター	各13活動の点数（各4点満点）													評価点
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
アコヤバ	サン・フェリペ	4	3	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	50
	エル・チナル	4	4	4	4	3	4	4	3	4	4	4	4	4	50
サント・ドミンゴ	チナモス	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	52
	ブルン2	4	3	4	4	3	4	3	4	4	4	4	4	4	49
エル・ラマ	マロン	4	3	3	3	3	4	3	3	4	4	4	4	4	46
	ワピ	4	4	3	3	0	4	2	4	1	1	1	4	4	35
ヌエバ・ギネア	タロリンガ	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	52
	ナシオネ・ウニダス	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	52

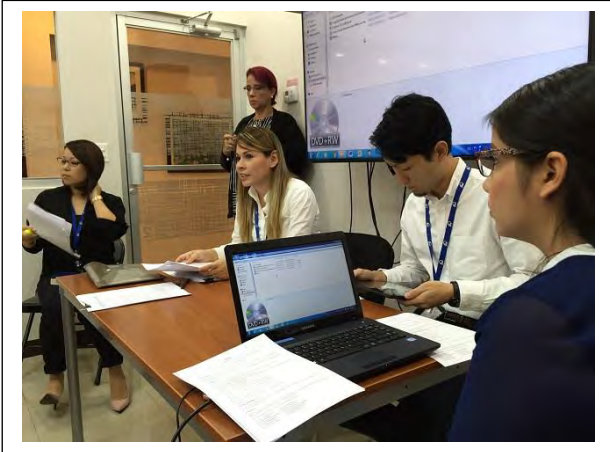
52点満点、各活動において、無：0点、可：1点、良：2点、優：3点、秀：4点

ESAF13活動評価結果		各13活動の点数（各4点満点）													評価平均点
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
2016年4月	チョンタレス	3.5	3.5	1.5	1.3	0.0	1.8	0.8	1.3	0.5	0.3	0.3	0.0	0.0	14.5
	セラヤ・セントラル	2.8	3.8	1.5	2.3	0.5	2.5	2.5	0.3	1.3	0.8	0.8	0.3	0.0	19.0
2016年8月	チョンタレス	3.3	4.0	3.5	3.5	1.8	4.0	1.8	1.8	1.3	1.3	2.3	1.5	1.5	31.3
	セラヤ・セントラル	4.0	4.0	3.5	2.8	0.5	4.0	3.0	0.0	3.0	3.0	3.0	3.0	0.0	33.8
2016年8月	チョンタレス	4.0	3.5	4.0	4.0	3.3	4.0	3.8	3.8	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	50.3
	セラヤ・セントラル	4.0	3.8	3.5	3.5	2.8	4.0	3.3	3.8	3.3	3.3	3.3	4.0	4.0	46.3

ESAF13活動評価結果		各13活動の点数（各4点満点）													評価平均点
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
2016年4月の評価結果		3.1	3.6	1.5	1.8	0.3	2.1	1.6	0.8	0.9	0.5	0.5	0.1	0	16.8
2016年8月の評価結果		3.6	4.0	3.5	3.1	1.1	4.0	2.4	0.9	2.1	2.1	2.6	2.3	0.8	32.5
2016年12月の評価結果		4.0	3.6	3.8	3.8	3.0	4.0	3.5	3.8	3.6	3.6	3.6	4.0	4.0	41.0

無	可	良	優	秀	評価点
0 - 0.4	0.5 - 1.4	1.5 - 2.4	2.5 - 3.4	3.5 - 4.0	52点満点

5. 活動写真



JICA ニカラグア事務所によるプロジェクト
供与機材入札図書説明会



同左。 25 社が参加



研修ファシリテーター向け母子保健研修
14 支所から選出されたファシリテーター



同左。保健サービス総局から参加した担当技官



各支所へ配布される
母子保健研修テキスト



保健サービス総局、对外協力局、両 SILAIS、
JICA ニカラグア事務所が参加しての
プロジェクト合同自己評価準備委員会



パイロット保健セクター評価会
1年間のパイロット活動を評価した



同左。活動ごとの実績エビデンスの確認



SILAIS チョントレスの4パイロット保健セクター
による知見共有会



コミュニティネットワーク知見共有会にて
コミュニティネットワークと保健省職員



1年間の活動を反映し、改訂した
ESAF13 活動ガイド(第1版)



参加率の高いコミュニティネットワークへ配布
したプロジェクトロゴ入りバックとボールペン



2017年2月6日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2017年1月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. 対象 14 支所における医療従事者研修

- 1) 普及の対象を 14 支所に拡大した母子保健カスケード研修が、1 月 3 日にラ・リベルタ支所とサント・ドミンゴ支所から開始された。本研修は、各支所が毎週設けている継続教育の時間枠を利用して、医師と看護師からなる研修ファシリテーターが運営・実施を担い、各支所の教育担当官がスーパーバイズする。
- 2) 各支所では、医師や看護師が研修で職場を離れることによる保健医療サービスの質の低下を防ぐため、参加者を 3 グループに分けて研修を実施しているため、全員の受講終了まで半年ほど必要となる。
- 3) 研修終了後に実施するモニタリング方法に関して、DGSS と両 SILAIS とともに、合同検証を実施した。主な検証項目は、母子保健、妊産婦管理、疫学監視、HIV・エイズ、子宮頸がん、予防接種、医薬消耗品、機材管理など多岐にわたった。今回の検証結果を取りまとめつつ、モニタリング、基準の策定を進めている。
- 4) プロジェクトで作成したヘルスプロモーションのファシリテーター用テキストの内容について、DGSS で確認作業を行っている。
- 5) 緊急レファラル時の業務手順や注意点等について、ES AFC の医師と看護師の知識強化を目的としたビデオ教材は、番組制作会社に委託した編集作業が現在進行中である。
- 6) その進捗状況を、適宜、確認し、必要に応じて、ナレーションやキャプションの改定を行っている。

計画 ① 対象 14 支所で展開している母子保健のカスケード研修のスーパーバイズの結

果について、情報収集する。

- ② 既存のモニタリングシートを用いた研修成果の評価手法の検討を継続する。
- ③ DGSS による確認作業終了後、ヘルスプロモーションのテキストを印刷する。
- ④ ESAFC 研修用のビデオ「緊急時のレファラル」を完成させる。
- ⑤ 研修終了後のモニタリングは、技術統合巡回指導に盛り込み、既存のモニタリング様式を用いて今後、適宜実施する。

1-2. ESAFC 活動

- 1) 4 市の 8 パイロット保健セクターで取り組んできた ESAFC 活動について、各パイロット保健セクター代表 1 名、パイロット支所から支所長とモニタリング担当官、SILAIS から保健サービス課長、集落活動担当技官、母子保健担当技官が参加し、好事例と困難な事例に関して検証した。
- 2) パイロット保健セクターで 1 年間取り組んできた ESAFC 活動のうち、活動 13 番の「保健セクター間の知見共有」以外の 12 活動について、活動に取り組む前の状況、その要因、そして、その後 ESAFC 活動で、活動推進もしくは活動の活性化の鍵となった好事例を抽出し、分析結果を体系化する作業を実施した。現在、それらをまとめ、文書化を進めている。
- 3) 両 SILAIS で、ESAFc 活動ガイドに沿って研修を開催した。各支所から支所長、コミュニティ活動担当官、看護師長、教育担当者らを集め、SILAIS セラヤ・セントラルは 1 日の研修で 22 名、SILAIS チョントレスは参加者を 2 日間に分け、初日 32 名、2 日目に 33 名で実施された。各支所は、保健セクターの医療従事者に対してカスケード方式で指導する。
- 4) 1 月 27 日、エル・コラル支所とヌエバ・ギネア支所から、研修対象を 162 保健セクターに拡大し、ESAFc 活動の導入を開始した。

計画

- ① ESAFC 活動の好事例を文書化する。
- ② 14 支所全 162 保健セクターへ ESAFC 活動を導入する。

1-3. 第 4 回運営委員会

- 1) 2016 年 11 月にハリケーンのため延期した第 4 回運営委員会を、1 月 13 日にヌエバ・ギネア市で開催した。ニカラグア側からは DGSS、DCE、両 SILAIS、14 支所長、4 病院長が参加した。日本側からはニカラグア事務所プログラムオフィサー、プロジェクトの日本人専門家とテクニカル・アシスタントが参加した。合計 43 名であった。
- 2) プロジェクト第 1 期の合同自己評価、プログレスレポートの作成、母子保健研修の進捗、合同モニタリング／技術統合巡回指導の実施、ESAFc 活動の普及拡大、レファラル・カウンターレファラルに係わる活動状況、ドミニカ共和国で開催された国際フォーラムの内容などを協議した。
- 3) 向こう 6 か月間の合意事項は、32 項目に及んだ。そのうち、主な合意事項は以下の 4 点である。
 - DGSS、両 SILAIS による技術統合巡回指導の手法を整備するために、1 月 17 日か

ら 4 日間の日程で、パイロット支所で合同モニタリングを実施する。

- 3 月中旬からおよそ 2 カ月間プロジェクト事務所は閉鎖するが、プロジェクトチーム不在期間も母子保健のカスケード研修、ES AFC 活動の導入を継続する。
- 適正なレファラルが未だ一部で実施されていないため、DGSS および両 SILAIS、14 支所が参加してレファラル・カウンターレファラル会議を 1 月 27 日と 2 月 8 日に開催し、レファラル・カウンターレファラル改善策を協議する。
- 各保健セクターは、マタニティホームの啓発ポスターの掲示にあたり、その内容を補完するため、最寄りのマタニティホーム情報を盛り込んだ保健情報の掲示板を 2 月 3 日までに作成する。

- 計画 ① レファラル・カウンターレファラルの実施状況をモニタリングし、さらなる改善に取り組む。
- ② マタニティホームの啓発ポスター掲示に関してモニタリングする。

1-4. 合同モニタリング／技術統合巡回指導

- 1) 研修成果を的確に評価するためのモニタリング手法の確立を推進すると同時に、成果指標 3-1 の技術統合巡回指導の手法を整備し、強化する目的で、DGSS、両 SILAIS が合同でモニタリング・巡回指導を実施した。
- 2) 4 パイロット支所および 5 パイロット保健セクターにおいて、母子保健だけでなく、感染症対策、医薬消耗品・医療機材・衛生管理に関するモニタリング・技術統合巡回指導を行った。
- 3) SILAIS による巡回指導は 3~4 名で実施し、支所の他に必ず保健セクターも巡回する。各支所は、診察や媒介虫対策の結果などについて、課題が多い保健セクターに関しては、毎月巡回指導を行う。SIL AIS は、対象支所のモニタリング・巡回指導の議事録を一本化し、各支所は保健セクター別に議事録を設ける。また、モニタリング・巡回指導される側も、議事録を作成し、記録として保存する。その項目は下記のとおりである。
 - ①日付、②モニタリング・巡回指導の開始時間と終了時間、③記録者名、④モニタリング・巡回指導チームメンバーの名前・役職、⑤モニタリング・巡回指導を受ける側のメンバーの名前・役職・署名、⑥前回の合意事項の確認、⑦モニタリングの目的、⑧モニタリング項目、⑨提言、⑩後日評価可能な合意事項など。

- 計画 ① 合同モニタリング／技術統合巡回指導の必要事項を定める。

1-5. 運営業務

- 1) 合同自己評価委員会
同委員会は、5 回の会合で行ったプロジェクト第 1 期活動の評価の結果をプログレスレポートにまとめ、JICA および保健省へ提出し、両 SILAIS および 14 支所と共有した。
- 2) 合同調整委員会 (JCC)
保健大臣より 2 月 14 日にプロジェクト合同調整委員会 (JCC) を開催する旨、アジェ

ンダと共に送られた招待状を受領した。

- 3) 供与医療機材
プロジェクト供与機材の入札は、現地医療器材取扱業者からの要望により締め切りを15日間遅らせて、1月27日となった。入札に参加した業者は、4社であった。
- 4) 課題別研修「公衆衛生活動による母子保健強化」研修（研修地：沖縄県・東京都、研修期間：2017年5月10日～7月1日）
2017年度に開催される標記課題別研修に参加するため、2名の研修員候補を両SILAIS管内から1名ずつ選考している。

1-6. 関連事項

- 1) 保健省人事
オルテガ大統領の3期目の任期に入り、保健省内の人事異動があった。空席だった保健副大臣に保健省官房長のエンリケ・ベテタ氏が就任し、保健省官房長に元公衆衛生監視総局長で、保健大臣顧問だったカルロス・サエンス氏が就任した。SILAIS局長やその他の人事異動は、現時点で確認されていない。

2. 主な活動日程

<1月>

- 3日：ラ・リベルタおよびサント・ドミンゴ支所よりカスケード研修開始
- 4日：ES AFC 活動好事例・困難な事例検証会議
- 6日：プロジェクト合同自己評価準備会議
- 8日：渡辺咲子専門家（副総括/業務調整/地域保健）、花田恭専門家（保健行政/マネージメント）着任
- 11日：プロジェクト合同自己評価会議
- 13日：第4回運営委員会
- 14日：花田恭専門家（保健行政/マネージメント）離任
- 17～20日：保健サービス総局、SILAIS 合同研修モニタリング
- 18日：サント・ドミンゴ市ブルン2保健セクターES AFC 会議
- 23日：チョンタレス母子保健技術委員会会合
- 25日：ES AFC 活動ガイド研修（SILAIS セラヤ・セントラル）
- 26日：JICA 運営指導調査・対処方針会議、セラヤ・セントラル母子保健技術委員会
- 27日：両SILAIS 合同レファラル・カウンターレファラル会議
- 31日：ES AFC 活動ガイド研修（SILAIS チョンタレス）

3. 今後の予定

<2月>

- 1日：ES AFC 活動ガイド研修（SILAIS チョンタレス）
- 3日：第10回JICA ニカラグア事務所との定期会議
- 7日：第4回半期評価会
- 8日：両SILAIS、14支所合同レファラル・カウンターレファラル会議
- 12-14日：運営指導調査団現地視察
- 14日：第2回合同調整委員会

16日：中村二郎専門家（総括）、渡辺咲子専門家（副総括/業務調整/地域保健）離任
28日：渡辺咲子専門家（副総括/業務調整/地域保健）着任（精算報告に伴う資料整理のため）

<3月>

3日：渡辺咲子専門家（副総括/業務調整/地域保健）離任
15日：SAMANI プロジェクト第1期現地活動終了

4. 活動写真

別添のとおり

5. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

4. 活動写真



第4回プロジェクト運営委員会



第4回プロジェクト運営委員会
クルス DGSS 局長(奥)



技術統合巡回指導
モニタリング後に実施するフィードバック
(サント・ドミンゴ、チナモス保健セクター)



技術統合巡回指導
活動内容を確認するエストラダ DGSS 技官
(中央)
(エル・ラマ、ワピ保健セクター)



保健サービス総局、対外協力局、両 SILAIS、JICA
ニカラグア事務所が参加しての
プロジェクト合同自己評価準備委員会



保健サービス総局、対外協力局、両 SILAIS 合同の
レファラル・カウンターレファラル会議



ESAFc 活動好事例・困難な事例の検証会議



同左



ESAFc 活動研修
(SILAIS セラヤ・セントラル)



ESAFc 活動研修
(SILAIS チョンタレス)



母子保健カスケード研修
ファイガルパ支所



ヘルスプロモーションテキスト
(表紙)

5. 業務従事者の従事計画／実績表

監督職員確認印:【監督職員氏名】伊藤 賢一 印

契約件名: ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

1. 現地業務

氏名 (担当業務)	格付	渡航回数	2015年						2016年						2017年			日数合計 (日)	人月合計 (M/M)	自社負担 日数合計 (日)															
			7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9				10	11	12	1	2	3									
中村 二郎 (総括/地域保健)	2	計画	351日						189日									540	18.00																
		実績	355日						176日									522	17.40	9															
渡辺 咲子 (副総括/業務調整/地域保健)	4	計画	150日			60日			105日			30日						345	11.50																
		実績	150日			60日			48日			50日			24日			329	10.97	3															
石原 尚子 (母子保健)	3	計画	165日			60日			203日									428	14.27																
		実績	165日			57日			206日									428	14.27	0															
吉岡 浩太 (公衆衛生:調査分析)	4	計画	30日															30	1.00																
		実績	39日															30	1.00	9															
村上 友美子 (公衆衛生:ヘルスプロモーション)	3	計画				30日									30日			60	2.00																
		実績				37日			60日									60	2.00	34															
濱口 陽子 (公衆衛生:ヘルスプロモーション)	4	計画							30日									30	1.00																
		実績							30日									30	1.00																
花田 恭 (保健行政/マネージメント)	3	計画							10日						11日			21	0.70																
		実績							12日						9日			21	0.70	2															
狐崎 知己 (保健行政)	3	計画													9日			9	0.30																
		実績													6日			6	0.20																
高木 史江 (産科/小児ケア)	3	計画													9日			9	0.30																
		実績													9日			9	0.30																
凡例: 業務従事計画															 業務従事実績 自社負担															現地業務小計			1,472	49.07	
																														計画			1,472	49.07	
																														実績			1,435	47.83	57

2. 国内業務: 該当しないため割愛

報告書等	計画	▲ W/P(原案)+M/S(Ver.1)	▲ M/S(Ver.2)	▲ M/S(Ver.3)	▲ P/R	▲ F/R
	実績	△ W/P(原案)+M/S(Ver.1)	△ M/S(Ver.2)	△ M/S(Ver.3)	△ P/R	

注1) 各業務従事者の現地、国内のそれぞれの人は、現地業務期間は30日、国内業務期間は20日で除した数字の小数点以下第3位を四捨五入して算定すること。
 注2) 現地業務と国内業務の振替は人月単位で行うこととするため、日数に端数が出るが、この端数は国内業務の日数で調整することとし、合計人月に変更しないこと。
 注3) 各業務従事者の各配置期間の下には、日数を括弧書きで記入すること。
 注4) 実績については各配置期間の開始日、終了日を記載すること。計画については記入不要。
 注5) 通訳についても記載すること。
 注6) コンサルタント業務従事月報の添付資料とするときは、月報提出月以降の「業務従事予定日程」を括弧書きで記載すること。

2017年3月6日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2017年2月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎 

標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. 対象14支所における医療従事者研修

- 1) 普及の対象を14支所に拡大した母子保健カスケード研修は、14支所で展開されている。2017年2月末までに各支所で実施された事前事後テストの結果は、以下のとおりであった（空白部分は実施されていないか、データが報告されていない）。

SILA IS	市名	テスト	妊産婦管理台帳	産前健診	乳幼児健診	妊娠性高血圧	産後健診	平均
チョンタレス	アコヤバ	事前	67	78	56	63	75	67.8
		事後	80	88	61	75	87	78.2
	コマラバ	事前	73	57	65	62	65	64.4
		事後	86	69	100	85	84	84.8
	クアパ	事前	70	60	80	43	64	63.4
		事後	83	82	84	83	88	84.0
	エル・アヨテ	事前						
		事後						
	ファイガルバ	事前	60	69	54	65	78	65.2
		事後	76	86	71	86	92	82.2
	ラ・リベルタ	事前	73	72	73	71	86	75.0
		事後	91	83	92	86	96	89.6
	サン・ペドロ・デ・ロバゴ	事前	74	79	73	81	69	75.2
		事後	83	85	82	86	82	83.6
サント・ドミンゴ	事前	88	60	82	80	74	76.8	
	事後	94	76	88	98	81	87.4	
サント・トマス	事前		68	61	60	58	61.6	
	事後			82	81	88	83.5	
ビジャ・サンディエーノ	事前	61	65		61	93	70.0	
	事後	65	80		84	98	81.8	

チョンタレス合計		事前	70.8	67.5	67.9	65.1	73.6	69.0
		事後	82.3	81.1	82.5	84.9	88.4	83.8
セラヤ・セントラル	ヌエバ・ギネア	事前	67.4	59.8	54.8	66.5	77.9	65.3
		事後	75.4	74.6	83.2	81.5	94.6	81.9
	エル・コラル	事前	78.0	82.5	82.8	78.0	97.5	83.8
		事後	93.3	97.5	90.0	92.0	100	94.6
	ムエジャ・デ・ロス・ブエジェス	事前	58.7	62.8		57.1		59.5
		事後	90.7	83.3		91.9		88.6
	エル・ラマ	事前	58.7	60.0	44.5	43.0	75.4	56.3
		事後	74.7	68.0	62.3	74.0	90.0	73.8
セラヤ・セントラル合計		事前	65.7	66.3	60.7	61.1	83.6	67.5
		事後	83.5	80.8	78.5	84.8	94.9	84.5
2 SILAIS 合計		事前	68.2	66.9	64.3	63.1	78.6	68.2
		事後	82.9	81.0	80.5	84.8	91.6	84.2

- 2) 研修成果の評価の一環として、技術統合巡回指導を両 SILAIS で開始した。両 SILAIS の提案により、14 支所の指導がすべて終了してから、基準の策定をすることとなった。これまでに、SILAIS チョンタレスで 10 支所、11 保健セクター、SILAIS セラヤ・セントラルで 2 支所 2 保健セクターの技術統合巡回指導を実施した。
- 3) ヘルスポモーション・ファシリテーター・ガイドは、DGSS の確認作業を終えて承認されたので、100 部印刷し、14 支所およびファシリテーターへ配布した。
- 4) ESAFC の医療従事者向けのビデオ教材「緊急時のレファラル」（12 分 25 秒）が完成し、半期評価会でビデオを上映し承認を得たので、14 支所へ配布した。本ビデオは、保健ポストから保健センターを経由して地域病院への救急搬送に必要な手順を示している。

- 計画
- ① 対象 14 支所で展開している母子保健のカスケード研修の技術統合巡回指導の結果について、情報収集する。
 - ② 技術統合巡回指導の基準を策定する。

1-2. ESAFC 活動

- 1) ESAFC の 13 項目活動は、1 年間で実施されることになっており、2 年目、3 年目は更新するという実践モデルとなっている。14 支所は、全保健セクターに 13 項目活動を導入するにあたり、各活動を何月までに完了させるか、計画を立案し、半期評価会で年間計画を発表した。
- 2) 各 SILAIS は、各支所で ESAFC 活動を多面的に支援する人材である支所長、看護師長、教育担当、研修ファシリテーター、コミュニティ担当に対して ESAFC 活動ガイドの研修を実施した。SILAIS セラヤ・セントラルは 1 月中旬に研修を終えていたが、SILAIS チョンタレスでは、1 月に続いて同研修を開催し、終了した。
- 3) 各支所における ESAFC 活動のカスケード方式研修は、SILAIS セラヤ・セントラルでは、2 月上旬までに全 4 支所で研修を終えた。一方、SILAIS チョンタレスは、母子保健 5 項目、ヘルスポモーション研修を重点に置いており、ESAFc 活動ガイドのカスケード研修は 2 月下旬から予定どおり取り組み始めた。

- 計画 ① ESAFC 活動の好事例の文書化を進める。
- ② 14 支所全 162 保健セクターへ普及される ESAFC 活動をモニタリングする。

1-3. レファラル・カウンターレファラル

- 1) 両 SILAIS は合同会議を開催し、レファラル・カウンターレファラルの保健省令に示されている 12 指標のうち、コミュニティネットワーク (RC) が取り組む活動に関する指標を除く 8 つの指標を、毎月の SILAIS 技術審議会で評価することを定めた。8 つの指標は以下のとおりである。なお、レファラルは一次医療施設（保健ポスト、保健の家、保健センター、マタニティホーム、）から二次医療施設（地域病院）、カウンターレファラルは二次医療施設から一次医療施設を表している。
- ① 支所によるレファラル搬送数、② 病院によるレファラル受診数、③ 妊産婦救急レファラルの割合、④ 5 歳未満児救急レファラルの割合、⑤ 救急搬送と通常搬送の割合、⑥ 適正にレファラルされた割合、⑦ 適正にレファラルを受信した割合、⑧ 適正にカウンターレファラルされた割合。

- 計画 ① SILAIS 技術審議会でモニタリング評価された指標を確認し、指導・助言する。

1-4. 第 4 回半期評価会

- 1) 第 4 回半期評価会をヌエバ・ギネアで開催した。主な議題は以下のとおりであった。
- ① 各支所における「母子保健 5 項目」「ヘルスプロモーション」「保健セクターからの感染症対策」のカスケード研修の進捗状況
- ② ビデオ教材「緊急時のレファラル」の上映と承認
- ③ 各支所における ESAFC 活動普及計画
- ④ 2016 年（1 月～12 月）の PDM 指標結果：添付資料 4-1 を参照
- ⑤ 本邦課題別研修「公衆衛生活動による母子保健強化」2016 年度研修員によるアクションプラン：主に若年妊娠対策と青少年サークル活動の実施
- ⑥ SAMANI プロジェクトチーム不在期間の月毎モニタリングシート共有
- ⑦ 「マタニティホーム」ポスターの掲示状況：各支所が医療施設での掲示写真を紹介
- 2) 上述のカスケード研修をはじめ、順調に活動が進捗していることが確認された。カスケード研修や ESAFC 活動は、モニタリングが主活動となり、モニタリングで確認される課題について、対策を講ずることで合意した。

1-5. 運営指導調査と合同調整委員会

- 1) JICA 人間開発部による運営指導調査団は、2 日半でフィガルパ市、ヌエバ・ギネア市、アコヤパ市を訪問し、関係施設で C/P や RC、妊産婦らと面談し、プロジェクトによる利点、効果、課題、第 2 期への展望などについて意見交換を行った。

- 2) 同調査団は JCC において、保健大臣と PDM 指標の見直しについて協議し、その後、会議を主導した保健省官房長とともに、活動進捗、2016 年の PDM 指標の状況、第 1 期合同自己評価結果、第 2 期への展望などに関して意見交換を行った。詳細は、添付資料 4-2 のとおり。

1-6. 運營業務

- 1) 課題別研修「公衆衛生活動による母子保健強化」研修（研修地：沖縄県・東京都、研修期間：2017 年 5 月 10 日～7 月 1 日）に、以下 2 名の派遣候補者を両 SILAIS が決めた。

	研修員名	所属先	役職
1	アレリ・セラート	エル・ラマ支所サン・ペドロ保健センター	看護師
2	マルジュリ・カステイジョ	フィガルパ支所プエルト・ディアス保健ポスト	看護師

1-7. 関連事項

- 1) JICA ニカラグア事務所プログラムオフィサーの交代
ニカラグア事務所で、当プロジェクトをはじめ、長年、保健分野への援助・技術協力に係る業務を担ってきた、プログラムオフィサーのエリザベス・エルナンデス氏に代わり、エドルルフォ・グティエレス氏が 2017 年 4 月以降、その役割を引き継ぐことになった。

2. 主な活動日程

<2 月>

- 1 日：ESAFc 活動ガイド研修（SILAIS チョンタレス）
- 2 日：クアパ市エル・シレンシオ保健セクター統合巡回指導
- 3 日：第 10 回 JICA ニカラグア事務所との定期会議
- 7 日：第 4 回半期評価会
- 8 日：両 SILAIS、14 支所合同レファラル・カウンターレファラル会議、サント・ドミンゴ市チナモス保健セクター-ESAFc 会議
- 9 日：ビジャ・サンディーノ市ガテアーダ統合巡回指導
- 12-14 日：運営指導調査団現地視察
- 14 日：第 2 回 JCC
- 15 日：エル・ラマ市ワピ保健セクター-ESAFc 会議
- 16 日：中村二郎専門家（総括）、渡辺咲子専門家（副総括/業務調整/地域保健）離任、ヌエバ・ギネア市ナシオネス・ウニダス保健セクター-ESAFc 会議
- 17 日：サン・ペドロ・デ・ロバゴ市フステ保健セクター統合巡回指導
- 22 日：サント・ドミンゴ市ブルン 2 保健セクター-ESAFc 会議、エル・ラマ市マロン保健セクター-ESAFc 会議
- 23 日：アコヤパ市チナル保健セクター-ESAFc 会議、サン・フェリッペ保健セクター-ESAFc 会議
- 28 日：渡辺咲子専門家（副総括/業務調整/地域保健）着任（精算報告に伴う資料整理のため）

3. 今後の予定

<3月>

- 3日：渡辺咲子専門家（副総括/業務調整/地域保健）離任
- 8日：サント・ドミンゴ市チナモス保健セクター-ESAFG 会議、エル・ラマ支所 ESAFG 活動モニタリング
- 15日：SAMANI プロジェクト第1期現地活動終了、JICA 本部第1期業務完了報告会（JICA 本部）
- 31日：第1期 SAMANI プロジェクト業務実施契約満了

4. 添付書類

- 4-1. PDM 指標進捗状況（2016年1月～12月）
- 4-2. 第2回合同調整委員会議事録

5. 活動写真

別添のとおり

6. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

PDM Versión 2指標、2016年1月～12月評価結果

チョンタレス保健管区およびセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

目標と成果	指標	SILAIS	分母	分子	結果	
上位目標 チョンタレス保健管区とセラヤ・セントラル保健管区の母子の健康が改善される。	1. 対象地域における2011年から2014年までの期間の妊産婦死亡比平均70.8（出生10万対）が、2018年から2021年の期間で低下する。	チョンタレス	4,015	1	24.9	
		セラヤ・セントラル	3,791	3	79.1	
		両SILAIS	7,806	4	51.2	
	2. 対象地域における2014年の乳児死亡率14.1（出生千対）、及び2014年の5歳未満児死亡率15.8（出生千対）が低下する。	乳児死亡率	チョンタレス	4,015	64	15.9
			セラヤ・セントラル	3,791	57	15.0
		両SILAIS	7,806	121	15.5	
		5歳未満児死亡率	チョンタレス	4,015	71	17.7
			セラヤ・セントラル	3,791	68	17.9
			両SILAIS	7,806	139	17.8
	3. 対象地域で（5歳未満の）慢性栄養不良児の割合が10.5%から低下する。	チョンタレス	5歳未満の調査を実施していないのでデータなし			
セラヤ・セントラル		5歳未満の調査を実施していないのでデータなし				
両SILAIS						
プロジェクト目標 対象地域において妊産婦と2歳未満児を対象とする質の高い保健医療サービスがより利用される。	1. 対象地域で、妊婦が1回目の産前健診を妊娠12週以内に受診する割合が2014年の62.5%（ベースライン）から2018年の75.0%（エンドライン）に上昇する。	チョンタレス	5,165	2,891	56.0	
		セラヤ・セントラル	4,662	2,758	59.2	
		両SILAIS	9,827	5,649	57.5	
	2. 分娩施設で現在有効な分娩3期ケアと出産直後の新生児ケアの質の指標を満たす割合が2015年の59.5%（ベースライン）から2018年の80.0%（エンドライン）に上昇する。	チョンタレス	99.1	96.4	97.8	
		セラヤ・セントラル	42.0	52.0	47.0	
		両SILAIS	70.6	74.2	72.4	
	3. 対象地域で中期（産後2～10日）産後健診の受診率が2014年の75.3%（ベースライン）から2018年（エンドライン）に上昇する。	チョンタレス	4,653	3,002	64.5	
		セラヤ・セントラル	4,200	3,191	76.0	
		両SILAIS	8,853	6,193	70.0	
	4. 対象地域で1～4歳の1回目乳幼児健診を受ける割合が2014年の47.5%（ベースライン）から2018年の58.5%（エンドライン）に上昇する。	チョンタレス	17,148	7,591	44.3	
		セラヤ・セントラル	15,066	5,645	37.5	
		両SILAIS	32,214	13,236	41.1	
	5. 対象地域で、施設分娩のためにマタニティホームに宿泊した農村地域の妊婦の割合が2015年（ベースライン）の42.1から2018年の50.0%（エンドライン）に上昇する。	チョンタレス	1,632	1,164	71.3	
		セラヤ・セントラル	2,697	1,787	66.3	
		両SILAIS	4,329	2,951	68.2	
成果 1. 妊産婦と2歳未満児を対象とする医療施設でのサービス提供能力が強化される。	1-1. 保健施設で現在有効な2歳未満児へのケアの質の指標を満たす割合が2014年の46.3%から2018年の60.0%に上昇する。	チョンタレス	10支所で実施した評価の平均		89.7	
		セラヤ・セントラル	4支所で実施した評価の平均		81.8	
		両SILAIS	14支所で実施した評価の平均		85.8	
	1-2. 保健施設で現在有効な産前ケアの指標を満たす割合が2014年の46.2%から2018年の60.0%に上昇する。	チョンタレス	10支所で実施した評価の平均		82.7	
		セラヤ・セントラル	4支所で実施した評価の平均		64.8	
		両SILAIS	14支所で実施した評価の平均		73.8	
	1-3. レファラル・カウンターレファラル省令を満たす形で支所から病院へ緊急レファラルされた妊産婦及び2歳未満児のレファラル台帳の記録が80%の割合で一致する。	チョンタレス	1月～12月の平均値		97.1	
		セラヤ・セントラル	1月～12月の平均値		81.5	
		両SILAIS	1月～12月の平均値		89.3	
	1-4. レファラル・カウンターレファラル省令を満たす形で病院から支所へカウンターレファラルされた妊産婦及び2歳未満児のレファラル台帳の記録が70%の割合で一致する。	チョンタレス	1月～12月の平均値		36.5	
		セラヤ・セントラル	1月～12月の平均値		71.0	
		両SILAIS	1月～12月の平均値		53.8	

目標と成果	指標	SILAIS	分母	分子	結果
2. 妊産婦と2歳未満児の健康に関するコミュニティ活動が強化される。	2-1. 対象地域において、100%のES AFCが住民参加型保健強化手法を用いて、活動計画を策定・実施する。	チョンタレス	4	4	100.0
		セラヤ・セントラル	4	4	100.0
		両SILAIS	8	8	100.0
	2-2. コミュニティネットワークのイニシアチブの合意として実施された活動数が増加する。	チョンタレス	4	4	100.0
		セラヤ・セントラル	4	3	75.0
		両SILAIS	8	7	87.5
	2-3. 全てのセクターにおいて、ES AFCはコミュニティとともに分析や反映を行う。	チョンタレス	4	4	100.0
		セラヤ・セントラル	4	3	75.0
		両SILAIS	8	7	87.5
3. 妊産婦と2歳未満児の健康に関するSILAISの行政能力が強化される。	3-1. SILAISの技術統合巡回指導（妊産婦管理台帳と予防接種台帳における妊産婦及び2歳未満児のケアに関するデータの正確な記録と分析、プロジェクトが実施した研修のフォロー）を受ける支所の数	チョンタレス	10	10	100
		セラヤ・セントラル	4	4	100
		両SILAIS	14	14	100
	3-2. 全支所は、毎月ES AFCとSILAISが同席し、妊産婦及び2歳未満児のケアに関してする活動方針を決める情報分析会議を実施する。	チョンタレス	30	8	26.7
		セラヤ・セントラル	12	7	58.3
		両SILAIS	42	15	35.7
	3-3. 妊婦と2歳未満児に関する情報を正確に記録し、分析する第1次保健施設の割合が増加する。	チョンタレス	10	7	70.0
		セラヤ・セントラル	4	4	100.0
		両SILAIS	14	11	78.6

添付書類 4 - 2.

チョンタレス保健管区およびセラヤセントラル保健管区における
母と子どもの健康プロジェクト
第 2 回合同調整委員会
議事録

場所：保健省本省

日時：2017 年 2 月 14 日 午後 2 時 ～ 午後 4 時

目的：

- プロジェクト進捗、成果達成状況の確認
- プロジェクト第 2 期活動への提案

参加者：

- **保健省本省：**
ソニア・カストロ、保健大臣、プロジェクトディレクター
カルロス・サエンス、官房長（大臣代理）
マリアデルロスアンヘレス・ボエデッカー、対外協力局長
カルロス・クルス、保健サービス総局長、プロジェクトマネージャー
- **外務省：**
アルベルト・カスティジョ、対外協力局技官（オブザーバー）
- **JICA 本部：**
伊藤賢一、人間開発部 保健第一グループ 保健第一チーム 課長
貝淵友紀、人間開発部 保健第一グループ 保健第一チームプロジェクト担当
- **JICA ニカラグア事務所**
高田宏仁、事務所長
エリザベス・エルナンデス、プログラムオフィサー
エドルフォ・グティエレス、プログラムオフィサー
（ダビット・ツルマン、通訳）
- **SILAIS チョンタレス：**
サミール・アギラル、SILAIS チョンタレス局長
マリソル・メヒア、保健サービス課長
- **SILAIS セラヤ・セントラル：**
フェルナンド・カナレス、SILAIS セラヤ・セントラル局長
アナ・フエンテス、保健サービス課長
- **日本人専門家チーム：**
中村二郎、総括・地域保健
渡辺咲子、副総括・地域保健・業務調整

式次第:

1. 開会の言葉: 対外協力局長
2. プロジェクト活動進捗と成果
3. PDM 指標達成状況
4. 第1期合同自己評価結果
5. 第2期活動への提案
6. JICA ニカラグア所長の言葉
7. JICA 本部運営指導調査団長の言葉
8. JCC 閉会の言葉: 官房長 (大臣代理)

運営指導調査団の伊藤団長とカストロ保健大臣との協議で始まった。伊藤課長は、プロジェクト指標で、現在までにベースラインより下回っているものがあり、プロジェクトの効果が反映されやすい指標の導入を、次回の JCC までに再検討するよう要請した。日本側の説明責任において、プロジェクトの効果は、指標の達成で判断される恐れがある。そのために、プロジェクトの活動や効果が反映される指標や達成可能な現実的な指標設定が必要であり、例えば、妊娠 12 週前の妊婦の健診では、両 SILAIS で健診した実際の妊婦数を分母にする等の見直しが必要と考えていると述べた。

カストロ保健大臣は、伊藤団長の意見に賛成するも、プロジェクトの目標指標は、両 SILAIS とともに、国の指標を下回ることにはできないとした。

伊藤団長より、プロジェクト指標の評価は、プロジェクト終了前に評価することになり、残りの期間は少ないため、それまでにプロジェクトの介入により、改善される指標設定が重要と説明した。

ボエデッカー対外協力局長の開会の言葉と、会合目的が説明された。

I. プロジェクト活動進捗と成果

フェルナンド・カナレス SILAIS セラヤ・セントラル局長が「プロジェクト活動進捗と成果」を発表。プロジェクト上位目標、プロジェクト目標、プロジェクト成果の対象、両 SILAIS パイロット保健セクターの説明を行った。

母子保健研修プログラムに関して、母子保健サービスの実状分析、保健省令を基に教材の作成、カスケード式研修の実施方法を説明し、研修では、事前・事後のテストを行うことにより、医療従事者の知識強化につながった成果を説明した。

レファラル・カウンターレファラルについては、各 SILAIS で実践的な業務フロー図を合同で作成したこと。

ESAF13 活動では、1 年間のパイロット保健セクターの活動をとおり、この過程に参加したメンバーにより、活動を評価し、コミュニティーネットワークが主体となる ESAFC 活動ガイドの見直しが行われた。この活動ガイドは、ESAF13 活動を実践的に行うため、すべての保健セクターに拡大できるものとなった。

ESAF13 活動の評価は定期的実施され、その効果は活動ごとの証拠をもとに評価され、ワピ・パイロット保健セクターで一部活動の遅延は見られたものの、その他の保健セクターでは、活動の順調な進捗が確認された。

SILAIIS 管理能力強化では、妊産婦管理台帳や出産計画の実施を定期的に管理することにより、安全な出産と妊婦とその胎児の健康を守ることに繋がった。

マタニティホームのプロモーション活動の一環として、掲示板の作成写真や、緊急レファラル業務フロービデオの紹介を行った。

業務管理の一環としてレファラル・カウンターレファラルなど、各課題に対し、技術委員会を設置した。また、半期評価会の実施や国内外の類似案件との経験・知見の共有を実施した。

カストロ保健大臣は、別件のため退席し、代理として、サエンス官房長を指名した。

II. PDM 指標達成状況

中村総括が、PDM 指標達成状況について発表した。上位目標である妊産婦死亡比に関しては目標を達成しているが、乳幼児死亡率に関しては、悪化した。

プロジェクト目標に関して、12 週以前の妊婦健診に関しては、目標値に達成せず、ベースラインよりも下回っている。中村総括より、12 週以前の健診に関して民間や社会保険クリニック（CMP）のデータも考慮するよう提案した。中期産後健診に関して、ベースラインより悪化、1 歳から 4 歳児の 1 回目乳幼児健診（VPCD）は目標指数に達成せず、第 2 回目 VPCD と比較し数字があっていないことから、外来診療記録の未登録が考えられる。マタニティホームの利用に関しては、目標値に達成しているが、データの証拠が不十分で、信憑性に欠けるため、第 2 期では改善しなければならない。

プロジェクト成果の指標に関して、保健施設で現在有効な 2 歳未満児へのケアの質の指標を満たす割合と産前ケアの指標を満たす割合に関して、すでに目標値を達成している。レファラル・カウンターレファラル省令を満たす形で、支所から病院へ緊急レファラルされた妊産婦及び 2 歳未満児のレファラル台帳の記録は 89.3% で目標の 80% を達成したが、病院から支所へカウンターレファラルされた妊産婦及び 2 歳未満児のレファラル台帳の記録は 53.7% の割合で一致したため、目標に達成できず、改善の必要がある。

成果 2 のコミュニティネットワークおよび医療従事者の活動に関しては成果を達成した。

成果 3 の SILAIIS および支所の管理能力強化に関して、統合巡回指導項目については、現在協議中であり、2 か月以内にすべての支所の統合巡回指導が行われる計画である。SILAIIS が同席し毎月開催される支所技術審議会は昨年 10 月から開始した。両 SILAIIS の同席が増えていることが確認できた。母子保健データの整合性に関しても、改善がみられる。

サエンス官房長:実際の人口と国家統計局（INIDE）の示す人口とでは、差がある。また、プロジェクトと SILAIIS の活動をとおして、保健セクターの情報をより明確とすることにより、指標を定めるための再検討が必要である。コミュニティネットワークと連携して活動し、優れた戦略を確実に実施することにより、指標を達成することが可能となる。例えば、妊娠

12 週以前の産前健診指標の改善には、CMP との情報を共有することや、住民に対する啓発活動を実施することで、住民が主体的に、時期相応の産前健診を保健施設で受診することを強化する必要もある。同様に両 SILAIS は CMP、民間クリニックの保健データ収集を模索する必要がある。

クルス保健サービス総局長:各保健セクターとの連携に関して、すでにメカニズムができているため、今後、保健省医療施設以外の情報収集も徐々に可能となり、統合的な管理が可能となる。

サエンス官房長: CMP や民間のデータ管理は重要であり、これらの未記録を改善することで、現状の統計データの過小評価を改善できる。

中村総括: 両 SILAIS に対して、民間クリニックからのデータ収集の可能性についての検討を依頼する。

アギラル SILAIS チョントレス局長: SILAIS チョントレスでは、妊娠 12 週以前の健診の目標値はとても高いものである。一方、避妊プロモーションに力を入れており、妊娠数が減っているため、PDM 指標計算の分母の変更を提案する。また、第 1 期の指標はパイロット保健セクターを中心とした活動であり、14 支所を対象とした、指標の算出である。

合意事項:

目標指標の再検討を行う。妊娠 12 週以前の健診、乳幼児健診、産後健診に関しては、すべての動向を含む包括的な統計の管理を検討する。

III. 第 1 期合同自己評価結果

アギラル SILAIS チョントレス局長より、合同自己評価の評価方法と結果について発表した。

妥当性: ニカラグアの保健政策及び日本の援助政策と整合性があり、対象地域のニーズにも合致している。

有効性: 第 1 期ではプロジェクト目標達成に必要な活動を整理しパイロット保健セクターで試行した。プロジェクト目標達成に向けて、保健省によるモニタリング評価と主体性のある活動を継続する。

効率性: 医療機材供与以外の、成果を産出するために必要な活動が実施された。

インパクト: プロジェクト目標の達成が、上位目標達成にいかに関与し得るかについては、これまでの活動がパイロット保健セクターに限られている為、評価する時期ではない。

持続性: 同プロジェクトはニカラグア保健政策に基づき、その予算も確保されていることから持続性はあるが、活動の持続に関しては、コミュニティネットワークの主体性が求められる。

活動促進要因： 新たな手法を持ち込んだり、ルールを新設したりするのではなく、あくまでも、保健省の既存の機能、人的リソースを活用した。また、プロジェクト内のコミュニケーションを図ることにより、プロジェクトの目標、戦略を関係者に伝えた。

教訓： PDCA（計画、実施、評価、分析）サイクルの手法の導入とパイロット保健セクターおよび業務改善の好事例の共有。

課題： SILAIS によるモニタリング、評価を開始したが、第 2 期にはさらに活動を強化しなければならない。プロジェクトの目標指標は保健省の目標指数に準ずるものとする。カウンターレファラルはさらに強化が必要である

IV. 第 2 期活動への提案

クルス保健サービス総局長より下記の発表をした：

- パイロット保健セクターの活動を通し、プロジェクト目標の達成の可能性が見えた。
- 継続的な学習を通して、課題を見極め、解決する。
- 記録、分析、指標の達成状況のモニタリング、スーパーバイズは必要不可欠である。
- 各レベルの保健従事者が主体性を持つ。
- ファシリテーターや、母子保健技術委員会を活用し、継続的な教育を行う。

提案事項：

- プロジェクト成果の共有を他の SILAIS に対して行う。
- 県病院建設後、病院管理にかかわる、技術支援を提案する。
- 支所の管理能力強化をする。
- 青少年活動及びびりプロダクティブヘルスを活動に追加する。
- プロジェクト 14 支所に対し統合巡回指導を導入する。
- 支所技術審議会へ、SILAIS から技官が同席する。

ボエデッカー対外協力局長より、JICA に対し、JOCV の要請があった。

エルナンデス JICA 事務所プログラムオフィサーより、病院管理能力向上のための人材に対し、課題別研修の要請が可能であるとの説明があった。

V. JICA ニカラグア所長の言葉

高田所長より、レファラル・カウンターレファラルや、他の課題に対し強化や改善の必要性が見極められてきたとの発言があった。14 支所へ活動を拡大し、医療従事者の努力を、保健サービスの質の向上に反映させてほしい。また、保健省本省より、両 SILAIS への介入がさらに増えることを望むとの発言があった。

VI. JICA 本部運営指導調査団長の言葉

伊藤団長：

- 現地訪問し、各地域でプロジェクト関係者のモチベーションを確認することができた。また、第 1 期での活動の成果を確認することができた。カウンターパートが各課題に対し、解決に向けての合意ができたことに感謝する。

- 指標の再検討に関し、プロジェクトで達成可能な指標となるようにエビデンスをもとに再検討していただきたい。
- 第2期もともに協力し、質の高い活動ができるよう願う。

VII. JCC 閉会の言葉

サエンス官房長:日本の技術協力に対し謝辞を述べるとともに、他の技術協力と同様に、同プロジェクトに関しても成果を残すものとする。このプロジェクトは、保健省によって行われる公衆衛生分野での技術研修に取り組んでいる。保健省は住民や集落が主体性を持ち健康状態を改善できる役割を持っている。プロジェクト指標はより現実的なものであるよう、再検討し、目標達成に向けて努力する。

VIII. 合意事項

1. 次回 JCC までに指標の再検討を行う。
2. プロジェクト成果を他の SILAIS と共有する。
3. 県病院建設後、地域病院との連携についての技術協力を検討する。
4. 管理能力の向上を行う。
5. 青少年およびリプロダクティブヘルスケア活動を検討する。
6. プロジェクト対象 14 支所に対しての、統合巡回指導を継続する。
7. 両 SILAIS は各支所の技術審議会へ同席し、技術指導を行う。
8. 病院管理能力向上のための技術協力を要請する。JICA 事務所は課題別研修「病院管理」の要請を検討する。

4. 活動写真



第2回プロジェクト合同調整委員会



カストロ保健大臣と伊藤運営指導調査団長



運営指導調査団
SILAIS セラヤ・セントラルの面談



運営指導調査団
SILAIS チョンタレスとの面談



運営指導調査団
パイロット保健セクター視察
アコヤパ支所エル・チナル保健セクター



運営指導調査団
コミュニティ・ネットワークとの面談
アコヤパ支所エル・チナル保健セクター



ESAFc 活動研修
SILAIS チョントレス



母子保健カスケード研修
ヌエバ・ギネア支所



巡回指導
コマラバ支所



巡回指導
ビジャ・サンディーノ支所



レファラル・カウンターレファラル会議
両 SILAIS、地域・一医療病院合同会議



コミュニティ・ネットワーク表彰
年間をとおして参加率の高いメンバーを表彰



2017年6月6日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2017年5月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. 対象 14 支所における医療従事者研修

- 1) 14 支所を対象に拡大普及する母子保健カスケード研修は 1 月から開始され、4 か月間の計画でプロジェクト専門家不在中も継続されたが、SILAIS チョンタレス内の 3 支所エル・アヨテ、サン・ペドロ・デ・ロバゴ、ピジャ・サンディーノでは、3 月の乳幼児栄養調査および 4 月の予防接種キャンペーンによる、計画変更があり、いまだ完了していない。
- 2) SILAIS セラヤ・セントラルでは、計画どおり研修を実施した。各支所の研修結果を集計したところ、研修プログラム 8 項目を受講した医療従事者は 68%であった。
- 3) SILAIS セラヤ・セントラルでは、4 月 1 日から配置された社会奉仕の医師 24 名と看護師 15 名、コミュニティから募った准看護師 18 名に対し、配属先着任前のオリエンテーション期間に、ESAFIC ガイドを含む 8 項目の研修プログラムを実施した。同研修は各支所の研修ファシリテーターが合同で実施した。

- 計画
- ① SILAIS チョンタレスで残り 3 支所の母子保健カスケード研修を完了する。
 - ② SILAIS チョンタレスで新任の社会奉仕医師・看護師に対する研修計画を立案する。
 - ③ SILAIS セラヤ・セントラル各支所は、事後テストの成績が低かった者（60 点以下）および研修 8 項目を完了していない受講者を対象に再度研修計画を立案する。
 - ④ 既存の業務モニタリングシートを用いた研修評価が、適正に実施される方法を C/P と検討する。

1-2. ESAFC 活動

- 1) 日本人専門家不在中の ESAFC 活動の状況を、各 SILAIS の保健サービス課長と確認した。各 SILAIS の進捗状況は以下のとおりである。
- 2) SILAIS チョンタレス内、10 支所 87 セクター中、サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所内の 3 保健セクターを除く 84 セクターに対し、ESAFc 活動ガイドの研修を終了した。ESAFc ガイド研修終了後、活動 2 にあたる保健セクター RC（コミュニティーネットワーク）会議が開始され、活動 1 の RC リストが作成された。
- 3) SILAIS セラヤ・セントラルでは、ヌエバ・ギネア支所が、すべての保健セクターで、13 活動中、活動 1~4 までを実施し、エル・コラル支所は 活動 1~4 のうち、活動 3 以外を実施した。他の 2 支所でも、支所の ESAFC 活動導入計画に沿い、おおむね活動が導入されている。
- 4) 2 月 7 日開催の第 4 回プロジェクト運営委員会で合意した、支所による各 ESAFC 活動評価は実施されなかった。計画変更の理由は確認中である。

- 計画**
- ① ESAFC 活動の好事例を文書化する。
 - ② 第 5 回運営委員会で、活動が実施されなかった項目の問題を分析し、改善策をもとに、ESAFc 活動のモニタリングを実施するとともに、活動実績を確認する。

1-3. 技術統合巡回指導

- 1) SILAIS チョンタレスでは、専門家不在中、ビジャ・サンディーノ支所 2 回、エル・アヨテ支所 4 回、サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所 1 回の技術統合巡回指導を実施した。
- 2) SILAIS セラヤ・セントラルでは、技術統合巡回指導をエル・コラル支所保健セクター 1 回、ヌエバ・ギネア支所保健セクター 1 回実施した。
- 3) 毎月開催されている保健セクターの医療チームが参加する支所技術審議会（以下 CTAM）に SILAIS 技官が同席し、保健データ分析等の技術指導を行うことになっているが、専門家不在中に SILAIS チョンタレスから一度も同席できなかった。SILAIS セラヤ・セントラルは、エル・ラマ支所 1 回、エル・コラル支所 1 回、ヌエバ・ギネア支所 1 回、CTAM に同席した。

- 計画**
- ① 各 SILAIS の経験をもとに技術統合巡回指導の必要事項を定める。

1-4. レファラル・カウンターレファラル

- 1) 2 月 8 日開催の両 SILAIS 合同レファラル・カウンターレファラル委員会で合意された、保健省令にもとづく、指標の分析を毎月実施することが合意された。SILAIS チョンタレスでは、毎週提出される、各支所のレファラルデータをもとに保健サービス課技術審議会で、分析され、SILAIS 技術審議会（以下 CT0）で隔週発表されている。カウンターレファラルに関しては、病院側の人事交代が影響したこともあり、データ分析されていない。

- 2) SILAIS セラヤ・セントラルは、専門家不在中、各支所から毎週レファラルデータが提出されデータの収集にとどまり、保健省令にもとづく、指標の分析はされなかった。

計画 ①各 SILAIS のレファラル・カウンターレファラル委員会の活動を再活性化する。

1-5. 運營業務

- 1) JICA ニカラグア事務所 表敬訪問及び活動計画の共有
JICA ニカラグア事務所を訪問し、事務所長、案件担当企画調査員に対して第 2 期活動計画を説明した。また、現在の活動、専門家不在中の C/P の活動状況、JCC 合意事項の確認、第 1 期供与機材調達状況、2018 年国際フォーラム開催計画、第 3 国研修に関して、JICA ニカラグア事務所と確認した。
- 2) 保健省保健サービス総局 (DGSS) 表敬訪問及び活動計画の共有
保健省保健サービス総局長と協議し、第 2 期活動計画および専門家不在時の活動進捗状況を確認した。また、今後実施される国内外フォーラム開催にむけて日程、場所の確保、アジェンダ作成など準備を進めていくことを説明した。保健省保健サービス総局内にプロジェクト執務室の確保が約束された。第 2 期開始にあたり、第 5 回プロジェクト運営委員会開催に関して、ワークプランの承認を含むアジェンダ作成、日程調整を行った。
- 3) 第 2 期ワークプランの草稿手交
第 2 期ワークプランの草稿を JICA ニカラグア事務所、DGSS 総局長、両 SILAIS 局長へ内容を確認するため手交した。6 月に開催予定の第 5 回運営委員会で詳細を協議・合意し、ワークプランをまとめる。
- 4) 第 1 次供与医療機材進捗確認
医療機材納入業者と機材配置計画に関して協議を行った。業者は過去の経験から納入・設置までに最低 4 か月を必要としている。協議の結果、業者の機材配置計画をプロジェクトで再度確認し、期間の短縮が可能か確認することとなった。
- 5) プロジェクト内人事
第 2 期開始にあたり、プロジェクト運転手およびテクニカルアシスタント候補の書類選考と面接を行った。その結果、6 月 1 日より運転手 1 名、6 月 5 日よりテクニカルアシスタント 1 名 (医師) を新たに傭上することとなった。

1-6. 関連事項

- 1) 保健省人事
 - ① SILAIS チョンタレスのアヨテ支所長が交代した。
 - ② SILAIS チョンタレスに、4 月 1 日より社会奉仕の医師 30 人、看護師 24 人、コミュニティから募集した准看護師 18 名が保健セクターに配置された。
 - ③ SILAIS セラヤ・セントラル、SILAIS 内の母子保健/継続教育担当技官が交代した。
 - ④ SILAIS セラヤ・セントラルのヌエバ・ギネア 1 次病院長、ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所長および病院長、エル・ラマ支所長が交代した。
 - ⑤ SILAIS セラヤ・セントラルに、4 月 1 日より社会奉仕の医師 24 人、看護師 15 人、コミュニティから募集した准看護師 18 名が ESAFC に配置された。

2) ニカラグア外務省より PAHO との活動連携承認

2016年11月より保健大臣に申請していた PAHO との活動連携に関して、ニカラグア外務省より公式承認が下りた。文面には、JICA・SAMANI プロジェクト専門家の中村二郎と保健大臣で交わされた PAHO との活動連携を正式に承認すると記述されている。(添付資料参照)

3) JOCV 文化紹介との連携

6月10日に JOCV によるフィガルパ市での文化紹介行事の開催にあたり、SILAIS チョントレス内の調整やプロジェクト紹介ブースの設置等、連携して、準備を進めている。

2. 主な活動日程

<5月>

18日：渡辺咲子専門家（副総括/業務調整/地域保健）着任

19日：SILAIS セラヤ・セントラル局長表敬訪問

22日：SILAIS チョントレス局長表敬訪問、石原尚子専門家（母子保健）着任

23日：JICA ニカラグア事務所、保健省保健サービス総局に表敬訪問と活動計画の説明

26日：SILAIS セラヤ・セントラルと活動調整（保健サービス課長）

27日：ローカルスタッフ（運転手・テクニカルアシスタント）候補者面接

30日：第1期供与機材納入業者と会合

3. 今後の予定

<6月>

1日：サント・ドミンゴ市ブルン II 保健セクターボランティア会議、SILAIS セラヤ・セントラル CTAM

6日：ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス巡回指導

7日：第5回プロジェクト運営委員会

8日：サント・トマス支所 CTAM

9日：エル・ラマ市ワピ保健セクター巡回指導 エル・ラマ、ヌエバ・ギネア支所 CTAM

13日：ビジャ・サンディーノ支所、エル・コラル CTAM

14日：クアパ支所、フィガルパ支所 CTAM

15日：SILAIS セラヤ・セントラル、レファラル・カウンターレファラル委員会

16日：コマラパ支所 CTAM

22日：アコヤパシ市サン・フェリペ保健セクターRC 会議

28日：クアパ支所 CTAM

29日：サント・ドミンゴ支所 CTAM

30日：アコヤパ支所 CTAM

4. 添付書類

添付1：外務省から JICA へ送られた、SAMANI プロジェクト、保健省、PAHO との連携に関するレター

5. 活動写真

別添のとおり

6. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり



2017年7月6日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2017年6月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎

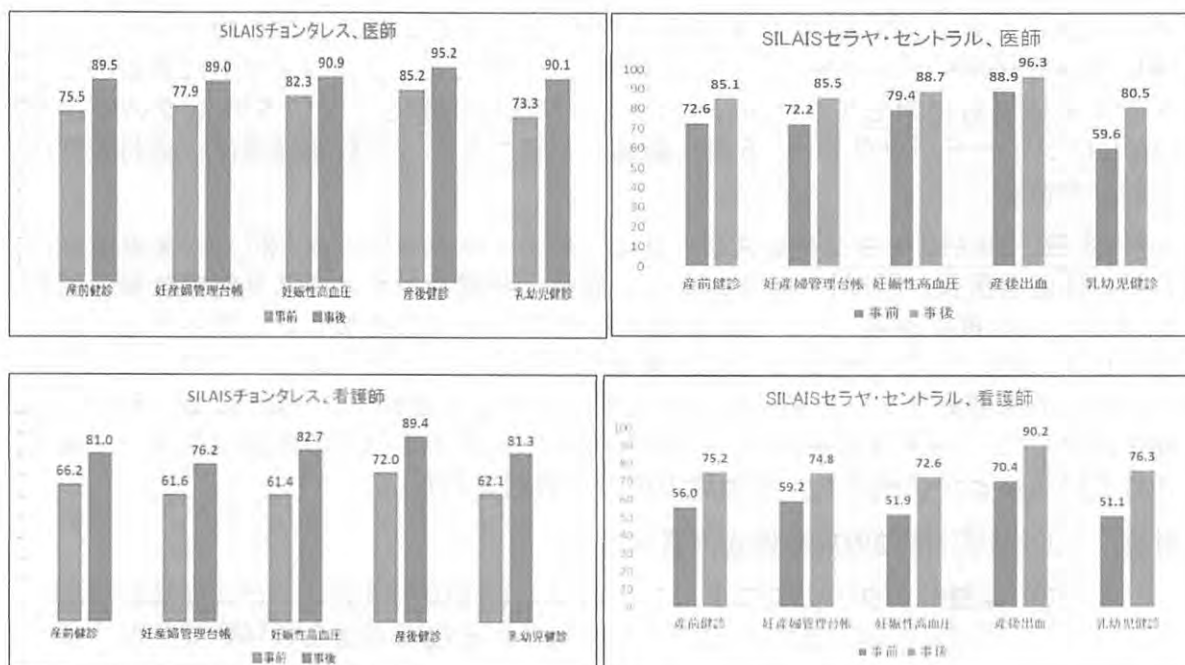


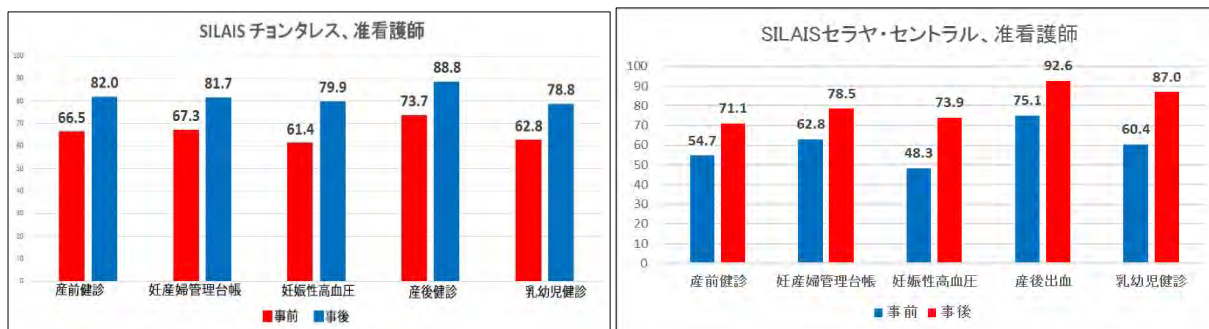
標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. 対象 14 支所における医療従事者研修

- 1) SILAIS チョンタレスで母子保健技術委員会を開催し、研修事後テストの分析結果と研修後のモニタリングに関し協議した。その結果、研修事後テストが 60 点未満の者は再研修後、60 点以上 70 点未満の者は自己学習を実施後、再テストを行うことで合意した。また、これまでの研修結果を SILAIS 技術審議会 (CTO) で発表し、SILAIS と支所合同で実施される技術審議会 (CTA) で報告をした。研修の事前事後テストの結果を、以下にグラフで示す。





- 2) SILAIS チョンタレスは、1月から開始された母子保健カスケード研修について、計画に遅れがあった2支所（サン・ペドロ・デ・ロバゴ、ビジャ・サンディーノ）で研修が完了した。残りは1支所（エル・アヨテ）である。また、新任の社会奉仕の医師・看護師に対する研修計画が立案され、6月から各支所で実施中である。
- 3) SILAIS セラヤ・セントラルの各支所は、研修8項目を完了していない受講者および事後テストの成績が低かった者に対し、全4支所で再研修を実施中である。

- 計画** ① SILAIS チョンタレスでは、事後テストの成績が低かった受講者を対象に研修計画を立案し、研修を開始する。
- ② SILAIS セラヤ・セントラルの研修を継続する。
- ③ 研修後のモニタリング評価が適正に実施される方法について、C/Pと検討を継続する。

1-2. ESAFC 活動

- 1) ESAFC 活動のモニタリングは、6月の運営委員会での合意にもとづき、全保健セクターを対象に開始した。SILAIS チョンタレスでは25保健セクター、SILAIS セラヤ・セントラルでは19保健セクターの進捗評価を、SILAISの技官が同行し実施した。それ以外の保健セクターに関しては、各支所が実施中である。モニタリングでは、ES AFC ガイドのモニタリング・評価枠を使用した。各活動のエビデンスを確認しながら実施している ESAFC は少なかったことが判明した。そこで、プロジェクトは支所のコミュニティ担当者に対して、ガイドに沿った方法を指導し、モニタリングの結果を ESAFC にフィードバックした。6月に実施したモニタリング評価結果は、添付書類のとおりである。
- 2) 6月28日、SILAIS チョンタレスは、コミュニティネットワーク(RC)全体集会を開催した。保健官房長、SILAIS チョンタレス局長、与党サンディニスタ党県代表、管轄10支所から医療従事者、RC、住民代表者ら総勢300人が参加した。集会では、保健サービスに関してRCや住民から直接意見を聞く会となった。また、プロジェクトのパイロット保健セクターであるアコヤパ支所チナル保健セクターのRCが、ES AFC 活動を紹介した。SILAIS 局長から、ES AFC 活動は10支所すべての保健セクターで実施されていることが強調され、参加者の協力が要請された。

- 計画** ① ESAFC 活動の好事例を文書化する。
- ② 保健セクターのモニタリングの結果を CTO、保健サービス課技術審議会(CTSS)、CTA、支所と ESAFC で実施される技術審議会(CTAM)で共有する。

1-3. 技術統合巡回指導

- 1) 各 SILAIS では、技術統合巡回指導の手順と指導の必須項目を検討し、省令とこれまでの経験をもとに草案を策定した。草案にもとづき SILAIS チョントレスは 12 保健セクター、SILAIS セラヤ・セントラルは 8 保健セクターで策定項目について試行した。第 5 回運営委員会では、この試行結果をもとに、手順の統一を図ることで合意されている。
- 2) 毎月開催されている CTAM に SILAIS 技官が参加し指導を行った。SILAIS チョントレスは 4 支所、SILAIS セラヤ・セントラルは 4 支所で、保健データ分析等の技術指導を行った。SILAIS セラヤ・セントラル技官は、各支所の CTAM で、各保健セクターの医療チームに対し、妊産婦の管理は、出産前、出産後もマタニティホームに妊婦と産褥婦が滞在し、経過観察の継続を実施するように指導した。

計画 ①両 SILAIS の技術統合巡回指導手法の試行結果を、保健省保健サービス総局 (DGSS) と共有し、実践的な技術統合巡回指導手法になるよう検討する。

1-4. レファラル・カウンターレファラル

- 1) SILAIS チョントレスの各支所は、毎週、レファラル患者データを SILAIS 保健サービス課に提出している。その分析結果は、CTSS と CTO で報告して、CTA でフィードバックしている。また、CTSS では、レファラルに関し、救急搬送が適していたのか否か、搬送例の分析を開始した。
- 2) SILAIS セラヤ・セントラルは、レファラル・カウンターレファラル会議を再開し、データの分析および CTAM でのフィードバックを開始した。
- 3) 地域病院では、人事異動後のデータ管理の見直しが行われた。救急外来受付にコンピュータを設置し、レファラルされた患者情報の入力が入力開始された。また、統計課では入退院した患者情報が蓄積されるため、最終的には、この 2 カ所で情報確認されたものからレファラル・カウンターレファラル情報を取り出し、両 SILAIS にフィードバックが行われる。

計画 ①各 SILAIS のレファラル・カウンターレファラル委員会の活動を継続し、各支所へ分析結果をフィードバックする。

1-5. モニタリング・評価

- 1) 6月に第5回プロジェクト運営委員会を開催した。第2期ワークプラン草稿（和文、西文）を作成し、DGSS、両SILAISおよび各支所参加のもと運営委員会で、ワークプランを提案、修正した。内容は文言・表現の修正であり、業務計画書との違いは、ほとんどない。
- 2) モニタリングシート (Ver. 4) を C/P と作成した。

1-6. 運營業務

1) JICA ニカラグア事務所との連絡調整

プロジェクト活動進捗状況、第1期の供与機材の調整状況、第5回プロジェクト運営委員会で承認されたワークプラン（第2期）について報告した。また、ニカラグア事務所の支援を得て、日本人専門家のビザ延長手続きを進めている。

2) 第1期与医療機材進捗確認

機材配置計画に関し、ニカラグア事務所と機材の納入状況および検収の確認を行った。プロジェクトで配送ルートを立案し、JICA ニカラグア事務所および納入業者へ提出した。また、業者倉庫での検収は、JICA ニカラグア事務所と保健省が共同で実施することになり、JICA ニカラグア事務所から保健省へ同行の依頼をすることとなった。なお、第1期供与機材の検収および納期が定まっておらず、機材調達管理専門家の派遣時期を遅らせる予定である。

3) 日本大使視察

6月10日、プロジェクトサイトのフィガルパ市で、青年海外協力隊による日本文化紹介があり、プロジェクトも参加した。また、主賓として来訪した在ニカラグア特命全権大使は、フィガルパ保健所および地域病院を視察した。

2. 主な活動日程

<6月>

- 1日：サント・ドミンゴ市ブルン II 保健セクター会議、SILAIS セラヤ・セントラル CTA
- 2日：エル・ラマ支所 CTAM、エル・ラマ支所保健セクター-ESAFIC 活動モニタリング、ラ・リベルタ支所巡回指導
- 7日：サント・ドミンゴ市チナモス保健セクター会議、SILAIS チョントレス巡回指導手法作成会議
- 8日：サント・トマス支所 CTAM
- 9日：第5回プロジェクト運営委員会
- 10日：JOCV 文化紹介(フィガルパ)、日本大使視察
- 12日：SILAIS セラヤ・セントラル巡回指導手法作成会議
- 13日：ヌエバ・ギネア支所保健セクター-ESAFIC 活動モニタリング
- 14日：SILAIS チョントレス CTA、ヌエバ・ギネア支所保健セクター-ESAFIC 活動モニタリング
- 15日：ヌエバ・ギネア支所保健セクター-ESAFIC 活動モニタリング、ナシオネス・ウニダス保健セクター会議、SILAIS セラヤ・セントラル CTA、フィガルパ支所 CTAM
- 16日：フィガルパ支所保健セクター巡回指導、エル・ラマ支所母子保健カスケード研修、エル・ラマ支所 CTAM
- 20日：リベルタ支所保健セクター-ESAFIC 活動モニタリング、タロリंगा保健セクター会議
- 21日：エル・ラマ支所ワピ保健セクター会議、サント・トマス支所保健セクター-ESAFIC 活動モニタリング、ビジャ・サンディーノ支所母子保健カスケード研修及びESAFIC 活動モニタリング、SILAIS チョントレス母子保健技術委員会
- 22日：アコヤパ支所保健セクター巡回指導、サン・フェリッペ保健セクター会議、コマラパ支所保健セクター巡回指導、ヌエバ・ギネア支所保健セクター巡回指導

- 23日：ヌエバ・ギネア支所保健セクター巡回指導、フィガルパ支所|保健セクター-ESAFc 活動モニタリング
- 26日：クアパ支所保健セクター-ESAFc 活動モニタリング、ヌエバ・ギネア支所保健セクター-ESAFc 活動モニタリング
- 27日：JICA ニカラグア事務所活動報告、コラル支所保健セクター-ESAFc 活動モニタリング、サンペドロ・デ・ロバゴ支所保健セクター-ESAFc 活動モニタリング
- 28日：SILAIS チョントレスコミュニティネットワーク全体会議
- 29日：サント・ドミンゴ支所 CTAM、アコヤパ支所 CTAM、アコヤパ支所保健セクター-ESAFc 活動モニタリング
- 30日：エル・アヨテ支所巡回指導、ヌエバ・ギネア支所母子保健カスケード研修

3. 今後の予定

<7月>

- 4日：アコヤパ支所保健セクター-ESAFc 活動モニタリング
- 5日：アコヤパ支所チナル保健セクター会議、サント・ドミンゴ市チナモス保健セクター会議
- 6日：リベルタ支所 CTAM
- 8日：DGSS、両 SILAIS 合同技術統合巡回指導会議
- 12日：サント・ドミンゴ支所ブルン II 保健セクター会議、エル・ラマ支所マロン保健セクター会議
- 13日：ヌエバ・ギネア支所ナシオネス・ウニダス保健セクター会議
- 14日：ヌエバ・ギネア CTAM
- 16日：渡辺咲子専門家（副総括/業務調整/地域保健）離任
- 21日：DGSS、両 SILAIS 合同技術統合巡回指導会議
- 25日：ヌエバ・ギネア支所タロリング保健セクター会議
- 26日：エル・ラマ市ワピ保健セクター会議
- 27日：アコヤパ支所サン・フェリッペ保健セクター会議

4. 添付書類

添付1：ESAFc 活動モニタリング評価結果

- SILAIS チョントレス：25 保健セクター
- SILAIS セラヤ・セントラル：19 保健セクター

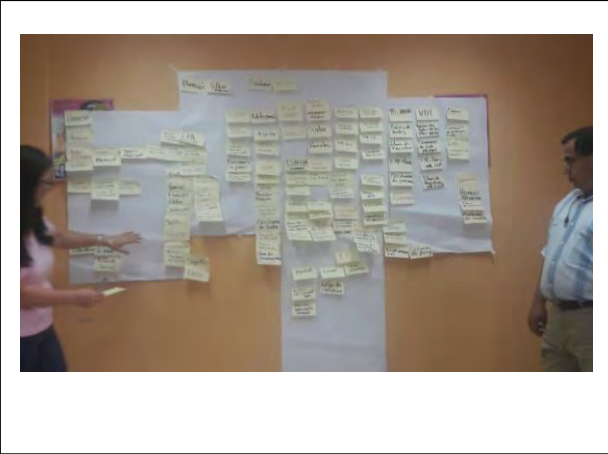
5. 活動写真

別添のとおり

6. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

活動写真



セラヤ・セントラル技術統合モニタリング会議



アコヤパ支所技術統合巡回指導
妊娠管理台帳の確認



ヌエバ・ギネア支所ヌエボ・レオン保健セ
クター-ESAFc 活動モニタリング
ESAFc に指導する支所地域保健担当者(右)



タロリンガ保健セクター会議
リサイクルに関して発表するボランティア

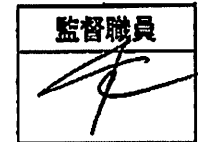


エル・ラマ支所 CTAM 母子保健研修結果を
発表するファシリテーター



SILAIS チョンタレス コミュニティーネッ
トワーク全体会議で発表するチナル保健セ
クターのボランティア

様式 1



2017 年 8 月 9 日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2017年7月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. 対象 14 支所における医療従事者研修

- 1) SILAIS チョンタレスでは、課題であったエル・アヨテ支所の母子保健カスケード研修の遅れについて実施計画を見直した結果、8 月中に完了する見通しがついた。その他の支所では、6 月から新任の社会奉仕の医師・看護師に対する研修が開始され、7 月末の時点でサンペドロ・デ・ロパゴ支所がそれを終えている。また、研修 8 項目を完了していない受講者および事後テストの得点が合格基準に達しなかった者に対し、各支所で再研修を実施中である。
- 2) SILAIS セラヤ・セントラルの各支所は、母子保健カスケード研修を修了していない受講者および、事後テストの得点が合格基準に達しなかった者に対し、再研修を実施中である。
- 3) SILAIS セラヤ・セントラルは、再テストでも合格点に達しなかった受講者（看護師 1 名、准看護師 2 名）の取り扱いについて、母子保健技術委員会で協議し、4 支所合同で再研修を実施することを決定した。実施にあたっては各支所のファシリテーターにより、指導内容を補完し合うことに加え、説明方法の工夫、教材活用などをお互いに学び合い、より分かりやすい研修を目指す。また、理解不足が確認された「症例検討」について、学習効果を高めるためグループワークの進め方を改善し、ファシリテーターへの指導手順と SILAIS 技官による監督のあり方などを確認した。
- 4) 母子保健カスケード研修後のモニタリングについての決定事項は、「1-3 技術統合巡回指導」に後述のとおりである。

- 計画
- ① SILAIS チョンタレスにおける再研修を継続する。
 - ② SILAIS セラヤ・セントラルにおける再研修を継続する。

1-2. ESAFC 活動

- 1) 両 SILAIS では、ESAFc ガイドに示されたモニタリング・評価フォームを使用して ESAFC 活動の進捗状況をモニタリング・評価している。SILAIS チョントレスでは、これまでに 87 保健セクターのうち 42 保健セクターで SILAIS 技官が支所技官に同行しモニタリング・評価を実施した。SILAIS セラヤ・セントラルでは、75 保健セクター中 47 保健セクターで、同様にモニタリング・評価を実施した。これらモニタリング・評価の結果は、保健サービス課技術審議会 (CTSS)、SILAIS 技術審議会 (CTO) で検討し、SILAIS 技術審議会 (CTA) で各支所にフィードバックする。
- 2) 進捗モニタリングでは、ESAFc ガイドのモニタリング・評価フォームを使用し、各活動のエビデンスの確認をとおして実施しなければならない。しかしながら、一部の支所や保健セクターでは、正しいモニタリング・評価が実践されていないことが確認された。プロジェクトは、支所のコミュニティ担当者に対して、ガイドに沿った方法を個別指導し、モニタリング・評価の結果を ESAFC にフィードバックするよう指導した。7 月に実施したモニタリング・評価結果は、添付書類のとおりである。
- 3) 7 月 28 日、SILAIS セラヤ・セントラルは、コミュニティネットワーク (RC) 全体集会を開催した。DGSS 局長、SILAIS セラヤ・セントラル局長、与党サンディニスタ党県代表、管轄 4 支所から医療従事者、RC、住民代表者の合計 200 名が参加した。本集会は、保健サービスに関して RC や住民から直接意見を聞く場である。また、ヌエバ・ギネア支所長が、プロジェクトのパイロット保健セクター (タロリンガ、ナシオネス・ウニダス) での ESAFC 活動を紹介した。
- 4) JICA ニカラグア事務所をとおして ZIKA 熱対策関連予算で印刷した防蚊対策ステッカーは、SILAIS チョントレスに 9,900 枚、SILAIS セラヤ・セントラルに 7,000 枚配布された。SILAIS チョントレスは疫学課技官が、SILAIS セラヤ・セントラルは疫学課技官と保健サービス課技官が、支所に対し、配布と活用方法についてのオリエンテーションを行った。コミュニティの清掃活動、学校訪問、家庭訪問、集落集会など様々な機会を利用し、生徒や住民にステッカーが配布されジカ熱、デング熱等の対策を行っている。今年は 7 月末まで、両 SILAIS とともにジカ熱感染者は発生していない。
- 5) 今年 4 月に派遣された SILAIS チョントレス 59 人、SILAIS セラヤ・セントラル 54 人の、社会奉仕の医師・看護師に対し、ESAFc 活動開始前の KAP 調査を実施した。質問内容は、家庭地域保健モデルに関する知識および ESAFC 活動に対する意識であり、1 年後に同様の KAP 調査を実施し、その変化を比較する計画である。

- 計画**
- ① ESAFC 活動の好事例を文書化する。
 - ② 保健セクターのモニタリングの結果を CTO, CTSS, SILAIS と CTA、支所と ESAFC で実施される技術審議会 (CTAM) で共有し、課題を検討する。
 - ③ 8 月の半期評価会において、ESAFc 活動の進捗状況を共有し、課題を抽出して、改善案を検討し、実行に移す。
 - ④ KAP 調査のデータをまとめ、両 SILAIS と結果を分析する。

1-3. 技術統合巡回指導

- 1) 7 月 8 日に開催した DGSS、両 SILAIS 合同技術統合巡回指導会議で、母子保健カスケ

ード研修後のモニタリング・評価の適正な実施を目的として、両 SILAIS 母子保健技術委員会が作成した「モニタリングハンドブック（案）」の試用が提案された。このハンドブックは既存のモニタリングシート「質と指標の評価」のモニタリングの手順と具体的な方法を解説したものである。DGSS 局長がこの提案を採用し、8 月半期評価会議までに各 SILAIS が実施する研修後のモニタリングにおいて、同ハンドブック（案）を試用し、実用性を検証することになった。両 SILAIS ではこの検証作業を継続中である。

- 2) 本年 2 月より、各 SILAIS は保健省技官とともに、それぞれの地域の実状に合わせた技術統合巡回指導の実施要領の策定作業を続け、6 月に試行版が完成した。上記会議では、それを使用した巡回指導の結果が報告された。両 SILAIS 間で、指導項目の分類方法に若干の違いはあるものの、SILAIS 技官の役割については“支所の担当官と保健セクターの医師・看護師への指導を担う”ことで共通していた。これに対し、DGSS 局長から「SILAIS の巡回指導における役割は、ES AFC に対する直接指導ではなく、支所の管理能力を高めるもので、これからも、保健セクターでの巡回指導を続けるが、指導の対象は支所の人材であるべき。」と指摘があった。このことから、技術統合巡回指導における SILAIS 技官の役割は「支所の担当官と保健セクターを訪問し、そのセクターの課題への取り組み、解決状況等をモニタリングする。SILAIS 技官は、保健セクターで支所担当官の行う指導を確認し、必要に応じて支所を指導する。」と明記された。また、“ES AFC ガイドに沿った活動のモニタリング”は、技術統合巡回指導における必須事項に位置付けられた。巡回指導を実施する支所や保健セクターの選定基準について「国家統一指標(SIGURUN)の保健指標や PDM 指標に対し、達成度の低い支所およびその保健セクター」と定めた。今後、各 SILAIS で選定の手順を検討する。
- 3) 2) の会議後に技術統合巡回指導を、SILAIS チョントレスは 5 保健セクター、SILAIS セラヤ・セントラルは 3 保健セクターで行った。支所が主体となって保健セクターでのモニタリングを実施している。一部でモニタリング方法に誤りが見つかったため、SILAIS 技官が手順や注意点などを支所へ指導している。また、ES AFC ガイドに沿ったモニタリングで確認された課題は、保健セクターの医療チームが ES AFC 活動に取り組む時間がない、社会奉仕の医師・看護師が活動への興味を示さない、都市部のコミュニティネットワークの参加意欲が低い、評価方法が定着していない、支所や SILAIS の支援がない、ES AFC 活動ガイドを活用していない、などであった。
- 4) SILAIS チョントレスは 3 支所、SILAIS セラヤ・セントラルは 4 支所で、定例の CTAM に SILAIS 技官が同席し保健データ分析等の技術指導を行った。また、SILAIS チョントレス技官は、各支所の CTAM で、SILAIS が作成したプレゼンをそのまま使用していることに対し、支所のデータに置き換えて発表すること、向こう 4 週間の出産予定者データの更新とその分析を行うことを合わせて指導した。

- 計画 ①研修後のモニタリングで、「モニタリングハンドブック（案）」を試用、実用性の検証を行い、各 SILAIS でその結果をまとめる。
- ②上記結果を、8 月の評価会で共有し、実践的な技術統合巡回指導手法になるよう検討作業を継続する。

- 1) SILAIS チョントレスの各支所は、レファラル患者のデータを、毎週、SILAIS の保健サービス課に提出している。その分析結果は、CTSS と CTO で報告して、CTA で各支所へフィードバックしている。CTSS では、実施された救急搬送の適否について搬送例を分析し、その結果を CTO, CTA で共有している。
- 2) 病院から各支所に送るカウンターレファラル用紙は、外来受付で引き渡していたが、24 時間対応の救急外来受付で引き渡すことになった。これにより、支所の職員がいつ病院に来ても、同用紙を支所に持ち帰ることができるようになった。さらに迅速な引き渡しを進めるため、週末に救急外来受付に残されたカウンターレファラル用紙を確認し、週明けに各支所に対応を求めることで、継続ケアに不可欠な書類のフローの改善を図っている。
- 3) SILAIS セラヤ・セントラルは、CTA でレファラル・カウンターレファラル省令に沿った、8 つの指標データを分析し、CTAM でのフィードバックを行っている。
- 4) SILAIS チョントレスでは、毎月 2 回実施している、2 年目の社会奉仕医師対象の研修の中で、プロジェクトで作成したビデオ教材を使用して 1 次医療施設から 2 次医療施設への緊急搬送の手順を指導している。

計画 ①各 SILAIS のレファラル・カウンターレファラル委員会の活動支援を継続し、上記 1) で述べた、各支所への分析結果のフィードバックを定着させる。

1-5. 運營業務

- 1) 第 1 次供与医療機材の進捗について
 現地の医療機材納入業者である Casa Teran の倉庫において、第 1 回供与機材の検収を、保健省立ち合いのもと JICA ニカラグア事務所が実施した。Casa Teran によると、損傷機材を含む 9 種類（立位式血圧計、器械台、新生児コット、丸椅子、機材棚、ワクチン保冷庫、小児用体重計、携帯用血圧計、サクション）が未入荷であるが、再調達機材も含め、8 月の第 3 週目頃に入荷予定とのことである。Casa Teran よりオートクレーブ設置前の電気回路設置工事計画が提出され、7 月 31 日から配置予定の保健所、保健ポスト、一次病院の合計 28 カ所で、1 か月の工期で工事が開始された。また、機材配送計画案が Casa Teran より JICA ニカラグア事務所へ提出され、保健省からの同行者や配送ルート、諸手続きの作業手順などの確認を、JICA ニカラグア事務所と納入業者間で行っている。なお、第 1 期供与機材の納期は定まっておらず、機材調達管理専門家の派遣時期は未定である。
- 2) 7 月 29 日、SILAIS チョントレスのプロジェクト事務所を訪問した JICA 中南米部中米・カリブ課ニカラグア担当者に対し、プロジェクトから活動進捗を報告した。また、同日、青年海外協力隊（助産師隊員）配属先のフィガルパ保健所および地域病院視察が行われた。

2. 主な活動日程

<7月>

4日：アコヤパ支所保健セクター巡回指導

5日：アコヤパ支所保健セクター巡回指導、チナル保健セクター会議、サント・ドミン

- ゴ支所チナモス保健セクター会議、SILAIS チョンタレス母子保健技術委員会
- 6日：ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所巡回指導
- 7日：ファイガルパ支所保健セクター-ESAFc 活動モニタリング、ラマ支所保健セクター-ESAFc 活動モニタリング
- 8日：DGSS、両 SILAIS 合同技術統合巡回指導会議
- 10日：SILAIS チョンタレス CTA
- 11日：エル・アヨテ支所 CTAM、アコヤパ支所保健セクター巡回指導
- 12日：エル・アヨテ支所保健セクター巡回指導、エル・ラマ支所マロン保健セクター会議、SILAIS チョンタレス母子保健技術委員会
- 13日：SILAIS セラヤ・セントラルコミュニティーネットワーク全体会議
- 16日：渡辺咲子専門家（副総括/地域保健/業務調整）離任
- 18日：ビジャ・サンディーノ支所保健セクター巡回指導、ヌエバ・ギネア支所保健セクター-ESAFc 活動モニタリング
- 20日：サンペドロ・デ・ロバゴ支所保健セクター巡回指導、ヌエバ・ギネア支所保健セクター-ESAFc 活動モニタリング
- 21日：SILAIS セラヤ・セントラル母子保健技術委員会
- 24日：SILAIS チョンタレス CTA
- 25日：ヌエバ・ギネア支所タロリंगा保健セクター会議、ファイガルパ支所保健セクター-ESAFc 活動モニタリング
- 26日：エル・ラマ支所ワピ保健セクター会議、アコヤパ支所チナル保健セクター会議、サント・トマス支所保健セクター-ESAFc 活動モニタリング
- 27日：アコヤパ支所 CTAM、ヌエバ・ギネア支所保健セクター-ESAFc 活動モニタリング
- 28日：コマラパ支所 CTAM、ヌエバ・ギネア支所保健セクター-ESAFc 活動モニタリング
- 29日：JICA 中南米部中米・カリブ課担当者プロジェクト事務所訪問
- 31日：サンペドロ・デ・ロバゴ支所 CTAM

3. 今後の予定

<8月>

- 1日：コマラパ支所巡回指導
- 2日：サント・ドミンゴ支所巡回指導、ラ・リベルタ支所保健セクター-ESAFc モニタリング、エル・ラマ支所保健セクター-ESAFc 活動モニタリング
- 3日：エル・アヨテ支所母子保健研修モニタリング、エル・ラマ支所保健セクター-ESAFc 活動モニタリング
- 4日：エル・アヨテ支所保健セクター巡回指導、エル・ラマ支所保健セクター-ESAFc 活動モニタリング
- 7日：エル・アヨテ支所 CTAM
- 10日：中村二郎専門家（総括/地域保健）着任、サント・ドミンゴ市チナモス保健セクター会議
- 16日：サント・ドミンゴ支所ブルン II 保健セクター会議、エル・ラマ支所マロン保健セクター会議
- 17日：ヌエバ・ギネア支所ナシオネス・ウニダス保健セクター会議
- 18日：JICA 安全対策連絡協議会
- 22日：ヌエバ・ギネア支所タロリंगा保健セクター会議
- 22日～23日：第5回半期評価会
- 23日：エル・ラマ市ワピ保健セクター会議
- 24日：アコヤパ支所サン・フェリッペ保健セクター会議

30日：アコヤパ支所チナル保健セクター会議

4. 添付書類

添付 1：ESAFG 活動モニタリング評価結果

- SILAIS チョントレス：42 保健セクター
- SILAIS セラヤ・セントラル：47 保健セクター

5. 活動写真

別添のとおり

6. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

支所	保健セクター	保健セクター内の集落数	ESAF13 活動													活動進捗評価結果(1月~7月)	活動進捗評価結果(1月~6月)	
			1 Rolist	2 RO月例 会議	3 MOSAF 研修	4 集落地 図	5 家族計 画研修	6 家族計 画実施	7 セクター 活動計 画実施	8 家庭調 査実作 成	9 セクター 調査・分 析	10 ESAF 活動計 画	11 ESAF 活動の 実施	12 ESAF 活動の 評価	13 知見共 有			
アコヤバ	N° 1: ZONA A,B,C	5	4	2	0	1	0	1	4	1	0	0	0	0	0	13	6	
	N° 2: ZONA D	4	4	3	4	1	0	1	4	1	0	0	0	0	0	18	5	
	N° 3: SAN JOSE	8	4	2	1	1	2	4	4	1	0	0	0	0	0	19	5	
	N° 4: PIKIN GUERRERO	6	4	2	4	4	4	4	3	4	0	0	0	0	1	30	18	
	N° 5: LA PALMA	5	4	1	0	1	0	2	4	1	0	0	0	0	0	13	7	
	N° 6: LOVAGO	9	2	4	2	1	0	1	4	1	0	0	0	0	0	15	4	
	N° 7: SAN FELIPE	6														0	50	
	N° 8: EL ZAPOTE	3	4	2	0	3	1	3	4	2	1	0	0	0	1	21	12	
	N° 9: SAN PABLO	10	3	2	1	1	0	3	4	2	0	0	0	0	0	16	22	
	N° 10: LA GARRETA	5														0	13	
	N° 11: EL CHINAL	6	4	4	3	4	3	3	4	4	4	4	4	4	4	49	50	
アコヤバ支所による活動計画			3-4月	3-12月	3月	3-4月	3-5月	3-12月	3-12月	3-12月	3-6月	4-12月	4-12月	7月・12月	11月			
コマラバ	N° 1: COMALAPA	8	4	2	3	1	3	3	4	2	0	0	0	0	0	22	14	
	N° 2: MIRAGUA	3	4	2	2	1	2	2	4	1	0	0	0	0	0	16	12	
	N° 3: NARANJO	4														0	12	
	N° 4: CONCEPCION	5	4	4	3	2	3	3	4	2	1	0	0	0	0	28	17	
	N° 5: POCHOTE	4														0	17	
	N° 6: ESPIRITU SANTO	3														0	13	
	N° 7: SAN PATRICIO	5														0	11	
	N° 8: CUISALA	5														0	14	
	N° 9: LA PITHAYA	3														0	14	
	N° 10: LA ERMITA	2														0	13	
	N° 11: JICOTEPE	5														0	13	
	N° 12: PIEDRA PINTADA	3														0	13	
	コマラバ支所による活動計画			3-4月	3-12月	3月	4-5月	5月	3-12月	3-12月	3-7月	7-8月	4-12月	5-12月	6-9月	12月		
クアバ	N° 1: EL SILENCIO	4	4	4	4	4	2	4	1	4	0	0	0	0	0	27	40	
	N° 2: MATAYAGUAL	3	4	3	4	2	1	0	2	3	0	0	0	0	0	19	32	
	N° 3: DESPOBLADO	3														0	17	
	N° 4: CUAPA	11														0	14	
	N° 5: LLANO GRANDE	7	3	4	4	1	0	1	1	3	0	0	0	0	0	17	29	
クアバ支所による活動計画			1-3月	3-12月	3-4月	3-5月	4-5月	6-12月	3-12月	3-6月	5-12月	3-12月	5-12月	6-9月	8月・12月			
エル・アヨテ	N° 1: URBANO	3	4	1	0	1	0	0	4	2	0	0	0	0	0	12	8	
	N° 2: LA PIÑUELA	4														0	0	
	N° 3: CIUDADELA	4														0	14	
	N° 4: NUEVA LUZ	4														0	0	
	N° 5: POZA REDONDA	3														0	13	
	N° 6: NAWAWAS	5	3	1	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	8	9	
	N° 7: EL JOBO	3														0	0	
	N° 8: CERRO GRANDE	4														0	0	
エル・アヨテ支所による活動計画			2-3月	3-12月	4-5月	5-8月	4-7月	4-12月	3-12月	2-8月	5-9月	4-9月	9-10月	12月	12月			
フィガルバ	N° 1: ZONA 1	8	3	1	1	1	0	3	4	1	0	0	0	0	0	14	4	
	N° 2: SAN ESTEBAN	4														0	5	
	N° 3: ZONA 2	3														0	3	
	N° 4: SANTA ANA	4	3	1	2	1	0	2	4	1	0	0	0	0	0	14	6	
	N° 5: PALO SOLO	7														0	15	
	N° 6: CENTRAL	4														0	7	
	N° 7: QUEBRANTADERO	7														0	5	
	N° 8: ZONA 6	4	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	2	
	N° 9: ZONA 4	10	1	1	1	1	0	1	4	1	0	0	0	0	0	10	7	
	N° 10: FELIPE AGOSTA	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	N° 11: ZONA 8	7	1	2	1	1	0	2	4	1	0	0	0	0	0	12	10	
	N° 12: APOMPUA	3	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	5	0	
	N° 13: HECTOR UGARTE	4	4	1	1	1	0	2	4	1	0	0	0	0	0	14	0	
	N° 14: SAN ANTONIO	4														0	0	
	N° 15: PADRE MIGUEL	8	4	1	3	1	3	2	4	1	0	0	0	0	0	19	1	
	N° 16: PUERTO DIAZ	7	4	1	3	3	0	2	2	0	0	0	0	0	0	15	6	
	N° 17: ARRAYAN	3														0	1	
フィガルバ支所による活動計画			2-9月	3-12月	3月	1-8月	3月	5-7月	4-12月	2-8月	5-8月	7月	7-12月	11-12月	18年1月			
ラリベルタ	N° 1: JOSE R. GONZALEZ	13														0	14	
	N° 2: MIGUEL MEREL	9														0	17	
	N° 3: BETULIA	10	2	3	0	1	0	1	4	1	0	0	0	0	0	12	17	
	N° 4: GARQUITA	4														0	14	
	N° 5: TAWA	3														0	11	
	N° 6: PALMIRA II	1														0	24	
	N° 7: KUSKUS	4														0	7	
	N° 8: EL CASTILLO I	3														0	7	
	N° 9: EL CASTILLO II	1														0	21	
ラリベルタ支所による活動計画			2月	2-12月	3-4月	3-4月	3-4月	3-12月	5-12月	3-4月	5-6月	7-12月	7-12月	4-6月	10-11月			
サン・ペドロ・デ・ロバゴ	N° 1: URBANO A	4	4	0	0	1	0	1	4	0	0	0	0	0	0	10	14	
	N° 2: URBANO B	5	3	0	0	1	0	1	4	0	0	0	0	0	0	9	14	
	N° 3: SAN BARTOLO	5	3	0	0	1	0	1	4	0	0	0	0	0	0	9	14	
	N° 4: EL JUSTE	2	1	0	0	1	0	2	1	2	0	0	0	0	0	7	14	
	N° 5: MULUCO	6	3	0	0	1	0	1	4	0	0	0	0	0	0	9	15	
	N° 6: BULLIM	5	4	2	3	1	2	2	4	2	0	0	1	0	0	21	16	
	サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所による活動計画			3月	3-12月	5月	4-5月	5月	6-12月	3-12月	2-12月	7-10月	4-12月	5-12月	9-10月	8-12月		
	サント・ドミンゴ	N° 1: URBANO A	9														0	26
N° 2: URBANO B		9														0	23	
N° 3: LOS CHINAMOS		7	4	4	0	4	1	4	1	4	4	4	4	1	0	35	44	
N° 4: BULUM 2		5														0	47	
N° 5: EL CAMASTRO		6														0	28	
サント・ドミンゴ支所による活動計画			3-4月	3-12月	3-4月	3月	5-6月	5-12月	3-12月	3-9月	3-9月	3-12月	5-12月	6月・12月	7月・12月			
サント・トマス	N° 1: EL GUABO	5														0	42	
	N° 2: MOLLEJONES	4	4	1	1	1	1	2	2	1	0	0	0	0	0	13	14	
	N° 3: EL JICARITO	4	4	1	0	3	3	3	1	4	0	0	0	0	0	19	20	
	N° 4: PANGASAN	3														0	15	
	N° 5: SAN JOSE	1														0	18	
	N° 6: HUGO CHAVEZ	3														0	0	
	N° 7: SANDINO	3														0	0	
	N° 8: SANTIAGO	4	4	3	0	3	0	3	2	1	0	0	0	0	0	16	23	
サント・トマス支所による活動計画			3-4月	3-12月	3月	3-4月	5月	5-6月	3-12月	3-5月	6-7月	4-12月	3-12月	6-12月	12月			
ビジャ・サン・ディーン	N° 1: VILLA SANDINO	12	2	1	1	1	0	1	4	0	0	0	0	0	0	10	10	
	N° 2: LAGEROSO	9	2	1	4	1	0	1	4	1	0	0	0	0	0	14	13	
	N° 3: LA GATEADA	13	4	1	2	1	0	2	4	1	0	0	0	0	0	15	14	
	N° 4: KAMUSAKA	8	4	2	4	1	0	2	4	2	0	0	0	0	0	19	15	
	N° 5: MUHAN	8														0	11	
	N° 6: GARROBO GRANDE	6														0	8	
ビジャ・サン・ディーン支所による活動計画			3-4月	3-12月	3月	4-5月	5-6月	3-12月	3-12月	3-12月	3-5月	4-12月	5-12月	6-12月	12月			

無	0点	0%
可	1点	1%
良	2点	50%
優	3点	75%
秀	4点	95%

活動写真



SILAIIS セラヤ・セントラル
ヌエバ・ギネア支所クリンワス保健セクター
SILAIIS 統計担当者による保健データ管理の
モニタリング



SILAIIS チョンタレス
サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所
技術統合巡回指導
ESAFc 活動の進捗を確認



SILAIIS セラヤ・セントラル
ムエジェ・デ・ロス・ブエセス支所
技術統合巡回指導
乳幼児健診カルテの確認



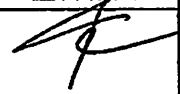
SILAIIS チョンタレス
アコヤパ支所エル・チナル保健セクター会議
出産計画と蚊対策に関する研修



SILAIIS チョンタレス エル・アヨテ支所
各保健セクターの参加する技術審議会 (CTAM)
母子保健指標結果を発表する支所長



SILAIIS セラヤ・セントラル RC 全体会議
パイロット地区の ESAFc 活動を発表する、
ヌエバ・ギネア支所長



2017年9月9日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2017年8月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. 対象 14 支所における医療従事者研修

- 1) 第 5 回半期評価会で発表された母子保健カスケード研修の進捗状況は下記の表のとおりであった。60 点未満の医療従事者には、再研修を実施することになっている。両 SILAIS は、同評価会で 8 月中にこれを実施することで合意した。また、母子保健技術委員会を毎月開催し、研修の進捗状況を確認するとともにテスト結果を分析し、各支所の継続教育の時間枠を活用した補完研修の実施など、受講者全員が一定の知識レベルに到達する研修方法を検討する。

2017 年 7 月末までの第 1 回研修後のテスト結果

支所名	60点未満の人数(人)					60点以上70点未満の人数(人)					
	産前健診	妊産婦 管理台帳	産後健診	妊婦性 高血圧	乳幼児 健診	産前健診	妊産婦 管理台帳	産後健診	妊婦性 高血圧	乳幼児 健診	
チョンタレス	アコヤバ	1	4	3	1	7	0	3	7	0	4
	コマラバ	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
	クアオア	0	2	0	0	0	1	1	0	0	2
	エル・アヨテ	2	0	0	0	0	1	1	2	0	1
	フィガルバ	0	5	3	0	5	4	9	3	1	9
	ラ・リベルタ	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1
	サン・ペドロ・デ・ロバゴ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	サント・ドミンゴ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	サント・トマス	0	0	2	0	1	2	1	3	1	2
	ビジャ・サンディーノ	0	3	1	0	0	0	3	1	0	1
SILAISチョンタレス合計	3	14	9	1	13	11	18	17	2	20	
セラヤ・セントラル	エル・コラル	0	0	0	2	0	1	0	1	4	0
	エル・ラマ	2	7	4	5	0	4	8	12	10	0
	ムエジェ・デ・ロス・プエジェス	0	0	1	1	0	1	3	8	3	0
	ヌエバ・ギネア	14	7	4	8	0	24	20	17	15	0
	SILAISセラヤ・セントラル合計	16	14	9	16	0	30	31	38	32	0
両SILAIS合計	19	28	18	17	13	41	49	55	34	20	

- 2) SILAIS チョントレスは、8 月末までに研修対象者 277 名中、268 名に対し上記研修を終えた。受講できなかった医療従事者 9 名に対し、引き続き研修を実施する。
- 3) SILAIS セラヤ・セントラルは、8 月中旬時点で全科目の研修を終えていない 53 名と再々研修が必要となった 3 名に対して、同研修を実施した。その結果、53 名中 32 名が研修 5 項目を受講し終え、再々研修対象者 3 名中 2 名も、これを終えた。他業務などの都合で受講できなかった 21 名と再々研修が必要な 1 名に関しては、9 月に開催する SILAIS の技術審議会（CTO）で研修日程を決定する。

- 計画**
- ① SILAIS チョントレスの再研修を継続する。
 - ② SILAIS セラヤ・セントラルの再研修を継続する。
 - ③ 各 SILAIS 母子保健技術委員会は、研修の進捗と事前・事後テスト結果を分析し、研修内容の改善点などを検討する。

1-2. ESAFC 活動

- 1) 第 5 回半期評価会で、両 SILAIS は、ESAFc 活動 2 の“月例会議”、活動 4 の“集落マップ作成”、活動 9 の“集落の保健状況の分析”などが、実施されていないことを確認した。これらの多くは、ESAFc ガイドを読んでいないことによる、手法に関する基本的な理解不足が原因であり、両 SILAIS は各支所をとおして、今後も指導を続けていく。これらの改善状況も含め、支所技術審議会（CTO もしくは CTAM）や技術統合巡回指導でモニタリングすることになった。
- 2) アコヤパ市では、市内全保健セクターから RC を 80 名ほど集めて、ESAFc 活動の知見共有会を開催した。各保健セクターの RC は、自分たちの活動を紹介した後、そこで学んだことを基に、今後の活動方針を立案した。この共有会を通じて、同支所の医療従事者から、RC のモチベーションが向上したとのコメントが寄せられた。
- 3) プロジェクトでは、ESAFc 活動の好事例の文書化を進めている。現在までに 12 活動に関して、課題、取り組み、結果の順でプロセスを記述し、課題の解決に至った活動を「ESAFc 活動の好事例集」として取り纏め、発行する。ESAFc 活動が滞っている保健セクターの医療チームに対し、この好事例集で具体的に紹介される活動手法を、実施可能な方策として提案することができる。

- 計画**
- ① ESAFc 活動の好事例の文書化を継続する。
 - ② 保健セクターのモニタリングの結果を SILAIS の技術審議会（CTO および CTA）、支所と ESAFc で実施される技術審議会（CTAM）で共有し、課題を検討する。
 - ③ 社会奉仕医師・看護師への KAP 調査のデータをまとめる。

1-3. 技術統合巡回指導

- 1) 母子保健技術委員会が作成した産前健診と乳幼児健診に関する「モニタリングハンドブック（案）バージョン 1」の実用性の検証結果を両 SILAIS と共有した。これまで、サービスの質の評価に使用している既存のツールについての理解や記述方法が評価者によって異なることで、評価結果にばらつきが生じ、特に支所の評価と SILAIS の評価結果に大きな違いが生じていた。「モニタリングハンドブック（案）」には、診察カルテのどの項目をどのように評価するかが明記されており、これを活用するこ

とで、すべての評価者が同じ視点でより適切な評価を実施できる。

- 2) 「モニタリングハンドブック（案）バージョン1」の検証作業では、例えば、産前健診で行う“血圧測定値の評価”に関し、「全ての産前健診をとおして、血圧測定値を分析し、診察カルテへ記入する。前回の健診結果と今回の健診結果を比較分析する」という記述に対し、評価者から「初回健診では前回との測定結果の比較ができないので、評価ができない」という意見が多く挙がった。確かに、測定結果の比較はできないが、省令にそって測定値が正常、異常なのかは分析できることから、「初回産前健診の血圧測定結果を評価する」を追記するなど、現場の声を丁寧に聞くことにより、修正すべき点が明らかになっていった。添付資料 1 に「モニタリングハンドブック（案）」を用いる前と後で生じた評価観察ポイントの変化をいくつか示す
- 3) これまで、各評価者が自己流で行っていたモニタリングの作業時間は 7~12 分だったのに対し、ハンドブックを使った場合は 9~14 分と、平均 2 分程度、プラスの時間を要した。しかしながら、全評価者が統一された方法でモニタリングを行うことにより、「確認すべき項目や評価ツールへの記述方法が明確で、却ってモニタリングが効率的になった」「正確な状況の把握ができるようになった」という意見が聞かれた。
- 4) 両 SILAIS の母子保健技術委員会、SILAIS 技官、支所長代表から構成されたグループで上記の結果を踏まえ、「モニタリングハンドブック（案）バージョン1」を修正した。引き続き修正版（バージョン2）の検証作業を行っている。
- 5) 第 5 回運営委員会で、巡回指導の手順を下記のとおり決めた。
 - ① 各支所は、毎月 10 日までに、大統領府が定める保健指標、プロジェクトの指標、媒介虫対策の指標など、早期改善が必要な指標を基に、巡回指導が必要な保健セクターを選定する。
 - ② 各支所は、毎月 13 日までに巡回指導計画を SILAIS 保健サービス課へ提出する。
 - ③ 各支所長は、保健指標に最も問題のある保健セクターの巡回指導へ同行する。
 - ④ 両 SILAIS は、①および③と同様に保健指標を基に、巡回指導する支所を決める。
- 6) 両 SILAIS の各支所は、頻繁に CTO・CTAM の日程を変更するため、SILAIS 担当官は同席できなくなる場合が多い。また、SILAIS チョントレスは、10 支所で開催される CTO・CTAM に同席することを目指しているが、SILAIS の他の定例会議と日程が重なることも多く、いくつかの支所への同席は達成されていないため、支所と日程調整の改善を進めている。SILAIS セラヤ・セントラルでも同様の日程変更はあるものの、同席に関する問題はない。
- 7) 両 SILAIS は、CTAM において協議すべきテーマについて、統一した発表様式の作成を進めている。統一した様式を用いることで、分析すべき要点を可視化し、会議時間の短縮を図ることを想定している。各 SILAIS で 5 名（SILAIS から 1 名、支所と保健セクターから各 2 名）を選抜し、それぞれの SILAIS で様式を作成する。その後、両 SILAIS が協議して統一様式を作成することになった。

- 計画**
- ① 研修後のモニタリングで、「モニタリングハンドブック（案）バージョン2」の実用性の検証を継続し、各 SILAIS でその結果をまとめる。
 - ② 各支所、各 SILAIS は、巡回指導計画書を毎月作成する。
 - ③ 両 SILAIS は連携して、CTAM の統一発表様式の作成を進める。

1-4. レファラル・カウンターレファラル

- 1) 両 SILAIS は、レファラル・カウンターレファラルのデータ収集・分析・フィードバックを繰り返し実施している。2017 年 1 月から 6 月について、SILAIS チョントレスでは、各支所からのレファラル患者数に、月ごとに大きな増減があった。一方、セラヤ・セントラルでは減少傾向が見られた。この減少は、3 か所の一次医療病院の受入れ体制改善によるものであると分析された。受入れ体制の具体的な改善点として、ヌエバ・ギネア病院の手術室が使用可能となったこと、人的リソースへの母子保健教育の効果などが挙げられた。
 - 2) 地域病院長から、レファラル用紙への正しい記入に関して、2016 年 2 月の評価会では 30%前後だったものが、2017 年 8 月の評価会では 64%に改善したと報告された。一方、レファラル記録に関しては、支所と地域病院との間で、救急搬送も含め、未だに不一致率が高い。これに対して、地域病院長と SILAIS チョントレスのレファラル・カウンターレファラル担当技官により、搬送患者の記録の詳細が比較されるようになった。その結果、支所のレファラル記録簿と地域病院のレファラル記録簿に下記の齟齬が具体的に確認された。
 - ① 搬送患者名の違い
患者が身分証を持っていない、また、字の読み書きが不得意などにより、聞き取りによる氏名の記載ミスが生じている。
 - ② 搬送日の違い
支所で救急搬送を決定し、レファラル書類を作成した後、実際に搬送するまでに日付が変わることがある。また、救急外来に到着しても診察の順番に時間がかかり、一度帰宅して、日付が変わってから出直す患者がいる可能性が指摘された。
 - ③ その他
支所では患者の救急搬送時に救急車を使うことになっているが、多くの場合、救急搬送患者とともに、緊急性のないレファラル患者も便乗している。それが救急外来に到着し、緊急性のない患者も、そのまま救急外来で受付することがある。そのため、地域病院側の救急搬送患者の受入人数が増えるなど、レファラル記録簿に事実との違いが出ている。
 - 3) 両 SILAIS は、カウンターレファラルの用紙が、正しく記載されているかを確認し、その結果を地域病院へフィードバックし始めた。
 - 4) レファラル・カウンターレファラル用紙の正確な記入方法を簡潔に示したガイドの作成をレファラル・カウンターレファラル委員会で検討することになった。
- 計画
- ①各 SILAIS は毎月の CTD で、レファラル・カウンターレファラルの分析結果を各支所へフィードバックする。
 - ②レファラル・カウンターレファラル委員会は、用紙が正しく記入されることを目的とした簡易ガイドの作成を目指す。

1-5. 第 5 回半期評価会・ワークショップ

- 1) 両 SILAIS が主導し、ロジスティックスのみをプロジェクトが担い、半期評価会を実施した。今回の半期評価会における問題発見、分析、改善案の提示、意思決定・合意についての議論から、半期毎の PDCA サイクルが確立してきていることが判定できた。

- 2) 保健省 DGSS、両 SILAIS、対象 14 支所、プロジェクトから関係者 45 名が参加した。JICA ニカラグア事務所から、企画調査員 2 名と現地案件担当職員が出席した。
- 3) 議題は以下のとおり。
 - ① 6 月 9 日の運営委員会での合意事項の確認
 - ② PDM 指標の数値状況
 - ③ 技術統合巡回指導
 - ④ 母子保健カスケード研修
 - ⑤ ESAFC 活動
 - ⑥ 向こう 4 週間の出産管理
 - ⑦ 本邦研修員の活動記録と今後の計画
 - ⑧ レファラル・カウンターレファラル
- 4) グループワークは以下のとおり。
 - ① ESAFC 活動のモニタリング評価枠と評価項目の修正
 - ② 支所の CTO および CTAM で討議すべき項目と発表様式
 - ③ 産前健診と乳幼児健診に関する「モニタリングハンドブック（案）」検証

1-6. 運營業務

1) 第 1 次供与医療機材の進捗について

JICA ニカラグア事務所は、保健省医療機材担当技官立会いの下、納入機材の検収を機材納入業者 Casa Teran の倉庫で実施した。この検収にプロジェクトも同席した。その結果、セラヤ・セントラルへ納入予定の分娩台（4 台）に、磁気検査により鉄分が確認され錆びる可能性が疑われた。Casa Teran が数年前に、他ドナーにより保健省に納入した同機種機材の現状を確認し、その機材の錆状況を踏まえ、同機材の納入可否を決定することになった。また、損傷機材を含む 9 品目（立位式血圧計、器械台、新生児コット、丸椅子、機材棚、ワクチン保冷庫、小児用体重計、携帯用血圧計、サクシオン）は、納入業者が再調達を終えている。今後、SILAIS チョントレス、SILAIS セラヤ・セントラルの順に全機材の納入・検収・設置・使用研修の作業が進められる。JICA ニカラグア事務所からは、2017 年度中にすべての作業を終えることが、Casa Teran に要求されている。Casa Teran によると、10 月中旬までに一部アクセスの悪い施設を除き、全 40 品目の納品・設置と使用研修を終える計画である。

2) 第 2 次供与機材について

JICA ニカラグア事務所とプロジェクトは、第 2 次供与機材の入札もしくは見積り合わせに関する作業分担を明確にすることで合意した。ニカラグア事務所は人間開発部へ連絡を取り、第 2 次供与機材の全作業をプロジェクトが担うことが確認された。

計画 ① 両 SILAIS および DGSS, DCE と供与機材リストを作成し、それに基づき機材仕様書の作成に取り組む。

3) 専門家の派遣計画

「産科／小児ケア」と「機材調達管理」専門家の派遣計画を下記のとおり変更する。尚、派遣期間の変更はなく、派遣時期の変更に伴う経費の変更はない。
 産科／小児ケア：高木史江、派遣期間：10 月 1 日から 9 日間
 機材調達専門家：鈴木一代、派遣期間：10 月 22 日から 30 日間

1-7. 関連業務

- 1) JOCV 母子保健サービス強化支援グループとの連携
JICA ニカラグア事務所は、SILAIS チョンタレスと SILAIS セラヤ・セントラルにおいて、JOCV 母子保健サービス強化支援グループを派遣している。すでに 3 名の隊員が SILAIS チョンタレスに配属されており、プロジェクトは、オリエンテーションの開催、半期評価会・運営委員会・母子保健研修などのプロジェクト活動への招待、月報やホームページなどを通じた情報共有を進めている。今後グループ派遣は、SILAIS セラヤ・セントラルに拡大し、プロジェクト期間中、最多で 7 名の協力隊員が派遣される計画である。
- 2) 本邦研修員の活動
第 5 回半期評価会において、各 SILAIS から本邦研修に参加した職員らによるニカラグアでの活動について発表が行われた。SILAIS チョンタレスのチームは、妊産婦と家族を対象とした保健プロモーションを中心に、JOCV と連携して活動を実施した。妊娠時のリスク、妊婦体験、施設分娩の利点、栄養管理などに関して、話を実施し、マタニティホームへの搬送を促進した。SILAIS セラヤ・セントラルのチームは、4 市で 79 人の若者の保健推進員を育て、青少年サークルをとおして、若年妊娠（2016 年全出産の 28%、2017 年は 26%）を抑制する活動に取り組んでいる。
- 3) マタニティホーム
NGO が運営していたビジャ・サンディーノ支所のマタニティホームが、今年 6 月 1 日より閉鎖されていることが明らかになった。NGO によると閉鎖された理由は、トイレの配管が詰まり、トイレが使えなくなったことと、冷蔵庫などの台所設備やベッドなどが盗難にあったことに起因している。この NGO は、マタニティホームの運営において、施設管理をオランダの NGO から、食費を世銀から資金援助を受けていたが、2017 年 2 月以降、オランダの NGO からの資金援助が途絶え、その後、市役所の資金援助を交渉したが実らず、閉鎖するに至った。SILAIS チョンタレスは、ニカラグア政府や国会議員に働きかけ、マタニティホームの活動再開に取り組んでいる。

2. 主な活動日程

< 8 月 >

- 1 日 : コマラパ支所 ESAFC モニタリング
- 2 日 : サント・ドミンゴ支所巡回指導および CTAM 同席、ラ・リベルタ支所保健セクター-ESAFc モニタリング、エル・ラマ支所保健セクター-ESAFc 活動モニタリング
- 3 日 : DGSS・両 SILAIS と協議（主な議題は 8 月半期評価会、第 2 期供与機材申請リスト）、第 1 期供与機材現状確認（JICA ニカラグア事務所）、エル・アヨテ支所保健セクター巡回指導、エル・ラマ支所保健セクター-ESAFc 活動モニタリング
- 4 日 : エル・アヨテ支所母子保健研修モニタリング、エル・ラマ支所保健セクター-ESAFc 活動モニタリング
- 7 日 : エル・コラル支所 CTO 同席
- 8 日 : エル・コラル支所巡回指導
- 9 日 : サント・トマス支所巡回指導
- 10 日 : 中村二郎専門家（総括／地域保健）着任、サント・ドミンゴ市チナモス保健セクター会議、ヌエバ・ギネア支所モニタリングハンドブック検証

- 11日：第1期供与機材会議（JICA ニカラグア事務所）
- 14日：第1期供与機材再検収（納入業者倉庫）、エル・ラマ支所 CTAM 同席
- 15日：エル・ラマ支所 CTO 同席
- 16日：サント・ドミンゴ支所ブルン II 保健セクター会議、エル・ラマ支所マロン保健セクター会議、ファイガルパ支所 CTAM 同席
- 17日：ヌエバ・ギネア支所ナシオネス・ウニダス保健セクター会議、第1次供与機材会議（JICA ニカラグア事務所）、サント・トマス支所 CTAM 同席
- 18日：JICA 安全対策連絡協議会、第1次供与機材会議（JICA ニカラグア事務所）
- 21日：SILAIS チョンタレス CTA 同席
- 22日：ヌエバ・ギネア支所タロリング保健セクター会議
- 22日～23日：第5回半期評価会・ワークショップ
- 23日：エル・ラマ市ワピ保健セクター会議
- 24日：アコヤパ支所サン・フェリッペ保健セクター会議、エル・アヨテ支所 RC 集会および巡回指導
- 25日：第12回 JICA ニカラグア事務所との定期会議、アコヤパ支所 RC 集会
- 28日：ラ・リベルタ支所 CTO 同席、ファイガルパ支所 CTO 同席、クアパ支所 CTO 同席
- 29日：アコヤパ支所チナル保健セクター会議
- 30日：サント・トマス支所 CTO 同席
- 30日～31日：SILAIS セラヤ・セントラル母子保健再研修
- 31日：ビジャ・サンディーノ支所 CTAM 同席、アコヤパ支所 CTAM 同席

3. 今後の予定

<9月>

- 1日：第2次供与機材納入業者調査
- 4日：PAHO ニカラグア事務所と連携に関して協議、サント・ドミンゴ支所 CTAM
- 5日：クアパ支所 CTAM
- 6日：JICA 村田職員プロジェクト活動に同行、ビジャ・サンディーノ・マタニティホーム再開協議
- 7日：SILAIS チョンタレス CTOM/CTAM 発表様式作成会議、エル・アヨテ支所 CTAM、サント・ドミンゴ市チナモス保健セクター会議、ラ・リベルタ支所 CTAM
- 9日：DCE、DGSS、両 SILAIS と PDM 指標会議
- 13日：エル・コラル支所 CTAM、ファイガルパ支所 CTAM、サント・トマス支所 CTAM
- 20日：サント・ドミンゴ支所ブルン II 保健セクター会議
- 21日：ヌエバ・ギネア支所ナシオネス・ウニダス保健セクター会議、ヌエバ・ギネア支所タロリング保健セクター会議、ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所 CTAM
- 22日：ヌエバ・ギネア支所 CTAM、コマラパ支所 CTAM
- 27日：エル・ラマ市ワピ保健セクター会議、エル・ラマ支所マロン保健セクター会議、アコヤパ支所サン・フェリッペ保健セクター会議、アコヤパ支所チナル保健セクター会議、エル・アヨテ支所 CTAM
- 28日：サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所 CTAM

4. 添付書類

添付1：モニタリングハンドブックを用いなかった場合と用いた場合との比較

添付 2 : 2017 年上半期 PDM 指標結果

5. 活動写真

別添のとおり

6. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

添付資料 1 モニタリングハンドブックを用いなかった場合と用いた場合との比較（その一部を紹介）

モニタリングツールに示されている検査項目	ハンドブックを用いない場合の評価者の行動と問題点	ハンドブックに沿った評価者の行動
産前健診	<p>家族歴、病歴、産科歴</p> <p>初回産前健診時または2回目以降の受診時に行われた、家族歴、病歴、産科歴の分析と診察カルテの記入を確認する。</p> <p>記録をどう確認するか評価者によって異なる</p>	<p>① 初回産前健診における家族歴、病歴、産科歴の記入の有無を確認する</p> <p>② ①の分析の正確さと診察カルテへの記入方法・記述の適切さを確認する</p> <p>③ 2回目以降の健診を他市で実施する場合、初回健診同様に、家族歴、病歴、産科歴の有無を確認する</p> <p>④ ③についての分析の正確さと診察カルテの記入方法・記述の適切さを確認する</p>
	<p>血圧測定値の評価</p> <p>血圧測定値の分析と診察カルテの記入を確認する。</p> <p>いつの時点の記録をどう確認するか評価者によって異なる</p>	<p>① 初回産前健診の血圧測定値の評価と診察カルテの記入を確認する</p> <p>② 全ての産前健診をとおして、血圧測定値の分析と診察カルテの記入を確認する</p> <p>③ 前回の健診結果と今回の健診結果を比較分析し、記録していることを確認する。</p>
乳幼児健診	<p>体重測定</p> <p>診察カルテへの体重測定値の記入を確認する。</p> <p>記録をどう確認するか評価者によって異なる</p>	<p>① 全ての乳幼児健診をとおして、体重測定値の診察カルテへの正確な記入を確認する。</p> <p>例：最終健診が1歳6か月の場合、満1歳～1歳6か月までの診察カルテを確認する。</p>
	<p>栄養状態の分類</p> <p>栄養状態の分類(体重/年齢、身長/年齢、体重/身長)と診察カルテの記入を確認する。</p> <p>記録をどう確認するか、評価者によって異なる</p>	<p>① 全ての乳幼児健診をとおして、栄養状態の分類(体重/年齢、身長/年齢、体重/身長、頭囲)とカルテ記入を確認する。</p> <p>例：最終健診が1歳6か月の場合、満1歳～1歳6か月までの診察カルテを観察する。</p> <p>② 栄養状態の分析と診察カルテの記入を確認する</p>

添付資料2

PDM Versón 2 指標、2017年1月～6月評価結果

チョンタレス保健管区およびセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

目標と成果	指標	SILAIIS	分母	分子	結果	
上位目標	1. 対象地域における2011年から2014年までの期間の妊産婦死亡比平均70.8（出生10万対）が、2018年から2021年の期間で低下する。	チョンタレス	1,789	1	55.9	
チョンタレス保健管区とセラヤ・セントラル保健管区の母子の健康が改善される。	2. 対象地域における2014年の乳児死亡率14.1（出生千対）、及び2014年の5歳未満児死亡率15.8（出生千対）が低下する。	セラヤ・セントラル	1,767	2	113.2	
		両SILAIIS	3,556	3	84.4	
		乳児死亡率	チョンタレス	1,789	25	14.0
	5歳未満児死亡率	セラヤ・セントラル	1,767	15	8.5	
		両SILAIIS	3,556	40	11.2	
		チョンタレス	1,789	22	12.3	
	3. 対象地域で（5歳未満の）慢性栄養不良児の割合が10.5%から低下する。	セラヤ・セントラル	1,767	68	38.5	
		両SILAIIS	3,556	90	25.3	
		チョンタレス	16,556	1691	10.2	
	プロジェクト目標	1. 対象地域で、妊婦が1回目の産前健診を妊娠12週以内に受診する割合が2014年の62.5%（ベースライン）から2018年の75.0%（エンドライン）に上昇する。	セラヤ・セントラル	3,781	382	10.1
両SILAIIS			20,337	2,073	10.2	
チョンタレス			2,922	1,568	53.7	
2. 分娩施設で現在有効な分娩3期ケアと出産直後の新生児ケアの質の指標を満たす割合が2015年の59.5%（ベースライン）から2018年の80.0%（エンドライン）に上昇する。		セラヤ・セントラル	2,790	1,454	52.1	
		両SILAIIS	5,712	3,022	52.9	
		チョンタレス	98.5	97.5	98.0	
3. 対象地域で中期（産後2～10日）産後健診の受診率が2014年の75.3%（ベースライン）から2018年（エンドライン）に上昇する。		セラヤ・セントラル	91.0	29.5	60.3	
		両SILAIIS	94.8	63.5	79.1	
		チョンタレス	2,635	1,478	56.1	
4. 対象地域で1～4歳の1回目乳幼児健診を受ける割合が2014年の47.5%（ベースライン）から2018年の58.5%（エンドライン）に上昇する。		セラヤ・セントラル	2,508	2,028	80.9	
		両SILAIIS	5,143	3,506	68.2	
		チョンタレス	8,404	4,394	52.3	
5. 対象地域で、施設分娩のためにマタニティホームに宿泊した農村地域の妊婦の割合が2015年（ベースライン）の42.1から2018年の50.0%（エンドライン）に上昇する。		セラヤ・セントラル	7,476	4,976	66.6	
		両SILAIIS	15,880	9,370	59.0	
		チョンタレス	956	489	51.2	
成果		1. 妊産婦と2歳未満児を対象とする医療施設でのサービス提供能力が強化される。	セラヤ・セントラル	1,602	832	51.9
			両SILAIIS	2,558	1,321	51.6
			1-1. 保健施設で現在有効な2歳未満児へのケアの質の指標を満たす割合が2014年の46.3%から2018年の60.0%に上昇する。	チョンタレス	10支所で実施した評価の平均	84.7
	1-2. 保健施設で現在有効な産前ケアの指標を満たす割合が2014年の46.2%から2018年の60.0%に上昇する。	セラヤ・セントラル	4支所で実施した評価の平均	73.6		
		両SILAIIS	14支所で実施した評価の平均	79.2		
		チョンタレス	10支所で実施した評価の平均	83.2		
	1-3. レファラル・カウンターレファラル省令を満たす形で支所から病院へ緊急レファラルされた妊産婦及び2歳未満児のレファラル台帳の記録が80%の割合で一致する。	セラヤ・セントラル	4支所で実施した評価の平均	70.3		
		両SILAIIS	14支所で実施した評価の平均	76.8		
		チョンタレス	1月～6月の平均値	80.0		
	1-4. レファラル・カウンターレファラル省令を満たす形で病院から支所へカウンターレファラルされた妊産婦及び2歳未満児のレファラル台帳の記録が70%の割合で一致する。	セラヤ・セントラル	1月～6月の平均値	45.9		
		両SILAIIS	1月～6月の平均値	63.0		
		チョンタレス	1月～6月の平均値	17.2		
		セラヤ・セントラル	1月～6月の平均値	80.9		
		両SILAIIS	1月～6月の平均値	49.1		

目標と成果	指標	SILAIS	分母	分子	結果
2. 妊産婦と2歳未満児の健康に関するコミュニティ活動が強化される。	2-1. 対象地域において、100%のESAFcが住民参加型保健強化手法を用いて、活動計画を策定・実施する。	チョンタレス	87	46	52.9
		セラヤ・セントラル	74	50	67.6
		両SILAIS	161	96	59.6
	2-2. コミュニティネットワークのイニシアチブの合意として実施された活動数が増加する。	チョンタレス	87	4	4.6
		セラヤ・セントラル	74	4	5.4
		両SILAIS	161	8	5.0
	2-3. 全てのセクターにおいて、ESAFcはコミュニティとともに分析や反映を行う。	チョンタレス	87	4	4.6
		セラヤ・セントラル	74	4	5.4
		両SILAIS	161	8	5.0
3. 妊産婦と2歳未満児の健康に関するSILAISの行政能力が強化される。	3-1. SILAISの技術統合巡回指導（妊産婦管理台帳と予防接種台帳における妊産婦及び2歳未満児のケアに関するデータの正確な記録と分析、プロジェクトが実施した研修のフォロー）を受ける支所の数	チョンタレス	30	34	113.3
		セラヤ・セントラル	8	7	87.5
		両SILAIS	38	41	107.9
	3-2. 全支所は、毎月ESAFcとSILAISが同席し、妊産婦及び2歳未満児のケアに関してする活動方針を決める情報分析会議を実施する。	チョンタレス	60	4	6.7
		セラヤ・セントラル	24	12	50.0
		両SILAIS	84	16	19.0
	3-3. 妊婦と2歳未満児に関する情報を正確に記録し、分析する第1次保健施設の割合が増加する。	チョンタレス	30	8	26.7
		セラヤ・セントラル	12	12	100.0
		両SILAIS	42	20	47.6

注) 上位目標指標3の慢性栄養不良児の母数は、検査者数である。

活動写真



第5回半期評価会・ワークショップ
上半期の各活動の進捗を確認



第5回半期評価会・ワークショップ
3つのグループに分かれて作業



SILAIS セラヤ・セントラル
ヌエバ・ギネア支所
母子保健カスケード再研修



SILAIS チョントレス
アコヤパ支所エル・チナル保健セクター
マタニティホームへ搬送する妊婦を探す



SILAIS チョントレス、アコヤパ支所
コミュニティ・ネットワーク集会
全保健セクターから RC が集まり知見を共有



SILAIS チョントレス、アコヤパ支所
コミュニティ・ネットワーク集会
保健セクター別に RC メンバーが活動方針を
発表



SILAIIS セラヤ・セントラル
ムエジェ・デ・ロス・ブエセス支所
支所技術審議会
全保健セクターと SILAIIS が出席



SILAIIS チョンタレス
アコヤパ支所エル・チナル保健セクター
新しい保健ポストの建設が始まっている



第1次供与機材
納入業者 Casa Teran の倉庫で実施された
分娩台の磁石テスト
JICA 事務所、保健省、プロジェクトで検収



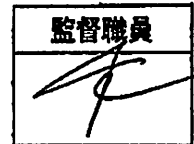
第1次供与機材
納入業者 Casa Teran の倉庫に保管された
医療機材



第1次供与機材
SILAIIS チョンタレス、アコヤパ支所
納品された医療器材



第1次供与機材
SILAIIS チョンタレス、ラ・リベルタ支所
納入業者 Casa Teran による
オートクレーブの操作研修



2017 月 10 月 9 日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2017年9月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎 

標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. 対象 14 支所における医療従事者研修

- 1) 両 SILAIS は、8 月中に母子保健カスケード研修を終了しなかった医療従事者に対して、研修を継続している。また、事後テストが 60 点に満たなかった医療従事者に対する再研修を実施している。
- 2) SILAIS チョンタレス母子保健技術委員会は、研修進捗および研修事後テストの回答内容などの確認を行い、現行の研修方法の改善策を協議した。例えば、研修事後テストでは正答できている「妊婦の血圧の評価」について、カルテには適切な記述がされていないケースがある。このように、研修で得た知識が、実践に生かされていないのは、支所が ESAFC へ十分な指導を行っていないことが原因であると考えられた。統合巡回指導には、SILAIS が支所に同行して、スーパーバイズを行い、支所による ESAFC への指導の改善に取り組んでいる。これに加えて、支所と ESAFC で実施される技術審議会 (CTAM) での研修後モニタリングを継続していく。
- 3) SILAIS セラヤ・セントラル母子保健技術委員会は、本月の会合は開催せず、優先事項である研修未受講者と点数の低かった受講者への再研修に注力している。
- 4) SILAIS チョンタレスでは、9 月末までに対象 277 名中 271 名、SILAIS セラヤ・セントラルでは、対象 185 名中 181 名が母子保健カスケード研修を受講した。

- 計画**
- ① SILAIS チョンタレスおよび SILAIS セラヤ・セントラルの再研修を継続する。
 - ② 各 SILAIS 母子保健技術委員会は、研修の進捗、事前・事後テスト結果などの分析を行い、研修内容や教材などの改善方法について検討を継続する。

1-2. ESAFC 活動

- 1) ESAFC 活動のモニタリングは、各支所の CTAM において、保健セクターの医療チームが発表する進捗状況を確認している。その中で、進捗状況の悪い保健セクターは巡回指導の対象としている。
- 2) 8月に実施した半期評価会ワークショップで、3か月毎の評価に用いる ESAFC ガイドの進捗評価枠とその評価の対象となる証拠品目を修正し、保健省保健サービス総局 (DGSS) から承認を得た。9月最終週より各支所で ESAFC 活動の評価を開始した。評価は各支所が実施し、プロジェクトや SILAIS が同行している。
- 3) プロジェクトでは、ESAFc 活動の課題として挙がっていた活動4の“集落マップ作成”について、ESAFc 活動ガイドに記述されたとおり「作成方法を実演すること」、「目印となる場所を地図に書き込むこと」など、留意ポイントを各支所へ説明し、各 ESAFC への伝達を依頼した。また、活動9の“集落の保健状況の分析”の実施については、保健セクターで記録している保健データや RC の意見をもとに、活動の遅れや不備等について、その原因の抽出→改善すべき状況の明確化→改善案の策定→活動計画立案→実施というプロセスにより、保健セクターや集落の保健状況分析をすることを指導している。
- 4) プロジェクトでは、3) で示した内容など、ESAFc 活動において、その一部が滞った場合の解決策となりうる好事例の文書化を進めている。ESAFc 活動ガイドに沿って、パイロット保健セクターの知見を基に好事例集を作成した。SILAIS、支所、パイロット保健セクターの関係者にコメントを依頼して、内容の検証を開始した。

- 計画**
- ① ESAFC 活動の好事例集の内容の検証を進める。
 - ② 保健セクターのモニタリングの結果を SILAIS の CTO もしくは CTSS¹と支所と ESAFC が出席する CTAM で共有し、課題を検討する。
 - ③ 社会奉仕の医師・看護師への KAP 調査のデータ集計および両 SILAIS との分析作業を継続する。

1-3. 技術統合巡回指導

- 1) 母子保健技術委員会が作成した産前健診と乳幼児健診に関する「モニタリングハンドブック（案）」の実用性の検証を両 SILAIS と継続して実施し、一部修正を加え、完成版とした。両 SILAIS の承認作業を進めている。
- 2) 支所レベルでは、技術審議会の日程の変更やキャンセルが相次いでいる。原因は、今年11月の統一市長選挙が近づくとつれ、勤務時間中に増加している保健省職員の政治的活動への参加である。ちなみにプロジェクト関係者では、サント・トマス支所長が、副市長候補者である。
- 3) 第5回運営委員会で「毎月13日までに各支所が SILAIS 保健サービス課へ巡回指導計画を提出するための手順」を定めたが、9月末までに14支所中1か所も巡回指導計画を提出しなかった。この結果を踏まえ、計画を立案できなかった原因をそれぞれの SILAIS と検証し、対策を検討する。

¹ CTO は幹部のみの技術審議会、CTA は幹部と下部グループが参加する技術審議会。SILAIS で実施する場合は、支所長が出席し、支所で実施する場合は ESAFC が出席する。

- 4) 支所レベルでは、ES AFC の医療チームが出席する CTAM を毎月 1 度開催しなければならないと省令で定められている。同様に議題も定められているが、活動の進捗状況の分析方法が曖昧なため、サービス向上・運営改善を目的とした CTAM というよりも、車両運行や会議開催場所などのロジスティックの確認が中心の会議となっていた。プロジェクトは両 SILAIS とともに、8 月の半期評価会の合意に基づき、分析すべき要点を可視化した統一の発表様式を完成させ、対象 14 市に導入した。この様式は PowerPoint で作成され、①保健セクター概要（地図と基本情報）、②大統領府が取り扱う保健指標（抜粋した 29 指標）、③ES AFC 活動 13 項目の進捗（集落別）、④活動促進計画、⑤活動促進計画の進捗、計スライド 6 枚で構成されている。発表様式とは別に、作業の効率化を図るため、Excel の入力フォーマットも作成された。これを使用すれば、例えば大統領府が取り扱う保健指標については、活動実績を入力するだけで、目標に対する実績割合が色分けされて表示される。これらは 10 月の CTAM より用いられる計画である。
- 5) ES AFC の CTAM 用の発表様式の作成に伴い、SILAIS チョンタレスでは各支所用の統一した発表様式を作成した。①支所の概要、②大統領府が扱う保健指標および達成度の悪い指標のグラフ化、③媒介虫・感染症の情報、④ES AFC 活動の保健セクター別進捗、⑤向こう 4 週間の妊産婦・産後 4 週間の産褥婦・新生児らの監視情報、⑥活動促進計画、⑦活動促進計画の進捗、で構成されている。今後、月 2 回のうち 1 回の SILAIS の技術審議会（CATD）で各支所が発表することになる。

- 計画** ①研修後のモニタリングで使用する「モニタリングハンドブック（完成版）」について、SILAIS の承認を得たのち、本省の承認を得る。
- ②各支所、各 SILAIS は、巡回指導計画書を毎月作成する。
 - ③各支所は、CTAM の統一発表様式を用いて、活動の進捗を分析する。

1-4. レファラル・カウンターレファラル

- 1) 両 SILAIS は、レファラル・カウンターレファラルのデータ収集・分析・フィードバックを繰り返し実施している。特に、レファラルおよびカウンターレファラルの用紙が、正しく記載されているか確認し、地域病院や支所へフィードバックしている。
- 2) SILAIS チョンタレスの地域病院では、毎週 90 人前後の分娩が行われている。カウンターレファラルによる産後健診の強化を進めていたが、確実な成果を得られていない。例えば、地域病院は産褥婦の退院後について一切関知していない。カウンターレファラル情報を基に支所が対応していたが、情報の伝達に時間を要し、遠隔地の自宅へ戻った後の産後健診が難しいケースが多くあった。病院内で退院前に支所との調整を行うことで、産後健診の受診率を改善できる。また、低出生体重児を出産した母親は、産後の経過が良好であれば、退院することになっているが、実際には、低出生体重児ケアのため付き添いで病院に残っている。しかし、母親は退院したことであり、産後健診などの母親に必要なケアが病院内で実施されていないことが判明した。プロジェクトは、地域病院から退院する産褥婦管理を強化することを本省、SILAIS、地域病院へ提案し、本省と SILAIS から承認を得た。現在、地域病院との調整を進めている。
- 3) 向こう 4 週間の妊産婦管理に産後健診と低出生体重児の管理を加味したデータ管理は、SILAIS で進めてきた。なお、情報管理強化のため、支所へ統一管理フォームの

導入を決定し、地域病院への導入については調整中である。

- 計画 ①各 SILAIS は毎月の CTD で、レファラル・カウンターレファラルの分析結果を各支所へフィードバックする。
- ②病院内での妊産褥婦および新生児管理を強化するため、労働組合や病院と調整を図る。

1-5. 運營業務

1) DGSS 内へのプロジェクト執務室開設

DGSS 内にプロジェクト執務室を開設した。10 月より基本的に毎週金曜日は、総括もしくは副総括が同執務室で、進捗確認、プロジェクト成果物の確認、第 2 次供与機材業務、国際フォーラム準備、PAHO ニカラグアとの連携業務などを行う。

2) 第 1 期分供与機材の進捗について

納入業者の Casa Teran は、納入準備ができた機材から各医療施設への納品を開始した。9 月末までに SILAIS チョントレスへの 1 回目の納入が終了し、SILAIS セラヤ・セントラルの 2 支所への納品を終えている。1 回目に納品されなかった主な機材は、立位式血圧計、器械台、丸椅子、分娩台である。SILAIS チョントレスとの機材納品の進捗確認では、一部の医療施設で、上記の他にも届いていない機材や不足部品などが確認された。その結果を 9 月 29 日に、JICA ニカラグア事務所で職員同席の下、Casa Teran と確認し、第 2 回納品時に不足分を納品することを確認した。また、10 月中旬までに全 40 種の機材が納入される予定であったが、立位式血圧計だけが手続きの不備により遅れることが明らかになった。機材調達専門家は予定どおり 10 月 22 日に 1 か月の計画で赴任し、納品機材を確認する。また供与機材に対する機材稼働モニタリングシステム導入に向けての技術指導を行う予定である。

3) 第 2 期分供与機材について

第 2 期の供与機材（候補）を DGSS、保健省対外協力局(DCE)、両 SILAIS と添付資料 1 のとおり合意した。保健省技術開発局が仕様書の作成を進めている。

4) 国際フォーラム

DCE、DGSS、両 SILAIS との協議で、国際フォーラム開催の日程は、2018 年 10 月 10 日(水)-12 日(金)に内定した。

1-6. 関連業務

1) PAHO ニカラグアとの連携

2017 年 4 月に外務省より、SAMANI プロジェクトが保健大臣へ申請していた PAHO との「人間の安全保障」に関する連携の承認が下りた。それに伴い、プロジェクトは PAHO ニカラグアへ、以下 2 点を依頼した。

- ① 人間の安全保障に事例のひとつとして、現地への状況確認
- ② 2018 年 10 月の国際フォーラム開催に伴う技術的協力。

PAHO ニカラグアの母子保健担当官から、具体的な連携方法に関して所内で意思統一を図り、後日再協議するとの回答があった。

2) 感染症の状況

両 SILAIS において、ジカ熱の新規感染者は、2017 年 1 月以来全くない。SILAIS チョントレスは、これまでにジカ熱の感染疑いがあった妊婦は 86 名、うち陽性者は 36 名、SILAIS セラヤ・セントラルは、24 名に対し 2 名が陽性だった。すでに全員出産し、小頭症の新生児は確認されていないが、満 1 歳まで症状の発現を監視している。また、両 SILAIS とともに疫学週報によれば、デング熱(確定)罹患数は直近 4 週間 0 であり、累計罹患数も昨年同時期と比較して減少している。一方、デング熱(推定)累計罹患数は、両 SILAIS とともに昨年同時期と比較して、増加している。これは保健状況の悪化というよりも集落への啓発活動強化により、より多くの発熱者が医療施設を受診するようになったための数値の変化だと分析されている。両 SILAIS においては以上を勘案し、デング熱について安全な状態と判断している。なお、結膜炎の感染者数は第 34 週から著しく増加したものの、37 週目は減少に転じた。

3) マタニティホーム

ビジャ・サンディーノ市のマタニティホームの閉鎖に続き、サン・ペドロ・デ・ロバゴ市のマタニティホームも 9 月中旬より、ほとんど閉鎖状態である。両市は、サント・トマスのマタニティホームへ妊産婦をレファラルしている。サン・ペドロ・デ・ロバゴ市の場合は、保健センターとマタニティホームが離れており、今年は雨が多く道もぬかるんでおり、利用者が少ない。保健省は、再開の働き掛けをしているものの、両市ともに統一市長選挙の選挙結果で、どの政党が勝利するか、また市役所の来年度予算計画にマタニティホーム利用改善に係る予算が組まれるか、それが判明するまで、改善されるかどうかの判断は難しい状況である。

4) 救急車の供与

世銀の資金援助により、153 市に対し 176 台の救急車が、10 月第 4 週に供与されることが発表された。また、全国 146 か所の保健センターへ、臨床検査ラボ機材が配布される。

2. 主な活動日程

<9月>

- 1 日：第 2 次供与機材納入業者調査、ヌエバ・ギネア支所母子保健再研修
- 4 日：PAHO ニカラグア事務所と連携に関して協議、ヌエバ・ギネア支所巡回指導、サント・ドミンゴ支所 CTAM 同席
- 5 日：クアパ支所 CTAM 同席、ヌエバ・ギネア支所 CTAM 同席、SILAIS チョントレス CTA
- 6 日：JICA 村田職員プロジェクト活動に同行、クアパ支所統合巡回指導、ビジャ・サンディーノ市マタニティホーム再開協議、サント・トマス支所保健セクター意見交換会、ヌエバ・ギネア支所母子保健再研修
- 7 日：SILAIS チョントレス CTOM/CTAM 発表様式作成会議、エル・アヨテ支所 CTAM 同席、サント・ドミンゴ市チナモス保健セクター会議、ラ・リベルタ支所 CTAM 同席
- 8 日：エル・アヨテ支所統合巡回指導
- 9 日：DCE、DGSS、両 SILAIS との PDM 指標会議
- 11 日：ラ・リベルタ支所 CTO 同席、エル・ラマ支所 CTAM 同席
- 12 日：SILAIS セラヤ・セントラル CTOM/CTAM 発表様式作成会議
- 13 日：エル・コラル支所 CTAM 同席
- 18 日：DGSS 第 2 次供与機材会議
- 20 日：両 SILAIS・CTOM/CTAM 発表様式作成会議
- 21 日：ヌエバ・ギネア支所ナシオネス・ウニダス保健セクター会議、ムエジェ・デ・ロ

- ス・ブエジェス支所 CTAM 同席、
- 22 日：ヌエバ・ギネア支所 CTAM 同席、ヌエバ・ギネア支所タロリング保健セクター会議、DGSS レファラル・カウンターレファラル会議、エル・ラマ支所母子保健再研修
- 25 日：クアパ支所保健セクター会議、SILAIS チョントレス CTA
- 26 日：エル・コラル支所 ESAFC 活動評価、SILAIS チョントレス・レファラル・カウンターレファラル会議、クアパ支所統合巡回指導、コマラパ支所 CTAM 同席
- 27 日：エル・ラマ市ワピ保健セクター会議、サント・ドミンゴ支所ブルン II 保健セクター会議、アコヤパ支所チナル保健セクター会議、SILAIS チョントレス母子保健技術委員会
- 27-10 月 6 日：フイガルパ支所 ESAFC 活動評価
- 28 日：アコヤパ支所 CTAM 同席
- 29 日：第 1 次供与機材納品進捗確認会議

3. 今後の予定

<10 月>

- 1 日：高木史江（産科・小児ケア）専門家着任（派遣期間 9 日）
- 2 日：サント・ドミンゴ支所 CTAM
- 2-6 日：アコヤパ支所 ESAFC 活動評価
- 3 日：サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所 ESAFC 活動評価
- 4 日：クアパ支所 CTAM・ESAFc 活動評価、ビジャ・サンディーノ支所 ESAFC 活動評価
- 5 日：サント・トマス支所 ESAFC 活動評価
- 6 日：第 13 回 JICA ニカラグア事務所との定期会議
- 7 日：高木史江（産科・小児ケア）専門家離任
- 9 日：エル・アヨテ支所 CTAM
- 9-10 日：コマラパ支所 ESAFC 活動評価
- 10-11 日：エル・アヨテ支所 ESAFC 活動評価
- 11 日：サント・トマス支所 CTAM、サント・ドミンゴ支所 ESAFC 活動評価
- 12 日：サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所 CTAM
- 14 日：DGSS、DCE、両 SILAIS とのプロジェクト会議
- 18 日：石原尚子（母子保健）専門家離任、サント・ドミンゴ支所チナモス保健セクター会議
- 19 日：ヌエバ・ギネア支所タロリング保健セクター会議、ヌエバ・ギネア支所ナシオネス・ウニダス保健セクター会議
- 22 日：鈴木一代（機材調達）専門家着任（派遣期間 30 日）
- 23 日：保健省機材管理＋第 2 次供与機材会議
- 24 日：渡辺咲子（副総括/地域保健/業務調整）専門家着任（派遣期間 60 日）、アコヤパ支所サン・フェリッペ保健セクター会議
- 25 日：サント・ドミンゴ支所ブルン II 保健セクター会議、アコヤパ支所チナル保健セクター会議、エル・ラマ支所ワピ保健セクター会議、エル・ラマ支所マロン保健セクター会議
- 26 日：コマラパ支所 CTAM、アコヤパ支所 CTAM

<11 月>

- 5 日：ニカラグア統一市長選挙投票日

8日：第6回プロジェクト運営会議
21-30日の間で、1日が合同調整委員会の開催日となる。現在保健大臣により日程調整が進められている。

4. 添付書類

添付1：第2期分供与機材候補リスト

5. 活動写真

別添のとおり

6. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

添付書類1

第2期分供与機材リスト

No.	機材名	SILAIS チヨントレス 合計	配置先		
			保健センター (11か所)	地域ラボ	アスンシオン 地域病院
1	緊急時電源システム	10	10		
2	双眼顕微鏡	5	2	3	
3	分光光度計	9	7	1	1
4	遠心分離機	2	1	1	
5	パルスオキシメーター	22	22		
6	血球カウンター	9	4	3	2
7	遠心分離機 (大型)	8	5	2	1
8	遠心分離機(スイングローター)	1	1		
9	搬送用保育器	2	2		
10	除細動器	4	4		
11	心電計	2	2		
12	診察台	1	1		
13	オートクレーブ	2	2		
14	産科診察台	2	2		

6

No.	機材名	SILAIS セラヤ・セントラル 合計	配置先		
			エル・コラル 保健センター	エル・ラマ 一次病院	ムエジェ 一次病院
1	遠心分離機(スイングローター)	2		1	1
2	双眼顕微鏡	2		1	1
3	ウォーターバス	2		1	1
4	パルスオキシメーター	4		2	2
5	搬送用保育器	2		1	1
6	超音波装置分携帯型プローブ	1		1	
7	心電計	2		1	1
8	血球カウンター	2		1	1
9	ヘマトクリット計測盤	3	1	1	1
10	分光光度器	2		1	1
11	試験管攪拌機	1			1
12	蒸留水製造装置	1			1
13	染色用ケース	1			1

優先順位(高)

優先順位(中)

優先順位(低)

活動写真 (2017年9月)



PAHO ニカラグア事務所
PAHO とプロジェクトの連携会議



保健省対外協力局 (DCE)、保健サービス総局
(DGSS)、両 SILAIS との PDM 会議



SILAIIS チョントレス
ビジャ・サンディーノ支所
ガテアーダ保健セクター会議



SILAIIS チョントレス、クアパ支所
エスペランサ II 保健セクター会議
巡回指導に同行した村田 JICA 職員。



SILAIIS チョントレス、ファイガルパ支所
パドレ・ミゲル保健セクター
ESAFG 活動評価



SILAIIS チョントレス
社会奉仕の医師 (1年目) に対する
ESAFG 活動研修



SILAIIS セラヤ・セントラル
ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所
母子保健カスケード再研修（緊急搬送ビデオ）



SILAIIS セラヤ・セントラル
エル・ラマ支所
母子保健カスケード研修



納品された第1次供与機材
サント・トマス支所ヒカリート保健ポスト
新生児用体重計



納品された第1次供与機材
アスンシオン地域病院
インファントウォーマー



ヌエバ・ギネア病院建設予定地
病院までのアクセス道路が完成している。



ヌエバ・ギネア病院建設予定地
整地された建設予定地。



2017 月 11 月 9 日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2017年10月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎 

標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. 対象 14 支所における医療従事者研修

1) 母子保健カスケード研修

研修 5 項目の産前健診、妊産婦管理台帳、妊娠性高血圧、産後出血、乳幼児健診について、産休や長期不在などの理由で未受講となった医療従事者を除き、母子保健カスケード研修はほぼ終了した。2017 年 1 月～10 月までに実施された両 SILAIS での研修事前・事後テスト結果は、表 1・2 のとおりであった。

表 1 SILAIS チョンタレスの研修事前・事後テスト職種別平均点

	産前健診		妊産婦管理台帳		妊娠性高血圧		産後出血		乳幼児健診	
	事前	事後	事前	事後	事前	事後	事前	事後	事前	事後
医師	76.1	89.7	77.5	89.7	81.2	91.6	85.0	95.0	72.7	89.4
看護師	66.7	81.7	65.6	79.1	59.2	81.4	74.2	89.3	64.9	85.9
准看護師	66.1	81.7	67.8	81.7	61.6	80.1	74.1	88.8	64.5	80.4

表 2 SILAIS セラヤ・セントラルの研修事前・事後テスト職種別平均点

	産前健診		妊産婦管理台帳		妊娠性高血圧		産後出血		乳幼児健診	
	事前	事後	事前	事後	事前	事後	事前	事後	事前	事後
医師	74.7	88.0	76.4	89.6	80.7	92.8	89.9	98.3	63.3	84.2
看護師	58.4	77.7	59.8	78.4	52.5	75.4	71.9	89.6	51.7	78.1
准看護師	54.6	74.6	63.4	78.1	48.9	73.6	74.8	91.1	60.1	85.4

産後出血に関しては、研修事後テスト結果が全般的に高得点であった。これは、発症すれば妊産婦死亡へ直結するため、参加者の危機意識が学習意欲を高め、知識習得に

つながったと考えられる。産前健診、妊産婦管理台帳、妊娠性高血圧に関しては、異常の早期発見やリスクの予防、妊産婦管理の知識が求められるが、看護師・准看護師において、研修事後テストの点数が比較的低い結果となった。これは、多くの ESAFC チームでは、医師が血圧分析や診断を担当し、看護師・准看護師はその指示を受ける立場であることから、分析・診断といった行為を実践する機会が少なく、自身の強化ポイントとしてとらえにくい可能性がある。今後は講義の前に、普段は分析・診断を行わない看護師・准看護師も同項目を熟知することで、医師の指示の根拠が科学的に理解できることや、医師が不在の場合でも、必要な妊産婦健診が的確に実施できることを説明し、学習の動機づけに努めていく。

2) 妊産婦管理台帳

各保健センターでは、研修前と比較して妊産婦管理台帳への妊娠、出産、産後健診情報の継時的な記入が徹底されるようになってきた。しかし、研修で説明した、文字色の使い分け、日付と産前健診結果を示すイニシャルの位置、マタニティホーム搬送などについて、誤った方法による記入が、巡回指導で多く確認された。そのため、妊産婦管理台帳の記入方法について、視覚的に理解しやすい教材（PowerPoint）を作成した。

- 計画
- ① 各 SILAIS は、未受講者に対して業務復帰後に研修を実施する。
 - ② 母子保健技術委員会は、研修の事前・事後テストや研修後モニタリングなどの結果分析を行い、今後の研修方法について検討を継続する。
 - ③ 両 SILAIS の母子保健技術委員会および保健サービス課は、妊産婦管理台帳に関する簡易教材（PowerPoint）の内容を精査する。また、同項目について支所技術審議会（GTAM）や巡回指導の時間を利用した補完講習を計画する。

1-2. ESAFC 活動

1) 対象地域全体における ESAFC 活動の進捗評価

10 月中に 161 保健セクターの ESAFC 活動進捗評価を実施した。これには、「ESAFc 活動ガイド」に記載された進捗評価枠とその評価の対象となる証拠品目を用いている。評価枠は、8 月の半期評価会で内容を修正した最新版を適用し、各支所において保健セクター代表を集め実施した。支所が主体となり、SILAIS 職員とプロジェクトの専門家もしくはテクニカルアシスタントが技術的な支援を行った。

活動開始から約 3 か月後の 2017 年 6・7 月に実施した第 1 回進捗評価結果と、今回の 2017 年 9 月までの進捗評価結果とを比較した。表 3 は、各支所の保健セクターの平均点を示したものである。次回の評価は 2018 年 1 月を予定している。

表 3 各支所における ESAFC 活動の進捗評価結果（52 点満点の平均点）

SILAIS チョンタレス		アコヤバ	コマラバ	クアバ	エル・アヨ テ	フィガル バ	リベルタ	サン・ペド ロ・ デ・ロバ ゴ	サント・ド ミンゴ	サント・ト マス	ビジャ・ サン ディーノ	平均点
2017年	6月	17.5	13.1	23.4	17.0	4.2	14.7	14.5	33.6	16.5	11.8	16.6
	9月	36.2	32.2	26.0	33.4	22.0	20.8	16.7	32.4	20.0	16.3	25.6

SILAIS セラヤ・セントラル		エル・コラル	エル・ラマ	ムエジャ・ デ・ ロス・ブエ ジェス	ヌエバ・ ギネア	平均点	2SILAIS 平均点 (52点満点)	
2017年	6月	17.8	12.5	19.2	20.9	17.6		17.1
	9月	21.8	22.5	29.5	30.2	26.0		25.8

SILAIS チョントレス、SILAIS セラヤ・セントラルともに、同じような進捗状況を示している。ES AFC 活動は1年間の活動を目安に計画されており、約6か月が経過した段階の評価結果として、活動は順調に推移していると判断できる。9月までの進捗状況を支所間で比較すると、もっとも進んでいるのは、SILAIS チョントレスのパイロット支所だったアコヤパ支所（支所平均 36.2 点）で、最も遅れているのは SILAIS チョントレスのビジャ・サンディーノ支所（支所平均 16.3 点）であった。

2) ES AFC 活動の好事例集

両 SILAIS とパイロット地区の関係者による、ES AFC 活動好事例集内容の検証作業を進めている。プロジェクトと保健サービス総局（DGSS）および対外協力局（DCE）との協議では、本好事例集の草稿について、実践的な好事例であると、高評価を得た。

- 計画**
- ① ES AFC 活動の好事例集の内容の検証を完了し、両 SILAIS の全 ES AFC へ配布する。
 - ② 支所で ES AFC が出席して開催される技術審議会（CTAM）で ES AFC 活動など進捗状況を確認・分析し、課題を検討する。
 - ③ 社会奉仕の医師・看護師への KAP 調査のデータ集計および両 SILAIS との分析作業を継続する。

1-3. 技術統合巡回指導

1) モニタリングハンドブック

母子保健技術委員会が作成した産前健診と乳幼児健診に関する「モニタリングハンドブック」は、両 SILAIS および DGSS の承認を得て、使用が開始された。

2) 巡回指導の実施状況

SILAIS チョントレスは、翌11月に迫った統一市長選挙、度重なる熱帯低気圧の発生、保健省職員の被災・事故等の影響を受けて、巡回指導のキャンセルが9月以上に相次いだ。SILAIS セラヤ・セントラルも、統一市長選挙や熱帯低気圧の影響を受けた。実施した巡回指導の詳細は表4のとおりである。

表4 SILAIS が実施する巡回指導

SILAIS の活動	特 徴	10月実施数	
		SILAIS チョントレス	SILAIS セラヤ・セントラル
統合巡回指導	支所の多岐にわたる活動の巡回指導。SILAIS から2名以上が参加し、支所の活動をスーパーバイズする	0支所	2支所
特定巡回指導	ES AFC 活動・研修モニタリングに特化したスーパーバイズ	1支所	1支所
ES AFC 活動評価	支所が行う評価の支援	10支所	4支所

保健セクター会議同席	ES AFC 活動視察	3 支所	2 支所
技術審議会(CTAM)同席	保健セクターの医療チームが参加	1 支所	4 支所
技術審議会(CTOM)同席	支所の幹部のみ	5 支所	4 支所
カスケード研修同席	研修の教授法などをスーパーバイズ	1 支所	1 支所

3) 保健セクター用の発表様式

プロジェクトが両 SILAIS とともに導入した、分析すべき要点を可視化した統一発表様式は、対象 14 市で活用され始めている。この様式は PowerPoint で作成され、①保健セクター概要（地図と基本情報）、②大統領府が取り扱う保健指標（抜粋した 29 指標）、③ES AFC 活動 13 項目の進捗（集落別）、④活動促進計画、⑤活動促進計画の進捗、計 6 枚のスライドで構成されている。しかし、文字が小さすぎるケースやフォーマットを独自に変更するなどの問題点が確認されたので、改善のための具体的な指導を行った。

- 計画** ① 各支所、各 SILAIS は、巡回指導計画書を毎月作成する。
 ② 各支所は、CTAM の統一発表様式を用いた報告内容を基に行う活動の進捗分析を継続する。

1-4. レファラル・カウンターレファラル

1) レファラル・カウンターレファラルのデータ収集・分析・フィードバック

両 SILAIS は、レファラル・カウンターレファラルのデータ収集・分析・フィードバックを繰り返し実施している。支所と地域病院の緊急レファラル数が一致しないケースが多く、レファラル・カウンターレファラル台帳を比較し、その問題点を抽出して、支所と地域病院双方に対して改善に向けた指導をしている。確認された主な問題は、「保健セクターの医師が地域病院へ患者をレファラルする際に、レファラル・カウンターレファラル台帳への記入漏れがある」「地域病院において、通常レファラルが救急レファラルとして記録されている」などである。通常レファラルが救急レファラルとして記録されるのは、地域病院の一般外来が午後 3 時に終業し、その後到着した患者は、救急外来で受付しているためだと考えられる。病院内の患者管理システムを改善する必要があり、SILAIS と地域病院で対策を協議している。

2) 地域病院内にとどまる産褥婦の産後健診

地域病院で出産し退院した後、低出生体重児ケアなどのため、病院内に留まっている産褥婦がいる。SILAIS チョントレスは、2017 年 9 月から病院の職員や組合と協議し、彼女らに対する産後健診など、必要な継続ケアの提供に取り組み始めた。保健省の基準によれば、病院内であっても、産後健診は一次医療に属するので、この活動はファイガルパ支所が担当している。病院側が継続ケアの必要な産褥婦の情報を集め、ファイガルパ支所へ毎日連絡し、支所は医師を地域病院へ派遣し、病院内にある簡易宿泊施設で必要な健診を行っている。ファイガルパ支所は、10 月下旬よりこれに取り組み始め、10 月 24 日から 1 週間で 33 名（チョントレス：14 名、セラヤ・セントラル：14 名、その他 5 名）の産褥婦に対し同方法で産後健診などを行った。

- 計画** ① 各 SILAIS は毎月の CTD で、レファラル・カウンターレファラルの分析結果を

各支所へフィードバックする。

- ② 病院内での妊産褥婦および新生児管理を強化促進し、その活動を SILAIS とともにスーパーバイズする。

1-5. 機材調達管理

1) 第 1 期分供与機材の進捗について

納入業者の Casa Teran により、両 SILAIS に対する第 1 回納入が終了した。納品進捗状況（10 月 20 日まで）を添付資料に示す。納品された機材の一部に、部品の不足が確認された（添付資料の黄色枠品目）。未納部品は、分娩台のマット、ネブライザーの吸入器の一部分、耳鏡・検眼鏡の電球などで、その他、棚のガラス破損があった。また、納品リストの機材名に誤りがあったことも確認された。これらの状況について、JICA ニカラグア事務所とともに納入業者と協議し、第 2 回以降の納品時に改善・修繕・不足分の納品をすることで、合意した。第 2 回目の納品は 10 月 22 日から開始されている。遅延機材の立位式血圧計と分娩台は、第 2 回納品に含まれていない。

2) 供与機材稼働モニタリングシステム

第 1 期供与機材の稼働モニタリングシステムに必要なモニタリングツール（機材情報シート）の作成を開始した。また、保健省内の機材管理システムを調査し、既存の管理システムに組み込む方法を検討している。調査結果から SILAIS 財務部の指示で、各支所の財務課が全ての医療施設を巡回し、半年に一度、機材管理台帳及び稼働状況を調査していることが明らかとなった。しかし、この調査結果を基にした機材の修理・保全対策などは、SILAIS 内で講じられていない。更新された機材管理台帳の情報は、財務管理システムを通じて、本省へ送付されるほかは、SILAIS 内で保管されていることが分かった。プロジェクトが導入する供与機材稼働モニタリングシステムでは、この既存の機材管理情報を用い、半年に一度、SILAIS においてメンテナンス対策を検討する。

3) 本省の医療機材管理センター

保健省技術開発局の下部組織である医療機材管理センターのメンテナンスチームでは、経済的事情により、公式にメンテナンス対象としている機材は、主に病院内の 14 機材（医療機器 7 種、施設機器 7 種）にとどまっている。対象となっている医療機器は、手術室の麻酔器、人工呼吸器、無影灯のほか、X 線機器（2 種類）、超音波診断装置、オートクレーブである。施設機器は、発電機、洗濯機、乾燥機、ボイラー、焼却炉、冷凍室、空調機である。他の機材の修理に関しては、各 SILAIS や各支所の予算により賄われている。また、メンテナンスチームの末端は、2 次医療病院に医療機材メンテナンス技師が配置されており、プロジェクト対象の両 SILAIS 内には、地域病院に 1 名および 1 次病院に 1 名配属され、それぞれ配属先の医療機材以外にも各管区の保健センターに設置されている機材の維持管理を行っている。上記の技師たちで修理ができない機材については、医療機材管理センターに送られることになっているが、修理に必要な部品調達のための予算は、各 SILAIS や各支所が用意する。

4) 第 2 期分供与機材について

保健省技術開発局が作成した第 2 期分供与機材の仕様書を受け取り、機材調達管理専門家が技術的な確認を行った。また、見積競争に必要な書類の作成を開始した。

- 計画 ① 第 1 期分供与機材の納品を促進し、機材の受け取り状況を確認する。
- ② 第 2 期分供与機材について、首都マナグア市内の供与機材関連の取扱業者に対するリサーチを行う。
- ③ 第 2 期分供与機材の見積競争に必要な書類の作成を進める。
- ④ 仮見積もりを基に、購入できる第 2 期分供与機材を特定し、合同調整委員会で承認を得る。

1-6. 関連業務

1) 国際フォーラム

国際フォーラム 2018 のアジェンダ（案）を DGSS、DCE、両 SILAIS と協議して作成した（添付資料参照）。

- 計画 ① 国際フォーラムの概要（案）、実施目的とその背景について文書化し、合同調整委員会で共有して、承認を得る。

2) プロジェクトのパイロット支所長が事故死

10 月 4 日に、プロジェクトのパイロット支所であるサント・ドミンゴ支所の車両が、熱帯低気圧による洪水のため河川転落事故を起こし、支所長ら 3 名が死亡した。SILAIS チョントレスは喪に服すとともに、遺体捜索などで 2 週間ほど一般業務が中止もしくは延期となった。後任のサント・ドミンゴ支所長には、社会奉仕で同支所に赴任中の医師が 11 月 6 日に就任することが内定している。

2. 主な活動日程

<10 月>

- 1 日：高木史江（産科・小児ケア）専門家着任（派遣期間 9 日）
- 2 日：サント・ドミンゴ支所 CTAM
- 2-6 日：アコヤパ支所 ESAFC 活動評価
- 2-9 日：フィガルパ支所 ESAFC 活動評価
- 3 日：サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所 ESAFC 活動評価
- 3-6、10 日：ヌエバ・ギネア支所 ESAFC 活動評価
- 4 日：サント・ドミンゴ支所車両転落事故（職員 3 名死亡）
- 4-5：ビジャ・サンディーノ支所 ESAFC 活動評価
- 6 日：第 13 回 JICA ニカラグア事務所との定期会議
- 7 日：高木史江（産科・小児ケア）専門家離任
- 9 日：SILAIS セラヤ・セントラル CTAD、JICA ニカラグア事務所主催 JICA 副理事長との意見交換会
- 10 日：ラ・リベルタ支所 ESAFC 活動評価、クアパ支所 ESAFC 活動評価、ヌエバ・ギネア支所 ESAFC 活動評価、在ニカラグア日本大使主催 JICA 副理事長との意見交換会
- 11 日：クアパ支所 CTAM・ESAFc 活動評価、
- 12 日：コマラパ支所 ESAFC 活動評価
- 14 日：DGSS、DCE、両 SILAIS とのプロジェクト定期会議
- 16 日：サント・トマス支所 ESAFC 活動評価、ヌエバ・ギネア支所 CTO
- 17 日：エル・ラマ支所 CTO

- 18日：石原尚子（母子保健）専門家離任、SILAIS チョンタレス CTAD、エル・コラル支所 CTAM
- 19日：ヌエバ・ギネア支所タロリング保健セクター会議、ヌエバ・ギネア支所ナシオネス・ウニダス保健セクター会議、サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所 CTAM
- 20日：SILAIS セラヤ・セントラル CTAD、サント・ドミンゴ支所カスケード研修スーパーバイズ
- 22日：鈴木一代（機材調達）専門家着任（派遣期間 30 日）
- 23日：保健省機材管理および第 2 次供与機材会議、コマラパ支所 CTO
- 24日：渡辺咲子（副総括/地域保健/業務調整）専門家着任（派遣期間 60 日）、アコヤパ支所サン・フェリッペ保健セクター会議、エル・アヨテ支所 CTAM
- 24-25 日：エル・アヨテ支所 ESAFC 活動評価
- 25日：ビジャ・サンディーノ支所 CTAM、エル・ラマ支所ワピ保健セクター会議、エル・ラマ支所マロン保健セクター会議
- 26日：サント・ドミンゴ支所 ESAFC 活動評価、アコヤパ支所 CTAM
- 27日：エル・ラマ支所技術統合巡回指導
- 28日：エル・ラマ支所技術統合巡回指導
- 31日：エル・コラル支所技術統合巡回指導

3. 今後の予定

<11 月>

- 3日：第 14 回 JICA ニカラグア事務所との定期会議
- 5日：ニカラグア統一市長選挙投票日
- 9日：フィガルパ支所 CTAM、ラ・リベルタ支所 CTAM、サント・トマス支所 CTAM
- 10日：第 6 回プロジェクト運営委員会
- 18日：鈴木一代（機材調達）専門家離任
- 25日：DGSS、DCE、両 SILAIS とのプロジェクト定期会議
- 28-30 日の間の 1 日：第 3 回合同調整委員会

4. 添付書類

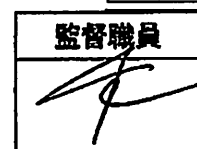
- 添付資料 1：第 1 期分供与機材配布状況表（2017 年 10 月 20 日作成）
- 添付資料 2：国際フォーラム 2018（案）

5. 活動写真

別添のとおり

6. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり



2017 月 12 月 8 日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2017年11月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎 

標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. 対象 14 支所における医療従事者研修

1) 妊産婦管理台帳の補完講習教材

各保健セクターの医療従事者は、妊産婦管理台帳を毎日更新し、安全な出産と産後健診の継続ケアの監理がされているかどうかを確認する必要がある。母子保健研修で妊産婦管理台帳について指導しているものの、正しく記入されていない例が、巡回指導で散見された。プロジェクトは、妊産婦管理台帳の正しい記入方法について、母子保健教材「妊産婦管理台帳」をもとに PowerPoint で補完教材案を作成した。その後、両 SILAIS の母子保健技術委員会において、妊産婦管理台帳に関する同教材の内容を確認し、最終版を完成した。この補完教材を、第 6 回運営委員会で各支所長へ説明し配布した。また、同委員会では、研修プログラムの妊娠性高血圧と産前健診の 2 科目に関しても、簡易的な補完教材を作成することが決まった。

- 計画**
- ① 各支所の技術審議会（CTAM）で、妊産婦管理台帳の補完講習を行う。
 - ② 母子保健技術委員会で、妊娠性高血圧と産前健診の簡易補完教材を作成する。
 - ③ 両 SILAIS は、適切に補完講習が実施されているか、妊産婦管理台帳が正しく記入されているか巡回指導を行う。

1-2. ESAFC 活動

1) 対象地域全体における ESAFC 活動

第 6 回運営委員会で、10 月に実施した 161 保健セクターの ESAFC 活動の評価結果を検討した。コマラパ支所、ヌエバ・ギネア支所、サント・ドミンゴ支所、アコヤパ支所など、高評価を得た支所が、その成果について経緯を説明したほか、評価が低かったビジャ・サンディーノ支所、サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所、フィガルパ支所が、

課題と今後の取り組みに関して説明した。次期評価（2018年1月）までの課題として、特にESAFCの根本的活動である活動2「保健セクター月例会議」の確実な開催と、集落情報収集および分析に欠かせない活動4「集落マップ作成」の促進が提言された。10月のESAFC活動評価における161保健セクターの活動達成状況は、表1のとおりであった。

表1 各ESAFC活動の保健セクターの達成状況（各枠が保健セクター数）

SILAIS	採点	ESAFC活動の各項目について、採点されたセクター数												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
チョンタレス	無	0	8	12	1	17	12	1	0	45	62	71	84	41
	可	1	9	6	38	7	7	24	35	19	12	7	0	5
	良	0	14	9	10	11	13	14	19	5	5	1	0	5
	優	7	14	13	10	5	12	20	8	7	2	2	0	0
	秀	79	42	47	28	47	43	28	25	11	6	6	3	36
	セクター数合計	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87
セラヤ・セントラル	無 (0点)	1	0	13	14	10	19	18	14	34	58	61	67	27
	可 (1点)	0	1	5	6	5	6	13	13	13	3	3	0	0
	良 (2点)	0	11	8	10	9	23	15	13	6	7	7	4	0
	優 (3点)	5	0	3	6	5	11	4	11	4	1	0	0	0
	秀 (4点)	68	62	45	38	45	15	24	23	17	5	3	3	47
	セクター数合計	74	74	74	74	74	74	74	74	74	74	74	74	74

2) ESAFC 活動の好事例集

第6回運営委員会で、プロジェクトおよびパイロット地区関係者で作成したESAFC活動の好事例集の内容を精査し、今後、これをESAFC活動活性化のために活用することで合意した。保健サービス総局（DGSS）と対外協力局（DCE）では、他SILAISへ、これら好事例で取られた手法がESAFC活動促進の有効な参考資料になると、高評価であった。プロジェクトでは、印刷原稿の編集を進めている。

- 計画
- ① 支所でESAFCが出席して開催される技術審議会（CTAM）や巡回指導を通じて、ESAFC活動の促進を図る。
 - ② ESAFC活動の好事例集の編集を終え、印刷を発注する。
 - ③ 社会奉仕の医師・看護師へのKAP調査のデータ集計および両SILAISとの分析作業を継続する。

1-3. 技術統合巡回指導

1) 巡回指導の実施状況

両SILAISによる巡回指導の実施状況は、表2のとおりである。

表2 SILAISが実施する巡回指導

SILAISの活動	特徴	11月実施数	
		チョンタレス	セラヤ・セントラル
統合巡回指導	支所の多岐にわたる活動の巡回指導をSILAISがスーパーバイズ	3支所	3支所

特定巡回指導	ES AFC 活動・研修モニタリングに特化したスーパーバイズ	0 支所	2 支所
保健セクター会議同席	ES AFC 活動視察	2 支所	2 支所
技術審議会(CTAM)同席	保健セクターの医療チームが参加	5 支所	3 支所
技術審議会(CTOM)同席	支所の幹部のみ	2 支所	2 支所

巡回指導を繰り返すことで、支所および保健セクターは、各活動における課題の抽出方法を学んでいる。単に SILAIS の保健行政能力が向上するだけではなく、支所のモニタリング能力が向上し、保健医療従事者によるサービスおよび ES AFC 活動の質を高めている。プロジェクトは、これらの活動をスーパーバイズしつつ、巡回指導のさらなる質の改善と効率的な手法の確立を目指している。

2) 保健セクター用の発表様式

プロジェクトが両 SILAIS とともに導入した、保健データの分析すべき要点を可視化した統一発表様式は、対象 14 市で活用され、徐々に定着してきている。統一発表様式を導入したことで、各支所では分析すべき要点が確立してきており、計画立案や活動の改善に反映できるようになっていることが、支所技術審議会で確認されている。

- 計画** ① 各支所は、CTAM の統一発表様式報告内容を用い、保健医療サービスの進捗確認および保健セクターに対する分析支援を継続する。

1-4. レファラル・カウンターレファラル

1) レファラル・カウンターレファラルのデータ収集・分析・フィードバック

レファラル・カウンターレファラルの様式に、記入漏れや記入ミスが未だに多くある。各支所や病院で、レファラル用紙の記入に関し指導しているが、指導優先項目を定める目的で、効率的な評価基準をレファラル・カウンターレファラル委員会で定めることとなった。

レファラルの評価に関しては、地域病院の医療従事者が、支所による患者の診察と搬送が適性か否かを評価し、用紙の記述に関しては、省令に即して統計課が評価している。一方、カウンターレファラルの評価に関しては、支所間で評価に差があることから、委員会で統一の評価基準の適用に関して協議した。省令では評価基準として 14 項目規定されているが、業務判定の効率化を目的として、重要な 9 項目（①読みやすい文字、②患者氏名、③患者の正確な住所、④自治体名、⑤退院時の診断、⑥退院日、⑦臨床概要と治療、⑧推奨事項、⑨医師の署名と印鑑）のみを評価することで合意した。これらは、両 SILAIS の CTO で承認され、各支所はカウンターレファラルの評価に取り組み始めた。

2) 地域病院内にとどまる産褥婦の産後健診

地域病院で取り組み始めた院内の産褥婦に対する産後健診や必要な継続ケアは、ファイガルパ支所が派遣する医師によって順調に実施されている。これは、保健省にとっても全国で初めての試みである。課題として挙げられていた産後健診の診断書の送付については、ファイガルパ支所がスキャンもしくは写真撮影し、電子メール等を利用して、いち早く各支所へ共有されることになった。また、地域病院での産後健診を統計

データに加える件については、ファイガルパ支所が診察月報をまとめ、SILAIS の統計課により支所の統計データに反映されることになった。

3) 向こう 4 週間の妊産婦監理

出産間近となった妊産婦監理に関しては、安全な出産を目的とした向こう 4 週間の妊産婦に取り組んできた。活動は順調に定着しているものの、必ずしも 100%の妊婦が継続的に監理されているわけではない。SILAIS は各支所を巡回し、同監理の強化を図っている。また、第 2 期に入り、妊産婦監理と同様に産後健診と新生児体重を監理する項目を加える取り組みを進めている。両 SILAIS の母子保健技術委員会を開催し、1 枚の Excel 様式で、産前健診、出産、産後健診、乳幼児健診を監理する統一シートの作成に取り組んだ。この統一シートは、SILAIS だけではなく、支所レベルでも統一することで、Excel データの応用度を高めることが可能となる。

- 計画
- ① 各支所および地域病院が実施するレファラル・カウンターレファラルの評価結果をフォローする。
 - ② 病院内での産褥婦および新生児管理を強化促進し、その活動を SILAIS とともにスーパーバイズする。
 - ③ 産褥婦および新生児体重監理 Excel シートの活用状況をモニタリング・分析し、課題を検討する。

1-5. 機材調達管理

1) 第 1 期分供与機材の進捗

未納となっていた機材が全て納入業者 Casa Teran の倉庫に収められたことが JICA ニカラグア事務所により確認された。納入業者による第 2 回納品が開始されたが、選挙などの影響を受け、順調な納品状況とは言えない。11 月末の時点で、納品は完了していない。両 SILAIS は、各医療施設への第 2 回納品状況を、各支所を通じて確認している。

2) 供与機材稼働モニタリングシステム

機材調達管理専門家が、本省機材管理センター (GEMED) 技官、地域病院機材保守管理技術者、SILAIS 担当者とともに、供与機材稼働モニタリングシステムを構築した。これには、既存の機材管理台帳と機材情報シートを用いたほか、半年に 1 度各支所の機材管理担当者が、支所内の全医療施設を訪問し、機材管理台帳を更新する通常業務を活用した。この台帳更新の際に 3 段階の稼働評価 (表 3) を行っている。

表 3 3 段階の評価

B : Bueno 良好	良好に稼働中
R : Regular 可	何らかの不具合があるが、使用できる状態
M : Mal 不可	故障して使用できない状態

機材調達管理専門家は、第 1 期分供与機材 40 アイテムの機材情報シートを作成し、そこに簡易的な稼働チェック項目を設けた。プロジェクトはこれをもとにした機材修理に関する次の仕組みを提案した。

- (1) 各支所の機材管理担当者は、上記シートをもとに供与機材の稼働状況をチェック

- し、機材管理台帳に評価結果を記録する。
- (2) 同結果を SILAIS へ報告する。
- (3) SILAIS は、予算と修理の優先順位を考慮して、地域病院の機材保守管理技術者もしくは、CEMED に修理を依頼する。

SIL AIS セラヤ・セントラルに対しては、第 6 回運営委員会において、同 SILAIS の各支所の機材管理担当者ほか、本省、SIL AIS および支所長を対象に、供与機材稼働モニタリングシステムの説明を行った。SIL AIS チョントレスは、別日程で 10 支所中 9 支所と地域病院の機材管理担当者を集め、同システムの説明を行った。欠席したエル・アヨテ支所は、機材管理担当者が欠員していたが、支所長より新規に雇用した担当者へ説明が行われた。これら 2 回の説明会は、両 SILAIS の供与機材稼働管理担当者がそれぞれ実施した。

- 3) 第 2 期分供与機材の進捗
第 3 回 JCC で表 4 の機材が、第 2 期分供与機材とすることで合意し、保健大臣から承認を得た。

表 4 第 2 期分供与機材最終候補

SIL AIS チョントレス		SIL AIS セラヤ・セントラル	
No.	機材名	No.	機材名
1	双眼顕微鏡	1	遠心分離機
2	分光光度計	2	双眼顕微鏡
3	遠心分離機	3	ウォーターバス
4	パルスオキシメーター	4	パルスオキシメーター
		5	心電計

プロジェクトは、マナグア市内の取扱業者を訪問し、仮見積もりを取得し、予算 500 万円に収まる機材個数の確定を進めている。取扱業者により金額に大きな違いがあることから、CEMED とプロジェクトは、各取扱業者の参考機材のカタログを検証している。

- 計画 ① 第 1 期分供与機材の納品を促進し、機材の受け取り状況を確認する。
- ② 来年 1 月に実施予定の機材管理台帳更新時に第 1 期分供与機材の稼働状況をモニタリングする。
- ③ 第 2 期分供与機材の個数を確定し、見積競争を開始する。

1-6. 運営業務

- 1) 第 3 回 JCC
第 3 回 JCC を保健大臣室で開催し、ニカラグア側は、保健省から大臣、DGSS 総局長、DCE 局長、SIL AIS チョントレスおよびセラヤ・セントラルの局長と保健サービス課長、外務省太平洋地区担当技官、日本側は、大使館書記官、JICA ニカラグア事務所から所長、案件担当企画調査員、案件担当現地職員、プロジェクト専門家（2 名）とテクニカルアシスタント（1 名）が参加した。議事録は添付のとおり。
- 2) PDM 指標の改訂
第 2 回 JCC で、プロジェクトの効果をより明確に測ることができる PDM 指標である

よう、その改訂が提言された。これを受け、プロジェクトは保健省および JICA と PDM 指標の見直し作業を進めてきた。第 3 回 JCC において、プロジェクト目標の指標 1 「妊娠後 12 週以内の初回健診割合」と指標 3 「中期産後健診（産後 2～10 日間）の割合」の分母を推定値からより現実的な数値へ変更し、また、同指標 1 の目標値を「75.0%」から「上昇する」に変更することで合意した。

計画 ① PDM の改訂に伴い、JICA 人間開発部の承認を得た後、JICA ニカラグア事務所長と保健大臣の間で、同改訂に係わるミニッツ文書に署名する。

3) 国際フォーラム

国際フォーラム 2018 のアジェンダ（草案）を第 3 回 JCC で、保健大臣に説明し、開催の合意を得た。保健省が JICA と共催するにあたり、大統領府に開催の確認を行い、承認を得た。開催時期は、10 月を予定していたが、本年、この時期にハリケーンの影響を多く受けたことから、開催時期を 2018 年 8 月とすることを JCC で合意した。同月第 3 週もしくは第 4 週の水曜日から金曜日の日程で調整しており、内容の詳細は今後決定してゆく。

1-7. 関連事項

1) パイロット地区の保健ポスト開設

プロジェクトのパイロット地区であるアコヤパ支所のチナル保健セクターに保健ポストが開設された。チナル保健セクターは、2016 年 5 月にエル・サポテ保健セクターから分割して誕生した新しい保健セクターである。パイロット地区として ESAFC 活動が強化され、コミュニティネットワーク（RC）がエンパワーメントされ、RC による市役所へ予算確保の働き掛けが行われた結果、通常よりも早くに保健ポストの新規開設に至った。プロジェクト活動のインパクトといえる。

2. 主な活動日程

<11 月>

- 1～3 日：第 2 期分供与機材取扱業者訪問
- 3 日：第 14 回 JICA ニカラグア事務所との定期会議
- 5 日：ニカラグア統一市長選挙投票日
- 7 日：クアパ支所 CT0
- 8 日：コマラパ支所 CTAM
- 9 日：フィガルパ支所 CTAM、ラ・リベルタ支所 CTAM、サント・トマス支所 CTAM、サント・ドミンゴ支所 CTAM
- 10 日：第 6 回プロジェクト運営委員会
- 14 日：エル・コラル支所技術統合巡回指導
- 15 日：アコヤパ市チナル保健セクター保健ポスト開所式、サント・ドミンゴ支所チナモス保健セクター会議
- 17 日：第 15 回 JICA ニカラグア事務所との定期会議、ヌエバ・ギネア支所 CTAM
- 18 日：鈴木一代（機材調達管理）専門家離任
- 20 日：SILAIS セラヤ・セントラル母子保健技術委員会
- 21 日：エル・アヨテ支所 CTAM
- 22 日：両 SILAIS 母子保健技術委員会、エル・アヨテ支所技術統合巡回指導、エル・

コラル支所 CTAM

- 23 日：両 SILAIS レファラル・カウンターレファラル委員会、フィガルパ支所技術統合巡回指導、ヌエバ・ギネア支所タロリング保健セクター会議
- 24 日：ラ・リベルタ支所技術統合巡回指導
- 26 日：DGSS、DCE、両 SILAIS とのプロジェクト定期会議
- 27 日：第 2 期分供与機材取扱業者訪問、エル・ラマ支所 CTAM
- 28 日：第 3 回合同調整委員会、エル・ラマ支所技術統合巡回指導、クアパ支所 ESAFC 活動知見共有
- 29 日：ビジャ・サンディーノ支所 CTAM、エル・ラマ支所ワピ保健セクター会議、エル・ラマ支所マロン保健セクター会議、サント・ドミンゴ支所ブルン 2 保健セクター会議
- 30 日：エル・ラマ支所技術統合巡回指導、ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所技術統合巡回指導

3. 今後の予定

<12 月>

- 1 日：ヌエバ・ギネア支所技術統合巡回指導
- 6 日：ラ・リベルタ支所 CTAM、サント・トマス支所 CTAM
- 13 日：コマラパ支所 CTAM、クアパ支所 CTAM、ビジャ・サンディーノ支所 CTAM
- 14 日：フィガルパ支所 CTAM、サント・ドミンゴ支所 CTAM、サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所 CTAM、エル・アヨテ支所 CTAM
- 15 日：中村二郎（総括/地域保健）専門家離任
- 22 日：渡辺咲子（副総括/地域保健/業務調整）専門家離任

4. 添付書類

添付資料 1： 第 3 回 JCC 議事録

5. 活動写真

別添のとおり

6. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

添付資料 1



議事録 母と子どもの健康プロジェクト 第3回合同調整委員会 2017年11月28日(火) マナグア

場所: 保健省保健大臣会議室

時間: 10:30 ~ 12:30

目的:

- プロジェクトの進捗と成果の確認.
- PDM 指標の改訂
- 「国際フォーラム 2018」草案の確認

参加者:

ニカラグア側

- 保健省本省:
ソニア・カストロ保健大臣、プロジェクトディレクター
マリアデルロスアンヘレス・ボエデッカー対外協力局長
カルロス・クルス保健サービス総局長、プロジェクトマネージャー
- 外務省:
ナタリー・カスコ対外協力局技官 (オブザーバー)
- SILAIS チョントレス:
ディルマ・シリアス SILAIS チョントレス局長代理
マリソル・メヒア保健サービス課長
- SILAIS セラヤ・セントラル:
フェルナンド・カナレス SILAIS セラヤ・セントラル局長
アナ・フエンテス保健サービス課長

日本側

- JICA ニカラグア事務所
高田宏仁事務所長
藤原麻紀子企画調査員
エドルフォ・グティエレス プログラムオフィサー
- 在ニカラグア日本大使館
茅野泰司書記官 (オブザーバー)
- SAMANI プロジェクト:

中村二郎総括/地域保健
渡辺咲子副総括/地域保健/業務調整
バイロン・ペレス プロジェクトテクニカルアシスタント

議事進行:

1. 開会の辞と目的説明
2. プロジェクトの進捗と成果の発表
3. PDM 達成度と指標改定の発表
4. 「国際フォーラム 2018」草案の発表
5. JICA ニカラグア所長からの言葉
6. 合同調委員会委員長の言葉

1. 開会の辞と目的説明

対外協力局長により、開会の辞と会合目的の説明があった。

2. プロジェクトの進捗と成果の発表

SILAIS セラヤ・セントラル局長が「プロジェクト活動進捗と成果」を発表。プロジェクト上位目標、プロジェクト目標、プロジェクト活動成果の説明を行った。

プロジェクト第 2 期分供与機材の選定が終了した。また、第 1 期分供与機材の 95%の納品・設置が終わった。それに伴い機材調達管理専門家により、各 SILAIS および支所の機材管理責任者に対し、稼働モニタリング体制の研修が実施された。

第 2 期分供与機材に関して、選定した機材の設置場所は、SILAIS セラヤ・セントラルの 2 カ所の第一次病院、SILAIS チョンタレスの地域検査室、保健センター、地域病院を対象としていると説明し、大臣の承認を要請した。大臣より「機材は各医療施設のサービスに合った機材を選定すること。また、提供していないサービスに使用するような機材は設置しないこと」と注意があった。

母子保健研修に関して、研修用教材を保健省令に則り作成し、全 ESAFC に研修を実施した。研修の事後テストでは、医師は平均 90%を超えたが、准看護師は 80%であった。

研修では、「妊産婦台帳」「妊娠性高血圧」の成績がほかの項目より低かった。特に事後テストの結果が低かった医療従事者に対しては、再研修を実施した。

保健プロモーションでは、媒介虫対策用のステッカーを作成し、学生や保健ボランティアが予防活動に使用した。また、マタニティホーム利用促進ポスターは、掲示板を各 ESAFC が作成し、全医療施設に掲示した。

ESAFc 活動に関して、ESAFc 活動ガイドの最初の 8 活動は医療チーム、次の 4 活動はコミュニティネットワークに関連した活動であり、全保健セクターで実施している。ESAFc 活動ガイドは 1 年間実施し、ガイドの評価基準の最高点である 52 点を目指して活動をしている。保健セクターによっては、活動を妨げるような問題もあるが、進捗は見られている。

統合巡回指導により、保健セクターの「妊産婦管理台帳」の利用や「レファラル・カウンターレファラルシステム」、ES AFC 活動やその他の活動の実施能力の向上につながっている。統合巡回指導は、保健セクターを管轄する支所が、ES AFC に対して実施し、SILAIS がスーパーバイスしている。また、安全な出産のための、保健セクターからの緊急レファラルの事例をビデオ化し、研修に使用している。

SILAIS や支所で実施される技術審議会では、SILAIS 一支所間、支所—保健セクター間で実施された巡回指導結果が報告され、課題や教訓を共有している。

来年計画されている、国際フォーラム開催に向け、大臣の承認を要請した。その他の活動として、青年海外協力隊や PAHO との連携、コミュニティ活動における、好事例集の作成を報告した。

3. PDM 達成度と指標改定の発表

SILAIS チョントレス局長代理により、2017 年 1 月から 9 月までの PDM 達成度と指標改定の発表が行われた。

上位目標に関して 2017 年 9 月までの指標を発表した。

妊産婦死亡比平均 53.9、乳児死亡率 13.1、5 歳未満児死亡率 15.8、5 歳未満児死亡率はベースラインと同じであるため、今後改善する努力が必要である。

慢性栄養不良児の割合はベースラインとほぼ変わらず、10.2%であった。

プロジェクト目標に関して、妊娠 12 週以内の妊婦の補足は 52%でベースラインより低下した。

分娩施設で現在有効な分娩 3 期ケアと出産直後の新生児ケアの質の指標を満たす割合は 95.4%、

中期（産後 2～10 日）産後健診の受診率 69.9%は、目標値に達成できていないため、さらに努力が必要である。

保健大臣より「目標指数について、各 SILAIS で達成の度合いが異なることから、一つの指標を達成目標とするのではなく、達成度合いにより、さらなる向上を目指すべき」との意見があった。

1～4 歳の 1 回目乳幼児健診を受ける割合は 54.1%で目標達成に至っていない。マタニティホームに宿泊した農村地域の妊婦の割合は 56.2%、2 歳未満児へのケアの質の指標を満たす割合は 84.6%、産前ケアの指標を満たす割合は 83.5%、支所から病院へ緊急レファラルされた妊産婦および 2 歳未満児のレファラル台帳の記録の一致割合は 76%、カウンターレファラルの一致割合は 79.9%であった。

ES AFC が住民参加型保健強化手法を用いて、活動計画を策定・実施した割合は 93.2%、コミュニティネットワークのイニシアチブの合意として実施された活動割合は 16.1%、ES AFC の医療従事者がコミュニティネットワークとともに分析や反映を行った割合は 6.2%であった。これらについては、活動数を増やすことが必要である。

SILAIS の技術統合巡回指導を受ける支所の割合は 78.6%、情報分析会議を実施した割合は 36.5%、情報を正確に記録する第一次保健施設の割合は 50.8%であった。

PDM 指標修正案について、プロジェクト目標 1、妊婦が 1 回目の産前健診を妊娠 12 週以内に受診する割合に関しては、分母を妊婦推定数（ニカラグア統計局）から総妊婦補足数（保健省情報システム）に変更するため、ベースライン値を 62.5% から 65.5%に変更する。これは、推定数から実際に補足した数にすることにより、さらに現状に近い指数を出すための変更である。

保健大臣より「同指標の分母は、総妊婦補足数もしくは、妊婦推定数にすべきと考える。総妊婦補足数は医療施設で健診を受けた妊婦数であるが、そうすると、健診を受けない妊婦が入らない。この健診を受けない妊婦がハイリスクであり、産科合併症を引き起こす可能性が高い。このことから、妊婦推定数を使うのが適切である。これらの妊婦をケアすることに挑戦することに意義がある」と発言があった。

SILAIS セラヤ・セントラル保健サービス課長より「すべての妊婦を補足し、ケアするべきであるが、指標を分析した結果、推定数と現状では、数値の差が大きい。そのため、総妊婦補足数を使うのが最良である」と発言があった。

プロジェクト総括より「出生数を使う場合、出生届の猶予が 1 年間であり、出生数の確定には 1 年が必要となっている。プロジェクトエンドラインは 2019 年 2 月を計画しているため、適切な分母を採用しなければならない」と発言があった。

保健大臣より「同指標の場合、出生数を分母にした場合、流産や死産が入らなくなるので適切ではない。そのため、総妊婦補足数が適切である」との意見があった。

プロジェクト総括より、2014 年から 2017 年までの総妊婦補足数、妊娠推定数、出生数の統計の比較表を提示した。保健大臣は、総妊婦補足数を分母に使用することに合意した。

プロジェクト総括より、他国の早期妊婦健診の割合を比較しても、現在のプロジェクト目標値は高すぎることから、指標を数値より「上昇する」に改定を提案した。保健大臣より「これは、当事者である SILAIS が目標を達成できるか、できないかを協議すべき」と提案があり、両 SILAIS は指標をベースラインの 65.5%から「上昇する」に合意した。

プロジェクト目標 3 の中期（産後 2～10 日）産後健診の受診率について、2014 年の 75.3%（ベースライン）を 77.4%に修正した。修正理由は、指標の分母を「推定分娩数（ニカラグア統計局）」から、「専門技能者が立ち会った分娩数」に変更したことにより、推定数から、より現状に近い数値に変更されたためである。保健大臣は、修正案に合意した。

4. 「国際フォーラム 2018」草案の発表

保健サービス総局長より、「国際フォーラム 2018」の草案が発表された。2018 年 10 月実施に向け、草案作成のための協議を重ねた。フォーラムの目的は、モンテビデオ宣言を基に実施された、地域保健活動の成果と課題の共有である。招待者は国内外 125 人を計画している。保健大臣より、国外招待者の対象者に関する質問があり、これらの国々で JICA が母子保健、もしくは地域保健プロジェクトを実施した旨説明した。

フォーラムの内容に関して、アジェンダ、招待者、4 テーマ別グループディスカッション等、草案を発表した。

プロジェクト総括より、「JICA は、技術協力実施国で国際フォーラムを開催しており、そこへ、保健省より C/P が参加した。2018 年は同プロジェクト枠で開催を計画しているが、保健省主導で計画を進めていきたい」と説明した。保健大臣より「国際フォーラムの開催は、ニカラグア政府にとっても良い機会となる。グループディスカッションには、多くの国から参加してほしい。しかし、10 月はハリケーンシーズンであることから、開催日の変更を提案する。また、国際フォーラムの開催に関しては、保健省の計画に入れるように保健大臣より要請する」と意見と提案があった。

協議の結果、国際フォーラムの開催は 8 月に変更することとなった。また、具体的な開催日に関しては、国際フォーラム実施案を提出し、保健省の年間計画に組み込むよう保健大臣より依頼することとなった。

5. JICA ニカラグア所長からの言葉

JICA ニカラグア事務所長は、最初にチョンタレスで 10 月に発生した事故の被害者に追悼の意を表した。

PDM、プロジェクト目標 1『妊婦 12 週までの妊婦の補足』と目標 3『産後検診』の指標改定に関し、保健省と合意でき、感謝している。これらの指標の改定により、プロジェクトの活動を的確に評価できると思う。また、成果達成への支援として、医療機材の供与も行った。機材は両 SILAIS の保健ポスト、病院等 106 施設に供与した。

ESAFIC やキーパーソン全員の努力で、女性と子供のための母子保健を向上できることを願っている。そしてプロジェクトの成果が他の SILAIS に普及し、保健サービスや MOSAFIC が強化することを願っている。

6. 合同調整委員会委員長(保健大臣)の言葉

指標の発表で、保健サービスの質にかかわる指標が飛躍的に向上していることを確認し、嬉しく思う。医療機材の供与はとても重要であるが、保健人材の能力向上はさらに重要である。毎回、多くのことを学んでいる。特に、活動の継続的なフォローをする価値は大きく、そうでなければ、進歩しない。保健省や大統領への支援に感謝している。いかなる住民に対しても公平で、ユニバーサルカバレッジがより良い成果につながり、さらには貧困から抜け出すことができるよう、精進する。

7. 合意事項

- (1) 第 2 期分供与機材に関して、発表した選定機材を承認した。
- (2) PDM 指標改定に関し、発表で提案された改定を承認した。
- (3) 保健大臣は、2018 年 8 月に予定される、国際フォーラム開催許可を大統領府に申請する
- (4) PDM 指標改定に伴い M/M を作成し、署名を行う。

以下参加者署名

Dra. Sonia Castro
Ministra de Salud

Ing. María de los
Ángeles Boedeker
Directora de
Cooperación Externa,
MINSA

Dr. Carlos Cruz
Dirección General
de Servicios de
Salud MINSA

Dra. Dilma María
Sirias
Director
General(a.i)
SILAIS Chontales

Lic. Marisol Mejía
Servicios de Salud
SILAIS Chontales

Dr. Fernando
Canales
Director General
SILAIS Zelaya
Central

Dra. Ana Fuentes
Servicios de Salud
SILAIS Zelaya
Central

Sr. Hirohito Takata,
Representante
Residente JICA
Nicaragua

Lic. Makiko
Fujiwara
Oficial de
Programa
JICA Nicaragua

Lic. Edrulfo
Gutiérrez
Oficial de Programa
JICA Nicaragua

Lic. Jiro Nakamura,
Líder del Proyecto
Proyecto SAMANI

Lic. Sakiko
Watanabe,
Coordinadora
administrativa
Proyecto SAMANI

5. 活動写真



第3回 JCC
保健省大臣室会議室で実施



左同。 左手前より日本大使館書記官、JICA
ニカラグア事務所案件担当現地職員、同企画
調査員、JICA 事務所長。中央が保健大臣、右
列はニカラグア側関係者



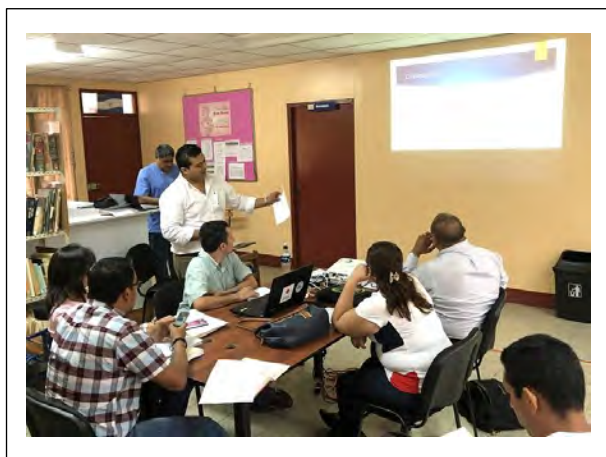
第6回運営委員会
SILAIS セラヤ・セントラル局長



第6回運営委員会
SILAIS チョントレス局長代理



両 SILAIS 合同母子保健技術委員会
SILAIS チョントレス



レファラル・カウンターレファラル委員会
アスンシオン地域病院



SILAIS チョントレス同行、支所技術審議会
サント・ドミンゴ支所



巡回指導
エル・アヨテ市ホボ保健セクター



第1期分供与機材を確認する
機材調達管理専門家と機材保守管理技士
アスンシオン地域病院



機材稼働モニタリングシステム説明会
SILAIS チョントレス



第1期分供与機材
産婦人科用診察台と踏み台
エル・アヨテ保健センター



ESAFc 活動の進展により設置された
新保健ポストの開所式
アコヤパ支所チナル保健セクター

2018 月 1 月 9 日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2017年12月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎 

標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. 対象 14 支所における医療従事者研修

1) 妊産婦管理台帳の補完講習教材

両 SILAIS 母子保健技術委員会で作成した「妊産婦管理台帳」の補完講習教材は、各 SILAIS の技術審議会（CTOD）で共有された。支所の技術審議会（GTAM）において、医療従事者らに対する補完講習が実施された。

2) 妊娠性高血圧、産前健診の補完講習教材

両 SILAIS 母子保健技術委員会は、研修事前・事後テスト分析結果および技術統合巡回指導の結果を基に、SILAIS セラヤ・セントラルの委員が「妊娠性高血圧」、SILAIS チョンタレスの委員が「産前健診」の補完講習教材を担当し作成中である。

3) 「モニタリングハンドブック」の活用

技術統合巡回指導で使用するため、両 SILAIS 母子保健技術委員会で作成した「産前健診」と「乳幼児健診」の「モニタリングハンドブック」は、保健セクターの医療従事者が自己評価に活用するよう、保健セクターにも配布した。また、SILAIS チョンタレス看護技術審議会で、10 支所の看護師長に対して、「モニタリングハンドブック」活用指導を行った。

計画 ① 両 SILAIS は、適切に補完講習が実施されているか、妊産婦管理台帳が正しく記入されているか巡回指導を行う。

② 各 SILAIS 母子保健技術委員会で作成した補完講習教材を両 SILAIS 母子保健技術委員会で検証する。

1-2. ESAFC 活動

- 1) 対象地域全体における ESAFC 活動
161 保健セクターにおける ESAFC 活動は、13 項目の活動が順調に進捗しているかどうか、各支所がモニタリングを実施している。また、両 SILAIS は、支所の技術審議会を介して、前回評価で低ポイントだった保健セクターの進捗を注視している。
- 2) ESAFC 活動の好事例集
ESAFc 活動の好事例集の編集を終え、印刷会社に発注した。
- 3) 社会奉仕医師・看護師への KAP 調査
社会奉仕医師・看護師への KAP 調査データの集計作業を進めている。

- 計画**
- ① 支所で ESAFC が出席して開催される技術審議会 (GTAM) や巡回指導を通じた、ESAFc 活動の促進を継続する。
 - ② ESAFC 活動の好事例集を各支所へ配布し、各支所の研修ファシリテーターがその使い方を ESAFC の医療チーム (医師・看護師・准看護師) へ説明する。
 - ③ KAP 調査のデータの集計作業を終了し、両 SILAIS と分析に取り組む。

1-3. 技術統合巡回指導

- 1) 巡回指導の実施状況
両 SILAIS による巡回指導の実施状況は、表 1 のとおりである。

表 1 SILAIS が実施する巡回指導

SILAIS の活動	特 徴	12 月実施数	
		チョンタレス	セラヤ・セントラル
技術統合巡回指導	支所の多岐にわたる活動の巡回指導を SILAIS がスーパーバイズ	3 支所	3 支所
技術審議会 (GTAM) 同席	保健セクターの医療チームが参加	5 支所	3 支所
統計データの質管理	保健セクターが扱う様々な統計データの質を確認	4 保健セクター	4 保健セクター

技術統合巡回指導、技術審議会 (GTAM) 同席、統計データの質管理は、それぞれ PDM の活動 3-1、3-2、3-3 の指標に相当する活動である。両 SILAIS は巡回指導の中で、これらの活動の比重を高めてきている。これにより、下記のような成果があったことが SILAIS 技術審議会等で報告されている。

(1) 技術統合巡回指導

実施前: 専門別のモニタリングはあったが、体系的な巡回指導の手法が確立・実施されていなかった。

実施後: 診療記録、医薬消耗品などの物品管理記録、コミュニティ・ネットワークとの活動記録の不備 (記入漏れ・内容の不足・誤記・判読不明な文字等) の有無が確認されるようになった。問題があった場合は、その都度、改善方法を期日を定めて指導し、その後も継続してフォローアップすることで、管理方法、モニタリング方法が確立され、レファラル・カウンターレファラル (PDM 成果指標 1-3、1-4) など様々な記録が改善されている。

(2) 支所の技術審議会(CTAM)同席

実施前: SILAIS による専門別のモニタリングはあったが、組織的・継続的な巡回指導が実施されていなかった。

実施後: SILAIS 内で支所別にモニタリング担当官が決められた。

担当官はそれぞれの支所の技術審議会に同席することで、保健セクターの活動状況、活動指標の達成度を継続してモニタリングするようになった。また、活動上の問題点が見つかった場合、全体でその問題を分析し、改善点を見出し、合意事項として、次回の技術審議会で検証作業がなされるようになった。

(3) 統計データの質管理

実施前: 記録の未記入、二重記入が散見された。

実施後: SILAIS の担当者自身が支所と各保健セクターの弱点・課題を具体的に把握するようになり、質の改善に繋がる具体的な指導がなされるようになった。

計画 ① SILAIS および各支所は、巡回指導を継続する。

1-4. レファラル・カウンターレファラル

1) レファラル・カウンターレファラルのデータ収集・分析・フィードバック

レファラル・カウンターレファラルの様式の記入漏れや記入ミスを減少させるために、各支所や病院は、レファラルおよびカウンターレファラルの様式が適正に記入されているかどうか、継続して検証している。先月にレファラル・カウンターレファラル委員会で定めた評価基準を導入した。

2) 向こう 4 週間の妊産婦監理

各支所は、各保健セクターが手書きで管理している妊産婦管理台帳を Excel シートにデジタル化している。それを基に向こう 4 週間の妊産婦監理対象となる妊産婦の抽出を容易にするため、新たな Excel シートを導入し、妊婦の搬送、出産管理、産後検診の管理などに活用している。両 SILAIS は、各支所を巡回し、この新たに導入した Excel シートによる出産間近の妊婦および産褥婦、新生児体重の監理状況をモニタリングし、周産期前後の時期を含む女性の継続ケアとそれに必要な監理手法の定着を進めている。

計画 ① 各支所および地域病院が実施するレファラル・カウンターレファラルの評価結果をフォローする。

② 妊婦、産褥婦および新生児体重監理 Excel シートの活用状況のモニタリング・分析および課題の検討を継続する。

1-5. 機材調達管理

1) 第 1 期分供与機材の進捗

未納となっていた機材の納入計画が納入業者 Casa Teran から JICA ニカラグア事務所に提出された。それによると、納品が終了するのは 2018 年 2 月末までとなっている。

る。両 SILAIS は、各医療施設への第 2 回納品状況を、各支所を通じて確認している。

2) 第 2 期分供与機材の進捗

第 3 回 JCC での合意に基づき、第 2 期分供与機材の手続きを進めている。保健省対外協力局が主導して、法律顧問、保健サービス総局、財務総局、調達総局、機材管理センター、保健資材センター、プロジェクトからなる調達委員会を設置した。機材調達に係わる工程表（添付資料）を作成し、責任の所在を明確にし、調達作業を開始した。見積競争に提示した機材リストは、表 2 のとおりである。

表 2 見積競争に提示した第 2 期分供与機材

SILAIS チョントレス

No.	機材名	合計	保健センター	地域ラボ	地域病院
1	双眼顕微鏡	4	2	2	
2	分光光度計	2		1	1
3	ヘマトクリット遠心分離機	1	1		
4	パルスオキシメーター	6	6		

SILAIS セラヤ・セントラル

No.	機材名	合計	一次医療病院	
			エル・ラマ	ムエジェ
1	遠心分離機	2	1	1
2	双眼顕微鏡	2	1	1
3	パルスオキシメーター	6	3	3
4	心電計	2	1	1

- 計画 ① 第 1 期分供与機材の納品を促進し、機材の受け取り状況を確認する。
 ② 機材管理台帳を更新し、第 1 期分供与機材の稼働状況をモニタリングする。
 ③ 第 2 期分供与機材の見積競争を実施し、機材調達契約書を用意する。

1-6. 運營業務

1) 国際フォーラム

国際フォーラム 2018 のアジェンダ（草案）をベースとして、2018 年 8 月第 3 週もしくは第 4 週の開催を目指し、保健省、JICA 本部、PAHO ニカラグア事務所、国際開発銀行 (IDB) ニカラグア事務所などと開催の技術面および資金面の連携に関して、調整を進めている。

2. 主な活動日程

<12 月>

4 日：SILAIS チョントレス CTOD

6 日：ラ・リベルタ支所 CTAM、サント・トマス支所 CTAM、保健省第 2 期分供与機材調達会議

11 日：エル・ラマ支所 CTAM、

12 日：エル・アヨテ支所技術統合巡回指導、SILAIS チョントレス・マタニティーホーム責任者会議

13 日：クアパ支所 CTAM、ビジャ・サンディーノ支所 CTAM、ヌエバ・ギネア支所技

術統合巡回指導、保健省第 2 期供与機材調達委員会会議

- 14 日：ヌエバ・ギネア支所タロリング保健セクター会議、フィガルパ支所 CTAM、セント・ドミンゴ支所保健セクター間知見共有会
- 15 日：中村二郎（総括/地域保健）専門家離任、ヌエバ・ギネア支所 CTAM
- 16 日：SILAIS セラヤ・セントラル CTOD
- 18 日：エル・ラマ支所技術統合巡回指導
- 19 日：エル・ラマ支所技術統合巡回指導、クアパ支所技術統合巡回指導、SILAIS チョントレス看護技術審議会
- 20 日：エル・ラマ支所ワピ保健セクター会議、コマラパ支所技術統合巡回指導、SILAIS チョントレス CTOD
- 22 日：渡辺咲子（副総括/地域保健/業務調整）専門家離任
- 27 日：JICA 人間開発部にて報告会

3. 今後の予定

<1 月>

- 8 日：渡辺咲子（副総括/地域保健/業務調整）専門家着任
- 9 日：JICA 事務所インターン受入れ調整会議
- 10 日：全国 153 市長の就任式
- 18 日：第 2 期供与機材業者見積書受付最終日
- 19 日：第 2 期供与機材調達委員会会議（見積書開封）
- 21 日：花田恭（保健行政/マネージメント）専門家着任
- 31 日：第 2 期供与機材調達委員会会議（選定結果）

4. 添付書類

添付資料 1：第 2 期分供与機材工程表

5. 活動写真

別添のとおり

6. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

添付資料1

第2期供与機材調達計画

予算 500万円

調達方法:見積競争

調達過程		12月	1月	2月
1.6	SAMANIプロジェクト調達委員会の設置(第1回委員会)	13		
2 見積競争[見積書要請]				
2.1	見積競争の書簡を発送する。	15		
3 質疑応答期間				
3.1	見積業者の質問受付、応答は一週間を目処に行う。	19	午後3時まで受け付け	
3.2	質問に対する応答準備。	21	関連総局に送付	
3.3	質問リストを、見積業者すべてに送付する。(email)。	22		
4 見積書受付				
4.1	見積書受付期間(見積要請後2~3週間)			
4.2	見積書受付終了日(見積書は封筒に入れ、閉じた状態で受け付ける)		18	午後3時まで
4.3	見積書の開封(見積業者は参加しない。プロジェクト、保健省、JICAの立会いのもと開封する)(第2回委員会)		19	午後9時 調達委員会、JICA立会いによる開封
4.4	CEMEDによる機材仕様の確認		23	
4.5	CEMEDより機材仕様に関しての質問の送付		24	
4.6	質問の回答を受付		26	
4.7	見積書評価期間		30	
4.8	見積評価結果の発表(第3回委員会)		31	午前10時
5 交渉会議				
5.1	評価結果通知書の送付		1	
5.2	交渉会議		5	
6 契約締結とその他の業者への通知				
6.1	契約締結日(法律顧問立会い)			5日または6日
6.2	契約業者以外への通知			7

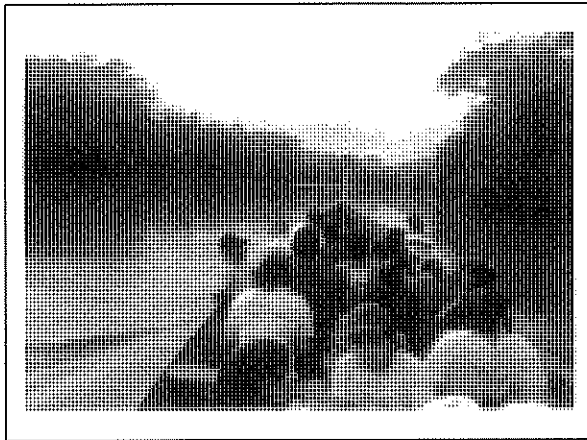
5. 活動写真



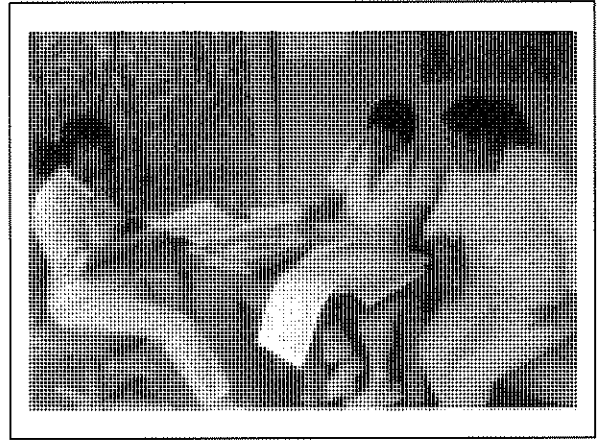
SIL AIS チョンタレス
ファイガルパ支所技術審議会
各セクターが、活動成果を発表



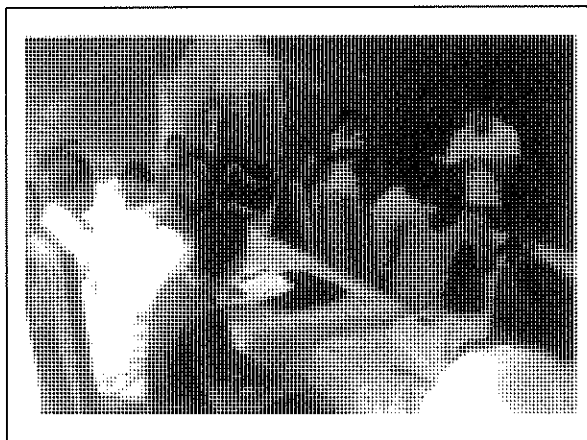
SIL AIS チョンタレス看護技術審議会
「モニタリングハンドブック」活用指導に
関する確認



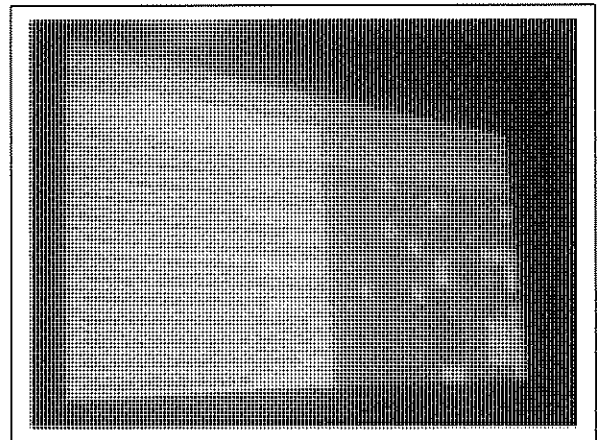
SIL AIS セラヤ・セントラル
エル・ラマ支所の巡回指導
船で移動



SIL AIS セラヤ・セントラル
エル・コラル支所の巡回指導



SIL AIS セラヤ・セントラル
エル・ラマ支所の技術審議会
SIL AIS の技官が同席



SIL AIS セラヤ・セントラル
エル・ラマ支所の技術審議会
活用されている統一の発表様式



2018年2月6日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2018年1月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. 対象 14 支所における医療従事者研修

- 1) 「産前健診」と「妊娠性高血圧症」の補完講習教材
両 SILAIS 母子保健技術委員会は、「妊産婦管理台帳」に続いて、「産前健診」と「妊娠性高血圧症」の補完講習教材を作成した。「産前健診」では、モニタリング・巡回指導の際に、健診項目の記録未記入や各項目の分析が不十分であることが確認されたため、カルテ記入方法や、分析方法に重点を置いた教材となった。また、「妊娠性高血圧」では、第 1 次医療施設での早期発見と治療開始を可能にするための診察項目や、投薬に関して間違いやすい点などを明記し、省令に沿った対応とその指導を的確に行うための実践的な内容になった。これらの教材について、2 月中に、CTA 内で各支所長に説明し、3 月中に ESAFC の医療従事者へ研修を実施することとなった。各 SILAIS の技術審議会 (CTOD) でこれを共有し、その後、各支所の技術審議会 (CTAM) において、医療従事者らに対する補完講習を実施する。
 - 2) 「モニタリングハンドブック」の活用
両 SILAIS 母子保健技術委員会が作成した「産前健診」と「乳幼児健診」のモニタリングハンドブックを、保健セクターの医療従事者が自己評価に活用するよう、全保健セクターに配布した。SILAIS や支所は、技術統合巡回指導で、同ハンドブックを用いて的確な医療サービスが提供されているか否かを確認し、問題があればその解決のための指導を実施している。
- 計画 ① 両 SILAIS は、各支所における「産前健診」と「妊娠性高血圧症」の教材を用いた補完講習の実施状況を確認する。
- ② SILAIS と支所は、モニタリングハンドブックを用いた技術統合巡回指導を継続する。

1-2. ESAFC 活動

- 1) 対象地域全体における ESAFC 活動の進捗評価
両 SILAIS は、161 保健セクターを対象に、3 か月毎に行う ESAFC 活動のモニタリング評価を開始した。今回（第 3 四半期）の評価対象期間は、2017 年 10～12 月で、13 項目の活動を「無・可・良・優・秀」の 5 段階で評価している。第 1 四半期の平均点は 52 点満点中 17.1 点で、第 2 四半期の平均点は、25.8 点であった。
- 2) ESAFC 活動の好事例集
上記 1) の評価に際し、各保健セクターに好事例集を渡し、その活用方法を説明している。
- 3) 社会奉仕医師・看護師への KAP 調査
社会奉仕医師・看護師への KAP 調査は、集計作業を終え、分析を進めている。

- 計画** ① 2 月下旬に開催する第 6 回半期評価会までに、四半期評価を全 161 保健セクターに対して実施する。
- ② 保健セクターへの好事例集の説明を継続する。
- ③ 社会奉仕の医師・看護師への KAP 調査結果を両 SILAIS と分析する、同じ調査対象者へ、着任 1 年後の比較調査を実施する。

1-3. 技術統合巡回指導

- 1) 巡回指導の実施状況
両 SILAIS による巡回指導の実施状況は、表 1 のとおりである。

表 1 SILAIS が実施する巡回指導

SILAIS の活動	特 徴	1 月実施数	
		フォンタレス	セラヤ・セントラル
技術統合巡回指導	支所の多岐にわたる活動の巡回指導を SILAIS がスーパーバイズ	4 支所 5 保健セクター	3 支所 4 保健セクター
技術審議会 (CTAM) 同席	保健セクターの医療チームが参加	4 支所	4 支所
統計データの質管理	保健セクターが扱う様々な統計データの質を確認	4 保健セクター	5 保健セクター

技術統合巡回指導では、モニタリングハンドブックを用いた巡回指導が定着しつつある。また、各支所における各保健セクターの代表が同席する技術審議会 (CTAM) では、プロジェクトが作成し推奨している発表様式を用いた進捗確認、課題分析、改善計画が定着してきた。

- 計画** ① SILAIS および各支所は、巡回指導を継続する。

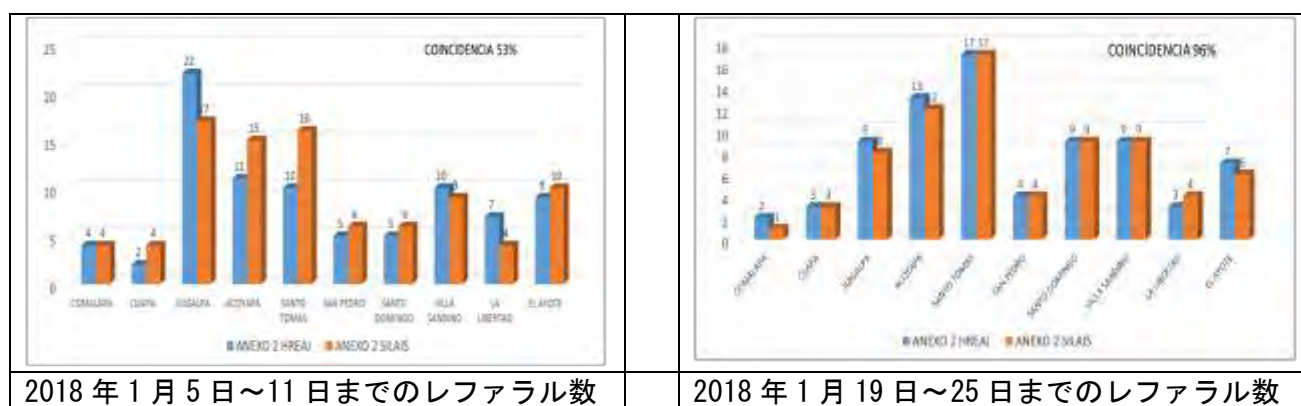
1-4. レファラル・カウンターレファラル

- 1) レファラル・カウンターレファラルのデータ収集・分析・フィードバック

先月同様に、レファラル・カウンターレファラルの搬送データ、様式の記入漏れおよび記入ミスなどについて、SILAIS の技術審議会（CTO と CTAD）において、継続して検証している。

SILAIS チョントレスでは、支所が記録しているレファラル数と、地域病院で受けたレファラル数に差があり、改善が見られない。SILAIS チョントレス内の全支所長、地域病院長、SILAIS 技官が参加し、レファラル・カウンターレファラル委員会を実施し、支所及び病院の記録が改善できるまで、毎日レファラル記録簿を SILAIS に送付することを決めた。その結果、1 週間後には、96%までデータが一致するようになった。

SILAIS チョントレスで毎週収集している、支所から病院へ緊急移送したレファラル患者記録（オレンジ色）と、病院で受け取り記録されたレファラル患者記録（青色）を比較した結果は下グラフのとおりである。1 月 5 日～11 日までのレファラル数（グラフ左）は支所と病院で記録に明らかに差があるが、1 月 19 日～25 日の記録ではその差が非常に少なくなってきた。



2) 向こう 4 週間の妊産婦監理

両 SILAIS は、各支所を巡回し、新たに導入した Excel シートによる出産間近となった妊婦および産褥婦、新生児体重の監理状況を、毎週月曜日に開催する技術審議会でモニタリングしている。

計画 ① SILAIS は、技術統合巡回指導において、レファラル・カウンターレファラルの改善点が現場にフィードバックされているかをモニタリングする。

1-5. 機材調達管理

1) 第 1 期分供与機材の調達の進捗

1 月末時点で、SILAIS チョントレスでは、10 支所中 5 支所（クアパ、フィガルパ、ビジャ・サンディーノ、サン・ペドロ・デ・ロバゴ、サント・ドミンゴ）で納入が終わった。残りの 5 支所は、未納機材・備品がある。SILAIS セラヤ・セントラルでは、4 支所とも未納の機材・備品が残っている。

2) 機材稼働モニタリング

機材稼働モニタリングは、第 1 期分供与機材の納入が終了した支所から開始している。エル・ラマ、ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス、サン・ペドロ・デ・ロバゴでは、オートクレーブの稼働に問題が確認されている。電圧が不十分であることや、水圧が安定しないことがその理由である。納入業者及び保健省の機材管理センターと解決

方法について、協議している。

3) 第 2 期分供与機材の調達の見積

2017 年 12 月の見積競争は、1 月 19 日に保健省、JICA 事務所、プロジェクトの立会いの下、見積書を開封し、その結果は表 2 のとおりであった。

表 2 見積競争の結果

	見積競争参加企業名	合計金額
1	BÜHLER	39,470.00 米ドル
2	CASA TERAN	72,840.99 米ドル
3	DOROQUERIA NUÑEZ	4 アイテムのみ見積りのため、除外

本結果を受け、保健省と JICA 事務所と協議した結果、Bühler に対して交渉を行うこととした。同社から提案された機材は、求めるスペックを満たしていないため、保健省が要求するスペックと同等の機材を用意できるか交渉する。

- 計画
- ① 第 1 期分供与機材の納品を促進し、機材の受け取り状況を確認する。
 - ② 機材管理台帳を更新し、第 1 期分供与機材の稼働状況をモニタリングする。
 - ③ 第 2 期分供与機材の調達業者を確定し、契約書を交わす。

1-6. 運營業務

1) 国際フォーラム

本年 8 月 22～24 日に開催する国際フォーラム 2018 の企画書作成を進めている。保健省、JICA、PAHO ニカラグア事務所、国際開発銀行 (IDB) などとモンテビデオ宣言後の PHC を中心テーマとして、アジェンダやグループワークなどの詳細を取り決める。

2) 第三国技術交換 (ホンジュラス共和国)

ホンジュラス共和国で実施中の「『国家保健モデル』に基づくプライマリーヘルスケア体制強化プロジェクト」との間で、技術交換を 2 月後半に実施するため、ホンジュラス共和国側プロジェクト専門家と日程調整を実施した。また、保健省、両 SILAIS と調整し、人選を進めている。

- 計画
- ① ニカラグア外務省から関係各国宛ての招待レターを作成する。
 - ② 開催規模、招待国、アジェンダなどを関係機関と調整し、確定する。
 - ③ ホンジュラスとの第三国技術交換の参加者を決定し、実施準備を進める

1-7. 関連業務

1) JICA インターン受け入れ

1 月 22 日から 1 か月間の日程で、神戸大学大学院国際母子保健の修士院生をインターンとして受け入れた。JICA 事務所と連携して、実習活動に取り組んでいる (添付資料)。プロジェクト専門家が活動に対して適宜助言している。

2. 主な活動日程

<1月>

- 8日：渡辺咲子（副総括/地域保健/業務調整）専門家着任
- 9日：JICA 事務所インターン受入れ調整会議
- 10日：サント・ドミンゴ支所チナモス保健セクター会議、ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所技術統合巡回指導
- 11日：アコヤパ支所 CTAM、ファイガルパ支所 CTAM
- 12日：サント・トマス支所技術統合巡回指導、SILAIS セラヤ・セントラル CTAD
- 16日：ヌエバ・ギネア支所技術統合巡回指導、サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所技術統合巡回指導、ファイガルパ支所技術統合巡回指導
- 17日：SILAIS チョントレスレファラル・カウンターレファラル会議、サント・ドミンゴ支所ブルン II 保健セクター会議
- 18日：第 2 期供与機材業者見積書受付、アコヤパ支所技術統合巡回指導、ヌエバ・ギネア支所ナシオネス・ウニダス保健セクター会議
- 19日：第 2 期供与機材調達委員会会議（見積書開封）、DGSS 国際フォーラム会議
- 21日：花田恭（保健行政/マネージメント）専門家着任
- 22日：JICA インターン受入
- 23日：ファイガルパ支所技術統合巡回指導、アコヤパ支所チナル保健セクター会議、エル・ラマ支所 CTO
- 24日：ラ・リベルタ支所技術統合巡回指導、エル・アヨテ支所技術統合巡回指導
- 25日：エル・アヨテ支所 ESAFC 活動評価会、ヌエバ・ギネア支所タロリング保健セクター会議
- 26日：エル・アヨテ支所 CTAM、両 SILAIS 合同母子保健技術委員会
- 30日：クアパ支所 ESAFC 活動評価会、エル・コラル支所技術統合巡回指導
- 31日：第 2 期供与機材調達委員会会議（選定結果）、サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所 ESAFC 活動評価会

3. 今後の予定

<2月>

- 1日：アコヤパ支所 ESAFC 活動評価会、サント・トマス支所 ESAFC 活動評価会
- 2日：両 SILAIS 合同技術会議
- 6日：サント・ドミンゴ支所 ESAFC 活動評価会、ビジャ・サンディーノ支所 ESAFC 活動評価会
- 7日～8日：エル・アヨテ支所技術統合巡回指導
- 8日：花田恭（保健行政/マネージメント）専門家離任
- 12日～14日：エル・ラマ支所 ESAFC 活動評価会
- 15日：中村二郎（総括/地域保健）専門家着任、エル・コラル支所 ESAFC 活動評価会
- 16日：JICA インターン最終報告会、渡辺咲子（副総括/地域保健/業務調整）専門家離任、ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所 ESAFC 活動評価会
- 19日～22日：第三国類似案件との技術交換（ホンジュラス共和国）
- 21日：エル・ラマ支所ワピ保健セクター会議
- 22日：ヌエバ・ギネア支所ナシオネス・ウニダス保健セクター会議
- 27日～28日：プロジェクト半期評価会・ワークショップ

4. 添付書類

添付資料 1： インターンシップ活動計画

5. 活動写真

別添のとおり

6. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

Study Proposal

“Traditional Machismo and Caballerismo among Latino men in large families in Nicaragua”

Kobe University Graduate School of Health Sciences

Mariko Gunchi

I Background and objectives

フィリピンとニカラグアでは両国ともスペインの支配下であったことから、保健分野での課題の文化的背景は共通点も多い。しかし、**Latino Machismo***と言われる社会からの男性への期待、それに伴って生じる男性への抑圧が性に対する男性の行動に影響し、ラテンアメリカ地域特有の課題背景となっているのではないかと考えられる。そのため本調査はニカラグアにおける伝統的価値観に焦点を当てた。

ニカラグアでは、若年妊娠率の高さとそれによるハイリスク出産や若者の教育・就業機会の喪失が大きな問題となっている。SAMANI プロジェクトの対象地であるチョンタレス及びセラヤセントラル保健管区では若年妊娠率はそれぞれ約 28, 29% (2015 年)と非常に高い。またニカラグアは性的虐待も多く、その三分の二が 17 歳以下であり、特にハイリスクな若年妊娠の原因の一つになっていると考えられる。特に十代前半での妊娠は、男性の行動が鍵を握っているため、彼らへの事前のアプローチが必要である。しかし性的虐待は様々なリスクファクターが複雑に関連しており、事前に予測し予防のための介入をすることは難しいのが現状である。

そこで本調査の目的は、

- ① 男性の知識、態度、行動を評価し、2014 年に出産した女性を対象に行われた KAP 調査の結果と比較すること
- ② 性的虐待のリスクファクターとなることが知られている家庭内の構成人数とラテン男性の **Latino machismo***と言われる伝統的価値観の関係を明らかにすること

以上のことから、男性へのアプローチの必要性を明らかにし、家庭内の構成人数に応じた明確なリスク指標を示すことで、医療従事者の男性に対する介入が可能となり、性虐待の予防に貢献することができると考える。

***machismo** はラテンアメリカの歴史や文化に根付いた価値観である。女性が従順で自己犠牲になることを求められる一方で、男性が支配的であるべきことを意味するジェンダー役割を規定しているラテンアメリカで、長く議論となっている。加えて、マチスモはしば

しば誇張された男性らしさ、攻撃性、暴力、性差別などネガティブな男性の特徴として関連付けられてる。しかし 1980 年代以降、マチスモは男性が家族を守るための役割を担っているという信念であるという概念としての定義（カバジェリズモ）もされてきている。

II Subjects

- ・ 6人以上の家庭に属する男性5人、5人以下の家庭に属する男性5人(ニカラグアの平均家庭構成人数約5人のため)の計10人
- ・ 年齢 18歳以上（成人男性）

プライバシー等の問題があるため、SILAIS の職員や身近なスタッフに調査を依頼することとする

III Materials and methods

Questionnaire*

- ・ KAP 調査の一部（マタニティーホーム、家族計画に関する質問、社会経済環境）
- ・ The 20 items Traditional Machismo and Caballerismo Scale developed by Arciniega and Anderson (2008)

*別途添付

Analysis

Excel を用いる

IV Hypotheses

- ① 男性全体と女性の比較では女性よりも意識が低く、態度も伴っていない
- ② 男性を二群に分けると、家族の構成人数が多いほど Traditional Machismo のスコアが高く、Caballerismo のスコアが低い

V Recommendations

- ① セクシュアリティに関し、女性だけでなく男性へのアプローチの必要性
- ② 家族の人数が多いということがセクシュアルアビューズのリスク指標となり、コミュニティの注意や介入が入ることでの予防策となり、十代妊娠の予防に寄与（ESAFIC が課程調査票を見て、リスクと捉えることで社会の注意が入り事前にリスクのある家庭へのアプローチが可能）

VI Limitation

- ・ 小さすぎるサンプル数
- ・ 対象者選択のバイアス

VII References

Brown, J., Cohen, P., Johnson, J. G., & Salzinger, S. (1998). A longitudinal analysis of risk factors for child maltreatment: Findings of a 17-year prospective study of officially recorded and self-reported child abuse and neglect. *Child abuse & neglect*, 22(11), 1065-1078.

Arciniega, G. M., Anderson, T. C., Tovar-Blank, Z. G., & Tracey, T. J. (2008). Toward a fuller conception of Machismo: Development of a traditional Machismo and Caballerismo Scale. *Journal of Counseling Psychology*, 55(1), 19.

5. 活動写真



両 SILAIS 合同母子保健技術委員会
補完講習教材に関する協議



SIL AIS チョントレス
レファラル・カウンターレファラル会議
全支所長、地域病院長、SIL AIS 技官が出席し、
レファラル改善に関する協議



ラ・リベルタ支所タワ保健セクター
技術統合巡回指導に同行する JICA インターン（右奥）、
保健行政/マネージメント短期専門家（左奥）



ヌエバ・ギネア支所
サンタ・フェ保健セクター
技術統合巡回指導



フィガルパ支所技術審議会
SIL AIS 技官が同席し保健セクターの
代表者が活動成果を発表



ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所技術審議会
SIL AIS 技官が同席
保健活動成果を発表する同支所長（中央）



ヌエバ・ギネア支所
タロリング保健セクター会議
ゲームを用いた妊産婦管理を説明



ヌエバ・ギネア支所
ナシオネス・ウニダス保健セクター会議
NGO から供与された血圧計を使って、
血圧測定実習を実施



エル・ラマ支所
ESAFIC による、経験、知見を共有する会議
5 か所の保健セクターの RC が参加



保健省本省
第 2 期供与機材調達委員会会議
見積書開封に保健省と JICA ニカラグア事務所、
プロジェクトが参加



2018年3月6日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2018年2月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. 第6回半期評価会・ワークショップ

プロジェクトの進捗および課題の改善を目的として、プロジェクト関係者が集い、半期評価およびワークショップを開催した。

1) 参加者、日時、場所

参加者：保健省保健サービス総局：1人、両 SILAIS：14人、14支所：29人
JICA ニカラグア事務所：2人、JOCV：2人、プロジェクト：4人、
計52人

日時：半期評価会：2018年2月27日午前8時30分～午後6時

ワークショップ：2018年2月28日午前8時～午後5時

場所：チョンタレス県フィガルパ市、Hotel La Quinta 会議場

2) 半期評価会アジェンダ（各項目の進捗は、本文各項目に記載）

- ① 第6回運営委員会（2017年11月9日実施）合意事項進捗確認
- ② 2017年1月～12月のPDM指標達成状況
- ③ 医療従事者研修
- ④ ESAFC活動
- ⑤ 技術統合巡回指導
- ⑥ レファラル・カウンターレファラル

3) ワorkshop・アジェンダ

- ① グループワーク1：妊産婦管理台帳を用いた妊産婦監理分析の分担

妊産婦のマタニティホームへのレファラル、出産場所、産後健診、新生児健診などの監理分担を見直した。成果品を共有し、実践することで合意した。

PDM2 に基づく、PDM 指標の達成状況を確認した。その結果は、添付資料のとおりである。

1-2. 対象 14 支所における医療従事者研修

1) 「妊産婦管理台帳」「産前健診」「妊娠性高血圧症」の補完講習

両 SILAIS 母子保健技術委員会は、「妊産婦管理台帳」、「産前健診」、「妊娠性高血圧症」の補完講習教材を完成させた。「妊産婦管理台帳」の補完講習は、チョンタレス保健管区のビジャ・サンディーノ支所とサント・ドミンゴ支所を残して、12 支所では各保健セクターへの講習をすべて終了した。「産前健診」と「妊娠性高血圧症」の補完講習については、3 月中に両 SILAIS の技官に対して実施し、4 月末までに 14 支所で全保健セクターを対象に実施することを、第 6 回半期評価会で確認した。

「妊産婦管理台帳」と「産前健診」の補完教材は、モニタリングを通じて強化の必要性が確認された妊産婦監理台帳および健診カルテへの正しい記入方法について、「妊娠性高血圧」は、適正な診察と診断について、より詳しく説明した内容となっている。

2) 「モニタリングハンドブック」の活用

両 SILAIS 母子保健技術委員会が作成した「産前健診」と「乳幼児健診」のモニタリングハンドブックは、昨年 11 月から巡回指導の現場で活用されている。導入当初は低かった、業務の質管理評価の点数が、今年に入り上昇してきた。第 6 回半期評価会において両 SILAIS の支所長らから、巡回指導にモニタリングハンドブックを用いたことで、健診カルテへの記述や分析に関する指導ポイントが明確となり、各健診項目の実施内容とその記述の質が改善されたと発表があった。

- 計画**
- ① 両 SILAIS は、各支所における「産前健診」と「妊娠性高血圧症」の教材を用いた補完講習を実施する。
 - ② SILAIS と支所は、モニタリングハンドブックを用いた技術統合巡回指導を継続する。

1-3. ESAFC 活動

1) 対象地域全体における ESAFC 活動の進捗評価

両 SILAIS は、161 保健セクターを対象に 3 か月毎に行っている ESAFC 活動の「秀・優・良・可・無」の 5 段階評価の第 3 四半期評価を終了した。その結果、前回（第 2 四半期）の評価平均点は、52 点満点で 25.8 点（SILAIS チョンタレス：25.6 点、SILAIS セラヤ・セントラル：26.0 点）であったのに対し、今回は、35.5 点（SILAIS チョンタレス：35.6 点、SILAIS セラヤ・セントラル：35.4 点）と約 10 点増加し、ESAFc 活動が順調に機能していることが確認された。保健セクターの平均点が一番高かったのが SILAIS チョンタレスのサント・ドミンゴ支所で 47.8 点、一番低かったのが同 SILAIS のサン・ペドロ・デ・ロバゴ支所で 25.8 点であった。各支所の平均点は表 1 のとおりであった。

表 1. 各支所における ESAFC 活動の進捗評価結果（52 点満点の平均点）

SILAI S ちょうタレス	アコヤパ	コマラパ	クアパ	エル・アヨ テ	フィガル パ	リベルタ	サン・ペド ロ・ロバ ゴ	サント・ド ミンゴ	サント・ト マス	ビジャ・ サン ディーノ	平均点
第1四半期	17.5	13.1	23.4	17.0	4.2	14.7	14.5	33.6	16.5	11.8	16.6
第2四半期	36.2	32.2	26.0	33.4	22.0	20.8	16.7	32.4	20.0	16.3	25.6
第3四半期	40.0	42.2	35.0	36.8	36.2	30.9	25.8	47.8	28.2	32.7	35.6

SILAI S セラヤ・セン トラル	エル・コラ ル	エル・ラマ	ムエジャ・ デ・ ロス・プエ ジェス	ヌエバ・ ギネア	平均点	2SILAI S 平均点 (52点満点)	
第1四半期	17.8	12.5	19.2	20.9	17.6	2017年	
第2四半期	21.8	22.5	29.5	30.2	26.0	4月～6月	17.1
第3四半期	33	30.5	31.9	46.2	35.4	7月～9月	25.8
						10月～12月	35.5

2) ESAFC 活動の好事例集

ESAFc 活動の好事例集の内容が、両 SILAIS の技術審議会（CTAD）で各支所長に対して説明された。その後、各支所において、保健セクターの医師・看護師らに対して、その活用方法の説明が開始され、すでに一部の地域では活動に生かされている。

3) ESAFC 活動ガイドと好事例集の更新

8 月に開催する国際フォーラムを前に、ESAFc 活動ガイドと ESAFC 活動の好事例集を改版する。これに際し、161 保健セクターで 1 年間取り組んだ成果や結果を両書の内容に反映するため、各支所は保健セクターから情報を収集し、活動ガイドの修正案や新たな好事例の取りまとめを開始した。

4) 社会奉仕医師・看護師への第 2 回目 KAP 調査

2017 年 3・4 月に KAP 調査を実施した社会奉仕医師・看護師を対象に 1 年後の再調査を行っている。2 月末までに調査対象者の約 45% の聴き取りを終えた。

- 計画
- ① ESAFC 活動の第 3 四半期評価において、52 点中 40 点に達していない 97 保健セクター（SILAI S ちょうタレスは、87 保健セクター中 58 保健セクター、SILAI S セラヤ・セントラルは、74 保健セクター中 39 保健セクター）を中心に、各 SILAIS および各支所は、活動強化に取り組む。
 - ② 各支所は、保健セクターの医療チームに対して好事例集の説明を継続する。
 - ③ 各支所は第 7 回運営委員会（4 月 15 日）までに、ESAFc 活動ガイドの修正案や好事例を取りまとめる。
 - ④ 社会奉仕活動を 1 年間行った全医師・看護師に対する KAP 調査を継続する。

1-4. 技術統合巡回指導

1) 巡回指導の実施状況

両 SILAIS による巡回指導の実施状況は、表 2 のとおりである。

表 2 SILAIS が実施する巡回指導

SILAI S の活動	特 徴	2 月実施数	
		ちょうタレス	セラヤ・セントラル
技術統合巡回指導	支所の多岐にわたる活動の巡回指導を SILAIS がスーパーバイズ	2 支所 2 保健セクター	2 支所 2 保健セクター
技術審議会 (CTAM) 同席	保健セクターの医療チームが参加	4 支所	4 支所

統計データの質管理	保健セクターが扱う様々な統計データの質を確認	未実施	3 支所 4 保健セクター
-----------	------------------------	-----	------------------

技術統合巡回指導では、モニタリングハンドブックを用いた巡回指導が定着している。SILIAS チョントレスの統計データの質管理が実施されなかったのは、担当技官の休暇に伴い、他の担当技官の通常業務が増加し、確認作業の時間が確保できなかったことによる。

計画 ① SILAIS および各支所は、巡回指導を継続する。

1-5. レファラル・カウンターレファラル

- 1) レファラル・カウンターレファラルのデータ収集・分析・フィードバック
SILIAS チョントレスは、毎週開催される技術審議会（CTO）のうち、月に 2 回、レファラル・カウンターレファラルの搬送データ、様式の記入漏れおよび記入ミスなどについて検証している。一方、SILAIS セラヤ・セントラルは、レファラルの搬送データについては検証しているが、カウンターレファラルの検証はデータ不足で実施されなかった。第 6 回半期評価会・ワークショップにおいて、改善点が検討され、両 SILAIS は技術審議会で、少なくとも月 2 回、レファラル・カウンターレファラルについて、「搬送データ」、「搬送に至った医師の診断」、「搬送後の経過」などを分析することで合意した。
- 2) 向こう 4 週間の妊産褥婦監理
第 6 回半期評価会・ワークショップにおいて、妊産褥婦監理業務を、より効率的・効果的に行うため、保健セクター・支所・SILAIS の責任分担と業務範囲を確認した。特に見直された点は、妊産褥婦のリスク要素の明確化である。各レベルで毎日もしくは週 1 回、向こう 4 週間と 2 週間前の妊産褥婦情報を分析し、監理強化することを確認した。また、これまで取り組んできた向こう 4 週間の妊産褥婦監理活動について、「在宅分娩の減少に繋がっている」（エル・アヨテ支所長）、「マタニティホームの利用に繋がっている」（エル・ラマ支所長）などのコメントが述べられた。

- 計画**
- ① 保健セクター・支所・SILAIS は、妊産褥婦監理について確認された責任分担と業務範囲に即して活動し、各支所と SILAIS で開催する技術審議会で監理状況を確認する。
 - ② 技術統合巡回指導の際に、支所および保健セクターレベルの妊産褥婦監理、およびレファラル・カウンターレファラル業務を確認する。

1-6. 機材調達管理

- 1) 第 1 期分供与機材の設置の進捗
2 月末時点で、SILIAS チョントレスは新生児用ベッド、SILAIS セラヤ・セントラルは分娩台について、納入業者による設置が終わっていない。
- 2) 機材稼働モニタリング
機材稼働モニタリングは、第 1 期分供与機材の納入が終了した支所から開始している。稼働状況に問題があったオートクレーブは、電圧が安定しているときは問題なく

稼働するが、電圧が不安定な時は稼働しないなど、ニカラグアの電気事情に左右されている。納入業者と保健省機材管理センターの間で対策を検討している。

3) 第 2 期分供与機材の調達の見積

見積競争で納入業者として第一交渉権を獲得した BÜHLER と協議し、彼らの提案と保健省が要求する機材スペックとを照らし合わせた。交渉の結果、保健省の要求どおりのスペックを満たす機材に変更することが確認でき、2月15日に第2期分納入業者として、BÜHLER と契約を締結した。機材購入金額は、見積競争の結果どおり、39,470.00 米ドルである。全機材の納入は、6月15日を予定している。第2期分供与機材の詳細は、表3のとおりである。

表 3. 第 2 期分供与機材一覧

	機材名	メーカー	型番	生産	数	単価	小計
1	双眼顕微鏡	LW scientific	R3M-BN4, A-DPL3	米国	6	USD 970	USD 5,820
2	分光光度計	LABOMED	BAS-120TS	米国	2	USD 3,100	USD 6,200
3	遠心分離機(小型)	LW scientific	M24	米国	1	USD 850	USD 850
4	パルスオキシメーター	HILMED	HM-OXYVISION1A	米国	12	USD 1,650	USD 19,800
5	遠心分離機(大型)	LW scientific	ZIP-IQ, PCV	米国	2	USD 1,450	USD 2,900
6	心電計	CARDIOLINE	ECG100L	イタリ	2	USD 1,950	USD 3,900

- 計画
- ① 第 1 期分供与機材の納品を促進し、機材の受け取り状況を確認する。
 - ② 機材管理台帳を更新し、第 1 期分供与機材の稼働状況をモニタリングする。
 - ③ 第 2 期分供与機材の輸入手続きの状況を確認する。

1-7. 技術交換

ホンジュラスの技術協力「『国家保健モデル』に基づくプライマリーヘルスケア体制強化プロジェクト」(PROAPS)と技術交換を2月19日から3日間の日程で実施し、下記3名が渡航した。当初、本省からの参加者を計画していたが、保健大臣の承認を得られず、両 SILAIS から1名ずつの参加者のみとなった(表4)。2名のC/Pは、各 SILAIS で巡回指導を数多く実施している行政技官である。

表 4. 技術交換に参加した C/P と専門家

氏名	所属先	役職
アドリアン・チャベス	SILAIS チョントレス	慢性疾患、レファラル・カウンターレファラル担当技官、医師
クラウドディア・パディージャ	SILAIS セラヤ・セントラル	結核・HIV 担当技官、看護師
中村 二郎	SAMANI プロジェクト	総括・地域保健専門家

技術交換では、ホンジュラス保健省の PHC モデルである PROAPS の全国普及研修および PROAPS プロジェクトの最終成果報告会に参加した。ニカラグアは、実践的な PHC を中心に、SAMANI プロジェクトが両 SILAIS で取り組んできた成果について、2名のC/Pが分担して発表し、質疑応答を行った。ホンジュラスからは、プロジェクト対象地域であるレンピーラ県とエル・パライス県における PROAPS の活動事例が紹介された。今回の技術交換を通じて、両国の保健行政には、組織体制に違いがあるものの、取り組む活動には多くの共通点があることが確認された。ニカラグアから参加した2名のC/Pは、他国で実施されている同分野の案件を知る

ことで、ニカラグアの PHC が組織的に整備され、責任の所在や取り組み方法が明確になってきているという強みを確認した。また、ホンジュラスの PROAPS の強みとして、家庭調査票がデジタル入力され、各家庭のリスク分析が「赤・黄・緑」の信号色で分類された評価表を用いて実施されている点が特筆される。

帰国後、第 6 回半期評価会・ワークショップで、SAMANI プロジェクトの ESAFC 活動と PROAPS の類似性を共有し、上述の見解を両 SILAIS 関係者に対して発表した。また、PROAPS プロジェクトが作成した PHC マニュアル、好事例集、リスク分析信号カードなどを説明し、回覧した。

1-8. 国際フォーラム

1) 準備会議

国際フォーラムに関わる保健省の対外協力局、保健サービス総局、教育・調査総局、公衆衛生監視総局、および JICA や PAHO などの外部支援機関が、フォーラムの参加者、手法および期待される成果、ロジスティクス、資金運用などについて、共通認識を持つことと実施にあたっての諸調整を目的とした準備会議を本省で 2 度開催した。これまでに合意してきた内容を反映し、作成した企画書（案）は添付資料のとおりである。

1-9. 関連業務

1) PDM 指標改定に伴う JICA・保健省間の M/M 署名

JICA ニカラグア事務所は、M/M を作成し、事務所長が署名して、2 月 22 日に外務省を通じ、保健大臣の署名申請手続きを行った。

2) JICA インターン受け入れ

神戸大学大学院国際母子保健の修士課程の大学院生は、1 か月の JICA インターンシップを終え帰国した。SILAIS チョントレスや JICA ニカラグア事務所で開催した帰国報告会では、プロジェクトのモニタリング活動への同行経験のほか、ニカラグアの家庭におけるマチズモとカバジェリズモに関するインタビュー調査の結果などを報告し、意見交換を行った。総合報告書は、添付資料のとおりである。

3) 0-5 歳児の栄養調査

保健省は、4 年ぶりに全国の SILAIS において、0-5 歳児を対象とした栄養調査を開始した。各 ESAFC が集落を訪問し、0-5 歳児の体重と身長を測定して算出するこの調査は、3 月末までの完了を目標にしている。

2. 主な活動日程

<2 月>

1 日：アコヤパ支所 ESAFC 活動評価会、サント・トマス支所 ESAFC 活動評価会

2 日：両 SILAIS 合同技術会議

5 日：コマラパ支所 ESAFC 活動評価会

6 日：フィガルパ支所 ESAFC 活動評価会、第 2 期供与機材受注業者との契約交渉

6 日～8 日：ヌエバ・ギネア支所 ESAFC 活動評価会

- 7日：サント・ドミンゴ支所 ESAFC 活動評価会、ラ・リベルタ支所 ESAFC 活動評価会、ファイガルパ支所 ESAFC 活動評価会、エル・アヨテ支所技術統合巡回指導
- 8日：エル・アヨテ支所 ESAFC 活動評価会、ビジャ・サンディーノ支所 ESAFC 活動評価会、アコヤパ支所技術審議会、花田恭（保健行政/マネージメント）専門家離任
- 9日：両 SILAIS 合同技術会議
- 12日：エル・ラマ支所 ESAFC 活動評価会
- 12日～14日：エル・ラマ支所技術審議会
- 13日：国際フォーラム準備会議
- 15日：中村二郎（総括/地域保健）専門家着任、エル・コラル支所 ESAFC 活動評価会、第2期供与機材受注業者との契約
- 16日：JICA インターン最終報告会、渡辺咲子（副総括/地域保健/業務調整）専門家離任、エル・コラル支所技術審議会
- 19日：ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所 ESAFC 活動評価会
- 19日～21日：第三国類似案件との技術交換（ホンジュラス共和国）
- 20日：ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所技術審議会、ビジャ・サンディーノ支所技術審議会、アコヤパ支所サン・フェリペ保健セクター会議
- 21日：エル・ラマ支所ワピ保健セクター会議
- 22日：サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所技術審議会、ヌエバ・ギネア支所ナシオネス・ウニダス保健セクター会議、ヌエバ・ギネア支所技術統合巡回指導
- 23日：国際フォーラム準備会議、ファイガルパ支所技術統合巡回指導
- 26日：クアパ支所技術審議会
- 27日～28日：プロジェクト半期評価会・ワークショップ

3. 今後の予定

<3月>

- 8日：サント・トマス支所技術審議会、ファイガルパ支所技術審議会
- 9日：ラ・リベルタ支所技術審議会
- 14日：エル・ラマ支所マロン保健セクター会議、サント・ドミンゴ支所チナモス保健セクター会議
- 15日：アコヤパ支所技術審議会
- 20日：アコヤパ支所サン・フェリペ保健セクター会議、アコヤパ支所チナル保健セクター会議
- 21日：エル・ラマ支所ワピ保健セクター会議、サント・ドミンゴ支所ブルン2保健セクター会議
- 22日：ヌエバ・ギネア支所タロリング保健セクター会議、ヌエバ・ギネア支所ナシオネス・ウニダス保健セクター会議
- 26日～30日：保健省セマナサンタ休暇

4. 添付書類

- 添付資料 1：2017 年の PDM 指標状況
- 添付資料 2：国際フォーラム企画書(案)
- 添付資料 3：JICA インターンシップ総合報告書

5. 活動写真

別添のとおり

6. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

添付資料1

PDM Versón 2指標、2017年1月～12月評価結果

チョンタレス保健管区およびセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

目標と成果	指標	SILAI S	分母	分子	結果	
上位目標	1. 対象地域における2011年から2014年までの期間の妊産婦死亡比平均70.8（出生10万対）が、2018年から2021年の期間で低下する。	チョンタレス	3,941	1	25.4	
チョンタレス保健管区とセラヤ・セントラル保健管区の母子の健康が改善される。	2. 対象地域における2014年の乳児死亡率14.1（出生千対）、及び2014年の5歳未満児死亡率15.8（出生千対）が低下する。	セラヤ・セントラル	3,743	2	53.4	
		両SILAI S	7,684	3	39.0	
		乳児死亡率	チョンタレス	3,941	57	14.5
	5歳未満児死亡率	セラヤ・セントラル	3,743	51	13.6	
		両SILAI S	7,684	108	14.1	
		チョンタレス	3,941	63	16.0	
	3. 対象地域で（5歳未満の）慢性栄養不良児の割合が10.5%から低下する。	セラヤ・セントラル	3,743	61	16.3	
		両SILAI S	7,684	124	16.1	
		チョンタレス	16,556	1,692	10.2%	
	セラヤ・セントラル	3,781	382	10.1%		
両SILAI S		20,337	2,074	10.2%		
プロジェクト目標		1. 対象地域で、妊婦が1回目の産前健診を妊娠12週以内に受診する割合が2014年の62.5%（ベースライン）から2018年の75.0%（エンドライン）に上昇する。	チョンタレス	5,835	2,999	51.4
対象地域において妊産婦と2歳未満児を対象とする質の高い保健医療サービスがより利用される。	2. 分娩施設で現在有効な分娩3期ケアと出産直後の新生児ケアの質の指標を満たす割合が2015年の59.5%（ベースライン）から2018年の80.0%（エンドライン）に上昇する。	セラヤ・セントラル	5,580	2,797	50.1	
		両SILAI S	11,415	5,796	50.8	
		チョンタレス	98.7	98.1	98.4	
	3. 対象地域で中期（産後2～10日）産後健診の受診率が2014年の75.3%（ベースライン）から2018年（エンドライン）に上昇加する。	セラヤ・セントラル	93.9	85.8	89.9	
		両SILAI S	96.3	92.0	94.1	
	4. 対象地域で1～4歳の1回目乳幼児健診を受ける割合が2014年の47.5%（ベースライン）から2018年の58.5%（エンドライン）に上昇する。	チョンタレス	5,257	3,074	58.5	
		セラヤ・セントラル	5,016	4,089	81.5	
	5. 対象地域で、施設分娩のためにマタニティホームに宿泊した農村地域の妊婦の割合が2015年（ベースライン）の42.1から2018年の50.0%（エンドライン）に上昇する。	両SILAI S	10,273	7,163	69.7	
		チョンタレス	16,803	9,651	57.4	
	1. 妊産婦と2歳未満児を対象とする医療施設でのサービス提供能力が強化される。	1-1. 保健施設で現在有効な2歳未満児へのケアの質の指標を満たす割合が2014年の46.3%から2018年の60.0%に上昇する。	セラヤ・セントラル	14,952	7,794	52.1
			両SILAI S	31,755	17,445	54.9
			チョンタレス	1,980	943	47.6
	1-2. 保健施設で現在有効な産前ケアの指標を満たす割合が2014年の46.2%から2018年の60.0%に上昇する。	セラヤ・セントラル	3,204	2,013	62.8	
		両SILAI S	5,184	2,956	57.0	
		1-3. レファラル・カウンターレファラル省令を満たす形で支所から病院へ緊急レファラルされた妊産婦及び2歳未満児のレファラル台帳の記録が80%の割合で一致する。	チョンタレス	10支所で実施した評価の平均	89.2	
	1-4. レファラル・カウンターレファラル省令を満たす形で病院から支所へカウンターレファラルされた妊産婦及び2歳未満児のレファラル台帳の記録が70%の割合で一致する。	セラヤ・セントラル	4支所で実施した評価の平均	87.6		
		両SILAI S	14支所で実施した評価の平均	88.4		
		チョンタレス	10支所で実施した評価の平均	83.9		
1-3. レファラル・カウンターレファラル省令を満たす形で支所から病院へ緊急レファラルされた妊産婦及び2歳未満児のレファラル台帳の記録が80%の割合で一致する。	セラヤ・セントラル	4支所で実施した評価の平均	82.2			
	両SILAI S	14支所で実施した評価の平均	83.1			
	1-4. レファラル・カウンターレファラル省令を満たす形で病院から支所へカウンターレファラルされた妊産婦及び2歳未満児のレファラル台帳の記録が70%の割合で一致する。	チョンタレス	1月～12月の平均値	86.6		
1-4. レファラル・カウンターレファラル省令を満たす形で病院から支所へカウンターレファラルされた妊産婦及び2歳未満児のレファラル台帳の記録が70%の割合で一致する。	セラヤ・セントラル	1月～12月の平均値	52.4			
	両SILAI S	1月～12月の平均値	69.5			
	チョンタレス	1月～12月の平均値	76.9			
1-4. レファラル・カウンターレファラル省令を満たす形で病院から支所へカウンターレファラルされた妊産婦及び2歳未満児のレファラル台帳の記録が70%の割合で一致する。	セラヤ・セントラル	1月～12月の平均値	69.6			
	両SILAI S	1月～12月の平均値	73.3			

目標と成果	指標	SILAIS	分母	分子	結果
2. 妊産婦と2歳未満児の健康に関するコミュニティ活動が強化される。	2-1. 対象地域において、100%のES AFCが住民参加型保健強化手法を用いて、活動計画を策定・実施する。	チョンタレス	87	85	97.7
		セラヤ・セントラル	74	73	98.6
		両SILAIS	161	158	98.1
	2-2. コミュニティネットワークのイニシアチブの合意として実施された活動数が増加する。	チョンタレス	87	45	51.7
		セラヤ・セントラル	74	41	55.4
		両SILAIS	161	86	53.4
	2-3. 全てのセクターにおいて、ES AFCはコミュニティとともに分析や反映を行う。	チョンタレス	87	23	26.4
		セラヤ・セントラル	74	38	51.4
		両SILAIS	161	61	37.9
3. 妊産婦と2歳未満児の健康に関するSILAISの行政能力が強化される。	3-1. SILAISの技術統合巡回指導（妊産婦管理台帳と予防接種台帳における妊産婦及び2歳未満児のケアに関するデータの正確な記録と分析、プロジェクトが実施した研修のフォロー）を受ける支所の数	チョンタレス	40	37	92.5
		セラヤ・セントラル	12	18	150.0
		両SILAIS	52	55	105.8
	3-2. 全支所は、毎月ES AFCとSILAISが同席し、妊産婦及び2歳未満児のケアに関してする活動方針を決める情報分析会議を実施する。	チョンタレス	60	37	61.7
		セラヤ・セントラル	48	26	54.2
		両SILAIS	108	63	58.3
	3-3. 妊婦と2歳未満児に関する情報を正確に記録し、分析する第1次保健施設の割合が増加する。	チョンタレス	18	5	27.8
		セラヤ・セントラル	56	32	57.1
		両SILAIS	74	37	50.0

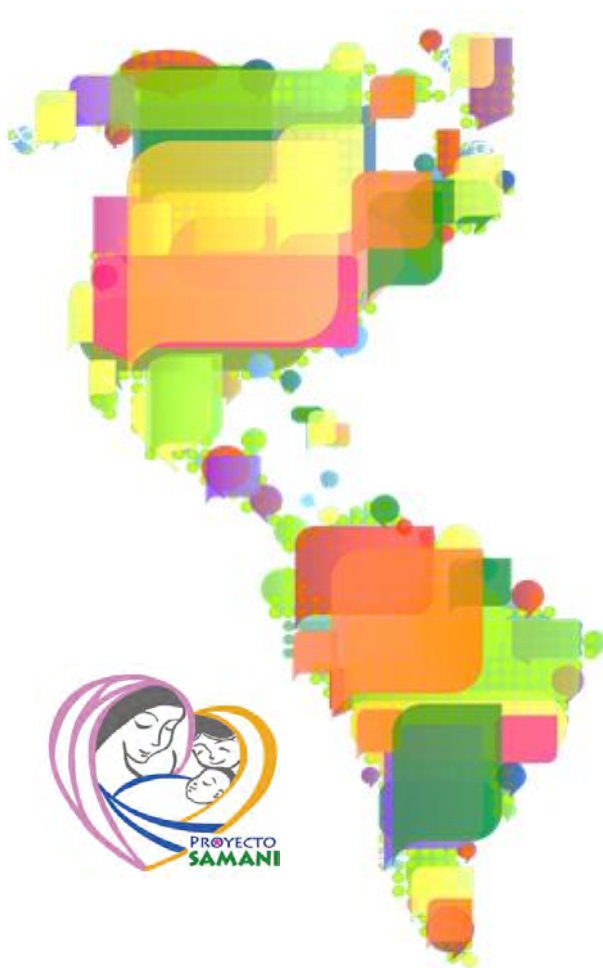
注) 上位目標指標3の慢性栄養不良児の母数は、検査者数である。

添付資料 2

ニカラグア保健省
国際協力機構 (JICA)

チョンタレス保健管区およびセラヤセントラル保健管区における
母と子どもの健康プロジェクト

2018 年
家庭地域保健国際フォーラム
企画書



1. 家庭地域保健国際フォーラム開催の背景

1978年にアルマ・アタで合意されたプライマリー・ヘルス・ケア（PHC）は、今年40年を迎える。2005年に地域住民の健康増進を目指した新たなPHCを提唱したモンテビデオ宣言を踏まえ、家庭保健という新たな保健システムの構築が提唱された。また、2016年から新しくSDGs（持続可能な開発目標）が設定された。これを受け、新たな援助戦略の下、被援助国における活動内容にも、それに対応した変化が求められている。

JICAは、PAHOやIDBと連携し、2015・16年に中南米保健国際フォーラムを開催し、中南米諸国と共通する保健課題のために、協働して対処できる課題やドナー間連携の効率性などについて、議論を重ねてきた。2015年9月にパラグアイで実施された「国際プライマリーヘルスケア会議」では、ポスト2015年保健開発アジェンダとしてユニバーサル・ヘルス・カバレッジの達成が新たな目標になってきている中で、PHCの理念に基づく地域ネットワークの構築・強化の意義と重要性が再確認され、翌年11月にドミニカ共和国で開催された「ラテンアメリカ国際保健医療フォーラム」において、具体的な活動の現状および課題が議論された。その後も、各国でPHC活動が確実に広がる一方で、増加する非感染性疾患（NDA）による財政ひっ迫がラテンアメリカ地域では対応を急ぐべき共通の課題として急浮上してきた。医師がいるPHC活動が、住民とともに地域で効果的に展開され、NCDを含むすべての疾患の予防と早期治療・回復につながるよう、今年8月に開催する国際フォーラムでは、「持続可能な家庭地域保健システムは、どうあるべきか」「健康に対する住民参加はどうすべきか」など、共通課題に取り組んだ効果や好事例について、PAHOやIDB等国際機関の関係者も巻き込んで闊達な議論を行う好機ととらえている。さらに、中南米地域におけるPHC活動への提案を導き出したいと考える。

2. 目的

2015・16年に開催された中南米保健国際フォーラムを鑑み、SDGsに関する参加国の共通課題への取り組みへの検討を行う。新PHCを基盤とする保健システム強化の成果と課題の振り返りに加え、MDGsからの継続課題、更には公衆衛生危機や非感染性疾患（NCDs）などの新たな課題に対し、地域保健・PHCとして継続的に取り組むべき課題の共通認識を図るとともに、それらの課題に取り組んだ好事例を集積する。

3. テーマ

SDGs期の中南米における家庭地域保健・PHCを展開するシステムの課題と手法への提言

～ 新保健システム強化の成果と課題を振り返り、活動を未来につなげる ～

4. 開催時期

2018年8月22日（水）～24日（金）

5. 開催場所

ニカラグア国マナグア市 Bello Horizonte frente, al centro, comercial Multicentro Las Americas,
Hotel HEX、コンベンションセンター Tel. +505 2248 9400

6. 実施体制

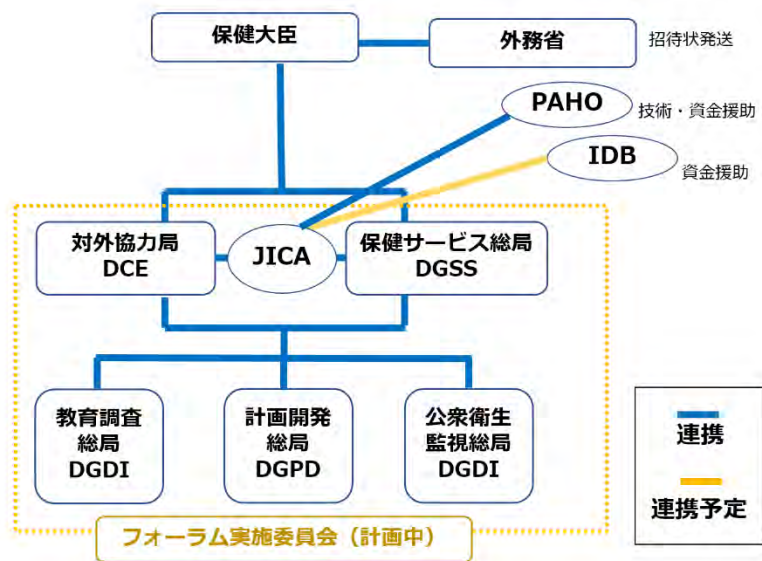
国内調整: 保健省対外協力局 (DCE)

プログラム: 保健省保健サービス総局 (DGSS)

国内連絡: 保健省保健サービス総局 (DGSS)

国外連絡: 保健省対外協力局 (DCE)

フォーラム実施委員会 (案)



7. 内容（アジェンダ）

1日目:

フォーラム開会式

時刻	テーマ	会場	モデレーター
12:00 -	受付 目的: 出席者の確認 資料の配布		受付責任者:
15:00 -	国際フォーラム開会式（式次第 後日・別紙） 目的: プロトコルに沿ったフォーラムの開会 <ul style="list-style-type: none"> • 主催者側からの言葉 大会趣旨説明、参加に対する謝辞、その他の挨拶 • 招待者からの言葉 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 保健大臣 ➢ 米州保健機関代表 ➢ 在ニカラグア日本大使 	メイン	ニカラグア保健省
16:00	休憩 *オリエンテーションの前に来賓に退場していただくため。		
16:30	一般オリエンテーション 目的: 運営関連情報の伝達 <ul style="list-style-type: none"> • 会場案内(トイレ、駐車場、翌日の開場時間) • ブース(スタンド)設営について • 翌日のプログラム • 宿泊、食事、ホテル施設、空港送迎情報他 • 緊急連絡先 • 安全対策上の注意 	メイン	ニカラグア保健省・SAMANI

開会式の注意事項

- ① 国際イベントとしてのプロトコルに留意する。。

2日目

(1) 国際フォーラムプログラムのオリエンテーション

(2) 有識者講演

(3) PHC 実践(プロジェクト)活動の報告

時刻	テーマ	会場	モデレーター
8:00 -	受付		ニカラグア保健省
8:30 -	家庭地域保健モデル(MOSAFC) 「ニカラグア保健省 MOSAFC の背景と展望」	メイン	ニカラグア保健省

	手法: 演者によるプレゼンテーション、質疑応答		
9:15 -	持続可能な PHC(案) 目的: 上記について PAHO が今後取り組むべきだと 考えている PHC 目標と展望の紹介 手法: 演者によるプレゼンテーション、質疑応答	メイン	PAHO
10:00 -	中南米における保健分野の方針(案) 目的: 上記について PAHO が今後取り組むべきだと 考えている PHC 目標と展望の紹介 手法: 演者によるプレゼンテーション、質疑応答	メイン	IDB
10:45 -	アジェンダ 2030 における JICA 協力(案) 目的: 上記について、JICA が今後取り組むべきだと 考えている PHC 目標と展望の紹介 手法: 演者によるプレゼンテーション、質疑応答	メイン	JICA
11: 30 -	質疑応答		
12:00 -	昼食	メイン	
13:30 -	新 PHC の成果・課題・教訓 「チョンタレス保健管区およびセラヤセントラル保健 管区における母と子どもの健康プロジェクト」教訓か ら得たもの		ニカラグア保健省
13:50 -	新 PHC の成果・課題・教訓 『「国家保健モデル」に基づくプライマリーヘルスケア 体制強化プロジェクト』教訓から得たもの		ホンジュラス保健 省
14:10 -	新 PHC の成果・課題・教訓 「妊産婦と子どもの健康・栄養改善プロジェクト」教訓 から得たもの		グアテマラ保健省
14:30 -	休憩		
14:50 -	新 PHC の成果・課題・教訓 「第三保健地域母と子のプライマリーヘルスケアプロ ジェクト」教訓から得たもの		ドミニカ共和国保 健省
15:10 -	新 PHC の成果・課題・教訓 「ポトシ県母子保健ネットワーク強化プロジェクト」教 訓から得たもの		ボリビア保健省
15:30 -	新 PHC の成果・課題・教訓 「プライマリーヘルスケア体制強化プロジェクト」教訓 から得たもの		パラグアイ保健省
15:50 -	新 PHC の成果・課題・教訓		キューバ保健省
16:10 -	質疑応答		
16: 40	第 3 日のオリエンテーション		

3日目

テーマ別パネルディスカッション

目的:新 PHC を基盤とする保健システムのもと、「慢性疾患(NCD)」「公衆衛生」「保健医療サービス」「UHC」への取り組みについて、活動の成果と課題を振り返る。地域保健・PHC として継続的に取り組むべき課題と好事例を共通認識する。また、紹介された好事例を集積し、今後に向けた提言をまとめる

手法:

- ① 各テーマにおける課題に関し、事前に各国の状況を収集する。
- ② ニカラグア保健省で各国から届けられた資料を基に、ディスカッションすべき項目を整理する。
- ③ 整理された課題に対して、対策、好事例などを参加者が意見を出し合い、議論を展開する。
- ④ 会場からパネラーへの質疑応答
- ⑤ 各グループの書記担当が、それらを記録する。
- ⑥ 課題に対する好事例活動を取りまとめ、提言としてまとめる

(注意:提言で出された好事例は、実践的で汎用性が高いものに限る。)

時刻	テーマ	会場	モデレーター
8:30 -	➤ パネル I (PHC と非伝染性疾患) - 第 1 次医療施設による非伝染性疾患の管理 - 薬剤の合理的な使用 - 非感染症疾患の予防とプロモーション活動 - 自然薬と相補的療法	サロン 1	計画開発総局長
	➤ パネル II (住民参加型保健活動) - コミュニティーネットワークと保健行政の連携 - コミュニティー参加型保健活動 - 住民参加のためのモチベーション - コミュニティーネットワークの組織化	サロン 2	公衆衛生監視総局長
	➤ パネル III (PHC と保健医療サービス) - 保健における統合ネットワーク - 1 次医療と 2 次医療の連携でレファラル・カウンターレファラル強化 - 電話診断(2 次医療の専門医から 1 次医療の医療従事者への助言) - 第 2 次医療施設専門医の 1 次医療施設への巡回診療	サロン 3	家庭保健モデル局長

	➤ パネル IV (PHC と UHC) - 健康の権利 - 公共政策の改革: UHC と保健モデル - *サービス提供の改革 *サービス提供の改革 C では、1 次病院や保健所でも、2 次医療で実施する医療が施されている。抗がん剤投与、慢性腎不全患者ケア、デング重症患者診療とう、2 次病院との連携により、1 次医療機関でも診療できる体制	メイン	保健サービス総局長
12:00 -	昼食		
13:30 -	各パネリストからの提言		
14:50 -	閉会式		保健省

8. 参加者 (180~200 名) (アジェンダ)

ニカラグア国外 (20~30 名)

JICA 資金による招待 : ポリビア、パラグアイ、グアテマラ、ホンジュラス、ドミニカ共和国

PAHO 資金による招待 : キューバ、ペルーなど

ニカラグア国内 (160~170 名)

政府: 5 名

保健省本省: 10~15 人

SILAIS チョントレスおよびセラヤ・セントラル: 34 人

他 17SILAIS: 各 3 人 (局長、保健サービス課長、看護課長): 51 人

国際援助機関/団体: 約 10 人

日本人関係: 約 5 人

報道: 15 人

運転手・会場スタッフ: 30~35 人

9. 作業工程表 (アジェンダ)

作業項目	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
1 企画書作成		■	■					
2 フォーラム実施委員会立上げ		■						
3 フォーラム手法の検討・確定		■	■	■				
4 各国へ招待状を送付				■				
5 必要品目 (印刷物など) 作成		■	■	■	■	■		
8 参加者の確定					■			

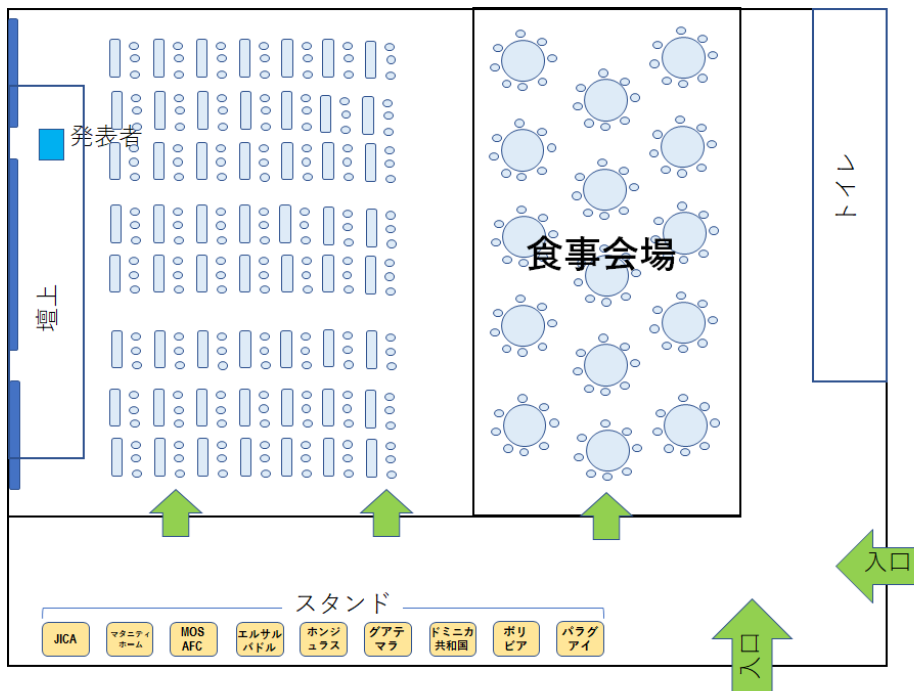
7	航空券手配							
	演者へのプレゼン依頼。内容・フォーマット送付							
8	各国よりプレゼン・資料の受取り							
10	フォーラム開催							■

10. 開催場所設営

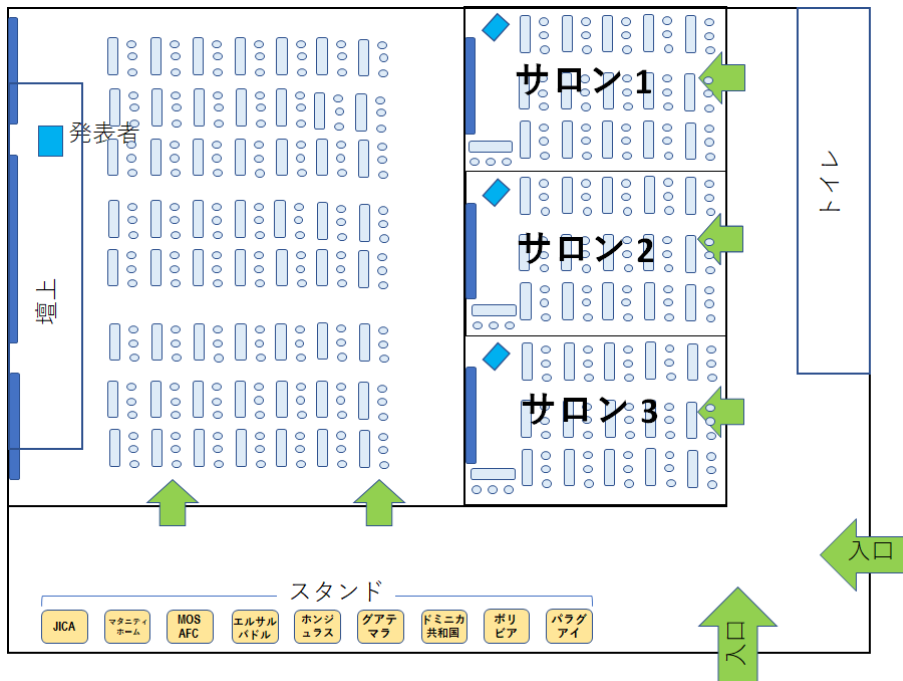
メイン会場



1日目・2日目会場設営図



3 か日目会場設営図



添付資料 3

JICA インターンシップ・プログラム総合報告書 (JICA ニカラグア事務所)

神戸大学大学院保健学研究科 軍地 茉莉子

(添付書類：調査計画書、日本語版/スペイン語版調査質問紙、SILAISChontales 調査報告会プレゼンテーション、JICA ニカラグア事務所最終報告会プレゼンテーション)

1. インターンシップの概要 (目的/活動内容など)

1) 目的

国際協力の現場における課題発見のためのプロセスの実践 (調査テーマ：ニカラグア人男性の伝統的価値観(machismo, caballerismo)と、性的虐待のリスク要因である家庭内の構成人数の関連について)

2) 活動内容

- ・ 調査計画書作成、スペイン語版質問紙作成、SILAISChontales での調査実施承認会議、調査実施、結果考察まとめ、SILAISChontales での調査結果報告会 (目的に沿った活動内容)
- ・ Acoyapa での協力隊員中間報告出席、マタニティーホーム訪問
- ・ SILAISChontales 保健サービス課ミーティング出席
- ・ SILAISChontales での看護学生に対する思春期教育の指導方法に関する講義出席
- ・ Juigalpa, La Libertad の一セクターでの統合巡回指導同行
- ・ Nueva Guinea での母子保健技術委員会出席
- ・ JICA ニカラグア事務所職員、プロジェクト専門家へのインタビュー (技術協力プロジェクトの持続可能な開発について)
- ・ SILAISChontales サービス課技術会議出席
- ・ Cuapa での ESAFC13 活動のための巡回指導同行
- ・ SILAISChontales, Zalaya Central の半期評価会に向けた準備ミーティング出席
- ・ 医療器材見積会議出席
- ・ 保健省サービス局会議出席
- ・ Santo Domingo での ESAFC13 活動のための巡回指導同行
- ・ 保健省での国際フォーラムに関する会議出席

2. インターンシップの成果 (達成度、反省点、感想など)

インターンシップの達成度については、当初の計画通り問題なく進めることができたため、概ね達成できたと考える。4 週間のインターンシップ期間で、調査のテーマを決め、実施し、結果を考察、自分なりの視点でプロジェクトに対する提言を行うことができたことは自分のこれからの研究に対する姿勢の変化も含め、大きな達成であったと考える。そ

れと同時に、調査テーマの背景に関して、文献レビューや熟慮、他人との意見交換の機会を持つこと等が、より一層必要であったと感じた。文化的背景に対する敏感さや課題を多角的にとらえることもそうだが、時間不足も実感しているため、今回のテーマを掘り下げることが将来の研究課題としたい。

反省点としては、今までの自分自身の国際協力に関する一般的な知識の不足が挙げられる。私の国際協力に関する知識は学部と大学院で専門としていた環境や保健分野の限られた知識のみであり、特定の分野を専門とするにしても、国際協力に携わりたいと考えているのであれば広い知識を習得することは不可欠であると感じた。今回のインターンシップではこのことに関する自覚と興味が育ったという意味で、以上のことは反省点であり達成した部分でもあると考える。

感想を述べると、今回のインターンシップは自分自身の成長への気づきと、現場での体験、これからの反省点、研究への姿勢の変化を得ることができ、非常に有意義であった。これには自分に何ができるのか、何をしたいのか考え主体的に行動すること、それを実践し、サポートしてくださった JICA 職員、専門家、現地スタッフとの出会いがあったからであると考え。この経験を感覚的なもので捉えることに終止せず、分析し将来にいかしていくことができると強く感じられる 4 週間のインターンシップ活動であった。

3. 将来の展望（インターン経験の今後の活用など）

今回のインターン経験もって今後にいかしたいと考えてることが大きく二点ある。一つは、自身の研究の継続性について考えながら研究を行うことである。実際にプロジェクトをみることで、研究とプロジェクトの違いや、自分が研究現場で改善しなければいけない部分に気づくことができた。研究はプロジェクトのように国家間で行っているものではなく、目的も異なることから成果よりも新規性や普遍性等が求められる。しかし、継続性に関してはあまり自分自身研究を行う上で考えてこなかったが、国際協力の現場でのプロジェクト同様、共通の意識を持つべきであると感じた。私の場合であれば、フィリピンの学校に行っていない若者を対象に性感染症予防のための性教育の開発を現地の大学、市と共同で行っている。そのため、我々が研究によって教育効果を示し保健省にグッドプラクティスとして自分たちの事例を研究成果として提示するとともに、地域の連携や教育の拡大を提案することによって、継続性への大きなバックアップを得ることができる。実現することは難しいかもしれないが、このような意識は研究者として不可欠であるということに気づきを得た。

もう一点は、次のインターンシップ経験につなげたいということである。今回の JICA のインターンシップが私の初めてのインターンシップであったが、現場を経験せずに情報にたよることと、実際に現場でみることで違っていることが多かった。そのため大学院在学中に他の国際協力機関へのインターンシップにつなげたいと考えている。以上二点が今回のインターンシップ経験から得た、今後の目標である。



2018 月 4 月 6 日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2018年3月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎 

標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. 対象 14 支所における医療従事者研修

1) 「妊産婦管理台帳」「産前健診」「妊娠性高血圧症」の補完講習

「妊産婦管理台帳」の補完研修は、ビジャ・サンディーノ支所以外の 13 支所で、毎月開催される保健セクターが参加する技術審議会の一部の時間(30~45 分間)を用い実施された。同審議会には全医療従事者が一度に集うわけではないことから、今回、対象者全員がこのテーマを完了するのに、多くの支所で 2 か月を要した。ビジャ・サンディーノは支所長の人事異動に伴い、活動計画の一部が実施されていない。残された「産前健診」と「妊娠性高血圧症」の補完講習については、今後、機会をみて実施していく。

計画 ① 両 SILAIS は、各支所の技術審議会の一部時間を活用して、「産前健診」と「妊娠性高血圧症」の補完講習を実施する。

② 各支所は、4 月から新規に活動する社会奉仕の医師・看護師、また保健セクターに新たに配置される准看護師に対する研修プログラム(母子保健研修、ESAFc 活動ガイド、ヘルスプロモーションガイド)の実施計画を立案する。

③ 4 月 6 日に着任する新ビジャ・サンディーノ支所長と今後の活動を確認し、補完研修を実施する。

1-2. ESAFC 活動

1) 対象地域全体における ESAFC 活動

161 保健セクターは、3 月末までに実施しなければならない「0-5 歳児の栄養調査」に取り組みつつ、他の ESAFC 活動も進めている。この栄養調査では、集計の過程で、

誤りが疑われるデータが多く見つかった。現在、それらの再確認作業が行われており、最終データが共有される時期が明確になっていない。

2) ESAFC 活動好事例集の活用

2 月中に配布された ESAFC 活動の好事例集は、各支所において、その活用方法を説明した上で、保健セクターの医療従事者へ手渡された。図 1 は好事例集の記述内容である。パイロット保健セクターなどで集積した取り組みと改善された結果を共有するとともに、鍵となった活動を提案している。同好事例集は、ESAFc 活動を実施する中、問題解決に行き詰ったとき、他セクターの類似経験を参考にすることができるほか、他の ESAFC の努力を知ることによって活動のモチベーションの維持・向上が期待できる。

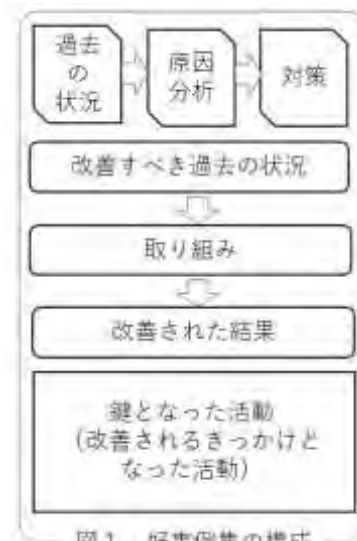


図1 好事例集の構成

3) 社会奉仕医師・看護師への第 2 回目 KAP 調査

第 2 回目の KAP 調査は、SILAIS チョントレスにおいて、社会奉仕医師 30 名のうち 26 名、看護師 24 名のうち 16 名に対して実施し、SILAIS セラヤ・セントラルでは、社会奉仕医師 24 名のうち 23 名、看護師 16 名のうち 12 名に対して実施した。

計画

- ① ESAFC 活動の第 4 四半期の評価を開始する。
- ② 各支所は第 7 回運営委員会 (4 月 15 日) までに、ESAFc 活動ガイドの修正案や好事例を取りまとめる。
- ③ 社会奉仕活動を 1 年間行った全医師および看護師に対する KAP 調査を継続する。

1-3. 技術統合巡回指導

1) 巡回指導の実施状況

両 SILAIS による巡回指導の実施状況は、表 1 のとおりである。

表 1 SILAIS が実施する巡回指導

SILAIS の活動	特徴	3 月実施数			
		チョントレス		セラヤ・セントラル	
		目標	実績	目標	実績
技術統合巡回指導	支所の多岐にわたる活動の巡回指導を SILAIS がスーパーバイズ	5 箇所	6 箇所 【内訳】 6 支所 6 保健セクター	2 箇所	1 箇所 【内訳】 1 支所 1 保健セクター
技術審議会 (CTAM) 同席	保健セクターの医療チームが参加	10 支所	5 支所	4 支所	2 支所
統計データの質管理	保健セクターが扱う様々な統計データの質を確認	5 箇所	9 箇所 【内訳】 4 支所 9 保健セクター	2 箇所	4 箇所 【内訳】 3 支所 4 保健セクター

SILAIIS チョントレスでは前月より、活動数が増えている。しかし技術審議会は 10 支所中 7 支所でしか開催されなかった。実施しなかった支所は、アコヤパ、コマラパ、ビジャ・サンディーノの 3 支所だった。また統計データの担当技官の休暇が終了し、2 月には実施されなかったデータの質管理に関わる活動が再開された。SILAIIS セラヤ・セントラルは、SILAIIS 保健サービス課長の交替に伴い、巡回指導などの業務に遅延があり、統計データの質管理を除き、前月よりも SILAIIS の活動数が減少している。

- 2) SILAIIS チョントレスでは、技術統合巡回指導において、健診カルテが適正に記入されているかを確認する際にモニタリングハンドブックを用いることが定着している。統一した方法で医療の質評価を確実にを行うために、各支所の看護師長を集め、ハンドブックを用いたモニタリングの実践研修を開催した。

計画 ① SILAIIS および各支所は、巡回指導を継続する。

1-4. レファラル・カウンターレファラル

- 1) レファラル・カウンターレファラルのデータ収集・分析・フィードバック
両 SILAIIS は、各支所代表が参加する技術審議会（GTAD）において、レファラル・カウンターレファラルの搬送データ、様式の記入漏れおよび記入ミスなどについて意見交換した。両 SILAIIS からは、病院も交えてレファラル・カウンターレファラルに特化した技術会議を再開し、問題の改善に向けた協議が必要だとする意見があった。
- 2) マタニティホーム啓発フェア
保健省主導によるマタニティホームの啓発フェアが各 SILAIIS で開催された。フェアには各支所から 3-4 名のコミュニティネットワークのメンバー（伝統的助産師、妊産婦、集落リーダー、保健省労働組合員など）が集められ、医療従事者と共にマタニティホームの利用活性化に関して、意見交換、計画立案、啓発活動のロールプレイなどが行われた。グループワークでは、7-8 名で構成されるグループに分かれ、マタニティホームの利用度を高めるための必要な取り組みに関して意見交換を行い下記のような意見が多数出た。
<共有された意見>
 - 日中のみのケア担当配置から 24 時間体制への改善
 - 家族、カップル、母親教室などの定期的な開催
 - ミシンを使った縫製、料理など母親向けの技術向上研修の開催
 - マタニティホームでの超音波診断の実施

計画 ① 両 SILAIIS は、レファラル・カウンターレファラル技術委員会を再開する。

1-5. 機材調達管理

- 1) 第 1 期分供与機材
JICA ニカラグア事務所によると、納入業者である Casa Teran から SILAIIS チョントレスの保健センターへ納入が予定されていた機材のうち、ベビーベッド 3 台の納入が契約期間内に実施されないことが明らかとなった。これに伴い、JICA 事務所は、

ベビーベッド 3 台分を削減して第 1 期分供与機材の料金清算に取りかかった。このベビーベッド 3 台分に関しては、第 2 期分供与機材の残高約 70 万円から購入するかどうかを JICA 事務所と人間開発部の間で検討している。

2) 機材稼働モニタリング

両 SILAIS では、第 1 期分供与機材の納品終了に伴い、機材稼働モニタリングに本格的に取り組み始めている。3 月末までに 14 支所中 10 支所の機材管理台帳を各支所の会計担当が更新した。両 SILAIS の財務課では、更新記録と納入機材リストを照合している。機材管理台帳が更新されていないのは、SILAIS チョントレスのエル・アヨテ、サント・ドミンゴ、ラ・リベルタ、SILAIS セラヤ・セントラルのムエジェ・デ・ロス・ブエジェスの 4 支所である。この原因としては、最終機材の納期の遅れのほか、多忙な日常業務の中で、この作業に長い時間を当てられない現状、交替したばかりの担当者が当該作業に不慣れであることなどが挙げられている。SILAIS の業務調整努力と更新作業は継続されている。

3) 第 2 期分供与機材の調達の進捗

調達契約を結んだ納入業者の BÜHLER に確認したところ、機材の調達は問題なく進んでおり、4 月下旬にニカラグアへ到着予定と回答があった。

- ① 機材管理台帳を更新し、第 1 期分供与機材の稼働状況をモニタリングする。
② 第 2 期分供与機材の輸入手続きの進捗状況を確認する。

1-6. 国際フォーラム

1) 準備会議

国際フォーラムに関わる保健省の対外協力局、保健サービス総局、教育・調査総局、公衆衛生監視総局、および JICA や PAHO などの外部支援機関が、フォーラムの参加者、手法および期待される成果、ロジスティックス、資金運用などについて、共通認識を持つことと実施にあたっての諸調整を目的とした準備会議を、本省で 2 度開催した。保健省内の各局および援助機関は、それぞれ企画書の承認手続きを進めている。

1-7. PDM 改定

1) PDM 指標改定に伴う JICA・保健省間の M/M 署名

保健大臣が M/M に署名し、PDM は version3 に改訂された。署名日は 2018 年 2 月 23 日とした。新・旧指標とその改訂理由は、表 2 のとおりである。

表 2. PDM 修正事項

改訂した指標	改訂前 (PDM version2)	改訂後 (PDM version3)	指標の改訂理由
プロジェクト目標 指標 1	対象地域で、妊婦が 1 回目の産前健診を妊娠 12 週以内に受診する割合が 2014 年の 62.5% (ベースライン)	対象地域で、妊婦が 1 回目の産前健診を妊娠初期 12 週に受診する割合が 2014 年の 65.5% (ベースライン) から 2018	より現実に近い数値で計るために、指標の分母を国立統計局 (INIDE) の「推定妊婦数」から保健省情報システム (SIMINSA) の「補足

	から 2018 年の 75.0% (エンドライン) に上昇する。	年 (エンドライン) に上昇する。	妊婦数」へ修正したため。
プロジェクト目標指標 3	対象地域で中期 (産後 2~10 日) 産後健診の受診率が 2014 年の 75.3% (ベースライン) から 2018 年 (エンドライン) に上昇加する。	対象地域で中期 (産後 2~10 日) 産後健診の受診率が 2014 年の 77.4% (ベースライン) から 2018 年 (エンドライン) に上昇加する。	より現実に近い数値で計るために、指標の分母を国立統計局 (INIDE) の「推定分娩数」から保健省情報システム (SINEVI) の「専門技能者が立ち会った分娩数」へ修正したため。

1-8. 関連業務

1) 保健省内の人事異動に関わる情報収集

3 月中旬より社会奉仕の医師および看護師の交替・異動のほか、支所長、SILAIS 担当技官の交替や異動も起きている。主なものとして、SILAIS セラヤ・セントラルの保健サービス課長、サント・トマス支所長、ビジャ・サンディーノ支所長が交替する。この人事異動時期を利用して休暇を取得する医療従事者も多く、毎年のように保健医療サービスおよび活動が停滞気味となる。4 月からは、新たな社会奉仕医師・看護師が派遣されるほか、各 SILAIS は准看護師 25 名を育成する。また、4 月は全国予防接種月間となり同業務が優先される。

2) JOCV 医療部会との連携

2018 年 8 月の国際フォーラム開催に伴い、フォーラム開催中の運営スタッフとして JOCV 医療部会 (2018 年 8 月時点で 7 名) の支援を得る方向で、JICA 事務所および JOCV 医療部会と調整した。

また、村上友美子 (ヘルスプロモーション) 専門家の着任と JOCV 医療部会のフィガルパにおける活動に合わせ、PowerPoint をはじめとした健康教育教材作成・活用技術向上の勉強会を 4 月 23 日に SILAIS チョントレスで開催する計画を立てた。

2. 主な活動日程

<3 月>

- 1 日：第 6 回半期評価会・ワークショップの評価会
- 2 日：SILAIS チョントレス巡回指導の質管理会議
- 6 日：サント・トマス支所技術統合巡回指導
- 7 日：ラ・リベルタ支所技術統合巡回指導、アコヤパ支所技術統合巡回指導
- 8 日：サント・トマス支所技術審議会
- 9 日：ラ・リベルタ支所技術審議会、SILAIS セラヤ・セントラルのレファラル・カウンターレファラル技術会議
- 12 日：SILAIS チョントレス支所合同技術審議会
- 13 日：SILAIS セラヤ・セントラル支所合同技術審議会
- 14 日：エル・ラマ支所マロン保健セクター会議、サント・ドミンゴ支所チナモス保健セクター会議
- 15 日：アコヤパ支所技術審議会、国際フォーラム準備会議、SILAIS チョントレスのマタニティホーム啓発フェア

- 16日：JICA 事務所との定例会議、IDB との国際フォーラム準備会議
- 19日：国際フォーラム準備会議、SILAIS セラヤ・セントラルのマタニティホーム啓発フェア
- 20日：アコヤパ支所サン・フェリペ保健セクター会議、ヌエバ・ギネア支所タロリンガ保健セクター会議
- 21日：エル・ラマ支所ワピ保健セクター会議、サント・ドミンゴ支所ブルン 2 保健セクター会議、アコヤパ支所チナル保健セクター会議
- 22日：ヌエバ・ギネア支所ナシオネス・ウニダス保健セクター会議、エル・アヨテ支所技術審議会
- 23日：エル・アヨテ支所 ESAFC 活動交換会
- 26日～30日：保健省イースター休暇

3. 今後の予定

<4月>

- 2日：両 SILAIS において、社会奉仕の医師・看護師受入れ
- 4日：サント・ドミンゴ支所ロス・チナモス保健セクター会議、国際フォーラム準備会議
- 5日：SILAIS チョンタレス保健サービス技術審議会
- 6日：JICA 事務所による JICA 事業予算説明会、ヌエバ・ギネア支所技術審議会
- 9日：石原尚子（母子保健）専門家着任、エル・ラマ支所技術審議会
- 10日：村上友美子（ヘルスプロモーション）専門家着任、エル・アヨテ支所技術審議会
- 11日：クアパ支所技術審議会、エル・コラル支所技術審議会
- 12日：サント・トマス支所技術審議会、サント・ドミンゴ支所技術審議会、アコヤパ支所技術審議会
- 13日：レファラル・カウンターレファラル両 SILAIS 合同会議、ヌエバ・ギネア支所技術審議会
- 14日：渡辺咲子（副総括/地域保健/業務調整）専門家着任
- 15日：アコヤパ支所技術審議会
- 17日：SILAIS セラヤ・セントラル PowerPoint 技術研修、アコヤパ支所 ESAFC 活動評価会
- 18日：サント・ドミンゴ支所ブルン 2 保健セクター会議、エル・ラマ支所マロン保健セクター会議、サント・トマス支所 ESAFC 活動評価会
- 19日：SILAIS チョンタレス PowerPoint 技術研修、フィガルパ支所技術審議会、ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所技術審議会
- 20日：アコヤパ支所チナル保健セクター会議、コマラパ支所技術審議会、ヌエバ・ギネア支所技術審議会
- 21日：エル・ラマ支所ワピ保健セクター会議
- 23日：JOCV 医療部会との勉強会、エル・ラマ支所技術審議会
- 24日：ヌエバ・ギネア支所タロリンガ保健セクター会議、アコヤパ支所サン・フェリペ保健セクター会議、エル・アヨテ支所 ESAFC 活動評価会
- 25日：ヌエバ・ギネア支所ナシオネス・ウニダー保健セクター会議、コマラパ支所 ESAFC 活動評価会、クアパ支所 ESAFC 活動評価会、エル・コラル支所技術審議会、村上友美子（ヘルスプロモーション）専門家離任
- 26日：サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所技術審議会、サント・ドミンゴ支所 ESAFC 活動評価会、ラ・リベルタ支所 ESAFC 活動評価会

27日：サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所 ESAFC 活動評価会、ヌエバ・ギネア支所技術審議会

4. 活動写真

別添のとおり

5. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

4. 活動写真



SILAIIS セラヤ・セントラル
マタニティホーム啓発フェア
RCによる妊産婦へのリスク管理啓発練習



SILAIIS チョントレス
マタニティホーム啓発フェア
RCや妊婦を交えてグループワーク



マタニティホーム啓発フェア
伝統的助産師により利用度改善の活動案を説明



マタニティホーム啓発フェア
屋外に展示された掲示板



SILAIIS チョントレス
モニタリングハンドブックの実践研修
10支所の看護師長が集まった



SILAIIS チョントレス
モニタリングハンドブックの実践研修
一人がモニタリングハンドブックを確認し、
もう一人が健診カルテの記述をチェック



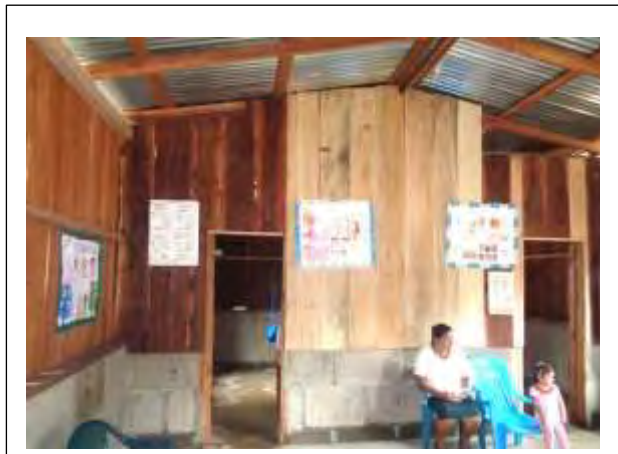
SILAIS セラヤ・セントラル
支所長ら支所チームが参加する技術審議会



サント・トマス支所
保健セクター代表が参加する技術審議会



サント・トマス支所
技術統合巡回指導



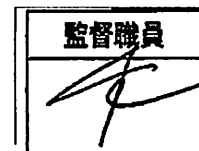
エル・ラマ支所マロン保健セクター
RCのメンバーが建設した
「保健の家」の待合室



国際フォーラム準備会議
保健省各局、JICA、PAHO が出席し
手法、ロジスティックに関して意見交換



サント・ドミンゴ支所
ロス・チナモス保健セクター会議
エンドライン調査の準備に取り掛かっている



2018 年 5 月 11 日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区に
おける母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2018年4月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. 対象 14 支所における医療従事者研修

1) 教材の活用技能向上研修

両 SILAIS および 14 支所において研修を担当し、PowerPoint を中心としたデジタル教材を使用している職員を対象として、ヘルスプロモーション専門家による 1 日間の教材活用技能向上の研修を、各 SILAIS で実施した。本研修は、視聴覚教材の作成と使用技術の強化により、対コミュニティネットワークおよび医療従事者向けの研修内容が的確に受講者に伝わるようになることを目的としている。この研修が必要となった背景には、モニタリング・巡回指導の結果、研修でテキストおよび PowerPoint 教材を用いて説明したにもかかわらず、受講者に十分理解されていない事柄が複数確認されたことがある。講義で用いた PowerPoint 教材を分析したところ、単に研修テキストの文章をコピーしただけのものが多く、文字の大きさや構成・表記方法・画像の使用などに、受講者の理解を助けるための工夫や配慮がされておらず、その結果、届けたいメッセージが確実に届いていないという問題が明らかになった。第 1 期派遣時の研修では、ニカラグア保健省でよく用いられている掲示板やポスター、口頭説明における情報伝達手法を指導した。今回は、研修はもとより、技術審議会や委員会活動、セミナーやフォーラムなどで、対象者に情報を正しく、印象的に、また効率的に伝えるための技術強化として、PowerPoint の作成技能を中心に研修内容を構成した。研修プログラムは添付のとおり（添付資料 1）。

2) 「妊産婦管理台帳」の補完講習

ビジャ・サンディーノ支所以外はすべて終了している。同支所は支所長の交替、予防接種キャンペーン、国内暴動（詳細は後述）の影響を受け、保管講習を計画どおり実施できなかった。ビジャ・サンディーノ支所では、支所長ほか幹部グループと労働組合との対立により、支所長が交代した。SILAIS チョンタレス内で唯一 2 か

所保健センターがあるビジャ・サンディーノ支所内では、支所長派のビジャ・サンディーノ保健センターと労働組合派のガテアーダ保健センター間の対立が浮き彫りとなっている。巡回指導において、今後の活動に関して支所長と協議したが、当面は一般業務の強化と労働組合との関係改善が中心的な活動とならざるを得ない状況である。補完講習に関しては、今後機会を捉えて実施することで合意した。

3) 8 項目研修プログラム

4 月から新たに社会奉仕の医師・看護師や新規採用の准看護師が両 SILAIS に配置された。これに伴い、各支所はプロジェクトの 8 項目研修プログラム（妊産婦管理台帳、産前健診、妊娠性高血圧、産後出血、乳幼児健診、ES AFC 活動、ヘルスプロモーション、保健セクターからの感染症対策）の実施計画立案を進めている。

4) 「産前健診」と「妊娠性高血圧症」の補完講習

「妊産婦管理台帳」に関して、巡回指導で改善されない点が散見されたため、母子保健技術委員会で補完教材を作成し、補完講習が実施された。同様に、「産前健診」と「妊娠性高血圧症」の補完講習教材を作成し、これらのテーマについて改善が見られない支所において、補完講習を適宜実施することとした。各支所は上述の 8 項目研修を優先し、これらの補完研修は、巡回指導の結果、問題が新たに見つかった支所や保健セクターを対象に、技術審議会の時間枠もしくは継続教育の時間枠で実施することになった。

5) 母子保健 5 項目のテキスト第 2 版

母子保健技術委員会により、これまで作成したテキストを見直し、第 2 版の作成を進めている。

- 計画
- ① ビジャ・サンディーノ支所長と調整し、「妊産婦管理台帳」の補完研修を実施する。
 - ② 各支所は、新たに配置された、社会奉仕の医師・看護師および新任の准看護師に対する研修プログラムの実施計画を立案する。
 - ③ 母子保健技術委員会は、補完講習教材作成で取り組んだ内容や巡回指導の結果を反映した母子保健 5 項目のテキストの改訂草案を作成する。

1-2. ES AFC 活動

1) 対象地域全体における ES AFC 活動

両 SILAIS の全 161 保健セクターは、ES AFC 活動ガイドおよび ES AFC 活動好事例集を用いて、13 項目の活動に取り組んでいる。各支所は、4 月に入り、第 4 四半期評価計画を立案し、評価を開始した。4 月末までに 3 支所（サント・トマス、アコヤパ、ヌエバ・ギネア）で評価を完了した。

2) 社会奉仕医師・看護師への第 2 回目 KAP 調査

第 2 回目の KAP 調査を終了し、データ入力作業を開始した。

- 計画
- ① 全支所で 5 月 15 日の第 7 回運営委員会までに ES AFC 活動の第 4 四半期評価を終了する。
 - ② 各支所は第 7 回運営委員会までに、ES AFC 活動ガイドの修正案や新たな好

事例を取りまとめる。

- ③ 社会奉仕活動を 1 年間行った全医師および看護師に対する KAP 調査の分析を進める。

1-3. 技術統合巡回指導

1) 巡回指導の実施状況

両 SILAIS による巡回指導の実施状況は、表 1 のとおりである。

表 1 SILAIS が実施する巡回指導

SILAIS の活動	特 徴	4 月実施数			
		フォントレス		セラヤ・セントラル	
		目標	実績	目標	実績
技術統合巡回指導	支所の多岐にわたる活動の巡回指導を SILAIS がスーパーバイズ	5 箇所 / 月	1 箇所 【内訳】 1 支所 1 保健セクター	2 箇所 / 月	1 箇所 【内訳】 1 支所 1 保健セクター
		目標	実績	目標	実績
技術審議会 (CTAM) 同席	保健セクターの医療チームが参加	10 支所 / 月	4 支所	4 支所 / 月	3 支所
		目標	実績	目標	実績
統計データの質管理	保健セクターが扱う様々な統計データの質を確認	5 箇所 / 月	0 箇所	2 箇所 / 月	1 箇所 【内訳】 1 支所 1 保健セクター
		目標	実績	目標	実績

SILAIS が同行する技術統合巡回指導、支所の技術審議会、統計データの質管理は、本省で開催された数多くの研修、予防接種キャンペーン、国内暴動の影響を受け、実績が低下した。統計データ担当は予防接種のデータ入力に追われた。両 SILAIS は、「本状況は 4 月のみで限定的」と判断しており、5 月以降は活動の活性化が図られよう。

計画 ① SILAIS および各支所は、巡回指導を継続する。

1-4. エンドライン調査

1) 2017 年に出産した母親への KAP 調査

2015 年のベースライン調査で実施した、“2014 年に出産した母親への KAP 調査”と比較するために、2017 年に出産した母親への KAP 調査の準備を進めている。前回と同様に、地元の女子大学生（保健分野の学生を除く）をインタビューアーとして、プロジェクトのパイロット保健セクター 8 か所で 5・6 月に実施する。KAP 調査実施に際し、各パイロット保健セクターで、コミュニティネットワークメンバ

一、パイロット地区の医療従事者と支所技官などの協力を得て、詳細な実施スケジュールを立案した。本調査には、SILAIS やプロジェクトの人員が同行する。調査する母親の人数は、表 2 のとおり。尚、国内暴動による大学の休校などにより、調査日程変更の必要性が生じている。KAP 調査質問票はベースラインの質問票を元しつつ、専門家とカウンターパートが、これまでの母子保健活動の知見をもとに作成した。KAP 調査質問票は添付資料 2 のとおり。

表 2 調査予定の母親人数

SILAIS	支所	パイロット保健セクター	調査実施日	母親の人数
チョンタレス	アコヤパ	サン・フェリペ	5月10日	12人
		エル・チナル	5月10日	35人
	サント・ドミンゴ	チナモス	5月17日	32人
		ブルン2	5月18日	21人
セラヤ・セントラル	エル・ラマ	ワピ	5月22日	90人
		マロン	5月23日	35人
	ヌエバ・ギネア	タロリング	6月5日	26人
		ナシオネス・ウニダス	6月6日	50人
			合計	301人

計画 ① 8か所のパイロット地区で KAP 調査を実施する。

1-5. 機材調達管理

2) 第1期分供与機材

第1期分供与機材で納品されなかったベビーベッド3台は、第2期分供与機材で購入する計画である。現在、打ち合わせ簿を準備している。

3) 機材稼働モニタリング

各支所は、第1期分供与機材を含めた機材管理台帳を更新した。この機材管理台帳(Excel様式)には、機材の稼働状況(Bueno:良好、Regular:使用可、Mal:故障)が分類されている。各支所は、機材管理台帳の「Mal:故障」機材を選抜し、SILAISへ報告するため、備考欄を設けて故障状況を調査している。故障状況とは、修理の可否、必要度などを記述することになっている。

4) 第2期分供与機材の調達の進捗

調達契約を結んだ納入業者のBÜHLERに機材調達状況を確認したところ、5月中旬にニカラグアに到着予定との回答があった。

計画 ① 第1期分供与機材を含めた全機材の稼働状況をモニタリングする。

② 第2期分供与機材の輸入手続きの進捗状況を確認する。

1-6. 国際フォーラム

1) 保健省の国際フォーラム準備委員

保健省の対外協力局、保健サービス総局、教育総局は、それぞれ国際フォーラムの担当者を定め、準備委員会を立ち上げ、各国への招待状や案内ガイドの作成などに取り組んでいる。PAHO ニカラグアと IDB ニカラグアは、企画書および国際フォーラムの共催に合意し、参加者の派遣、予算面の協力を保健省に約束した。プロジェクトは、人間開発部の意向を伝え、準備委員会に参加し、必要な書類作成などのほか、フォーラム会場の準備をはじめとしたロジスティックス面の支援を進めている。

- 計画
- ① 人間開発部より企画書についての承認を得る。
 - ② 各国への招待状と案内ガイドを完成させ、招待状を送付する。
 - ③ 保健省、PAHO、IDB と予算計画を完成させる。

1-7. 運営業務

1) 社会奉仕の医師・看護師ほか

4月2日に社会奉仕の医師・看護師らが両 SILAIS に配置された。SILAIS チョントレスは、医師：39名、看護師：30名、臨床検査技師：4名、理学療法士：1名、SILAIS セラヤ・セントラルは、医師：20名、看護師：15名、臨床検査技師：3名、理学療法士：1名、麻酔技師：1名が配属となった。また1年間にプロジェクト SAMANI の8項目研修プログラムを含む保健教育を受講した准看護師を、SILAIS チョントレスは21名、SILAIS セラヤ・セントラルは24名、それぞれの保健セクターへ配置した。

両 SILAIS は、社会奉仕の医師・看護師に対して、配属初日に、ES AFC 活動とレファラル・カウンターレファラル・システムの概要を説明した。

2) 保健省内の人事異動にかかわる情報収集

4月2日 SILAIS チョントレス内の、サント・トマス支所、ビジャ・サンディーノ支所長の交代があった。また、サント・ドミンゴ支所ではこれまでの支所長代理が、正式に支所長として任命された。

1-8. 関連業務

1) 社会保険制度改革を発端とした国内暴動

4月17日、財政難にある社会保険庁について、国民負担を伴う改革案が大統領府で承認された。これを受け、翌18日に同改革案反対のデモや集会在全国各地で開催された。マナグア市内の主要道路で実施されたデモや、私立中央アメリカ大学の集会において、サンディニスタ政党青年団とみられる集団が、反政府運動を阻止しようと集会者への暴行や投石を行い、多数の負傷者が出たほか、取材中のカメラ機材を強奪・破壊した。19日には学生を中心とする反政府活動が全国に拡大し、それを阻止しようとする警官隊と衝突し、一部の参加者が暴徒化した。反政府グループは、警官隊に対する投石、与党の政党旗や看板の破壊、政府関連施設の破壊、放火におよび、警官隊はゴム弾などでこれに応戦した。この混乱に乗じて、同週末にはマナグアのスーパーや商店の襲撃と商品の略奪も発生した。NGO「ニカラグア人権センター」(Cenidh)の5月4日の報告 (<https://www.cenidh.org/>)

media/documents/docfile/INFORME_SOBRE_REPRESI%C3%93N_Y_VIOLENCIA_EN_CONT
RA_DE_MANIFESTANTES__mayo_de_2018.pdf)によると、死者は45人に達している。
4月中に計画していた ESAFC 活動評価、技術審議会、技術統合巡回指導は、18日
以降すべて中止となり、保健省の活動は予防接種キャンペーンのみ実施された。
また、この暴動で、SILAIS セラヤ・セントラルは投石を受け、一部の窓ガラスが
破損し、運河建設反対勢力によりヌエバ・ギネア市へ通ずる道路が10日間に渡っ
て封鎖された。

2) JOCV との勉強会の中止

4月23日にSILAIS チョントレスで開催を計画していた JOCV 医療部会との勉強会
は、関係者の安全を考慮し中止した。

2. 主な活動日程

<4月>

- 2日：両 SILAIS において、社会奉仕の医師・看護師受入れ
- 4日：サント・ドミンゴ支所ロス・チナモス保健セクター会議、国際フォーラム準備会議
- 5日：ヌエバ・ギネア支所社会奉仕医療従事者向け ESAFC 活動研修
- 6日：JICA 事務所による JICA 事業予算説明会、ヌエバ・ギネア支所技術審議会、ビジャ・サンディーノ支所技術審議会
- 9日：石原尚子（母子保健）専門家着任、SILAIS セラヤ・セントラル4支所合同技術審議会
- 10日：村上友美子（ヘルスプロモーション）専門家着任、SILAIS チョントレス10支所合同技術審議会、エル・ラマ支所技術審議会、国際フォーラム準備会議
- 11日：クアパ支所技術審議会、エル・コラル支所技術審議会
- 12日：サント・トマス支所技術審議会、アコヤパ支所技術審議会、ヌエバ・ギネア支所ナシオネス・ウニダス保健セクター会議
- 13日：ヌエバ・ギネア支所技術 ESAFC 活動評価、ビジャ・サンディーノ支所技術統合巡回指導
- 14日：渡辺咲子（副総括/地域保健/業務調整）専門家着任
- 16日：ヌエバ・ギネア支所技術 ESAFC 活動評価
- 17日：SILAIS セラヤ・セントラル PowerPoint 技術研修、アコヤパ支所 ESAFC 活動評価
- 18日：サント・ドミンゴ支所ブルン2保健セクター会議、エル・ラマ支所マロン保健セクター会議、サント・トマス支所 ESAFC 活動評価
- 19日：SILAIS チョントレス PowerPoint 技術研修、フィガルパ支所技術審議会、ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所技術審議会、エル・ラマ支所技術統合巡回指導
- 20日：エル・ラマ支所ワピ保健セクター会議
- 22日：ヌエバ・ギネア支所技術 ESAFC 活動評価
- 22~24日：JICA ニカラグア事務所の指示により自宅待機
- 25日：村上友美子（ヘルスプロモーション）専門家離任

3. 今後の予定

<5月>

- 3日：クアパ支所 ESAFC 活動評価、ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所 ESAFC 活動評価、ファイガルパ支所 ESAFC 活動評価
- 4日：SILAIS チョントレス母子保健技術委員会、JICA ニカラグア事務所・プロジェクト報告会、コマラパ支所 ESAFC 活動評価、ファイガルパ支所 ESAFC 活動評価、ラ・リベルタ支所 ESAFC 活動評価、エル・コラル支所 ESAFC 活動評価
- 7日：サント・ドミンゴ支所 ESAFC 活動評価、エル・ラマ支所 ESAFC 活動評価
- 8日：サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所 ESAFC 活動評価、ビジャ・サンディーノ支所 ESAFC 活動評価、エル・ラマ支所 ESAFC 活動評価、アコヤパ支所技術統合巡回指導
- 9日：国立自治大学ファイガルパ校の女子学生に対して KAP 調査員研修（延期）、ファイガルパ支所 ESAFC 活動評価、エル・アヨテ支所 ESAFC 活動評価、アコヤパ支所技術統合巡回指導
- 10日：アコヤパ支所エル・チナルおよびサン・フェリペ保健セクターKAP 調査（延期）、サント・トマス支所技術審議会、アコヤパ支所技術審議会
- 11日：国際フォーラム準備会議、両 SILAIS 母子保健技術委員会、ラ・リベルタ支所技術審議会
- 15日：第7回プロジェクト運営委員会
- 16日：クアパ支所技術審議会、ラ・リベルタ支所技術統合巡回指導
- 17日：サント・ドミンゴ支所チナモス保健セクターKAP 調査（延期）、コマラパ支所技術統合巡回指導、サント・トマス支所技術統合巡回指導
- 18日：サント・ドミンゴ支所ブルン2保健セクターKAP 調査（延期）、クアパ支所技術統合巡回指導
- 21日：私立マルティン・ルーサー・キング大学ワピ校の女子学生に対して KAP 調査員研修
- 22日：エル・ラマ支所ワピ保健セクターKAP 調査
- 23日：エル・ラマ支所マロン保健セクターKAP 調査
- 24日：ビジャ・サンディーノ支所技術審議会、エル・アヨテ支所技術審議会
- 31日：サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所技術審議会

4. 添付資料

- 添付資料 1. 教材活用能力向上研修プログラム
- 添付資料 2. KAP 調査質問票

5. 活動写真

別添のとおり

6. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

添付資料 1

研修の質向上を目的とした教材活用スキル向上研修

日付	2018年4月17日(火)、19日(木)	研修参加人数	17日：21人、19日：25人
場所	SILAIS チョントレス(19日)および SILAIS セラヤ・セントラル(17日)の会議室		
研修ファシリテーター	村上由美子 (SAMANI プロジェクト専門家)		
研修責任者	両 SILAIS の保健サービス課長		
研修目的	研修の際の教材活用における使用方法、発表スキルの向上		

時間	研修内容		
	テーマ	詳細	成果・目標
8:30 - 9:00	受付 研修開会式		
9:00 - 9:30	I. 教材の特徴	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研修受講者のレベルに合わせた教材の使い方 2. 教育素材を組み合わせた効果的な使い方 (テキストと PowerPoint) 	教材の特徴と教育素材の効果的な使い方を説明できる
9:30 - 10:15	II. PowerPoint の 使い方の作り方	<ol style="list-style-type: none"> 1. PowerPoint の機能 2. スライドの効果的なデザイン 3. スライドの文字記述 4. 写真の撮影と活用の基本技術 5. 構成技術 6. 数字とグラフの効果的な使い方 	<p>研修受講者の理解が深まる PowerPoint の使用および作成方法を説明できる</p> <p>スライド作成における重要な点と構成技術を応用できる</p>
10:15 - 10:30	休憩		
10:30 - 11:00	継続	<ol style="list-style-type: none"> 7. スライドの移行に関する基礎知識 8. アニメーション効果の使い方 9. スクリーンとプロジェクターの設置 10. レーザーポインターの使用上の注意 	
11:00 - 12:00	III. 作成したスライドの検証	PowerPoint 教材の技術的評価	スライドの技術的評価が的確に行える
12:00 - 13:00	昼食		
13:00 - 15:00	IV. スライドの修正	研修のための PowerPoint の修正と見直しの実習	各種研修に際して、スライドの修正ができるようになる
15:00 - 15:45	V. プレゼンテーション	研修用に PowerPoint に修正を加えた発表	修正された PowerPoint を的確に評価できる
15:45 - 16:00	結論と研修評価		

添付資料 2. KAP 調査用紙

同意書

親愛なる参加者の皆さま

このアンケート調査は、保健省が日本の国際協力機構（JICA）と共同で実施しています。この調査は、大学のボランティアの学生によって、SILAIS チョントレスとセラヤ・セントラルの母親と子どもの健康状態を把握するために実施されます。

あなたの名前、住所、その他の個人情報は、機密に扱い、個人または組織に公表されることはありません。

この調査は、約 15 分間を要します。あなたの参加は任意であり、いつでも調査から退出することができます。この調査について質問がある場合は、最寄りの保健センターまたは保健ポストへ連絡を取ることができます。

この同意書に署名すると、この調査に参加を表したことになります。あなたは、この同意書を読み、説明を受けました。

参加者の署名: _____

調査者の署名: _____

日付: 2018 年 ____ 月 ____ 日

調査者への注意：母親に適切な環境を提供しインタビューするようにして下さい。

(例: テレビやラジオの音量を下げる、最低限のプライバシーの確保、快適に座るなど。)

知識、態度および習慣に関する質問（家庭訪問）

市町村（支所）：_____

保健セクター：_____

集落：_____

所属している保健センターまたは保健ポスト：_____

I. 選択基準（下記に当てはまらない者は、インタビューを中止する）

1. 生産児の最終出産日：2017年__月__日

2. 最終の出産をした市町村；

- | | | |
|--|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1). Comalapa | <input type="checkbox"/> 2). Juigalpa | <input type="checkbox"/> 3). La Libertad |
| <input type="checkbox"/> 4). Santo Domingo | <input type="checkbox"/> 5). San Pedro de Lóvago | <input type="checkbox"/> 6). Santo Tomás |
| <input type="checkbox"/> 7). Acoyapa | <input type="checkbox"/> 8). Villa Sandino | <input type="checkbox"/> 9). Cuapa |
| <input type="checkbox"/> 10). El Ayote | <input type="checkbox"/> 11). El Coral | <input type="checkbox"/> 12). El Rama |
| <input type="checkbox"/> 13). Muelle de los Bueyes | <input type="checkbox"/> 14). Nueva Guinea | <input type="checkbox"/> 15). その他_____ |

II. 知識

読みあげる →これらの質問は、あなたの経験を問うものではなく、一般的な知識に関するものです。あなたをご存知であることについてお答えください。

1. 普通産前健診は、妊娠何か月から受け始めることが望ましいですか？

妊娠__か月 知らない。確信が持てない。答えない。

2. 一般的に、妊娠中に何回産前健診を受けるのが望ましいですか？

__回 知らない。確信がない。答えない。

3. 一般的に、誰が出産の介助をしなければなりませんか？ **（複数回答可）**

- | | | |
|--|--|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1). 男性医師 | <input type="checkbox"/> 2). 女性医師 | <input type="checkbox"/> 3). 男性看護師 |
| <input type="checkbox"/> 4). 女性看護師 | <input type="checkbox"/> 5). 伝統的助産師 | <input type="checkbox"/> 6). 夫 |
| <input type="checkbox"/> 7). 父親 | <input type="checkbox"/> 8). 母親 | <input type="checkbox"/> 9). 一人で |
| <input type="checkbox"/> 10). 知らない。答えない。 | <input type="checkbox"/> 11). その他_____ | |

4. 一般的に、どこで出産するのが望ましいですか？ **（複数回答可）**

- | | | |
|---|---------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 1). 個人（私立）のクリニック | <input type="checkbox"/> 2). 病院 | <input type="checkbox"/> 3). 保健センター |
| <input type="checkbox"/> 4). 保健ポスト | <input type="checkbox"/> 5). 自宅 | <input type="checkbox"/> 6). 決まった場所はない |
| <input type="checkbox"/> 7). 知らない。答えない。 | <input type="checkbox"/> 8). その他_____ | |

- 10). 動いていた赤ちゃんが動かない 11). 発作や痙攣
12). 目がチカチカする 13). 耳鳴り
14). その他 (特定して下さい) _____
15). 確信がない。答えない。

III. あなたの経験

読みあげる →今からは、あなたの最後の出産について質問させていただきます。あなたの経験を聞かせてください。以前の出産経験と混同しないようにお気を付けてください。

12. あなたの経験によると、妊娠何か月から産前健診を受け始めましたか？

妊娠_____か月。 知らない。確信が持てない。答えない。

13. あなたの経験によると、妊娠時に何回産前健診を受けましたか？

_____回 知らない。確信がない。答えない。

14. あなたの経験によると、妊娠中の危険兆候の情報をどこから得られましたか？ **(複数回答可)**

- 1). 妊娠検診時もしくは保健所の講和 2). 村落内での保健講和
3). マスメディア (TV/ラジオ) 4). 保健省で配布される小冊子
5). 家庭訪問時 6). その他_____
7). 知らない。答えない。

15. あなたの経験によると、あなたの妊娠中、危険な状態になったら、誰に連絡されますか？ **(複数回答可)**

- 1). 医師/看護師 2). 保健ボランティア/伝統的助産師
3). 村落緊急搬送委員会のメンバー 4). 家族
5). その他_____ 6). 知らない。答えない

16. あなたの村落の保健ボランティア/伝統的助産師をご存知でしたか？

1). はい 2). いいえ 3). 答えない。

17. あなたの妊娠中、村落の保健ボランティア/伝統的助産師または、医療関係者が、家庭訪問をしましたか？

1). はい 2). いいえ 3). 覚えていない・答えない。

18. あなたの経験によると、誰が出産を介助しましたか？

- 1). 男性医師 2). 女性医師 3). 男性看護師
4). 女性看護師 5). 伝統的助産師 6). 夫
7). 父親 8). 母親 9). 誰も (ひとりで)

10). 知らない。答えない。 11). その他_____

19. あなたは、どこで出産されましたか？

- 1). 私立のクリニック 2). 病院 3). 保健センター
4). 保健ポスト 5). 自宅 6). 決まった場所はないと考える。
7). 知らない。答えない。 8). その他_____

20. あなたの経験によると、あなたが妊娠していた時、あなたの夫またはパートナーは、あなたが保健センターまたは病院で出産することに同意されましたか？

- 1). はい 2). いいえ 3). 当てはまらない。相手がいない。 4). 答えない

21. あなたの出産後、何日目で最初の産後検診を受けられましたか？

- _____日目 知らない。答えない。

22. あなたが妊娠していた時、医師または看護師は、あなたにマタニティホーム利用を勧められましたか？

- 1). はい 2). いいえ→ 質問 19 と 20 には答えなくてよい。

23. あなたは、マタニティホームを利用されましたか？

- 1). はい、どの時期に利用しましたか？妊娠_____か月もしくは産後____日間
2). いいえ→質問 24 に答える。

24. 利用しなかった理由は何ですか？ **(複数回答可) 下記の回答を読む**

- 1). 好きでない。マタニティホームを信用していない。 2). 家にいることを好む
3). 支払うお金がない 4). 食費を支払えないから
5). 子供の面倒を見なければならない 6). 夫またはパートナーが賛成しない
7). 家族が賛成しない 8). 利用したかったが、間に合わなかった
9). 知らない。確信がない。答えない。 10). その他_____

25. あなたの赤ちゃんが生まれた時、生後何日目に保健センターまたは保健ポストに初めて連れて行かれましたか？

- 生後_____日目 知らない。答えない

26. あなたの妊娠中、何らかの危険兆候はありましたか？

- 1). はい→ 次の質問 27 にお答えください。 2). いいえ

27. その時、何をされましたか？

- 1). 保健センターまたは保健ポストへ行った 2). 病院へ行った。
3). 個人（私立）のクリニックへ行った 4). 家にいた
5). 伝統的助産師を訪ねた 6). 知らない。答えない。
7). その他_____

IV. 態度

読みあげる →今からは次の妊娠を想像して、あなたの考えについて質問させていただきます。続く質問について、あなたの感じたことにお答えください。

28. もしあなたが妊娠したとしたら、何か月から産前健診を受け始めますか？

妊娠_____か月 知らない。確信がない。答えない。

29. もしあなたが妊娠したとしたら、何回健診されますか？

_____回 知らない。確信がない。答えない

30. もしあなたが妊娠したとしたら、誰に出産を介助して欲しいですか？ **(複数回答可)**

- 1). 男性医師 2). 女性医師 3). 男性看護師
4). 女性看護師 5). 伝統的助産師 6). 夫
7). 父親 8). 母親 9). ひとりで
10). 知らない。答えない。 11). その他_____

31. もしあなたが妊娠したとしたら、どこで出産されますか？ **(複数回答可)**

- 1). 私立クリニック 2). 病院 3). 保健センター
4). 保健ポスト 5). 自宅 6). 決まった場所はないと考える。
7). 知らない。答えない。 8). その他_____

32. もしあなたが妊娠したとしたら、あなたの夫またはパートナーは保健センターまたは病院で出産することに同意されますか？

1). はい 2). いいえ 3). 知らない。答えない。

33. もし出産したとしたら、出産後何日目に初めての産後検診を受けられますか？

_____日目 知らない。答えない。

34. もし医師または看護師が、マタニティホームの利用を指示したとしたら、あなたはマタニティホームを利用されますか？

1). はい 2). いいえ→次の質問 35 にお答え下さい。

35. 利用したい理由は何ですか？ **(複数回答可)**

- 1). 好きでない。マタニティホームを信用していない。 2). 家にいることを好む
3). 支払うお金がない 4). 子どもたちの世話をしなければならない。
5). 夫またはパートナーが賛成しない 6). 家族が賛成しない
7). その他 (特定してください) _____
8). 知らない。確信がない。答えない。

36. もし赤ちゃんができたとしたら、出生後何日目に保健センターまたはポストへ初めて連れて行かれますか？

出生後_____日目 知らない。答えない。

37. もしあなたの妊娠中に、あなたに何らかの危険兆候があったとしたら何をされますか？

- 1). 保健センターまたは保健ポストへ行く 2). 病院へ行く。
3). 私立クリニックへ行く 4). 家にいる
5). 伝統的助産師を訪ねる 6). 知らない。答えない。
7). その他 _____

38. もし、あなたが妊娠し、危険な状態になったら、村落の保健ボランティア/伝統的助産師に連絡されますか？

- 1). はい 2). いいえ 3). 分からない・答えない

V. 社会経済状態

1. あなたの住居は持ち家ですか？ 1). はい 2). いいえ

2. あなたの住居の外壁は、何の素材で作られていますか？ **(複数回答可)**

- 1). ブリキ 2). 布 3). 段ボール
4). 植物性の素材 (木の板、わら、ヤシ、竹、土など)
5). プラスチック 6). その他の廃棄物の素材 7). 煉瓦
8). 日干し煉瓦 9). コンクリート 10). 切り石

3. 床は土ですか？ 1). はい 2). いいえ

4. 水道水はありますか？ 1). はい 2). いいえ

5. 簡易式便所または水洗便所がありますか？ 1). はい 2). いいえ

6. あなたの家には、居間、ダイニング、寝室を含めていくつ部屋がありますか？ _____

7. あなたの家では、1部屋何人寝ていますか？ _____

8. 学校に行っていない6~15歳の子供はいますか？ 1). はい 2). いいえ

9. あなたの家庭では、何人働いていますか？ _____

読みあげる →主婦は仕事として数えないでください。

VI. 回答している母親の一般的データ：

1. 名前と苗字： _____

2. 出生年月日： _____年____月____日 年齢： _____

3. 読み書きできますか？ 1). はい 2). いいえ

4. 最終学歴は、何年生まで勉強されましたか？ _____

5. 妊娠回数： _____

6. 生産児数： _____

7. 婚姻状況: 1). 独身 2). 既婚 3). 事実婚

4). 離婚/別居 5). 寡婦

ご協力ありがとうございました！

5. 活動写真



SILAIIS チョントレス
社会奉仕の医師・看護師の前で
プロジェクトについて説明



SILAIIS セラヤ・セントラル
4支所の参加する SILAIIS 技術審議会



SILAIIS チョントレス
研修および発表スキル向上を目的とした
PowerPoint 研修



SILAIIS セラヤ・セントラル
研修および発表スキル向上を目的とした
Powerpoint 研修



SILAIIS セラヤ・セントラル
ヌエバ・ギネア支所での
ESAFc 活動評価



SILAIIS チョントレス
アコヤパ支所での
ESAFc 活動評価
エビデンスを用いた活動の進捗確認



SILAIIS チョンタレス
サント・ドミンゴ支所
保健セクターが参加した技術審議会



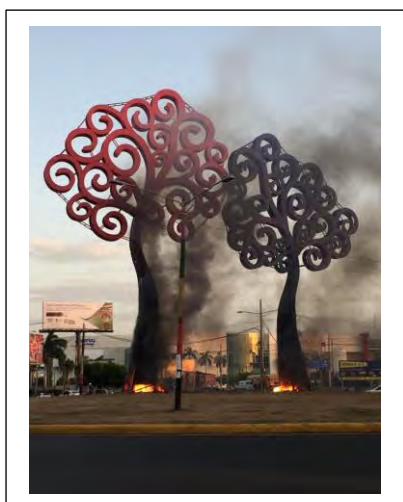
SILAIIS チョンタレス、クアパ支所
保健セクターの活動状況を確認し
分析・意見交換を行う



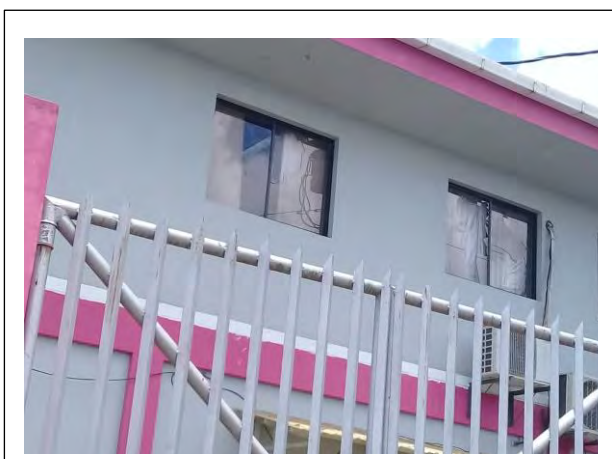
SILAIIS チョンタレス
ビジャサンディーノ支所
技術統合巡回指導



SILAIIS セラヤ・セントラル
ヌエバ・ギネア支所
ナシオネス・ウニダス保健セクター
RC に対して KAP 調査の協力を要請



マナグア市内中心部
暴動で放火された現政権のモニュメント
後に倒された



SILAIIS セラヤ・セントラル
暴動による投石で破壊された窓




2018年6月6日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区に
おける母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2018年5月分）

【受注者名】
業務主任者 中村 二郎 

標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. 対象14支所における医療従事者研修

1) 8項目研修プログラム

4月から新たに配置された社会奉仕の医師・看護師および新任の准看護師に対する8項目研修プログラム（妊産婦管理台帳、産前健診、妊娠性高血圧、産後出血、乳幼児健診、ESAFc活動、ヘルスプロモーション、保健セクターからの感染症対策）の実施計画が、各支所で立案された。

SILAIS チョンタレスの各支所の研修計画は表1のとおりである。SILAISは、実施中の支所に対し、電話で実施状況のモニタリングを行っている。

表1 SILAIS チョンタレス研修計画

研修項目	アコヤバ	コマラバ	クアバ	エル・アヨテ	フィガルバ	ラ・リベルタ	サン・ペドロ・デ・ロバゴ	サント・ドミンゴ	サント・トマス	ビジャ・サンディーノ
研修受講者予定数	12人	15人	5人	16人	14人	9人	5人	3人	3人	3人
研修時間帯	午後1-5時	午前8時-午後1時	午後1時30分-5時	午前8-12時 午後1-5時	午前8-12時 午後1-5時	午前8-12時 午後1-5時	午後1-4時	午前8-12時 午後2-5時	午後1-5時	午後1-5時
ヘルスプロモーション	6月28日	6月22日	5月17日	5月31日	6月15日	5月16・31日	6月14日	5月31日	5月31日	8月2日
ESAFc活動ガイド	6月28日	6月29日	5月17日	5月31日	6月15日	5月16・31日	6月7日	5月24日	5月25日	7月18日
妊産婦管理台帳	6月14日	5月18日	5月23日	5月11日	6月12日	5月14・29日	5月31日	5月10日	4月26日	5月31日
産前健診	5月24日	5月18日	5月31日	6月11日	6月12日	5月14・29日	5月24日	5月10日	5月4日	5月17日
妊娠性高血圧	5月31日	6月1日	6月6日	5月17日	6月13日	5月15・30日	6月7日	5月25日	5月18日	6月28日
産後出血	6月7日	6月11日	6月14日	5月17日	6月14日	5月15・30日	6月14日	5月25日	5月25日	6月14日
乳幼児健診	6月21日	6月11日	6月20日	5月24日	6月13日	5月15・30日	6月21日	5月24日	6月1日	7月5日
保健セクターからの感染症対策	6月28日	6月22日	6月28日	6月8日	6月14日	5月16・31日	6月21日	5月31日	5月31日	8月16日

SILAIS セラヤ・セントラルの各支所の研修計画は表2のとおりである。現在、SILAIS内の幹線道路の封鎖箇所が多く、今月中は研修対象者を各支所へ集めるこ

とが困難であることから、1日に2項目を実施する計画で研修計画は6月の日程で立案された。

表2 SILAIS セラヤ・セントラル研修計画

研修項目	ヌエバ・ギネア	エル・ラマ	ムエジャ・デ・ロス・ブエジェス	エル・コラル
研修受講者予定数	22人	24人	14人	6人
研修時間帯	午前8-12時 午後13-17時	午前8-12時 午後13-17時	午前8-12時 午後13-17時	午前8-12時 午後13-17時
妊産婦管理台帳 / ESAFC活動ガイド	6月4日	6月8日	6月6日	6月7日
産前健診 / ヘルスプロモーション	6月11日	6月15日	6月13日	6月14日
産後出血 / 妊産性高血圧	6月18日	6月22日	6月20日	6月21日
乳幼児健診 / 保健セクターからの感染症対策	6月25日	6月29日	6月27日	6月28日

2) 母子保健5項目のテキスト第2版

母子保健技術委員会の各メンバーは、テキスト第2版作成のために、初版内容の見直し作業を個別に実施している。プロジェクトはそれらの意見を取りまとめ、テキストの改定作業を進めている。

- 計画 ① 各支所は、新たに配置された、社会奉仕の医師・看護師および新任の准看護師に対する研修プログラムの実施計画を修正し、研修を実施する。
- ② 母子保健技術委員会は、母子保健5項目のテキストの改定作業を継続する。

1-2. ESAFC 活動

1) 対象地域全体における ESAFC 活動評価

両 SILAIS の全 161 保健セクターにおける活動進捗について、四半期評価を実施した。本評価は ESAFC 活動ガイド 13 項目別に、証拠書類をもとに、「秀・優・良・可・無」の5段階評価（最高 52 点）で採点したものである。評価結果は、表 3 のとおりである。

表3 ESAFC 活動四半期評価結果

SILAI スチオンタレス	アコヤバ	コマラバ	クアバ	エル・アヨ テ	ファイガル バ	リベルタ	サン・ベド ロ・ デ・ロバゴ	サント・ド ミンゴ	サント・ト マス	ビジャ・ サン ディノ	平均点
第1四半期	17.5	13.1	23.4	17.0	4.2	14.7	14.5	33.6	16.5	11.8	16.6
第2四半期	36.2	32.2	26.0	33.4	22.0	20.8	16.7	32.4	20.0	16.3	25.6
第3四半期	40.0	42.2	35.0	36.6	36.2	30.9	25.8	47.8	28.2	32.7	35.6
第4四半期	44.3	47.3	37.6	45.5	36.5	41.4	40.2	45.6	40.3	34.3	41.3

SILAI セラヤ・セント ラル	エル・コラ ル	エル・ラマ	ムエジャ・ デ・ ロス・ブエ ジェス	ヌエバ・ ギネア	平均点	14支所の 平均点 (52点満点)
第1四半期	17.8	12.5	19.2	20.9	17.6	16.9
第2四半期	21.8	22.5	29.5	30.2	26.0	25.7
第3四半期	33.0	30.5	31.9	46.2	35.4	35.5
第4四半期	44.4	38.6	35.7	45.6	41.1	41.3

評価	点	色
無	0-9.9	黒
可	10.0-19.9	白
良	20.0-29.9	黄
優	30.0-39.9	緑
秀	40.0-52.0	赤

両 SILAIS とともに進捗具合は同程度であり、年間目標の 40 点（80%の達成率）を上回った。評価点の最も高い支所は、コマラバ支所で、初めてパイロット支所以外が最高評価点となった。この1年間は、8か所のパイロット保健セクターの経験を

基に、161 保健セクターで取り組んできたが、点から面へ活動を拡大しても、効果的な結果を得ることができたといえる。

平均点の最も低かったのは、ビジャ・サンディーノ支所で、特に活動項目 10「ES AFC による活動計画立案」、活動項目 11「ES AFC による活動の実施」、活動項目 12「ES AFC による活動の評価」で、取り組み方法を再考の上、再起動し、活動を促進する必要がある。

2) ES AFC 活動ガイドの改定

各支所および両 SILAIS に対し、ES AFC 活動に 1 年間取り組んだ経験から、さらに活動内容の明確化、体系化を図るため、ES AFC 活動ガイドの改定について、意見を求め、それらを取りまとめている。プロジェクトは、寄せられた意見および提案を参考に、ES AFC 活動ガイドの改訂版と、新たな情報を追加した「ES AFC 活動の好事例集 Vol. 2」の作成を進めている。

3) 社会奉仕医師・看護師への第 2 回目 KAP 調査

第 2 回目の KAP 調査を終了し、データ入力および分析作業を進めている。

- 計画**
- ① ES AFC 活動ガイド改定版および ES AFC 活動好事例集 (Vol. 2) の改定作業を進め、両 SILAIS で内容を精査する。
 - ② 社会奉仕活動を 1 年間行った全医師および看護師に対する KAP 調査結果の分析を進める。

1-3. 技術統合巡回指導

1) 巡回指導の一時中止

社会保険の改定法案議決に端を発した国内暴動により、プロジェクトの協力対象地域内でも各所で道路封鎖がなされ、巡回指導は実施できない状況となっている。PDM 指標の成果 3-1「技術統合巡回指導」、3-2「技術審議会への同席」、3-3「統計データの質管理」に影響が出ている。

- 計画**
- ① 道路封鎖が解除され、安全が確保されるまで、巡回指導に係る活動を中止する。

1-4. エンドライン調査

1) 2017 年に出産した母親への KAP 調査

巡回指導と同様、道路封鎖により、実地調査延期は不可避であった。本調査計画の遅れで生じる問題として、調査対象者が、妊産褥婦時に受けた母子保健サービスに関する記憶が薄れ、十分な情報収集ができなくなる可能性が危惧される。

2) 母子保健サービスの実情調査

母子保健サービスを提供する医療従事者および母子保健サービスの利用者に対する調査について、ベースライン調査用紙を基にエンドライン調査用紙を作成し、両 SILAIS の承認を得た。本調査の目的は、母子保健サービスがベースライン調査

とエンドライン調査でどのような変化を生んでいるか比較検討することである。プロジェクトのテクニカルアシスタント 3 名が、産前健診と乳幼児健診の利用者に対し、実際に提供されたサービス内容の聞き取り調査を行う。また、利用者が認識できた「母子保健サービスを受けた」と実際に行われた母子保健サービス内容について、利用者のカルテに記載されたサービス内容と照合する。両 SILAIS 内で道路封鎖は継続されているが、移動および調査可能な保健施設から調査を開始した。

- 計画 ① KAP 調査は、道路封鎖が解除され、調査員の安全が確保された後に、再度実施計画を立てる。
- ② 母子保健サービス実情調査は、安全確保とともに移動および調査可能な保健施設で実施する。

1-5. 機材調達管理

- 1) 第 1 期分供与機材
第 1 期分供与機材で納品されなかったベビーベッド 3 台は、第 2 期分供与機材に含める計画である。現在、打ち合わせ簿を準備している。
- 2) 機材稼働モニタリング
SILAIS や支所では、これまで必要な機材が故障した際に、個別に修理するなどの対応をしてきた。プロジェクトでは全ての機材状況を把握するため、半年毎に機材管理台帳の分析を実施する方法を試行している。各支所は、機材管理台帳の「故障」機材を抜粋し、SILAIS へ報告するため、故障状況の調査を継続している。機材管理台帳に新たに備考欄を設けた。同欄には、故障機材について、修理の可否、修理の判断不可、機材の必要度、故障箇所などの状況を具体的に記述することになっている。
- 3) 第 2 期分供与機材の調達の進捗
第 2 期分供与機材は、調達契約を結んだ納入業者の BÜHLER に予定どおり到着し、プロジェクトは保健省機材管理局と合同で、JICA ニカラグア事務所の立会いの下、検収作業を行った。到着機材に特に問題はなかった。機材の納品は、幹線道路の封鎖が続いているため延期することで合意し、契約書の修正を進めている。第 2 期分供与機材は納品が可能となるまで BÜHLER に保管する。
- 4) 第 1 期および第 2 期分供与機材の供与式
第 1 期分と第 2 期分供与機材の合同機材供与式を、保健省で開催する方向で、保健省、JICA 事務所、BÜHLER と調整を進めている。

- 計画 ① 第 1 期分供与機材を含めた全機材の稼働状況をモニタリングする。
- ② 第 1 期および第 2 期分供与機材の機材供与式を行う。

1-6. 国際フォーラム

1) 保健省の国際フォーラム準備委員

JICA 本部の承認を経て、保健省の対外協力局、保健サービス総局、教育総局で構成された国際フォーラム準備委員会は、各国への招待状と案内ガイドの作成を終えた。同委員会は、フォーラム開催経費を保健省、JICA、PAHO、IDB でシェアするために調整している。フォーラム開催の工程は、すでに 1 か月以上の遅れが出ており、プロジェクトは、国際フォーラム準備会議で助言し、作業進捗の促進を図っている。

2) ロジスティックス準備

プロジェクトは、ロジスティックス案内書の作成を進め、保健省、PAHO と情報を共有している。

- 計画 ① 関係機関間で国際フォーラムの予算分担を合意し、アジェンダを完成させる。
- ② 保健大臣および外務大臣の承認を得て、招待状と案内ガイドを各国へ送付する。

1-7. 運營業務

1) 国内暴動および政情不安に対する安全対策

4 月中旬から始まった国内暴動と政情不安について、政府と反政府グループとの間で解決のための話し合いを継続している。暴動は収束してきたものの、散発的な衝突は起きており、これに伴う治安悪化は増大している。JICA ニカラグア事務所は、5 月 16 日に全国各地へ赴任していた JOCV と専門家に対しマナグアへの「緊急一時避難」命令を発した。フィガルパで業務していたプロジェクト専門家 2 名（渡辺咲子・石原尚子）は、17 日に首都へ避難した。SILAIS チョントレスとセラヤ・セントラルのプロジェクト事務所は、秘書やアシスタントのみで業務を継続し、（中村二郎を加えた）日本人専門家 3 名は、JICA ニカラグア事務所や保健省と危険情報を共有しつつ、状況に応じて、保健省保健サービス総局内にあるプロジェクト事務所または首都の滞在先で業務を継続している。SILAIS や支所では、研修やフィールド活動はできる範囲で実施している。SILAIS による現地同行のモニタリング業務は困難となっており、SILAIS とプロジェクトのテクニカル・アシスタントらが電話で支所における活動のモニタリングを行っている。

2. 主な活動日程

<5 月>

- 3 日：クアパ支所 ESAFC 活動評価、ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所 ESAFC 活動評価、フィガルパ支所 ESAFC 活動評価
- 4 日：SILAIS チョントレス母子保健技術委員会、JICA ニカラグア事務所・プロジェクト報告会、コマラパ支所 ESAFC 活動評価、フィガルパ支所 ESAFC 活動評価、ラ・リベルタ支所 ESAFC 活動評価、エル・コラル支所 ESAFC 活動評価
- 7 日：サント・ドミンゴ支所 ESAFC 活動評価、エル・ラマ支所 ESAFC 活動評価
- 8 日：サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所 ESAFC 活動評価、ビジャ・サンディーノ

支所 ESAFC 活動評価、エル・ラマ支所 ESAFC 活動評価、アコヤパ支所技術
統合巡回指導

9 日：ファイガルパ支所 ESAFC 活動評価、エル・アヨテ支所 ESAFC 活動評価、エ
ル・ラマ支所ワピ保健セクター会議

11 日：国際フォーラム準備会議

17 日：JICA ニカラグア事務所による首都一次退避命令

18 日：専門家保健省保健サービス総局室プロジェクト事務所業務開始

22 日：ビジャ・サンディーノ支所技術審議会、エル・アヨテ支所技術審議会

24 日：ムエジェ・デ・ロス・ブエセス支所保健セクター母子保健サービス現
状調査

25 日：国際フォーラム準備会議

28 日：第 2 期分供与機材合同（JICA 事務所、保健省、プロジェクト）検収

31 日 JICA 事務所 専門家安全対策ヒアリング、ヌエバ・ギネア支所保健セク
ター母子保健サービス現状調査

3. 今後の予定

<6 月>

1 日：国際フォーラム準備会議

4 日：セラヤ・セントラル 2 次医療病院建設費増額に伴う E/N および G/A 署名

7 日：渡辺咲子（副総括/地域保健/業務調整）専門家離任

12 日：第 1 期および第 2 期分供与機材供与式

22 日：国際フォーラム準備を目的とした国際ビデオ会議

4. 添付資料

添付資料 1. 国際フォーラム案内書

添付資料 2. 母子保健サービス実状調査用紙

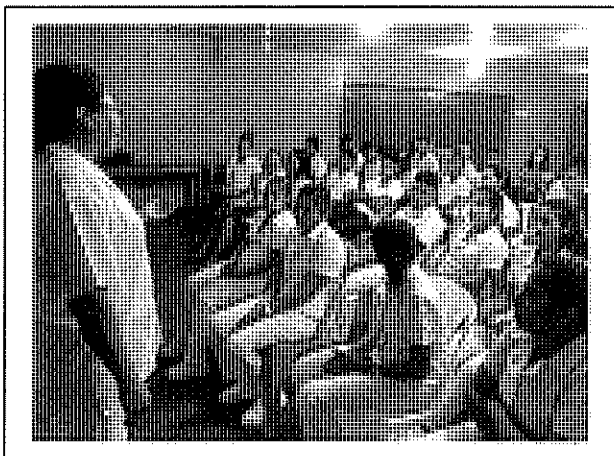
5. 活動写真

別添のとおり

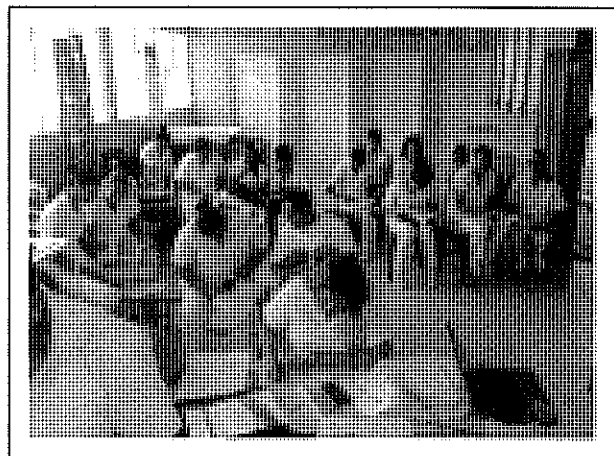
6. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

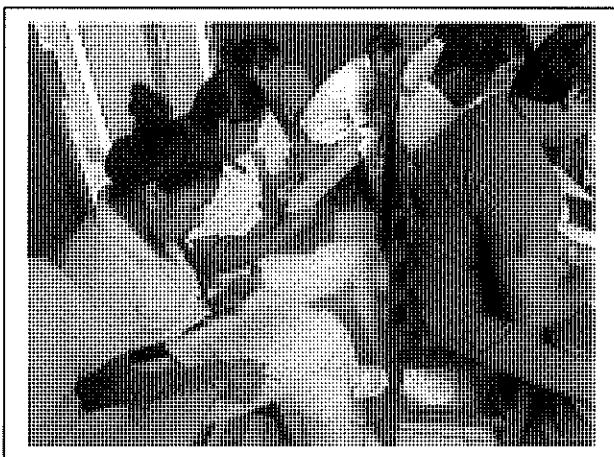
5. 活動写真



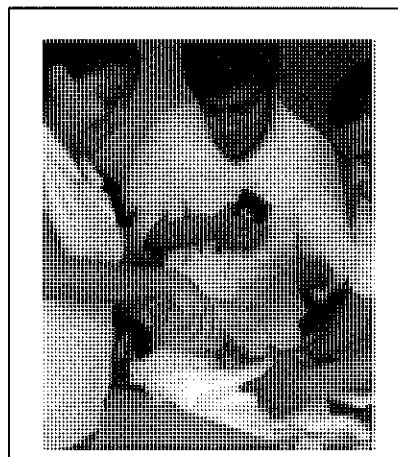
SILAIIS チョントレス
新規採用された准看護師に対し
プロジェクトについて説明



SILAIIS セラヤ・セントラル
アコヤパ支所
プロジェクト8項目研修



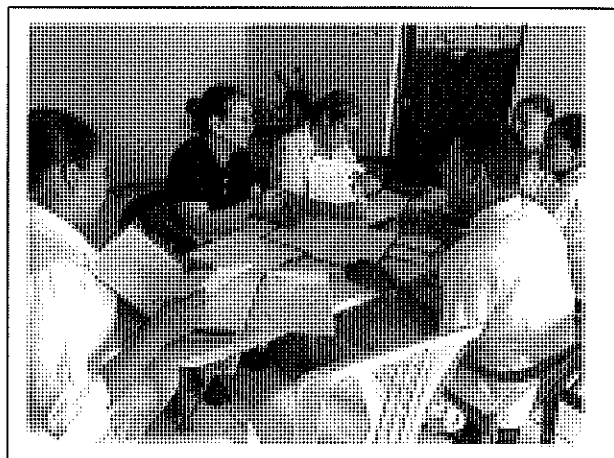
SILAIIS チョントレス
エル・アヨテ支所
研修の事前テストを受ける



SILAIIS チョントレス
エル・アヨテ支所
新生児蘇生研修



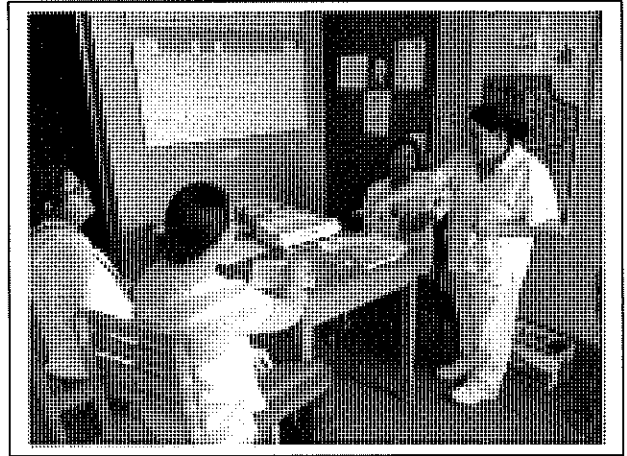
SILAIIS チョントレス
母子保健技術委員会
研修用テキストなどに関して協議



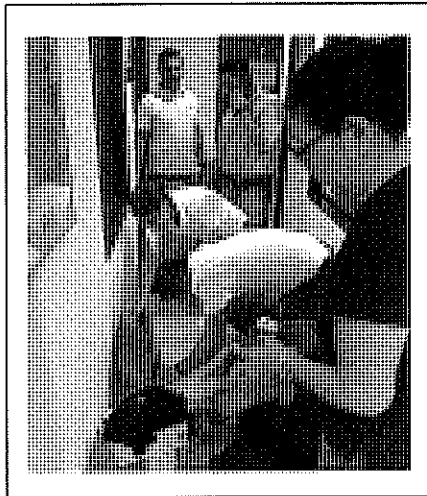
SILAIIS チョントレス
クアパ支所で ESACF 活動評価
エビデンスを用いた活動の進捗確認



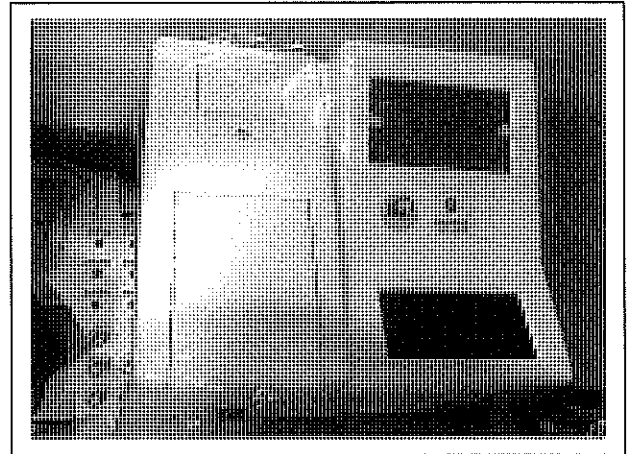
SILAIS セラヤ・セントラル
ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所で
ESAFIC 活動四半期評価



SILAIS チョンタレス
ファイガルパ支所
ESAFIC 活動四半期評価



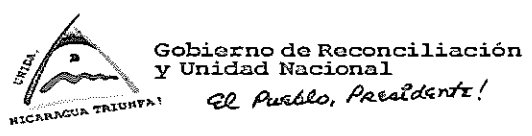
第2期分供与機材の検収
納入業者の BÜHLER にて



第2期分供与機材の検収
分光光度計



保健省保健サービス総局内
プロジェクト事務所
専門家3名の執務状況



添付資料1

ニカラグア保健省

2018年 家庭地域保健国際フォーラム





Gobierno de Reconciliación
y Unidad Nacional
El Pueblo, Presidente!

2018
UNID@S
en Victorias!

1. 家庭地域保健国際フォーラム開催の背景

1978年にアルマ・アタで合意されたプライマリー・ヘルス・ケア(PHC)は、今年40年を迎える。2005年に地域住民の健康増進を目指した新たなPHCを提唱したモンテビデオ宣言を踏まえ、家庭保健という新たな保健システムの構築が提唱され、2016年から新たな持続可能な開発目標(SDGs)が設定された。これらの目標の下、各国は地域の健康状況を改善するために、それぞれのニーズと能力に応じて、行動計画を作成した。

JICAは、他援助機関と連携し、中南米保健国際フォーラムを開催し、中南米諸国と共通する保健課題のために、協働して対処できる課題やドナー間連携の効率性などについて、議論を重ねてきた。2015年9月にパラグアイで実施された「国際プライマリーヘルスケア会議」では、ポスト2015年保健開発アジェンダとしてユニバーサル・ヘルス・カバレッジの達成が新たな目標になってきている中で、PHCの理念に基づく地域ネットワークの構築・強化の意義と重要性を再確認した。2016年11月にドミニカ共和国で開催した「ラテンアメリカ国際保健医療フォーラム」においては、SDGsがもたらす新たな課題へPHCを強化するために開発された行動を共有する機会となった。これらのフォーラムでは、各国のPHC活動の取り組みに違いがあることが明らかとなった。今年8月に開催する国際フォーラムでは、「持続可能な家庭地域保健システムは、どうあるべきか」「健康に対する住民参加はどうすべきか」など、共通課題に取り組んだ効果や好事例について、PAHOやIDB等国际機関の関係者も巻き込んで闊達な議論を行う好機ととらえている。PHC活動は、医療従事者と住民がともに地域で効果的に展開され、非感染性疾患(NDA)を含むすべての疾患の予防と早期治療・回復につながるよう促進する。ラテンアメリカ各国のPHC活動の進捗に違いがあるものの、NDAや保健財政の増加など、ひっ迫する公衆衛生上の共通の問題に対して、戦略的に取り組む必要がある。

2. 目的

PHCとSDGsの焦点に基づいて、地域の国々で実施されている好事例の対話と交流を促進し、SDGの目標達成に向けて、現状の活動を分析し、UHCに対する行動計画の構築に貢献する。

テーマ：持続可能な開発目標を達成するための家庭地域保健・PHC。

キャッチコピー：「家族の健康は、コミュニティの幸せ」

3. 開催時期

2018年8月22日(水)～24日(金)

4. 開催場所

ニカラグア国マナグア市

Bello Horizonte frente, al centro, comercial Multicentro Las Americas,

Hotel HEX、コンベンションセンター Tel. +505 2248 9400





Gobierno de Reconciliación
Y Unidad Nacional
El Pueblo, Presidente!

2018
UNIDOS
en Victorias!

5. 内容(アジェンダ)

1 日目: 2018 年 8 月 22 日(水)

時刻	テーマ	会場	プレゼンター
17:00 -	受付(出席者の確認、資料の配布)		受付責任者:
17:30 -	国際フォーラム開会式 • 主催者側からの言葉 • 招待者からの言葉 > 保健大臣 > 米州保健機関代表 > 米州開発銀行代表 > 在ニカラグア日本大使	メイン	ニカラグア保健省
18:30 -	ニカラグアにおける家庭地域保健の背景と展望	メイン	保健省
19:00	夕食 ニカラグア文化紹介(踊り・音楽)		





Gobierno de Reconciliación
y Unidad Nacional
El Pueblo, Presidente!

2018
UNID@S
en Victorias!

2日目: 2018年8月23日(木)

時刻	テーマ	会場	プレゼンター
8:00 -	受付		ニカラグア保健省
8:30 -	PHCの世界変遷	メイン	PAHO/WHO
9:00 -	持続可能な PHC	メイン	PAHO/WHO
9:30 -	中南米地域における IDB の保健戦略と PHC の質	メイン	IDB
10:00 -	アジェンダ 2030 に向けた PHC における JICA のパートナーシップ協力	メイン	JICA
11:30 -	南南協力における好事例	メイン	JICA メキシコ
11:00 -	休憩		
11:20 -	PHC における UHC	メイン	キューバ保健省
11:40 -	PHC における UHC	メイン	パラグアイ保健省
12:00 -	PHC と住民参加型保健活動	メイン	ペルー保健省
12:20 -	PHC と住民参加型保健活動	メイン	ニカラグア保健省
12:40 -	昼食		
14:10 -	PHC と保健サービス統合ネットワーク	メイン	ホンジュラス保健省
14:30 -	PHC と保健サービス統合ネットワーク	メイン	ドミニカ共和国保健省
14:50 -	休憩	メイン	
15:00 -	PHC と非伝染性疾患	メイン	ボリビア保健省
15:10 -	PHC と非伝染性疾患	メイン	グアテマラ保健省
15:40	第3日グループワークのオリエンテーション	メイン	ニカラグア保健省

3日目: 2018年8月24日(金)

時刻	テーマ	会場	参加国
8:30 -	グループワーク 1 > テーマ I (PHC における UHC) - 健康の権利(政策面) - UHC (1: 保健医療サービスへのアクセス、2: 保健行政の運営、3: 保険財政、4: 専門分野とそれ以外の機関との連携)	メイン	キューバ、 パラグアイ、 ペルー、 ニカラグア
	グループワーク 2 > テーマ II (PHC と住民参加型保健活動) - 各国の疾病予防や保健啓発活動におけるコミュニティネットワークの組織化プロセス	サロン 1	ペルー、 ホンジュラス、 ドミニカ共和国、 ニカラグア





Gobierno de Reconciliación
y Unidad Nacional

El Pueblo, Presidente!

2018
UNIDOS
en Victorias!

	<ul style="list-style-type: none"> - コミュニティネットワークと保健行政人材との連携 - PHC における住民参加(個人・家庭・集落)のためのモチベーション 		
	<p>グループワーク 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ テーマ III (PHC と保健サービス統合ネットワーク) - 保健における統合ネットワーク の組織と機能 - 集落と各医療診療レベル間のレファラル・カウンターレファラル強化 - 公共医療機関と私立医療機関の連携 - 保健サービス統合ネットワークの質管理 - 	サロン 2	ホンジュラス、 ドミニカ共和国、 ボリビア、 グアテマラ、 ニカラグア
	<p>グループワーク 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ テーマ IV (PHC と非伝染性疾患) - 各国の第 1 次医療施設による非伝染性疾患の健康促進と包括的な管理 - 医薬品の合理的な使用の啓発、使用、監視の経験 - 非感染症疾患の患者管理における自然療法と相補的療法 	サロン 3	グアテマラ、 ボリビア、 パラグアイ、 メキシコ、 キューバ、 ニカラグア
11:00 -	各グループにて好事例集(ツール)を作成		
12:00 -	昼食		
13:30 -	各グループの発表(発表 20 分) 参加者からのコメント	メイン	各グループ代表
15:00 -	フォーラムの結論と合意	メイン	保健省計画開発総局
15:30 -	閉会式	メイン	保健省





Gobierno de Reconciliación
Y Unidad Nacional
El Pueblo, Presidente!

2018
UNIDOS
en Victorias!

6. 国際フォーラムの方法

フォーラムでは、1 日目に開会式を開催し、2 日目に 4 つのテーマ(①PHC における UHC、② PHC と住民参加型保健活動、③PHC と保健サービス統合ネットワーク、④PHC と非伝染性疾患)に即して各国発表を行う。

発表から提案された活動内容や好事例は、フォーラムの 3 日目に 4 つのグループで議論し、深める。各グループの議論と分析により、アクションプランを作成するためのツール(好事例集)を作成する。

発表時間:基調講演:発表 20 分、質疑応答 10 分

各国発表:発表 15 分、質疑応答 5 分

事前に、各国発表について、具体的な PHC 行動と成果が盛り込まれるように標準化することや、ニカラグア訪問に関する不明点を明らかにすることを目的としたビデオ会議を開催する。ビデオ会議は、下記の方法で行う。

URL: videoconferencia.minsa.gob.ni

ID:381505

PIN:20171505

会議実施日: 2018 年 6 月 22 日、ニカラグア時間午前 10 時開始
不明な点があれば、modelodesalud@minsa.gob.ni に問い合わせる。



国際フォーラムの準備案内

1.

2. 各国で取り組まれている PHC 活動の展示スペース

- ① 各国で取り組まれた PHC 活動の資料や写真を展示する。
- ② 4つのテーマに関わる各国の取り組みを展示する。
- ③ そのほか、必要を思われるものを展示する。

2. 各国は、Word2 ページ分のデジタル情報を提出

- ① 各国の基本情報(社会統計情報、グラフなどを用いる)
- ② 保健省の組織図
- ③ 過去5年間の保健データ
- ④ 書体: Courier New、文字サイズ: 12、改行: 標準

提出締切日: 2018年7月13日

3. 同一様式による各国の発表

- 発表様式: PowerPoint、スライドサイズ: 4:3、スライド: 最大12枚
- 発表時間: 15分間
- 質疑応答時間: 5分間

<内容>

① ディスカッション・テーマ

テーマ1. UHC

- 健康の権利(政策面)
- UHC(1:保健医療サービスへのアクセス、2:保健行政の運営、3:保険財政、4:専門分野とそれ以外の機関との連携)

テーマ2. PHC と住民参加型保健活動

- 各国の疾病予防や保健啓発活動におけるコミュニティネットワークの組織化プロセス
- コミュニティネットワークと保健行政人材との連携
- PHCにおける住民参加(個人・家庭・集落)のためのモチベーション

テーマ3. PHC と保健サービス統合ネットワーク

- 保健における統合ネットワークの組織と機能



Gobierno de Reconciliación
Y Unidad Nacional

El Pueblo, Presidente!

2018
UNIDOS
en Victorias!

- 集落と各医療診療レベル間のレファラル・カウンターレファラル強化
- 公共医療機関と私立医療機関の連携
- 保健サービス統合ネットワークの質管理

テーマ4. PHC と非伝染性疾患

- 各国の第1次医療施設による非伝染性疾患の健康促進と包括的な管理
- 医薬品の合理的な使用の啓発、使用、監視の経験
- 非感染症疾患の患者管理における自然療法と相補的療法

② 2016年ドミニカ共和国で開催した国際フォーラムの結論以降の進捗

③ PHCを実践するにあたり、困難なこと

④ 教訓

提出締切日:2018年7月13日



グループワークのための案内

グループワーク1. UHC

グループワーク 2. PHC と住民参加型保健活動

グループワーク 3. PHC と保健サービス統合ネットワーク

グループワーク4. PHC と非伝染性疾患)

- グループワーク時間:3 日目、午前 8 時～10 時
 - 成果品作成時間:3 日目、午前 11 時～正午
 - グループワーク結果発表(各グループ 20 分間)+質疑応答:午後 1 時 30 分開始
-
- 各グループの参加者は、35～40 名程度。
 - 国内からの参加者は、事前にグループワーク方法の説明があり、各 SILAIS は書面を用意する。
 - 国外からの参加者は、4 つのテーマを軸に各国の経験をもとに、積極的に参加する。
 - 各グループは、前日の各国発表で共有した内容を参考にして、ディスカッションに反映する。
 - 各グループでは、UHC に貢献する行動計画を作成するための好事例集に焦点を当て、フォーラムの目的に即した議論へ導くために司会者を割り当てる。同様に、各グループには、Word 文書(書体:Courier New、文字サイズ:14、行間隔:1.15)を用いて、議論を記録する書記を配する。その後、PowerPoint の発表は、グループによる結論をもとに作成する。
 - 議論の結果は、各国の 2019－2024 年度の活動計画や目標に反映する。

グループワーク報告書の骨子

- ① 現状
- ② 実施された活動とその結果
- ③ 新たな課題と期待される成果

母子保健サービス実状調査用紙

産前健診に関する質問紙調査 (APN)

日付: _____年____月____日

市町村: _____, 保健施設 _____

氏名 _____ カルテ番号: _____

年齢: _____歳 妊娠: _____週 予定日: _____年____月____日

健診実施回数(本日の健診を含む): _____回

1. 産前健診で実施された項目にX(エックス)を付けて下さい。

	行動	活動内容	母親へのインタビュー	カルテ点検
1	記録	周産期カードとカルテの書き込み		
2	問診	家族歴、病歴、産科歴		
3	計測	血圧測定		
4		身長測定		
5		体重測定		
6		子宮底測定		
7		妊娠週数の算出		
8		20週以降の胎児心音聴取		
9		18週以降の胎動確認		
10	検査	検査室での検査: 登録、分析と解釈; Rh式血液型、子宮頸部細胞診、梅毒(VDRL/RPR)、ヘモグロビン、全血算、血糖、テストテープ(尿検査)、カウンセリングと自主的なHIV検査、ポリメラーゼ連鎖反応(PCR=クラミジア検査)、トキソプラズマ抗体検査、マラリア検査、もしその地域で流行が確認された場合は、シャーガス病抗体検査もするに値する。		
11		歯科および乳房検査		
12	評価	BMI値からの栄養状態の評価		
13		母体の体重増加をもとにした栄養状態の評価		
14		母体の体重増加をもとにした栄養状態の解釈		
15		血圧の値の評価		
16		尿検査テープ結果の解釈		
17		破傷風ワクチン接種記録の判定		
18	カウンセリング	妊娠中の危険兆候、症状に関するカウンセリング		
19		分娩についての説明/出産計画		
20		産後生活について、完全母乳育児、家族計画に関するカウンセリング		
21	提供	鉄分サプリメントの提供(最初の検査値が11mg/dl以下の場合) 出産前後3か月の葉酸サプリメント4mg/日の提供		
22		26週もしくは38週時の駆虫剤の提供		
23		妊娠高血圧腎症の危険因子のある妊婦に対して、12~16週の間1800mg/日の経口カルシウム剤を開始し、36週まで提供		
24		妊娠高血圧腎症の危険因子のある妊婦に対して、12~16週の間100mg/日の経口アスピリン錠を開始し、36週まで提供		
25	予約	次回の予約		
26	紹介	逆子や横位の胎児の検出および紹介		
27	その他	エコーの実施		

もし、母親がさらにカウンセリングや講話を受けていた場合は、下記にご記入ください。

(注記)

評価者名: _____ 役職: _____

乳幼児健診に関する質問紙調査 (VPCD)

日付: _____年____月____日

市町村: _____, 保健施設: _____

氏名 _____, カルテ番号: _____

生年月日: _____年____月____日, 月齢: _____ヶ月 / _____日

性別: 女児 / 男児

健診実施回数(本日の健診を含む): _____回

1. 乳幼児健診で実施された項目にX(エックス)を付けて下さい。

	行動	活動内容	母親へのインタビュー	カルテ点検
1	記入	子どもカードとカルテの書き込み		
2	計測	バイタルサインの測定 (体温・呼吸)		
3	身体測定	体重測定		
4		身長測定		
5		身体状態の観察		
6	評価	栄養状態の分類(体重/年齢、身長/年齢、体重/身長、BMI)		
7		成長の傾向判定(満足、不満足)		
8		小児発達評価(精神運動)		
9		栄養不足、貧血および栄養的リスクの問題判定		
10		予防接種の評価(新生児期のBCG)(2、4、6ヶ月のポリオ、ロタウイルス、肺炎球菌)(12ヶ月のMMR)(18か月のDPT)		
11	対応	見つかった栄養不足、貧血および栄養的リスクの問題、または精神運動発達障害への対応		
12	カウンセリング	早期成長発達カウンセリング		
13		母親への母乳栄養と離乳食のカウンセリング		
14	提供	鉄分サプリメントの提供(低体重・早産児の継続ケア、小児疾患統合管理に基づく予防)		
15		ビタミンAサプリメントの提供(生後6ヶ月以降)		
16		駆虫剤の提供(生後24ヶ月以降)		
17	予約	次回の予約		
18	紹介	病院または専門医への紹介		

もし、母親がさらにカウンセリングや講話を受けていた場合は、下記にご記入ください。:

(注記)

評価者の名前: _____ 役職: _____




2018 年 7 月 9 日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区に
おける母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2018年6月分）

【受注者名】
業務主任者 中村 二郎 

標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要



1-1. 対象 14 支所における医療従事者研修

1) 8 項目研修プログラム

SILAIS チョンタレスは、5 月より新たに配置された社会奉仕の医師・看護師および新任の准看護師を対象に、8 項目研修を継続している。サント・ドミンゴ、ラ・リベルタ、フィガルパの 3 支所で全研修を終了した。SILAIS チョンタレスの研修進捗状況は表 1 のとおりである。また、表内で「研修実施中」の施設について記載されている日付は、研修開始日である。研修実施中である支所は、残りの対象者へ 7 月中の研修を計画している。

表 1 SILAIS チョンタレス研修実施状況

研修項目	サント・ドミンゴ	ラ・リベルタ	フィガルパ	ニカラグア国	セラヤセントラル	サント・ドミンゴ	ラ・リベルタ	フィガルパ	ニカラグア国	セラヤセントラル
研修実施済	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了
研修実施中	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日
研修未実施	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日
研修実施済	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了
研修実施中	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日
研修未実施	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日
研修実施済	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了
研修実施中	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日
研修未実施	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日	2018年6月1日

 対象者全員に対する研修終了  研修実施中

SILAIS セラヤ・セントラルは、幹線道路の封鎖で研修の実施が困難であったが、

6月下旬より、道路封鎖が解除される地点が増えたことで、研修実施の目途がついた。そこで、表2のとおり研修計画を変更した。

表2 SILAIS セラヤ・セントラル研修計画（変更版）

研修項目	ヌエバ・ギネア	エル・ラマ	ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス	エル・コラル
研修受講者予定数	22人	24人	14人	6人
研修時間帯	午前8-12時 午後13-17時	午前8-12時 午後13-17時	午前8-12時 午後13-17時	午前8-12時 午後13-17時
妊産婦管理台帳 / ESAFC活動ガイド	7月4日	7月9日	7月10日	7月4日
産前健診 / ヘルスプロモーション	7月5日	7月10日	7月11日	7月5日
産後出血 / 妊娠性高血圧	7月11日	7月16日	7月12日	7月16日
乳幼児健診 / 保健セクターからの感染症対策	7月12日	7月17日	7月13日	7月17日

2) 母子保健5項目のテキスト第2版

母子保健技術委員会の各メンバーは、テキスト第2版作成のため、初版内容の見直し作業を個別に実施してきた。プロジェクトはそれらの意見を取りまとめ、テキストの改定作業を進めている。

- 計画 ① 研修を完全に終了していない11支所は、社会奉仕の医師・看護師および新任の准看護師に対する8項目研修を完了する。
- ② 母子保健技術委員会は、母子保健5項目のテキストの改定作業を継続する。

1-2. ESAFC 活動

1) 161保健セクターの状況

表3のとおり、両SILAISの161保健セクターのうち、SILAIS チョンタレスの4保健セクターとSILAIS セラヤ・セントラルの9保健セクターは道路封鎖や反政府運動の影響により医療施設を閉鎖し、医療従事者は活動していない。

表3 閉鎖した保健セクター（13か所）

	SILAIS	支所	保健セクター	閉鎖理由
1	チョンタレス	アコヤパ	ロバゴ	道路封鎖のため
2		フィガルバ	サン・エステバン	
3		クアパ	シレンシオ2	
4		サン・ペドロ・デ・ロバゴ	ブルン	
5	セラヤ・セントラル	ヌエバ・ギネア	アングストウーラ	道路封鎖および治安悪化のため
6			マリッツァ・ケサーダ	
7			ブエナ・ピスタ	
8			サルバドリータ	
9			ファティマ	
10			サンタ・フェ	
11			ラス・ミルパス	
12			*ナシオネス・ウニダス	
13			*タロリンガ	

*プロジェクトパイロット保健セクター

活動していないヌエバ・ギネア支所内の9保健セクターのうち、2保健セクターはプロジェクトのパイロット保健セクターである。また5保健セクターは運河建設

予定地域の保健セクターである。両 SILAIS 内の他の 148 保健セクターは、人員が通常よりも少ないところもあるが、可能な範囲で業務を行い、ES AFC 活動にも取り組んでいる。

2) ES AFC 活動ガイドの改定

各支所および両 SILAIS より、ES AFC 活動に 1 年間取り組み、そこで得られた知見を収集した。ES AFC 活動ガイドで改定すべき内容について寄せられた意見の多くは、同ガイドの理解を深めるためのスペイン語表記や表現の修正であり、活動の変更は、提案されなかった。「ES AFC 活動の好事例集」も同様に新しい提案はなかった。プロジェクトでは、ES AFC ガイドおよびその好事例集の更新作業を進めている。

3) 社会奉仕医師・看護師への第 2 回目 KAP 調査

第 2 回目の KAP 調査を終了し、データ入力および分析作業を進めている。

計画

- ① 各保健セクターの ES AFC 活動をモニタリングする。
- ② ES AFC 活動ガイド改定版および ES AFC 活動好事例集 (Vol. 2) の改定作業を進める。
- ③ 社会奉仕活動を 1 年間行った全医師および看護師に対する KAP 調査結果の分析を進める。

1-3. 技術統合巡回指導

1) 巡回指導の現状

PDM 指標には、SILAIS が支所や保健セクターに対して実施する活動として、成果 3-1「技術統合巡回指導」、3-2「技術審議会への同席」、3-3「統計データの質管理」が明記されている。しかし、道路封鎖のため、SILAIS チョントレスは同じ地区内にあるフィガルパ支所、SILAIS セラヤ・セントラルは同様にヌエバ・ギネア支所に対してのみ、巡回指導を実施している。一方、支所レベルでは、道路封鎖などで実施できない保健セクターもある中、SILAIS 職員の同行はないものの、表 4 のとおり、技術統合巡回指導と支所における技術審議会を行った。

表 4 支所による巡回指導

支所の活動	特 徴	6 月実施数	
		チョントレス	セラヤ・セントラル
技術統合巡回指導	保健セクターを訪問。活動をモニタリング・指導し、改善に取り組む	10 支所 19 保健セクター	2 支所 6 保健セクター
支所の技術審議会 (CTAM) 開催	保健セクターの医療チームが出席する支所レベルの技術審議会	9 支所	2 支所

6 月中に SILAIS チョントレスで技術審議会を実施できなかったのは、ビジャ・サンディーノ支所、SILAIS セラヤ・セントラルでは、ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所とエル・コラル支所であった。実施できなかった理由は、①移動手段がないこと、②道路が封鎖されていることであった。

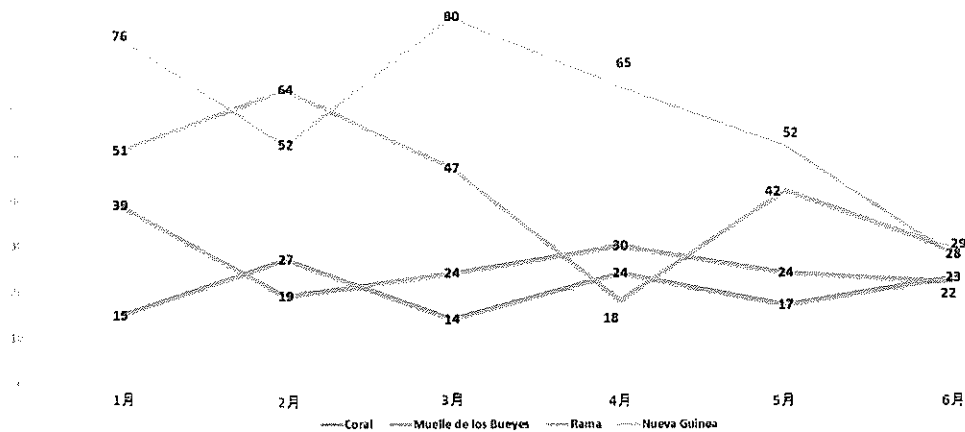
- 計画 ① 道路封鎖が解除され、安全が確保されるまで、SILAIS による巡回指導に係る活動は中止する。支所のみで巡回指導を実施する。

1-4. レファラル・カウンターレファラル

1) レファラル・カウンターレファラルの現状

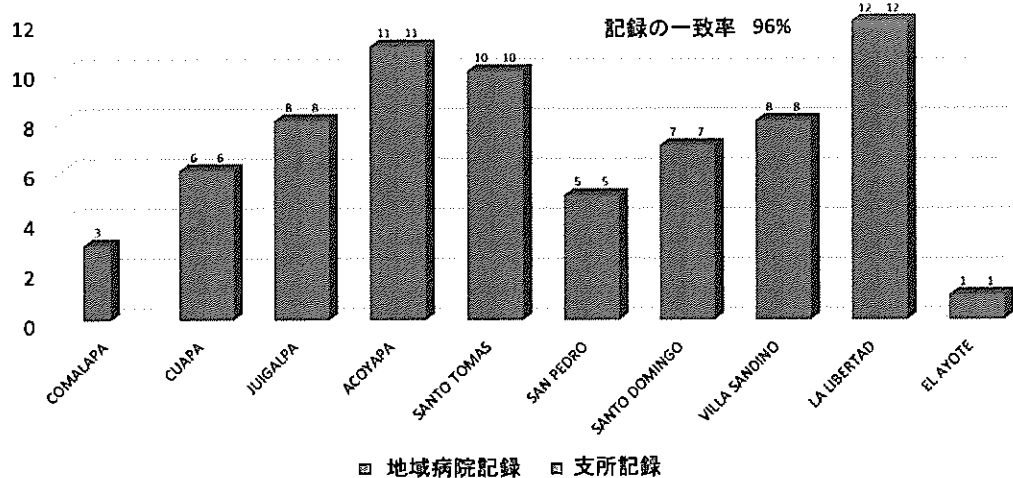
レファラル・カウンターレファラルの搬送データ、様式の記入漏れおよび記入ミスなどについて、SILAIS チョンタレスでは技術審議会（CTO）、SILAIS セラヤ・セントラルは、保健サービス審議会（CSS）において、継続して検証している。以下に二つの分析事例を示す。

グラフ1 SILAIS セラヤ・セントラル内 4 支所のレファラル(救急搬出) 数推移



SILAIS セラヤ・セントラル内の 4 支所からフィガルパ地域病院へのレファラル数は、グラフ1のとおりで、特にヌエバ・ギネア支所からのレファラル減少が顕著である。5月以降は道路封鎖により、医療施設へ来る患者数自体が減ったことが要因のひとつではあるが、なによりもヌエバ・ギネア支所が、以前のように、むやみに患者搬送をせず、緊急性を見極めたうえでレファラルするようになったことが、件数の減少理由として大きく、緊急搬送に関して、本来あるべき数値になってきたといえる。

グラフ2 SILAIS チョンタレス内 10 支所のレファラル記録 (2018 年第 25 週)



グラフ2 は、2018 年第 25 週に SILAIS チョンタレスの 10 支所のレファラル(救急

搬出)記録とフィガルパの地域病院のレファラル(救急搬入)記録の比較である。コマラパ支所以外は記録数が一致している。緊急搬送が的確に記録されていることが確認できる。

レファラル・カウンターレファラルについて、プロジェクト開始前まで分析や検証されることは一切なかったが、これらの活動はすでに定着してきていることが分かる。

なお、カウンターレファラルは、道路封鎖の影響を受け、退院後の継続ケアの情報「地域病院 → SILAIS (セラヤ・セントラルの場合のみ) → 支所 → 保健セクター」に時間を要している。そのため、カウンターレファラルの記録を毎月比較し、その一致割合をPDM指標としている成果1-4に影響が出ている。

1-5. エンドライン調査

1) 2017年に出産した母親へのKAP調査

このKAP調査の実施は、極めて難しい状況となっている。その理由は以下のとおりである。

- ① 8か所のパイロット保健セクターのうち、ヌエバ・ギネア支所の2か所の保健セクターが道路封鎖の影響を受け活動していない。2018年11月までに実施するためには、2018年10月にはコミュニティネットワークとの保健セクター会議を開催し、事前調整が必要である。
- ② エル・ラマ支所でインタビュー調査員の派遣協力を依頼していた私立マルティン・ルテオ大学から、「本大学の学生がKAP調査へ協力しないことを決めた」との連絡を受けた。理由は、政府機関への協力はしないということであった。エル・ラマ支所には、ほかの大学はないことから、調査のためにはヌエバ・ギネア支所など、大学のある都市から調査員を派遣する必要がある。この際、学生の移動や宿泊にかかわる予算の確保など、直ちに解決できない課題が多い。
- ③ 国内の多くの地域で暴力事件が多発していることもあり、コミュニティネットワークの協力を得られたとしても、複数の学生を連れた調査の実施の際には、安全確保が難しいとの意見が、SILAISやパイロット支所から出ている。

また、早い段階で調査をしなければ、2017年に出産した母親の記憶が薄れ、次の妊娠に伴う情報の不確かさなどのバイアスが生じる可能性がある。調査協力を依頼する地元の大学が休暇に入る2018年11月までに実施する必要があると考えている。

2) 母子保健サービスの実情調査

ベースライン調査と同様に、母子保健サービスを提供する医療従事者および母子保健サービスの利用者に対する調査を医療施設で実施している。両SILAISの承認を得た調査用紙を用い、当初の計画よりも早めに、プロジェクトのテクニカルアシスタント3名が取り組んでいる。収集するサンプル数の目標は、調査テーマ①産前健診、②乳幼児健診について、各SILAISで50件ずつである。6月末までの調査の進捗状況は、表5のとおりである。

表5 エンドライン調査・母子保健サービスの現状調査の進捗状況

SILAIS	産前健診		乳幼児健診	
	目標	実績	目標	実績

チョンタレス	50 件	10 件	50 件	11 件
セラヤ・セントラル	50 件	36 件	50 件	42 件

- 計画** ① KAP 調査は、道路封鎖が解除され、調査員の安全が確保された後に、再度実施計画を立てる。
- ② 母子保健サービス実情調査は、安全確保とともに移動および調査可能な保健施設で実施する。

1-6. 機材調達管理

- 1) 第 1 期分供与機材
第 1 期分供与機材で納品されなかったベビーベッド 3 台は、第 2 期分供与機材として追加で購入することが決まった。
- 2) 機材稼働モニタリング
各支所は、機材管理台帳の「故障」機材を抜粋し、SILAIS へ報告するため、故障状況の調査を継続している。機材管理台帳に新たに備考欄を設けた。同欄には、故障機材について、修理の可否、修理の判断不可、機材の必要度、故障箇所などの状況を具体的に記述することになっている。両 SILAIS および支所の担当者は稼働モニタリングに取り組んでいるが、各施設に配置されている機材の状況を確認することに時間を要している。SILAIS チョンタレスは、8 割程度終了したが、SILAIS セラヤ・セントラルは、2 割程度にとどまっている。
- 3) 第 1 期および第 2 期分供与機材の供与式
保健省保健大臣会議室において、保健省官房長と JICA 事務所長の間で、機材供与式が執り行われた。第 2 期分の機材が展示され、両氏署名のうえ、目録が手交された。この様子は、国营放送の全国ニュースで放映された。

- 計画** ① 第 2 期分追加供与機材の購入手続きを開始する。
- ② 両 SILAIS の各支所は、第 1 期分供与機材を含めた機材管理台帳から、「故障」機材を抽出し、故障状況の詳細を記録し、まとめる。SILAIS 審議会で故障状況を分析し、修理する機材を確定し、修理計画を立案する。

1-7. 国際フォーラム

- 1) 保健省の国際フォーラム準備委員
ニカラグア国内の政情不安に伴う治安悪化により、日本人専門家の国外一時退避が決定し、また、他国からニカラグアへの渡航も難しい状況のため、国際フォーラムを 2019 年 3 月へ延期することを提案し、保健省と JICA より承認を得た。また、PAHO および IDB と開催延期の調整を行った。

- 計画** ① 保健省および JICA ニカラグア事務所と情報を共有しつつ、ニカラグアの治安状況をモニタリングし、開催の日程を調整する。

1-8. 運營業務

- 1) 国内暴動および政情不安に対する安全対策とプロジェクトの運営
日本人専門家は首都へ退避し、プロジェクト活動を続けていたが、治安の悪化に伴い国外一時退去が決まった。在任中の専門家2名（中村・石原）は6月26日に帰国した。これに先立ち、プロジェクト「業務計画変更案（和文・西文）」を作成し、保健省と JICA 人間開発部から承認を得た。専門家の離任前に、JICA ニカラグア事務所のローカルスタッフへ「業務計画変更案」の内容を説明し、引継ぎを行った。業務計画変更案は、添付資料1のとおり。
- 2) モニタリングシート version. 6 の提出
「モニタリングシート version. 6（西文）」を作成し、6月25日に保健省保健サービス総局へ提出し、確認を得た。「モニタリングシート version. 6（和文および西文）」を6月29日に人間開発部へ提出した。

1-9. 関連事項

- 1) エル・コラル支所長の異動
エル・コラル支所長の定年退職により、6月1日付で支所長が交代した。
- 2) ヌエバ・ギネア一次医療病院の被害
6月10日午後、ヌエバ・ギネア支所の一次医療病院が武装した反政府集団に襲われ、救急車1台、ピックアップトラック1台、バイク3台のほか、病院に隣接する会議場と医薬品管理室からパソコン、プロジェクター、医薬消耗品などが略奪された。その後、救急車とバイク2台は返還されたが、ピックアップトラックとバイク1台は、反政府勢力により同市内で使用されている。ヌエバ・ギネア市内で警察は機能しているとはいえない状況である。なお、プロジェクトが供与した医療機材に被害はなかった。

2. 主な活動日程

<6月>

- 1日：国際フォーラム準備会議
- 1日～19日：エル・マラ支所、ムエジェ・デ・ロス・ブエセス支所、ヌエバ・ギネア支所保健セクター母子保健サービス実状調査
- 4日：セラヤ・セントラル2次医療病院建設費増額に伴う E/N および G/A 署名
- 7日：渡辺咲子（副総括/地域保健/業務調整）専門家離任
- 8日、12日～13日、18日、27日：フィガルパ支所保健セクター母子保健サービス実状調査
- 12日：第1期および第2期分供与機材供与式
- 15日：保健省とプロジェクト活動計画変更会議
- 19日：人間開発部とプロジェクト活動計画変更 Skype 会議
- 21日：日本人専門家の一時避難帰国正式決定、JICA ニカラグア事務所とプロジェクト活動計画変更会議および引継ぎ
- 23日：モニタリングシート version. 6（西文）を保健省保健サービス総局へ提出

26日：中村二郎（総括/地域保健）、石原尚子（母子保健）両専門家離任
29日：モニタリングシート version.6（和文・西文）を人間開発部へ提出

3. 今後の予定

<7月>

2日：第1回プロジェクト Skype 会議
12日：プロジェクト帰国報告会（JICA 本部）
17日：第2回プロジェクト Skype 会議
30日：第3回プロジェクト Skype 会議

4. 添付資料

添付資料 1. プロジェクト業務計画変更案

5. 活動写真

別添のとおり

6. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

2018 年 6 月 19 日

独立行政法人国際協力機構
JICA ニカラグア事務所
高田所長様

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区に
おける母と子どもの健康プロジェクト

業務計画変更案

業務主任者 中村 二郎

ニカラグアの国内暴動・政情不安により、5 月 11 日から幹線道路の封鎖が全国に拡大し、プロジェクト活動におけるモニタリングや巡回指導などの業務遂行が困難となった。その後も治安は悪化傾向にあり、保健省職員の県間移動はもとより、SILAIS 内の支所間移動も難しくなった。日本人専門家は、JICA ニカラグア事務所の首都一次退避命令により 5 月 17 日以降、首都での業務を遂行していたが、2018 年 6 月中の国外一時退避となった。年末年始頃に大統領選挙の見通しが明らかとなる可能性があり、また、その頃には治安の回復を想定して、以下のとおり活動計画変更を提案する。

1. プロジェクトの実施体制

プロジェクト運営管理

1) プロジェクト事務所

日本人専門家の日本帰国に伴い、事務所管理は以下のとおりとする。

- 保健サービス総局執務室：日本人専門家が再赴任するまで一時閉鎖
- SILAIS チョンタレス：プロジェクト秘書、テクニカルアシスタントが管理
- SILAIS セラヤ・セントラル：テクニカルアシスタントが管理

2) 人員配置

ローカルスタッフの人員配置は、継続する。プロジェクト運転手は、運行・車両管理のほか、在庫管理、テクニカルアシスタント支援も兼務することから、車両運行は 1 台を考えているが、運転手 2 名雇用を継続する。人員配置は、表 1 のとおりである。

表 1 プロジェクト事務所人員配置

プロジェクト事務所	秘書	運転手	テクニカルアシスタント	合計
SILAIS チョンタレス	1 人	2 人	2 人	5 人
SIALIS セラヤ・セントラル	—	—	1 人	1 人

3) 活動費管理

プロジェクト口座は、総括がネットバンキングにより、遠隔管理する。小口現金は、SILAIS チョンタレスに常駐するプロジェクト秘書が管理する。プロジェクト

活動で想定される毎月の支出は、表2のとおりである。

表2 プロジェクト支出概算

件名	概算額	頻度	支払い方法
ローカルスタッフ3名分給与	16万円	毎月	個人口座へ振込
テクニカル・アシスタント3名給与	63万円	毎月	個人口座へ振込
事務所電話・インターネット	1万円	毎月	現金精算
出張旅費	2万円	毎月	現金精算
車両燃料費	3万円	適宜	現金精算
車両メンテナンス費	2万円	適宜	現金精算
その他の支出	1万円	適宜	現金精算
毎月の支出概算合計金額	88万円		

秘書は小口現金の入出金会計簿を管理し、支出した経費の領収書は、PDF化して副総括へ送付する。副総括はプロジェクト会計簿を作成し、総括が最終確認する。総括は、副総括が半月ごとに提示する支出管理に即して、半月毎に秘書の個人口座へ必要金額を送金する。毎月の給与は、各人員名義の個人口座へ送金する。

4) プロジェクト車両運行管理

プロジェクト車両1台（車両ナンバー：MI-1527）は、プロジェクトで運行し、フィガルパの地域病院の警備員がいる駐車場で保管する。運行管理責任者は、プロジェクト秘書とする。もう1台（車両ナンバー：MI-1528）は、マナグアの保健省の車両修理場の駐車場に保管する。車両の鍵の保管場所は、表3のとおり。

表3 プロジェクト車両と鍵の管理場所

車両 ナンバー	運行管理者	駐車場所	鍵の管理者		
			メイン	合鍵1	合鍵2
MI-1527	プロジェクト 秘書	フィガルパ 地域病院	プロジェクト 秘書	プロジェクト 秘書	JICA 事務所
MI-1528	運航禁止	保健省本省 車両修理場	保健サービス 総局長	プロジェクト 秘書	JICA 事務所

保健省に保管する車両（MI-1528）は、日本人専門家が着任、もしくはプロジェクト対象地域およびマナグアまでの幹線道路の封鎖が完全に解除されるまで、本省外では運行しない。

車両運行に際しては、運転手に運行日報および月報を義務付け、秘書が運行日報を管理する。運行日報および月報は、秘書がPDF化して毎月総括と副総括へ送付する。また、車両の運行の際には、日の出前および日没後の運行、幹線道路の封鎖地点、集会・デモを避け、安全な運航を優先する。フィガルパ市街へ運行する際には、必要に応じて運転手2名が便乗し、パンク修理などの対応も迅速に行えるように安全管理に努める。

5) プロジェクト業務管理

テクニカルアシスタントは、毎日、その日の活動報告と翌日の活動計画を日本人専門家3名（総括、副総括、母子保健）とSILAIS局長および保健サービス局長へ、電子メールで連絡する。日本人専門家およびSILAIS局長、保健サービス局長は、治安状況、活動目的などを鑑み、必要に応じて助言を行う。また、これまでどおり毎月プロジェクトで定めた様式に即した活動報告書の提出を義務付ける。

6) 物品管理

プロジェクトで作成したマニュアル、ガイド、啓発活動グッズは、SILAIS チョントレスの倉庫もしくはプロジェクト事務所に保管する。秘書はプロジェクト事務所の資機材も含めた物品管理簿を毎月更新し、総括・副総括へ報告する。運転手は、備品の出し入れおよび管理をサポートする。

2. 業務計画変更案の概要

PDM 成果 1

妊産婦と 2 歳未満児を対象とする医療施設でのサービス提供能力が強化される。

1) 対象 14 支所におけるプロジェクトの 8 項目研修プログラム

プロジェクトの 8 項目研修プログラム（妊産婦管理台帳、産前健診、妊娠性高血圧、産後出血、乳幼児健診、ESAFc 活動、ヘルスプロモーション、保健セクターからの感染症対策）は、各支所が研修計画を立案し、研修ファシリテーターが研修対象者に対して研修を実施する。

変更前：上記について、日本人専門家とプロジェクトのテクニカルアシスタント 3 名が SILAIS と共同でモニタリングを行う。また実施時期は 5 月を目安とする。

変更後：上記について、プロジェクトのテクニカルアシスタント 3 名が、SILAIS と共同でモニタリングを行う。また、実施時期は表 1・2 のとおりとする。道路封鎖や治安の悪化で開催が難しい場合は、再度計画案を作成する。

表 1 SILAIS チョントレス研修計画

研修項目	アコヤバ	コマラバ	クアバ	エル・アヨテ	フィガルバ	ラ・リベルタ	サン・ペドロ・デ・ロバゴ	サント・ドミンゴ	サント・トマス	ビジャ・サンディーン
研修受講者予定数	12人	15人	5人	16人	14人	9人	5人	3人	3人	3人
研修時間帯	午後 1-5時	午前8時-午後1時	午後 1時30分-5時	午前8-12時 午後1-5時	午前8-12時 午後1-5時	午前8-12時 午後1-5時	午後1-4時	午前8-12時 午後2-5時	午後1-5時	午後1-5時
ヘルスプロモーション	6月28日	6月22日	5月17日	5月31日	6月15日	5月16・31日	6月14日	5月31日	5月31日	8月2日
ESAFc活動ガイド	6月28日	6月29日	5月17日	5月31日	6月15日	5月16・31日	6月7日	5月24日	5月25日	7月18日
妊産婦管理台帳	6月14日	5月18日	5月23日	5月11日	6月12日	5月14・29日	5月31日	5月10日	4月26日	5月31日
産前健診	5月24日	5月18日	5月31日	6月11日	6月12日	5月14・29日	5月24日	5月10日	5月4日	5月17日
妊娠性高血圧	5月31日	6月1日	6月6日	5月17日	6月13日	5月15・30日	6月7日	5月25日	5月18日	6月28日
産後出血	6月7日	6月11日	6月14日	5月17日	6月14日	5月15・30日	6月14日	5月25日	5月25日	6月14日
乳幼児健診	6月21日	6月11日	6月20日	5月24日	6月13日	5月15・30日	6月21日	5月24日	6月1日	7月5日
保健セクターからの感染症対策	6月28日	6月22日	6月28日	6月8日	6月14日	5月16・31日	6月21日	5月31日	5月31日	8月16日

表 2 SILAIS セラヤ・セントラル研修計画

研修項目	ヌエバ・ギネア	エル・ラマ	ムエジェ・デ・ロス・ブエセス	エル・コラル
研修受講者予定数	22人	24人	14人	6人
研修時間帯	午前8-12時 午後13-17時	午前8-12時 午後13-17時	午前8-12時 午後13-17時	午前8-12時 午後13-17時
妊産婦管理台帳 / ESAFc活動ガイド	6月4日	6月8日	6月6日	6月7日
産前健診 / ヘルスプロモーション	6月11日	6月15日	6月13日	6月14日
産後出血 / 妊娠性高血圧	6月18日	6月22日	8月20日	6月21日
乳幼児健診 / 保健セクターからの感染症対策	6月25日	6月29日	6月27日	6月28日

2) 補完講習（必要に応じて実施）：変更なし。

「妊産婦管理台帳」「産前健診」「妊娠性高血圧症」の補完講習は、適宜必要に応じて

て支所の研修ファシリテーターにより実施する。

3) 母子保健 5 項目のテキスト第 2 版

母子保健技術委員会の各メンバーと専門家がメールを介してテキスト第 2 版改定案を作成する。最後に保健省保健サービス局の承認を踏まえて、第 2 版最終案をまとめる。2019 年 1 月に印刷し、国際フォーラムや全国セミナーで活用する。

変更前：2018 年 8 月までに作成

変更後：2018 年 12 月までに作成

4) 第 2 期分機材供与（道路封鎖解除後に搬送・配置）

6 月 5 日、納入業者事務所にてすべての機材の検収が終了したが、機材を各施設に配送、設置できない状態である。検収終了後に 50%を支払い、設置後に 50%の支払いを行うように契約内容を変更した。納入業者に保管している第 2 期分供与機材は、道路封鎖が解除され、安全な運航が確認され次第、配置計画に沿って両 SILAIS の医療施設へ設置する。設置の確認が取れた後、残金の支払いを行う。

変更前：2018 年 6 月に設置完了

変更後：道路封鎖が解除され、通行の安全が確認されたのち設置

5) 機材保守管理システム

プロジェクトで供与した機材の保守管理システムの機能を目指す。SILAIS および各支所が取り扱う機材管理台帳を半年ごとに更新する計画であったが、1 回目の更新に時間を要している。14 支所中ビジャ・サンディーノ以外の 13 支所で機材管理台帳の更新が終了した。ビジャ・サンディーノでは道路封鎖など治安悪化で更新作業に取り組めない状況となっている。両 SILAIS は、これら機材の故障リストから、修理する機材などの分析を行う。両 SILAIS のテクニカルアシスタントが、本活動の実施支援およびモニタリングを行う。

変更前：2 月・8 月の半期ごとに実施

変更後：プロジェクト期間中 2018 年と 2019 年にそれぞれ 1 度実施

PDM 成果 2

妊産婦と 2 歳未満児の健康に関するコミュニティ活動が強化される。

1) 対象地域全体における ESAFC 活動評価（四半期ごとに実施）：変更なし

両 SILAIS の全 161 保健セクターにおける ESAFC 活動および四半期ごとに進捗評価を継続する。

2) ESAFC 活動ガイドの改定

各支所および両 SILAIS から出された意見を基に、テクニカルアシスタントと日本人専門家により、各活動の明確化、体系化をより強化する目的で、ESAFc 活動ガイドの改定版を作成する。また、ESAFc 活動の新たな好事例集の改定も併せて進める。

変更前：2018 年 8 月までに作成

変更後：2018 年 12 月までに作成

3) 保健省技官向けセミナー開催

両 SILAIS での知見を基に、保健省保健サービス総局、教育総局、公衆衛生監視総

局などの技官を対象に、ESAFG 活動ガイドのセミナーを開催する。保健省保健サービス総局内でファシリテーターを育成し、ESAFG 活動ガイドの概要、目的、活用方法、モニタリング手法、評価手法などについてセミナーを開催する。また、本セミナーでの質疑応答や意見交換を踏まえ、ESAFG ガイド改定版作成に反映させる。

変更前：2018 年 8 月までに実施

変更後：2019 年 5 月までに実施

PDM 成果 3

妊産婦と 2 歳未満児の健康に関する SILAIS の行政能力が強化される。

1) 技術統合巡回指導

SILAIS の職員は、支所職員とともに、保健セクターを巡回し、診療記録、医薬消耗品などの物品管理記録、コミュニティ・ネットワークとの活動記録の不備(記入漏れ・内容の不足・誤記・判読不明な文字等)の有無などを確認する。問題があった場合は、その都度、改善方法と期日を定めて指導し、その後も継続してフォローアップする。

変更前：上記を毎月実施する。

変更後：道路封鎖解除後に毎月実施する。

2) 支所の技術審議会(CTAM)同席

SILAIS の支所別に定められたモニタリング担当官は、それぞれの支所の技術審議会に同席する。SILAIS モニタリング担当官は、各支所の責任者らとともに、保健セクターの活動状況、活動指標の達成度を毎月モニタリングする。そこで、活動上の問題点が見つかった場合、出席している全保健セクターの医療従事者らと、その問題を分析し、改善点を見出し、合意事項として、次回の技術審議会で検証作業を行う。

変更前：上記を毎月実施する。

変更後：道路封鎖解除後に毎月実施する、

3) SILAIS 統計データの質管理

SILAIS の担当者自身が支所や各保健セクターを訪問し、記録とその管理状態をモニタリングして、弱点・課題を具体的に把握し、質の改善に繋がる具体的な指導を実施する。

変更前：上記を毎月実施する。

変更後：道路封鎖解除後に毎月実施する。

4) SILAIS の技術審議会

両 SILAIS は毎月、全支所の責任者を集め、各支所の活動状況について、集積した保健データや巡回指導結果をもとに、分析、フィードバックを行う。

変更前：上記を毎月実施する。

変更後：道路封鎖解除後に毎月実施する。

5) エンドライン調査

➤ 2017 年に出産した母親への KAP 調査

調査員が女子大学生であり、調査員の安全な移動が確保されなければならない。街道封鎖が解除され、調査実施可能となれば、再度計画し、実施する。

変更前：上記をプロジェクトのパイロット保健セクター8か所で5・6月に実施する。

変更後：道路封鎖解除後に実施、2018年中に調査を終了する。2018年中に実施できない場合は、本調査は実施しない。調査しない理由は、2017年に出産した際に受けたサービス内容を忘れてしまっている可能性が高いため。

➤ 母子保健サービスの実情調査

テクニカルアシスタントにより、訪問可能な医療施設で調査を開始している。今後も調査を継続し、産前健診、乳幼児健診それぞれ100標本を目指す。

変更前：2018年7-8月

変更後：2018年5-7月

➤ 母子保健データ：変更なし

PDM指標のほか、母子保健に関わる保健データを本省・SILAIS・支所・保健セクター別に調査する。

PDM 成果 4

国家承認された知見や好事例が全 SILAIS に共有される。

1) 国際フォーラム

変更前：2018年8月開催

変更後：2019年3月開催

ニカラグアの国内情勢を踏まえ、開催時期を2019年3月に変更する。ニカラグア保健省、ニカラグア外務省、日本大使館、JICA、PAHO、IDB、会場施設等の関係機関と調整する。

2) 全国セミナー

保健サービス総局が主体となり、対象 SILAIS 以外の 17SILAIS に SAMANI 活動を共有する。特に ESAFC 活動は、全国展開を視野に、その成果と手法を説明する。

変更前：2018年10月予定

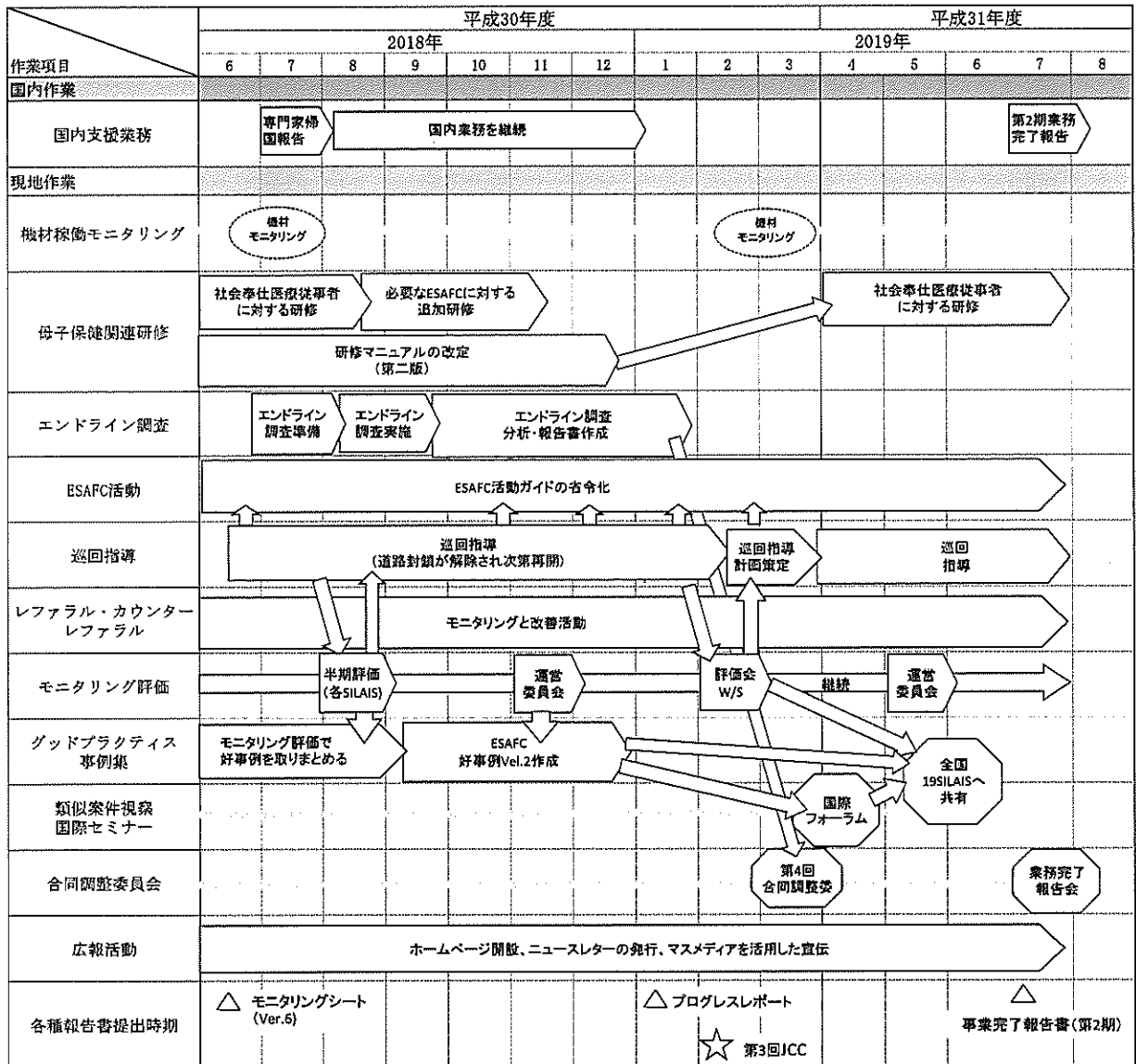
変更後：2019年5月もしくは6月に開催

日本人専門家による遠隔管理の可否と管理者

活動項目	遠隔管理	中村	渡辺	石原	鈴木
プロジェクト運営管理	可	◎	◎		
8項目研修の実施	可			◎	
母子保健5項目研修テキストの改定	可			◎	
エンドライン調査	一部可	○	○	○	
ESAFG活動の実施	可	◎			
ESAFG活動ガイド、好事例集の更新	可	◎			
レファラル・カウンターレファラル	不可				
PDM指標	可	◎			
機材稼働モニタリング	可	○			○

国際フォーラム	不可				
全国セミナー	不可				

3. 業務実施計画フローチャート



4. 要員計画変更案

第2期、2018年6月から2019年7月の期間に派遣されるプロジェクト要員は、2019年以降の治安回復を想定して、以下のとおり変更する。但し、想定よりも早く治安が回復し、JICA ニカラグア事務所で、専門家再赴任の見通しがついた時点で、監督職員と協議し、日本人専門家の派遣を早める。

中村二郎（総括／地域保健）

派遣回数	変更前	変更後	変更時期理由
第2次派遣	290日 (2018/2/15-2018/12/1)	134日 (2018/2/15-2018/6/28)	ESAFIC 活動ガイドの更新版作成に取り組み、2018年8月に開催予定の半期評価会を実施する。また、全国展開の準備を進める。

国内業務		60日 (2018/7/1- 2018/1/31)	この期間中に現地業務のモニタリングを行い、プロジェクト月報、プレグレスレポートなど、報告書を作成する。
第3次派遣	60日 (2019/1/15- 2019/3/15)	156日 (2019/2/3- 2019/7/8)	プロジェクト進捗評価、国際フォーラム、全国セミナーの実施およびプロジェクト完了報告書などの業務に取り組む。

渡辺咲子（副総括／地域保健／業務調整）

派遣回数	変更前	変更後	変更時期理由
第4次派遣	55日 (2018/4/14- 2018/6/7)	変更なし	
第5次派遣	45日 (2018/7/15- 2018/8/28)	8日 (2018/12/9- 2018/12/16)	日本人専門家が6ヶ月ほど不在となるに当たり、会計上および業務上の準備・調整などを行うため、1週間業務につく。
第6次派遣	40日 (2019/1/13- 2019/2/21)	85日 (2019/1/6- 2019/3/31)	プロジェクト進捗評価、国際フォーラムの実施と全国セミナーを準備するため。
第7次派遣	20日 (2019/5/21- 2019/6/9)	12日 (2019/6/19- 2019/6/30)	プロジェクト業務終了に伴う、会計処理および業務上の精算を行う。

石原尚子（母子保健）

派遣回数	変更前	変更後	変更時期理由
第2次派遣	220日 (2018/4/9- 2018/11/14)	81日 (2018/4/9- 2018/6/27)	都市間移動ができないため、テキスト改定版の見通しを立てた後、一次帰国する。
第3次派遣		139日 (2019/1/20- 2019/6/7)	プロジェクト進捗評価、国際フォーラム、全国セミナーの実施を重点に活動する。

鈴木一代（機材調達管理）

派遣回数	変更前	変更後	変更時期理由
第2次派遣	30日間 (2018/5/1- 2018/5/30)	30日間 (2019/4/23- 2019/5/22)	機材稼働モニタリングシステムが2度取り組まれた結果を精査し、システムが機能しているか検証する。

狐崎知巳（保健行政）

派遣回数	変更前	変更後	変更時期理由
第1次派遣	9日間 (2018/8/5- 2018/8/13)	9日間 (2019/2/24- 2019/3/4)	国際フォーラム開催前の2019年2月末に開催予定の半期評価会に併せて、赴任する。

要員計画 (期間：2018年6月～2019年7月)

1. 現地業務

作成日：2018年6月14日

氏名	担当業務	格付	項目	渡航回数	2018年												2019年							計画日数(日)	計画人月(M/M)
					6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7							
中村 二郎	総括/地域保健	2	旧計画	3	184日													60日						244	8.13
			新計画	3	27日															157日					
渡辺 咲子	副総括/地域保健 /業務調整	4	旧計画	7	45日													40日						112	3.73
			新計画	7	7日						8日								85日			12日			112
石原 尚子	母子保健	3	旧計画	2	167日																			167	5.57
			新計画	3	27日															140日					167
鈴木 一代	機材調達管理	3	旧計画	2	2018年5月に30日間の派遣が計画されていた																			30	1.00
			新計画	2																30日					30
狐崎 知己	保健行政	3	旧計画	1																				9	0.30
			新計画	1																9日					9

2. 国内業務

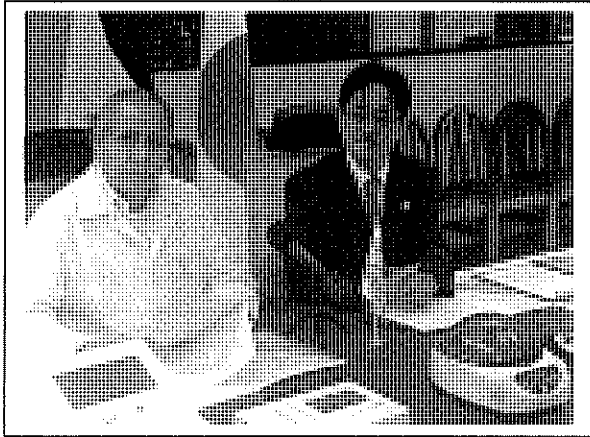
氏名	担当業務	格付	項目	渡航回数	2018年												2019年							計画日数(日)	計画人月(M/M)
					6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7							
中村 二郎	総括/地域保健	2	旧計画	/																				6	0.20
			新計画	1	5日	5日	5日	5日	5日	5日	5日	5日	5日	5日	5日	5日	6日								66
石原 尚子	母子保健	3	旧計画	/																				4	0.13
			新計画	1	4日																				4
花田 恭	保健行政/マネージメント	3	旧計画	/																				4	0.13
			新計画	1	4日																				4
鈴木 一代	機材調達管理	3	旧計画	/																				4	0.13
			新計画	1	4日																				4

凡例：旧計画 ■■■■■ 新計画 □□□□□

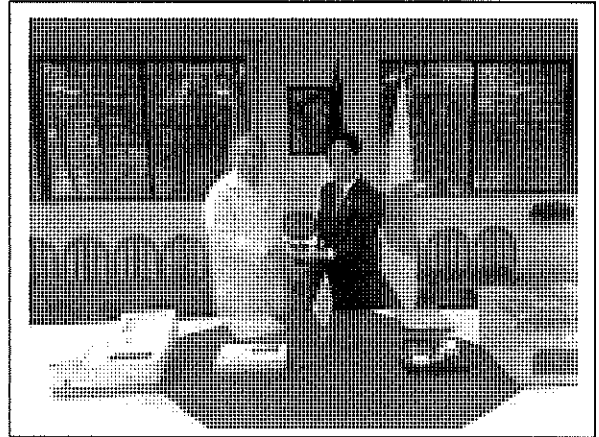
報告書,等	旧計画		新計画		M/S(Ver.6)		M/S(Ver.6)		P/R		JCC		F/R	
	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

凡例：報告書 ▲ 会議：★

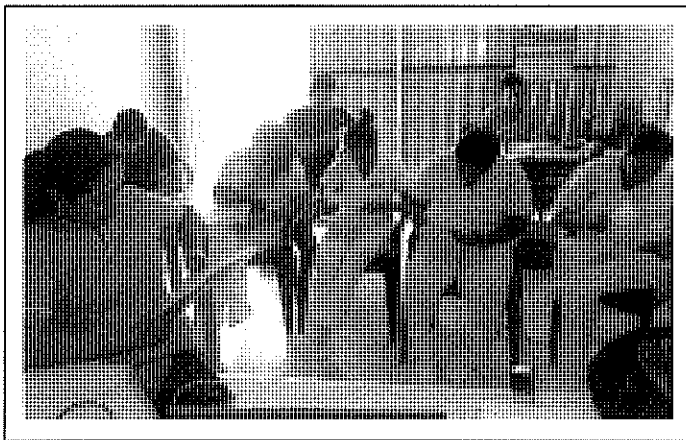
5. 活動写真



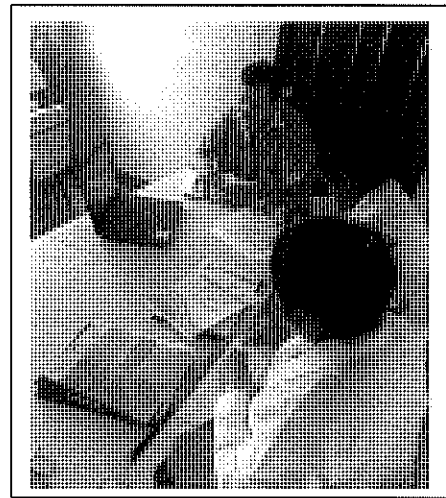
第1期分・第2期分機材供与式
サエンス官房長と JICA 高田所長



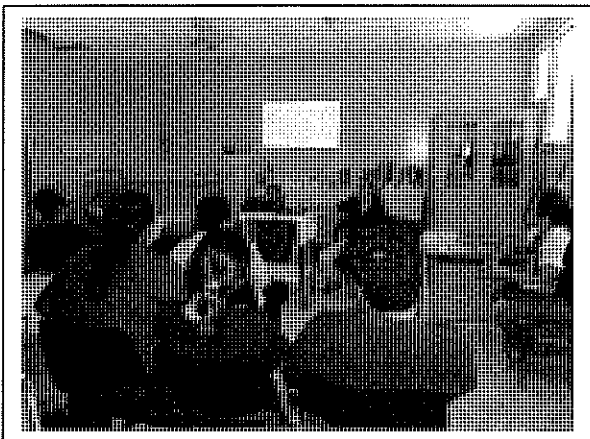
第1期分・第2期分機材供与式
供与機材とともに



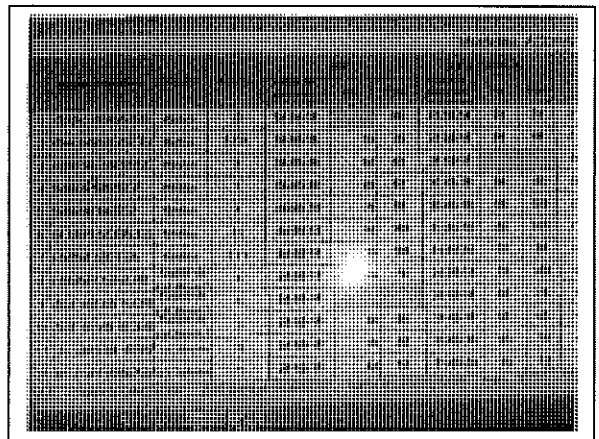
SILAIS チョントレス
クアパ支所
研修の事前テストを受ける



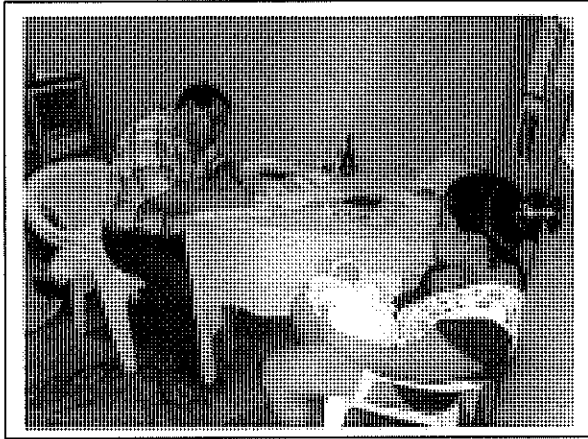
SILAIS チョントレス
サント・ドミンゴ支所
受講者にテキストを配布



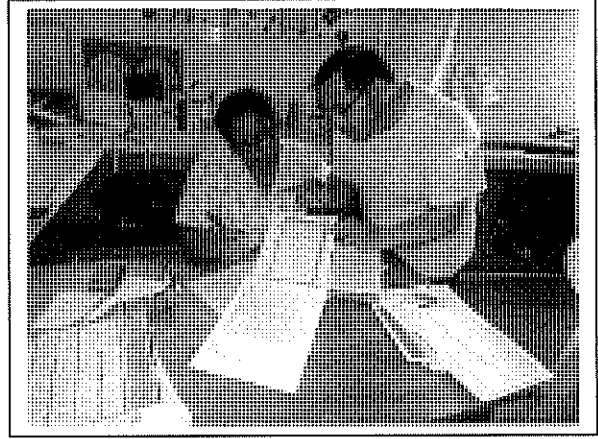
SILAIS チョントレス
フィガルパ支所
8項目研修



SILAIS セラヤ・セントラル
アコヤパ支所
研修の事前・事後テストを集計



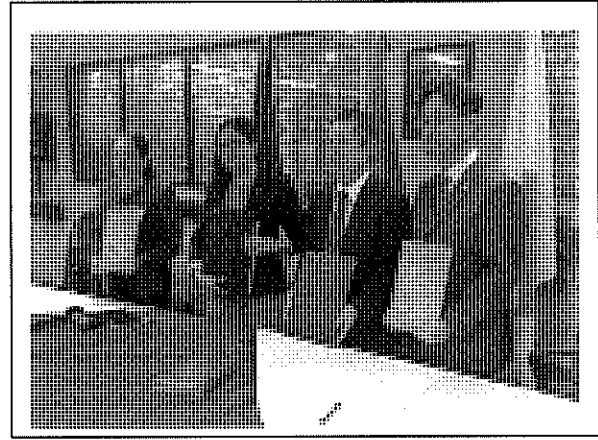
エンドライン調査
母子保健サービス実情調査
健診を受けた母親へのインタビュー



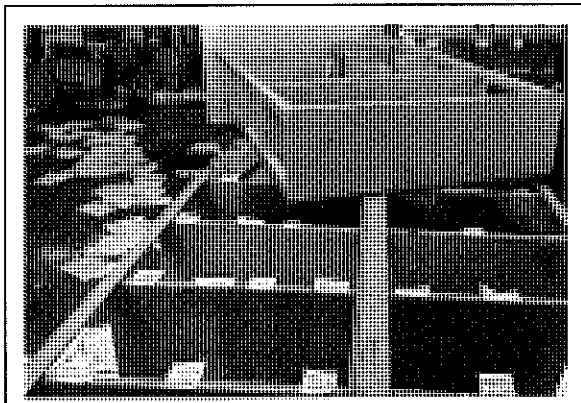
エンドライン調査
母子保健サービス実情調査
健診を受けた母親のカルテを確認



SILAIS セラヤ・セントラル
SILAIS 技術委員会
SILAIS 幹部が集まり活動の進捗を確認



ヌエバ・ギネア 2 次医療病院の E/N・G/A
左より、保健大臣、外務副大臣、日本大使、
JICA 所長



ヌエバ・ギネア一次医療病院の略奪
医薬消耗品管理室



保健省近くに設置された道路封鎖
道路の石畳をはがして構築
住民は日常生活をしている


監督職員


2018 年 8 月 12 日

独立行政法人国際協力機構
 監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2018年7月分）

【受注者名】
 業務主任者 中村 二郎 

標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. 対象 14 支所における医療従事者研修

1) 8 項目研修プログラム

SILAIS チョンタレスは、5 月より新たに配置された社会奉仕の医師・看護師および新任の准看護師を対象に、8 項目研修を継続している。すでに 5 支所（サント・ドミンゴ、ラ・リベルタ、フィガルパ、コマラパ、サン・ペドロ・デ・ロバゴ）で全研修を終了した。SILAIS チョンタレスの研修進捗状況は表 1 のとおりである。なお、表内でオレンジ色の箇所は「研修実施中」であり、全員の受講が終了していない。

表 1 SILAIS チョンタレス研修実施状況

研修項目	サント・ドミンゴ	ラ・リベルタ	フィガルパ	コマラパ	サン・ペドロ・デ・ロバゴ	セラヤ・セントラル	セラヤ・セントラル	セラヤ・セントラル	セラヤ・セントラル	セラヤ・セントラル
基礎研修	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了
感染制御	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了
母子保健	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了
救急研修	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了
救急研修	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了
救急研修	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了
救急研修	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了
救急研修	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了
救急研修	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了
救急研修	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了
救急研修	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了
救急研修	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了	完了

■ 対象者全員に対する研修終了 ■ 研修実施中

SILAIS セラヤ・セントラルは、7 月中に 4 支所全てで 8 項目研修を終了した。

8 項目研修の内、母子保健 5 項目について事前事後テストを実施しており、その結果は、表 2 のとおりであった。4 支所合計の平均点は、事前テストと事後テスト共に、産後出血が最も高く、乳幼児健診で最も低い。支所別では、ムエジェ・デ・ロス・ブエジェスで成績が良い。同支所の研修ファシリテーターは、研修への支所長の関わりや日常的な指導が好成績に反映されたのだと思うと述べている。

表 2 SILAIS セラヤ・セントラル、母子保健 5 項目研修事前事後テスト結果

支所名	テスト	妊産婦管理台帳	産前健診	乳幼児健診	妊娠性高血圧	産後出血
エル・コラル	事前	76.5	60.0	64.7	76.7	85.0
	事後	88.3	91.7	85.3	90.0	95.0
エル・ラマ	事前	66.9	63.5	57.6	66.7	80.8
	事後	95.7	90.4	81.8	92.5	92.1
ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス	事前	82.1	73.6	64.0	82.1	87.9
	事後	96.6	91.4	88.7	93.6	96.4
ヌエバ・ギネア	事前	68.9	70.0	69.6	65.6	77.2
	事後	89.3	85.6	85.4	84.4	91.1
SILAIS セラヤ・セントラル 合計	事前	73.6	66.8	64.0	72.8	82.7
	事後	92.5	89.8	85.3	90.1	93.7

両 SILAIS は、研修後のテスト結果が 60 点未満の医療従事者に対する再研修を実施しており、各支所は、必要に応じて再研修その計画立案している。また、SILAIS チョントレスは、研修後のテストが 60 点以上だったとしても、70 点に満たなかった医療従事者には、講義で使用したテキスト、事例検討、プレゼンテーションの内容を何度も見直すなどして、知識の定着を図るための自己学習を義務付けている。SILAIS セラヤ・セントラルは、規則化こそしていないものの、満点に達しなかった医療従事者全員に対して、継続的な自己学習の実施をうながしている。

2) 母子保健 5 項目のテキスト第 2 版

母子保健技術委員会の各メンバーは、テキスト第 2 版作成のため、テキストの改定作業を進めている。

- 〔計画〕 ① 研修を完全に終了していない SILAIS チョントレスの 5 支所は、8 項目研修を完了する。
- ② 母子保健技術委員会は、母子保健 5 項目のテキストの改定作業を継続する。

1-2. ESAFC 活動

1) 四半期進捗評価

ES AFC 活動の進捗状況を測るため、今回 2018 年 4 月～6 月の四半期評価に取り組んでいる。四半期評価を SILAIS の技官が同席することで、SILAIS 技官が ESAFC 活動における弱点、改善すべき点などを認識する機会となる。また、医療従事者にとっては ESAFC 活動で取り組むべき行動がより明確となる機会である。その必要な行動は、ES AFC 活動の好事例集に記載されている。

SILAIS チョントレスでは、各支所で評価を実施したが、道路封鎖をはじめ、情勢変化に伴う業務の増大により、一部の支所の評価に、SILAIS 技官は同席してい

ない。SILAIS 技官が同席しないことで、評価の質の低下が懸念される。SILAIS セラヤ・セントラルでは、SILAIS の技官も同席して評価に取り組む計画が立てられている。

2) ESAFC 活動ガイドの改定

「ESAFc 活動ガイド」と「ESAFc 活動の好事例集」の更新版作成を進めている。

3) 社会奉仕医師・看護師への第 2 回目 KAP 調査

第 2 回目の社会奉仕活動を 1 年間行った全医師および看護師に対する KAP 調査を終了し、データ入力および分析作業を進めている。

計画

- ① 両 SILAIS は、8 月中に ESAFC 活動の四半期評価を終了する。
- ② ESAFC 活動ガイド改定版および ESAFC 活動好事例集 (Vol. 2) の改定作業を進める。
- ③ 第 2 回 KAP 調査結果の分析を進める。

1-3. 技術統合巡回指導

1) 巡回指導の現状

7 月 19 日のサンディニスタ革命記念日までに、国内の道路封鎖箇所の大半が政府側により解放された。その後、両 SILAIS では SILAIS 技官による巡回指導が再開された。PDM 指標成果 3-1「技術統合巡回指導」、3-2「技術審議会への同席」、3-3「統計データの質管理」の支所の実施状況と SILAIS の同行数は、表 3 のとおりであった。

表 3 支所の巡回指導と SILAIS の同行

支所の活動	特徴	チョンタレス		セラヤ・セントラル	
		支所実施数	SILAIS 同行数	支所実施数	SILAIS 同行数
技術統合巡回指導	保健セクターを訪問。活動をモニタリング・指導し、改善に取り組む	1 支所 1 保健セクター	0 支所	4 支所 5 保健セクター	2 支所 2 保健セクター
支所の技術審議会 (CTAM) 開催	保健セクターの医療チームが出席する支所レベルの技術審議会	10 支所	3 支所	4 支所	2 支所
統計データの質管理	保健セクターが扱う様々な統計データの質を確認	1 支所 1 保健セクター	1 支所 1 保健セクター	2 支所 2 保健セクター	2 支所 2 保健セクター

巡回指導の再開とともに支所における技術審議会や研修の開催も活性化が期待できる。

計画

- ① SILAIS による巡回指導をルーティン化させ、活動の進捗確認、分析、改善案の決定など、PDCA サイクル・マネジメントを強化する。

1-4. エンドライン調査

1) 2017 年に出産した母親への KAP 調査

先月の月報で言及したとおり、早い段階で調査を開始しなければ、2017 年に出産した母親の記憶が薄れ、この間に次の妊娠があれば、新しい経験に伴い情報の不確かさが生じ、これがバイアスとなるなどの問題がある。2018 年 10 月までに専門家がニカラグアへ再赴任できなければ、この KAP 調査の実施は難しいと判断し、その際には中止することを帰国報告の際に、人間開発部と確認した。

2) 母子保健サービスの実情調査

ベースライン調査と同様に、母子保健サービスの提供者および利用者に対する調査を、プロジェクトのテクニカル・アシスタント 3 名が先月に引き続き医療施設で実施している。収集するサンプル数の目標は、調査テーマ①産前健診、②乳幼児健診について、各 SILAIS で 50 件ずつで、7 月末までの調査の進捗状況は、表 4 のとおりである。

表 4 エンドライン調査/母子保健サービスの現状調査の進捗状況

SILAIS	産前健診		乳幼児健診	
	目標	実績	目標	実績
チョンタレス	50 件	22 件	50 件	29 件
セラヤ・セントラル	50 件	50 件	50 件	49 件

- 計画 ① KAP 調査実施は、日本人専門家のニカラグア再赴任の可・不可で判断する。
② 母子保健サービス実情調査を完了し、集計を始める。

1-5. 機材調達管理

1) 機材稼働モニタリング

SILAIS チョンタレスでは、10 支所全てで故障機材の詳細確認を終えた。SILAIS で故障機材リストを確認したところ、一部の機材について、故障状況の情報不足があり、支所に対して確認を進めている。SILAIS セラヤ・セントラルでは、4 支所中 1 支所のみ作業を終え、他 3 支所では故障機材の詳細調査を継続中である。

2) 第 2 期分供与機材

第 2 期分供与機材は、道路封鎖の解除と安全な通行が確認できたので、追加分機材（新生児用ベッド 3 台）を除き、検収後に納入業者 BÜHLER の倉庫に保管してあった 6 品目合計 25 台全てを当初の計画どおり設置した。追加分機材は、三社見積の取り付けを行っており、現在、機材カタログの確認を進めている。

- 計画 ① 第 2 期分追加供与機材の購入手続きを開始する。
② SILAIS チョンタレスは、故障機材の詳細情報を確認し、SILAIS 審議会で故障状況の分析を行い、修理する機材を確定する。
③ SILAIS セラヤ・セントラルは、第 1 期分供与機材を含めた機材管理台帳か

ら、「故障」機材を抽出し、故障状況の詳細を記録し、まとめる。SILAIS 審議会にて故障状況を分析し、修理する機材を確定し、修理計画を立案する。

1-6. 運営業務

1) プロジェクトの運営

プロジェクト活動のモニタリングを中心に業務に従事しているテクニカル・アシスタントは、毎日取り組んだ活動と翌日取り組む活動を、日本人専門家、両 SILAIS 局長、保健サービス総局長、保健省対外局長、JICA ニカラグア事務所案件担当に報告している。また、経理は秘書が担い、支出毎に領収書をスキャンして総括および副総括/業務調整へ送付している。プロジェクトの日本人専門家、テクニカル・アシスタント、および秘書と運転手は、2 週間毎に Skype 会議を開催し、活動の進捗確認の他、運営上の問題や課題、治安の現状などを共有している。

2) プロジェクト車両の運行

7 月に入り、政府側による道路封鎖の障害物強制撤去が進み、先月まで両 SILAIS 内に 23 か所あった道路封鎖はすべて解消した。それに伴い、7 月 24 日より SILAIS チョントレス内のプロジェクト車両の運行を開始した。2 台目のプロジェクト車両を運行するかどうかは、治安状況を判断して検討する。

3) 帰国報告

JICA 本部で、ニカラグア事務所の次長と当プロジェクト担当者同席のもと帰国報告会を行い、プロジェクトの活動進捗、ニカラグアの政情不安による治安悪化に伴い立案した業務計画変更案、プロジェクトの課題などについて説明し、意見交換を行った。今後について、プロジェクトでは、来年初めにニカラグアへ戻るのであれば、エンドライン調査の一部（KAP 調査）を除き、主な活動を完了することは可能と考えていることを説明した。帰国報告プレゼンは添付資料 1 のとおり。

4) モニタリングシートの修正

6 月 29 日に人間開発部へ提出した「モニタリングシート version. 6」の和文および西文の加筆修正を行っている。

1-7. 関連事項

1) ヌエバ・ギネア支所の一部保健セクターの活動停止

ヌエバ・ギネア支所は、6 月に一次医療病院が反政府集団に襲われるなど被害があった。道路封鎖が解除になった後も、反政府活動が盛んな運河建設予定地域の 5 か所の保健セクターは、医療従事者への危害を懸念し、派遣を中止しており、医療施設も閉鎖したままとなっている。事実上、医療サービスが提供されておらず、妊産褥婦および乳幼児などの状態が心配される。

2. 主な活動日程

<7月>

- 2日：第1回プロジェクト Skype 会議、両 SILAIS で SILAIS 幹部による技術審議会 (CTOD)、SILAIS チョントレス保健サービス審議会 (CTSS)
- 3日：SILAIS セラヤ・セントラル保健サービス審議会 (CTSS)、フィガルパ支所保健サービス状況調査
- 4日：フィガルパ支所保健サービス状況調査
- 5日：ヌエバ・ギネア支所 8 項目研修同席、ヌエバ・ギネア支所保健サービス状況調査、フィガルパ支所保健サービス状況調査
- 9日：SILAIS チョントレス技術審議会 (CTOD)、SILAIS チョントレス保健サービス審議会 (CTSS)、フィガルパ支所保健サービス状況調査
- 10日：ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所 8 個項目研修モニタリング、ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所保健サービス状況調査、フィガルパ支所保健サービス状況調査
- 11日：フィガルパ支所技術審議会 (CTAM) 同席、ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所 8 個項目研修モニタリング、ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所保健サービス状況調査、フィガルパ支所保健サービス状況調査
- 12日：プロジェクト帰国報告会 (JICA 本部)、ヌエバ・ギネア支所 8 項目研修モニタリング、フィガルパ支所保健サービス状況調査
- 13日：ヌエバ・ギネア支所 8 項目研修モニタリング、ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所 8 個項目研修モニタリング
- 16日：SILAIS チョントレス技術審議会 (CTOD)、SILAIS チョントレス保健サービス審議会 (CTSS)、フィガルパ支所保健サービス状況調査
- 17日：第2回プロジェクト Skype 会議
- 18日：ヌエバ・ギネア支所保健サービス状況調査、フィガルパ支所保健サービス状況調査
- 19日：サンディニスタ革命記念日
- 20日：フィガルパ支所保健サービス状況調査、ヌエバ・ギネア支所保健サービス状況調査
- 23日：SILAIS チョントレス技術審議会 (CTOD)、SILAIS チョントレス保健サービス審議会 (CTSS)、エル・ラマ支所技術審議会 (CTOM) 同席
- 24日：フィガルパ支所保健サービス状況調査
- 25日：ラ・リベルタ支所技術審議会 (CTAM) 同席、ラ・リベルタ支所保健サービス状況調査
- 26日：エル・コラル支所技術審議会 (CTAM) 同席、サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所技術審議会 (CTAM) 同席
- 27日：ヌエバ・ギネア支所技術審議会 (CTAM) 同席、ビジャ・サンディーノ支所技術審議会 (CTAM) 同席、ビジャ・サンディーノ支所 ESAFC 活動四半期評価
- 31日：ヌエバ・ギネア支所技術統合巡回指導

3. 今後の予定

<8月>

- 2日：第3回プロジェクト Skype 会議
- 16日：第4回プロジェクト Skype 会議

4. 添付資料

添付資料 1. JICA 本部帰国報告プレゼンテーション資料 (7月12日)

5. 活動写真

別添のとおり

6. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

ニカラグア共和国
 チョントレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における
 母と子どもの健康プロジェクト

一時帰国報告および計画変更
 2018年7月12日




Salud de Madres y Niños

PDM ver.3
 指標の推移

PDM指標	プロジェクト目標	SILAIS	2014年	2015年	2016年	2017年
1. 対象地域で、妊婦が、1回目の産前健診を妊娠初期12週以内に受診する割合が2014年の65.5%（ベースライン）から2018年（エンドライン）に上昇する。	チョントレス		66.7	68.6	69.6	70.7
	セラヤ・セントラル		64.3	61.3	65.2	61.9
	両SILAIS		65.5	64.9	67.4	66.2
2. 分娩施設で現在有効な分娩3期ケアと出産直後の新生児ケアの質の指標を満たす割合が2015年の59.5%（ベースライン）から2018年の80.0%（エンドライン）に上昇する。	チョントレス		59.0	95.2	97.8	98.4
	セラヤ・セントラル		60.0	59.0	47.0	89.9
	両SILAIS		59.6	77.1	72.4	94.1

3. 対象地域で中期（産後2～10日）産後健診の受診率が2014年の77.4%（ベースライン）から2018年（エンドライン）に上昇する。	チョントレス	72.0	73.4	73.7	78.6
	セラヤ・セントラル	83.4	88.5	83.4	76.8
	両SILAIS	77.4	80.6	78.4	77.7
4. 対象地域で1～4歳の1回目乳幼児健診を受ける割合が2014年の47.5%（ベースライン）から2018年の58.5%（エンドライン）に上昇する。	チョントレス	48.3	44.2	44.3	57.4
	セラヤ・セントラル	46.6	38.4	37.5	52.2
	両SILAIS	47.5	41.5	41.1	55.0

5. 対象地域で、施設分娩のためにマタニティホームに宿泊した農村地域の妊婦の割合が、2015年（ベースライン）の42.1から2018年の50.0%（エンドライン）に上昇する。	チョントレス	42.9	78.1	71.3	47.6
	セラヤ・セントラル	41.6	73.8	66.3	62.8
	両SILAIS	42.1	75.3	68.2	57.0

【第2期】主な活動

- 2018年1月～6月
- 2018年7月～2019年7月

【第2期】2018年1月～6月の主な活動

- 母子保健研修の実施とモニタリング (成果1・3)
- 補完講習教材の作成と実施 (成果1)
- ESAFC活動のモニタリングと検証 (成果2・3)
- 第1期分供与機材設置完了 (成果1)
- 第2期分供与機材見積競争、契約、検収 (成果1)
- 機材稼働モニタリングシステムの試行 (成果1・3)
- 巡回指導の実施およびルーティン化 (成果1・3)
- 類似案件視察の準備・実施 (成果4)
- 家庭地域保健国際フォーラムの準備 (成果4)
- エンドライン (KAP調査・実情調査) の準備・実施

項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
母子保健																			
ESAFc活動																			
巡回指導																			
エンドライン調査																			
国際フォーラム																			
機材稼働モニタリング																			
類似案件視察																			
家庭地域保健国際フォーラム																			
補完講習教材																			

2018年7月～2019年7月までの主な活動

- 母子保健研修の実施とモニタリング (成果1・3)
- 補完研修・講習の実施とモニタリング (成果1・3)
- ESAFC活動のモニタリング (成果2・3)
- 第2期分供与機材の設置と追加機材発注 (成果1)
- 機材稼働モニタリングシステムの実施 (成果3)
- 巡回指導の実施およびルーティン化 (成果1・3)
- 家庭地域保健国際フォーラムの準備と開催 (成果4)
- プロジェクト活動の全国セミナー (成果4)
- エンドライン (KAP調査・実情調査) の準備・実施
- プロジェクト終了時評価と報告書作成

変更計画案	2018年						2019年						
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
機材稼働モニタリング													
母子保健													
ESAFc活動													
巡回指導													
エンドライン調査													
国際フォーラム													
機材稼働モニタリング													
報告書作成													

【成果1・3】

- 母子保健5項目テキストの更新
- 研修プログラムの実施とモニタリング

研修8項目

- 1 妊産婦管理台帳
- 2 産前健診
- 3 妊産性高血圧
- 4 産後出血
- 5 乳幼児健診
- 6 ヘルスプロモーション
- 7 保健セクターからの感染症対策(ビデオ)
- 8 ESAFC活動ガイド + 好事例集

母子保健5項目テキストの更新

SILAISセラヤ・セントラルの研修計画 (6月末時点)

研修項目	セラヤ	セントラル	エル・コラル	エル・ラマ	ムエジェ・デ・ロス・プエジェス
産前産後管理台帳	7/4	7/5	7/10	7/11	7/12
産前健診	7/5	7/6	7/11	7/12	7/13
産後出血	7/11	7/12	7/17	7/18	7/19
妊婦性高血圧	7/11	7/12	7/17	7/18	7/19
乳幼児健診	7/12	7/13	7/18	7/19	7/20
保健セクターからの感染症対策	7/12	7/13	7/18	7/19	7/20

SILAISセラヤ・セントラルの研修計画 (6月末時点)

研修項目	ヌエバ・ギネア	エル・ラマ	ムエジェ・デ・ロス・プエジェス	エル・コラル
研修受講者予定数	22人	24人	14人	6人
研修時間帯	午前8-12時 午後13-17時	午前8-12時 午後13-17時	午前8-12時 午後13-17時	午前8-12時 午後13-17時
妊産婦管理台帳 ESAFIC活動ガイド	7月4日	7月8日	7月10日	7月4日
産前健診 ヘルスプロモーション	7月5日	7月10日	7月11日	7月5日
産後出血 妊婦性高血圧	7月11日	7月16日	7月12日	7月16日
乳幼児健診 保健セクターからの感染症対策	7月12日	7月17日	7月13日	7月17日

社会福祉の医師、看護師、新任の准看護師への研修



ファイガルバ支所



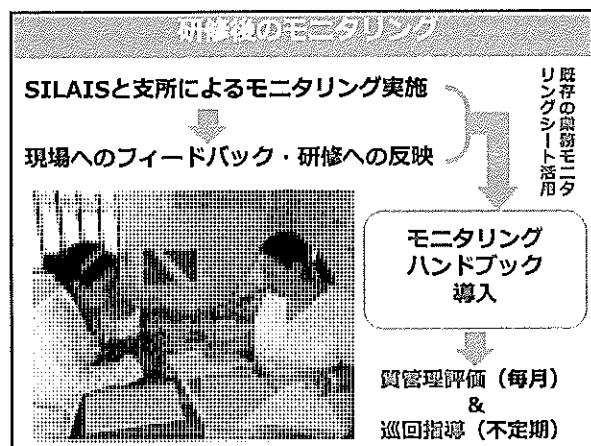
セラヤ支所



セラヤ支所

SILAISセラヤ・セントラルの研修計画 (6月末時点)

研修項目	セラヤ	セントラル	エル・コラル	エル・ラマ	ムエジェ・デ・ロス・プエジェス
産前産後管理台帳	7/4	7/5	7/10	7/11	7/12
産前健診	7/5	7/6	7/11	7/12	7/13
産後出血	7/11	7/12	7/17	7/18	7/19
妊婦性高血圧	7/11	7/12	7/17	7/18	7/19
乳幼児健診	7/12	7/13	7/18	7/19	7/20
保健セクターからの感染症対策	7/12	7/13	7/18	7/19	7/20



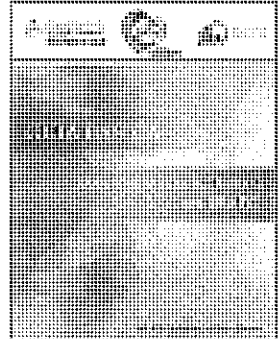
補充講習の作成と実施

目的：モニタリングで散見された弱点の強化

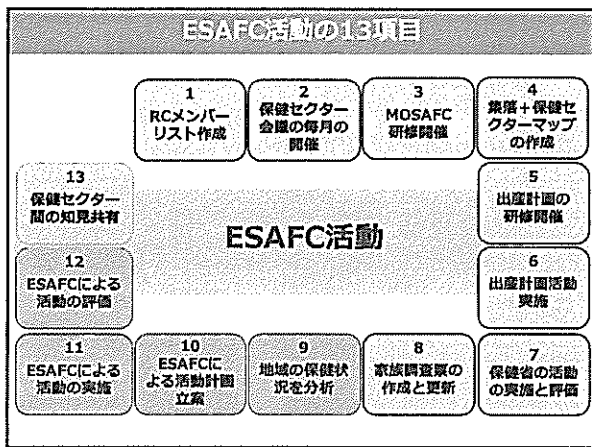
テーマ	研修目的と内容
妊産婦管理台帳	【目的】 妊産婦管理台帳を毎日更新し、安全な出産から産後健診に到る継続監理がされているか否かを正しく記入、確認できる。 【内容】 正しい記述例の紹介。
産前健診	【目的】 健診項目の記録未記入がなく、各項目の分析を十分に行うことができる。 【内容】 カルテ記入方法や、分析方法の詳細な説明。
妊婦性高血圧症	【目的】 妊婦性高血圧症への省令に沿った対応とその指導を的確に実践できる。 【内容】 第1次医療施設での早期発見と治療開始を可能にするための診察項目や、投薬に関して間違えやすい点などの明記。

【成果2・3・4】
ESAFFC活動のモニタリング
 +
好事例集の活用

ESAFFC活動ガイドの研修と更新



- 社会卒仕の医師・看護師、および新任の准看護師に対して、研修を実施
- 14支所の知見を反映させ、2018年12月までに改訂版を作成する



ESAFCC
 四半期評価会

ESAFCC活動モニタリング評価証表種類と評価枠

活動13項目	必要な証拠書類
1 RCメンバーリスト作成	保健セクター内の全集落のRCメンバーのリスト(少なくとも各集落に1名)
2 保健セクター会議の毎月の開催	保健セクター会議の議事録 ①合意事項の確認、②主要議題、③医療従事者の集落訪問計画
3 MOSAFC研修開催	研修実施記録と受講したRCメンバーの署名
4 集落+保健セクターマップの作成	住居番号付き各集落のマップと付随する家長リスト
5 出産計画の研修開催	①研修実施記録と受講したRCメンバーの署名 ②緊急時搬送メンバーリスト
6 出産計画活動実施	①保健セクター会議における妊産婦の健診確認 ②妊産婦管理台帳および向こう4週間の妊産婦リスト

7 保健活動の計画・実施・評価	①保健活動計画の共有 ②保健活動の実施記録とRCメンバーの参加署名
8 家族調査票の作成と更新	集落の家屋数と一致した家族調査票
9 地域の保健状況を分析	保健セクター内にある各集落の保健情報分析 ①RCが考える問題、②考えられる原因、③現状と課題、④改善方法
10 ESAFCCによる活動計画立案	保健セクター会議における計画立案の記録
11 ESAFCCによる活動の実施	活動の実施記録と参加したRCメンバーの署名
12 ESAFCCによる活動の評価	保健セクター会議における活動結果の分析とRCメンバーの署名
13 保健セクター間の知見共有	保健セクターのRCメンバーが参加する意見交換記録

活動	1	2	3	4	5	6	7
...
...
...

活動	1	2	3	4	5	6	7
...
...
...



ES AFC活動の評価結果 (2018年5月)

点(8)から面(161)へ展開した活動の有用性が確認できた

SILAS アクション	アコヤバ	コマラバ	クアバ	エルア ヨア	ファイガ ルバ	リベルタ	サンバ ド ゴ	サント ドミンゴ	サント トマス	ビジャ サン ディノ	平均点
第1四半期	17.5	13.1	23.4	17.0	14.2	14.7	14.5	33.6	16.5	11.8	18.4
第2四半期	28.2	32.2	26.0	33.4	21.0	20.8	14.7	32.4	20.0	16.3	25.6
第3四半期	40.0	42.2	35.0	35.8	38.2	30.9	26.8	47.8	28.2	32.7	36.0
第4四半期	44.3	47.3	37.0	45.0	36.6	41.4	40.2	44.8	40.3	34.3	41.3

SILAS セラヤ セントラル	エル・コ ラル	エル・ラ マ	ムエ ジャ チ ロス・フ エジス	スエバ ギネア	平均点
第1四半期	17.8	12.5	18.2	20.9	17.6
第2四半期	21.8	22.5	29.5	30.2	26.0
第3四半期	33.0	30.6	31.0	40.1	36.4
第4四半期	44.4	38.6	35.7	45.6	41.1

14支所の 平均点 (52点満点)
16.9
25.7
35.5
41.3

0-9.9
 10.0-19.9
 20.0-29.9
 30.0-39.9
 40.0-52.0

ES AFC活動の好事例集の更新

好事例集の構成・内容

- 目標とする活動が滞った際に取り組んだ対策や、改善のきっかけとなった活動を好事例として文書化。
- ES AFC活動ガイドに沿って、パイロット保健セクターの知見を基に、ES AFC活動1から12まで、各活動別に、好事例をまとめた。

【成果3】

- 巡回指導の実施およびルーティン化
- 各レベルの技術審議会の分析強化

巡回指導の実績・SILAISチョンタレス

SILAISの活動と目標		SILAISチョンタレスの実績					
		1月	2月	3月	4月	5月	6月
技術統合巡回指導	目標	4か所 (内訳)	2か所 (内訳)	6か所 (内訳)	1か所 (内訳)	0か所	0か所
	5か所/月	4支所 5 SC	2支所 2 SC	6支所 6 SC	1支所 1 SC		
技術審議会 (CTAM) 出席	目標	4支所	4支所	5支所	4支所	0支所	0支所
	10支所/月						
統計データの質管理	目標	4か所 (内訳)	0か所	4か所 (内訳)	0か所	0か所	0か所
	5か所/月	4支所 5 SC		4支所 9 SC			

巡回指導の実績・SILAISセラヤ・セントラル



SILAISの活動と目標		SILAISセラヤ・セントラルの実績					
		1月	2月	3月	4月	5月	6月
技術統合巡回指導	目標	3か所 (内訳)	2か所 (内訳)	1か所 (内訳)	1か所 (内訳)	0か所	0か所
	2か所/月	3支所 4 SC	2支所 2 SC	1支所 1 SC	1支所 1 SC		
技術審議会 (CTAM) 出席	目標	4支所	4支所	2支所	3支所	0支所	0支所
	4支所/月						
統計データの質管理	目標	5か所 (内訳)	3か所 (内訳)	3か所 (内訳)	1か所 (内訳)	0か所	0か所
	2か所/月	5支所 5 SC	3支所 4 SC	3支所 4 SC	1支所 1 SC		

【成果3】
出産前後の妊婦監理強化

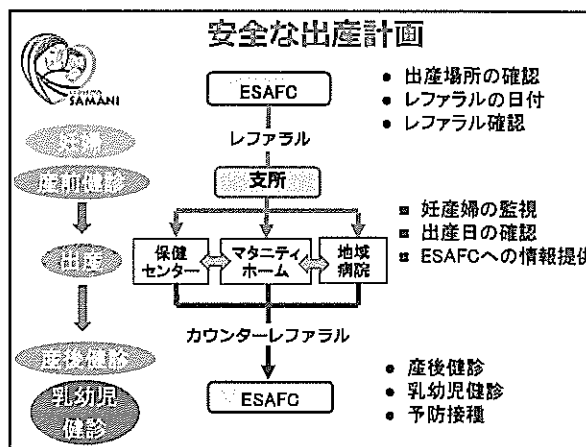
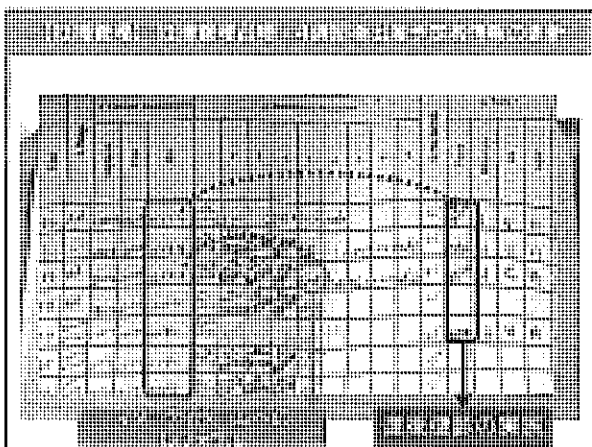
巡回指導のルーティン化

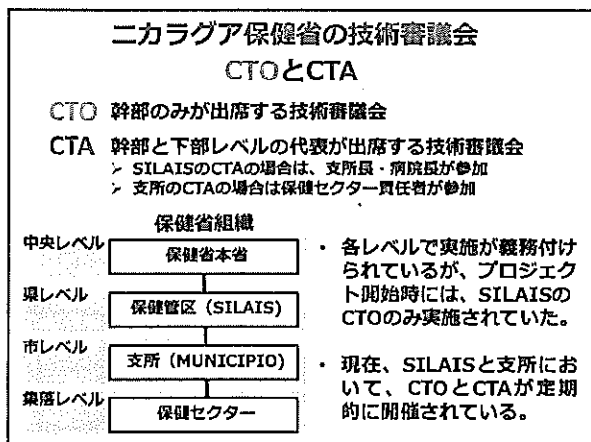
支所：保健セクターを訪問し、ESAFcを指導
SILAIS：支所の巡回指導をスーパーバイズ

- > 妊産婦管理台帳の更新状況
- > 向こう4週間の妊婦管理
- > 妊産婦管理と予防接種台帳のクロスチェック
- > レファラル・カウンターレファラル記録

⇒ 確認・助産・トレーニングの反復





【巡回指導で得た情報の活用】

運営委員会、半期評価会、ワークショップ、技術審議会

- モニタリングとフィードバック
- 支所技術審議会での情報分析 (ESAFIC発表様式、支所発表様式を作成)
- 情報の正確な記録と分析




【成果1】

- 第2期分供与機材の見積競争・調達・検収
- 機材稼働モニタリングシステム


第2期分供与機材の調達

SILAIS チョントレス

No.	機材名	合計	保健センター	地域ラボ	地域病院
1	双眼顕微鏡	4	2	2	
2	分光光度計	2		1	1
3	遠心分離機	1	1		
4	パルスオキシメーター	6	6		

SILAIS セラヤ・セントラル

No.	機材名	合計	一次医療病院	
			エル・ラマ	ムエジェ
1	遠心分離機	2	1	1
2	双眼顕微鏡	2	1	1
3	パルスオキシメーター	6	3	3
4	心電計	2	1	1




第2期分供与機材の検収

JICAニカラグア事務所、保健省機材管理センター立会いの下、調達業者のBÜHLERで第2期分供与機材の検収を実施。

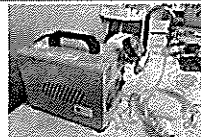


供与機材稼働モニタリングシステム

◆ 供与機材情報シートの作成



Item ID	Requisitor
001	001
002	002
003	003
004	004
005	005
006	006
007	007
008	008
009	009
010	010
011	011
012	012
013	013
014	014
015	015
016	016
017	017
018	018
019	019
020	020
021	021
022	022
023	023
024	024
025	025
026	026
027	027
028	028
029	029
030	030
031	031
032	032
033	033
034	034
035	035
036	036
037	037
038	038
039	039
040	040
041	041
042	042
043	043
044	044
045	045
046	046
047	047
048	048
049	049
050	050
051	051
052	052
053	053
054	054
055	055
056	056
057	057
058	058
059	059
060	060
061	061
062	062
063	063
064	064
065	065
066	066
067	067
068	068
069	069
070	070
071	071
072	072
073	073
074	074
075	075
076	076
077	077
078	078
079	079
080	080
081	081
082	082
083	083
084	084
085	085
086	086
087	087
088	088
089	089
090	090
091	091
092	092
093	093
094	094
095	095
096	096
097	097
098	098
099	099
100	100



供与機材稼働モニタリングシステム


- ◆ 機材情報シートの配布
- ◆ 機材稼働モニタリングシステムの研修
- ◆ 機材管理台帳の更新（年2回）
- ◆ 分類で「不可」状態の機材を集積し、1枠追加して詳細情報を追加
- ◆ 各SILAISで修理が必要な機材の優先順位などを分析

Equip. No.	Equip. Name	Model	Type	SN	Equip. No.	Character
001	SANBY	CR-1201PR	Generator	8701010111201000	001	Operable
002	FRIGIDAIRE		Refrigerator	UR4510000	002	Operable
003	WESTEC	WXA51202	Generator	120	003	Operable


【成果4】 家庭地域保健国際フォーラム 実施準備

国際フォーラム実施準備について

- 2018年8月開催で準備
- 保健省内で準備委員会を設立
保健サービス総局、対外協力局、教育総局で構成
- 保健省、JICA、PAHO、IDBで開催費用を分担



イベントタイトル	家庭地域保健国際フォーラム
実施期間	2019年3月第3週もしくは第4週へ延期
会場	Hotel HEX マナグア コンベンションセンター



招待者 (合計130~145人)

- 国外 (20~25人)
各国保健省代表
ポリビア、パラグアイ、ホンジュラス、グアテマラ、エルサルバドル、ドミニカ共和国、キューバ、ペルー、メキシコ
米国 (PAHO/WHO、IDB)、日本 (JICA)
- 国内 (110~120人)
保健省本省： 10~15人
SILAIS チョントレスおよびセラヤ・セントラル： 28人
他17SILAIS： 各3人、計51人
JICA、PAHO、IDB等の関係機関： 20~25人

アジェンダ			
【1日目】 2019年3月XX日 (水)			
08:00	受付		
08:30	開会式	メイン	保健省
09:00	開会式から引き続き 開会式と招待演説		
09:30	開会式		
10:00	開会式		
10:30	開会式		
11:00	開会式		
11:30	開会式		
12:00	開会式		
12:30	開会式		
13:00	開会式		
13:30	開会式		
14:00	開会式		
14:30	開会式		
15:00	開会式		
15:30	開会式		
16:00	開会式		
16:30	開会式		
17:00	開会式		
17:30	開会式		
18:00	開会式		
18:30	開会式		
19:00	開会式		
19:30	開会式		
20:00	開会式		
20:30	開会式		
21:00	開会式		
21:30	開会式		
22:00	開会式		
22:30	開会式		
23:00	開会式		
23:30	開会式		
00:00	開会式		

【2日目】 2019年3月XX日 (木) 基調講演			
時刻	テーマ	会場	発表者
8:00	受付		
8:30	PHCの世界変遷	メイン	PAHO/WHO
9:00	持続可能なPHC	メイン	PAHO/WHO
9:30	中南米におけるIDBの保健戦略と PHCの質	メイン	IDB
10:00	アジェンダ2030に向けたPHCにお けるJICAのパートナーシップ協力	メイン	JICA
10:30	南南協力における好事例	メイン	JICAメキシコ
11:00	休憩		

【2日目】 2019年3月XX日 (木) 各国発表			
時刻	テーマ	会場	発表者
11:20	PHCにおけるUHC	メイン	キューバ代表
11:40	PHCにおけるUCC	メイン	パラグアイ代表
12:00	PHCと住民参加型保健活動	メイン	ペルー代表
12:20	PHCと住民参加型保健活動	メイン	ニカラグア代表
12:40	昼食		
14:10	PHCと保健サービス統合NW	メイン	ホンジュラス代表
14:30	PHCと保健サービス統合NW	メイン	ドミニカ共代表
14:50	休憩		
15:00	PHCと非伝染病疾患	メイン	ボリビア代表
15:20	PHCと非伝染病疾患	メイン	グアテマラ代表
15:40	グループワークの説明	メイン	保健省

【3日目】 2019年3月XX日 (金) グループワーク			
08:00	受付		
08:30	開会式		
09:00	開会式		
09:30	開会式		
10:00	開会式		
10:30	開会式		
11:00	開会式		
11:30	開会式		
12:00	開会式		
12:30	開会式		
13:00	開会式		
13:30	開会式		
14:00	開会式		
14:30	開会式		
15:00	開会式		
15:30	開会式		
16:00	開会式		
16:30	開会式		
17:00	開会式		
17:30	開会式		
18:00	開会式		
18:30	開会式		
19:00	開会式		
19:30	開会式		
20:00	開会式		
20:30	開会式		
21:00	開会式		
21:30	開会式		
22:00	開会式		
22:30	開会式		
23:00	開会式		
23:30	開会式		
00:00	開会式		

エンドライン調査

- KAP調査
- 母子保健サービス実情調査

KAP調査対象者数		
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	
ホンジュラス	1,111	
ドミニカ共和国	1,111	
ボリビア	1,111	
パラグアイ	1,111	
ペルー	1,111	
ニカラグア	1,111	

KAP調査の実施への課題

- > 時間経過による2017年に出産した母親の記憶バイアス
- > インタビュアーである女子大学生の協力を得られるのは大学授業期間中の2018年11月まで
- > 実施するためには2018年10月までに各保健セクターのコミュニティネットワークメンバーとの調整が不可欠
- > エル・ラマ市の協力大学の女学生による調査協力辞退
- > ヌエバ・ギネア支所内の2か所のパイロット保健セクターが活動停止状態
- > 学生を同行した調査実施における安全管理に関する不安

母子保健サービス実情調査の進捗

調査項目	2018年7月	2018年8月	2018年9月	2018年10月
産前健診	50件	110件	50件	110件
産後健診	50件	110件	50件	110件


- > 診療施設で診察を受けた妊婦と母親に対して、産前健診と乳幼児健診の保健サービスに関してインタビュー調査
- > 診療施設でインタビューした妊婦と母親のカルテを確認

その他

第三国類似案件との技術交換

ホンジュラス共和国
『国家保健モデル』に基づくプライマリーヘルスケア体制強化プロジェクト
2018年2月実施

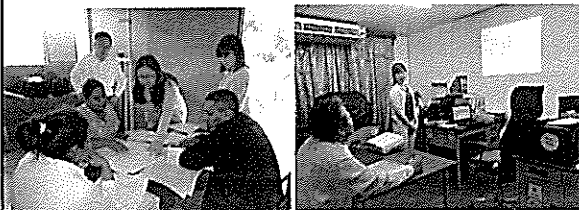
- ◆ ホンジュラス、ニカラグアのPHCにおける強みを説明し、互いの利点を学ぶ機会となった。



JICA インターンシップ・プログラム

2018年1月22日～2018年2月16日
JICA インターンシップ・プログラム 1名受入れ

国際協力の現場における課題発見のためのプロセスの実践を目的に、プロジェクト活動に参加するとともに、ニカラグア人男性の伝統的価値観(machismo, caballerismo)と、性的虐待のリスク要因である家庭内の構成人数の関連調査を実施した。



- ESAFC活動の全国普及
全国SILAISへ研修開催
- 巡回指導、支所審議会における分析の定着
母子保健サービスと質管理と分析のルーティン化
- 国際フォーラムの開催
保健省、PAHO/WHO、IDBと共催
- エンドライン調査の実施
プロジェクトの効果を測定

今後の課題

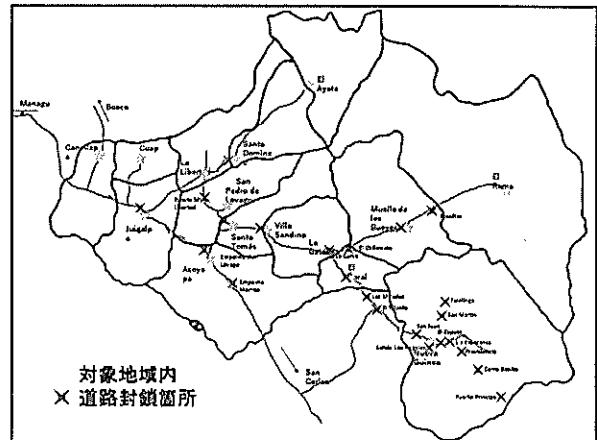
Gobierno de Reconciliación y Unidad Nacional
El Pueblo, Participa!



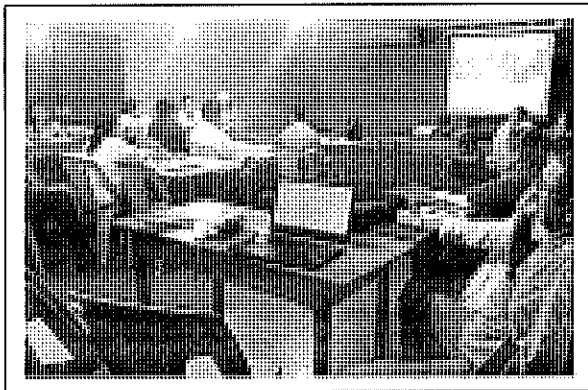
Familia Sana, Comunidad Feliz
家族の健康、集落の幸せ

 **ESTRELLA**

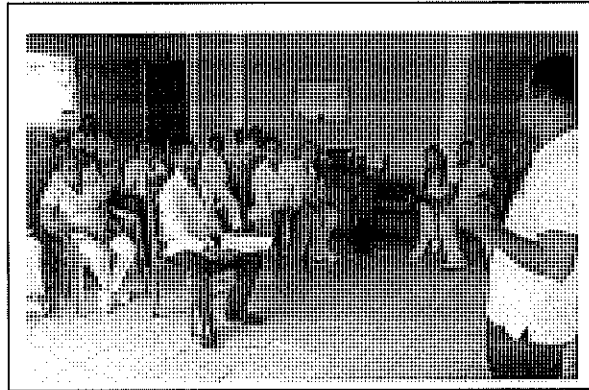
JICA



5. 活動写真



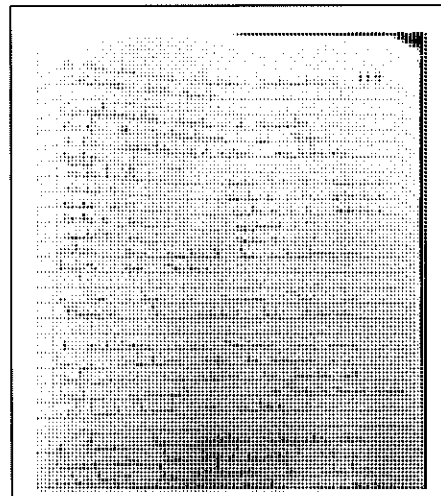
SILAIIS チョンタレス
支所が参加する技術審議会 (GTAD)



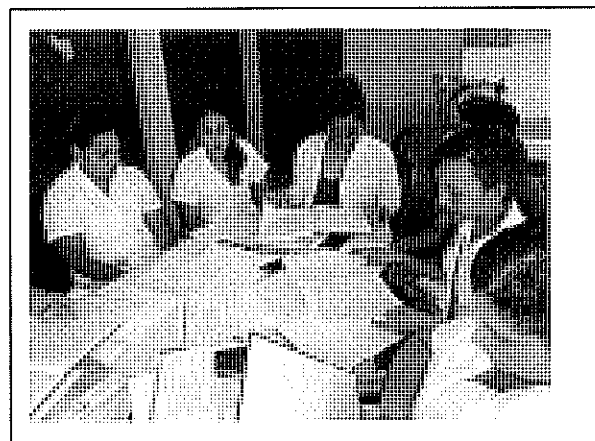
SILAIIS セラヤ・セントラル
エル・コラル支所の技術審議会 (GTAM)



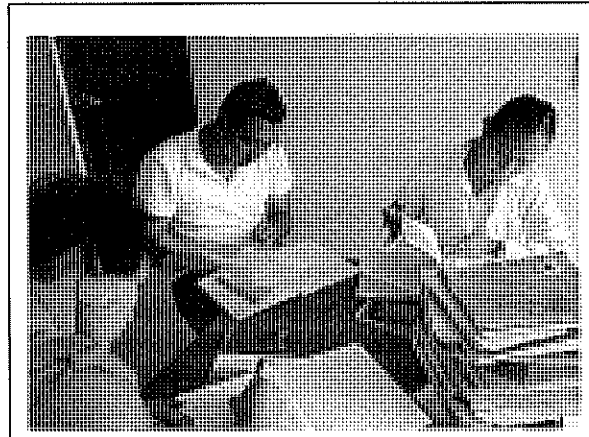
SILAIIS チョンタレス
フィガルパ支所
保健セクターが参加する技術審議会 (GTAM)



SILAIIS セラヤ・セントラル
ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所
技術審議会 (GTAM) の議事録：各セクターの
報告と計画の確認が記述されている。



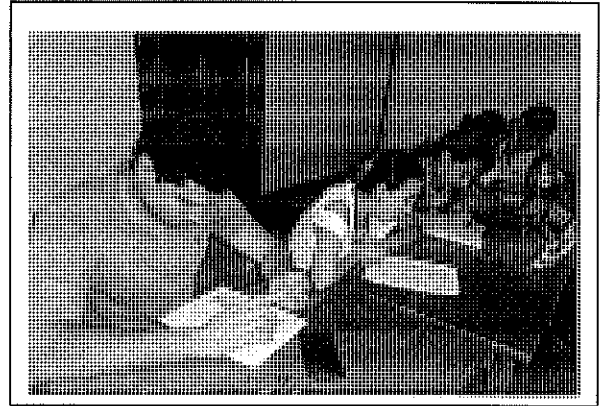
SILAIIS チョンタレス
コマラパ支所
ESAFc 活動評価、エビデンスを確認



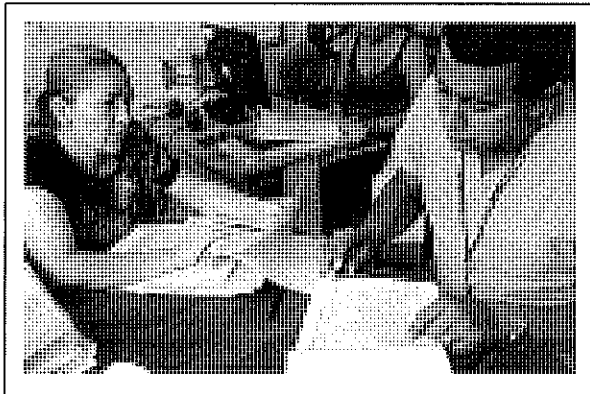
SILAIIS チョンタレス
ビジャ・サンディーノ支所
ESAFc 活動評価、エビデンスを確認



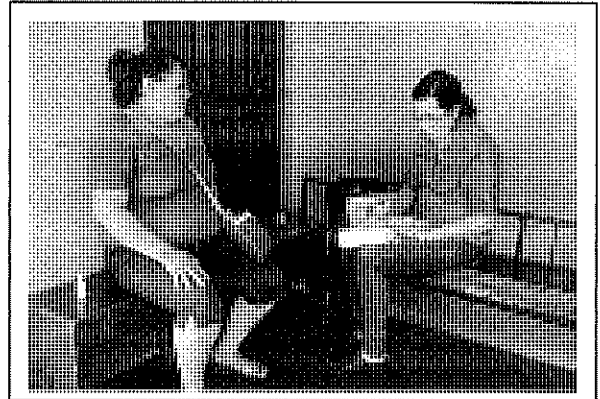
SILAIIS セラヤ・セントラル
ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所
8項目研修



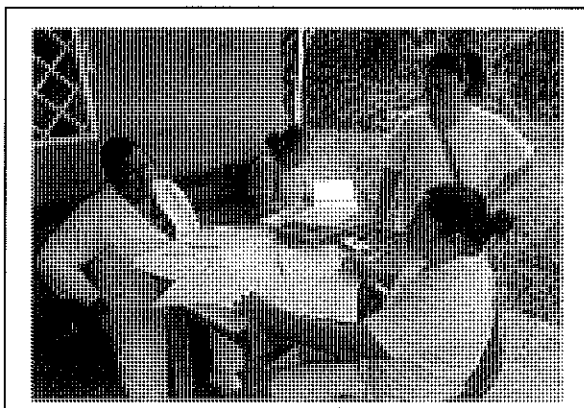
SILAIIS セラヤ・セントラル
ヌエバ・ギネア支所
8項目研修



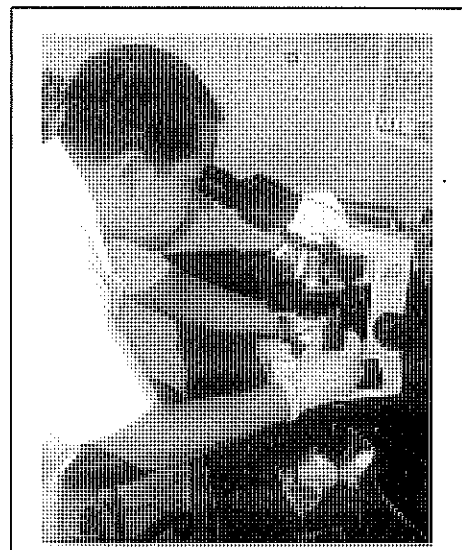
SILAIIS チョントレス
母子保健サービス実情調査
健診を受けた母親のカルテを確認



SILAIIS チョントレス
母子保健サービス実情調査
健診を受けた母親へのインタビュー



ヌエバ・ギネア支所
技術統合巡回指導



ラ・リベルタ支所検、検査ラボ室
第2期分供与機材




2018 年 9 月 7 日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区に
おける母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2018年8月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎 

標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. 対象 14 支所における医療従事者研修

1) 8 項目研修プログラム

SILAIIS チョンタレスは、5 月より新たに配置された社会奉仕の医師・看護師および新任の准看護師を対象に、8 項目研修を継続している。すでに 8 支所で研修を終え、残すところ 2 支所（ビジャ・サンディーノ、エル・アヨテ）のみとなった。ビジャ・サンディーノ支所は、対象 14 支所で唯一保健センターが 2 か所あり、医療従事者を集めた研修の日程調整に時間を要している。エル・アヨテ支所は、研修ファシリテーターの出産休暇、支所長の病気療養などの影響を受け、研修の開催が遅れた。SILAIIS チョンタレスの母子保健技術委員会メンバーである保健サービス課技官が、研修を担い、また、同研修を通じて新たな研修ファシリテーターを育成している。

また、8 項目研修を終了した 8 支所で、母子保健 5 項目の事後テストの結果が 60 点未満に達しなかった医療従事者は、表 1 のとおりである。再研修は少人数のため適宜各支所が実施する。

表 1 事後テストが 60 点に満たなかった医療従事者数（人数）

支所	妊産婦 管理台帳	産前 健診	乳幼児 健診	妊娠性 高血圧	産後 出血	合計
アコヤパ	0	0	0	2	0	2
サント・ドミンゴ	0	1	0	0	0	1
ファイガルパ	0	0	0	0	1	1
サント・トマス	0	1	0	0	0	1

SILAIS セラヤ・セントラルでは、再研修の対象となる医療従事者は、いなかった。

2) 母子保健 5 項目のテキスト第 2 版

母子保健技術委員会の各メンバーは、テキスト第 2 版作成のため、テキストの改定作業を進めている。乳幼児健診テキストに関連する省令 146 号「小児疾患統合管理」が改定され、内容変更の有無を確認した。今後、乳幼児健診に関する省令が発表されるため、あわせて内容の確認をすすめていく。また、妊産婦管理台帳テキストに掲載する妊産婦管理台帳の見本作成作業を開始した。

- 計画
- ① 研修を完全に終了していない SILAIS チョントレスの 2 支所は、8 項目研修を完了する。
 - ② 再研修が必要な SILAIS チョントレスの 4 支所は、再研修計画を立案し、実施する。
 - ③ 母子保健技術委員会は、母子保健 5 項目のテキストの改定作業を継続する。

1-2. ESAFC 活動

1) 保健大臣による ESAFC 活動強化

保健大臣は、全国の SILAIS に対し、ESAFc 活動を強化し、コミュニティネットワークとの連携およびエンパワーメントを促進するように指示を出した。両 SILAIS 局長は、ESAFc 活動の月例会議を確実に実施するように各支所長に指示した。

2) ESAFC 活動四半期評価

両 SILAIS は、ESAFc 活動の四半期評価を実施した。しかし、道路封鎖による保健セクターの活動休止などで、表 2 の 3 か所の保健セクターでは、ESAFc 活動がほとんど実施されなかったため、今回は保健セクター四半期評価の対象外とした。

表 2 ESAFC 活動四半期評価の対象外とした保健セクター

	SILAIS	支所	保健セクター
1	チョントレス	アコヤパ	ロバゴ
2	セラヤ・セントラル	ヌエバ・ギネア	マリッツァ・ケサーダ
3			ファティマ

対象 14 支所の評価結果は、表 3 のとおりであった。各保健セクターの評価詳細は添付資料のとおりであった。

表 3 ESAFC 活動四半期評価結果

SILAIS チョントレス	アコヤパ	コマラパ	クアパ	エル・アヨテ	フィガルパ	リベルタ	サン・ペドロ・ロバゴ	サントドミンゴ	サントトマス	ピジャ・サンディーノ	平均点
2017年10-12月	40.0	42.2	35.0	36.8	36.2	30.9	25.8	47.8	28.2	32.7	35.6
2018年1-3月	44.3	47.3	37.8	45.5	36.5	41.4	40.2	45.8	40.3	34.3	41.3
2018年4-6月	47.8	42.8	45.2	50.1	31.5	32.9	41.5	48.8	33.1	29.2	40.3
SILAIS セラヤ・セントラル	エル・コラル	エル・ラマ	ムエジャ・デ・ロス・ブエジェス	ヌエバ・ギネア	平均点	14支所の平均点 (52点満点)		評価基準			
2017年10-12月	33.0	30.5	31.9	46.2	35.4	35.5		無	0-9.9		
2018年1-3月	44.4	38.6	35.7	45.5	41.1	41.3		可	10.0-19.9		
2018年4-6月	38.0	30.1	29.6	47.5	36.3	39.2		良	20.0-29.9		
								優	30.0-39.9		
								秀	40.0-52.0		

全体的に平均点が下落しているのは、この時期に新しく社会奉仕の医師・看護師の配置により、人事異動があることから、コミュニティネットワークとのコミュニケーションが落ちるなどの問題が発生する。しかし、これは想定範囲であり、道路封鎖などがあってもかかわらず、高得点の支所が多いと分析する。特に、SILAISの技官が四半期評価に参加しなかったいくつかの支所は、評価結果が高得点となった。これらは、今後の評価手法の課題となる。

2) ESAFC 活動ガイドの改定

「ESAFc 活動ガイド」と「ESAFc 活動の好事例集」の更新版作成を進めている。

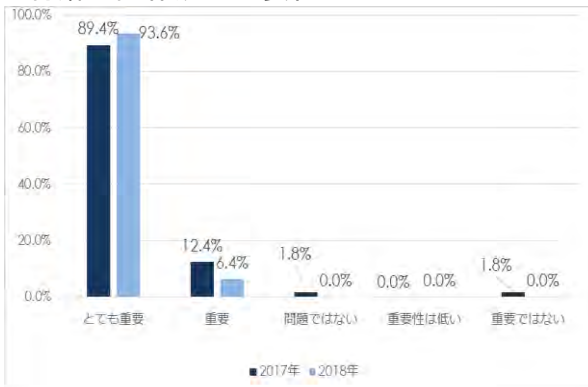
3) 社会奉仕医師・看護師への第 2 回目 KAP 調査

社会奉仕活動を 1 年間行った医師 55 人、看護師 32 人と昨年新規採用された准看護師 22 人、計 109 人に対して、第 2 回目 KAP 調査を実施した。本調査は、社会奉仕活動の前後にあたる、2017 年と 2018 年にアンケート調査を行い、認識の変化を比較したものである。この分析結果から、「MOSAFC の目的に RC メンバーを ESAFC の一員とする (グラフ 1)」、「村落地図の作成の重要性 (グラフ 2)」に関して、数値に上昇が確認された。また、家庭調査票の使用目的は間違った項目「7. 村落のセクター分け」の回答が上昇したが、その他、1 から 6 の正しい項目の回答も上昇していた。(グラフ 3)。

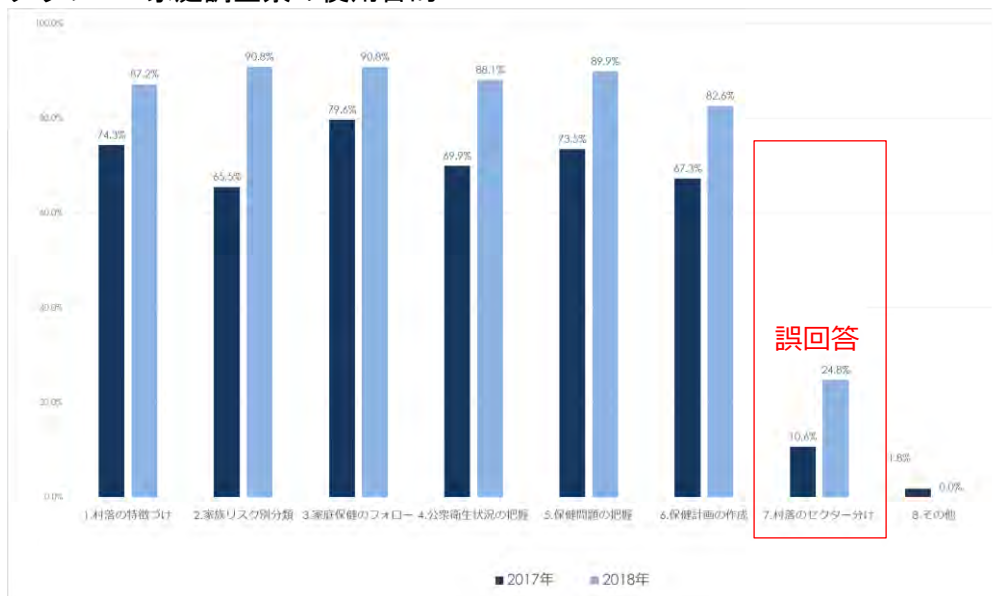
グラフ 1. ESAFC メンバーに RC が入っているか



グラフ 2. 村落地図作成の重要性



グラフ 3. 家庭調査票の使用目的



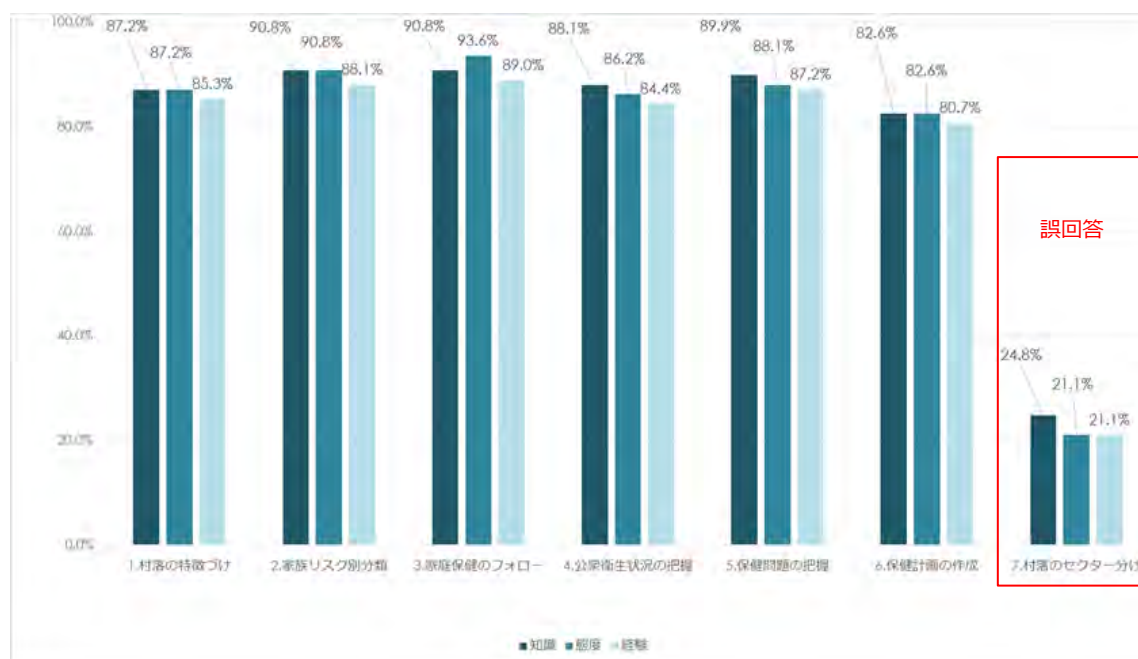
また、2018 年には、1 年間の活動で得た経験を踏まえ、KAP 式の質問を加えた。質問項目は、ESAFc 活動である、「保健セクター会議開催頻度」、「村落訪問の回数と活動内容」、「家庭調査票の使用目的」、「村落地図の使用目的」に関する質問を加えた。このうち、「保健セクター会議の開催頻度（グラフ 4）」に関しては、毎月開催すると回答した中で、知識、態度より、経験の数値が高かった。その他の質問は、知識、態度と経験を比較すると、ほぼ同程度もしくは、経験値の数値が低かった。

このことから、各保健セクターでは、RC との連携を強化し、保健セクター会議の毎月の開催が定着してきたと考えられる。また、村落地図、家庭調査票の活用に関しても、知識、態度、経験に大きな差は見られなかったことから、ESAFc 活動はより確実に実施されていると考えられる。

グラフ 4. 保健セクター会議開催頻度



グラフ 5. 家庭調査票の使用目的



計画 ① 両 SILAIS は、ESAFc 活動四半期評価で課題の見つかった保健セクターを中

心に巡回指導を行う。

- ② ESAFC 活動ガイド改定版および ESAFC 活動好事例集 (Vol. 2) の改定作業を進める。

1-3. レファラル・カウンターレファラル両 SILAIS 合同技術委員会会議開催

両 SILAIS は、レファラル・カウンターレファラル両 SILAIS 合同会議を開催し、プロジェクトとともに取り組んできたレファラル・カウンターレファラルシステムを検証した。

1) 参加者、日時、場所

➤ 参加者：計 18 人

- ・ SILAIS チョントレス：5 人（SILAIS 局長、SILAIS 保健サービス課長、SILAIS レファラル・カウンターレファラル担当技官、ファイガルパ地域病院長、サント・トマス支所長）
- ・ SILAIS セラヤ・セントラル：10 人（SILAIS 局長、SILAIS 保健サービス課長、SILAIS レファラル・カウンターレファラル担当技官、全 4 支所長、全 3 一次医療病院長）
- ・ SAMANI プロジェクト：3 人（テクニカルアシスタント 3 名）

➤ 日時：2018 年 8 月 29 日、午後 1 時 45 分～午後 5 時 45 分（4 時間）

➤ 場所：SILAIS セラヤ・セントラル内ヌエバ・ギネア市、SILAIS 会議室

2) レファラルシステム

両 SILAIS 関係者からレファラルシステムは、プロジェクトが開始され、レファラル手順、記録、レファラル用紙への記入、搬送、情報共有など、多くが強化されたと評価があった。課題として、診断、分析を改善し、よりの確なレファラルが必要であるとする意見があった。

3) カウンターレファラルシステム

カウンターレファラルは、レファラル数とカウンターレファラル数が一致しないことが指摘された。しかしこれは、患者が自己判断で、直接病院へ診察を受けに行く場合や退院する場合があるためである。保健省は、地域病院における患者受け入れおよび患者の退院は、ある程度患者本人の自由意思としている。特に出産後、自己もしくは家族による判断で退院しているケースが多くある。会議では、出産後の妊婦および新生児の継続ケアの強化システム案を、9 月中に各 SILAIS で開催するレファラル・カウンターレファラル技術委員会までに、それぞれ検討することを決めた。

4) 両 SILAIS レファラル・カウンターレファラル会議合意事項

- ① 地域病院から支所に送るカウンターレファラル用紙には、病院で患者を担当した専門医の名前を記述する。
- ② 地域病院は各 SILAIS に対して、毎日午後 3 時までに夜勤担当の専門医名を連絡する。
- ③ 地域病院は WhatsApp（携帯 SNS アプリ）を用い、高リスク分娩の産褥婦の退院情報を、その産褥婦が居住する支所へ連絡する。
- ④ 9 月第 3 週までに各 SILAIS はレファラル・カウンターレファラル技術委員会を開催し、量的および質的分析項目について取りまとめる。そして、10 月 3 日に

- 両 SILAIS で、同分析項目案について議論する。
- ⑤ SILAIS セラヤ・セントラルの各支所は、SILAIS に替わって地域病院から直接カウンターレファラル用紙を受け取る。その後、支所は受け取ったカウンターレファラル用紙をもとにレファラル管理デジタル台帳に入力し、SILAIS へ送付する。
 - ⑥ 地域病院は、毎週月曜日午前中に、病院のレファラル管理デジタル台帳を更新し、14 支所および両 SILAIS の保健サービス課へ送付する。
 - ⑦ 10 月 24 日に、隣接 SILAIS（ボアコ、リオ・サン・ファン含む）とレファラル・カウンターレファラル会議をフィガルパで開催し、第 6 回プロジェクト半期評価におけるレファラル・カウンターレファラルについての合意事項を共有/提案する。
 - ⑧ フィガルパ支所の巡回医師は、地域病院の家族向け宿泊棟に滞在する産褥婦に対して、毎週月・水・金曜日に産後健診を実施する。その結果を SILAIS チョントレス保健サービス課長へ送り、同課長によって、各産褥婦が居住する支所へ WhatsApp で情報を共有する。
 - ⑨ 各 SILAIS は、毎月レファラル・カウンターレファラル技術委員会を開催し、各指標・レファラル管理台帳の記録の的確性・レファラルに至った診断・カウンターレファラル用紙の内容について分析する。
 - ⑩ 両 SILAIS のレファラル・カウンターレファラル技術委員会は、⑨の内容に関して、分析する。
 - ⑪ 各支所における技術審議会において、⑩の分析結果をフィードバックする。
 - ⑫ 両 SILAIS は、少なくとも 2 週間に一度、SILAIS 技術審議会、SILAIS 保健サービス審議会で、レファラル・カウンターレファラルの指標を評価する。

1 - 4. 技術統合巡回指導

1) 巡回指導の現状

両 SILAIS では SILAIS 技官による巡回指導が再開され、PDM 指標成果 3-1「技術統合巡回指導」、3-2「技術審議会への同席」、3-3「統計データの質管理」の支所の実施状況と SILAIS の同行数は、表 4 のとおりであった。

表 4 支所の巡回指導と SILAIS の同行

支所の活動	特徴	チョントレス		セラヤ・セントラル	
		支所実施数	SILAIS 同行数	支所実施数	SILAIS 同行数
技術統合巡回指導	保健セクターを訪問。活動をモニタリング・指導し、改善に取り組む	6 支所 13 保健セクター	1 支所 1 保健セクター	4 支所 8 保健セクター	3 支所 3 保健セクター
支所の技術審議会 (CTAM) 開催	保健セクターの医療チームが出席する支所レベルの技術審議会	10 支所	8 支所	4 支所	3 支所

統計データの 質管理	保健セクターが扱う 様々な統計データの 質を確認	1 支所 1 保健セクター	1 支所 1 保健セクター	1 支所 2 保健セクター	1 支所 2 保健セクター
---------------	--------------------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------

2) SILAIS チョントレス母子保健評価会

SILAIS チョントレスでは、保健サービス課を中心に各支所の看護師長、妊産婦管理台帳責任者が集合し、妊産婦管理について会議、検討を行った。各支所より、保健省の妊産婦指標達成度、妊産婦管理の報告、マタニティホームの利用、子宮がん検診、ヒトパピローマウイルス検査の達成度などが報告された。その中で、妊産婦管理台帳については、支所と ESAFC 間のコミュニケーションが改善され、情報のアップデートができていたことがあげられた。これは、ESAFc のコミュニティ訪問、RC とのコミュニケーション強化、支所における専門医による対応、妊産婦のマタニティホーム利用、地域病院内の産後健診強化、地域病院へのレファラルなどの情報が役立っていると考えられる。

しかしながら、妊産婦管理台帳の分析が支所での確に実施されずに、SILAIS へ毎週報告されているため、SILAIS 保健サービス課技官は、省令 11 号に基づくリスク分類やハイリスク妊婦が多いコミュニティをしっかりと把握するように指導した。また、プロジェクトと作成した妊産婦管理台帳様式を必ず CTAM で使用することを再指導した。

計画 ① SILAIS による巡回指導をルーティン化及び PDCA サイクル・マネージメントを強化に努める。

1-5. エンドライン調査

1) 母子保健サービスの実情調査

プロジェクトのテクニカル・アシスタント 3 名が、母子保健サービスを提供する医療従事者および母子保健サービスの利用者に対する調査を、先月に引き続き医療施設で実施している。収集するサンプル数の進捗状況は、表 5 のとおりである。SILAIS セラヤ・セントラルは、調査を終了した。

表 5 エンドライン調査/母子保健サービスの現状調査の進捗状況

SILAIS	産前健診		乳幼児健診	
	目標	実績	目標	実績
チョントレス	50 件	37 件	50 件	47 件
セラヤ・セントラル	50 件	50 件	50 件	50 件

2) 2017 年に出産した母親への KAP 調査

現段階では、治安回復に至っておらず、引き続き実施時期を延期している。

計画 ① 母子保健サービス実情調査を完了し、集計を始める。
② KAP 調査実施は、日本人専門家のニカラグア再赴任の可・不可で判断する。

1-6. 機材調達管理

1) 機材稼働モニタリング

両 SILAIS チョントレスは、14 支所全て故障機材の詳細確認を終えた。SILAIS チョントレスでは、故障機材リストを確認したところ、第 1 期分供与機材で修理が必要だと分析した機材数は、10 機材であった。また SILAIS セラヤ・セントラルでは、46 機材に上った。うち、17 機材は錆が発生しているということであった。(添付資料 2) これらの機材は、基本的にすべて第 1 期分供与機材の納入業者である Casa Teran に対して修理を要請し、プロジェクトはその支援をしている。また、これらの状況は、JICA ニカラグア事務所、保健省保健サービス総局および対外協力局と情報を共有し、修理状況のモニタリング、オートクレーブの電圧不安定問題など、解決しなければならない課題に取り組んでいる。

2) 第 2 期分追加供与機材

第 2 期分追加供与機材（新生児用ベッド 3 台）は、保健省によって機材スペックが承認され、購入手続きを開始した。

- 計画**
- ① 故障や錆が見つかった第 1 期分供与機材のメンテナンスを Casa Teran に依頼し、修理に取り組む。
 - ② 第 2 期分追加供与機材の購入手続きを開始する。

1-7. 運営業務

1) プロジェクトの運営

先月に引き続き、プロジェクト活動のモニタリングを中心に業務に従事している。テクニカル・アシスタントは、毎日取り組んだ活動と翌日取り組む活動を、日本人専門家、両 SILAIS 局長、保健サービス総局長、保健省対外局長、JICA ニカラグア事務所案件担当に報告している。また、経理は秘書が担い、支出毎に領収書をスキャンして総括および副総括/業務調整へ送付している。プロジェクトの日本人専門家、テクニカル・アシスタント、および秘書と運転手は、2 週間毎に Skype 会議を開催し、活動の進捗確認の他、運営上の問題や課題、治安の現状などを共有している。

2) プロジェクト車両の運行

8 月からプロジェクト車両を 2 台とも SILAIS チョントレスのプロジェクト事務所が管理している。管理者は、プロジェクトの秘書が担い、車両は 1 台を地域病院、もう 1 台を SILAIS チョントレスに保管している。しかし、プロジェクト運転手 1 名が辞職したため、実質の運行状況はプロジェクト車両 1 台となっている。新たな運転手の雇用は、日本人専門家の再赴任後に契約する。

3) モニタリングシートの修正

6 月 29 日に人間開発部へ提出した「モニタリングシート version. 6」の和文および西文の加筆修正を先月に引き続き行っている。修正版は、両 SILAIS 局長との合同執筆であり、すでに両 SILAIS 局長と内容の確認を終え、和文・西文の翻訳確認を進めている。

1-8. 関連事項

1) 閉鎖保健セクターの活動再開

道路封鎖や運河建設反対に積極的参加する住民が多く住む、ヌエバ・ギネア支所南部の保健セクターは、SILAIS が介入して、徐々に活動を再開している。8 月末までに全ての保健セクターで活動を再開した。

2. 主な活動日程

<8 月>

- 1 日：ファイガルパ支所保健サービス状況調査、ファイガルパ支所 ESAFC 活動四半期評価
- 2 日：第 3 回プロジェクト Skype 会議、サント・トマス 8 項目研修スーパーバイズ
- 3 日：ヌエバ・ギネア支所 ESAFC 活動四半期評価、ファイガルパ支所保健サービス状況調査
- 6 日：SILAIS チョントレス技術審議会 (CTOD)、SILAIS チョントレス保健サービス審議会 (CTSS)、エル・ラマ ESAFC 活動四半期評価、ファイガルパ支所保健サービス状況調査
- 7 日：サント・トマス ESAFC 活動四半期評価、エル・ラマ支所機材管理チェック、ヌエバ・ギネア支所 8 項目研修同席、ヌエバ・ギネア支所保健サービス状況調査、ファイガルパ支所保健サービス状況調査
- 8 日：エル・ラマ支所技術統合巡回指導
- 9 日：エル・コラル支所 ESAFC 活動四半期評価、エル・コラル支所機材管理チェック、ファイガルパ支所保健サービス状況調査
- 10 日：ラ・リベルタ支所技術審議会 (CTAM) 同席、ラ・リベルタ支所保健サービス状況調査、ファイガルパ支所保健サービス状況調査
- 13 日：SILAIS チョントレス技術審議会 (CTOD)、ファイガルパ支所保健サービス状況調査、エル・ラマ支所技術審議会 (CTAM) 同席
- 14 日：SILAIS セラヤ・セントラル技術審議会 (CTAD)、SILAIS チョントレス保健サービス技術審議会 (CTSS)、ファイガルパ支所保健サービス状況調査
- 15 日：クアパ支所技術審議会 (CTAM) 同席、クアパ支所保健サービス状況調査、ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所 ESAFC 活動四半期評価
- 16 日：第 4 回プロジェクト Skype 会議、アコヤパ支所技術審議会 (CTAM) 同席、ヌエバ・ギネア支所保健サービス状況調査
- 17 日：サント・トマス支所技術審議会 (CTAM) 同席、ヌエバ・ギネア支所技術審議会 (CTAM) 同席、ファイガルパ支所保健サービス状況調査
- 18 日：ヌエバ・ギネア支所保健サービス状況調査、ファイガルパ支所保健サービス状況調査
- 20 日：SILAIS チョントレス技術審議会 (CTOD)、コマラパ支所技術審議会 (CTAM) 同席、ファイガルパ支所保健サービス状況調査、ヌエバ・ギネア機材管理チェック
- 21 日：SILAIS チョントレス技術審議会 (CTAD)、ファイガルパ支所 8 項目研修スーパーバイズ

- 22日：ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所技術統合巡回指導
23日：ファイガルパ支所技術審議会（CTAM）同席、ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所技術審議会（CTAM）同席、エル・アヨテ支所 8 項目研修スーパーバイズ
24日：エル・アヨテ支所技術審議会（CTAM）同席、エル・アヨテ支所 8 項目研修スーパーバイズ、ヌエバ・ギネア支所 ESAFC 活動四半期評価
27日：SILAIS チョントレス技術審議会（CTOD）、SILAIS チョントレス保健サービス審議会（CTSS）、ヌエバ・ギネア支所 ESAFC 活動四半期評価
28日：SILAIS チョントレス PDM 指標確認会議、ファイガルパ支所機材管理チェック
29日：レファラル・カウンターレファラル両 SILAIS 合同技術委員会会議
30日：サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所技術審議会（CTAM）同席、サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所技術統合巡回指導、ビジャ・サンディーノ支所技術審議会（CTAM）同席、ヌエバ・ギネア支所統計データ巡回指導
31日：ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所統計データ巡回指導、エル・コラル支所機材管理チェック、ファイガルパ支所保健サービス状況調査

3. 今後の予定

<9月>

- 4日：第5回プロジェクト Skype 会議
18日：第6回プロジェクト Skype 会議

4. 添付資料

- 添付資料 1. ESAFC 活動四半期評価、保健セクター別評価結果
添付資料 2. 修理依頼機材リスト

5. 活動写真

別添のとおり

6. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

ESAFC活動四半期評価 (2018年4-6月)

各活動:4点満点、13月同合計52点満点

アコヤパ支所	活動1	活動2	活動3	活動4	活動5	活動6	活動7	活動8	活動9	活動10	活動11	活動12	活動13	2017年 7-9月 四半期 評価結果	2017年 10-12月 四半期 評価結果	2017年 4-6月 四半期 評価結果	2017年 4-7月 四半期 評価結果 (%)
保健セクター名	RCメン バーリスト 作成	月例保健 セクター会 議開催	地域家庭 保健研修 開催	集落マップ の作成	出産計画 研修開催	出産計画 の実践	保健省主 導の保健 活動実施	家庭調査 票の作成	保健セク ター・集落 分析	ESAFC主 導の活動 家計画	ESAFC主 導の保健 活動実施	ESAFC主 導の保健 活動評価	保健セク ター間の 知見共有				
N° 1: ZONA A,B,C	4	4	4	3	4	3	4	3	2	3	3	3	4	28	32	44	85%
N° 2 ZONA D	4	4	4	3	4	4	4	3	2	3	3	3	4	46	38	45	87%
N° 3 : SAN JOSE	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	4	25	47	47	90%
N° 4: PIKIN GUERRERO	4	2	4	4	4	4	3	4	4	4	4	3	4	45	49	48	92%
N° 5: LA PALMA	4	3	4	4	4	4	2	3	2	2	2	2	4	34	42	40	77%
N° 6 : LOVAGO														27	41		0%
N° 7 : SAN FELIPE	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	52	48	52	100%
N° 8: EL ZAPOTE	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	3	4	34	43	50	96%
N° 9 : SAN PABLO	4	4	4	4	4	4	4	3	3	4	4	4	4	50	47	50	96%
N° 10: LA CARRETA	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	3	4	47	48	50	96%
N° 11: EL CHINAL	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	52	52	52	100%
平均点	4.0	3.7	4.0	3.8	4.0	3.9	3.7	3.4	3.1	3.5	3.5	3.2	4.0	40.0	44.3	47.8	92%
ビジャ・サンディーノ 支所	活動1	活動2	活動3	活動4	活動5	活動6	活動7	活動8	活動9	活動10	活動11	活動12	活動13	2017年 7-9月 四半期 評価結果	2017年 10-12月 四半期 評価結果	2017年 4-6月 四半期 評価結果	2017年 4-7月 四半期 評価結果 (%)
保健セクター名	RCメン バーリスト 作成	月例保健 セクター会 議開催	地域家庭 保健研修 開催	集落マップ の作成	出産計画 研修開催	出産計画 の実践	保健省主 導の保健 活動実施	家庭調査 票の作成	保健セク ター・集落 分析	ESAFC主 導の活動 家計画	ESAFC主 導の保健 活動実施	ESAFC主 導の保健 活動評価	保健セク ター間の 知見共有				
N° 1 : VILLA SANDINO	4	1	0	3	0	4	3	3	1	0	0	0	4	35	35	24	46%
N° 2 : LAGEROSO	4	2	2	3	0	2	3	3	3	0	0	0	4	33	36	26	50%
N° 3: LA GATEADA	4	2	0	3	0	4	4	3	3	0	0	0	4	37	36	27	52%
N° 4: KAMUSAKA	4	3	4	4	3	4	4	4	2	2	2	0	4	39	38	40	77%
N° 5: MÚHAN	4	2	3	0	1	4	4	3	3	0	0	0	4	24	28	28	54%
N° 6: GARROBO GRANDE	4	2	0	3	3	4	4	3	3	0	0	0	4	28	33	30	58%
平均点	4.0	2.0	1.5	2.7	1.2	3.7	3.8	3.2	2.5	0.3	0.3	0.0	4.0	32.7	34.3	29.2	56%
コマラパ支所	活動1	活動2	活動3	活動4	活動5	活動6	活動7	活動8	活動9	活動10	活動11	活動12	活動13	2017年 7-9月 四半期 評価結果	2017年 10-12月 四半期 評価結果	2017年 4-6月 四半期 評価結果	2017年 4-7月 四半期 評価結果 (%)
保健セクター名	RCメン バーリスト 作成	月例保健 セクター会 議開催	地域家庭 保健研修 開催	集落マップ の作成	出産計画 研修開催	出産計画 の実践	保健省主 導の保健 活動実施	家庭調査 票の作成	保健セク ター・集落 分析	ESAFC主 導の活動 家計画	ESAFC主 導の保健 活動実施	ESAFC主 導の保健 活動評価	保健セク ター間の 知見共有				
N° 1 : COMALAPA	4	0	0	4	0	3	0	4	4	0	0	0	4	34	34	23	44%
N° 2 : MIRAGUA	4	4	0	4	0	4	3	4	4	0	0	0	4	34	38	31	60%
N° 3 : NARANJO	4	4	3	4	3	4	3	4	4	0	0	0	4	36	44	37	71%
N° 4 : CONCEPCION	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48	52	52	100%
N° 5: POCHOTE	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	44	47	51	98%
N° 6: ESPIRITU SANTO	4	4	4	4	4	4	4	4	4	0	0	0	4	44	44	40	77%
N° 7: SAN PATRICIO	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	43	50	50	96%
N° 8: CUISALA	4	3	4	4	1		4	4	4	4	4	4	4	40	52	44	85%
N° 9: LA PITHAYA	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	41	52	51	98%
N° 10: LA ERMITA	4	3	4	4	4	4	4	4	4	0	0	0	4	48	51	43	83%
N° 11: JICOTEPE	4	3	4	4	1	4	4	4	4	4	4	4	4	42	52	48	92%
N° 12: PIEDRA PINTADA	4	3	0	4	1	4	4	4	4	4	4	4	4	48	52	44	85%
平均点	4.0	3.2	2.9	4.0	2.5	3.9	3.5	4.0	4.0	2.7	2.3	2.2	4.0	41.8	47.3	42.8	82%

ファイガルバ支所	活動1	活動2	活動3	活動4	活動5	活動6	活動7	活動8	活動9	活動10	活動11	活動12	活動13	2017年 7-9月 四半期 評価結果	2017年 10-12月 四半期 評価結果	2017年 4-6月 四半期 評価結果	2017年 4-7月 四半期 評価結果 (%)
保健セクター名	RCメン バーリスト 作成	月例保健 セクター会 議開催	地域家庭 保健研修 開催	集落マップ の作成	出産計画 研修開催	出産計画 の実践	保健省主 導の保健 活動実施	家庭調査 票の作成	保健セク ター・集落 分析	ESAFIC主 導の活動 家計画	ESAFIC主 導の保健 活動実施	ESAFIC主 導の保健 活動評価	保健セク ター間の 知見共有				
N° 1: ZONA 1	4	1	4	1	4	3	0	1	0	0	0	0	4	26	23	22	42%
N° 2: SAN ESTEBAN	4	1	0	3	0	0	1	3	1	0	0	0	4	28	28	17	33%
N° 3: ZONA 2	4	4	4	4	4	4	4	4	1	3	2	2	4	39	49	44	85%
N° 4: SANTA ANA	4	3	3	4	3	4	1	2	0	3	1	1	4	47	28	33	63%
N° 5: PALO SOLO	4	1	2	4	0	2	0	4	3	0	0	0	4	39	43	24	46%
N° 6: CENTRAL	4	1	0	4	0	4	0	3	2	0	0	0	4	31	28	22	42%
N° 7: QUEBRANTADERO	4	2	3	3	3	3	3	3	3	0	0	0	4	21	24	31	60%
N° 8: ZONA 6	3	1	4	4	4	3	2	4	1	0	0	0	4	34	48	30	58%
N° 9: ZONA 4	4	4	4	3	4	4	4	3	1	1	1	1	4	25	21	38	73%
N° 10: FELIPE AGOSTA	4	3	3	4	3	2	3	1	0	0	0	0	4	30	29	27	52%
N° 11: ZONA 8	4	4	2	4	0	3	4	4	4	1	1	0	4	41	28	35	67%
N° 12: APOMPUA	4	4	1	3	1	3	4	3	3	0	0	0	4	34	33	30	58%
N° 13: HECTOR UGARTE	4	4	4	4	4	4	4	4	4	0	0	0	4	50	50	40	77%
N° 14: SAN ANTONIO	4	2	4	1	1	3	3	1	1	0	0	0	4	34	36	24	46%
N° 15: PADRE MIGUEL	4	3	3	4	3	3	4	4	4	3	3	0	4	52	50	42	81%
N° 16: PUERTO DIAZ	4	4	4	4	4	3	4	4	4	0	0	0	4	48	52	39	75%
N° 17: ARRAYAN	4	4	4	4	4	2	4	4	4	0	0	0	4	37	50	38	73%
平均点	3.9	2.7	2.9	3.4	2.5	2.9	2.6	3.1	2.1	0.6	0.5	0.2	4.0	36.2	36.5	31.5	61%

ラ・リベルタ支所	活動1	活動2	活動3	活動4	活動5	活動6	活動7	活動8	活動9	活動10	活動11	活動12	活動13	2017年 7-9月 四半期 評価結果	2017年 10-12月 四半期 評価結果	2017年 4-6月 四半期 評価結果	2017年 4-7月 四半期 評価結果 (%)
保健セクター名	RCメン バーリスト 作成	月例保健 セクター会 議開催	地域家庭 保健研修 開催	集落マップ の作成	出産計画 研修開催	出産計画 の実践	保健省主 導の保健 活動実施	家庭調査 票の作成	保健セク ター・集落 分析	ESAFIC主 導の活動 家計画	ESAFIC主 導の保健 活動実施	ESAFIC主 導の保健 活動評価	保健セク ター間の 知見共有				
N° 1: JOSE R. GONZALEZ	4	3	3	3	3	3	4	3	3	0	0	0	4	23	36	33	63%
N° 2: MIGUEL MEREL	4	3	3	3	3	3	3	3	2	0	0	0	4	26	38	31	60%
N° 3: BETULIA	4	4	3	1	4	4	4	3	1	4	3	3	4	19	42	42	81%
N° 4: GARQUITA	4	1	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	4	18	32	15	29%
N° 5: TAWA	4	1	4	4	4	3	1	3	3	0	0	0	4	38	42	31	60%
N° 6: PALMIRA II	4	4	4	4	4	4	1	4	3	0	0	0	4	47	50	36	69%
N° 7: KUSKUAS	4	1	4	3	4	3	0	3	3	0	0	0	4	29	45	29	56%
N° 8: EL CASTILLO I	4	4	4	1	4	4	4	2	0	1	0	0	4	28	40	28	54%
N° 9: EL CASTILLO II	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	50	48	51	98%
平均点	4.0	2.8	3.2	2.6	3.3	3.4	1.9	3.1	2.0	1.0	0.8	0.6	4.0	30.9	41.4	32.9	63%

クアパ支所	活動1	活動2	活動3	活動4	活動5	活動6	活動7	活動8	活動9	活動10	活動11	活動12	活動13	2017年 7-9月 四半期 評価結果	2017年 10-12月 四半期 評価結果	2017年 4-6月 四半期 評価結果	2017年 4-7月 四半期 評価結果 (%)
保健セクター名	RCメン バーリスト 作成	月例保健 セクター会 議開催	地域家庭 保健研修 開催	集落マップ の作成	出産計画 研修開催	出産計画 の実践	保健省主 導の保健 活動実施	家庭調査 票の作成	保健セク ター・集落 分析	ESAFIC主 導の活動 家計画	ESAFIC主 導の保健 活動実施	ESAFIC主 導の保健 活動評価	保健セク ター間の 知見共有				
N° 1: EL SILENCIO	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	51	47	52	100%
N° 2: MATAYAGUAL	4	4	4	4	4	4	4	4	4	0	0	0	4	34	39	40	77%
N° 3: DESPOBLADO	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	4	28	31	48	92%
N° 4: CUAPA	4	4	4	4	4	4	4	4	1	0	0	0	4	31	27	37	71%
N° 5: LLANO GRANDE	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	4	31	45	49	94%
平均点	4.0	3.8	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.2	2.2	2.0	2.0	4.0	35.0	37.8	45.2	87%

サント・トマス支所														2017年	2017年	2017年	2017年
保健セクター名	活動1	活動2	活動3	活動4	活動5	活動6	活動7	活動8	活動9	活動10	活動11	活動12	活動13	7-9月 四半期 評価結果	10-12月 四半期 評価結果	4-6月 四半期 評価結果	4-7月 四半期 評価結果 (%)
	RCメン バースト 作成	月例保健 セクター会 議開催	地域家庭 保健研修 開催	集落マップ の作成	出産計画 研修開催	出産計画 の実践	保健省主 導の保健 活動実施	家庭調査 票の作成	保健セク ター・集落 分析	ESAFc主 導の活動 家計画	ESAFc主 導の保健 活動実施	ESAFc主 導の保健 活動評価	保健セク ター間の 知見共有				
N° 1: EL GUABO	4	1	1	3	0	2	2	3	3	0	0	0	4	33	49	23	44%
N° 2: MOLLEJONES	4	1	0	3	0	3	0	3	1	0	0	0	4	26	40	19	37%
N° 3: EL JICARITO	4	4	4	3	4	3	3	3	4	1	1	0	4	36	40	38	73%
N° 4: PANCASAN	4	4	4	3	4	4	4	3	3	4	4	4	4	26	43	49	94%
N° 5: SAN JOSE	4	2	4	3	0	3	4	3	0	1	1	1	4	32	43	30	58%
N° 6: HUGO CHAVEZ	4	2	0	1	0	0	3	1	0	1	1	1	4	23	32	18	35%
N° 7: SANDINO	4	4	4	1	0	4	3	2	1	3	3	3	4	25	34	36	69%
N° 8: SANTIAGO	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	35	41	52	100%
平均点	4.0	2.8	2.6	2.6	1.5	2.9	2.9	2.8	2.0	1.8	1.8	1.6	4.0	29.5	40.3	33.1	64%

エル・アヨテ支所														2017年	2017年	2017年	2017年
保健セクター名	活動1	活動2	活動3	活動4	活動5	活動6	活動7	活動8	活動9	活動10	活動11	活動12	活動13	7-9月 四半期 評価結果	10-12月 四半期 評価結果	4-6月 四半期 評価結果	4-7月 四半期 評価結果 (%)
	RCメン バースト 作成	月例保健 セクター会 議開催	地域家庭 保健研修 開催	集落マップ の作成	出産計画 研修開催	出産計画 の実践	保健省主 導の保健 活動実施	家庭調査 票の作成	保健セク ター・集落 分析	ESAFc主 導の活動 家計画	ESAFc主 導の保健 活動実施	ESAFc主 導の保健 活動評価	保健セク ター間の 知見共有				
N° 1: URBANO	4	4	4	4	4	3	4	4	4	3	3	3	4	35	37	48	92%
N° 2: LA PIÑUELA	4	3	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	38	42	50	96%
N° 3: CIUDADELA	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	32	43	52	100%
N° 4: NUEVA LUZ	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	42	52	52	100%
N° 5: POZA REDONDA 2	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	36	45	51	98%
N° 6: NAWAWAS	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	4	42	52	49	94%
N° 7: EL JOBO	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	35	51	52	100%
N° 8: POZA REDONDA 1	4	4	4	4	4	3	4	3	4	3	3	3	4	34	42	47	90%
平均点	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0	3.8	4.0	3.6	4.0	3.6	3.6	3.6	4.0	36.8	45.5	50.1	96%

サント・ドミンゴ支所														2017年	2017年	2017年	2017年
保健セクター名	活動1	活動2	活動3	活動4	活動5	活動6	活動7	活動8	活動9	活動10	活動11	活動12	活動13	7-9月 四半期 評価結果	10-12月 四半期 評価結果	4-6月 四半期 評価結果	4-7月 四半期 評価結果 (%)
	RCメン バースト 作成	月例保健 セクター会 議開催	地域家庭 保健研修 開催	集落マップ の作成	出産計画 研修開催	出産計画 の実践	保健省主 導の保健 活動実施	家庭調査 票の作成	保健セク ター・集落 分析	ESAFc主 導の活動 家計画	ESAFc主 導の保健 活動実施	ESAFc主 導の保健 活動評価	保健セク ター間の 知見共有				
N° 1: URBANO A	4	4	4	4	4	4	3	3	4	4	4	3	4	47	49	49	94%
N° 2: URBANO B	4	4	4	4	4	4	4	3	2	4	4	4	4	47	51	49	94%
N° 3: LOS CHINAMOS	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	50	51	52	100%
N° 4: BULUM 2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	52	51	52	100%
N° 5: EL CAMASTRO	4	4	4	4	3	4	4	1	1	3	3	3	4	40	27	42	81%
平均点	4.0	4.0	4.0	4.0	3.8	4.0	3.8	3.0	3.0	3.8	3.8	3.6	4.0	47.2	45.8	48.8	94%

サン・ペドロ・デ・ロパゴ支所														2017年	2017年	2017年	2017年
保健セクター名	活動1	活動2	活動3	活動4	活動5	活動6	活動7	活動8	活動9	活動10	活動11	活動12	活動13	7-9月 四半期 評価結果	10-12月 四半期 評価結果	4-6月 四半期 評価結果	4-7月 四半期 評価結果 (%)
	RCメン バースト 作成	月例保健 セクター会 議開催	地域家庭 保健研修 開催	集落マップ の作成	出産計画 研修開催	出産計画 の実践	保健省主 導の保健 活動実施	家庭調査 票の作成	保健セク ター・集落 分析	ESAFc主 導の活動 家計画	ESAFc主 導の保健 活動実施	ESAFc主 導の保健 活動評価	保健セク ター間の 知見共有				
N° 1: URBANO A	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	4	16	48	48	92%
N° 2: URBANO B	4	4	4	4	4	4	4	4	1	1	1	0	4	26	37	39	75%
N° 3: SAN BARTOLO	4	4	4	3	4	3	4	3	3	3	0	0	4	29	38	39	75%
N° 4: EL JUSTE	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	2	1	4	29	45	47	90%
N° 5: MULUCO	4	4	4	4	4	4	4	4	4	2	2	1	4	34	42	45	87%
N° 6: BULUM	4	3	4	3	3	3	4	3	0	0	0	0	4	21	31	31	60%
平均点	4.0	3.8	4.0	3.7	3.8	3.7	4.0	3.7	2.5	2.2	1.3	0.9	4.0	25.8	40.2	41.5	80%

エル・ラマ支所	活動1	活動2	活動3	活動4	活動5	活動6	活動7	活動8	活動9	活動10	活動11	活動12	活動13	2017年 7-9月 四半期 評価結果	2017年 10-12月 四半期 評価結果	2017年 4-6月 四半期 評価結果	2017年 4-7月 四半期 評価結果 (%)
保健セクター名	RCメン バーリスト 作成	月例保健 セクター会 議開催	地域家庭 保健研修 開催	集落マップ の作成	出産計画 研修開催	出産計画 の実践	保健省主 導の保健 活動実施	家庭調査 票の作成	保健セク ター・集落 分析	ESAFC主 導の活動 家計画	ESAFC主 導の保健 活動実施	ESAFC主 導の保健 活動評価	保健セク ター間の 知見共有				
N° 1: Zona 1	4	2	0	3	0	2	0	4	4	2	2	0	0	46	48	23	44%
N° 2: Zona 3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	0	49	44	48	92%
N° 3: Zona 5	4	2	2	4	4	2	2	4	2	2	0	0	0	45	43	28	54%
N° 4: Zona 6	4	3	0	4	4	4	2	4	4	2	2	2	0	49	50	35	67%
N° 5: San Juan	4	1	2	4	2	1	0	4	0	0	0	0	0	48	50	18	35%
N° 6: Zona 7	4	4	0	4	0	4	3	4	4	4	4	4	0	38	51	39	75%
N° 7: Los Laureles	4	3	4	4	4	2	1	4	4	0	0	0	0	49	35	30	58%
N° 8: J Baca	4	3	0	4	0	4	1	4	4	0	0	0	0	52	52	24	46%
N° 9: Talolinga	4	1	4	4	4	2	1	4	4	4	0	0	0	41	52	32	62%
N° 10: San Martín	4	3	3	4	3	4	4	4	3	4	4	4	0	51	52	44	85%
N° 11: Kurinwas	4	4	4	4	4	4	3	4	0	0	0	0	0	46	44	31	60%
N° 12: San José	4	1	4	4	4	1	1	4	4	4	4	0	0	46	41	35	67%
N° 13: S Antonio	4	4	2	3	0	4	1	3	4	4	4	4	0	43	47	37	71%
N° 14: Los Angeles	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	2	0	0	33	44	41	79%
N° 15: N Holanda	4	1	0	4	0	4	1	4	4	4	0	0	0	48	40	26	50%
N° 16: Verdún	4	3	4	4	4	4	2	4	4	3	3	0	0	51	40	39	75%
N° 17: La Unión	4	1	0	4	2	1	1	4	0	0	0	0	0	50	46	17	33%
N° 18: Yolaina	4	3	4	4	4	4	2	4	4	3	3	3	0	49	51	42	81%
N° 19: El Serrano	4	1	4	4	4	1	1	4	4	4	0	0	0	51	50	31	60%
N° 20: La Fonseca	4	0	0	4	0	2	0	4	0	0	0	0	0	33	46	14	27%
N° 21: M Quezada														48	44		0%
N° 22: Angostura	4	1	4	4	4	1	1	4	4	0	0	0	0	39	44	27	52%
N° 23: San Isidro	4	1	4	4	4	2	1	4	4	0	0	0	0	46	39	28	54%
N° 24: La Esperanza	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	0	0	0	51	49	39	75%
N° 25: N León	4	1	4	4	4	1	1	4	4	0	0	0	0	52	43	27	52%
N° 26: N Unidas	4	1	0	4	4	1	1	4	0	0	0	0	0	52	36	19	37%
N° 27: Las Milpas	4	1	0	4	0	1	1	4	4	0	0	0	0	44	41	19	37%
N° 28: Santa Fé	4	2	4	4	0	1	2	4	4	2	0	0	0	43	36	27	52%
N° 29: Providencia	4	3	4	4	4	3	1	4	4	2	2	2	0	40	50	37	71%
N° 30: P Principe	4	2	0	4	0	0	1	4	0	0	0	0	0	40	36	15	29%
N° 31: Buena Vista	4	3	0	4	4	3	2	4	0	0	0	0	0	51	52	24	46%
N° 32: Salvadorita	4	2	4	4	4	2	2	4	4	4	2	0	0	48	52	36	69%
N° 33: Fátima														52	52		0%
平均点	4.0	2.2	2.4	3.9	2.7	2.5	1.6	4.0	3.0	1.9	1.2	0.7	0.0	46.2	45.5	30.1	58%

エル・コラル支所	活動1	活動2	活動3	活動4	活動5	活動6	活動7	活動8	活動9	活動10	活動11	活動12	活動13	2017年 7-9月 四半期 評価結果	2017年 10-12月 四半期 評価結果	2017年 4-6月 四半期 評価結果	2017年 4-7月 四半期 評価結果 (%)
保健セクター名	RCメン バーリスト 作成	月例保健 セクター会 議開催	地域家庭 保健研修 開催	集落マップ の作成	出産計画 研修開催	出産計画 の実践	保健省主 導の保健 活動実施	家庭調査 票の作成	保健セク ター・集落 分析	ESAFC主 導の活動 家計画	ESAFC主 導の保健 活動実施	ESAFC主 導の保健 活動評価	保健セク ター間の 知見共有				
N° 1: Urbano	4	3	4	3	3	3	4	4	2	2	2	0	0	18	38	34	65%
N° 2: La Santos	4	4	0	4	0	4	4	4	4	4	4	4	0	34	51	40	77%
N° 3: Col. Río Rama	4	1	4	4	4	3	2	4	4	3	3	3	0	48	52	39	75%
N° 4: El Fosforo	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	0	0	33	40	43	83%
N° 5: El Conejo	4	3	2	2	2	4	4	4	4	2	2	1	0	32	41	34	65%
平均点	4.0	3.0	2.8	3.4	2.6	3.6	3.4	4.0	3.6	3.0	3.0	1.6	0.0	33.0	44.4	38.0	73%

ムエジェ・デ・ロス・ブエ ジェス支所	活動1	活動2	活動3	活動4	活動5	活動6	活動7	活動8	活動9	活動10	活動11	活動12	活動13	2017年 7-9月 四半期 評価結果	2017年 10-12月 四半期 評価結果	2017年 4-6月 四半期 評価結果	2017年 4-7月 四半期 評価結果 (%)
保健セクター名	RCメン バースト 作成	月例保健 セクター会 議開催	地域家庭 保健研修 開催	集落マップ の作成	出産計画 研修開催	出産計画 の実践	保健省主 導の保健 活動実施	家庭調査 票の作成	保健セク ター・集落 分析	ESAFG主 導の活動 家計画	ESAFG主 導の保健 活動実施	ESAFG主 導の保健 活動評価	保健セク ター間の 知見共有				
N° 1: Buena Vista	4	1	4	4	4	3	4	4	4	4	0	0	0	36	46	36	69%
N° 2: El Cacao	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	0	0	0	46	52	39	75%
N° 3: La Batea	3	4	0	4	4	0	4	4	4	4	4	4	0	35	36	39	75%
N° 4: Sombrero Negro	3	3	0	4	4	0	4	2	2	0	0	0	0	34	29	18	35%
N° 5: Las Pavas	4	3	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	0	33	28	42	81%
N° 6: Tigre San Ramón	4	1	0	4	4	0	2	4	0	0	0	0	0	21	16	15	29%
N° 7: La Patriota	4	4	0	4	4	4	2	2	1	0	0	0	0	34	36	25	48%
N° 8: Santa Ana	4	2	0	4	4	0	4	2	2	0	0	0	0	20	31	20	38%
N° 9: Presillas	4	3	0	4	4	0	4	2	2	4	1	1	0	34	36	27	52%
N° 10: Pueblo Nuevo	4	3	0	4	4	0	4	3	3	3	3	3	0	33	36	34	65%
N° 11: Campana	4	4	0	2	0	4	4	2	3	3	3	0	0	32	34	29	56%
N° 12: Urbano	4	2	0	3	2	4	4	4	0	0	0	0	0	31	39	23	44%
N° 13: Piedras Grandes	4	2	0	4	4	0	4	4	4	4	2	0	0	32	44	32	62%
N° 14: Tamagás	4	4	4	4	4	4	4	4	4	0	0	0	0	32	37	36	69%
平均点	3.8	2.9	0.7	3.8	1.2	3.7	3.2	3.0	2.2	1.8	1.3	0.9	0.0	32.4	35.7	29.6	57%

ヌエバ・ギネア支所	活動1	活動2	活動3	活動4	活動5	活動6	活動7	活動8	活動9	活動10	活動11	活動12	活動13	2017年 7-9月 四半期 評価結果	2017年 10-12月 四半期 評価結果	2017年 4-6月 四半期 評価結果	2017年 4-7月 四半期 評価結果 (%)
保健セクター名	RCメン バースト 作成	月例保健 セクター会 議開催	地域家庭 保健研修 開催	集落マップ の作成	出産計画 研修開催	出産計画 の実践	保健省主 導の保健 活動実施	家庭調査 票の作成	保健セク ター・集落 分析	ESAFG主 導の活動 家計画	ESAFG主 導の保健 活動実施	ESAFG主 導の保健 活動評価	保健セク ター間の 知見共有				
N° 1: Las Lapas	4	3	3	4	3	0	4	4	4	4	4	4	4	30	28	45	87%
N° 2: El Castillo	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	51	43	52	100%
N° 3: San Pedro	4	3	4	4	4	3	4	3	3	3	3	3	4	26	35	45	87%
N° 4: Paraiso	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	34	36	52	100%
N° 5: Rosario Murillo	4	4	4	3	4	4	4	2	2	2	2	2	4	19	28	41	79%
N° 6: San Isidro	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	17	29	51	98%
N° 7: Tatumbia	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	31	42	52	100%
N° 8: Las Iguanas	4	4	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	27	31	50	96%
N° 9: El Móvil	4	4	3	3	4	4	4	3	4	4	4	4	4	28	29	49	94%
N° 10: Bella Vista	4	4	4	2	4	3	4	1	4	3	1	1	4	19	32	39	75%
N° 11: Hierva Buena	4	4	4	3	4	2	4	4	1	0	0	0	4	25	29	34	65%
N° 12: El Marrón	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	35	40	52	100%
N° 13: La Rita	4	3	4	4	4	3	4	4	2	3	3	3	4	38	30	45	87%
N° 14: Wapí	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	33	39	46	88%
N° 15: Caño Garcofa	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	37	51	52	100%
N° 16: Musuwaka	4	3	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	42	48	50	96%
N° 17: Quisilala 2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	40	52	52	100%
N° 18: Ciudadela	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	23	44	52	100%
N° 19: La Esperanza	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	27	45	52	100%
N° 20: Calderón	4	3	4	4	4	4	3	4	2	2	2	2	4	30	47	42	81%
N° 21: El Recreo	4	3	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	25	46	50	96%
N° 22: San Gerónimo	4	3	3	3	4	4	3	3	3	4	3	2	4	35	46	43	83%
平均点	4.0	3.7	3.8	3.7	3.9	3.5	3.9	3.6	3.5	3.5	3.3	3.3	4.0	30.5	38.6	47.5	91%

修理依頼機材リスト

SILAIS チョントレス

No.	機材名	銘柄	モデル	色	設置場所	状態
1	耳鼻・眼鏡	Riester	No.3722	メタル	CSF ファイガルパ	電気がつかない
2	スタンド式血圧計	2MM	RT-42201	青・メタル	CSF ファイガルパ	加圧できない
3	オートクレープ 25ℓ	TUTTNAUERHTD	2540E	ホワイト	CSF サン・ペドロ・デ・ロパゴ	温度が上がらない、デジタル掲示板が正しく表示されない
4	オートクレープ 25ℓ	TUTTNAUERHTD	2540E	ホワイト	CSF ラ・リベルタ	温度が上がらない、乾燥時に電源が切れる
5	スタンド式血圧計	2MM	RT-42201	青・メタル	CSF エル・アヨテ	カフ、送気球が使えない
6	スタンド式血圧計	2MM	RT-42201	青・メタル	CSF クアパ	スタンドが安定しない
7	胎児聴診器	LABTRON	700	黒	CSF エル・アヨテ	心音が聞こえない
8	スタンド式血圧計	2MM	RT-42201	青・メタル	地域病院	カフ、送気球が使えない
9	ドープラ	huntleigh	FD1	オフホワイト	CSF アコヤパ	音が聞こえない
10	スタンド式血圧計	2MM	RT-42201	青・メタル	CSF アコヤパ	加圧しても、ゲージの針が動かない

SILAIS セラヤ・セントラル

No.	機材名	銘柄	モデル	色	設置場所	状態
1	オートクレープ 50ℓ	TUTTNAUERHTD	3850EA	ホワイト	ムエジェ・デ・ロス・ブエイ ジェス一次病院	稼働中に突然停止する
2	オートクレープ 50ℓ	TUTTNAUERHTD	3850EA	ホワイト	ムエジェ・デ・ロス・ブエイ ジェス一次病院	稼働中に突然停止する
3	オートクレープ 50ℓ	TUTTNAUER HTD	3850 EA	グレー	エル・ラマ 一次病院	再加熱時に蒸留水が自動で送られない
4	スタンド式血圧計	2MM	RT-42201	青・メタル	エル・ラマ 一次病院	使用中にベースからスタンドが外れる
5	スタンド式血圧計	2MM	RT-42201	青・メタル	エル・ラマ 一次病院	正しい値が測定できない
6	スタンド式血圧計	2MM	RT-42201	青・メタル	エル・ラマ 一次病院	加圧できない
7	スタンド式血圧計	2MM	RT-42201	青・メタル	エル・ラマ PSFC サン・イシドロ	加圧できない
8	スタンド式血圧計	2MM	RT-42201	青・メタル	エル・ラマ PSFC サン・イシドロ	加圧できない
9	スタンド式血圧計	2MM	RT-42201	青・メタル	エル・ラマ PSFC ワピ	加圧できない
10	スタンド式血圧計	2MM	RT-42201	青・メタル	エル・ラマ PSFC ワピ	加圧できない
11	スタンド式血圧計	2mm usa corporation	RT-42201	ブルー	CSF エル・コラル	送気球で加圧できない。
12	スタンド式血圧計	2mm usa corporation	RT-42201	ブルー	CSF エル・コラル	送気球で加圧できない。
13	スタンド式血圧計	2mm USA	RT-42201	ブルー	ムエジェ・デ・ロス・ブエイ ジェス一次病院	送気球が使えない
14	スタンド式血圧計	2mm USA	RT-42201	ブルー	ムエジェ・デ・ロス・ブエイ ジェス一次病院	送気球が使えない
15	スタンド式血圧計	2mm USA	RT-42201	ブルー	ムエジェ・デ・ロス・ブエイ ジェス一次病院	カフ、送気球が使えない
16	スタンド式血圧計	2mm USA	RT-42201	ブルー	ムエジェ・デ・ロス・ブエイ ジェス一次病院	カフ、送気球が使えない
17	スタンド式血圧計	2mm USA	RT-42201	ブルー	ムエジェ・デ・ロス・ブエイ ジェス一次病院	カフ、送気球が使えない
18	スタンド式血圧計	2mm USA	RT-42201	ブルー	ムエジェ・デ・ロス・ブエイ ジェス一次病院	カフ、送気球が使えない
19	携帯用血圧計	ADC/2MM	N/D	N/D	ムエジェ・デ・ロス・ブエイ ジェス一次病院	動かない
20	携帯用血圧計	ADC/2MM	N/D	N/D	ムエジェ・デ・ロス・ブエイ ジェス一次病院	動かない
21	グースネックランプ	GRAHAM FIELD	1697-IM	メタル	ムエジェ・デ・ロス・ブエイ ジェス一次病院	ベースの錆付き
22	グースネックランプ	GRAHAM FIELD	1697-IM	メタル	ムエジェ・デ・ロス・ブエイ ジェス一次病院	ベースの錆付き
23	グースネックランプ	GRAHAM FIELD	1697-IM	メタル	ムエジェ・デ・ロス・ブエイ ジェス一次病院	ベースの錆付き

No.	機材名	銘柄	モデル	色	設置場所	状態
24	グースネックランプ	GRAHAM FIELD	1697-IM	メタル	ムエジェ・デ・ロス・ブエイ ジェス一次病院	ベースの錆付き
25	グースネックランプ	Graham Field	16971M	メタル	エル・ラマ 一次病院	ベースからスタンドが外れて、戻せない
26	グースネックランプ	Graham Field	16971M	メタル	エル・ラマ 一次病院	ベースからスタンドが外れて、戻せない
27	グースネックランプ	Graham Field	16971M	メタル	エル・ラマ 一次病院	ベースからスタンドが外れて、戻せない
28	器械台	CLINTON	M-S29	メタル	ムエジェ・デ・ロス・ブエイ ジェス一次病院	スタンドの錆付き
29	器械台	CLINTON	M-S29	メタル	ムエジェ・デ・ロス・ブエイ ジェス一次病院	スタンドの錆付き
30	器械台	CLINTON	M-S29	メタル	ムエジェ・デ・ロス・ブエイ ジェス一次病院	スタンドの錆付き
31	器械台	Clinton	MS-29	メタル	エル・ラマ 一次病院	ベースからスタンドが外れて、戻せない
32	丸椅子	Clinton	SS-2162	ブラウン・メタ	エル・ラマ 一次病院	タイヤが外れる
33	丸椅子	Clinton	SS-2162	ブラウン・メタ	エル・ラマ 一次病院	タイヤが外れる
34	点滴台	Drive	13033	メタル	エル・ラマ 一次病院	錆付き
35	点滴台	drive	13033	メタル	ムエジェ・デ・ロス・ブエイ ジェス一次病院	錆付き
36	点滴台	drive	13033	メタル	CSFムエジェ・デ・ロス・ブエイ ジェス	錆付き
37	点滴台	drive	13033	メタル	ムエジェ・デ・ロス・ブエイ ジェス一次病院	錆付き
38	点滴台	drive	13033	メタル	ムエジェ・デ・ロス・ブエイ ジェス一次病院	錆付き
39	点滴台	drive	13033	メタル	ムエジェ・デ・ロス・ブエイ ジェス一次病院	錆付き
40	車いす	PROBASICS	1006DX	ブラック	ムエジェ・デ・ロス・ブエイ ジェス一次病院	錆付き
41	車いす	PROBASICS	1006DX	ブラック	ムエジェ・デ・ロス・ブエイ ジェス一次病院	錆付き
42	車いす	PROBASICS	1006DX	ブラック	ムエジェ・デ・ロス・ブエイ ジェス一次病院	錆付き
43	ストレッチャー	PSCC MEDICAL	PSCC PE-5	ブラック	ムエジェ・デ・ロス・ブエイ ジェス一次病院	錆付き
44	ストレッチャー	PSCC MEDICAL	PSCC PE-5	ブラック	ムエジェ・デ・ロス・ブエイ ジェス一次病院	錆付き
45	ストレッチャー	PSCC MEDICAL	PSCC PE-5	ブラック	ムエジェ・デ・ロス・ブエイ ジェス一次病院	錆付き
46	携帯用サクシオン	GOMCO	300	オフホワイト	ムエジェ・デ・ロス・ブエイ ジェス一次病院	稼働中に突然停止する

5. 活動写真



レファラル・カウンターレファラル
両 SILAIS 合同技術委員会
両 SILAIS および病院関係者で意見交換



レファラル・カウンターレファラル
両 SILAIS 合同技術委員会



SIL AIS チョントレス
各支所長が参加する SIL AIS 技術審議会
(CTAD)



SIL AIS セラヤ・セントラル
各支所長が参加する SIL AIS 技術審議会
(CTAD)



SIL AIS チョントレス
サント・トマス支所
8 項目研修



SIL AIS チョントレス
エル・アヨテ支所
保健セクターが参加する技術審議会 (CTAM)



SILAIIS セラヤ・セントラル
ヌエバ・ギネア支所
保健セクターが参加する技術審議会 (CTAM)
月に一度開催



SILAIIS チョンタレス
ラ・リベルタ支所
保健ボランティア・ネットワーク
プロジェクトが配布したユニフォーム



SILAIIS セラヤ・セントラル
エル・ラマ支所
ES AFC 活動四半期評価
全保健セクター合同で活動エビデンスを確認



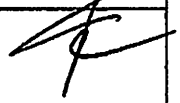
SILAIIS チョンタレス
フィガルパ支所
ES AFC 活動四半期評価
保健セクター個別にエビデンスを確認



SILAIIS チョンタレス
母子保健評価会
SILAIIS と支所保健サービス担当者が集い、
母子保健活動全般について WS を実施した



第1期分供与機材
錆が目立ち始めた
ゲースネックランプの土台部分



2018 年 10 月 12 日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区に
おける母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2018年9月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. 対象 14 支所における医療従事者研修

1) 8 項目研修プログラム

SILAIS チョンタレスで、8 項目研修が終了していないのは、エル・アヨテ支所のみとなった。同支所は、8 項目中 4 項目を終えているが、研修ファシリテーターが不在で、SILAIS の技官が対応しなければならないため、実施が遅れている。補完研修については、3 支所（フィガルパ、サント・トマス、アコヤバ）で、1 名ずつ未受講者がいる。

2) 母子保健 5 項目のテキスト第 2 版

母子保健技術委員会は、産後出血、妊娠性高血圧のテキスト 2 項目の改定作業を終了した。乳幼児健診テキストの見直しは行ったが、今後、乳幼児健診に関する省令が発表されるため、先に他のテキストの改訂作業を進めている。現在は、妊産婦管理台帳テキストに取り組んでいる。

- 計画**
- ① SILAIS チョンタレスエル・アヨテ支所の研修ファシリテーターを育成するとともに、補完研修も含め、全ての研修を完了する。
 - ② 母子保健技術委員会は、母子保健 5 項目のテキストの改定作業を継続する。

1-2. ESAFC 活動

1) ESAFC 活動の継続

ES AFC 活動を 161 保健セクターで継続している。特に先月の四半期評価で活動の

低下が確認された保健セクターへの指導強化に取り組んでいる。

2) ESAFC 活動ガイドの改定

「ESAFc 活動ガイド」と「ESAFc 活動の好事例集」の更新版作成を継続している。

3) 社会奉仕医師・看護師への第 2 回 KAP 調査

社会奉仕活動を 1 年間行った医師 55 人、看護師 32 人と昨年新規採用された准看護師 22 人、計 109 人に対して実施した第 2 回 KAP 調査の分析を終え、報告書の作成を進めている。

- 計画**
- ① 両 SILAIS は、ESAFc 活動四半期評価で課題が指摘された保健セクターを中心に巡回指導を行う。
 - ② ESAFC 活動ガイドおよび ESAFC 活動好事例集 (Vol. 2) の改定作業を進める。
 - ③ 社会奉仕医師・看護師を対象に行った第 2 回 KAP 調査報告書を作成する。

1-3. レファラル・カウンターレファラル

両 SILAIS は、8 月に実施したレファラル・カウンターレファラル両 SILAIS 合同会議における合意事項 (8 月月報 1-3.4) 参照) に取り組んでいる。その中で、9 月中に行うとしていた「各 SILAIS のレファラル・カウンターレファラル技術委員会での、量的および質的分析項目の取りまとめ」では、各支所がモニタリング・分析・評価する項目について、質的および量的なデータを用いた分析・評価方法を協議した。SILAIS セラヤ・セントラルでは、各支所長、一次病院長および統計担当者、SILAIS 技官が参加し、SILAIS チョントレスでは、SILAIS 技官により協議した。これら両 SILAIS の成果を 10 月の合同会議で発表し、実際にモニタリング・評価で取り扱う項目を統一する。

- 計画**
- ① 両 SILAIS は、レファラル・カウンターレファラル委員会を開催し、支所レベルで分析する項目を取り決める。

1-4. 技術統合巡回指導

1) 巡回指導の現状

両 SILAIS では技官による巡回指導が再開された。PDM 指標成果 3-1「技術統合巡回指導」、3-2「技術審議会への同席」、3-3「統計データの質管理」の支所の実施状況と SILAIS の同行回数は、表 1 のとおりであった。

表 1 支所の巡回指導と SILAIS の同行回数

支所の活動	特徴	チョントレス		セラヤ・セントラル	
		支所実施数	SILAIS 同行回数	支所実施数	SILAIS 同行回数
技術統合巡回指導	保健セクターを訪問。活動をモニタリング・指導し、改善に取り組む	8 支所 14 保健セクター	4 支所 5 保健セクター	4 支所 9 保健セクター	3 支所 3 保健セクター
支所の技術審議会	保健セクターの医療チームが出席する支	10 支所	10 支所	4 支所	3 支所

(CTAM) 開催	所レベルの技術審議会				
統計データの質管理	保健セクターが扱う様々な統計データの質を確認	1 支所 1 保健セクター	1 支所 1 保健セクター	1 支所 4 保健セクター	1 支所 4 保健セクター

両 SILAIS の巡回指導は、道路封鎖により 3 か月間実施されていなかったが、道路封鎖の解除後、強化されている。特に SILAIS チョントレスは、今年に入り、初めて全 10 支所の CTAM に同席した。

1-5. エンドライン調査

1) 母子保健サービスの実態調査

プロジェクトのテクニカル・アシスタント 3 名が、母子保健サービスを提供する医療従事者および母子保健サービスの利用者に対する聞き取りと記録の確認による実態調査を、先月に引き続き医療施設で実施している。進捗状況は、表 2 のとおりである。SILAIS セラヤ・セントラルは、調査を終了した。

表 2 エンドライン調査/母子保健サービスの実態調査の進捗状況

SILAIS	産前健診		乳幼児健診	
	目標	実績	目標	実績
チョントレス	50 件	44 件	50 件	51 件
セラヤ・セントラル	50 件	50 件	50 件	50 件

2) 2017 年に出産した母親への KAP 調査

両 SILAIS では、KAP 調査の実施が可能か、8 パイロット保健セクターの ESAFC に確認を進めている。各パイロット保健セクターでは、RC の協力なくして家庭訪問を実施することは難しい。彼らの協力を得るべく、月例会議にて調整を進める。また、プロジェクトのテクニカル・アシスタントは、フィガルパ市の国立自治大学、ヌエバ・ギネア市のカリブ海岸地域自治大学、エル・ラマ市のマルティン・ルーサーキング大学に、学生を調査員として傭上するための協力要請に取り掛かっている。

- 計画 ① 母子保健サービス実態調査を完了し、集計を始める。
② KAP 調査実施の調整、安全確認を進める。

1-6. 機材調達管理

1) 機材稼働モニタリング

第 1 期分供与機材の納入業者である Casa Teran に対して、両 SILAIS が修理を要請した計 57 機材 (SILAIS チョントレス 10 機材、SILAIS セラヤ・セントラル 47 機材) のうち、6 機材が修理されて再配置された。他の機材は現在も修理中である。

2) 第 2 期分追加供与機材

第 2 期分追加供与機材 (新生児用ベッド 3 台) を発注した。納入予定は 2018 年 11 月である。

計画 ① Casa Teran による機材修理のモニタリングを継続する。

1-7. 運營業務

1) プロジェクトの運営

9月13日にニカラグアからの一時退避が解除され、業務計画および要員計画を修正し、人間開発部と打合せ簿を交わした。10月4日より現地における日本人専門家の業務を開始する。

2. 主な活動日程

<9月>

- 3日：SILAIS チョントレス技術審議会（CTOD）、SILAIS チョントレス保健サービス審議会（CTSS）、ヌエバ・ギネア支所機材管理チェック
- 4日：第5回プロジェクト Skype 会議
- 5日：SILAI セラヤ・セントラル マタニティホームネットワーク会議、フィガルパ支所保健サービス状況調査
- 6日：SILAI セラヤ・セントラル 4支所合同 RC 会議
- 7日：ヌエバ・ギネア支所ヌエバ・レオン保健セクター青少年グループ会議及び統計巡回指導、フィガルパ支所保健サービス状況調査、リベルタ支所技術審議会（CTAM）同席
- 10日：SILAIS チョントレス技術審議会（CTOD）、SILAIS チョントレス保健サービス審議会（CTSS）、エル・ラマ支所、コマラパ支所技術審議会（CTAM）同席
- 11日：エル・ラマ支所統合巡回指導、供与機材管理チェック
- 12日：エル・ラマ支所5保健セクターRC 合同会議及び供与機材管理チェック、フィガルパ地域病院レファラル、カウンターレファラル巡回指導
- 13日：ビジャ・サンディーノ支所統合巡回指導及び保健サービス状況調査、ヌエバ・ギネア支所機材管理チェック
- 17日：SILAIS チョントレス技術審議会（CTOD）サント・トマス支所保健サービス状況調査および、統合巡回指導
- 18日：第6回プロジェクト Skype 会議、サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所統合巡回指導
- 19日：クアパ支所技術審議会（CTAM）同席および母子保健研修プログラム研修指導、アコヤパ支所技術審議会（CTAM）同席、エル・ラマ支所マタニティホーム巡回指導、機材管理チェックおよび一次病院巡回指導ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所 ESAFC 活動四半期評価
- 20日：エル・コラル支所統合巡回指導、エル・アヨテ支所技術審議会（CTAM）同席および母子保健研修プログラム研修指導
- 24日：SILAIS チョントレス技術審議会（CTAD）、サント・ドミンゴ支所技術審議会（CTAM）同席
- 25日：SILAIS チョントレス保健サービス審議会（CTSS）及び看護師技術審議会
- 26日：SILAIS チョントレスレファラル・カウンターレファラル委員会、ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所技術統合巡回指導
- 27日：SILAIS セライヤ・セントラルレファラル・カウンターレファラル委員会、

ファイガルパ支所及びアコヤパ支所保健サービス状況調査
28日：SILAIS チョントレス母子保健技術委員会

3. 今後の予定

<10月>

- 2日：第7回プロジェクト Skype 会議
- 3日：2SILAIS 合同レファラル・カウンターレファラル委員会
- 4日：渡辺専門家（副総括/地域保健/業務調整）着任
- 8日：サント・トマス支所及びエル・ラマ支所 ESAFC 活動評価
- 9日：中村専門家（総括/地域保健）着任、エル・ラマ支所 ESAFC 活動評価
- 9日～11日：ファイガルパ支所 ESAFC 活動評価
- 10日：ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所 ESAFC 活動評価
- 11日：コマラパ支所 ESAFC 活動評価
- 11日～12日：ヌエバ・ギネア支所 ESAFC 活動評価
- 12日：アコヤパ支所 ESAFC 活動評価
- 17日：第7回プロジェクト運営会議
- 18日：ビジャ・サンディーノ支所 ESAFC 活動評価
- 20日：渡辺専門家（副総括/地域保健/業務調整）離任

4. 活動写真

別添のとおり

5. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

4. 活動写真



SILAIS チョントレス
支所が参加する技術審議会 (CTAD)



SILAIS セラヤ・セントラル
SILAIS 幹部による技術審議会 (CTOD)



SILAIS チョントレス
アコヤパ支所
保健セクターが参加する技術審議会 (CTAM)



SILAIS セラヤ・セントラル
ヌエバ・ギネア支所
保健セクターが参加する技術審議会 (CTAM)



SILAIS チョントレス
アコヤパ支所サン・フェリペ保健セクター
技術統合巡回指導 (ATI)



SILAIS セラヤ・セントラル
エル・コラル支所
技術統合巡回指導 (ATI)



SILAIS チョントレス
エル・アヨテ支所
8項目研修



SILAIS セラヤ・セントラル
ヌエバ・ギネア支所 ESAFC 活動
マタニティホームで母親研修



SILAIS チョントレス
フィガルパ支所 ESAFC 活動
RCの経験を保健セクター間で共有



SILAIS チョントレス
フィガルパ支所 ESAFC 活動
ESAFc 活動の今後の活動方針を発表



SILAIS セラヤ・セントラル
ヌエバ・ギネア支所 ESAFC 活動
RCの経験を保健セクター間で共有



SILAIS セラヤ・セントラル
エル・ラマ支所 ESAFC 活動
RCの経験を保健セクター間で共有

2018年11月7日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区に
おける母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2018年10月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. 対象 14 支所における医療従事者研修

1) 8 項目研修プログラム

SILAIS チョンタレスは、サント・トマス支所で研修未受講者 1 名がいることを確認した。この未受講者は産後休暇中で 12 月まで職場に復帰しない。また、エル・アヨテ支所には、「産前健診」と「産後出血」3 名、「妊娠性高血圧」5 名の未受講者がおり、11 月初旬に研修を終了する計画である。エル・アヨテ支所で実施が遅れた原因は、研修ファシリテーターが産休で不在であったほか、10 月は降雨による停電が頻発し、一定期間、研修が開催できなかったためである。

補完研修については、エル・アヨテ支所に「産前健診」「妊娠性高血圧」「妊産婦管理台帳」の 3 項目で 1 名ずつ、「乳幼児健診」で 2 名の未受講者がいる。また、自習義務を課された受講者が、アコヤバ支所に「妊産婦管理台帳」で 1 名、フィガルパ支所に「産前健診」で 1 名、そしてエル・アヨテ支所に「産前健診」で 2 名と、「妊娠性高血圧」と「乳幼児健診」の 2 項目で 1 名いる。各支所の研修ファシリテーターが、これらの研修・実習の実施状況を管理し、SILAIS とプロジェクトが協力してモニタリングしている。

2) 母子保健 5 項目のテキスト第 2 版

母子保健技術委員会は、「産後出血」、「妊娠性高血圧」、「乳幼児健診」の 3 項目のテキストを見直している。今後、「妊娠性高血圧」、「乳幼児健診」に関する省令が改定されるとの情報を得ているが、なかなか公表されない。そのため、先に他のテキストの改訂作業を進めている。現在は先月に続き、「妊産婦管理台帳」と残りの「産前健診」テキストに取り組んでいる。

- 計画 ① SILAIS チョントレスの研修完了を目指す。また、各支所の研修ファシリテーターは補完研修を完了し、自習者のモニタリングを行う。
- ② 母子保健技術委員会は、母子保健 5 項目のテキストの改定作業を継続する。

1-2. ESAFC 活動

1) ESAFC 活動の四半期評価

ESAFc 活動を 161 保健セクターで継続している。今月は 156 保健セクターで四半期評価が実施できた。SILAIS チョントレスのラ・リベルタ支所の 5 保健セクターは、評価実施予定日に豪雨が度重なり中止となった。また、SILAIS セラヤ・セントラルのヌエバ・ギネア支所のファティマ保健セクターは、反政府活動の影響を受け、治安が悪化しているため、保健セクター活動を実施しておらず、評価対象外となっている。

表 1 ESAFC 活動四半期評価結果

SILAIS チョントレス	アコヤバ	コマラバ	クアバ	エル・アヨテ	ファイガルパ	ラ・リベルタ	サン・ペドロ・デ・ロハゴ	サント・ドミンゴ	サント・トマス	ビジャ・サンディーノ	平均点	
2017年	6月	17.5	13.1	23.4	17.0	4.2	14.7	14.5	33.6	16.5	11.8	16.6
	9月	36.2	32.2	26.0	33.4	22.0	20.8	16.7	32.4	20.0	16.3	25.6
	12月	40.0	42.2	35.0	36.8	36.2	30.9	25.8	47.8	28.2	32.7	35.6
2018年	3月	44.3	47.3	37.8	45.5	36.5	41.4	40.2	45.8	40.3	34.3	41.3
	6月	44.9	49.9	41.8	50.5	34.5	31.5	45.0	43.4	44.4	32.0	41.8

SILAIS セラヤ・セントラル	エル・コラル	エル・ラマ	ムシエ・デ・ロス・ブエシエス	ヌエバ・ギネア	平均点	
2017年	6月	17.8	12.5	19.2	20.9	17.6
	9月	21.8	22.5	29.5	30.2	26.0
	12月	33.0	30.5	31.9	46.2	35.4
2018年	3月	44.4	38.6	35.7	45.5	41.1
	6月	46.2	47.6	46.6	46.3	47.7

回	平均点
1	16.6
2	25.6
3	35.6
4	41.3
5	41.8

評価	点
無	0-9.9
可	10.0-19.9
良	20.0-29.9
優	30.0-39.9
秀	40.0-52.0

ファイガルパ、ラ・リベルタ、サント・ドミンゴ、ビジャ・サンディーノの 4 支所は平均点が下がったものの、政情不安による道路封鎖などがあつたにもかかわらず、ESAFc 活動が継続されていることが確認できた。特にセラヤ・セントラルでは、すべての支所が 40.0-52.0 点の「秀」レベルに到達しており、1 年間で着実に活動が強化されたことが確認できた。第 7 回運営委員会で両 SILAIS と 14 支所と意見交換を行い、プロジェクト終了後の活動の継続、評価結果が低下した支所の改善方針案、ESAFc 活動の全国展開とテキスト改定などに関して討議した。また全保健セクターは活動進捗点数の目標を 40 点とすることに合意した。

2) ESAFC 活動ガイドの改定

12 月中の完成を目指して、「ESAFc 活動ガイド」と「ESAFc 活動の好事例集」の更新版作成作業を継続している。

2) 社会奉仕医師・看護師への第 2 回 KAP 調査

社会奉仕活動を 1 年間行った医師 55 人、看護師 32 人と昨年新規採用された准看護師 22 人、計 109 人に対して実施した KAP 調査の報告書作成を進めている。

- 計画**
- ① 各支所は、ES AFC 活動を継続し、四半期評価結果で課題が明らかになった保健セクターを中心に巡回指導を行う。
 - ② ES AFC 活動ガイドおよび ES AFC 活動好事例集 (Vol. 2) の改定作業を進める。
 - ③ 社会奉仕医師・看護師を対象に行った第 2 回 KAP 調査報告書を作成する。

1-3. レファラル・カウンターレファラル

両 SILAIS は、10 月にレファラル・カウンターレファラルに関する合同会議を開催し、前回 8 月の会議で合意した事項 (8 月月報 1-3. 4) 参照) について、その進捗を確認した。その中で、各 SILAIS のレファラル・カウンターレファラル技術委員会 で定めた、量的および質的分析項目の取りまとめを行った。そこで合意された指標は以下のとおりである。

- 指標 1 支所から地域病院への総レファラル数および支所と地域病院の記録の一致率
- 指標 2 支所から地域病院への緊急レファラル数および支所と地域病院の記録の一致率
- 指標 3 支所から地域病院への妊産褥婦レファラル数および支所と地域病院の記録の一致率
- 指標 4 支所から地域病院への 2 歳未満児レファラル数および支所と地域病院の記録の一致率
- 指標 5 レファラル用紙に的確に記述がされたレファラルの割合
- 指標 6 カウンターレファラル用紙に的確に記述がされたカウンターレファラルの割合

指標のほかに、レファラル・カウンターレファラルで確認された課題、問題に対する改善案とその実施計画などが、各支所のモニタリング・分析・評価の項目に加えられた。

以上の合同会議で行われた討議の結果を踏まえ、第 7 回運営委員会で、以下の合意事項を確認した。

- ① 各支所は、毎月の保健セクターが参加する技術審議会において、各保健セクターのレファラル・カウンターレファラル記録台帳を基に、指標に基づいたモニタリングと分析を行う。
- ② 各 SILAIS は、レファラル委員会を開催し、①の結果を検証する

- 計画**
- ① 両 SILAIS は、各支所で実施されるレファラル・カウンターレファラルのモニタリング・分析・評価に同席し、支援する。

1-4. 技術統合巡回指導

1) 巡回指導の現状

両 SILAIS では技官による巡回指導が再開された。PDM 指標成果 3-1「技術統合巡回指導」、3-2「技術審議会への同席」、3-3「統計データの質管理」の支所の実施状況と SILAIS の同行回数は、表 1 のとおりであった。

表 1 支所の巡回指導と SILAIS の同行回数

支所の活動	特 徴	チョンタレス		セラヤ・セントラル	
		支所実施数	SILAIS 同行回数	支所実施数	SILAIS 同行回数
技術統合巡回指導	保健セクターを訪問。活動をモニタリング・指導し、改善に取組む	4 支所 7 保健セクター	1 支所 1 保健セクター	4 支所 16 保健セクター	4 支所 6 保健セクター
支所の技術審議会 (CTAM) 開催	保健セクターの医療チームが出席する支所レベルの技術審議会	10 支所	8 支所	4 支所	4 支所
統計データの質管理	保健セクターが扱う様々な統計データの質を確認	0 支所	0 支所	3 支所 4 保健セクター	3 支所 4 保健セクター

SILAIS セラヤ・セントラルの巡回指導が強化された一方、SILAIS チョンタレスの実施率が低下している。SILAIS チョンタレスでは、他の援助機関の調査団への同行や政治的活動が優先されがちである。それでも、支所審議会には積極的に同席し、活動の進捗把握に取り組んでいる。

1-5. エンドライン調査

1) 母子保健サービス実態調査

プロジェクトのテクニカル・アシスタント 3 名による母子保健サービス実態調査は、目標であった産前健診 50 件、乳幼児健診 50 件に達し、サンプルの収集を完了した。

2) 2017 年に出産した母親への KAP 調査

今年 5 月に実施する計画であったが、政情不安のため延期されていた 8 パイロット保健セクター対象の標記調査は、JICA の安全対策や大学および RC の協力等を確認し、最終的に 7 保健セクターで実施することに変更し、調整を進めている。サント・ドミンゴ支所の“ブルン 2”保健セクターは、JICA 事務所の安全対策担当官より、危険地域につき調査実施は控えた方がいい旨助言があり、対象から除外した。KAP 調査実施計画は以下のとおりである。

表 2 KAP 調査・調査員研修

研修開催都市名	協力大学	研修実施日	調査員数
フィガルパ	国立自治大学フィガルパ校	11 月 6 日	24 人
ヌエバ・ギネア	ウラカン大学	11 月 20 日	15 人
エル・ラマ	マルティン・ルテオ大学	11 月 27 日	20 人

表 3 KAP 調査計画

支所名	保健セクター名	調査実施予定日	調査妊婦数
サント・ドミンゴ	ロス・チナモス	11 月 7 日	28 人
	ブルン 2	中止	0 人
アコヤパ	エル・チナル	11 月 8 日	26 人
	サン・フェリペ	11 月 8 日	12 人
ヌエバ・ギネア	タロリンガ	11 月 21 日	25 人

	ナシオネス・ウニダス	11月22日	47人
エル・ラマ	マロン	11月28日	35人
	ワピ	11月29日	86人
	合計		259人

計画 ① 母子保健サービス実態調査の集計を行う。

② 7パイロット保健セクターで、KAP 調査を実施、終了する。

1-6. 第7回プロジェクト運営委員会

プロジェクトは、5月と8月の運営委員会と半期評価会を、政情不安に伴う道路封鎖等の発生により中止した。今回の運営委員会は、8か月ぶりにプロジェクト実施当事者らが集まる場となった。14支所からは、支所長その他、コミュニティ活動責任者と看護師長が参加し、ESAFG 活動の進捗などに関して、意見交換を行った。プロジェクトからは残りの期間の活動計画を示し、共有した。G/P ほか参加者から、プロジェクト終了後も活動を継続しなければならないとの発言が多く出された。また、政情不安の影響から保健省の予算が不足しており、活動に影響が出ているという報告もあった。

1) 参加者、日時、場所

参加者：保健省保健サービス総局 1人、SILAIS チョントレス 11人、SILAIS セラヤ・セントラル 7人、14支所 42人

JICA ニカラグア事務所 2人、プロジェクト 5人、計 68人

日時：2018年10月17日午前8時45分～午後4時30分

場所：チョントレス県フィガルパ市、ホテル・ラ・キンタ会議場

2) 半期評価会アジェンダ（各項目の進捗は、本月報の各項目に記載）

- ① 第6回半期評価会（2018年2月27・28日実施）合意事項進捗確認
- ② ESAFG 活動四半期評価結果
- ③ 2018年1月～9月のPDM指標達成状況（添付資料参照）
- ④ 医療従事者研修進捗状況
- ⑤ レファラル・カウンターレファラル
- ⑥ その他（活動日程変更など）

1-7. 運營業務

1) 国際フォーラム

保健省、PAHO と共催の確認をした。IDB については、IDB と保健省の双方の意向で、参加を見送ることとなった。開催日程は3月27～29日（仮）に定めた。3日間の日程だが、2日間に短縮する案を検討している。全体的に規模縮小を検討しており、テーマは4つから3つへ減らす。また、本年10月25-26日のWHO、UNICEF 等によるプライマリ・ヘルスケア世界会議で採択された「アスタナ宣言」を反映した内容に修正する計画である。関係者の海外出張や休暇のため、詳細に関する協議は延期されている。今後、保健省、PAHO とともに修正案を作成する。

2) 全国セミナー

保健省は、今回の政情不安で失われた国民の保健医療に関する信頼を回復するため、保健サービス改善に着手し、ESAFG 活動の再強化を進めている。保健サービス総局は、プロジェクトに ESAFG 活動ガイドの早期全国展開を要請するとともに、全国の SILAIS の研修ファシリテーターに対する様々な分野の研修を 11-12 月に計画している。同局とプロジェクトは、この研修へのプロジェクトの参画のあり方について現在、協議している。プロジェクトは ESAFG 活動ガイドの改定作業を進めており、その進捗によって、全国セミナー開催の前倒しを含め、実施時期を決定する。

- 計画** ① 保健省、PAHO とともに、プログラムの修正案を作成する。
② 全国セミナーの詳細を決定する

1-8. 関連業務

1) 治安状況

チョンタレス、セラヤ・セントラルともに、JICA 安全対策を順守し、活動・生活している分には、危険を感じない。マナグアと比較し、街中を歩く人は多く見受けられる。G/P やプロジェクトローカルスタッフによると、日々人通りは増えてきているようで、日常的な生活が回復してきている。

2) 感染症

ニカラグアでは、母子保健とともに、感染症対策が最重要課題となっている。毎年第 43 週から第 45 週にかけて、デング熱の感染が一番多く発生するが、第 43 週（10 月 21 日～27 日）のデング熱新規感染確定者数は、両 SILAIS とともに 0 人であった。しかし、感染の疑いがある患者は SILAIS チョンタレスで 122 人、SILAIS セラヤ・セントラルで 64 人おり、感染リスクが低いわけではない。なお、今年第 43 週までのチクングニア熱感染者は、両 SILAIS で 4 人、ジカ熱は 0 人であり、感染リスクは低い状態を維持している。逆に感染者数が増えているのは、レプトスピラ症で 13 人（前年比 46.2%増）が報告されている。そのほか、患者数が多いのは下痢症 8,528 人（前年比 12.3%減）、気管支炎 51,715 人（前年比 16.9%減）である。

2. 主な活動日程

<9 月>

- 1 日：SILAIS チョンタレス技術審議会 (GTOD)、SILAIS セラヤ・セントラル保健サービス審議会 (GTSS)、サン・ペドロ・デ・ロバゴ所技術審議会 (GTAM) 同席
- 2 日：第 7 回プロジェクト Skype 会議、SILAIS セラヤ・セントラル保健サービス審議会 (GTSS)
- 3 日：両 SILAIS レファラル・カウンターレファラル会議
- 4 日：サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所 ESAFG 活動四半期評価、ラ・リベルタ支所 ESAFG 活動四半期評価、JICA ニカラグア安全調査 SILAIS セラヤ・セントラル会議
- 5 日：渡辺咲子（副総括/地域保健/業務調整）専門家着任、JICA ニカラグア安全調査 SILAIS チョンタレス会議、エル・ラマ支所技術審議会 (GTOD) 同席、エル・コラル支所 ESAFG 活動四半期評価
- 8 日：SILAIS チョンタレス技術審議会 (GTOD)、SILAIS チョンタレスル保健サー

- ビス審議会 (CTSS)、サント・トマス支所 ESAFC 活動四半期評価、エル・ラマ支所技術審議会 (CTAD) 同席、エル・ラマ支所 ESAFC 活動四半期評価
- 9 日：中村二郎 (総括/地域保健) 専門家着任、フィガルパ支所 ESAFC 活動四半期評価、エル・ラマ支所 ESAFC 活動四半期評価
- 10 日：フィガルパ支所 ESAFC 活動四半期評価、エル・アヨテ支所 ESAFC 活動四半期評価及び保健サービス状況調査、ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所 ESAFC 活動四半期評価
- 11 日：コマラパ支所 ESAFC 活動四半期評価、SILAIS チョントレス技術審議会 (CTAD)、ヌエバ・ギネア支所 ESAFC 活動四半期評価
- 12 日：アコヤパ支所 ESAFC 活動四半期評価、ビジャ・サンディーノ支所 ESAFC 活動四半期評価、ヌエバ・ギネア支所 ESAFC 活動四半期評価
- 15 日：コマラパ ESAFC 活動四半期評価、クアパ支所 ESAFC 活動四半期評価、ヌエバ・ギネア ESAFC 活動四半期評価、SILAIS セラヤ・セントラル技術審議会 (CTOD)
- 16 日：サント・ドミンゴ支所 ESAFC 活動四半期評価、ヌエバ・ギネア支所タロリング保健セクター会議 (KAP 調査準備)
- 17 日：第 7 回プロジェクト運営会議
- 18 日：アコヤパ支所技術審議会 (CTAM) 同席、サント・ドミンゴ支所技術審議会 (CTAM) 同席、フィガルパ支所技術審議会 (CTAM) 同席、ヌエバ・ギネア支所ナシオネス・ウニダス保健セクター会議 (KAP 調査準備)
- 19 日：エル・コラル支所技術統合巡回指導
- 20 日：渡辺咲子 (副総括/地域保健/業務調整) 専門家離任
- 22 日：SILAIS チョントレス技術審議会 (CTOD)
- 23 日：SILAIS チョントレス保健サービス審議会 (CTSS)、サント・トマス支所技術統合巡回指導、ヌエバ・ギネア支所技術統合巡回指導
- 24 日：アコヤパ支所サン・フェリペ保健セクター会議 (KAP 調査準備)、サント・ドミンゴ支所チナモス保健セクター会議 (KAP 調査準備)、エル・アヨテ支所母子保健研修スーパーバイズ、エル・ラマ支所ワピ保健セクター会議 (KAP 調査準備)
- 25 日：アコヤパ支所エル・チナル保健セクター会議 (KAP 調査準備)、エル・アヨテ支所母子保健研修スーパーバイズおよび支所技術審議会 (CTAM) 同席、エル・ラマ支所技術統合巡回指導
- 26-27 日：ESAFc 活動ガイド改定会議
- 29 日：SILAIS チョントレス技術審議会 (CTOD)、SILAIS チョントレス保健サービス審議会 (CTSS)、エル・コラル支所技術審議会 (CTAM)
- 30 日：SILAIS チョントレスル保健サービス審議会 (CTSS)
- 31 日：ヌエバ・ギネア支所技術統合巡回指導、ビジャ・サンディーノ支所支所技術審議会 (CTAM) 同席

3. 今後の予定

<10 月>

- 1 日：ESAFc 活動ガイド改定会議
- 6 日：KAP 調査・調査員研修 (フィガルパ自治大学)
- 7 日：KAP 調査・サント・ドミンゴ支所チナモス保健セクター
- 8 日：KAP 調査・アコヤパ支所サン・フェリペおよびエル・チナル保健セクター

- 9日：ESAFC 活動ガイド改定会議
- 13日：ESAFC 活動ガイド改定 SILAIS チョンタレス会議
- 14日：エル・ラマ支所マロン保健セクター会議（KAP 調査準備）
- 15日：アコヤパ支所技術審議会（CTAM）
- 16日：ESAFC 活動ガイド改定 SILAIS セラヤ・セントラル会議
- 17日：プロジェクト終了時評価準備会議（本省、SILAIS）
- 20日：KAP 調査・調査員研修（ヌエバ・ギネア、ウラカン大学）
- 21日：KAP 調査・ヌエバ・ギネア支所タロリング保健セクター
- 22日：KAP 調査・ヌエバ・ギネア支所ナシオネス・ウニダス保健セクター
- 27日：KAP 調査・調査員研修（エル・ラマ、マルティン・ルテオ大学）
- 28日：KAP 調査・エル・ラマ支所マロン保健セクター
- 29日：KAP 調査・エル・ラマ支所ワピ保健セクター

4. 添付資料

添付資料 1：PDM 指標（2018 年 1～9 月）達成度

5. 活動写真

別添のとおり

6. 業務従事者の従事計画／実績表

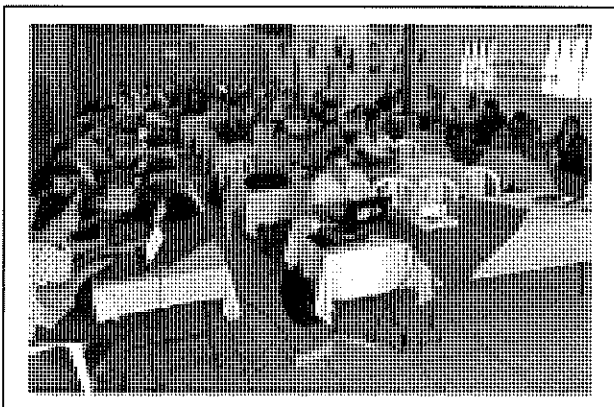
別添のとおり

PDM Versión 3指標、2018年1月～9月評価結果

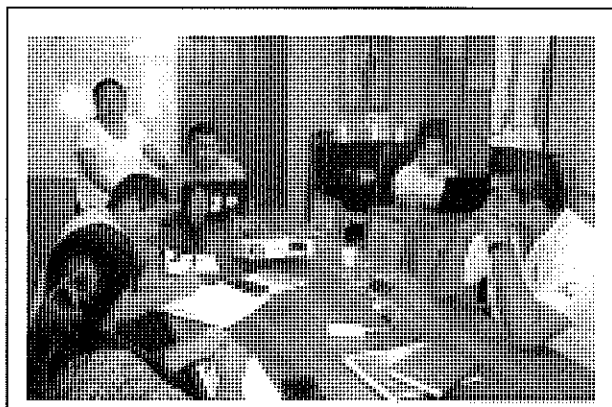
チョンタレス保健管区およびセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

目標と成果	指標	SILAIS	分母	分子	結果	
プロジェクト目標 対象地域において妊産婦と2歳未満児を対象とする質の高い保健医療サービスがより利用される。	1. 対象地域で、妊婦が1回目の産前健診を妊娠初期12週以内に受診する割合が2014年の85.5%（ベースライン）から2018年（エンドライン）に上昇する。	チョンタレス	3,403	2,515	73.9	
		セラヤ・セントラル	3,368	2,185	64.9	
		両SILAIS	6,771	4,700	69.4	
	2. 分娩施設で現在有効な分娩3期ケアと出産直後の新生児ケアの質の指標を満たす割合が2015年の59.5%（ベースライン）から2018年の80.0%（エンドライン）に上昇する。	チョンタレス	100	97.5	98.8	
		セラヤ・セントラル	94	93	93.3	
		両SILAIS	97	95	96.0	
	3. 対象地域で中期（産後2～10日）産後健診の受診率が2014年の77.4%（ベースライン）から2018年（エンドライン）に上昇する。	チョンタレス	2,957	2,545	86.1	
		セラヤ・セントラル	2,528	2,036	80.5	
		両SILAIS	5,485	4,581	83.5	
	4. 対象地域で1～4歳の1回目乳幼児健診を受ける割合が2014年の47.5%（ベースライン）から2018年の58.5%（エンドライン）に上昇する。	チョンタレス	12,381	7,326	59.2	
		セラヤ・セントラル	11,154	6,205	55.6	
		両SILAIS	23,535	13,531	57.5	
	5. 対象地域で、施設分娩のためにマタニティホームに宿泊した農村地域の妊婦の割合が2015年（ベースライン）の42.1から2018年の50.0%（エンドライン）に上昇する。	チョンタレス	1,116	735	65.9	
		セラヤ・セントラル	2,001	1,605	80.2	
		両SILAIS	3,117	2,340	75.1	
成果 1. 妊産婦と2歳未満児を対象とする医療施設でのサービス提供能力が強化される。	1-1. 保健施設で現在有効な2歳未満児へのケアの質の指標を満たす割合が2014年の46.3%から2018年の60.0%に上昇する。	チョンタレス	10支所で実施した評価の平均		73.7	
		セラヤ・セントラル	4支所で実施した評価の平均		86.5	
		両SILAIS	14支所で実施した評価の平均		80.1	
	1-2. 保健施設で現在有効な産前ケアの指標を満たす割合が2014年の46.2%から2018年の60.0%に上昇する。	チョンタレス	10支所で実施した評価の平均		69.6	
		セラヤ・セントラル	4支所で実施した評価の平均		84.0	
		両SILAIS	14支所で実施した評価の平均		76.8	
	1-3. レファラル・カウンターレファラル省令を満たす形で支所から病院へ緊急レファラルされた妊産婦及び2歳未満児のレファラル台帳の記録が80%の割合で一致する。	チョンタレス	1月～9月の平均値		96.7	
		セラヤ・セントラル	1月～9月の平均値		74.5	
		両SILAIS	1月～9月の平均値		85.6	
	1-4. レファラル・カウンターレファラル省令を満たす形で病院から支所へカウンターレファラルされた妊産婦及び2歳未満児のレファラル台帳の記録が70%の割合で一致する。	チョンタレス	1月～9月の平均値		54.3	
		セラヤ・セントラル	1月～9月の平均値		51.5	
		両SILAIS	1月～9月の平均値		52.9	
	2. 妊産婦と2歳未満児の健康に関するコミュニティ活動が強化される。	2-1. 対象地域において、100%のESAFcが住民参加型保健強化手法を用いて、活動計画を策定・実施する。	チョンタレス	82	79	96.3
			セラヤ・セントラル	74	73	98.6
			両SILAIS	156	152	97.4
2-2. コミュニティネットワークのイニシアチブの合意として実施された活動数が増加する。		チョンタレス	82	53	64.6	
		セラヤ・セントラル	74	68	91.9	
		両SILAIS	156	121	77.6	
2-3. 全てのセクターにおいて、ESAFcはコミュニティとともに分析や反映を行う。		チョンタレス	82	48	58.5	
		セラヤ・セントラル	74	68	91.9	
		両SILAIS	156	116	74.4	
3. 妊産婦と2歳未満児の健康に関するSILAISの行政能力が強化される。	3-1. SILAISの技術統合巡回指導（妊産婦管理台帳と予防接種台帳における妊産婦及び2歳未満児のケアに関するデータの正確な記録と分析、プロジェクトが実施した研修のフォロー）を受ける支所の数が増加する。	チョンタレス	30	18	60.0	
		セラヤ・セントラル	12	18	150.0	
		両SILAIS	42	36	85.7	
	3-2. 全支所は、毎月ESAFcとSILAISが同席し、妊産婦及び2歳未満児のケアに関してする活動方針を決める情報分析会議を実施する。	チョンタレス	90	36	40.0	
		セラヤ・セントラル	36	23	63.9	
		両SILAIS	126	59	46.8	
	3-3. 妊婦と2歳未満児に関する情報を正確に記録し、分析する第1次保健施設の割合が増加する。	チョンタレス	20	10	50.0	
		セラヤ・セントラル	24	16	66.7	
		両SILAIS	44	26	59.1	

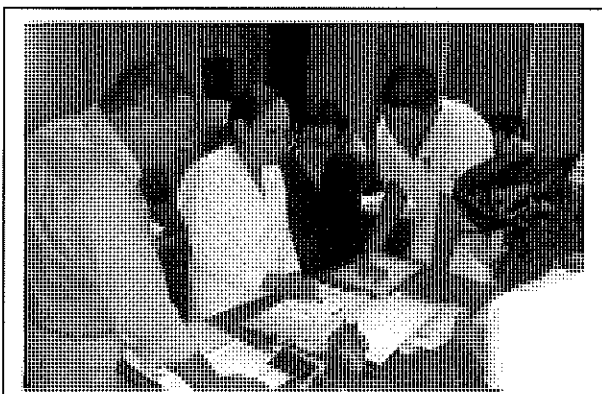
5. 活動写真



第7回プロジェクト運営委員会
本省、SILAIS、支所、JICA 事務所、
プロジェクトが参加



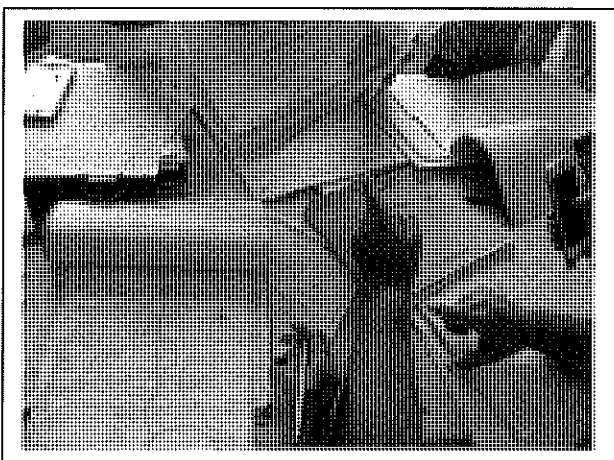
両 SILAIS
レファラル・カウンターレファラル会議
各支所がモニタリングする指標を決定



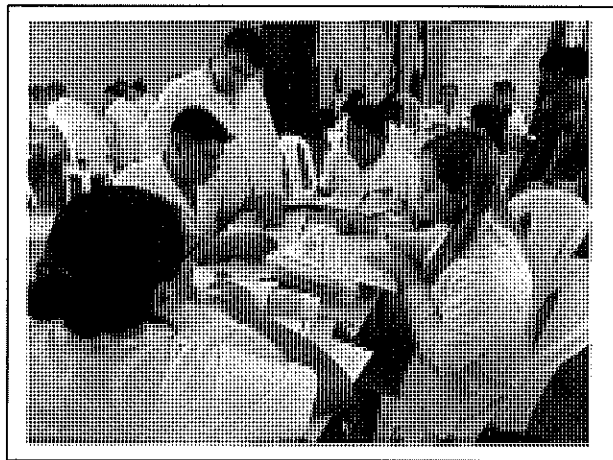
SILAIS セラヤ・セントラル
ヌエバ・ギネア支所
ESAFc 活動四半期評価



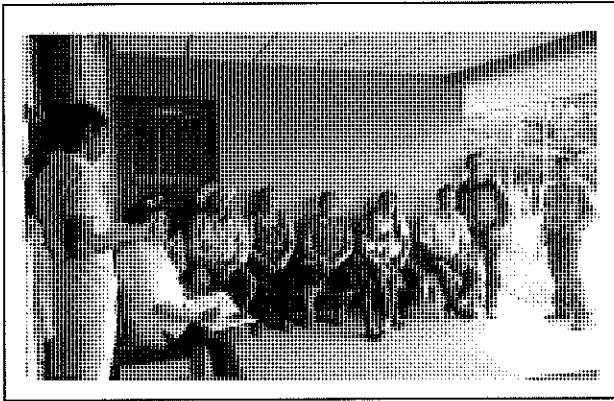
SILAIS チョントレス
ファイガルパ支所
ESAFc 活動四半期評価



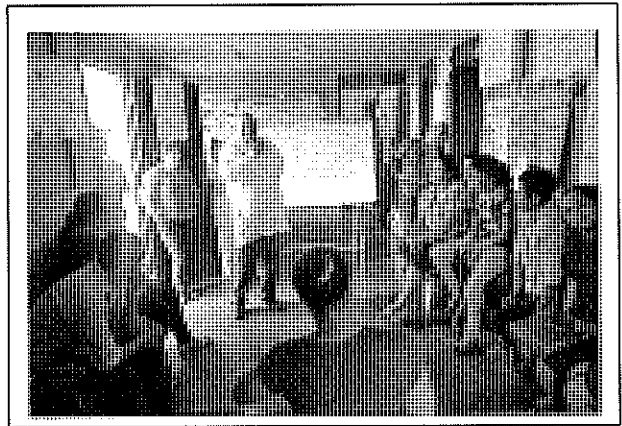
SILAIS チョントレス
コマラパ支所 ESAFc 活動四半期評価
活動実施のエビデンスを確認



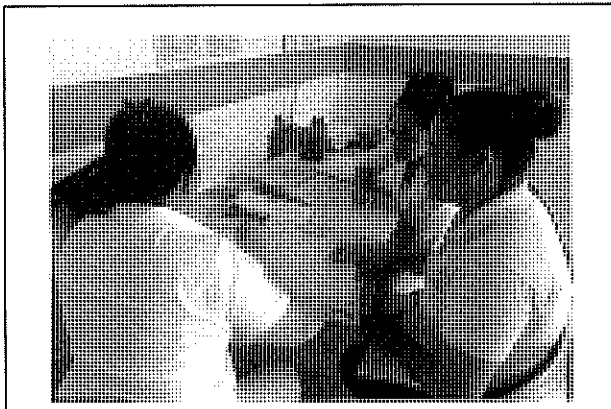
SILAIS セラヤ・セントラル
ムエジェ・デ・ロス・プエジェス支所
ESAFc 活動四半期評価



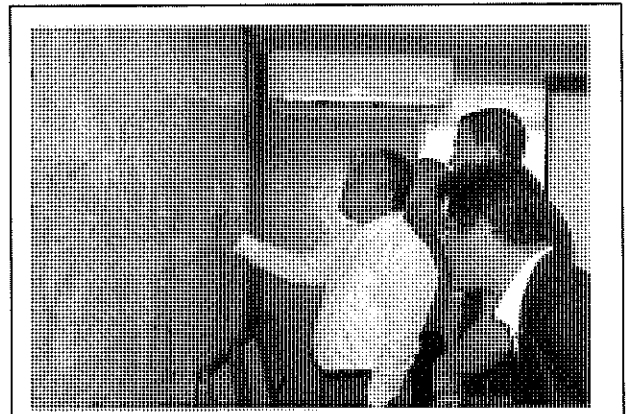
SILAIS チョンタレス
アコヤパ支所エル・チナル保健セクター
RC と KAP 調査実施について協議



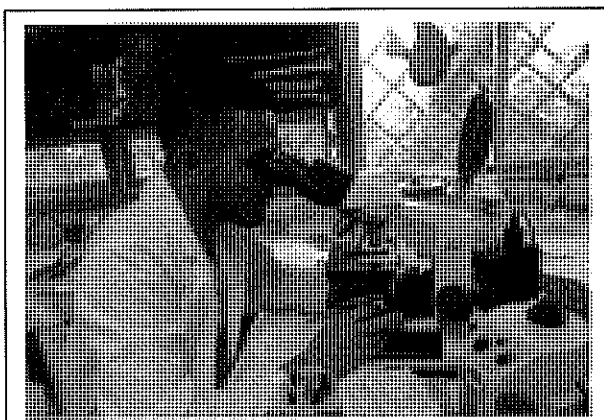
SILAIS セラヤ・セントラル
ヌエバ・ギネア支所タロリング保健セクター
RC と KAP 調査実施について協議



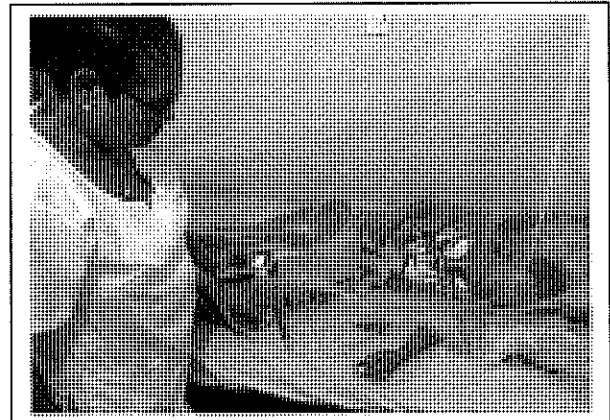
SILAIS セラヤ・セントラル
エル・コラル支所
技術統合巡回指導 (ATI)



SILAIS チョンタレス
JICA ニカラグア事務所による
安全対策調査



SILAIS セラヤ・セントラル
ヌムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所
第 2 期分供与機材
双眼顕微鏡の使用



SILAIS セラヤ・セントラル
ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所
第 2 期分供与機材
パルスオキシメーターの使用

様式 1

監督職員



2018 年 11 月 7 日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 伊藤 賢一 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区に
おける母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2018年11月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. 対象 14 支所における医療従事者研修

1) 8 項目研修プログラム

SILAIS チョンタレスで、サント・トマス支所の研修未受講者 1 名（休職中）は、「妊産婦管理台帳」と「乳幼児健診」の 2 項目が残っている。12 月に仕事に復帰するので、時間を調整して研修を実施する。また、エル・アヨテ支所では、「産前健診」と「妊娠性高血圧」の研修を終え、「産後出血」で 3 名の未受講者が残っている。

補完研修の未受講者のべ 5 名および自習義務の受講者のべ 6 名については、11 月中にすべて終了した。

2) 母子保健 5 項目のテキスト第 2 版

11 月は KAP 調査の実施と ESAFC 活動ガイドの改訂作業で多忙なため、母子保健技術委員会の開催ができなかった。しかし、プロジェクト内で、母子保健 5 項目のテキストの見直しを進めた。「妊娠性高血圧」のテキストは、省令の改正に伴い多くの修正が必要となっている。

計画 ① SILAIS チョンタレスの研修完了を目指す。

② 母子保健技術委員会は、母子保健 5 項目のテキストの改定作業を継続する。

1-2. ESAFC 活動

1) ESAFC 活動の継続

ESAFc 活動を 161 保健セクターで継続している。特に先月の四半期評価で活動の

低下が確認された SILAIS チョンタレスの 20 保健セクターへの指導強化に取り組んでいる。

2) ESAFC 活動ガイドの改定

両 SILAIS の知見を織り込んだ「ES AFC 活動ガイド」と「ES AFC 活動の好事例集」の更新版(案)を作成した。保健省保健サービス総局で認定のための検定作業を行っている。

3) 社会奉仕医師・看護師への第 2 回 KAP 調査

社会奉仕活動を 1 年間行った医師 55 人、看護師 32 人と昨年新規採用された准看護師 22 人、計 109 人に対して実施した KAP 調査の実地調査を終え、集計と分析作業を進めている。

- 計画
- ① 各支所は、ES AFC 活動を継続し、四半期評価結果で課題が明らかになった保健セクターを中心に巡回指導を行う。
 - ② ES AFC 活動ガイド(改定版)および ES AFC 活動好事例集(第二版)の保健省による認定を得る。
 - ③ 社会奉仕医師・看護師を対象に行った第 2 回 KAP 調査をプログレスレポートに加える。

1-3. レファラル・カウンターレファラル

1) 支所におけるレファラル・カウンターレファラルの分析・評価

各支所は、10 月のレファラル・カウンターレファラル合同会議で合意された量的および質的分析項目(10 月月報 1-3 参照)に沿って、各支所の審議会で分析作業を開始している。課題として、「RC から保健セクターにレファラルされたデータの取り扱いにおいて、医療従事者に周知されていない」、「地域病院からカウンターレファラルされた情報が、管理台帳に未記入もしくは管理台帳デジタル版(Excel)に反映されていない」などがあげられた。各支所ではこれらの対策案を立て、改善に取り組んでいる。

- 計画
- ① 両 SILAIS は、各支所の技術審議会(CTAM)で実施されるレファラル・カウンターレファラルのモニタリング・分析・評価の支援を継続する。

1-4. 技術統合巡回指導

1) 巡回指導の現状

両 SILAIS では技官による巡回指導が再開された。PDM 指標成果 3-1「技術統合巡回指導」、3-2「技術審議会への同席」、3-3「統計データの質管理」の支所の実施状況と SILAIS の同行回数は、表 1 のとおりであった。

表 1 支所の巡回指導と SILAIS の同行回数

支所の活動	特徴	チョンタレス		セラヤ・セントラル	
		支所実施数	SILAIS 同行回数	支所実施数	SILAIS 同行回数

技術統合巡回指導	保健セクターを訪問。活動をモニタリング・指導し、改善に取組む	6 支所 12 保健 セクター	0	2 支所 7 保健 セクター	2 支所 2 保健 セクター
支所の技術審議会 (CTAM) 開催	保健セクターの医療チームが出席する支所レベルの技術審議会	9 支所	7 支所	4 支所	4 支所
統計データの質管理	保健セクターが扱う様々な統計データの質を確認	2 支所 2 保健 セクター	2 支所 2 保健 セクター	1 支所 1 保健 セクター	1 支所 1 保健 セクター

技術統合巡回指導は、全 14 支所で計画されている。SILAIS チョントレスの 10 支所で計 44 回計画されて、実施されたのは 12 回 (27.3%) であった。SILAIS セラヤ・セントラルでは 4 支所で 16 回計画され、実施は 7 回 (43.8%) であった。実施できなかった主な理由として、「優先すべき医療サービス、業務が発生してしまった」「巡回指導の人員が不足した」などがあげられた。

SILAIS チョントレスで、セクターが参加する技術審議会 (CTAM) が開催されなかったのはクアパ支所である。その理由は、CTAM の開催日を変更し、変更後の開催日に保健セクターから医療従事者が集まらなかったためであった。また、10 支所中、3 支所で当初計画の日程で技術審議会が開催できず、日程を変更している。これにより、SILAIS 技官の同行ができなかったケースがある。

統計データの質管理を実施した「正確な分析」についての評価は、SILAIS チョントレスのサン・ペドロ・デ・ロパゴ支所で 72.3%、アコヤパ支所で 81.0% であった。また、SILAIS セラヤ・セントラルではヌエバ・ギネア支所で 92.8% であった。両 SILAIS 共通の弱点である①記入漏れ、②記入ミス、③データの不一致に関して説明し、改善策を提案している。

1-5. エンドライン調査

1) 2017 年に出産した母親への KAP 調査

KAP 調査は、実施計画 (2018 年 10 月) どおり 7 パイロット保健セクターで行った。調査では、留守などで面会できなかった母親のほか、情報提供を拒む母親も想定内ながらいた。特にサント・ドミンゴ支所・アコヤパ支所では、調査に同意しない母親に加え、非協力的な RC が目立った。これは、調査を政府系の活動ととらえ、拒否したと考えられる。

KAP 調査実施結果は、表 2 のとおりであった。KAP 調査は、全て 11 月中に終了した。実施に際し、治安やトラブルが心配されたが、大学の協力も得られ、事故もなく完了した。

表 2 KAP 調査実施結果

支所名	保健セクター名	調査予定妊婦数	調査妊婦数	調査率
サント・ドミンゴ	ロス・チナモス	28 人	24 人	85.7%
アコヤパ	エル・チナル	26 人	18 人	69.2%
	サン・フェリペ	12 人	9 人	75.0%
ヌエバ・ギネア	タロリंगा	25 人	20 人	80.0%
	ナシオネス・ウニ	47 人	43 人	91.5%

	ダス			
エル・ラマ	マロン	35 人	28 人	80.0%
	ワピ	86 人	60 人	69.8%
	合計	259 人	202 人	78.0%

【計画】 ① 母子保健サービス実態調査および KAP 調査の集計と分析を行う。

1-6. 国際フォーラム準備会議

日本人専門家復帰後はじめて、国際フォーラムに関する主催三者合同会議を下記 1) のとおり開催した。フォーラム日程、招待国、協議テーマ、アジェンダ、ロジスティックスに関して、2) のとおり合意した。

1) 日時、場所、参加者

【日時】 2018 年 11 月 26 日午前 9 時 15 分～午前 11 時 10 分

【場所】 PAHO/WHO ニカラグア事務所会議室

【参加者】

- 保健省：クルス保健サービス総局長、ポエデッカー対外協力局長
- PAHO/WHO ニカラグア事務所：グロス所長、フロレンシオ保健サービス・保健システム担当技官、アギラル地域保健・母子保健担当技官
- JICA ニカラグア事務所：グティエレス保健分野担当オフィサー
- プロジェクト：中村総括

2) 会議合意事項

① フォーラム日程

- 3 月 28 日（木）と 29 日（金）の 2 日間。
- 事前準備ビデオカンファレンスを、2 月 9 日（金）に行う。

② 招待国

- JICA 予算で 6 か国：グアテマラ、ホンジュラス、ドミニカ共和国、ボリビア、パラグアイ、メキシコ（JICA メキシコ予算）
- PAHO 予算で 7 か国：ベリーズ、エルサルバドル、コスタリカ、パナマ、キューバ、ウルグアイ、ブラジル
（① 全中米、② PHC と UHC で優位性があり、中米の保健と類似性の高い国を選択している。選定した国は変更される可能性がある。）

③ 招待者と滞在費

- 各国 2 人を基本とする。1 人は中央の PHC 政策担当官、1 人は PHC の実践者を選定基準としている。JICA 予算招待者は、PHC 政策担当官のほか、各プロジェクトの C/P の中から PHC の実践者の招聘を要請する。
- ニカラグア国内の経費（日当宿泊費）は、プロジェクト予算でカバーする。
- 各国への招待状は、12 月中に外務省へ提出する。

④ 協議テーマ

- 当初案の 4 項目から 3 項目とし、詳細については、プロジェクト作成の草案に PAHO が修正を加え、保健省が最終版を仕上げる。保健省は、各テーマのモデレーターおよび各協議の論点を定める。

⑤ 各国の発表

- 当初予定していた各国からの活動発表は取りやめる。1 日目にニカラグア保健省、PAHO/WHO、JICA の基調講演の後、協議テーマ別に活動先進国が発表し、

2日目に協議テーマ別グループワークにおいて、それ以外の国が発表する。

- ⑥ 会場運営
 - 会場の変更はなし。Hotel Hex コンベンションセンターとする。
 - フォーラム経費はプロジェクトが負担し、ロジスティックスもプロジェクトが担う。
- ⑦ ニカラグア保健省の参加者数
 - 80名（本省：10名、プロジェクト対象 2SILAIS：19名、その他 17SILAIS：51名）とする。当初予定していた 95名から減員した。
- ⑧ 次回会議
 - 12月11日（火）午前9時

計画 ① 国際フォーラムの招待状および計画案を保健大臣の承認を得て、外務省へ提出する。

1-7. 全国セミナー

1) 全国セミナー開催の調整

保健サービス総局は、全国 SILAIS の研修ファシリテーターに対する様々な分野の研修を 11-12 月に実施しており、それらの中にプロジェクトの研修も含めることを検討していた。しかしながら、テキスト改定など準備作業が間に合わず実施は、困難であると判断した。保健省本省の技官向けの研修は、2019 年 2 月第 2 週、全国セミナーは 2019 年 4 月の開催で調整した。

1-8. 運營業務

1) プロジェクト終了時評価

評価グリッドを作成（添付資料 1）し、終了時評価の準備作業を開始した。

1-9. 関連事項

1) 保健省の研修による活動への影響

保健省は、援助機関などの支援を得て、毎週火曜日から金曜日にかけて、財務管理、医薬消耗品、青少年対策、愛育教育、慢性疾患、感染症対策、精神疾患、自然療法、鍼灸コースなど多岐にわたる研修を本省で開催している。これらの中で先の政情不安により実施できなかった研修の年内の完了を目指し、今年は、特に 11 月から年末にかけて、保健省での研修実施計画が過密に組まれている。それらに参加するため、毎日 SILAIS チョントレスから数台の車両がマナグアへ出張往復し、多い時は 1 日 5 台に及ぶ。これにより、技術統合巡回指導等の業務実施が困難な状況である。

2) フィガルパ自治大学看護学部で ESAFC 活動ガイドの導入

フィガルパ自治大学看護学部では、定期的にフィールド実習として、SIL AIS チョントレスの診療施設へインターンを派遣している。インターン派遣前に、その手引書として、ESAF C 活動ガイドが授業で使われることになった。これは、SIL AIS チョ

ンタレスのアギラル局長(12月3日付で異動)が大学側へ働きかけたことによる。看護学生は、1年間の社会奉仕前にインターンとして ESAFC 活動に参加し、RC との活動に取り組むことが期待されている。

2. 主な活動日程

<11月>

- 1日: ESAFC 活動ガイド改定会議
- 5日: SILAIS チョンタレス技術審議会 (CTOD)
- 6日: KAP 調査・調査員研修 (フィガルパ自治大学)、SILAIS チョンタレス保健サービス審議会 (CTSS)
- 7日: KAP 調査・サント・ドミンゴ支所チナモス保健セクター
- 8日: KAP 調査・アコヤパ支所サン・フェリペおよびエル・チナル保健セクター
- 9日: ESAFC 活動ガイド改定会議
- 12日: SILAIS チョンタレス技術審議会 (CTOD)、SILAIS チョンタレス保健サービス審議会 (CTSS)、SILAIS セラヤ・セントラル技術審議会 (CTAD)
- 13日: ESAFC 活動ガイド改定 SILAIS チョンタレス会議、エル・ラマ支所技術統合巡回指導
- 14日: ESAFC 活動好事例集改定会議、エル・ラマ支所マロン保健セクター会議 (KAP 調査準備)
- 15日: アコヤパ支所技術審議会 (CTAM)、サント・トマス支所技術審議会 (CTAM)、ヌエバ・ギネア支所ナシオネス・ウニダス保健セクター会議 (KAP 調査準備)
- 16日: ESAFC 活動ガイド改定 SILAIS セラヤ・セントラル会議
- 17日: プロジェクト終了時評価準備会議 (本省、SILAIS)
- 19日: SILAIS チョンタレス技術審議会 (CTOD)、SILAIS セラヤ・セントラル・プロジェクト評価グリッド会議
- 20日: KAP 調査・調査員研修 (ヌエバ・ギネア、ウラカン大学)
- 21日: KAP 調査・ヌエバ・ギネア支所タロリング保健セクター
- 22日: KAP 調査・ヌエバ・ギネア支所ナシオネス・ウニダス保健セクター
- 23日: SILAIS チョンタレス・プロジェクト評価グリッド会議
- 26日: 国際フォーラム準備会議、SILAIS チョンタレス技術審議会 (CTOD)、SILAIS セラヤ・セントラル技術審議会 (CTOD)
- 27日: SILAIS チョンタレス保健サービス審議会 (CTSS)、母子保健テキスト改定会議
- 28日: KAP 調査・調査員研修 (エル・ラマ、マルティン・ルテオ大学)
- 29日: KAP 調査・エル・ラマ支所マロン保健セクター
- 30日: KAP 調査・エル・ラマ支所ワピ保健セクター

3. 今後の予定

<12月>

- 4~5日: 母子保健テキスト改定会議
- 11日: 国際フォーラム準備会議
- 14日: ESAFC 活動ガイド改定会議
- 15日: プロジェクト終了時評価準備会議 (本省、SILAIS)

20日：JICA ニカラグア安全対策連絡協議会

24日～1月2日：保健省年末年始休暇

<1月>

9日：鈴木一代（機材保守管理）専門家着任

16日：石原尚子（母子保健）専門家着任、渡辺咲子（業務調整）専門家着任

4. 添付資料

添付資料1：プロジェクト終了時評価・評価グリッド

5. 活動写真

別添のとおり

6. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

終了時評価グリッド

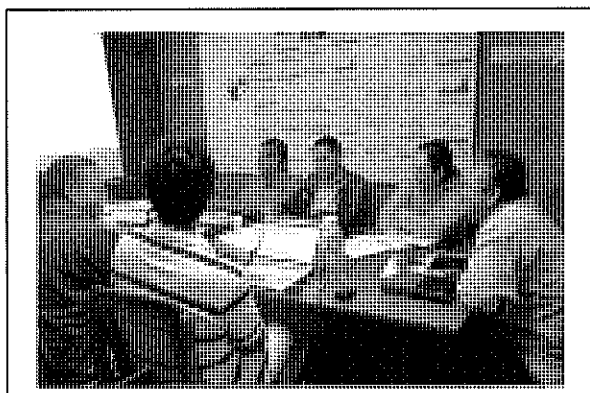
	評価項目		必要な情報/データ	
	大項目	小項目		
実績の検証	投入は計画通り実施されているか	専門家の派遣（日本側）	派遣時期、人数、担当分野	
		資金投入の実績（日本側）	報告書、関係者の意見	
		資機材投入の実績（日本側）	提供機材リスト、現状機材と提供リストとの整合、作動確認	
		C/Pの研修派遣実績（日本側）	派遣実績、人数、担当分野、派遣者のレベル	
		JCCの設置（ニカラグア側）	委員会の活動状況	
		C/Pの配置（ニカラグア側）	人数、延べ人数、内訳	
		C/Pに関する給与、手当の負担（ニカラグア側）		
		プロジェクトの活動に必要な資機材の調達（日本側）	調達実績	
	成果は計画通り産出されているか	成果1：妊産婦と2歳未満児を対象とする医療施設でのサービス提供能力が強化される。	研修プログラム構築に関して	レファラル・カウンターレファラルに関して
				医療機材の供与・配置、機材管理に関して
		成果2：妊産婦と2歳未満児の健康に関するコミュニティ活動が強化される。	ESAFG活動に関して	
			成果3：妊産婦と2歳未満児の健康に関するSILAISの行政能力が強化される。	技術統合巡回指導（ATI）に関して
		技術審議会（Consejo Técnico）に関して		
		妊産婦および2歳未満児ケアの強化に関して		
成果4：国家承認された知見や好事例が全SILAISに共有される。		統計データの質管理に関して		
		国際フォーラム、全国セミナーに関して		
プロジェクト目標達成の見込み（対象地域において妊産婦と2歳未満児を対象とする質の高い保健医療サービスがより利用される。）	プロジェクト目標達成見込みの検証指標の達成状況を確認	対象2保健管区保健局、病院、保健所等の関係者等の意見、コメント及び対象医療施設の利用者の意見、コメント等		
		対象2保健管区保健局、病院、保健所等の関係者等の意見、コメント及び対象医療施設の利用者の意見、コメント等		
実施プロセスの検証	活動進捗の検証	活動は計画通り実施されているか ニカラグア保健省との活動進捗	活動計画の確認、関係者の意見	
		JICAとの活動進捗検証		
	技術移転の検証	技術移転の方法に問題はないか	技術移転の方法、関係者の意見	
プロジェクトマネジメント体制の検証	プロジェクトのマネジメント体制に問題はないか	関係者の意見、マネジメント体制の確認		
		JICA本部、在外事務所とのコミュニケーションは効果的に行われたか	コミュニケーションの頻度、方法、計画変更時の対応、協力内容	

評価項目		必要な情報/データ	
大項目	小項目		
	プロジェクト内のコミュニケーションの状況は良好か、共同して問題に対処しているか	意思決定プロセス、体制、方法	
	受益者とのコミュニケーションは効果があったか		
	モニタリングの仕組みや意思決定過程が明確であり、実際に運用されているか		
実施機関のオーナーシップの検証	実施機関やC/Pのプロジェクトに対する認識は高いか	ターゲットグループとのかかわり方、頻度、関係者の意見	
	適切なC/Pが配置されたか		
	C/Pの積極性が見られるか		
	実施機関がプロジェクトの進捗に興味を持っているか		
ターゲットグループや関係組織の意識の検証	ターゲットグループや関係組織のプロジェクトへの参加度やプロジェクトに対する認識は高いか	ターゲットグループとのかかわり方、頻度、関係者の意見	
	ターゲットグループや関係組織のプロジェクトに関わる時間は十分にあるか		
援助協調の検証	JICA他案件や他援助機関の協力プログラムとの協力体制は適切か <JICA類似案件> <他援助機関>	協力案件、協力機関、協力内容	
促進要因と阻害要因の検証	プロジェクトの実施過程で生じている問題や効果発現に影響を与えた要因は何か	発生した問題、原因、対策、結果	
妥当性	対象地域・社会のニーズへの合致	対象地域・社会における保健セクターの位置付け及び母子保健の保健セクターにおける位置づけ	母子保健の保健政策における位置付け
		ニカラグアにおける母子保健の現状	母子保健に関する統計
	ターゲットグループのニーズへの合致	C/Pは本プロジェクトをどのように捉えているか C/P機関における本プロジェクトの位置付けはどうなっているか	関係者の意見
	日本の援助政策との整合性	対ニカラグア国別援助計画と一致しているか	国別援助計画の優先分野
	ニカラグア保健政策との整合性	保健政策に対してプロジェクトのアプローチは適切か 他機関、関係者の活動はプロジェクトと補完関係にあるか	保健政策における母子保健に係る優先順位 他ドナーによる母子保健の他のプロジェクトの状況、関係者の意見
	日本の技術の比較優位性はあったか	日本においてノウハウが蓄積されている分野であるか 日本の経験は生かされたか	関連資料や関係者の意見
	プロジェクト開始後にプロジェクトを取り巻く環境に変化があったか	プロジェクトをとりまく環境(政策、経済、社会等)に変化はあったか	
有効性	プロジェクト目標をどの程度達成しているか	プロジェクト目標の達成の見込みはあるか	
	プロジェクト目標は終了までに達成される見込みはあるか	プロジェクト目標の達成に影響を与えた阻害要因はあったか	

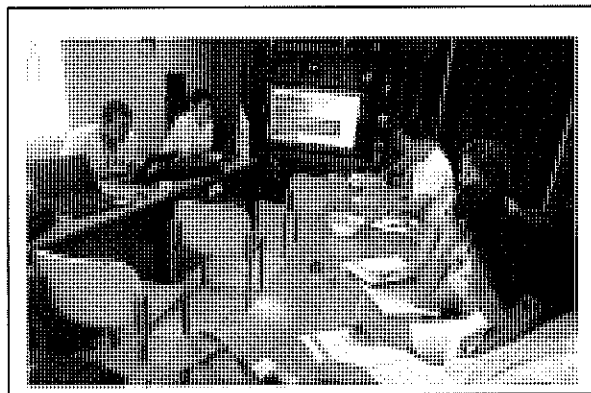
	評価項目		必要な情報/データ
	大項目	小項目	
	プロジェクト目標を達成するための成果レベルの外部要因に変化はあったか	最新版PDMの成果レベルの外部要因は未だ有効か	PDM、関係者の意見
		外部要因は成果産出に影響を与えたか	
	成果はプロジェクト目標を達成するのに十分であるか 指標は適切か	成果がプロジェクト目標を達成するのに貢献しているか	PDM、関係者の意見
		プロジェクト目標の指標設定	
効率性	適切な成果が得られているか	投入より適切な成果が得られているか	
	成果を阻害する要因はあったか	成果を阻害する要因はなにか	PDM、関係者の意見
	活動は成果を得るのに十分であったか	活動は成果を促進しているか	PDM、関係者の意見
	活動を実施するために過不足ない量・質の投入が行われたか また、投入のタイミングは適切だったか	活動を実施するために過不足ない量・質	
	活動はタイミングよく実施されたか	活動のタイミング	PO、関係者の意見
	類似プロジェクトと比較してプロジェクト目標の達成度は投入コストに見合っているか	より低いコストで達成する代替手段はなかったか 同じコストでより高い達成度を実現することはできなかったか	類似プロジェクト文書、関係者の意見
	インパクト	上位目標達成の見込み	投入・アウトプットの実績、活動の状況に照らし合わせて、上位目標は、プロジェクトの効果として発現が見込まれるか
上位目標を達成するための阻害する要因はあるか			PDM、関係者の意見
上位目標はプロジェクト目標と乖離していないか			PDM、関係者の意見
上位目標を達成するためのプロジェクト目標レベルの外部要因の変化		最新版PDMの活動レベルの外部要因は未だ有効か 外部要因が満たされる可能性は高いか	PDM、関係者の意見
上位目標以外の正負のインパクトは生じたか		正のインパクトはなにか 負のインパクトはあるか その他の影響	経済、社会統計上の数値の変化、メディアや市民社会、関係者の意見
ジェンダー、民族、社会的階層の違いにより、異なったインパクトが生じているか		ジェンダー、人権、貧富など社会・文化的側面への影響 対象社会、プロジェクト関係者、受益者への経済的影響 その他の影響	経済、社会統計上の数値の変化、メディアや市民社会、関係者の意見
持続性		政策、制度面での継続性	政策的支援は継続しているか（ニカラグア保健政策のレビュー）
	関連規制、法制度に大きな変更はないか		母子保健関連の各種ガイドライン、マニュアルの活用、改訂状況の確認
	日本の協力終了後、上位目標達成に向けた活動が継続されるか		C/P等の関係者へのヒアリング
	組織・財政面での継続性	日本の協力終了後も、効果を上げていくための活動を実施するための組織能力はあるか	関係者へのヒアリング、活動報告書等

評価項目		必要な情報/データ
大項目	小項目	
	実施機関において、プロジェクトに対するオーナーシップ及び活動を実施する組織能力はあるか	
	意思決定のプロセスは適切に機能しているか	関係者へのヒアリング、活動報告書等
	人材配置は継続されるか	プロジェクト終了後の活動、組織体制、資機材維持管理費等の予算措置の状況、関係者へのヒアリン
	経常経費を含む予算の確保は行われるか、ニカラグア側の予算措置は十分に講じられているか	
	プロジェクトの実施により将来の予算が増える可能性はどの程度あるか、その予算確保のための対策は十分か	
技術面での継続性	プロジェクトで用いられる技術移転の手法は、受容されつつあるか（技術レベル、社会的。慣習的要因等）	維持管理方法の確立、メンテナンスブック等の有無、運用状況、関係者へのヒアリング
	資機材は適切に維持管理、活用されるか	
	普及のメカニズムはプロジェクトに取り込まれているか	
	実施機関が普及のメカニズムを維持できる可能性はどの程度あるか	関係者へのヒアリング、活動報告書等
社会・文化・環境面での持続性	女性、貧困層、社会的弱者及び環境への配慮不足が持続的効果を妨げないか	
総合的持続性	総合的に勘案して当プロジェクトの持続性は高いか、低い	関係者へのヒアリング、活動報告書等

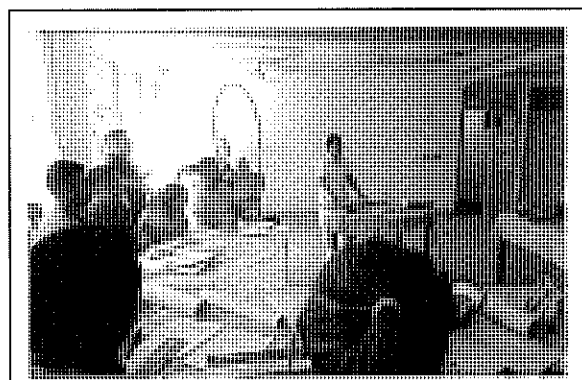
5. 活動写真



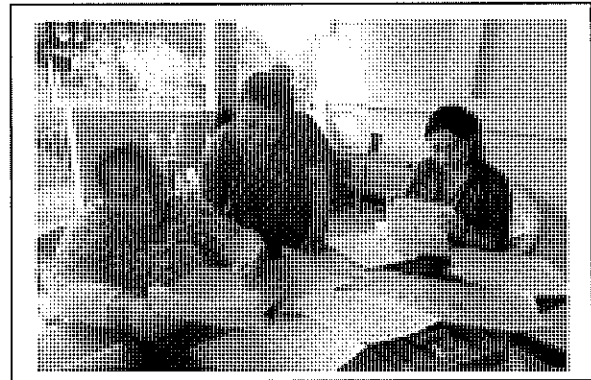
プロジェクト終了時評価
DGSS 総局長、DCE 局長、両 SILAIS 局長、
保健サービス課長、プロジェクトメンバー



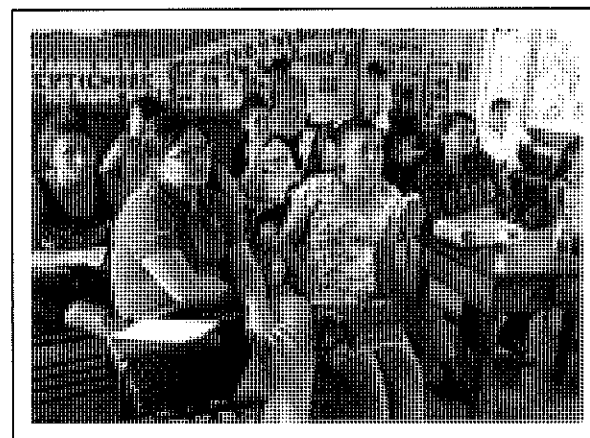
ESAFC 活動ガイド改定会議
SILAIS セラヤ・セントラル



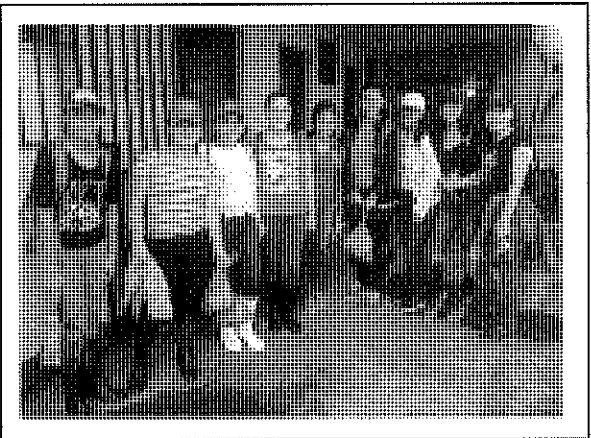
保健セクターが参加する支所審議会
エル・ラマ支所
SILAIS セラヤ・セントラル



技術統合巡回指導
エル・ラマ支所サンタ・リタ保健セクター
SILAIS セラヤ・セントラル



KAP 調査
調査の事前講習を受講する女子大学生
マルティン・ルテオ大学ワピ校にて

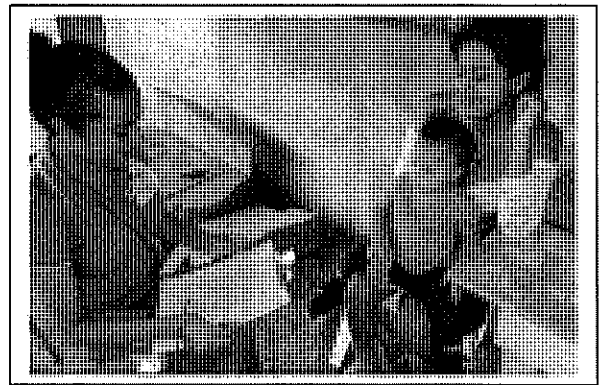


KAP 調査
フィガルパ自治大学の女子学生
SILAIS チョントレスにて



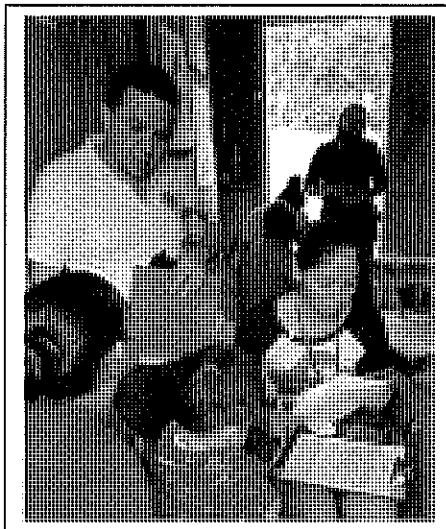
KAP 調査

雨が降ったり止んだり
アコヤパ支所エル・チナル保健セクター



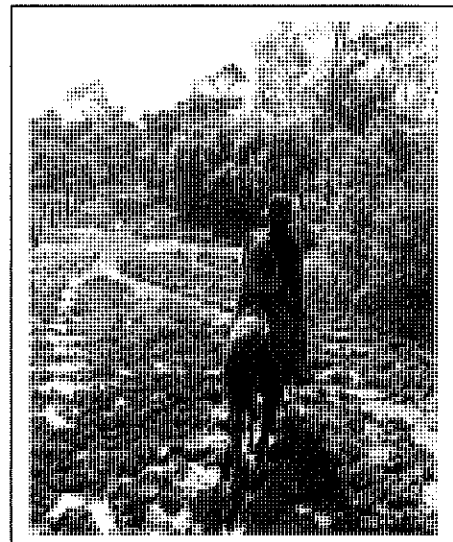
KAP 調査

家庭訪問し母親にインタビュー
ヌエバ・ギネア支所タロリング保健セクター



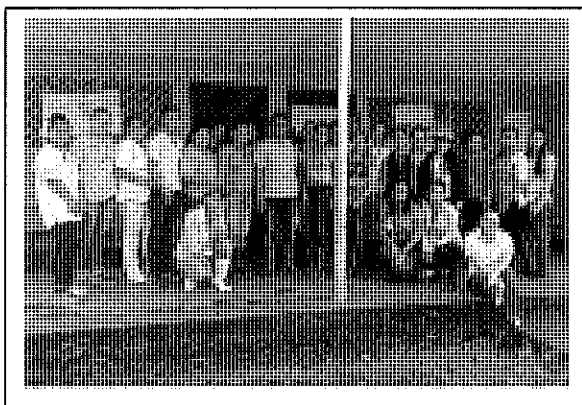
KAP 調査

保健の家 (Casa Base) でインタビュー
エル・ラマ支所マロン保健セクター



KAP 調査

エル・トロ集落へ馬に乗り母親を探す
エル・ラマ支所マロン保健セクター



KAP 調査

学生調査員と ESAFC (医療従事者と RC)
ヌエバ・ギネア支所
ナシオネス・ウニダス保健ポスト



KAP 調査

深い泥に前進を阻まれる
エル・ラマ支所ワピ保健セクター

Aoki

2019 月 1 月 9 日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 青木 恒憲殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区に
おける母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2018年12月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. 対象 14 支所における医療従事者研修

1) 8 項目研修プログラム

SILAIS チョンタレスで、サント・トマス支所の研修未受講者 1 名とエル・アヨテ支所の同 3 名に研修を実施し、全ての 8 項目研修を終了した。また、新たに支所に着任した社会奉仕の看護師（フィガルパ支所 2 名、サント・トマス支所 1 名）に対して研修を実施した。これを含め、12 月までに、両 SILAIS で全ての 8 項目研修を完了した。

2) 母子保健 5 項目のテキスト第 2 版

両 SILAIS 母子保健技術委員会で、母子保健 5 項目のテキストの見直し作業を終了した。両 SILAIS で、局長による最終確認を行っている。

【計画】①両 SILAIS 局長による母子保健 5 項目のテキストの最終確認を終了し、保健省保健サービス総局 (DGSS) による最終チェックを経て、承認申請を行う。

②研修事前・事後テスト、症例検討教材等を含む研修ファシリテーター用ガイドの改定作業を開始する。

1-2. ESAFC 活動

1) ESAFC 活動の継続と SILAIS チョンタレスの ESAFC 活動再強化

ヌエバ・ギネア支所のファティマ保健セクターが閉鎖されているので、ESAFc 活動は、同保健セクターを除く 160 保健セクターで継続している。2018 年 9 月まで

の進捗評価で、SILAIS チョントレスでは、20 保健セクターで点数の低下が確認された。その要因には、政情不安による道路封鎖などがあったが、家庭調査票や ESAFC 主体の活動などで停滞が確認されたため、10 支所の研修ファシリテーター、地域保健担当または看護師長を集め、ESAFc 活動再強化研修会を開催した。再強化研修では、ESAFc 活動ガイドの改定版（草案）を用いた。支所・活動別の評価結果は、表 1 のとおりであった。

表 1. 支所別の四半期評価結果（2018 年 9 月）

支所	活動	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期
		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
両 SILAIS チョントレス	アコギ	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5
	コギ	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5
	カギ	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5
	カギ	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5
	カギ	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5
	カギ	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5
	カギ	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5
	カギ	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5
	カギ	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5
	カギ	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5
両 SILAIS センター	カギ	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5
	カギ	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5
	カギ	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5
	カギ	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5

2) ESAFC 活動ガイドの改定

両 SILAIS の知見を織り込んだ「ESAFc 活動ガイド(改定版)」と「ESAFc 活動の好事例集(第 2 版)」について、先月に引き続き保健省保健サービス総局で承認に向け、検定作業を行っている。

- 計画
- ① SILAIS チョントレスの 10 支所で、カスケード方式による ESAFC 活動の再強化研修を実施する。
 - ② 両 SILAIS および各支所は、ESAFc 活動を継続し、四半期評価結果で課題が明らかになった保健セクターを中心に巡回指導を行う。
 - ② DGSS は、ESAFc 活動ガイド(改定版)及び ESAFC 活動好事例集(第二版)の検定作業を終了し、認定する。

1-3. 技術統合巡回指導

1) 巡回指導の現状

両 SILAIS では技官による巡回指導を継続している。PDM 指標成果 3-1「技術統合巡回指導」、同 3-2「技術審議会への同席」の支所の実施状況と SILAIS の同行回数は、表 2 のとおりであった。

表 2 支所の巡回指導と SILAIS の同行回数

支所の活動	特徴	チョントレス		セヤ・セントラル	
		支所実施数	SILAIS 同行回数	支所実施数	SILAIS 同行回数

技術統合 巡回指導	保健セクターを訪問。活動 をモニタリング・指導 し、改善に取り組む	7 支所 14 保健 セクター	3 支所 3 保健 セクター	4 支所 11 保健 セクター	3 支所 4 保健 セクター
支所の技術審 議会 (CTAM) 開催	保健セクターの医療チー ムが出席する支所レベル の技術審議会	10 支所	9 支所	4 支所	4 支所

技術統合巡回指導は、全 14 支所で計画され、11 支所で実施された (実施率:78.6%)。前月に SILAIS チョントレスが巡回指導に同行した回数は 0 回であったが、12 月は 3 回と改善された。

また全 14 支所で、セクターが参加する技術審議会 (CTAM) が開催され、うち 13 支所に SILAIS の技官が同席した。同席できなかったのは、エル・アヨテ支所であり CTAM の開催日を変更したためであった。CTAM では、本省及び SILAIS の活動計画の指示と共有、医薬消耗品管理、疫学データ・妊産褥婦監理状況・レファラル・カウンターレファラルについての分析及び意見交換、ESAFG 活動の進捗などが実施されている。

2) PDM 指標成果 3-3「統計データの質管理」の現状

統計データの質管理を実施した「正確な分析」についての評価は、3 か所の支所と 8 か所の保健セクターで実施された。評価結果を表 3 に示す。全支所で 90% を超え、保健セクターでは、5 か所で 90% 以上、2 か所で 80% 以上の達成を確認した。ムーアン保健セクターの評価結果が低かったのは、記入漏れの多く確認され、健診カルテに記述があるものの、妊産婦管理台帳や他に記入すべき場所への記述を怠っていたことが主な要因であった。

表 3 統計データの質管理評価結果

SILAIS	統計データの質管理実施場所	評価結果
チョントレス	クアパ支所	92.5%
	コマラパ支所	90.0%
	ビジャ・サンディーノ支所	91.5%
	ビジャ・サンディーノ支所ムーアン保健セクター	42.5%
セラヤ・セントラル	エル・コラル支所	96.5%
	エル・コラル支所ラ・サントス保健セクター	90.5%
	エル・ラマ支所サン・ペドロ保健セクター	90.0%
	エル・ラマ支所ロサリオ・ムリージョ保健セクター	83.0%
	エル・ラマ支所シウダデラ保健セクター	90.0%
	ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所ラ・パテア保健セクター	87.0%
	ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所ソンプレロ・ネグロ保健セクター	97.0%

1-4. エンドライン調査

1) 母子保健サービス実態調査

10 月までに実施した標記実態調査は、分析作業を進めている。

2) 2017 年に出産した母親への KAP 調査

11月に実施した標記 KAP 調査は、集計作業が終了し、分析作業を行っている。

計画 ① 母子保健サービス実態調査と KAP 調査の分析を完了する。

1-5. 国際フォーラム準備会議

国際フォーラムに関する主催三者(保健省、PAHO/WHO、JICA)合同会議を下記 1) のとおり開催し、国際フォーラム計画書の更新作業を行った。(添付資料 1. 家庭地域保健国際フォーラム計画書)

1) 日時、場所、参加者

【日時】2018年12月18日、午前9時10分～午前11時10分

【場所】PAHO/WHO ニカラグア事務所会議室

【参加者】

- 保健省：クルス保健サービス総局長、エルナンデス保健サービス局長、教育総局モラレス総局長代理
- PAHO/WHO ニカラグア事務所：フロレンシオ保健サービス・保健システム担当技官
- JICA ニカラグア事務所：上村企画調査員、グティエレス保健分野担当オフィサー
- プロジェクト：中村総括

2) 11月の合同会議からの変更内容

- フォーラムのテーマを3つから以下の4つに変更。
 - ① ユニバーサル・ヘルスとSDGsの目標のための課題
 - ② PHCと保健サービス統合ネットワークにおけるユニバーサル・ヘルス
 - ③ 包括的保健ケアにおける住民参加
 - ④ PHCと非感染性疾患
- テーマ変更に伴うアジェンダの修正
- 発表時間を延長

計画 ① 国際フォーラムの招待状及び計画案を保健大臣の承認を得て、外務省へ提出する。

1-6. 第2期分供与機材

1) 追加供与機材（新生児用ベッド）

第2期の追加供与機材である新生児用ベッド3台の通関に1か月以上を要した。プロジェクト専門家と保健省機材保守管理センターの技官が、マナグアで機材の検収を行い、翌日3か所の保健センター（コマラパ、サン・ペドロ・デ・ロバゴ、ピジャ・サンディーノ）に、それぞれ機材配置を完了した。プロジェクトで計画していた供与機材の納品・配置は、すべて完了した。

1-7. 運營業務

1) プロジェクト終了時評価

評価グリッドを基に、保健省保健サービス総局長、対外協力局長、両 SILAIS 局長、両 SILAIS 保健サービス課長とプロジェクトメンバーによるプロジェクト終了時評価およびプログレスレポートの作成を開始した。

1-8. 関連事項

1) 人事異動

12月3日に、SILAIS チョントレス局長の S. アギラル氏が、SILAIS レオンへ急遽異動した。今回の人事異動の要因は、SILAIS レオン内で、12月1・2日の2日間に4名のデング熱患者が死亡したことである。SILAIS レオンでは、SILAIS 局長と地域病院長が更迭された。これに伴い、SILAIS チョントレス内では、12月中に下記人事異動が実施された。

異動前	異動後
D. シリアス、SILAIS チョントレス疫学課長	SILAIS 局長
A. パルベルデ、サント・トマス支所長	SILAIS チョントレス疫学課長
J. ミランダ、ラ・リベルタ支所長	サント・トマス支所長
R. ガルシア、ラ・リベルタ支所疫学担当	ラ・リベルタ支所長

2) 両 SILAIS の 2018 年度評価会

両 SILAIS は、市役所、市政治員、RC、関係機関などを招き、SILAIS2018 年活動評価会を 12 月 14 日にそれぞれ開催した。保健省は、住民の意見を聞く場として、毎年一度、この年次評価会を実施している。

SILAIS チョントレスからは、様々な保健指標が紹介され、プロジェクトについては、供与機材、ESAFc 活動、研修についての成果が発表された。参加者からは、住民としてコミュニティ活動に参加することの意義および重要性と、医療従事者への感謝が述べられた。プロジェクト開始前（または、プロジェクト1年目）はこの評価会で、住民から保健活動への参加に関するポジティブな発言はなかったが、プロジェクト活動を通じた意識と行動の変容について、より具体的な言葉でそれらが示されるようになった。

住民代表より SILAIS に対し、医薬品の在庫管理の改善（保健省の医薬品が不足しているが、資金不足で住民側が求める調達の実施されていない）、病院の外来のサービス向上（外来診察に関して以前より診察を受けられる患者の数についてのクレームが多いが、専門医の診察は1日25人と定められており、それ以上の診察が行われていないのが実態である）が求められた。薬品の配給量や、専門医の増員等、保健省予算に関わる課題については、プロジェクト活動による直接的な改善が難しいが、SILAIS のモニタリング能力強化により、医薬品や物品管理を始め、患者診療に関わる記録類がより正確に記載され、無駄をなくすための業務改善につながるほか、保健省に対し、より説得力のある各種申請が行われるようになることが期待される。

SILAIS セラヤ・セントラルからは、プロジェクト活動を含む業務の成果や病院建設計画などが発表された。ESAFc 活動については、活動が活性化されたことおよび活動への住民参加について触れ、SILAIS から住民代表に対して謝辞が述べられた。各支所の住民代表から、保健省の活動が集落の健康改善に貢献していること、

ESAFc の一員として活動を喜んで継続することなどが意見として出された。

2. 主な活動日程

<12月>

- 3日：SILAIS チョントレス技術審議会 (CTOD)
- 4～6日：SILAIS チョントレス母子保健テキスト改定会議
- 4～7日：SILAIS セラヤ・セントラル母子保健テキスト改定会議
- 10日：SILAIS チョントレス技術審議会 (CTOD)、SILAIS セラヤ・セントラル技術審議会 (CTOD)、エル・ラマ支所技術審議会 (CTAM)
- 11日：SILAIS チョントレス保健サービス審議会 (CTSS)、フィガルパ支所技術統合巡回指導 (ATI)
- 12日：両 SILAIS 母子保健テキスト改定合同会議
- 13日：サント・トマス支所技術審議会 (CTAM)、サント・ドミンゴ支所技術審議会 (CTAM)
- 14日：SILAIS チョントレス ESAFC 活動強化研修、SILAIS チョントレス年間評価会、SILAIS セラヤ・セントラル年間評価会、SILAIS セラヤ・セントラル技術審議会 (CTAD)、エル・コラル支所技術審議会 (CTAM)
- 17日：SILAIS チョントレス技術審議会 (CTOD)、エル・コラル支所技術統合巡回指導 (ATI)
- 18日：国際フォーラム準備会議、SILAIS チョントレス保健サービス審議会 (CTSS)、コマラパ支所技術審議会 (CTAM)、サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所技術統合巡回指導 (ATI)、ヌエバ・ギネア支所技術統合巡回指導 (ATI)、SILAIS チョントレス 2018 年度評価会、SILAIS セラヤ・セントラル 2018 年度評価会
- 19日：クアパ支所技術審議会 (CTAM)、ビジャ・サンディーノ支所技術審議会 (CTAM)、エル・アヨテ支所技術審議会 (CTAM)、ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所技術審議会 (CTAM)
- 20日：JICA ニカラグア安全対策連絡協議会、フィガルパ支所技術審議会 (CTAM)、サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所技術審議会 (CTAM)、エル・ラマ支所技術統合巡回指導 (ATI)
- 21日：ラ・リベルタ支所技術審議会 (CTAM)、ヌエバ・ギネア支所技術審議会 (CTAM)
- 22日：プロジェクト終了時評価準備会議 (本省、SILAIS)
- 24日～1月4日：保健省年末年始休暇

3. 今後の予定

<1月>

- 9日：鈴木一代 (機材保守管理) 専門家着任
- 16日：石原尚子 (母子保健) 専門家着任、渡辺咲子 (業務調整) 専門家着任

4. 添付資料

添付資料 1. 家庭地域保健国際フォーラム計画書

5. 活動写真

別添のとおり

6. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり



Gobierno de Reconciliación
y Unidad Nacional
El Pueblo, Presidente!

2018
UNIDOS
EN VICTORIAS!

添付資料 1

ニカラグア保健省

2019 年 家庭地域保健国際フォーラム



1. 家庭地域保健国際フォーラム開催の背景

1978年にアルマ・アタで合意されたプライマリ・ヘルス・ケア（PHC）は、2018年10月25・26日に、アスタナ（カザフスタン共和国）で開催された国際会議で40周年を祝った。この会議では、国家・政府首脳、大臣および代表が出席し、アルマ・アタからユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）と持続可能な開発目標（SDGs）をめざし、1978年の前進的かつ先見性のある「アルマ・アタ宣言」と「2030年の持続可能な発展のためのアジェンダ」に示されたコミットメントを再確認した。

アスタナ宣言は、以下のとおりであった。

- ① いかなる区別をせず、すべての人間が持つ健康基準を享受する権利。
- ② PHCを強化することは、人々の身体的および精神的健康、ならびに社会福祉を高める最も包括的かつ効果的かつ効率的なアプローチ。
- ③ ヘルスプロモーション、予防、治療、リハビリテーションおよび緩和ケアは、すべての人が利用可能でなければならない。
- ④ あらゆる分野にわたる健康のための大胆な政治的選択を行う。
- ⑤ 持続可能なPHCを構築する。
- ⑥ 個人と地域社会に権限を与える。
- ⑦ 利害関係者の支持を国の政策、戦略、計画と整合させる。

2005年に、家庭地域の健康増進を目指したPHCの強化について、「モンテビデオ宣言」で提唱された。2016年から貧困の根絶し、地球の保護し、すべての人々の繁栄を目指すための「持続可能な開発目標（SDGs）」が設定された。これらの目標の下、各国は地域の健康状況を改善するために、それぞれのニーズと能力に応じて、行動計画を作成した。

JICAは、他援助機関と連携し、中南米保健国際フォーラムを開催し、中南米諸国と共通する保健課題のために、協働して対処できる課題やドナー間連携の効率性などについて、議論を重ねてきた。2015年9月にパラグアイで実施された「国際プライマリーヘルスケア会議」では、ポスト2015年保健開発アジェンダとしてUHCの達成が新たな目標になってきている中で、PHCの理念に基づく地域ネットワークの構築・強化の意義と重要性を再確認した。2016年11月にドミニカ共和国で開催した「ラテンアメリカ国際保健医療フォーラム」においては、SDGsがもたらす新たな課題へPHCを強化するために開発された行動を共有する機会となった。これらのフォーラムでは、各国のPHC活動の取り組みに違いがあることが明らかとなった。

2019年3月28・29日にJICAが保健省と共催する「家庭地域保健国際フォーラム」では、持続可能な保健システム、健康のための住民参加、課題に対する好事例などをテーマとしている。共通課題に取り組んだ効果や好事例について、PAHO等国际機関の関係者も巻き込んで闊達な議論を行う好機ととらえている。PHC活動は、医療従事者と住民がともに地域で効果的に展開され、非感染性疾患（NDA）を含むすべての疾患の予防と早期治療・回復につながるよう促進する。ラテンアメリカ各国のPHC活動の進捗に違いがあるものの、NDAや保健財政の増加など、ひっ迫する公衆衛生上の共通の問題に対して、戦略的に取り組む必要がある。

2. 目的

PHC と SDGs の焦点に基づいて、地域の国々で実施されている好事例の対話と交流を促進し、SDGs の目標達成に向けて、現状の活動を分析し、ユニバーサル・ヘルスに対する行動計画の構築に貢献する。

3. テーマとキャッチコピー

テーマ： 持続可能な開発目標を達成するための家庭地域保健・PHC。

キャッチコピー：「家族の健康は、コミュニティの幸せ」

4. 開催時期

2019年3月28日(木)～29日(金)

5. 招待者(およそ 115 名～120 名)

(1) ニカラグア国外参加者(26～30名)

➤ JICA 予算

- ・ ホンジュラス、グアテマラ、ドミニカ共和国、ボリビア、パラグアイ(各2名)
- ・ 日本(1～2名)
- ・ メキシコ(3名)

➤ PAHO/WHO 予算

- ・ 中米カリブ：ベリーズ、エルサルバドル、コスタリカ、パナマ、キューバ(各2名)
- ・ 南米：ウルグアイ、チリ、ブラジル(各1～2名)

(2) ニカラグア国内参加者(85～90名)

➤ 中央政府：1～2名

➤ 保健省：10名

➤ SILAIS チョントレスおよび SILAIS セラヤ・セントラル：19名

➤ その他 17SILAIS：51名(各3名)

➤ 国際機関：JICA、PAHO/OMS、Unicef、世銀、NGO など

6. 開催場所

ニカラグア国マナグア市

Bello Horizonte frente, al centro, comercial Multicentro Las Americas,

Hotel HEX、コンベンションセンター Tel. +505 2248 9400

<http://hex.hotelsinmanagua.com/es/>

7. 内容(アジェンダ)

1 日目: 2019 年 3 月 28 日(木)、コンベンションセンター内メインサロン

時刻	テーマ	プレゼンター
8:00 -	受付	受付責任者:
8:30 -	国際フォーラム開会式	ニカラグア保健省
8:30 -	<ul style="list-style-type: none"> ● 開会の言葉 ➢ PAHO/WHO ニカラグア代表 ➢ 在ニカラグア日本大使 ➢ 保健大臣 	グロス代表 鈴木大使 カストロ大臣
9:30 -	パネル 1 - ユニバーサルヘルスと SDGs の目標のための課題	モデレーター
9:30 -	ニカラグアにおける家庭地域保健の成果、課題と展望	クルス DGSS 局長/保健省
10:10 -	PHC と SDGs: アスタナ宣言後の道筋は?	アマリア・デル・リエゴ
10:50 -	アジェンダ 2030 に向けた PHC における JICA のパートナーシップ協力(仮題)	職員/PAHO 戸辺誠専門員/JICA
11:10 -	南南協力における好事例	JICA メキシコ
11:30 -	質疑応答、コメント	
12:00 -	昼食	
13:00 -	パネル 2 - PHC と保健サービス統合ネットワークにおけるユニバーサルヘルス	モデレーター
13:00 -	人々のための統合ケアの知見	キューバ保健省
13:30 -	PHC と住民参加型保健活動	パラグアイ保健省
14:00 -	保健サービスネットワークの構築	ホンジュラス保健省
14:30 -	アクセスが困難な遠隔地の治療	チリ保健省
15:00 -	休憩	
15:20 -	パネル 3 - 包括的保健ケアにおける住民参加	モデレーター
15:20 -	統合型ケアにおける住民参加の知見	グアテマラ保健省
15:40 -	統合型ケアにおける住民参加の知見	ブラジル保健省
16:20 -	保健サービスにおける市民参加の知見	ニカラグア保健省
16:50 -	1 日目の閉会と 2 日目のグループワークのオリエンテーション	クルス DGSS 局長

2日目:2019年3月29日(金)

時刻	テーマ	プレゼンター
8:00 -	パネル4 - PHCと非感染性疾患	モデレーター
8:00 -	PHCと非感染性疾患	ボリビア保健省
8:30 -	高齢者における非感染性疾患のアプローチ	キューバ保健省
9:00 -	慢性非感染性疾患の包括的な保健サービス	ウルグアイ保健省
		参加
9:40 -	<p>グループワーク1 (会場:メインサロン)</p> <p>➤ テーマ I 「ユニバーサル・ヘルスとSDGsの目標のための課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> - 健康の権利(政策面) - ユニバーサル・ヘルス(1:保健医療サービスへのアクセスとUHC、2:保健行政の運営、3:保健財政、4:専門分野とそれ以外の機関との連携) 	<p>モデレーター</p> <p>書記</p>
	<p>グループワーク2 (会場:メイン1)</p> <p>➤ テーマ II 「PHCと保健サービス統合ネットワークにおけるユニバーサル・ヘルス」</p> <ul style="list-style-type: none"> - 保健における統合ネットワークの組織と機能 - 集落と各医療診療レベル間のレファラル・カウンターレファラル強化 - 公共医療機関と私立医療機関の連携 - 保健サービス統合ネットワークの質管理 	<p>モデレーター</p> <p>書記</p>
	<p>グループワーク3 (会場:メイン2)</p> <p>➤ テーマ III 「包括的保健ケアにおける住民参加」</p> <ul style="list-style-type: none"> - 各国の疾病予防やヘルスプロモーションにおけるコミュニティネットワークの組織化プロセス - コミュニティネットワークと保健行政人材との連携 - PHCにおける住民参加(個人・家庭・集落)のためのモチベーション 	<p>モデレーター</p> <p>書記</p>
	<p>グループワーク4 (会場:メイン3)</p> <p>➤ テーマ IV (PHCと非感染性疾患)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 各国の第1次医療施設による非感染性疾患のヘルスプロモーションと包括的な管理の経験 - 医薬品の合理的な使用の啓発、使用、監視の経験 - 非感染性疾患の患者管理における自然療法と補完療法 	<p>モデレーター</p> <p>書記</p>
12:00 -	昼食	
13:00 -	各グループにて好事例集(ツール)を作成	

14:00 -	各グループの発表(発表 20 分) 参加者からのコメント	各グループ代表
15:20 -	フォーラムの結論と合意	保健省、PAHO、JICA
15:40 -	閉会式 <ul style="list-style-type: none"> ➢ JICA ニカラグア代表 ➢ PAHO/WHO ニカラグア代表 ➢ 保健大臣 	

8. 国際フォーラムの方法

フォーラムでは、第1セッションでは、開会式を実施し、4つのテーマ(①ユニバーサル・ヘルスとSDGsの目標達成のための課題、②保健サービスの統合型ネットワーク③PHCと住民参加、④PHCと非感染性疾患)に即して発表を行う。

発表から提案された活動内容や好事例は、フォーラムの第2セッションにおいて、4つのグループで議論を深める。各グループの議論と分析により、アクションプランを立案するためのツール(好事例集)を作成する。

発表:発表者は、各パネルに即し、プレゼンを用意し、質疑応答の時間に配慮する。

事前に、各国発表について、具体的なPHC行動と成果が盛り込まれるように様式を統一することや、ニカラグア訪問に関する不明点を明らかにすることを目的としたビデオ会議を開催する。

ビデオ会議は、下記の方法で行う。

URL: videoconferencia.minsa.gob.ni

ID: 381505

PIN: 20171505

不明な点があれば、serviciosdesalud@minsa.gob.ni に問い合わせる。

会議実施日: 2019年2月7日(金)、ニカラグア時間午前10時開始

国際フォーラムの準備案内

1. 各国で取り組まれている PHC 活動の展示

- ① 各国で取り組まれた PHC 活動の資料や写真を展示する。
- ② 4つのテーマに関わる各国の取り組みを展示する。
- ③ そのほか、必要と思われるものを展示する。
- ④ 展示スタンドのサイズは、1m×1m。

2. 各国は、以下の情報を提出

- ① 各国の基本情報(社会統計情報、グラフなどを用いる)
- ② 保健省の組織図
- ③ 過去5年間の保健データ
- ④ 書体: Courier New、文字サイズ: 12、改行: 標準
- ⑤ デジタルデータで提出、Microsoft Word、2頁以内

提出締切日: 2019年1月31日

3. 同一様式による各国の発表

テーマ1. UHC

- 健康の権利(政策面)
- ユニバーサル・ヘルス(1: 保健医療サービスへのアクセスと UHC、2: 保健行政の運営、3: 保健財政、4: 専門分野とそれ以外の機関との連携)

テーマ 2. PHC と保健サービス統合ネットワークにおけるユニバーサル・ヘルス (Cuba, Paraguay, Honduras y Chile)

- 保健における統合ネットワーク の組織と機能
- 集落と各医療診療レベル間のレファラル・カウンターレファラル強化
- 公共医療機関と私立医療機関の連携
- 保健サービス統合ネットワークの質管理

テーマ3. 包括的保健ケアにおける住民参加 (Guatemala, Brasil y Nicaragua)

- 各国の疾病予防やヘルスプロモーションにおけるコミュニティネットワークの組織化プロセス
- コミュニティネットワークと保健行政人材との連携

- PHCにおける住民参加(個人・家庭・集落)のためのモチベーション

テーマ4. PHC と非感染性疾患

- 各国の第1次医療施設による非感染性疾患のヘルスプロモーションと包括的な管理の経験
- 医薬品の合理的な使用の啓発、使用、監視の経験
- 非感染症疾患の患者管理における自然療法と補完療法

- 発表様式: PowerPoint、スライドサイズ: 4:3、スライド: 最大 15 枚
- 発表時間: 30 分間

提出締切日: 2019 年 2 月 27 日

電子メールでの提出先: serviciosdesalud@minsa.gob.ni

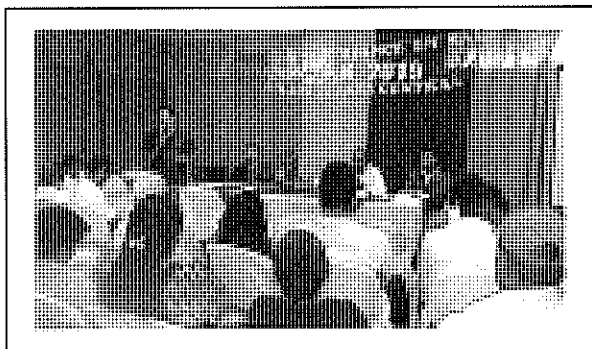
- 国外招待者は、あらゆる国の知見交換のよき機会と捉え、活発に参加する。
- 国内参加者は、自らの地域の経験を準備し、それを他の国々と共有することを目的として、議論されるテーマについての知識を有するとともに、割り当てられたワーキンググループに参加する。

4. グループワーク

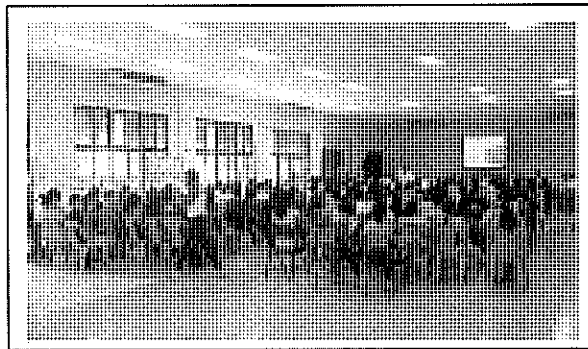
2 日目、グループワークを実施

- 各グループの参加者は、30 名程度。
- フォーラムの目的に重点を置き議論するために、モデレーターを割り当てる。
- 各グループの秘書官は、Word 文書、Courier New 12 の手紙、一行の間隔、通常のマージン、最大 2 ページで結論をまとめる。
- 割り当てられたテーマの議論に、2 時間 40 分、09:40~12:00。
- 午後 1 時から午後 2 時までにグループワークの結論を準備。
- それには次の内容が含まれている必要があります:
 - ① 経験の交換によって確認された優良事例。
 - ② 各参加国の SDGs への遵守に貢献する教訓。
- 午後 2 時から午後 3 時 20 分までの PowerPoint(各グループ 20 分)でのグループ作業の結論を発表する。

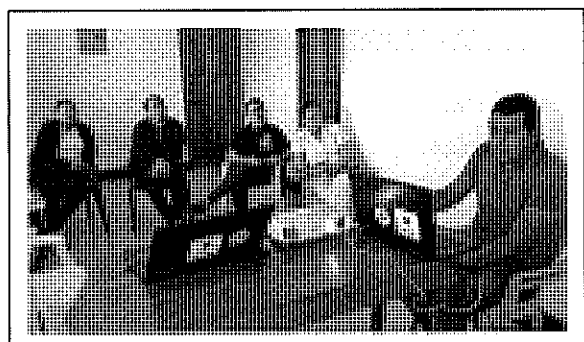
5. 活動写真



SILAIS セラヤ・セントラル
2018 年度保健省活動評価会
市役所、政治局員、RC、関係機関が参加



SILAIS チョントレス
2018 年度保健省活動評価会
県内から多くの人参加



両 SILAIS 合同母子保健員会
母子保健 5 項目テキストの見直し



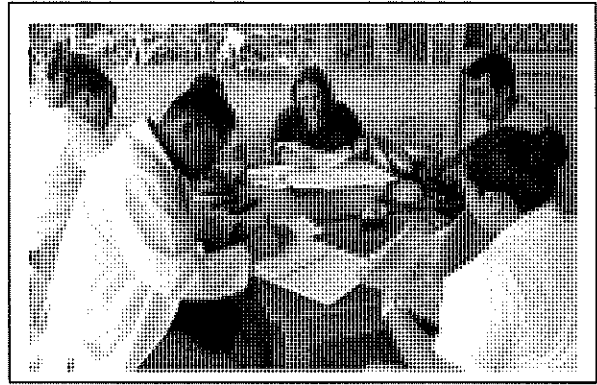
ESAFC 活動ガイド強化研修
SILAIS チョントレス
各支所の研修ファシリテーターら出席



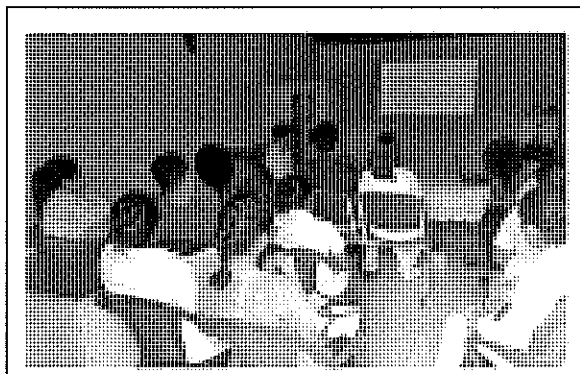
ESAFC 活動・活動項目 13「セクター間の知見共有」
支所内 11 保健セクターから RC が集まり、各保健セクターの活動を RC が紹介
SILAIS チョントレス、アコヤパ支所



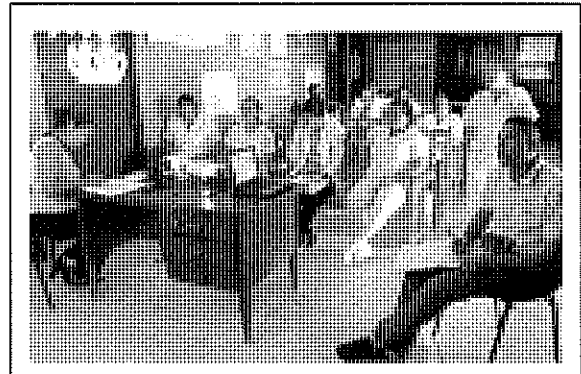
技術統合巡回指導
記録を比較して、記入内容を確認
ヌエバ・ギネア支所
サン・ファン保健セクター



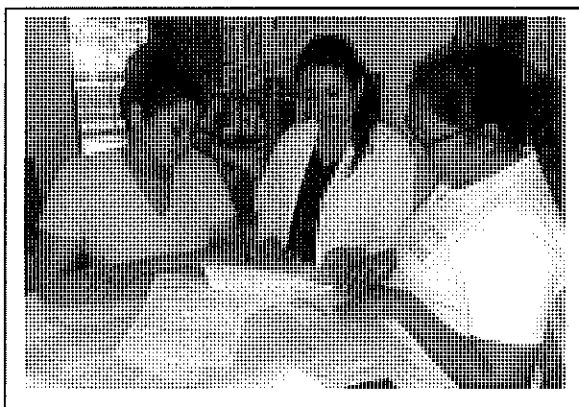
技術統合巡回指導
確認作業は分担して実施
サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所
エル・フスト保健セクター



支所審議会 (CTAM)
支所内の全保健セクターが出席
SILAIS チョンタレス、クアパ支所



支所審議会 (CTAM)
SILAIS 技官が同席し、活動を確認
SILAIS チョンタレス、サント・トマス支所



統計データの質管理
SILAIS 統計担当官による指導
SILAIS セラヤ・セントラル、エル・ラマ支所



第2期分追加供与機材
新生児用ベッド2台の配置が完了
ビジャ・サンディーノ保健セクター



2019 年 2 月 8 日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 青木 恒憲 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区に
おける母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2019年1月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. 対象 14 支所における医療従事者研修

1) 母子保健 5 項目のテキスト第 2 版

4 項目のテキストについては両 SILAIS 局長による最終確認を終了し、保健サービス総局（DGSS）による確認及び承認作業を進めている。残りの 1 項目、産後出血は両 SILAIS 局長による最終確認作業を進めている。

2) 母子保健研修ガイドの改定

研修ファシリテーター用の研修ガイド、研修の事前・事後テスト、症例検討教材の改定作業を両 SILAIS の母子保健技術委員会とともに進めている。

- 計画
- ① 両 SILAIS 局長による産後出血テキストの最終確認を終了し、DGSS に提出する。
 - ② DGSS による母子保健 5 項目のテキストの最終チェックを終え、承認を得る。
 - ③ 研修事前・事後テスト、症例検討教材等を含む研修ファシリテーター用ガイドの改定作業を終える。
 - ④ DGSS が主導して、保健省中央の技官に対する研修を開催し、研修プログラム及びモニタリングハンドブックについての理解を深める。

1-2. ESAFC 活動

1) SILAIS チョンタレスの 10 支所の ESAFC 活動の再強化研修

SILAIS チョンタレスは、12 月に研修ファシリテーターが受講した ESAFC 活動ガイドの改定版（草稿）を用いた再強化研修を、全 10 支所においてカスケード方式

で実施した。1 月中にすべての保健セクターの研修対象者が受講を完了した。今後、RC が主体となって実施する活動項目の強化が期待される。

2) ESAFC 活動の継続と四半期評価

両 SILAIS は ESAFC 活動の四半期評価を実施した。今回の四半期評価の対象期間は 2018 年 10 月から 12 月である。14 支所中、フィガルパ支所を除く 13 支所で 1 月中に評価を終了した。13 支所すべてが、52 点中 40 点以上に達しており、基本的な ESAFC 活動は、対象全域で機能していることが確認された。各 SILAIS 及び各支所は、四半期評価の結果をもとに、引き続き、各保健セクターの基本的な ESAFC 活動の質の向上に努めている。その具体的な内容は下記のとおりである。

【質向上を目指した活動】

- 妊産婦管理台帳の 24 時間以内の確実なデータ更新の有無の確認
- 妊産婦管理台帳と集落マップと家庭調査票の記録を比較、健診記録の更新と、これらの連動性の確認
- ESAFC 活動の基本である月例会議における以下の実施について、保健セクターが記録している議事録からの確認
 - ① 前月の合意事項の進捗の確認作業
 - ② 会議の目的の明確化とテーマの決定
 - ③ 医療従事者と RC の間での妊産婦についての情報交換
 - ④ 集落への訪問計画立案
 - ⑤ RC 参加者の署名
- 集落訪問が毎月必ず実施されているか、各 RC メンバーによる居住集落の保健問題の分析がされているか、必要な改善策の検討と活動の実施はされているか、その後、現地で参加者と活動評価をしているか、などの確認
- 月例会議や保健セクター間会議で RC のメンバー自身が活動経験を共有しているかの確認

3) ESAFC 活動ガイド、ESAFc 活動の好事例集の改定

両 SILAIS の知見を織り込んだ「ESAFc 活動ガイド(改定版)」と「ESAFc 活動の好事例集(第 2 版)」について、先月に引き続き DGSS で承認に向け、修正及び検定作業を行っている。2 月に保健省職員に対する ESAFC 活動ガイド研修後に、最終版を完成させる。

- 計画
- ① 両 SILAIS 及び各支所は、ESAFc 活動を継続する。
 - ② DGSS が主導して研修を開催し、保健省中央の技官に対する ESAFC 活動ガイドを説明する。
 - ③ DGSS は、ESAFc 活動ガイド(改定版)及び ESAFC 活動好事例集(第二版)の検定作業を終了し、認定する。

1-3. 技術統合巡回指導

1) 巡回指導の現状

両 SILAIS では技官による巡回指導を継続している。PDM 指標成果 3-1「技術統合巡回指導」、同 3-2「技術審議会への同席」の支所の実施状況と SILAIS の同行回数は、表 1 のとおりであった。

表 1 支所の巡回指導と SILAIS の同行回数

支所の活動	特徴	チョンタレス		セラヤ・セントラル	
		支所実施数	SILAIS 同行回数	支所実施数	SILAIS 同行回数
技術統合巡回指導	保健セクターを訪問。活動をモニタリング・指導し、改善に取り組む	10 支所 20 保健セクター	4 支所 4 保健セクター	4 支所 13 保健セクター	4 支所 4 保健セクター
支所の技術審議会 (GTAM) 開催	保健セクターの医療チームが出席する支所レベルの技術審議会	10 支所	9 支所	4 支所	3 支所

技術統合巡回指導は、全 14 支所で計画され、全て実施された (実施率 : 100%)。巡回指導の実施数及び SILAIS の同行数も増加傾向にあり、業務の定着化が一層明らかとなっている。これは、両 SILAIS 及び各支所が、巡回指導の必要性を認識しているためであり、プロジェクトは最終段階に入り、本活動の持続性及び質の向上に努める。

また全 14 支所で、保健セクターの医療従事者が参加する技術審議会 (GTAM) が開催され、うち 12 支所に SILAIS の技官が同席した。同席できなかったのは、SILAIS チョンタレスのラ・リベルタ支所と SILAIS セラヤ・セントラルのエル・コラル支所であった。しかし、1 月は、ESAFc 活動評価が実施され、その評価に SILAIS 技官が同席していることから、同席できなかった支所も含め、SILAIS は保健セクターの活動を十分把握している。

2) PDM 指標成果 3-3 「統計データの質管理」の現状

統計データの質管理のための「正確な分析についての評価」は、SILAIS チョンタレスでは実施されなかった。SILAIS セラヤ・セントラルでは、エル・ラマ支所の 1 保健セクターのみで実施された。評価結果は表 2 とおり。

表 2 統計データの質管理評価結果

SILAIS	統計データの質管理実施場所	評価結果
セラヤ・セントラル	エル・ラマ支所サン・イシドロ保健セクター	89.0%

今回、SILAIS が同行した保健セクターにおける統計データの質管理評価は、非常に限られた実施であった。情報を正確に記録し、分析する作業では、一部の書類で記入漏れが見つかったが、概ね正しい記述、診断分析、読みやすい書体での記入がされていた。不備があった部分に対する改善策として、記述しなければならない箇所を確認し、埋めることを指導した。

3) 評価におけるデータ管理の取り組み

統計データ以外の情報管理については、1 月は 1-2 の 3) で述べたとおり ESAFC 活動評価で、月例会議議事録、ESAFc 活動における計画立案・活動実施・活動評価の各議事録、家庭訪問報告書などの確認作業を実施しており、数値以外でプロジェクトの進捗を判断するエビデンスとして、その質の向上に努めている。

1-4. レファラル・カウンターレファラル

1) 両 SILAIS レファラル・カウンターレファラル委員会

両 SILAIS が主導して、2 か月毎にレファラル・カウンターレファラル合同委員会を開催している。議論の中心は、RC によるレファラルと、課題の多いカウンターレファラルについてである。

RC からのレファラルは、ESAFG 活動ガイドに添付されているレファラル用紙が適切に活用され、保健セクターと支所のレファラル台帳に記録される必要がある。これを定着させるための活動は順調に進められている。ちなみに、この RC 用のレファラル用紙は、JICA 技協の「グラナダ地域保健強化プロジェクト」で開発されたものである。

カウンターレファラルの主要な課題は次の 3 点である。

- 地域病院内で、医師によりカウンターレファラルが指示されたあと、カウンターレファラル用紙が病院統計局を通過するまでに時間が非常にかかり、迅速性に欠けるケースがある
 - 病院で実施したカウンターレファラルがレファラル台帳に正しく記録されていない
 - そのレファラル台帳のデジタル化と支所及び SILAIS への共有がされていない
- その他にも、微細ながら様々な課題が抽出されており、それらをひとつずつ解決していかなければならない。委員会ではこのための協議を行い、10 項目を合意した。以下にその要点をまとめる。

【主な合意事項】

- ① 病院は、退院患者全員をレファラル台帳に記録し、毎週金曜日午後 3 時までまでに、レファラル台帳（Excel 版）を両 SILAIS のレファラル担当職員へ送付する。
- ② SILAIS チョントレス保健サービス課長は、DGSS 総局長と周辺 5SILAIS との広域レファラル・カウンターレファラル会議を開催するための調整を行う。
- ③ 両 SILAIS 及び各支所は、技術審議会でのレファラル・カウンターレファラル指標を所定の PowerPoint の発表様式を用いて発表し、分析を行う。
- ④ 地域病院の専門医は、患者をカウンターレファラルする際に迅速性を求める場合は、WhatsApp を用いて支所へ直接連絡する。必要に応じて、SIL AIS チョントレスと調整し、支所長へ連絡を入れる。

計画

- ① カウンターレファラルについて合意された改善策の実施をモニタリングし、必要に応じて指導する。
- ② 周辺 SILAIS（ポアコ、サン・カルロス、RAAS、チョントレス、セラヤ・セントラル）と地域病院間で開催するレファラル・カウンターレファラル会議の開催及び技術支援を行う。
- ③ DGSS が主導して研修を開催し、保健省中央の技官に対して、プロジェクト対象地域におけるレファラル・カウンターレファラルの好事例について研修を開催する。

1-5. 機材稼働モニタリングシステム

1) 機材稼働モニタリングシステムの運用状況検証とワークショップ

機材調達管理専門家は、フィガルパ地域病院の医療機材保守管理技士及びプロジェクトのテクニカルアシスタントとともに、14 支所中 13 支所の主な医療施設 17 か所を訪問し、同モニタリングシステムの運用状況について聞き取り調査を行った。

その結果、同システムは機能しているが、顕在化したいくつかの課題について、訪問時に OJT で指導したほか、両 SILAIS 及び 14 支所から実務者を集めてワークショップを開催し、同システムを改善するために 10 項目の合意を取り付けた。詳細は添付資料 1「機材調達管理・現地業務完了報告書」を参照。

- 計画** ① 両 SILAIS 及び各支所との合意事項について、その後の活動・作業状況をモニタリングし、必要に応じて支援・指導する。

1-6. 供与機材保守管理

- 1) 第 1 期分及び第 2 期分供与機材の稼働状況調査

上記、機材モニタリングシステム運用で 17 医療施設訪問時に、併せて供与機材の稼働状況について調査を行った。稼働状況が「Mal: 不可」に分類されている機材については、その場で修理を行ったほか、修理できない機材は、必要な申請手続きを行うように指導した。また、機材の稼働状況をまとめたほか、課題を抽出し、現地で機材の取扱い及び日常点検等に関する指導を行った。詳細は添付資料 1「機材調達管理・現地業務完了報告書」を参照。
- 2) 機材の取扱い及び日常点検に関する研修の開催

供与機材の稼働状況調査の結果、適切な操作及び取扱いと日常の簡易な保守点検を実施することにより、機材の故障、不具合を未然に防げることが確認されたため、フィガルパ地域病院の医療機材保守管理技士が主導して、各支所及び病院のインベントリー担当職員、看護師長らを集めて「機材の取扱い及び日常点検に関する研修」を開催した。調査で課題が抽出された 14 機種に関して、2 日間にわたって実物の機材を用いた取扱い方法及び保守点検方法を指導した。この研修は、カスケード方式で、各支所から各保健セクターの医療従事者に対して実施される。
- 3) 供与機材の今後生じうる不具合への対応と修理に必要なコストの算出

供与機材を継続的に使用していく上で、修理や交換が必要となる可能性の高い機材のスペアパーツや消耗品を機材ごとに特定し、各物品の単価を記載したリストを作成した。このリストを各支所、各 SILAIS、保健省、JICA 事務所へ提出した。添付資料 2 を参照。
- 4) 供与機材管理基準リストの作成

第 1 期分及び第 2 期分供与機材を、財務省の国有財産システム (SIBE) に則り、保健省財産・会計局とともに分類 (グループ 3 もしくはグループ 4) し、その結果リストを JICA ニカラグア事務所へ提出した。グループ 4 のみ SIBE のインベントリーに財産として登録される。添付資料 3 を参照。

- 計画** ① 各支所及び病院で実施される「機材の取扱い及び日常点検に関する研修」をモニタリングする。

1-7. 家庭地域保健国際フォーラム

- 1) 開催準備

保健省は、外務省を通じて、ブラジルとメキシコを除く 12 カ国に対して、国際フォーラムの招待状に計画書を添付して発送した（ブラジルは PAHO、メキシコは JICA が直接交渉）。招待状では、1 月 31 日までに各国の参加者を連絡してもらうことになっていたが、31 日中に届いたのはメキシコ 1 か国のみであった。

また、在ニカラグア日本大使館で国際フォーラムの説明会議を開き、大会内容と進捗状況を説明し、協力要請を行った。

- 【計画】
- ① 国際フォーラムの招待状の、正しい発送と、招待国の参加を確認する。
 - ② JICA 及び PAHO ニカラグア事務所を通じて、参加者の調整を促進する。
 - ③ 2 月 7 日に開催するテレビ会議に参加し、記録を行うとともに、必要に応じて助言する。
 - ④ 国際フォーラムのロジスティックスの準備を進める。

1-8. 運營業務

1) プロGRESSレポートの提出

業務計画書どおり、1 月中にプロGRESSレポート和文・西文を人間開発部へ提出した。添付資料には、エンドライン調査の母子保健サービス実態調査、2017 年に出産した母親に対する KAP 調査のほか、社会奉仕の医師・看護師に対する ESAFG 活動についてのアンケート調査の報告書などを添付した。

2) 専門家の着任

1 月は、機材保守管理、母子保健、副総括/地域保健/業務調整の 3 名の専門家が到着した。それぞれ、担当職種で業務に取り組んでいる。

1-9. 関連事項

1) 妊産婦死亡

1 月 26 日に、フィガルパ地域病院で、妊娠・出産に関わる死亡例が発生した。亡くなった女性は RAAS のトルトゥゲーロ支所から搬送された産後の感染症疑いの産褥婦であった。この患者は II 期の子宮頸がんで、速やかにマナグアの第 3 次病院へ搬送すべきであったが、ベッドの空きがないとして地域病院に入院し、10 日目に死亡した。他にも 1 月下旬は重症の産褥婦が地域病院へ搬送されてきており、妊産婦ケアについて SILAIS が注意喚起を發した。

また、2018 年 5 月 25 日にヌエバ・ギネア支所マリツァ・ケサーダ保健セクターで死亡した妊婦は、道路封鎖により救急車を送ることができずに亡くなったとする最終調査結果が出された。対象地域で政情不安により母親の死亡が確認された最初の事例となった。

2. 主な活動日程

【1 月】

7 日：2019 年業務開始、SILAIS チョントレス保健サービス審議会（CTSS）

8 日：SILAIS チョントレス技術審議会（CTOD）

9 日：鈴木一代（機材調達管理）専門家着任、アコヤパ支所技術統合巡回指導（ATI）

- 9-10日：母子保健テキスト検証 SILAIS チョントレス母子保健技術委員会、母子保健
テキスト検証 SILAIS セラヤ・セントラル母子保健技術委員会
- 10日：サント・トマス支所技術審議会（CTAM）
- 11日：日本大使館にて国際フォーラム説明会議、母子保健テキスト両 SILAIS 合同検
証会議、フィガルパ地域病院供与機材調査
- 14日：SILAIS チョントレス技術審議会（CTAD）、エル・ラマ支所技術審議会（CTAM）
- 14-17日：SILAIS チョントレス 9 支所医療施設供与機材調査
- 15日：サント・トマス支所技術統合巡回指導（ATI）、エル・ラマ支所技術統合巡回指
導（ATI）
- 16日：石原尚子（母子保健）専門家着任、渡辺咲子（副総括/地域保健/業務調整）専
門家着任、フィガルパ支所技術審議会（CTAM）
- 17日：ビジャ・サンディーノ支所技術審議会（CTAM）、ムエジャ・デ・ロス・ブエジ
ェス支所技術統合巡回指導（ATI）
- 18日：レファラル・カウンターレファラル両 SILAIS 合同委員会、ビジャ・サンディ
ーノ支所技術統合巡回指導（ATI）
- 19日：DGSS・両 SILAIS 合同プログレスレポート作成会議
- 21日：コマラパ支所 ESAFC 活動四半期評価、クアパ支所 ESAFC 活動四半期評価、
- 21-23日：SILAIS セラヤ・セントラル 4 支所医療施設供与機材調査
- 23日：アコヤパ支所 ESAFC 活動四半期評価、アコヤパ支所 ESAFC 活動再強化研修スー
パーバイズ、サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所 ESAFC 活動四半期評価、グアパ支
所技術審議会（CTAM）
- 24日：アコヤパ支所技術審議会（CTAM）、ムエジャ・デ・ロス・ブエジェス支所
ESAFc 活動四半期評価
- 25日：ラ・リベルタ ESAFC 評価四半期評価、サント・ドミンゴ支所 ESAFC 活動四半期
評価、エル・コラル支所 ESAFC 活動四半期評価
- 28日：SILAIS チョントレス技術審議会（CTOD）
- 28-29日：エル・ラマ支所 ESAFC 活動四半期評価
- 29日：ビジャ・サンディーノ支所 ESAFC 活動四半期評価
- 30日：エル・アヨテ支所支所技術審議会（CTAM）、エル・アヨテ支所技術統合巡回指
導（ATI）、機材稼働モニタリングシステム・ワークショップ
- 30-31日：機材取扱・日常点検両 SILAIS 合同研修、ヌエバ・ギネア支所 ESAFC 活動四
半期評価
- 31日：エル・アヨテ支所 ESAFC 活動四半期評価

3. 今後の予定

【2月】

- 1日：機材保守管理活動保健省報告会
- 4日：機材保守管理活動 JICA 事務所報告会、鈴木一代（機材調達管理）専門家離任
- 7日：家庭地域保健国際フォーラム・テレビ会議
- 12-13日：保健省本省技官対象 SAMANI プロジェクト研修会
- 24日：狐崎知己（保健行政）専門家着任
- 26-27日：第7回半期評価会・ワークショップ

【3月】

- 2日：狐崎知己（保健行政）専門家離任

28-29 日：家庭地域保健国際フォーラム開催

4. 添付資料

- 添付資料 1. 機材調達管理・現地業務完了報告書
2. 供与機材用スペアパーツ・消耗品リスト(西文)
3. 財務省国有財産システム(SIBE)による供与機材管理基準リスト

5. 活動写真

別添のとおり

6. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

現地業務完了報告書 (機材調達管理)

2019年2月

有限会社エストレージャ

業務従事者 氏名	鈴木 一代
派遣国	ニカラグア国
担当業務	機材調達管理
派遣期間	第2次派遣 (2019年1月8日～2019年2月6日 (30日間))

第1章 業務の目的

1. 2017年11月に構築された「機材の稼働モニタリングシステム」が定着され、今後、本システムが適切かつ継続的に運用されるようになる。
2. 本プロジェクトで供与された機材が適切に維持管理され、できる限り長期にわたり使用できるようになる。
3. 供与された機材を財務省の財務管理基準に照らし合わせ、各機材の管理基準を記述したリストを保健省財務総局財産・会計局とともに作成する。

第2章 業務実施期間

2019年1月9日～2019年2月4日(現地派遣期間:27日間)

【主な業務内容】

- 機材稼働モニタリングシステム運用状況調査:1月11日～23日
- 供与機材の稼働状況を確認:1月11日～23日
- 供与機材の今後の不具合の対応、修理、消耗品のコスト調査:1月18日、24日～25日
- ワークショップおよび研修準備:1月28日～29日
- 機材稼働モニタリングシステム・ワークショップ:1月30日
- 機材の取り扱い、日常点検等の研修:1月30日～31日
- SILAIS および保健省への活動報告:2月1日
- JICA ニカラグア事務所への活動報告:2月4日

第3章 活動内容

1. 機材稼働モニタリングシステム

(1) 機材稼働モニタリングシステムの運用状況の確認

2017年11月に機材調達管理専門家の技術指導のもと、SAMANIプロジェクト第1期に調達された医療機材の設置、据付に係る指導を行いつつ、これら機材の稼働状況の確認と記録を定期的に行える機材稼働モニタリングシステムを導入した。本モニタリングシステムは、年に2回(第1半期:7月、第2半期:翌年1月)、各支所のインベントリー担当職員が、管轄下の医療施設を訪問し、インベントリーリストに記載されている機材の稼働状況をチェックする。稼働状況の判断は、上記専門家の指導のもとに作成された「機材情報シート」の稼働チェック項目を参照し、3つの状況(Bueno:良好、Regular:何らかの不具合があるが使用可能、Mal:故障して使用できない)に分類される。そのうち、「Mal:故障して使用できない」と判断された機材については、「Observación(観察)」欄を加え、具体的な故障・不具合状況を簡潔に記述することになっている。その後、各支所は、本更新リストをSILAISへ提出する。

今般派遣業務において、2018年第1半期および第2半期におけるインベントリー更新の作業状況を確認した。SILAISチョンタレスでは、10支所のうち9支所(エル・アヨテ支所は、現在道路状況が劣悪であるため訪問できなかった)の10医療施設、またSILAISセラヤ・セントラルでは、4支所が管轄する7医療施設を訪問した。訪問先では、インベントリーの更新作業についての聞き取り、および供与機材の稼働状況を確認した。両SILAISの訪問行程は表1・2のとおりである。

表1 機材稼働モニタリングシステム運用状況確認対象医療施設(SILAISチョンタレス)

No.	現地踏査日	支所名	機材確認医療施設
1	1月11日	フィガルパ	フィガルパ地域病院
2	1月14日		フィガルパCSF
3	1月14日	コマラパ	コマラパCSF
4	1月14日	クアパ	クアパCSF
5	1月15日	サント・ドミンゴ	サント・ドミンゴCSF
6	1月15日	ラ・リベルタ	ラ・リベルタCSF
7	1月16日	サン・ペドロ・デ・ロバゴ	サン・ペドロCSF
8	1月16日	サント・トマス	サント・トマスCSF
9	1月17日	ビジャ・サンディーノ	ビジャ・サンディーノCSF
10	1月17日	アコヤパ	アコヤパCSF

(CSF:保健センター)

表2 機材稼働モニタリングシステム運用状況確認対象医療施設(SILAISセラヤ・セントラル)

No.	現地踏査日	支所名	機材確認医療施設
1	1月21日	ヌエバ・ギネア	ヌエバ・ギネア1次病院
2	1月21日		パプラ・ヴァジェPSF
3	1月22日	エル・コラル	エル・コラルCSF
4	1月22日	ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス	ムエジェ1次病院
5	1月22日		ムエジェCSF
6	1月23日	エル・ラマ	エル・ラマ1次病院
7	1月23日		エル・ラマCSF

(CSF:保健センター)

(2) 「機材の稼働モニタリングシステム」運用上の課題・問題点の抽出と分析

2017年11月に、本モニタリングシステムの作業方法と作業工程を記述した簡易ガイドである「機材稼働モニタリング手順」(添付資料1:Metodología de monitoreo del funcionamiento de los equipos donados)を、両SILAISおよび対象の14支所担当職員に配布し研修会を実施した。

今回のインベントリー更新作業の聞き取り調査では、各支所のインベントリー担当職員が上記ガイドに沿って、適切に機材の稼働状況をチェックし、その結果を確実にインベントリーリストに記録したかについて、課題・問題点を抽出し、分析した。ガイド手順ごとに抽出した課題は、表3のとおりであった。

表3 インベントリー運用上の課題の整理

<p>1. インベントリーの提出状況について (プロセス1-1:各支所は毎年2回(翌年7月と1月)に機材稼働結果記入済のインベントリーをSILAIS事務所に提出する。)</p>
<p>【確認結果】 2018年の第1半期および第2半期におけるインベントリーの更新状況。 第1半期は、SILAISチョンタレスのすべての支所が、規定どおり7月までにインベントリーリストをSILAISへ提出した。しかし、SILAISセラヤ・セントラルの4支所は一度7月までに提出したものの、インベントリーの記述内容に記入ミスが多く確認されたため、2度・3度にわたる修正および再提出が繰り返し行われた。結局4支所すべてが第1半期のインベントリーを完成し、SILAISへ提出し終えたのは、2018年10月であった。 第2半期は、SILAISチョンタレスのサント・ドミンゴ、ラ・リベルタ、エル・アヨテの3支所を除いた7つの支所が、2019年1月中に提出を完了している。SILAISセラヤ・セントラルでは、4つすべての支所が1月31日までにSILAISへ提出していない。未提出の支所は2月4日までにSILAISへ提出することで合意した。両SILAISのインベントリー担当職員が本作業をフォローすることになっている。</p>
<p>2. 各機材の稼働状況欄へのチェック記録について (プロセス1-2:各支所は、すでに配布済みの個別機材情報シートに記載されている稼働状況チェックポイントに従い、チェックを行う。) (プロセス1-3:各支所は、すでに配布済みの個別機材情報シートに記載されている稼働状況チェックポイントに従い、3つの稼働状態の評価を行う。)</p>
<p>【確認結果】 本課題では、各機材情報シートに記載してある「稼働状況チェックポイント」を各担当職員が確実に理解しているかについて確認した。殆どの支所では、ポイントに従った評価について、「既存のチェックポイントは、簡潔で分かりやすく、特に問題はない」との回答を得た。しかし、SILAISチョンタレスのアコヤパ支所のインベントリー担当職員が、同プロセスを理解できていなかったため、現地確認作業時において、OJTによる指導を行った。</p>
<p>3. “Observación”欄の記載の仕方について プロセス3: 上記プロセスによりチェックされた機材稼働状況から“Mal”の状態の機材を抽出する(Excelのフィルター機能を活用する)。 プロセス4: “Mal”の状態の機材の具体的な故障・不具合状況を“Observación”欄に簡潔に説明する。</p>
<p>【確認結果】 プロセス3においては、すべての支所において、フィルター機能を利用しており、“Mal”の状態の機材を容易に抽出できるようになっている。 また、“Observación”欄をインベントリーリストに追記し、機材不具合の状況を簡潔に説明するという作業については、“Observación”欄がまだ追記されていなかった支所が、チョンタレスでは、サント・トマス、ビジャ・サンディーノ、ラ・リベルタの3支所あり、セラヤ・セントラルでは、エル・コラル1支所あった。上記4支所に対しては、OJTによる指導を実施した。</p>

(3) 機材稼働モニタリングシステム担当職員を招集したワークショップの開催

上記(2)で整理した課題、問題分析結果をもとに、同モニタリングシステムの「機材稼働モニタリング手順」の各作業工程に従って、「現状での良い部分(Fortaleza)」、「課題(Hallazgo)」および、その課題に対する「提言(Recomendación)」という3つの項目に整理したPower Point(添付資料3:Talle sobre Sistema de Monitoreo de Funcionamiento de Equipos)を作成した。本Power Pointに基づき説明を行ったあと、参加者間でディスカッション形式によるワークショップを行った。

2. 供与機材の稼働状況について

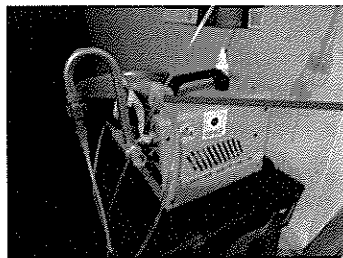
(1) 対象医療施設において、SAMANIプロジェクトで納入された機材の稼働状況を調査し、不具合・故障等の実態を把握

第1期分供与機材で調達された40アイテムおよび第2期分供与機材の6アイテムを対象とし、上記表1および表2に記載されている17施設において、機材の稼働状況を確認した。その中で、インベントリーに記載されている稼働状況 (Estado Fisico) が“Mal”分類の機材について、可能なものは、現場で修理を行った。また、医療従事者に対して、適切な取り扱い方法とユーザーレベルで実施可能な日常の保守点検方法を指導した。同時に、現在は良好に稼働しているが、今後不具合や故障の起きる可能性が想定される機材について、説明および指導した。確認した機材の稼働状況は以下のとおりである。

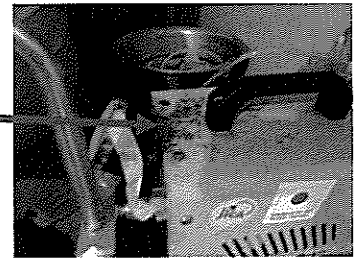
ネブライザー (Nebulizador de multiple salida)

本機材は、薬液の噴霧吸入を同時に2系統で行えるが、多くの場合、患者一人で使用される場合が多いので、1系統のみ使用しているときは、使用していないバルブを確実に閉じておく必要がある。しかし、この操作が守られていない施設が数か所あった。また、本体上面の塗装面とねじ部に多くの錆が確認された。薬液を本体上面に零したあと、すぐに清掃し、乾燥していないためこのような状況が起こることを説明した。

装置本体の外観



錆が確認された部分



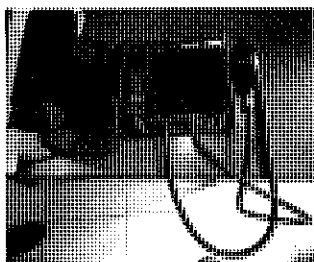
スタンドタイプ 血圧計 (Esfigmomanometro)

本機材は多くの施設において問題が起きている。特に患者上腕に巻くマンシエツトから圧力指示マンメータまでのチューブの劣化が多くの施設で確認された。劣化の特徴としては、チューブの接続部付近が溶けた状態になっている。

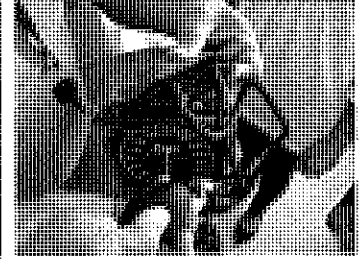
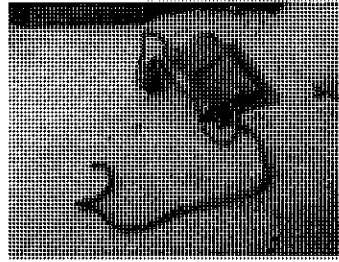
当初は熱や湿度によるものかと考えられたが、比較的気候の涼しい地域においても同様の状態が確認された。原因として考えられるのは、消毒に使用する洗浄剤や消毒剤に、強い塩素系の成分が入っており、これらの液体がチューブに触れることで化学反応を起こし、チューブの劣化を早めていると判断した。

また、納入してまだ1年ほどの期間でこのような状態になるのは、通常では考えられないことから、本製品を納入した納入業者 (Casa Teran) に状況を説明したところ、メーカー工場から出荷されたロットがもともと品質の悪いものだったことが考えられた。適切なエビデンスを現時点で追及するのは困難でもあったが、今回は納入業者の好意により、保証期間を過ぎたものでも、部品交換に応じるとの回答を得た。

新品のマンシエツトの状態



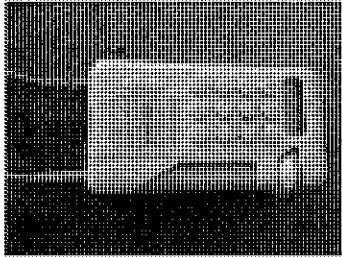
マンシエツト劣化の状態



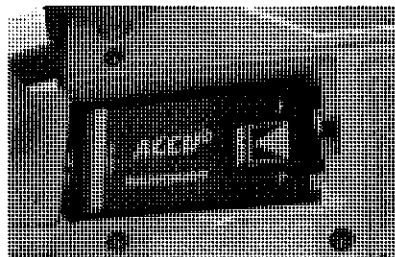
胎児心音計 (Doppler Fetal)

今回訪問した17カ所の医療施設において、故障、不具合は見つからなかった。唯一コマラパCSFで、納品時に元々同梱されていた充電用電池がすでに消耗劣化したので、一般のアルカリ電池を使用していた。使用上の問題はないが、一般のアルカリ電池を充電すると、電池自体が爆発の危険性があるため絶対に行わないよう指導した。また本装置は、プラス極とマイナス極を逆にしても装着されてしまう構造であるため、極の方向を十分に確認してから装着するよう注意指導した。

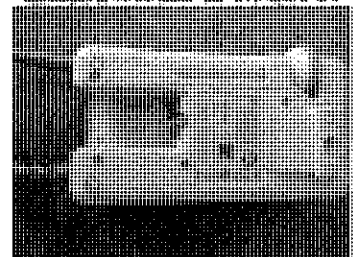
装置本体の正面



電池装着状態



電池装着の方法が間違っている



オートクレーブ (Autoclave)

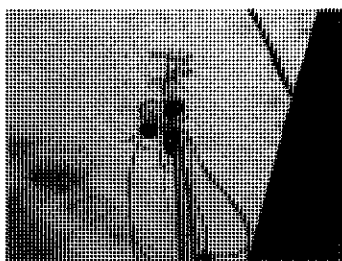
ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス一次病院では、据付当初から本装置は使用できないでいた。その理由は、当病院の変電室に送り込まれる電圧が通常の電圧より20%以上も低いため、マイクロコンピュータが内蔵されている本機材が誤動作を招くという状態であった。本問題を解決するには、変電室に送電するための柱上変圧器の交換が必要であるが、当地の電力会社にもその要請を3か月前から出しているが、同社からの回答は未だ得られていないとのことであった。

ラ・リベルタCSFでは、乾燥工程の不具合を確認した。考えられる原因は、乾燥工程中に、滅菌チャンパーから水を排水するための電磁弁(ソレノイドバルブ)の目詰まりによる可能性が高い。しかし機器本体を分解しないと具体的な故障箇所は特定できないことから、規定のプロセスに従って、同施設から支所→SILAIS→フィガルパ地域病院保守管理技士へ修理依頼するよう指導した。

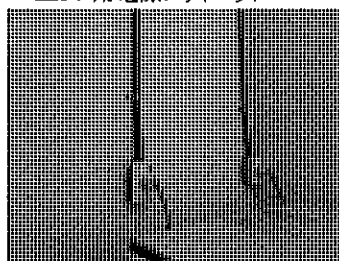
サン・ペドロ・デ・ロバゴCSFでは、滅菌工程での不具合を確認した。本状況に関してもラ・リベルタCSFと同様に機器本体を分解しないと診断がつかないため、同様な修理依頼申請を行うよう指導した。

オートクレーブ用に設置された

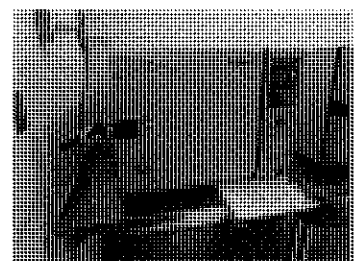
交換の必要な柱上変圧器



220V 用電源アウトレット



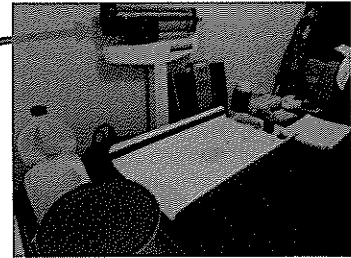
オートクレーブ本体は正常に稼働



新生児用体重計 (Balanza pediátrica)

本装置は、ほとんどの医療施設で問題なく使用されていたが、クアパCSFでは、0点校正が出来ていない、正確に体重が測れないとの報告だった。確認したところ、使用者が0点校正の方法を知らなかったことが判明された。現場において、その調整方法を指導し、問題は解決した。

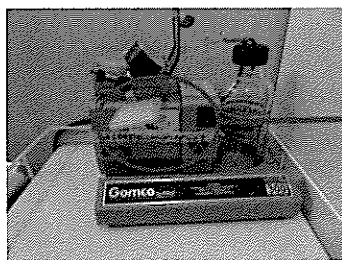
ゼロ点校正用調整
ツマミ



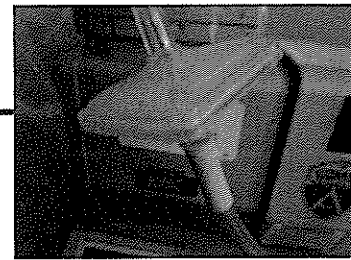
吸引機 (Aspirador mecánico de secreciones)

本装置は、すべての医療施設で良好に使われている。しかし、本装置は、患者の体液を吸引するため、使用後は、吸引チューブ、吸引ボトルなどの周辺部分の洗浄やバクテリアフィルターの交換などを怠ると機器の故障を招く可能性があることから、取扱上の留意事項と日常の保守点検方法を指導した。

吸引機本体



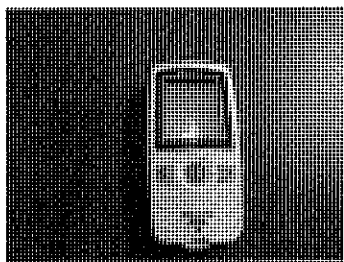
バクテリアフィルター



血糖値測定装置 (Glucómetro)

本装置は血液を採取するための試験紙を使用しなければならない。この試験紙は患者一人当たり1回分しか使用できない消耗品である。また同試験紙は通常放射線滅菌されているため使用期限が決められている。この試験紙は下の写真のとおり、一つの容器に25枚入りで収納されている。本装置が納入された殆どの医療施設では、ほぼ使用済みであったが、エル・ラマCSでは、未使用の試験紙が大量に保管されていた。使用期限が過ぎる恐れがあるので、頻繁に使用する他の医療施設で使用してもらうよう提案・指導した。

装置本体

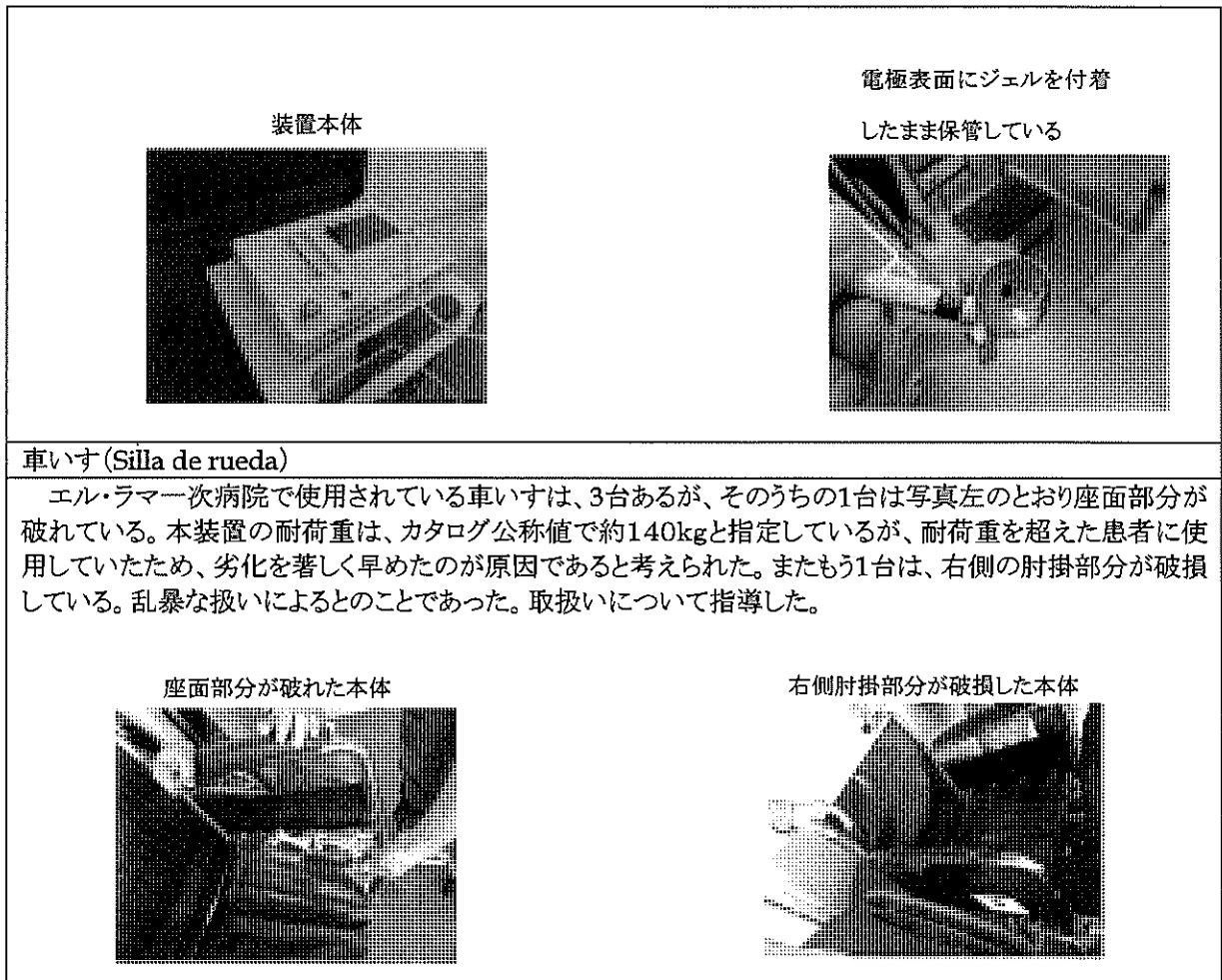


血液吸着用試験紙



心電計 (Electrocardiógrafo)

ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス一次病院とエル・ラマ一次病院に納入されており、両機材とも良好に稼働中である。しかし、機材の保管状態が適切ではなかったため、OJTによる技術指導を行った。特に、胸部電極と四肢電極は、導電性をよくするためのジェルを患者胸部表面に塗布するが、そのジェルが電極表面に付着したまま保管されていた。この状態では電極に青錆が付着し、感度の劣化を招く恐れがあるため、使用後の電極のクリーニングを徹底し、常に乾燥した状態で保管することを指導した。



(2) 機材の取り扱い、日常点検等の研修

機材ユーザーが適切な操作、取り扱いと日常の簡易な保守点検を実施することにより、機材の故障、不具合を未然に防ぐことが可能となる。本件については、現地踏査で訪問した医療施設の医療スタッフを含め、機材据付時、第一次派遣時と、再三にわたり説明をしてきているが、徹底されていなかった。以上を踏まえ、SAMANIプロジェクトが供与した機材のうち、特にユーザーレベルで日常点検の必要性のある機材14機種を下記のとおり選定し、同取扱いと日常点検に関して研修を開催した。

研修参加者は、表4で示したワークショップの参加者と同様の構成で、各支所のインベントリー業務担当職員および各医療施設にて、機材を扱っている看護師長とした。研修プログラムは、添付資料2を参照。

【本研修で扱った14機種】

- ① ネブライザー
- ② 血圧計
- ③ 胎児心音計
- ④ オートクレーブ

- ⑤ 新生児用体重計
- ⑥ 吸引機
- ⑦ 血糖値測定装置
- ⑧ パルスオキシメーター
- ⑨ 心電計
- ⑩ 双眼顕微鏡
- ⑪ 遠心機
- ⑫ 検眼鏡・耳鏡セット
- ⑬ 喉頭鏡セット
- ⑭ インファントウォーマー

上記14機種に必要と思われる取扱時の留意事項と日常点検の手法、手順の内容を網羅したPowerPoint資料をフィガルパ地域病院医療機材保守管理技士とともに作成し、同資料(添付資料5: Capacitación de manejo y mantenimiento preventivo de los equipos médicos)を印刷して参加者に配布した。

本研修の主たるファシリテータは、フィガルパ地域病院の医療機材保守管理技士に担当させ、補佐としてSAMANIプロジェクトのテクニカルアシスタントを配置した。また、テクニカルアドバイザーとして機材調達管理専門家は、参加者からの技術的な質問への対応や、上記ファシリテータの説明内容に不足な点や修正点があった場合にフォローした。

(3) 供与機材の今後の不具合への対応と修理に必要なコストの算出

第1期にて調達された機材のほとんどは、納入後のメーカー保証期間1年が経過したため、その後の機材の不具合の対応は、SILAISもしくは支所が行うことになる。故障診断・修理の対応において、従来の「機材稼働モニタリングシステム」の手順では、フィガルパ地域病院医療機材保守管理技士と保健省機材保守管理センター(CEMED)が対応することとしていたが、フィガルパ地域病院の技士1名で、両SILAISを対応するのは、物理的に難しい。今回の現地踏査を通じて、SILAISセラヤ・セントラルでは、ヌエバ・ギネア、ムエジェ・デ・ロス・ブエジェスおよびエル・ラマの各一次病院に配属されている病院設備の保守点検を担う技士との連携を行うことを検討した。

彼らは、現在CEMEDが主導し、国立マナグア自治大学で開催している医療機材保守管理の研修に参加することになっている。本研修は7月に終了する予定であることから、上記3名の技士が、SILAISセラヤ・セントラルのすべての医療施設における医療機材保守管理技士として活動することが期待される。

以上から、フィガルパ地域病院の医療機材保守管理技士を含め、上記4名の体制で、機材の故障、不具合が発生した時の故障診断・修理への対応を担ってもらうことで、両SILAIS局長をはじめとした関係者に周知し合意を得た。

また、今後これらの機材を継続的に使用していく上で、修理や交換が必要の可能性のあるスペアパー

ツや消耗品を機材ごとに特定し、各物品の単価を記載したリストを作成した(添付資料6:Lista de Repuestos para los equipos donados por JICA)。これらの物品類は、部品交換時に専門的な技術の必要がないものが殆どである。同リストには各備品類に単価も記載していることから、各支所のインベントリー担当職員が、実際に機材数量を確認し、必要数量分のコストを積算するよう提案した。

(4) 修理予算の捻出を実現させるため、CEMEDとの連携を通じた方策・方法についての検討

CEMEDの医療機材メンテナンス部長と協議を持った。上記の添付資料6を提示し、このリストに掲載されている各部品の標準価格表を有しているかどうかを確認したところ、有していないとのことだったが、本リストを参考にし、CEMEDの恒常的な予算で賄うことが可能か検討するよう要請した。

また、両SILAIS管轄の医療施設における医療機材の有効な維持管理について協議・検討を行った。

フィガルパ地域病院に所属している技士が同病院の機材以外にもSILAISチョンタレス内の10支所の医療施設の医療機材維持管理を担っており、同人一人で全医療施設の保守管理、修理への対応は物理的に困難であることは、CEMEDも周知している。CEMEDでは、総勢58名の技術者が在籍しているが、彼らが抱えている業務もかなり負担が大きい。CEMEDから保健省に対し、人員の増員要請を数年前より提出しているが、未だ配置には至っていない。現状から、直ちに増員される可能性は、厳しい状況である。以上から両SILAISで医療機材保守、修理を、より向上させるため以下の方策を検討した。

CEMEDでは、従来から下記の機材を主要14項目に掲げ、優先的に保守管理を実施するよう規定されている。そして、この14機材が設置されている全国の公的医療施設を定期的に巡回し、モニタリングとフォローアップを行っている。この巡回モニタリングを通じて、各地方病院で実際に不具合、故障している機材の修理対応や技術指導を行っている。この巡回モニタリング期間中に、主要14項目以外の機材のトラブルにも対応するよう、先に述べた4名の技士らと連携を図ることを提案した。

【CEMEDの巡回点検、修理対象14機材】

- ① 麻酔器
- ② 人工呼吸器
- ③ 緊急用自家発電装置
- ④ 超音波診断装置
- ⑤ X線撮影装置
- ⑥ 外科用イメージ(Cアーム)
- ⑦ 手術室用医療ガス中央配管システム
- ⑧ オートクレーブ
- ⑨ ボイラー
- ⑩ 業務用洗濯機
- ⑪ 業務用乾燥機
- ⑫ 冷蔵室

- ⑬ 焼却炉
- ⑭ 手術用無影灯

3. 財務省財務管理基準に照合した供与機材管理基準リストの作成

(1) 財務省の国有財産システム(SIBE)に則り、供与した機材の管理基準の分類

財務省、予算管理局(Ministerio de Finanzas, Dirección General de Presupuesto)が発行する「対象グループごとによる物品分類」の冊子によってSIBEによる機材管理基準が分類されている。同冊子の中で、医療機材、器具等の取り扱いについては以下の定義が定められている。

【Grupo 3:(396)】

耐用年数1年未満で、外科手術、歯科治療、獣医学およびラボラトリーなどで使用される比較的少額な医療器具、材料、消耗資材など(例:注射器シリンジ、穿刺針、ガーゼ、包帯、手術用グローブ、手術用鋼材、ラボ用の試験管、ピペットなど)

【Grupo 4:(422)】

耐用年数1年以上で、高額な医療機材、歯科用機材、ラボ研究用機材など(例:画像診断機器、手術関連機器、病院治療機材、臨床検査機材など)

財務省の既定において、上記分類のうちGrupo 4のみSIBEのインベントリー登録が義務づけられる。

(2) 財産・会計局において、供与機材の機材管理分類リストの作成

上記分類基準に従い、添付資料7のとおり機材管理基準リストを作成した(添付資料7:Sistema de Bienes de Estado)。

第4章 今後に向けての提言

(1) SAMANIプロジェクトによる供与機材稼働モニタリングシステムへのフォローアップ

本専門家投入による技術指導にて、習得した知見を今後有効に活用させるため、少なくとも、SAMANIプロジェクト活動期間中は、対象SILAISと各支所に対し、このインベントリー活動へのモニタリングとフォローアップを引き続き実施する。

(2) 機材修理への対応

今後は、供与機材の不具合、故障等が発生する頻度は今より多くなっていくことが予想される。第1期にて調達された機材の殆どは、1年の保証期間がすでに終了している。第2期分についても2019年7月までであり、この保証期間経過後に起こる不具合や故障に対する対応は、両SILAISが担うことになる。そのような中、医療機材の故障診断・修理を適切に対応出来るのは、フィガルパ地域病院の医療機材保守管理

技士のみである。これは極めて困難な状況であり、早急に人員の増員を図る必要がある。しかし、CEMEDの医療機材保守部長も言及したとおり、増員の実現は容易ではない。以上の現状を鑑み、当面の間、医療機材の不具合・故障に対しては、以下の要員構成で対応するよう両SILAIS局長へ提言した。

- SILAISチョンタレス

SILAISチョンタレスでは、10支所管轄の医療施設における機材の故障、不具合の対応は、従来どおりフィガルパ地域病院の医療機材保守管理技士が担うこととする。今回、機材調達管理専門家との各医療施設で現場踏査を実施し、供与機材の稼働状況の把握とともに各施設の機材インベントリー担当職員と今後の連携について打ち合わせを行った。機材の診断、修理等の依頼は機材稼働モニタリングシステムの作業工程どおり実施するが、緊急なケースもあり得るので、その時には、支所のインベントリー担当職員から同保守管理技士に直接連絡を取ることを可能とする。しかし、点検・修理履歴を確実に残すため、申請書類の管理は機材稼働モニタリングシステムの手順(添付資料1)に準じることとする。




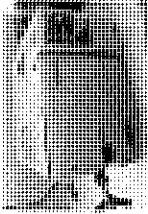

- SILAISセラヤ・セントラル

SILAISセラヤ・セントラルでは、ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス一次病院、ヌエバ・ギネア一次病院およびエル・ラマー一次病院に配属されている技士と連携を取り、4支所が管轄している医療施設の対応を担う。

上記3名の技士とフィガルパ地域病院の技士との間で、密なコミュニケーションを図り、適切に連携することで、フィガルパ地域病院保守管理技士の負担を軽減し、機材不具合時への対応力を高めることが期待される。





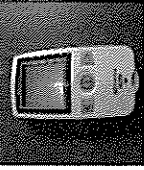
以上

供与機材用スベアパーツ・消耗品リスト






No.	Nombre de Equipo 機材名	Marca メーカー	Modelo 型式	Pieza para repuestos スベアパーツもしくは消耗品	Especificaciones y Codigo de Pieza	Precio unidad 単価 (USD)	Notas
1	Nebulizador ネブライザー 	MADA Internacional	No. 180, MadanMist50	Manometro para lectura de presión	184	196.00	CASA TERAN Buhler cotizó : US\$ 102
2	Esfigmomanometro de pie 立脚式 血圧計 	2MM USA	RT-42201	Brazalete con manguito		18.00	CASA TERAN
3	Doppler Fetal 胎児心音計 	Humflough	Sonicard FD1	Transductor	SP726222	380.00	CASA TERAN
4	Autoclave オートクレーブ 	Tuttnauer	2540E	Bateria recargable de 9V	ACC172	175.00	CASA TERAN
				Cel conductivo para ultrasonido	Aquiasonic 0.25L / 01-08	5.50	CASA TERAN
				Empaquetadura de puerta	GAA080-0184	60.00	CASA TERAN
5	Destilador 蒸留器 	Tuttnauer		Resistencia calentadora del calderin	HEA009-0017	300.00	CASA TERAN
				Juego de valvulas solenoide	SOL026-0004 SOL026-0006	0.00	
				Filtro de carbon	DST210-0023, 6 unidades / paquete	84.00	CASA TERAN
				Resistencia calentadora del calderin		280.00	CASA TERAN

LISTA DE REPUESTOS PARA LOS EQUIPOS DONADOS POR JICA

供与機材用スベアパーツ・消耗品リスト

No.	Nombre de Equipo 機材名	Marca メーカー	Modelo 型式	Pieza para repuestos スベアパーツもしくは消耗品	Especificaciones y Codigo de Pieza	Precio unidad 単価 (USD)	Notas
6	Cuna térmica radiante インフアントウォーマー 	ATOM	Sunflower warmer	Resistencia calefactora		0.00	
				Sensor de temperatura para piel		0.00	
7	Laringoscopio 喉頭鏡セット 	Rudolf Riester	12274	Batería recargable de 3.5V	10692	93.00	CASA TERAN
				Bombillo Xenon	11429, 3.5V DC, envase 6 unidades / paquete	230.00	CASA TERAN
8	Oto-Oftalmoscopio 検眼鏡・耳鏡セット 	Rudolf Riester	3700, 3722	Batería recargable de 2.5V	10681	75.00	CASA TERAN
				Bombillo Xenon, 2.5V para Oftalmoscopio #3700	10489, envase 6 unidades / paquete	214.00	CASA TERAN
				Bombillo Xenon, 2.5V para Oftalmoscopio #3722	10605, envase 6 unidades / paquete	214.00	CASA TERAN
9	Aspirador 吸引機 	GOMCO	300	Filtro de bacteria	01-90-3100 3 unidades/set	38.00	CASA TERAN
				Botella de succión	01-90-2675	65.00	CASA TERAN
				Manómetro para lectura de presión	01-90-3059	90.00	CASA TERAN
10	Glucómetro 血糖値測定装置 	Standard Diagnosis	SD-Check	Cinta para examinación de glucosa, codigo 021	envase 50 unidades / paquete	25.00	CASA TERAN

供与機材用スベアパーツ・消耗品リスト

No.	Nombre de Equipo 機材名	Marca メーカー	Modelo 型式	Pieza para repuestos スベアパーツもしくは消耗品	Especificaciones y Codigo de Pieza	Precio unidad 単価 (USD)	Notas
11	Electrocardiografo 心電計 	CARDIO LINE	ECG100L	Electrodos para ECG Cable de ECG Electrodos de pinzas para manos Electrodos de pinzas para pies Papel para impresora Gel conductor para ECG	66030040 63050025 63030163 63030105 66010055C 66010065C	17.40 120.00 50.00 25.00 5.00 8.00	BUHLER PHARMA BUHLER PHARMA BUHLER PHARMA BUHLER PHARMA BUHLER PHARMA BUHLER PHARMA
12	Oxímetro de pulso パルスオキシメーター 	HILLMED	HM-OXIVISION 1AA	Sensor (Probe) de SPO2 para adulto	HM145	80.00	BUHLER PHARMA
13	Microscopio binocular 双眼 顕微鏡 	LW Scientific	Revelation III	Batería recargable 1.2V Bombilla de LED 3V Lente oculares Lente objetivos Porta lamina	HM523 R3P*BLB7LED7 RLP-III-125 RLP-III-125 RLP-III-145	125.00 45.00 120.00 120.00 145.00	BUHLER PHARMA BUHLER PHARMA BUHLER PHARMA BUHLER PHARMA BUHLER PHARMA
14	Centrifuga 遠心機 	LW Scientific	ZIP-IQPCV(ZIC-24HD-75T3)	Empaquetadura de tapa Carbones para alta revoluciones		0.00 0.00	
15	Silla de rueda 車いす 	PROBASIC	1006DX	Llanta delantera de 8" Fornio de asiento	PBDXK4FC PBDX18SEAT	74.00 97.50	CASA TERAN CASA TERAN

Sistema de Bienes del Estado
財務省財務管理基準に照合した供与機材管理基準リスト

Groupo 4(グループ4) 国有財産システム(SBE)に登録
Groupo 3(グループ3) SIBEに記録せず、支所のインベントリに記録

ITEM	Nombre de equipo 機材名	Marca メーカー Nombre de Modelo 型式	Pais Origen de la Marca 製造国	Precio unitario en \$ 単価(米ドル)	Precio unitario en C\$30.35 為替 \$1.00 =	Clasificación para entrada a inventario 財務省財務管理基準分類
1	Nebulizadores de multiple salida ネブライザー	MADA Madamisi50	USA	\$574.46	C\$17,434.86	Grupo 4
2	Esfigmomanómetro de pie con estetoscopio 立脚式血圧計	2MM USA Corporation RT-42201	USA	\$84.54	C\$2,566.79	Grupo 4
3	Camilla Ginecológica 産婦人科処置台	CI Healthcare LH-13	USA	\$806.02	C\$24,462.71	Grupo 4
4	Doppler Fetal 胎児ドップラー	Huniteigh Sonicald FDI	USA	\$668.98	C\$20,303.54	Grupo 3
5	Pesa de Adulto con Tallimetro 成人用身長体重計	Graham Field Health Team HT 485	USA	\$220.42	C\$6,689.75	Grupo 4
6	Autoclave 20 a 25 litros オートクレーブ (20-25リットル)	Tuithauer 2540E	Holanda	\$4,318.75	C\$131,074.06	Grupo 4
7	Autoclave mas de 50 litros オートクレーブ (50リットル)	Tuithauer 3850EA	Holanda	\$10,062.37	C\$305,392.93	Grupo 4
8	Cuna térmica radiante インフアントウォーマー	Atom Sunflower Warmer	Japón	\$15,527.96	C\$471,273.59	Grupo 4
9	Laringoscopio con todas los numeros de hojas (Adultos y Peditrico) 成人用喉頭鏡セット	Rudolf Riester GmbH 12262,12263,12264,12272,12331,10 692,11429,11389	Alemania	\$395.08	C\$11,990.68	Grupo 3
10	Laringoscopio con todas los numeros de hojas (Neonatal) 小児用喉頭鏡セット	Rudolf Riester GmbH 12274,12275,12275,12331,10692,11 429,11389	Alemania	\$349.12	C\$10,595.79	Grupo 3
11	Tanque de Oxigeno de 110 para traslado de Px 携帯用酸素ボンベ	MADA 1602E	USA	\$470.51	C\$14,279.98	Grupo 4
12	Camilla para expulsivo de partos 分娩台	CI Healthcare Andra A4	USA	\$2,787.92	C\$84,613.37	Grupo 4
13	Refrigeradoras para vacuna ワクチン用冷蔵庫	Dometic/B Medical Systems TCW 2000 AC	Luxemburgo	\$5,479.60	C\$166,305.86	Grupo 4
14	Mesas de Mayo 器械台	Apex Healthcare Mig,Inc/Clinton MS-29	USA	\$326.30	C\$9,903.21	Grupo 4
15	Lámpara Cuello de Cisne ゲースネックランプ	GF Health Products Inc/Graham Field 1697-IM	USA	\$96.13	C\$2,917.55	Grupo 4

16	Equipo de Parto 出産キット	Reda Ver Ficha Tecnica	Alemania	\$348.77	C\$10,585.17	Grupo 3
17	Balanzas Pediatricas 新生児用体重計	Health o Maeter Pelstar, LLC 1522KL	USA	\$327.54	C\$9,940.84	Grupo 3
18	Ambu pediátrico 小児用蘇生バッグ	Ambu 370 003 000	Dinamarca	\$191.16	C\$5,801.71	Grupo 3
19	Ambu para adulto 成人用蘇生バッグ	Ambu 470 003 100	Dinamarca	\$227.16	C\$6,894.31	Grupo 3
20	Ambu para Neonatología 乳児用蘇生バッグ	Ambu A 288 103 000	Dinamarca	\$413.95	C\$12,563.38	Grupo 3
21	Manómetros para tanques de oxígeno 酸素タンク用流量計	Mada 1825E	USA	\$705.34	C\$21,407.07	Grupo 3
22	oto oftalmoscopio 検眼・耳鼻鏡	Rudolf Riester GmbH 37,003,722	Alemania	\$502.84	C\$15,261.19	Grupo 3
23	Espectofotómetro 医用分光器	2MM USA Corporation Diagnostiko-550	USA	\$3,000.94	C\$91,078.53	Grupo 4
24	Equipo para Inserción Diu IUDキット	Reda Ver Ficha Tecnica	Alemania	\$58.33	C\$1,770.32	Grupo 3
25	Gradas de Doble Peldaño 産婦人科用踏み台	CI Healthcare LH-21	USA	\$112.34	C\$3,409.52	Grupo 4
26	Equipo para cirugía menor 外傷手術キット	Reda Ver Ficha Tecnica	Alemania	\$133.36	C\$4,047.48	Grupo 3
27	Cuneros o cunita para bebe 新生児用ベット	PSCC Medical PSCC PB-36	Canadá	\$617.76	C\$18,749.02	Grupo 4
28	Armario para Material Médico Quirúrgico 手術機材棚	CI Healthcare LH-Armario-2	USA	\$489.13	C\$14,845.10	Grupo 4
29	Camilla de Traslado de pacientes con barandas ストレッチャー	PSCC Medical PSCC PE-5	Canadá	\$737.25	C\$22,375.54	Grupo 4
30	Aspirador mecanico de Secreciones 吸引器	Gomco Allied Healthcare Products Inc 300	USA	\$1,625.93	C\$49,346.98	Grupo 4
31	Sillas Giratorias 回転椅子	Clinton SS-2162	USA	\$468.75	C\$14,226.56	Grupo 4
32	Sillas de Ruedas 車椅子	Probasies 1006DX	USA	\$201.72	C\$6,122.20	Grupo 4
33	Glucómetro 血糖測定器	Standard Diagnostic, Inc SD Check	Corea del Sur	\$155.46	C\$4,718.21	Grupo 3

34	Martillo de reflejo 打診器/ライナーハンマー	Reda 03288-20	Alemania	\$3.93	C\$119.28	Grupo 3
35	porta sueros 点滴スタンド	Drive 13033	USA	\$34.82	C\$1,056.79	Grupo 3
36	Equipo para Minilaparatomia 不妊手術用器具	Reda Ver Ficha Tecnica	Alemania	\$347.38	C\$10,542.98	Grupo 3
37	Estetoscopio de Pinard ピナード式聴診器	Graham Field Labtron 700	USA	\$4.91	C\$149.02	Grupo 3
38	Tenciometro portatil 携帯用血圧計	ADC/2MM 760-11ABK;760-9CBK;RT-2450B;RT-	USA	\$43.53	C\$1,321.14	Grupo 3
39	Talimetro portatil 携帯用身長計	Seca 213	Alemania	\$127.98	C\$3,884.19	Grupo 3
40	Pesa portatil adulto 携帯用体重計	Seca 762	Alemania	\$105.74	C\$3,209.21	Grupo 3

Sistema de Bienes del Estado
 Proyecto de Salud de Madres y Niños(as) del SILAIS Chontales y SILAIS Yelaya Central
 Donacion de Equios Medicos Fase II Donado en 2018
 Registrado en SIBE
 No entra en SIBE solo inventario de Municipio

N°	Descripcion de equipo 機材名	Marca メーカー Nombre de Modelo 型式	Pais Origen de la Marca 製造国	Precio unitario en \$ 単価(米ドル)	Precio unitario en 為替 \$1.00 = C\$31.32	Clasificacion para entrada a Inventario
1	MICROSCOPIO BINOCULAR 双眼顕微鏡	LW scientific Revelation III, R3M-BN4A-DPL3	USA	\$970.00	C\$30,380.40	Grupo 4
2	ESPECTROFOTOMETRO 分光光度計	LABOMED BAS-120TS	USA	\$3,100.00	C\$97,092.00	Grupo 4
3	MICROCENTRIFUGA 遠心分離機(小型)	LW scientific V24	USA	\$850.00	C\$26,622.00	Grupo 4
4	OXIMETRO DE PULSO パルスオキシメーター	HILLMED HM-OXYVISION1A	USA	\$1,650.00	C\$51,678.00	Grupo 4
5	CENTRIFUGA GRANDE 遠心分離機(大型)	LW scientific ZIP-IQ PCV/ZIC-24HD-75T3	USA	\$1,450.00	C\$45,414.00	Grupo 4
6	ELECTROCARDIOGRAFO 心電計	CARDIOLINE ECG100L	ITALIA	\$1,950.00	C\$61,074.00	Grupo 4

N°	Descripcion de equipo 機材名	Marca メーカー Nombre de Modelo 型式	Pais Origen de la Marca 製造国	Precio unitario en \$ 単価(米ドル)	Precio unitario en 為替 \$1.00 = C\$31.32	Clasificacion para entrada a Inventario
7	Cuneros o cunita para bebe 新生児用ベット	HILL MED HM-MO-B46	USA	\$450.00	C\$14,094.00	Grupo 4

Nota: Definición de Grupos 3 y 4 por el SIBE según de Clasificador por Objeto del Gasto, Dirección General de Presupuesto de Ministerio de Finanzas
Grupos 3 : Vida útil es menos de 1 año.

396: Instrumental menor médico- Quirúrgico y de laboratorio
Instrumental menor y material de reposición periódica de uso práctico y científico en medicina, cirugía , odontología, veterinaria y laboratorios, tales como jeringas, agujas, gasas, vendajes, material de sutura, guants para cirugía a vasos de precipitación pipetas, alambiques, pinzas, etc.

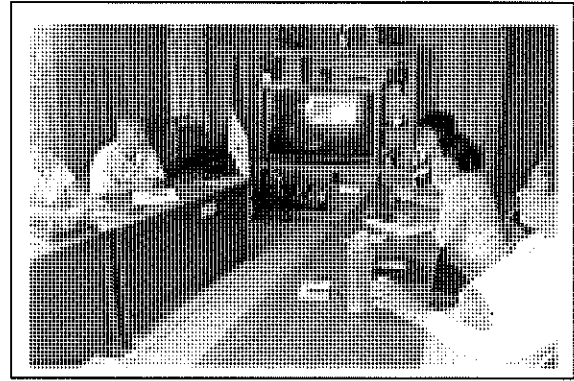
Grupos 4 : Vida útil es mayor de 1 año.

422: Equipo médico, sanitario y de laboratorio
Equipos médicos, de salud veterinarios, odontológicos, de investigación y de laboratorio, tales como mesas de operación, bombas de cobalto, equipos de imagenología como mesas de operación, bombas de cobalto, equipos de imagenología como tomógrafos, ecógrafos, etc; incubadoras, instrumental médico quirúrgico mayor, autoclaves, sillas de ruedas, camillas, camas hospitalarias, equipos mortuorios, compresoras, sillones para uso médico - odontológico; equipos de laboratorios como microscopios, centrifugas, refrigeradoras, especiales, equipo para laboratorio bioquímico, esterilizadores, balanzas de precisión, detectores de minerales, telescopios y otros. Incluye los gastos por concepto de adiciones y reparaciones extraordinarias que aumenten el valor de estos bienes.

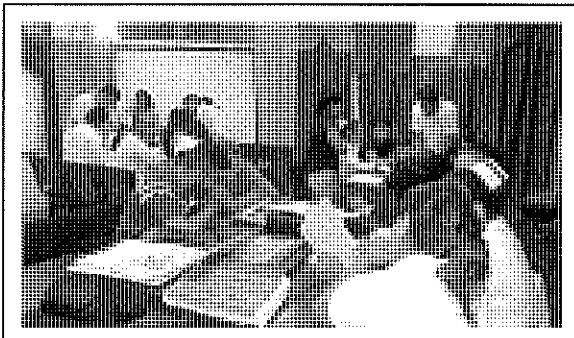
5. 活動写真



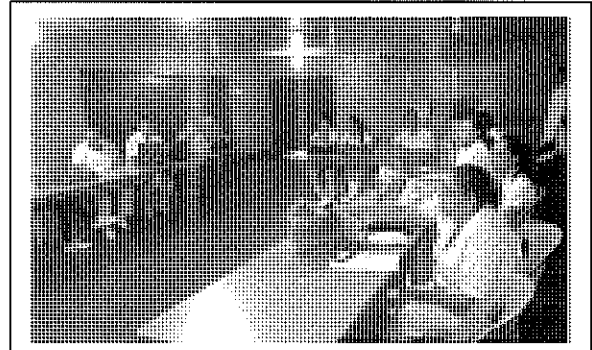
プロGRESSレポートの作成
DGSS、両 SILAIS 合同評価会議
SILAIS チョントレスにて



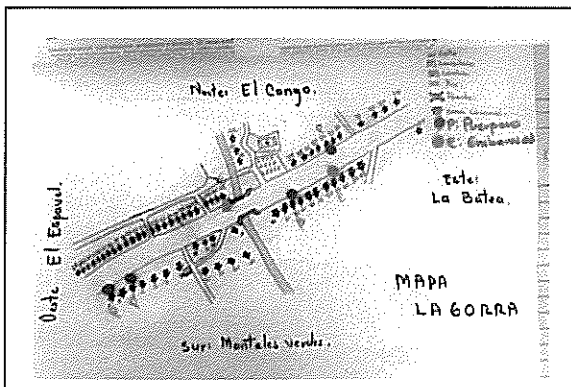
SILAIS 幹部技術審議会 (CTOD)
業務内容を共有し課題を検討
SILAIS セラヤ・セントラル



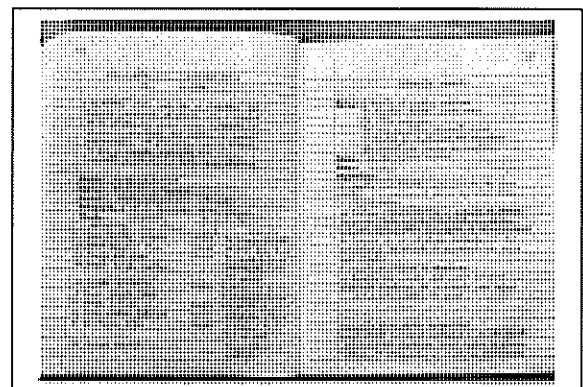
ESAFc 活動四半期評価
証拠書類を基に進捗度合いを確認
ヌエバ・ギネア支所



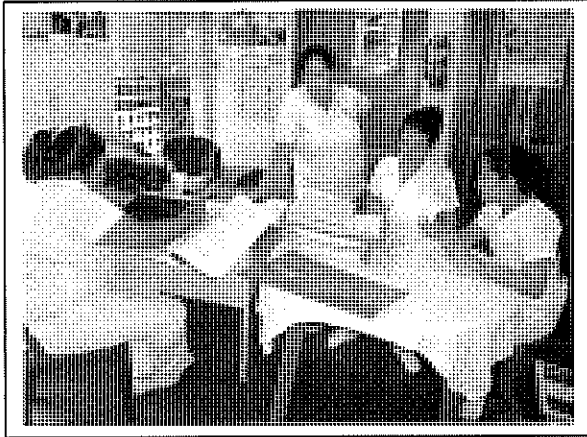
ESAFc 活動再強化研修
ESAFc 活動ガイド改定草稿を用いた研修
ファイガルパ支所



ESAFc 活動妊産褥婦監理
集落マップ上に妊婦と産褥婦の居住家屋に
マーキング
ムエジェ・デ・ロス・ブエセス支所
エル・カカオ保健セクター



ESAFc 活動月例会議議事録
訪問先、テーマ、目的、合意事項等を記述
ヌエバ・ギネア支所
第2保健セクター



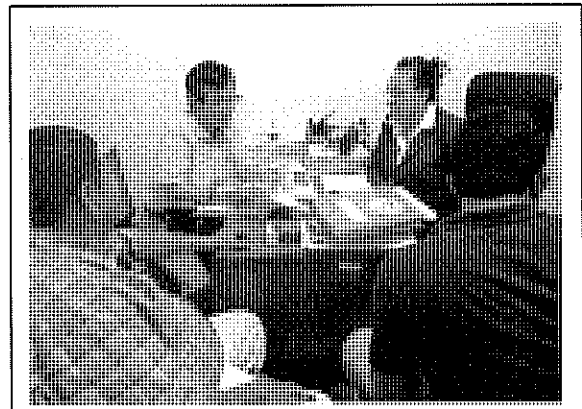
技術統合巡回指導 (ATI)
記録を比較して、記入内容を確認
ビジャ・サンディーノ支所
ムーアン保健セクター



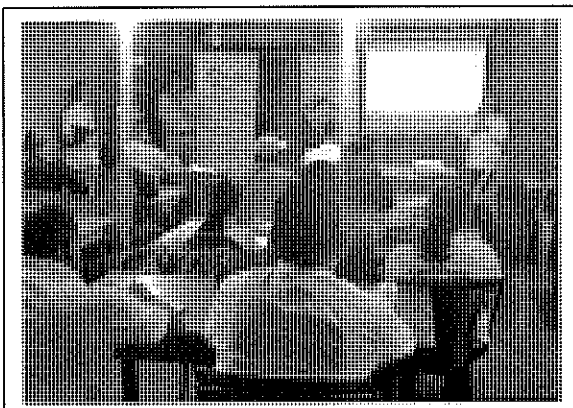
技術統合巡回指導 (ATI)
実施後に改善策を協議し、合意
アコヤパ支所
パルマ保健セクター



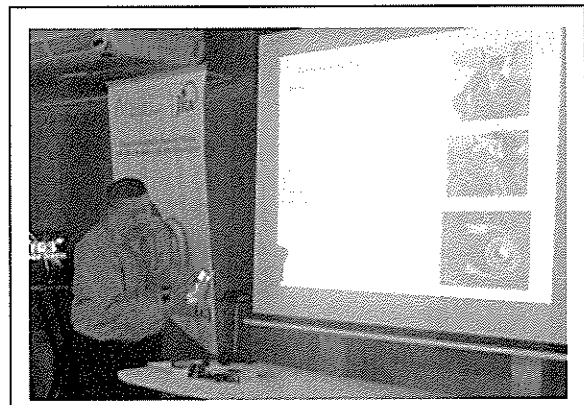
支所審議会 (CTAM)
支所内の全保健セクターが出席
サント・トマス支所



機材稼働モニタリングシステム実態調査
機材台帳管理者に聞き取り調査
コマラパ支所



機材稼働モニタリングシステム
機材管理台帳管理者と実態調査結果について
課題・改善などについて協議
両 SILAIS および 14 支所合同ワークショップ



機材取扱・日常点検研修
14 機種 of の正しい使い方を実演し説明
両 SILAIS および 14 支所合同研修



2019 年 3 月 8 日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 青木 恒憲 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤ・セントラル保健管区に
おける母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2019年2月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. 第7回半期評価会・ワークショップ

プロジェクトの2018年PDM指標及び主な活動の進捗評価と、プロジェクト終了までの課題改善を目的として、関係者が参加し、半期評価会及びワークショップを開催した。

1) 参加者、日時、場所

参加者：両SILAIS：14人、14支所：44人、地域病院：1人、一次病院：3人
JICAニカラグア事務所：2人、プロジェクト：7人、計71人
日時：半期評価会：2019年2月26日午前8時30分～午後4時
ワークショップ：2019年2月27日午前8時30分～午後4時30分
場所：チョンタレス県フィガルパ市、Hotel La Quinta会議場

2) 半期評価会アジェンダ（各項目の進捗は、本文に記載）

- ① 第7回運営委員会（2018年10月17日）での合意事項の進捗確認
- ② 2018年1月～12月のPDM指標達成状況
- ③ ESAFC活動の評価
- ④ レファラル・カウンターレファラル活動の評価
- ⑤ エンドライン調査結果
- ⑥ プロジェクト終了時評価結果
- ⑦ 狐崎保健行政専門家による今後のESAFc活動の展望

3) ワークショップ・アジェンダ

- ① グループワーク1：技術統合巡回指導の実施手順の見直し
2017年8月に開催した第5回半期評価会・ワークショップで合意した

技術統合巡回指導（ATI）実施手順について見直した。詳細は 6 頁 1-5.3) を参照。

② グループワーク 2：レファラル・カウンターレファラル業務フロー図の修正

各 SILAIS で実施されているレファラル・カウンターレファラルについて、緊急搬送、通常搬送、レファラル情報伝達管理、カウンターレファラル情報伝達管理の業務フロー図を見直し修正した。詳細は 7 頁 1-6.1) を参照。

③ グループワーク 3：ES AFC 活動における家庭調査票を用いた活動強化

両 SILAIS の 161 保健セクターにおける ES AFC 活動で、全ての集落で家庭調査票の更新を進めている。その家庭調査票を用いた活動強化に関して意見交換を行った。詳細は 5 頁 1-4.2) を参照。

4) PDM 指標の達成状況（2018 年 1 月～12 月）

PDM3 の指標に基づき、上位目標、プロジェクト目標と成果の達成状況を確認した。その評価結果は、添付資料①のとおりである。

5 つのプロジェクト目標のうち、プロジェクト目標指標 4「対象地域で 1～4 歳の 1 回目乳幼児健診を受ける割合」が、SILAIS チョントレスでは達成しているが、SILAIS セラヤ・セントラル及び両 SILAIS 平均で達成しなかった。プロジェクト首領までに強化する必要がある。それ以外は全て達成されている。

成果指標 1-4「カウンターレファラルの一致割合」は、達成見込みが心配されたが、患者の記録を確認したところ、指標が目標値を達成していることが確認された。また、成果 3 の 3 つの指標については、具体的な目標値を設定していないものの、実施されていなかった活動への取り組みが開始されたほか、行政能力向上に関して、一連の「研修→技術統合巡回指導→技術審議会→改善案立案」と、PDCA サイクルを用いた活動の分析・改善・計画が実践されていることが確認された。

5) 第 7 回半期評価会・ワークショップ合意事項

合意の再確認及び新規合意がなされた主な内容は以下のとおりであった。

【研修】

- ① 2019 年 5～7 月にかけて、新たに配属される社会奉仕の医師・看護師及び新規の雇用契約候補者である准看護師に対して、研修プログラムを実施する（再確認）。

【母子管理】

- ① 保健セクターは、毎週金曜日午前中に母子保健管理台帳情報を支所に届け、午後 4 時までに SILAIS へ連絡する（再確認）。

【データ管理統計】

- ① 各支所の統計データ担当者は、巡回指導に参加し、データを正確に記録し分析しているか確認する（新規合意）。

【技術統合巡回指導】

- ① ワークショップで定めた実施基準を順守する（新規合意）（詳細は、6 頁 1-5.3) を参照）。
- ② SILAIS チョントレスは、保健セクターの医療従事者が参加する支所技術審議会（CTAM）に同席する（新規合意）。SILAIS セラヤ・セントラルは毎月全支所の CTAM に同席する（再確認）。

【ES AFC 活動】

- ① 各支所長は、ES AFC 活動項目 7「保健セクターの基本活動を計画・実施する」

について、ワークショップで定めた活動をフォローする（新規合意）（詳細は、5 頁 1-4. 2）を参照）。

1-2. SAMANI プロジェクト好事例研修

1) 保健省本省 5 局技官に対するプロジェクト好事例研修

保健省保健サービス総局（DGSS）、対外協力局（DGE）、開発計画総局、教育総局、公衆衛生総局から合計 25 名が参加して、プロジェクト活動の好事例を紹介・解説した。研修の構成とファシリテーターは、以下のとおりであった。

- ① SAMANI プロジェクトの活動概要（クルス DGSS 総局長）
- ② PDCA による活動マネジメントシステム（フローレス SILAIS チョントレス看護師長）
- ③ ESAFC 活動ガイド（セラーノ SILAIS チョントレス・コマラパ支所長）
- ④ レファラル・カウンターレファラル（アギラル SILAIS レオン局長・前 SILAIS チョントレス局長）

研修は、報告された好事例のうち、全国展開が可能と判断された項目で構成した。

「PDCA による活動マネジメント」は、主に研修プログラム、研修ファシリテーターの養成、カスケード研修の実施、巡回指導と支所技術審議会（CTAM）におけるモニタリング、半期評価会や SILAIS 技術審議会（CTAD）における評価とフィードバックを一連のサイクルとしたマネジメント方法である。特に、保健省の既存の保健省令 2009 年「質と指標の評価」が的確に実施されるために導入したモニタリングハンドブックの活用及び使用方法について多く説明した。活動を通じて、自分たちで問題や課題を抽出し、改善策を立案し、取り組む工程は、行政能力の向上に結実していることに結実している旨、説明した。

「ESAFc 活動ガイド」については、同活動に 2 年間両 SILAIS で取り組んだ経験を基に、コマラパ支所長がその効果と成果について説明した。特に同ガイドの簡易性、可視性の特徴を説明し、導入前と導入後を比較した支所職員、医療従事者、RC の行動変容について以下のとおり解説した。

- ① 支所職員は、ESAFc 活動をモニタリングすることで、ESAFc 活動の理解を深め、支所として支援が必要なこと、指導すべき項目が明確となった。
- ② 医療従事者は、日常業務の多忙さや移動手段がないことから、これまで困難と考えられていた集落における家庭調査票作成や RC 主体の活動を達成し、マネジメント能力だけでなく、記録作成などを含め業務能力が向上している。
- ③ RC については、医療従事者の支援を得て、RC 自らが、集落のニーズに即した活動を計画・実施した。活動後の評価会では、その成果や課題を RC 自身が言葉で表現し、月例会議で他の RC らに活動結果を共有するなど、一連の工程を通じた努力が結実し、RC のエンパワーメントに繋がっている。これらの活動を繰り返すことで、ESAFc 活動において、RC の主体性が向上している。

「レファラル・カウンターレファラル」については、業務フロー図を作成して、責任と業務を体系化及び可視化したこと、省令で示されているレファラル・カウンターレファラルの記録様式的的確な活用と、指標を用いたモニタリング及び分析の取り組みを説明した。両 SILAIS のレファラル・カウンターレファラル担当官と委員会の活

動で、弱点を解消する作業が定着していることを説明した。

- 計画 ① 本研修内容をベースとして、プロジェクト対象外である全国 17 か所の SILAIS に対してセミナー開催の準備を進める。

1-3. 対象 14 支所における医療従事者研修

1) 母子保健 5 項目のテキスト第 2 版

改定版作成の、残りの 1 項目であった産後出血テキストについては、両 SILAIS 局長による最終確認を終了し、保健サービス総局 (DGSS) による 5 項目のテキスト内容の確認及び承認作業を進めている。

2) 母子保健研修ガイドの改定

研修ファシリテーター用の研修ガイド、研修の事前・事後テスト、症例検討教材の改定作業を両 SILAIS の母子保健技術委員会とともに実施し、最終確認作業を進めている。

- 計画 ① DGSS による母子保健 5 項目のテキストの最終チェックを終え、承認を得て、印刷する。
- ② DGSS による研修事前・事後テスト、症例検討教材等を含む研修ファシリテーター用ガイドの最終チェックを終え、承認を得て、印刷する。
- ③ 研修用パワーポイント教材の改定作業を進める。
- ④ 全国 17 か所の SILAIS に対するセミナーの準備を進める。

1-4. ESAFC 活動

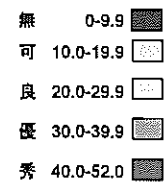
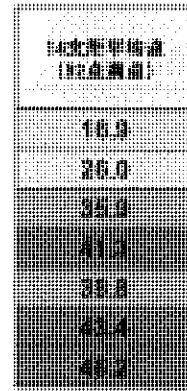
1) ESAFC 活動の継続と四半期評価

両 SILAIS は ESAFC 活動の四半期評価を終了した。その結果は、表 1 のとおりであった。

表 1. 2018 年 10~12 月の ESAFC 活動四半期評価結果

SILAIS チャントレス	アコヤバ	コマラバ	クアバ	エル・アヨ テ	フィガル バ	ラ・リベル タ	サン・ペドロ・ デ・ロハゴ	サント・ド ミンゴ	サント・ト マス	ビジャ・サン デーノ	平均点	
2017年	8月	17.5	13.1	23.4	17.0	4.2	14.7	14.5	33.6	16.5	11.8	16.6
	8月	36.2	32.2	26.0	33.4	22.0	20.8	16.7	32.4	23.5	16.3	25.9
	12月	40.0	41.6	35.0	36.6	36.2	30.9	25.8	47.2	29.5	32.7	35.6
2018年	3月	44.3	47.3	37.8	45.5	36.5	41.4	40.2	48.8	40.3	34.3	41.3
	6月	42.1	42.8	45.2	50.1	31.5	32.9	41.5	48.8	33.1	29.2	39.7
	9月	44.9	49.9	41.6	50.5	34.5	30.0	45.0	43.4	44.4	32.7	41.7
	12月	49.1	51.6	49.2	50.3	50.2	42.6	43.7	44.8	50.1	47.3	47.9

SILAIS セラヤ・セントラル		エル・コラル	エル・ラマ	ムシエ・ デ・ロス・ブ エシエス	ヌエバ・ ギネア	平均点
2017年	8月	17.8	12.5	19.2	20.9	17.6
	9月	21.8	22.5	29.6	30.2	26.0
	12月	33.0	34.8	32.4	48.3	36.6
2018年	3月	44.4	38.6	35.7	45.5	41.1
	6月	38.0	47.5	29.6	30.3	36.4
	9月	48.2	47.6	46.6	48.3	47.7
	12月	48.8	49.1	48.9	49.0	48.9



評価結果から、支所が主体となって2年間 ESAFC 活動を継続し、巡回指導と CTAM を用いたモニタリング及び指導と、四半期評価を継続することで、実施した基本的な ESAFC 活動の有効性が導入全域で証明された。

2) 今後の ESAFC 活動の展望

第7回半期評価会・ワークショップにおいて、狐崎保健行政専門家によって、すでに基本的な活動が定着してきている ESAFC の展望及び可能性について、講演が行われた。講演では、「貧困の状況であったとしても、生活をよくする取り組みは可能である」として、住民が主体性を持った生活改善の取り組みと、ESAFc 活動における可能性を解説した。

3) 家庭調査票を用いた ESAFC 活動強化

両 SILAIS は、第7回半期評価会・ワークショップで、すでに基礎的活動が確立された ESAFC 活動の効果を一層高めるために意見交換を行い、組織的に強化すべき活動として、以下3つを優先項目として取り組むことで合意した。これまでは、一部の保健セクターでこれらへの取り組みが確認されていたが、全保健セクターで下記3項目の活動をモニタリングすることになる。

① 妊娠初期12週以内の妊婦健診

家庭調査票、家族計画実施者リスト、妊娠簡易検査を用いて、RC とともに妊婦の特定活動を実施する。

② 6歳未満児の乳幼児健診

家庭調査票、妊産婦管理台帳、予防接種管理台帳を用いて、RC とともに6歳未満児を確実に捕捉し、健診を強化する。

③ 子宮頸がん検診

家庭調査票、子宮頸がん検診・治療対象者リストを用いて、検査と治療を確実に実施する。

3) ESAFC 活動ガイドと好事例集の更新

「ESAFc 活動ガイド(改定版)」と「ESAFc 活動の好事例集(第2版)」について、最終版を完成させた。

- 計画**
- ① 両 SILAIS 及び各支所は、ESAFc 活動を継続し、通常活動のほか、活動強化3項目についてモニタリングする。
 - ② 17SILAIS に対するセミナーの準備を進める。
 - ③ DGSS より、ESAFc 活動ガイド(改定版)及び ESAFC 活動好事例集(第二版)の認定を得て、印刷する。

1-5. 技術統合巡回指導

1) 巡回指導の現状

両 SILAIS では技官による巡回指導を継続している。PDM 指標成果 3-1「技術統合巡回指導」、同 3-2「技術審議会への同席」の支所の実施状況と SILAIS の同行回数は、表 2 のとおりであった。

表 2 支所の巡回指導と SILAIS の同行回数

支所の活動	特徴	チョンタレス		セラヤ・セントラル	
		支所実施数	SILAIS 同行回数	支所実施数	SILAIS 同行回数
技術統合巡回指導	保健セクターを訪問。活動をモニタリング・指導し、改善に取り組む	9 支所 25 保健セクター	3 支所 4 保健セクター	4 支所 14 保健セクター	4 支所 4 保健セクター
支所の技術審議会(CTAM)開催	保健セクターの医療チームが出席する支所レベルの技術審議会	10 支所	8 支所	4 支所	4 支所

2) 技術統合巡回指導の実施手順見直し

第 7 回半期評価会・ワークショップで、2017 年 8 月に開催した第 5 回運営委員会で定めた実施手順を見直し、3 月より下記手順で実施することを確認した。

- ① 各支所は、基本的に毎週支所の幹部が集まり技術審議会(CTOM)を開催し、毎月 5 日までに、大統領府が定める保健指標、プロジェクトの保健指標などを分析し、早期改善が必要な保健セクターを選定する。
- ② 各支所は、毎月 6 日までに巡回指導計画を SILAIS 保健サービス課へ提出する。
- ③ 各支所長は、各保健セクターの巡回指導責任者を支所職員から定める。また、各支所長は、保健指標達成に最も問題のある保健セクターの巡回指導へ同行する。
- ④ 両 SILAIS は、①及び③と同様に保健指標を基に、巡回指導する支所を決める。
- ⑤ 支所が保健セクターへ巡回指導する際は、事前に連絡し、最低 3 人最高 4 人で実施する。実施時間は、3 時間以上 5 時間未満とする。
- ⑥ 合意事項及び改善策は、各保健セクターの巡回指導責任者が継続して確認するとともに、保健セクターが参加する支所技術審議会(CTAM)で検証する。

3) 統計データの質管理評価

統計データの質管理のための「正確な分析についての評価」は、SILAIS チョンタレスでは実施されなかった。SILAIS セラヤ・セントラルでは、エル・ラマ支所の 1 保健セクターのみで実施された。評価結果は表 3 とおり。

表 3 統計データの質管理評価結果

SILAIS	統計データの質管理実施場所	評価結果
チョンタレス	サント・トマス支所グアボ保健セクター	87.0%
セラヤ・セントラル	ヌエバ・ギネア支所ハシント・バカ保健セクター	86.0%
	ムエジェ・デ・ロス・ブエセス支所プレシージャ保健セクター	88.0%

今回、一部の書類で記入漏れが見つかったが、概ね正しい記述、診断分析がされ

ていた。不備があった部分に対しては、OJT で指導している。また、第 7 回半期評価会、ワークショップで、これまで SILAIS が行っていた、「統計データの質管理評価」を、支所の統計担当者や評価法を学んだ技官が、統合巡回指導で実施することになった。

- 計画** ① 両 SILAIS 及び各支所は、技術統合巡回指導、CTAM の実施と SILAIS の同席、また、統計データの質管理を継続する。

1-6. レファラル・カウンターレファラル

1) レファラル・カウンターレファラルの業務フロー図見直し

両 SILAIS は、第 7 回半期評価会・ワークショップにおいて、緊急レファラル、通常レファラル、レファラル情報伝達管理、カウンターレファラル情報伝達管理の業務フロー図を見直し修正した。修正案は、各 SILAIS の技術審議会で確認の上、実践することで合意した。両 SILAIS の業務フロー図（案）は、添付資料②のとおり。

2) 5 SILAIS レファラル・カウンターレファラル会議

両 SILAIS と地域病院が主導して、保健リージョン 5（チョンタレス、セラヤ・セントラル、ボアコ、リオ・サン・フアン）の 4SILAIS と SILAIS 南カリブ海沿岸自治区の計 5 か所の SILAIS と、地域病院への搬送が多い SILAIS 南カリブ海沿岸自治区（RAAS）が合同で、レファラル・カウンターレファラル会議をフィガルパで開催した。本省からは DGSS の病院局長が参加した。会議の目的は、SAMANI プロジェクトの指導の下、SILAIS チョンタレス、SILAIS セラヤ・セントラル及び地域病院が取り組んできた下記 4 項目の知見を共有し、他 SILAIS においても同様の取り組みを実践し、地域病院への緊急搬送に関しての、連絡網を明確にすることであった。

- ① レファラル・カウンターレファラルの業務フロー図作成とそれに基づく業務改善
- ② 緊急レファラル搬送事例ビデオを参考にレファラル体制の強化
- ③ SILAIS によるレファラル・カウンターレファラルによる課題抽出と分析作業
- ④ SILAIS と支所によるレファラル・カウンターレファラル指標を用いた月例分析

これらの活動に関して意見交換を実施した後、下記のとおり合意した。

【主な合意事項】

- ① 3 SILAIS（ボアコ、リオ・サン・フアン、RAAS）は、3 月 8 日までに緊急レファラルについての業務フロー図を作成する。
- ② 省令 2011 年第 068 号「レファラル・カウンターレファラル」に基づき、3SILAIS は、レファラル・カウンターレファラル管理台帳を保健セクターと支所で記述し、支所と SILAIS でデジタル入力する。
- ③ 緊急搬送には、同会議で合意した連絡網を通して、SILAIS 間の情報の流れ、緊急患者担当医と、地域病院の専門医間の連絡を行う。
- ④ 次回 3 月 20 日に開催予定の合同会議で、レファラル・カウンターレファラルについて、フィガルパ地域病院の受入れ状況の詳細を病院長が説明する。

- 計画** ① カウンターレファラルについて合意された改善策の実施をモニタリングし、

- 必要に応じて指導する。
- ② 周辺 SILAIS（ボアコ、サン・カルロス、RAAS、チョンタレス、セラヤ・セントラル）と地域病院間で開催するレファラル・カウンターレファラル会議の開催及び技術支援を行う。
- ② DGSS が主導して研修を開催し、保健省中央の技官に対して、プロジェクト対象地域におけるレファラル・カウンターレファラルの好事例について研修会を開催する。

1-7. 機材稼働モニタリングシステム

1) 機材稼働モニタリングシステムによる調査結果

14 支所は、機材モニタリングシステムに準じて、機材の稼働状況を調査した。その結果、機材の状況は、表 4 のとおりであった。

表 4. 機材稼働状況（機材数）

SILAIS	支所	良	可	不可
チョンタレス	アコヤパ	166	0	0
	コマラパ	111	0	0
	クアパ	60	0	1
	エル・アヨテ	94	0	1
	フィガルパ	151	0	10
	ラ・リベルタ	112	1	0
	サン・ペドロ・デ・ロパゴ	65	0	0
	サント・ドミンゴ	74	0	0
	サント・トマス	91	0	0
	ビジャ・サンディーノ	91	0	0
	地域病院	69	0	8
	地域臨床検査所	3	0	0
	小計		1,087	1
セラヤ・セントラル	エル・コラル	87	0	0
	エル・ラマ	293	8	3
	ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス	211	0	2
	ヌエバ・ギネア	246	0	0
	小計		837	8
合計		1,924	9	25

SILAIS チョンタレスで、不可と判断された機材は、20 機の血圧計であった。20 台の血圧計のうち、14 機は納入業者に修理を依頼したが、3 台は破損しており修理不可能であった。残りの 6 台と納入業者で修理できなかった 3 台は、フィガルパ地域病院内の医療機材保守管理室で修理を進めている。また、SILAIS セラヤ・セントラルで、不可と判断された機材は、5 台の血圧計であった。5 台の血圧計のうち 3 台は納入業者で修理された。残り 2 台は、1 台が修理不可能で、もう 1 台は支所が修理手続きを進めている。

- 計画 ① 不可と判断された機材の修理作業状況をモニタリングし、必要に応じて可能な範囲で支援する。

1-8. 供与機材保守管理

1) 機材の取扱い及び日常点検に関する研修の実施

機材の適切な操作及び取扱いと日常の簡易な保守点検を目的として、フィガルパ地域病院の医療機材保守管理技士が主導し、各支所及び病院のインベントリー担当職員、看護師長らを SILAIS チョンタレスに招集し「機材の取扱い及び日常点検に関する研修」を実施した。その後は、カスケード方式により 14 支所で同様の研修を各現場にて実施した。

- 計画** ① 各支所及び病院に対する巡回指導で、機材の取扱い及び日常点検に関する取り組みをモニタリングする。

1-9. 家庭地域保健国際フォーラム

1) 国外からの参加者

2 月末日までに参加を表明した国（各国保健省）は、8 カ国（メキシコ、ホンジュラス、パラグアイ、ベリーズ、コスタリカ、パナマ、キューバ、チリ）であった。エルサルバドルは不参加を表明し、残り 5 カ国（グアテマラ、ドミニカ共和国、ボリビア、ウルグアイ、ブラジル）と調整を進めている。

ニカラグア外務省は、同国保健省が作成した招待状を添付して、各国のニカラグア大使館に 2 月 4 日付けでレターを送付した。1 月内に送付の予定であったが、遅れが生じた。レターの送付以外に、保健大臣は DGSS 総局長に、各国保健省の事務次官級宛てに電子メールの送付を指示した。2 月末日までに保健省へ招待状が届いていないのは、ボリビアのみである。

2) テレビ会議

レター送付の遅れに伴い、当初予定日の 2 月 7 日をニカラグア時間 2 月 15 日午前 10 時に変更し、テレビ会議を実施した。参加した国はチリ、パラグアイ、ホンジュラスの 3 カ国に留まった。DGSS 総局長が、フォーラムの概要、提出物、展示物、テーマ、進行方法などを説明し、質疑応答を行った。テレビ会議の情報は、電子メールで各国と共有した。詳細は、添付資料③のとおり。

3) 国内参加者

日本大使館から鈴木大使が開会式に参加可能である旨、連絡を受けた。また、DGSS は、全国の SILAIS からの参加者に対して、フォーラムの 4 つのテーマについて、スライド 10 枚で PowerPoint による発表を準備するように指示した。

- 計画** ① JICA 及び PAHO ニカラグア事務所を通じて、参加者の調整を促進する。
 ② 国内外招待者を確定し、国際フォーラムのロジスティックスの準備を進める。
 ③ 全国 SILAIS が用意する 4 つのテーマの PowerPoint 発表資料を保健省、PAHO とともに精査する。
 ④ フォーラムのモデレーター会議など、国際フォーラム開催準備を支援する。

1-10. 運營業務

1) 専門家の離任・着任

2月4日に、機材保守管理専門家が28日間の業務を終えて離任した。また、保健行政専門家が成田発のフライトが遅れたため、予定よりも1日遅れで2月24日に着任し、下記業務に取り組んだ。添付資料④を参照。

- ① 第1期派遣時の提言「制度調整の効果の検証とフィードバック」に基づき、保健行政強化とESAFG活動について助言・提言する。
- ② プロGRESSレポート(終了時評価を含む)、プロジェクト活動全体の進捗を確認し、プロジェクト終了まで、及び、プロジェクト終了後に関して提言する。

2. 主な活動日程

【2月】

- 1日：機材保守管理活動保健省報告会、SILAIS セラヤ・セントラル母子保健員会、エル・アヨテ支所技術審議会 (GTAM)
- 4日：機材保守管理活動 JICA 事務所報告会、鈴木一代(機材調達管理) 専門家離任、SILAIS チョントレス技術審議会 (CTOD)
- 5日：SILAIS チョントレス保健サービス審議会 (GTSS)
- 6日：ビジャ・サンディーノ支所機材保守管理カスケード研修
- 7日：サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所技術審議会 (GTAM)
- 8日：SILAIS セラヤ・セントラル母子保健員会、ラ・リベルタ支所技術審議会 (GTAM)
- 11日：エル・ラマ支所技術審議会 (GTAM) 及び機材保守管理カスケード研修、アコヤパ支所技術統合巡回指導 (ATI)、SILAIS チョントレス技術審議会 (CTOD)、SILAIS チョントレス保健サービス審議会 (GTSS)
- 12日：エル・ラマ支所技術統合巡回指導 (ATI)、SILAIS チョントレス技術審議会 (GTAD)、アコヤパ支所技術統合巡回指導 (ATI)
- 13日：保健省本省技官対象 SAMANI プロジェクト好事例研修会、クアパ支所技術審議会 (GTAM)
- 14日：SILAIS セラヤ・セントラル技術審議会 (CTOD)、エル・アヨテ支所技術統合巡回指導 (ATI)
- 15日：家庭地域保健国際フォーラム・テレビ会議、コマラパ支所技術審議会 (GTAM)、サント・トマス支所技術統合巡回指導 (ATI)、ヌエバ・ギネア支所機材保守管理カスケード研修
- 18日：SILAIS チョントレス技術審議会 (CTOD)、SILAIS チョントレス保健サービス審議会 (GTSS)
- 19日：ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所技術統合巡回指導 (ATI)
- 20日：レファラル・カウンターレファラル 5SILAIS 合同会議、第7回半期評価会・ワークショップ準備会議
- 21日：第7回半期評価会・ワークショップ準備会議
- 24日：狐崎知己(保健行政) 専門家着任
- 26-27日：第7回半期評価会・ワークショップ
- 28日：SILAIS セラヤ・セントラル業務フロー図作成会議

3. 今後の予定

【3月】

- 2日：狐崎知巳（保健行政）専門家離任
- 6日：国際フォーラム・モデレーター会議
- 14日：第4回 JCC
- 28-29日：家庭地域保健国際フォーラム開催

【4月】

- 9・10日：17SILAIS 対象 SAMANI プロジェクト好事例研修
- 23・24日：ファシリテーター強化研修

4. 添付資料

- 添付資料① PDM 指標の達成状況（2018年1月～12月）
 - ② 両 SILAIS レファラル・カウンターレファラル業務フロー図
 - ③ 国際フォーラム・テレビ会議資料
 - ④ 狐崎知巳保健行政専門家業務完了報告書

5. 活動写真

別添のとおり

6. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

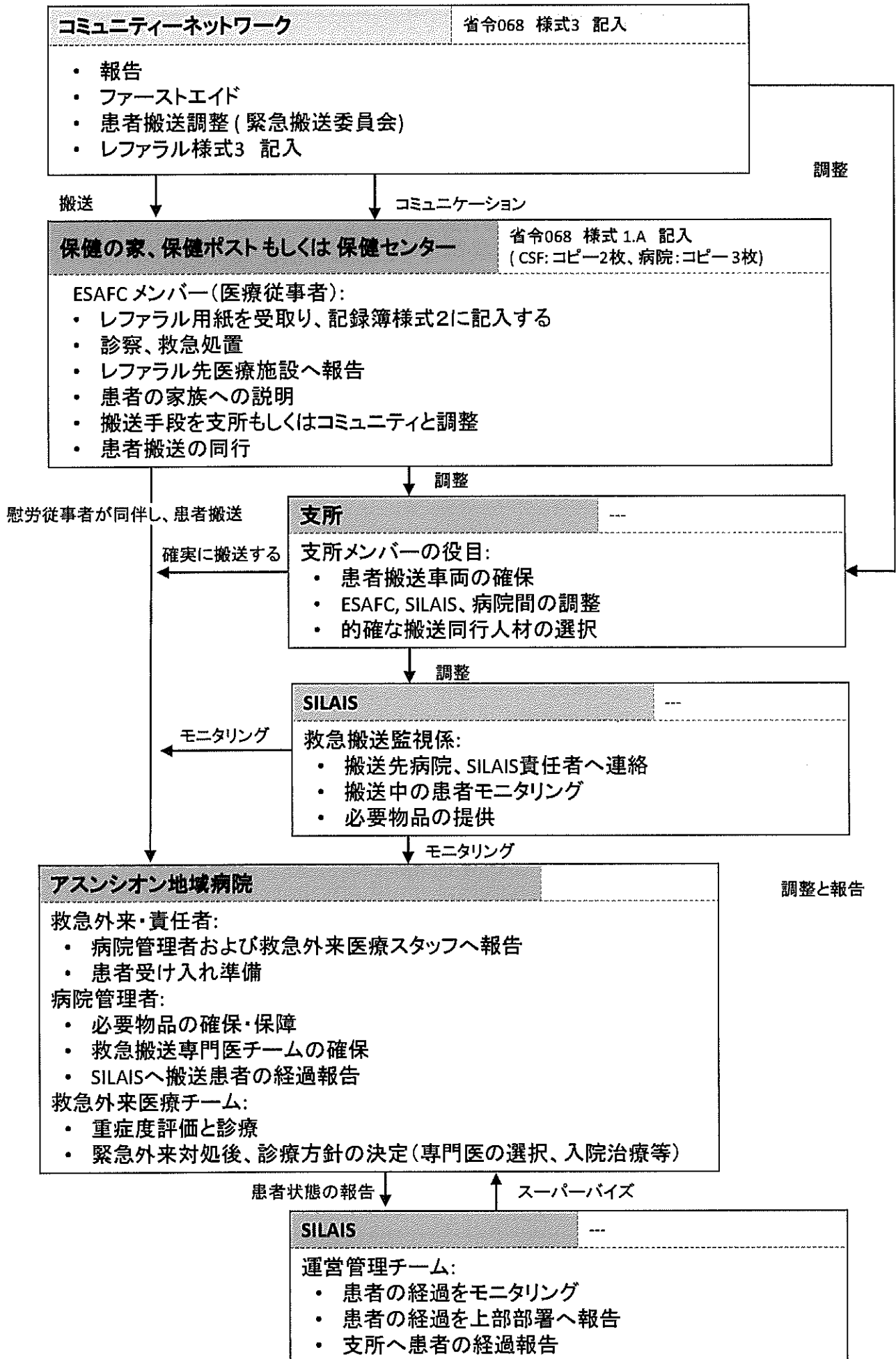
PDM Versón 3指標、2018年1月～12月評価結果

チョンタレス保健管区およびセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

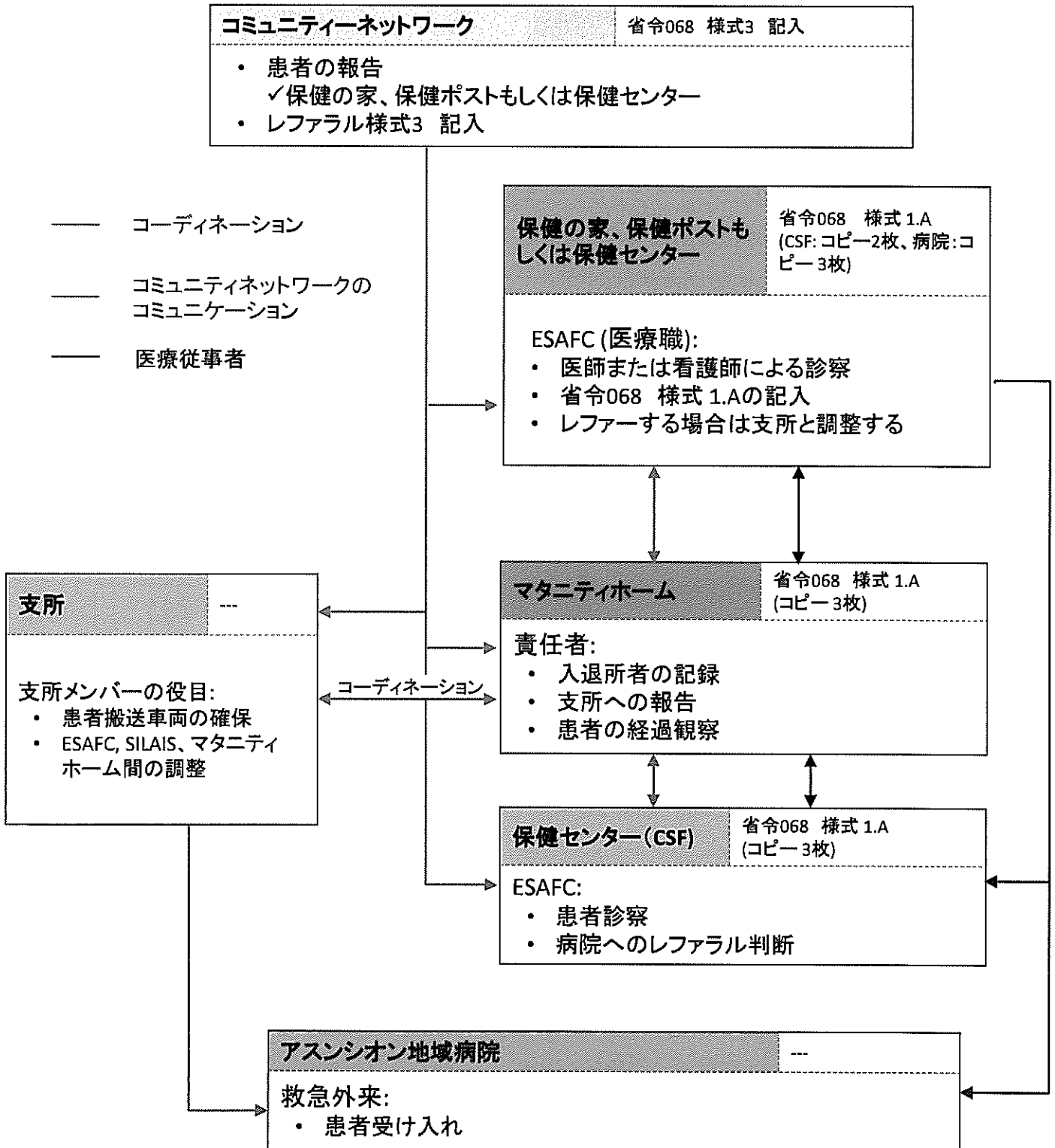
目標と成果	指標	SILAIS	分母	分子	結果	結果
上位目標 チョンタレス保健管区とセラヤ・セントラル保健管区の母子の健康が改善される。	1. 対象地域における2011年から2014年までの期間の妊産婦死亡比平均70.8(出生10万対)が、2018年から2021年の期間で低下する。	チョンタレス	3,953	2	50.6	両SILAISともに、目標値に達成済み。
		セラヤ・セントラル	3,571	2	56.0	
		両SILAIS	7,524	4	53.2	
	2a. 対象地域における2014年の乳児死亡率14.1(出生千対)が低下する。	チョンタレス	3,953	56.0	14.2	目標値の平均は、達成済みだが、SILAISチョンタレスは未達成。
		セラヤ・セントラル	3,571	43	12.0	
		両SILAIS	7,524	99	13.2	
	2b. 対象地域における2014年の5歳未満児死亡率15.8(出生千対)が低下する。	チョンタレス	3,953	66	16.7	目標値の平均は、達成済みだが、SILAISチョンタレスは未達成。
		セラヤ・セントラル	3,571	49	13.7	
		両SILAIS	7,524	115	15.3	
	3. 対象地域で(5歳未満の)慢性栄養不良児の割合が10.5%から低下する。	チョンタレス	17,695	1,473	8.3	両SILAISともに、目標値に達成済み。
		セラヤ・セントラル	15,087	674	4.5	
		両SILAIS	32,782	2,147	6.5	
プロジェクト目標 対象地域において妊産婦と2歳未満児を対象とする質の高い保健医療サービスの高い保健医療サービスがより利用される。	1. 対象地域で、妊婦が1回目の産前健診を妊娠初期12週以内に受診する割合が2014年の65.5%(ベースライン)から2018年(エンドライン)に上昇する。	チョンタレス	4,321	3,219	74.5	両SILAISともに、目標値に達成済み。
		セラヤ・セントラル	4,235	2,788	65.8	
		両SILAIS	8,556	6,007	70.2	
	2. 分娩施設で現在有効な分娩3期ケアと出産直後の新生児ケアの質の指標を満たす割合が2015年の59.5%(ベースライン)から2018年の80.0%(エンドライン)に上昇する。	チョンタレス	98	96.1	97.3	両SILAISともに、目標値に達成済み。
		セラヤ・セントラル	92	90	91.0	
		両SILAIS	95	93	94.1	
	3. 対象地域で中期(産後2～10日)産後健診の受診率が2014年の77.4%(ベースライン)から2018年(エンドライン)に上昇する。	チョンタレス	3,902	3,449	88.4	両SILAISともに、目標値に達成済み。
		セラヤ・セントラル	3,522	3,267	92.8	
		両SILAIS	7,424	6,716	90.5	
	4. 対象地域で1～4歳の1回目乳幼児健診を受ける割合が2014年の47.5%(ベースライン)から2018年の58.5%(エンドライン)に上昇する。	チョンタレス	16,513	9,809	59.4	SILAISセラヤ・セントラル及び2 SILAIS平均値が目標に達していない。
		セラヤ・セントラル	14,872	8,247	55.5	
		両SILAIS	31,385	18,056	57.5	
	5. 対象地域で、施設分娩のためにマタニティホームに宿泊した農村地域の妊婦の割合が2015年(ベースライン)の42.1から2018年の50.0%(エンドライン)に上昇する。	チョンタレス	1,428	955	66.9	両SILAISともに、目標値に達成済み。
		セラヤ・セントラル	2,639	2,136	80.9	
		両SILAIS	4,067	3,091	76.0	
成果 1. 妊産婦と2歳未満児を対象とする医療施設でのサービス提供能力が強化される。	1-1. 保健施設で現在有効な2歳未満児へのケアの質の指標を満たす割合が2014年の46.3%から2018年の60.0%に上昇する。	チョンタレス	10支所で実施した評価の平均		71.5	両SILAISともに、目標値に達成済み。
		セラヤ・セントラル	4支所で実施した評価の平均		87.6	
		両SILAIS	14支所で実施した評価の平均		79.6	
	1-2. 保健施設で現在有効な産前ケアの指標を満たす割合が2014年の46.2%から2018年の60.0%に上昇する。	チョンタレス	10支所で実施した評価の平均		61.2	両SILAISともに、目標値に達成済み。
		セラヤ・セントラル	4支所で実施した評価の平均		85.4	
		両SILAIS	14支所で実施した評価の平均		73.3	
	1-3. レファラル・カウンターレファラル省令を満たす形で支所から病院へ緊急レファラルされた妊産婦及び2歳未満児のレファラル台帳の記録が80%の割合で一致する。	チョンタレス	2,418	2,249	93.0	目標値の平均は、達成済みだが、SILAISセラヤ・セントラルは未達成。
		セラヤ・セントラル	766	573	74.8	
		両SILAIS	3,184	2,822	88.6	
	1-4. レファラル・カウンターレファラル省令を満たす形で病院から支所へカウンターレファラルされた妊産婦及び2歳未満児のレファラル台帳の記録が70%の割合で一致する。	チョンタレス	5,430	4,117	75.8	両SILAISともに、目標値に達成済み。
		セラヤ・セントラル	1,277	930	72.8	
		両SILAIS	6,707	5,047	75.2	
2. 妊産婦と2歳未満児の健康に関するコミュニティ活動が強化される。	2-1. 対象地域において、100%のESAFcが住民参加型保健強化手法を用いて、活動計画を策定・実施する。	チョンタレス	87	87	100	実施状況は、1保健セクターが稼働していないため100%に達していない。161保健セクターにESAFc活動ガイドを導入して、2017年6月の最初の評価の32.5%からほぼ100%に到達した。
		セラヤ・セントラル	74	73	98.6	
		両SILAIS	161	160	99.4	
	2-2. コミュニティネットワークのイニシアチブの合意として実施された活動数が増加する。	チョンタレス	87	82	94.3	
		セラヤ・セントラル	74	72	97.3	
		両SILAIS	161	154	95.7	
	2-3. 全てのセクターにおいて、ESAFcはコミュニティとともに分析や反映を行う。	チョンタレス	87	81	93.1	
		セラヤ・セントラル	74	72	97.3	
		両SILAIS	161	153	95.0	
3. 妊産婦と2歳未満児の健康に関するSILAIS	3-1. SILAISの技術統合巡回指導(妊産婦管理台帳と予防接種台帳における妊産婦及び2歳未満児のケ	チョンタレス	40	19	47.5	全く実施されていないゼロから

目標と成果	指標	SILAIS	分母	分子	結果	結果
の行政能力が強化される。	アに関するデータの正確な記録と分析、プロジェクトが実施した研修のフォロー)を受ける支所の数が増加する。	セラヤ・セントラル	16	30	100.0	始まった活動は、増加し定着している。しかし、支所数の多いSILAISチヨントレスは2か月で全10市の技術統合巡回指導と情報分析会議の同席に活動を修正した。
		岡SILAIS	56	49	87.5	
	3-2. 全支所は、毎月ES AFCとSILAISが同席し、妊産婦及び2歳未満児のケアに関してする活動方針を決める情報分析会議を実施する。	チヨントレス	120	62	51.7	
		セラヤ・セントラル	48	30	62.5	
	3-3. 妊婦と2歳未満児に関する情報を正確に記録し、分析する第1次保健施設の割合が増加する。	岡SILAIS	168	92	54.8	
		チヨントレス	28	15	53.6	
		セラヤ・セントラル	36	26	72.2	
		岡SILAIS	64	41	64.1	

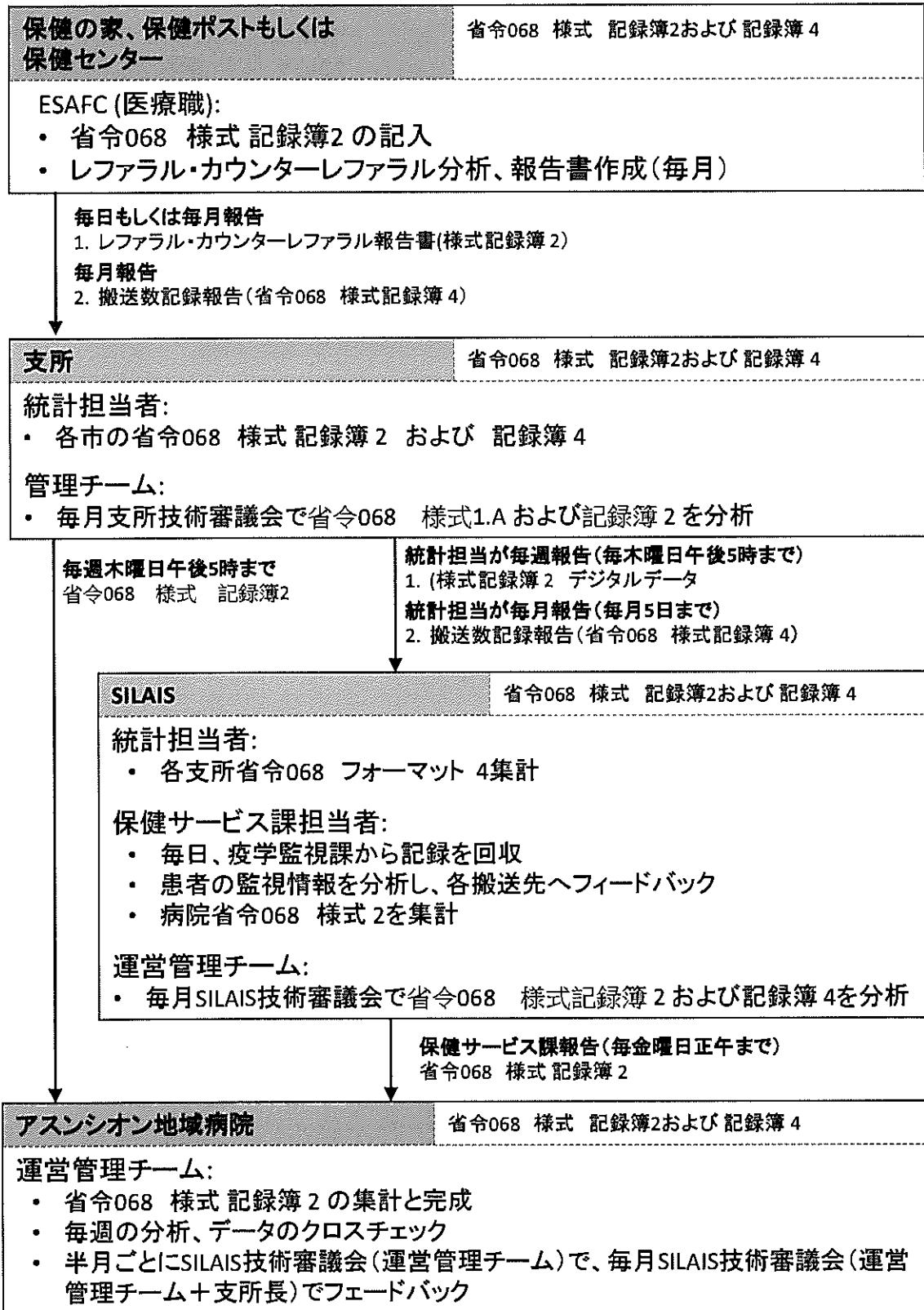
添付資料② 業務フロー図 1: 救急搬送レファラル (SILAIS チョンタレス)



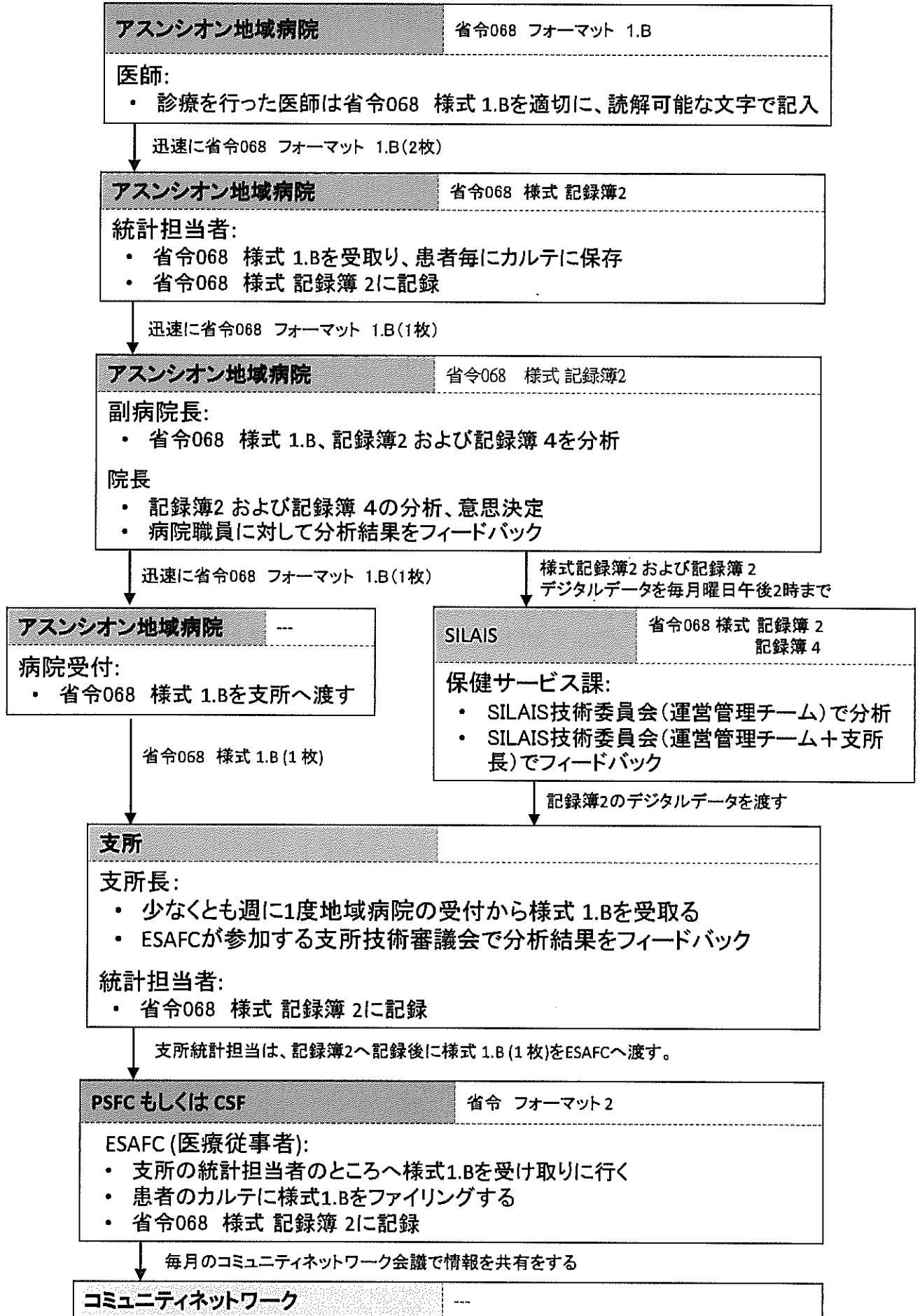
業務フロー図 2: 救急搬送以外の患者レファラル (SILAIS チョンタレス)



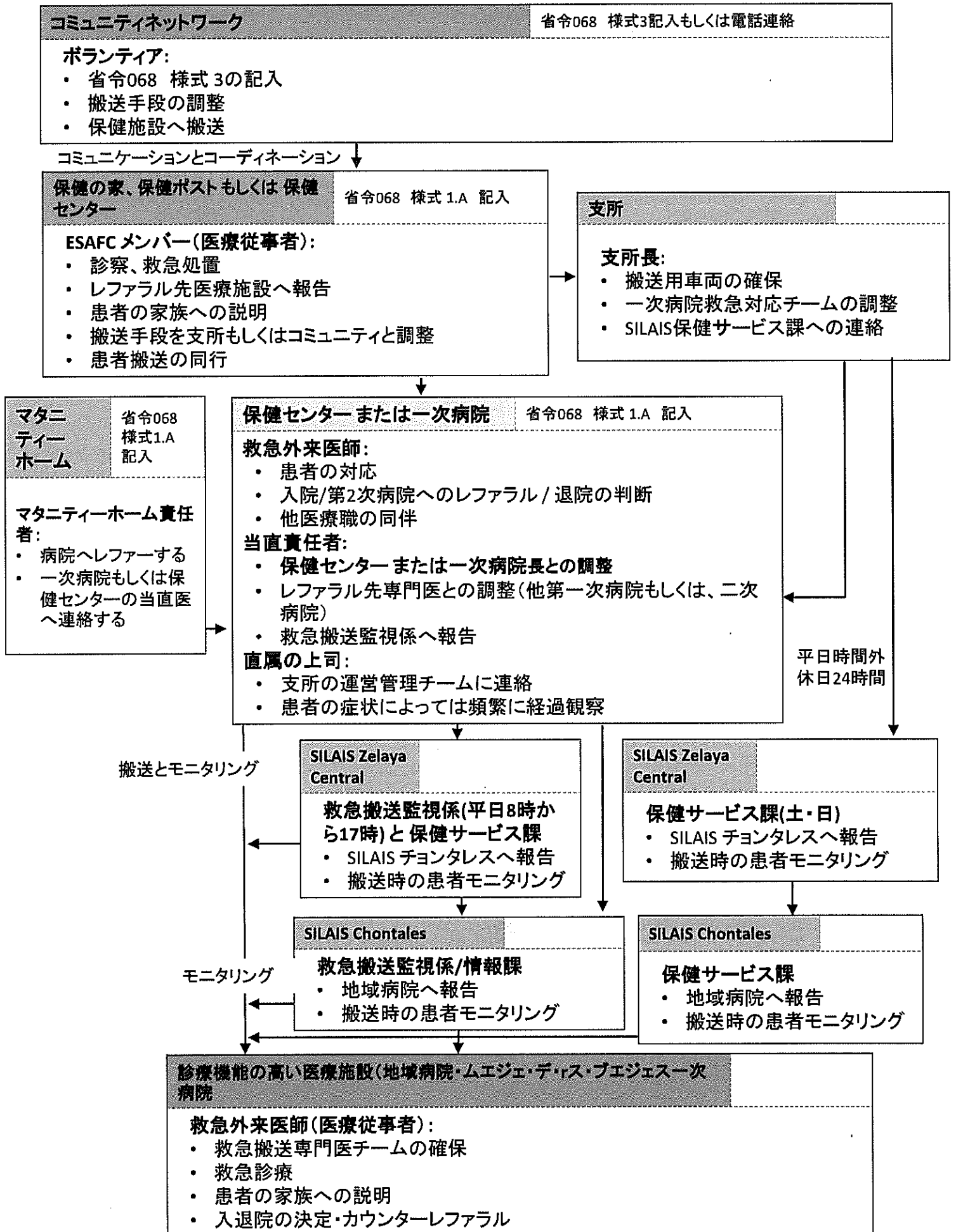
業務フロー図 3: レファラル記録 業務フォロー (SILAIS チョンタレス)



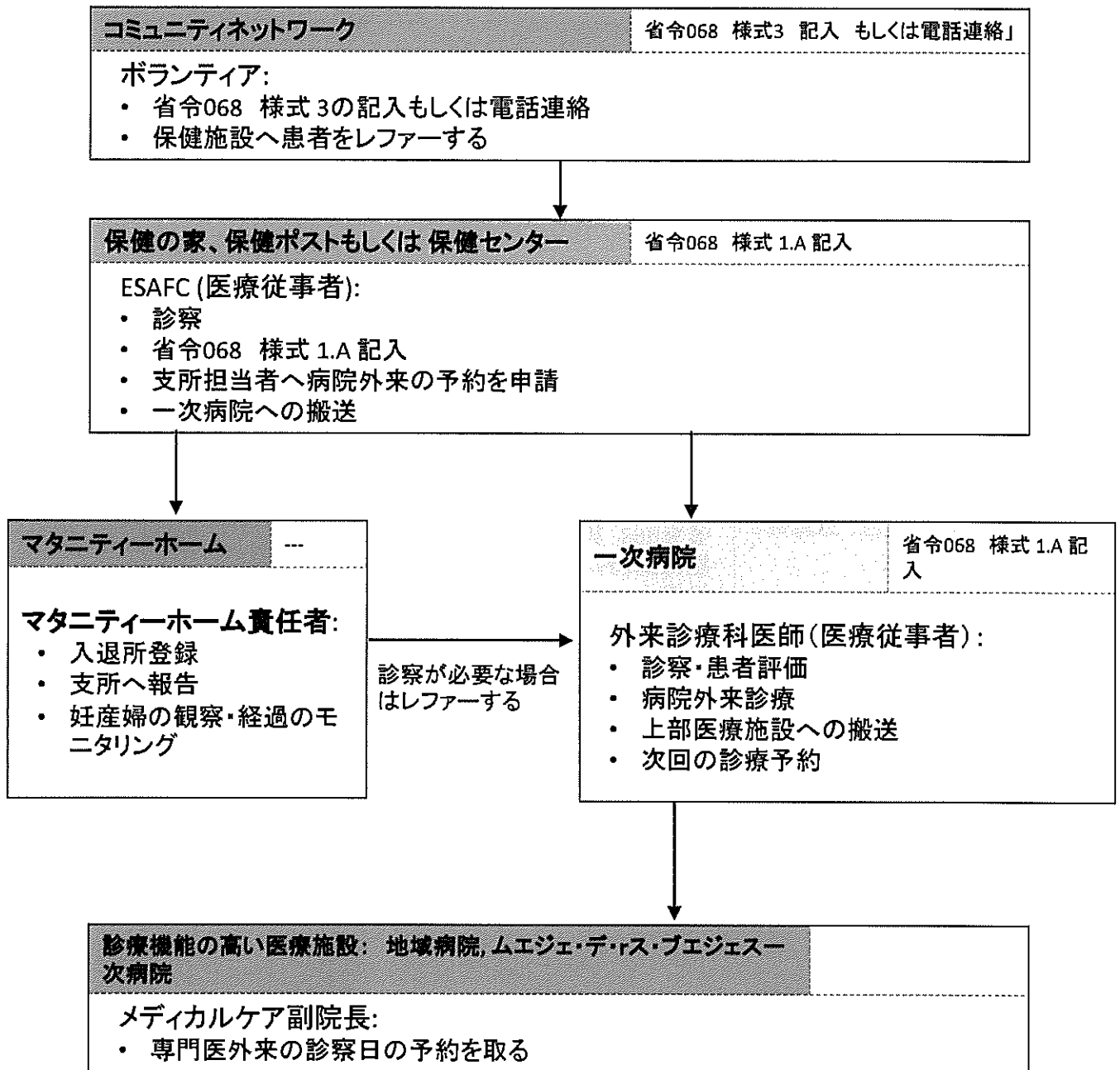
業務フロー図 4: カウンターレファラル記録業務フォロー (SILAIS チョンタレス)



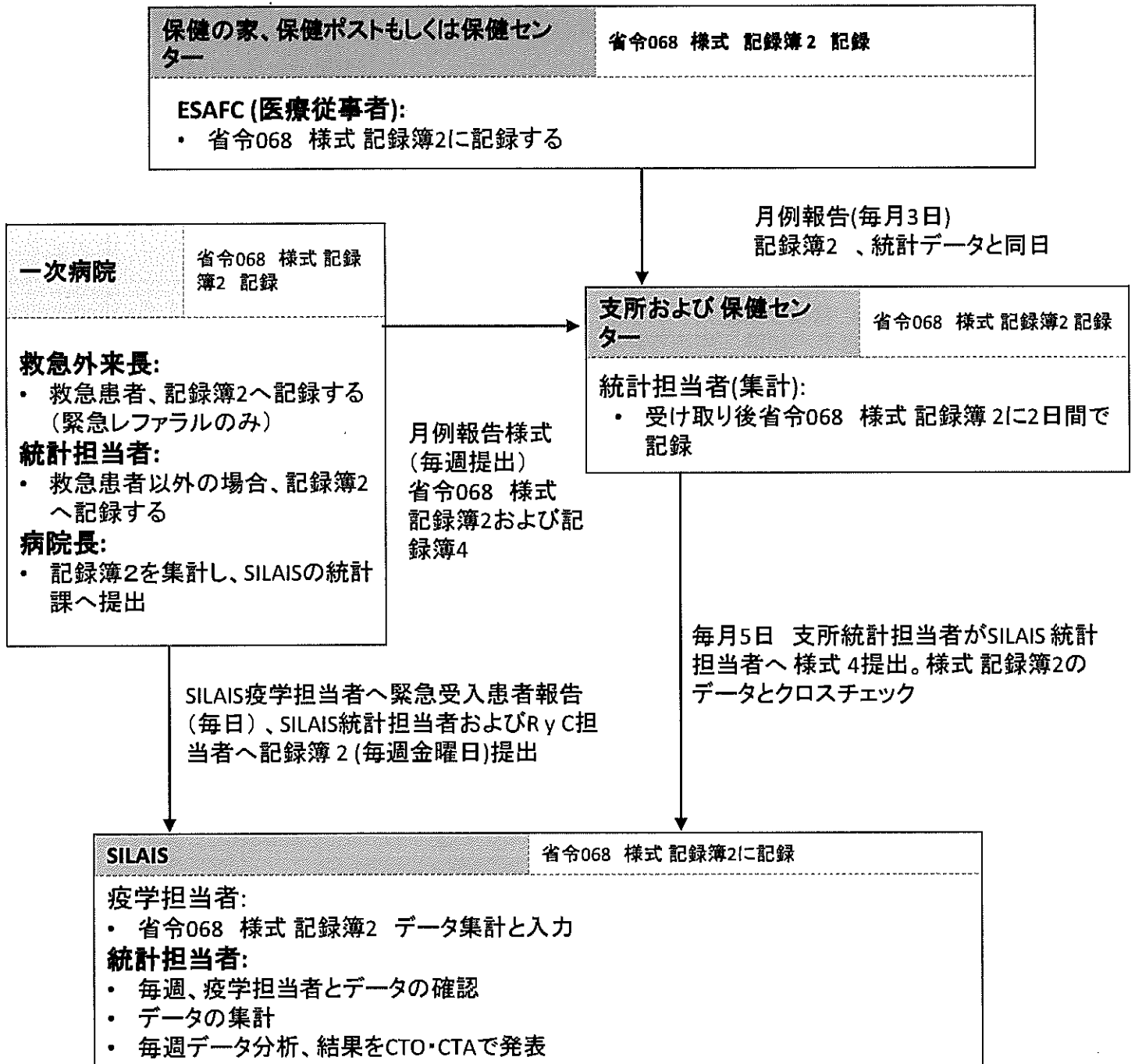
業務フロー図 1: 救急搬送レファラル (SILAIS セラヤ・セントラル)



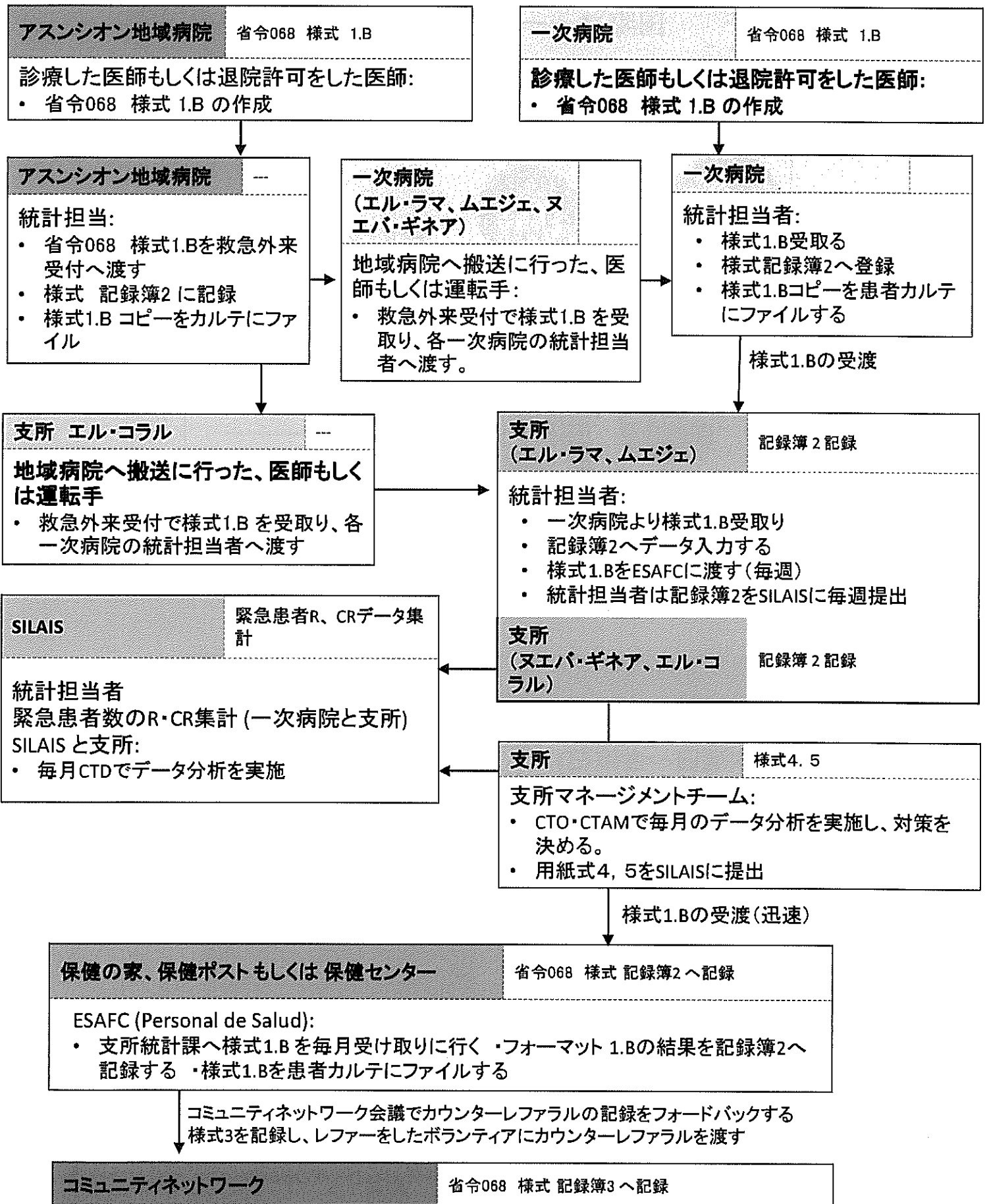
業務フロー図 2: 救急搬送以外の患者レファラル (SILAIS セラヤ・セントラル)



業務フロー図 3: レファラル記録業務フロー (SILAIS セラヤ・セントラル)



業務フロー図 4: カウンターレファラル記録業務フォロー (SILAIS チョンタレス)



添付資料③

国際フォーラムTV会議資料



1

実施期間	
2019年3月28日～29日 (木曜日～金曜日)	
会場	
Hotel HEX Managua コンベンションセンター マナグア	ホテル ↓ 
コンベンションセンター ←	

2

フォーラムの目的

PHCとSDGsの焦点に基づいて、地域の国々で実施されている好事例の対話と交流を促進し、SDGsの目標達成に向けて、現状の活動を分析し、ユニバーサル・ヘルスに対する行動計画の構築に貢献する。

3

フォーラム参加予定国

- | | |
|-----------|----------------|
| • ベリーズ | • ホンジュラス |
| • ボリビア | • メキシコ |
| • ブラジル | • ニカラグア |
| • チリ | • パナマ |
| • コスタリカ | • パラグアイ |
| • キューバ | • ドミニカ共和国 |
| • エルサルバドル | • ウルグアイ |
| • グアテマラ | (以上西語アルファベット順) |

4

送付資料の要請

参加者情報

- 氏名、役職、e-mail
- 旅券コピー

国の基本情報

- ① 各国の基本情報（社会統計情報、グラフなどを用いる）
- ② 保健省の組織図
- ③ 過去5年間の保健データ

5

展示ブース

教材

- マニュアル
- ポスター
- バナー

国情報

- 観光情報など

保健分野の進捗情報

- 文献
- イラスト、パンフレット
- その他

6

フォーラムの軸:

4つのテーマで構成

- ①ユニバーサル・ヘルスとSDGsの目標
達成のための課題
- ②保健サービスの統合型ネットワーク
- ③PHCと住民参加
- ④PHCと非感染性疾患

7

1日目の進行方法

1日目

- 基調講演
- テーマ別進捗について発表
- 質疑応答

8

2日目の方法

2日目、グループ討論

- テーマ別参加国による好事例を発表
- 意見交換の上、教訓と好事例についてドキュメントの作成
- テーマ別に発表を用意

9

アジェンダ

10

1日目: 2019年3月28日 (木)

時刻	テーマ	プレゼンター
08:00	受付	
08:30	国際フォーラム開会式 <ul style="list-style-type: none"> 開会の言葉 <ul style="list-style-type: none"> PAHO/WHOニカラグア代表 在ニカラグア日本大使 保健大臣 	保健省
09:00	パネル1 - ユニバーサルヘルスとSDGsの目標のための課題	モデレーター Dr. Alexander Florancio
09:30	ニカラグアにおける原麻地域保健の成果、課題と提議	ケルスDGSS局長 保健省

11

時刻	テーマ	プレゼンター
10:10 -	PHCとSDGs: アスタナ宣言後の道筋は?	Dra. Amalia del Riego OPS/OMS
10:50 -	アジェンダ2030に向けたPHCにおけるJICAのパートナーシップ協力	戸辺誠専門員 JICA
11:10 -	南南協力における好事例	JICA メキシコ
12:00	昼食	
13:00 -	パネル2 - PHCと保健サービス統合ネットワークにおけるユニバーサル・ヘルス	モデレーター Dra. Maria Estrada
13:00 -	人々のための統合ケアの知見	キューバ
13:30 -	PHCと住民参加型保健活動	パラグアイ
14:00 -	保健サービスネットワークの構築	ホンジュラス
14:30 -	アクセスが困難な遠隔地の治療	チリ

12

時刻	テーマ	プレゼンター
15:00 -	休憩	
15:20 -	パネル3 - 包括的保健ケアにおける住民参加	モデレーター Lic. Erasmo Jarquin
15:20 -	統合型ケアにおける住民参加の知見	グアテマラ
15:50 -	統合型ケアにおける住民参加の知見	ブラジル
16:20 -	保健サービスにおける市民参加の知見	ニカラグア
16:50 -	1日目の閉会と2日目のグループワークのオリエンテーション	Dr. Carlos Cruz

13

2日目：2019年3月29日（金）

時刻	テーマ	プレゼンター
08:00 -	パネル4 - PHCと非感染性疾患	モデレーター Dr. Joaquin Escoto
08:00 -	PHCと非感染性疾患	ボリビア
08:30 -	高齢者における非感染性疾患のアプローチ	キューバ
09:00 -	慢性非感染性疾患の包括的な保健サービス	ウルグアイ

14

時刻	テーマ
09:40 -	<p>グループワーク1 (会場：メインサロン)</p> <p>➤ テーマⅠ「ユニバーサル・ヘルスとSDGsの目標のための課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> - 健康の権利 (政策面) - ユニバーサル・ヘルス (1：保健医療サービスへのアクセスとUHC、2：保健行政の運営、3：保健財政、4：専門分野とそれ以外の機関との連携)
09:40 -	<p>グループワーク2 (会場：メイン1)</p> <p>➤ テーマⅡ「PHCと保健サービス統合ネットワークにおけるユニバーサル・ヘルス」</p> <ul style="list-style-type: none"> - 保健における統合ネットワークの組織と機能 - 集落と各医療診療レベル間のレファラル・カウンターレファラル強化 - 公共医療機関と私立医療機関の連携 - 保健サービス統合ネットワークの質管理

15

時刻	テーマ
09:40 -	<p>グループワーク3 (会場：メイン2)</p> <p>➤ テーマⅢ「包括的保健ケアにおける住民参加」</p> <ul style="list-style-type: none"> - 各国の疾病予防やヘルスプロモーションにおけるコミュニティネットワークの組織化プロセス - コミュニティネットワークと保健行政人材との連携 - PHCにおける住民参加 (個人・家庭・集落) のためのモチベーション
09:40 -	<p>グループワーク4 (会場：メイン3)</p> <p>➤ テーマⅣ (PHCと非感染性疾患)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 各国の第1次医療施設による非感染性疾患のヘルスプロモーションと包括的な管理の経験 - 医薬品の合理的な使用の啓発、使用、監視の経験 - 非感染症疾患の患者管理における自然療法と補完療法

16

時刻	テーマ	プレゼンター
15:00	開会	
15:05	各グループにて好事例集（ツール）を作成	
15:15	各グループの発表（発表20分） 参加者からのコメント	各グループ代表
15:25	フォーラムの結論と合意	保健省 PAHO/WHO JICA
15:35	閉会式 ▶ JICAニカラグア代表 ▶ PAHO/WHOニカラグア代表 ▶ 保健大臣	

添付資料④

業務完了報告書

2019年3月8日 狐崎知己

1. 業務名称： ニカラグア国 チョンタレス保健管区およびセラヤ・セントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト（保健行政・短期専門家）
2. 対象国： ニカラグア
3. 派遣期間：2019年2月24日から2019年3月4日までの9日間

4. 活動報告

4-1. 外部条件の変化

活動報告に先立ち、2018年4月以来のニカラグアの政情不安によって、業務全般の外部条件が大きく変化したことを指摘せざるを得ない。現時点でも政情不安は引き続いており、短期専門家の派遣時期の変更、エンドライン調査の時期の変更や実施場所・対象の制約、さらには政情不安に起因する診療所の閉鎖、保健省職員の解職、政府事業一般への市民の信頼度の低下など業務遂行に様々な面で影響がでてい。政情不安に伴う国家機関、とりわけ保健省の機能と市民の信頼度の毀損問題については、ニカラグア政府と米州機構・米州人権委員会の合意に基づき結成された学際的独立専門家グループ(GIEI)『ニカラグア暴力の実態報告』(2018年12月)が詳細な事実関係調査の結果と勧告を公表している。同報告書では、230ページにわたって極めて深刻な実態が論述されており、国際開発協力が実施されるニカラグア政治社会の文脈を把握するうえでの必読文献である¹。

以上のように、政情不安による外部条件の変化、ならびにプロジェクト期間自体の短さのために、住民の行動変容を測るための時間軸が十分には確保されていない点に留意されたい。

4-2. 前回報告書の提言要諦

2016年8月の前回派遣に伴う報告書では保健行政分野における提言を行い²、これを参照しながらプロジェクトが進捗してきた。提言内容は、保健サービスの供給サイド及び需要サイド双方の能力強化、ならびにこれを支える制度調整(institutional arrangement)の3分野から構成される。

¹ GIEI (Grupo Interdisciplinario de Expertos Independientes), Nicaragua. Informe sobre los hechos de violencia ocurridos entre el 18 de abril y el 30 de mayo de 2018.

² 狐崎知己『ニカラグア短期専門家（保健行政）活動報告書』2016年8月28日

(1) 保健行政に係る制度調整

一般に、制度調整のためのメカニズム・デザインは以下の手順から構成される。制度調整の課題発掘（重点分野の抽出・階層化と仮説の設定）⇒実施計画の策定⇒ベースライン調査⇒実施（情報管理の仕組み、能力研修、PDCA 導入等）⇒エンドライン調査⇒評価分析と課題の抽出。

ニカラグアの母子保健分野では、中央から末端現場に至る保健セクターの垂直的な制度調整、ならびに PDM の達成に不可欠な中央省庁間、自治体、学校他、各保健行政レベルにおける横断的な制度調整の二つが基本となる。制度調整の進展によってアクター間の信頼・協力関係が高まり、資源配分が最適化される結果、追加的な資源投入なしに、政策効果が高まることが期待される。

デジタル化が望めないニカラグアの保健情報処理の現状レベルでは、保健分野全体の「情報の質と量」、「情報の流通速度と精度」をそれぞれ両立させることは難しく、また横断的な制度調整は第二期の成果を受けての今後の課題となろう。

第二期では定期的なフィードバックを通して、母子保健サービスに優先的に必要とされる情報量絞り込んでいくことが優先される。情報が必要に応じて階層化されたうえで精度の高い情報(evidence)をもとに政策立案からモニタリング・評価に至る PDCA を実践する仕組みを機能させ、妊産婦と 2 歳未満児の健康リスクの低減に制度調整がいかなる形で効果を発揮したのかを分析することが、SAMANI の波及効果を引きだすうえで必要となる。この作業には、半期評価会での諸データ・指標の解析と PDM 指標との関連性の分析、ならびに好事例と非好事例 双方のドキュメント化が欠かせない。

(2) 保健分野の人材開発：ES AFC と准看護師の能力・意欲（agency）の向上

SAMANI では、ES AFC の医師と保健師、ならびに准看護師の人材開発（能力と意欲）が成功のカギを握る。意欲を高めるための労働条件自体の改善は財政制約上困難であるという前提条件のもと、SAMANI では上記の制度調整と ES AFC 活動を通じて供給サイドの能力と意欲のモニタリング評価がなされ、ニカラグア 政府としても社会奉仕の評価と医師・看護師認定の授与を関連づける仕組みを導入している。好事例をドキュメントとして蓄積・体系化し、KAP 調査で裏付けることで、1-2 年で交代する新任 ES AFC の意欲 と能力向上につながることを期待される。

(3) 共同体における保健ボランティアのネットワーク(RC: Red Comunitaria)の強化

SAMANI では、RC の能力・意欲の改善を通して、RC が ES AFC と准看護師のカウンターパート役を担い、後者の能力・意欲向上に寄与するという設計となっており、ニカラグアの保健行政の実情に即した正しい方向である。

RC は地域住民による無料奉仕であり、その能力・意欲の強化には RC が望む内容の研修の実現、ベースライン調査で把握された劣悪な社会経済状況（とくに水、トイレ、住居）の改善、栄養状況の改善など生活改善に係る改善が欠かせず、市役所や学校などとの横断的な制度調整が必要とされる。RC の強化には PHC と生活改善が伴うことが不可欠であることを市役所、県、中央の関連省庁が認識すべきであり、この面においても SAMANI の貢献が期待される

4-3. 前回提言の進捗状況

今回の業務では、ベースライン調査とエンドライン調査の比較、KAP 調査結果の分析、研修に関する諸資料の分析と聞き取り調査、教材分析、半期評価会への参加などを通して、PDM の成果 1, 2, 3 がほぼすべて達成されていることを確認できた。成果 4 は一部達成されており、プロジェクト終了までの課題、ならびに成果すべてに係るプロジェクト終了後の課題という形で関係者に新たな提言を行った。

4-3-1. 制度・研修・教材面における進捗状況

成果 1 から 3 に通じる研修手法と内容の設計、教材作成に際して、本プロジェクトではニカラグアのみならず広く中南米諸国全般の保健分野における JICA 案件の成果を体系的に研究し、好事例を活用している。さらにきめ細かい PDCA サイクルを各所に導入した結果、保健省ノルマが規定する諸活動と関連情報の絞り込みと階層化に成功し、各レベルの医療従事者の意欲と能力に見合った形で機能性・機動性の高い研修・教材が導入され、一連の効果が順調に発現されと考えられる。

(1) 成果 1. 妊産婦と 2 歳未満児を対象とする医療施設でのサービス提供能力が強化される。

<制度>

第一期では、毎週開催される SILAIS 技術審議会が末端の保健支所に至るプロジェクトの質の管理と進捗状況を運営管理し、プロジェクト運営委員会が半期報告会を活用してモニタリング評価と課題の抽出を行う機動的な制度設計が行われ、制度運営が順調に改善された。第二期では、プロジェクト事務所が本省保健総局内に開設されたことからプロジェクトチーム（日本人専門家およびテクニカル・アシスタント）と保健省間の機動性がいっそう高まる形で制度改善が実現した。各レベルの定期会議では、PDCA サイクルが的確に導入され、継続的な改善活動が続いており、オーナーシップと自立発展性が発現されている。これらの成果はすべてエンドライン調査と KAP 調査で確認することができる。

<研修>

第二期では研修プログラムの改訂に加え、研修ファシリテーターの強化、対象 14 支所すべてへの研修後の巡回指導、支所審議会における課題の抽出と改善策の提言など、丁寧かつ着実な PDCA が機能している。研修方式としてカスケード研修が導入され、新任の准看護師を含めて医療従事者全員が合格点を達成するまで補完研修が行われた。

<教材>

母子保健技術委員会での提言を受けて、より視覚的に充実した研修教材や補完教材が作成され、関係者の学習意欲と研修効果の向上に寄与している。

(2) 成果 2. 妊産婦と 2 歳未満児の健康に関するコミュニティ活動が強化される

<制度>

ES AFC の質の向上を目的とする技術統合巡回指導が月例制度として機能するに至り、四半期評価会にて支所審議会によるモニタリング評価が制度化された。評価会では 161 保健セクターのなかで好事例と非好事例をとりあげ、双方の比較分析を通じた問題分析と課題抽出の手法が定着し、ES AFC 活動の着実な進捗に寄与している。

また、ES AFC と RC の信頼協力関係の緊密化を目的に、RC リストの拡充整備が実施された。

<研修>

ES AFC 活動の好事例集が作成され、これを活用して ES AFC ガイドの研修が実施されている。四半期評価では約 1 年半で両 SILAIS とともに大幅な改善(約 50%ポイント)が達成されたことが示された。

<教材>

上記成果を盛り込む形で ES AFC ガイドの改訂が行われ、よりレベルアップした研修の実施に活用されている。

成果 3. 妊産婦と 2 歳未満児の健康に関する SILAIS の行政能力が強化される。

<制度>

第二期の課題は、向こう 4 週間の妊産婦と新生児の監理強化を目的とする図 1 に示すレファレル・カウンターレファレル・システム(RCS)の制度調整におかれた。レファレル・カウンターレファレル委員会が設置され、各 SILAIS と支所が定期的に関連情報をモニタリング評価する仕組みが制度化された。

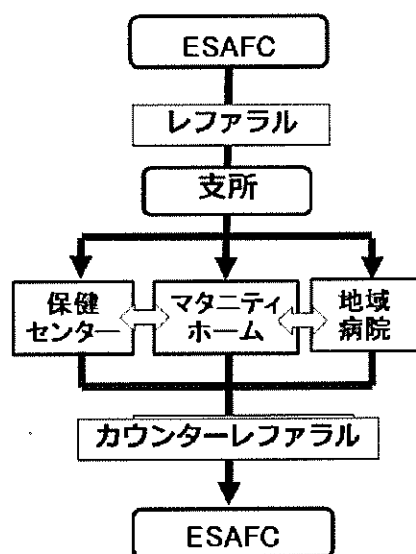
<研修>

技術統合巡回指導の手法と内容を改訂し、各レベルの技術審議会での情報収集と分析、フィードバックを順調に機能させるべく指導が繰り返された。RCS のボトルネックであった弱体支所の能力強化を目的に、支所審議会の機能強化を関係者全員が協力する形で定期的に促進する仕組みが導入された。

<教材>

母子保健データの分析と評価に資するモニタリングハンドブックが作成された。また、優先活動をポスターの形で可視化し、各医療関係機関に掲示した。

図 1 妊婦の継続監理



成果 4. 保健省に承認された知見や好事例が全 SILAIS に共有される。

<教材>

ES AFC 好事例集の改訂版が作成され、保健セクター間の知見が共有されることで、RC との信頼協力関係のさらなる強化が期待される。とくに集落マップと家庭調査票の作成、RC による PDCA を盛り込んだ活動計画の策定と評価の実施はプロジェクト開始時には事例が存在せず、この分野での好事例が増えたことは ES AFC と RC それぞれの意欲と能力の向上、ならびに双方の信頼協力関係の強化として高く評価できる。

4-4. エンドライン調査による効果の実証

ベースラインと(BL)とエンドライン(EL)の各項目指標の比較分析により、成果 1 から 3 が着実に進捗したことが分かる。

(1) 母子保健サービス実態調査

一般的に「母子保健サービスの利用者が、提供されたことを認識し、かつ、記録も正確になされている」割合がいずれの項目でも上昇しており、母子保健サービス全般の改善を確認できる。4-3-1 で論じた制度・研修・教材の成果、とりわけ母子保健研修プログラムと巡回指導による効果が大きい。

表 1 母子保健サービス実態調査

	BL (%)	EL (%)
利用者が保健サービスの提供を受けたことを自覚し、記録も正しくされている		
(産前健診)		
妊娠中の危険兆候や症状に関するカウンセリング	70	99
分娩についての説明／出産計画	65	89
産後生活、完全母乳栄養、家族計画に関するカウンセリング	47	69
アスピリン剤処方	45	76
(乳幼児健診)	65	96
バイタルサイン測定	45	82
早期成長発達カウンセリング	65	90
鉄分サプリメント処方	67	92
駆虫剤処方	50	100
診察カルテに正しく記録されている		
(産前健診)		
母体の体重増加をもとにした栄養状態の評価	82	96
母体の体重増加をもとにした栄養状態の解釈	71	88
血圧の値の評価	60	88
尿検査テープ結果の解釈	81	88
(乳幼児健診)		
栄養状態の分類 (体重/年齢、身長/年齢、体重/身長)	99	93
栄養不足、貧血および栄養的リスクの問題判定	100	93
注 サンプル数は両SILAIS共に50人、それぞれカルテ調査と聞き取り調査を実施。		

(2) 2017 年に出産した母親に対する KAP 調査

プロジェクト介入後の母親の行動変容を明らかにすることを目的に、2017 年に出産した母親の母子保健に関する「知識 (Knowledge)・態度 (Attitude)・行動 (Practice)」の変化を 2015 年実施の BL と 2019 年実施の EL 調査で比較した。EL 調査で、知識、態度、行動ともに改善が見られたのは、ESAFc の集落活動の活性化、医療従事者と RC 間での妊産婦・乳幼児情報の共有、産前健診や集落におけるカウンセリングの強化等の分野である。これらの成果は、ESAFc 活動ガイドの導入、RC に対する研修、「出産計画」研修などで RC が集落内の妊婦を見守る体制ができたことによる。

巡回指導では母子保健サービスの質の向上を重視した結果、健診時に行われる説明からマタニティホームの利用時期、中期産後健診時期、一回目の乳児健診の時期に関する知識を持つ者の割合が上昇した。

表 2 2017 年に出産した母親に対する KAP 調査

		知識 (%)	態度 (%)	行動 (%)
産前健診の開始時期	BL	79.7	93.5	74.8
	EL	97	100	85.6
分娩場所	BL	81.7	74	65.9
	EL	91.1	87.6	80.2
分娩介助者	BL	67.5	51.2	51.2
	EL	94.6	81.2	80.2
産後健診の開始時期	BL	38.2	40.2	39.4
	EL	90.1	90.6	88.6
乳幼児健診の開始時期	BL	56.1	57.3	48.4
	EL	92.1	92.1	87.1

(注) BL 調査は 2015 年に 8 か所のパイロット保健セクターで実施。エンドライン調査は、治安悪化のため除外したサントドミンゴ支所ブルン 2 セクターを除く 7 か所で実施。サンプル数は BL が 246 人、EL が 202 人。

(3) 社会奉仕医師・看護師へのアンケート調査

1 年間の ESAFC 活動に取り組んだ社会奉仕の医師および看護師と新規採用された准看護師に対し、活動に従事した前後の時期にあたる、2017 年 4 月と 2018 年 3 月にアンケート調査を行い、「MOSAFc の目的に RC メンバーを ESAFC の一員とする」、「村落地図の作成の重要性」に関して、数値が著しく改善したことが確認された。ESAFc 医療メンバーの集落活動については、知識、態度ともにすべての項目で数値が上昇しており、とりわけ保健プロモーションの活動の態度は、2017 年の 74% から 2018 年には 100% に至った。

2018 年の KAP 式の結果でも、知識と態度に比例して行動が向上しており、医療メンバーの役割認識が、診療にとどまることなく、予防・プロモーション活動にまで知識・態度の双方で完全に浸透したことが分かる。同様に、家庭調査票についても、たんなる調査と作成が自己目的化するのではなく、実際に調査票を活用して保健プロモーションが行われていることが確認された。

表 3 の結果から各保健セクターでは、RC メンバーとの連携を強化し、保健セクター会議の毎月の開催

が定着して、住民参加型の保健活動がより確実に実施されていると結論づけられる。

表3 社会奉仕医師・看護師へのアンケート調査

	正解率 (%)	
	2017年	2018年
MOSAFCの目的	28.3	98.2
ES AFCの構成メンバー	45.1	98.2
保健セクター会議の 開催頻度 (知識)	80.5	87.5
保健セクター会議の 開催頻度 (態度)	69	84.1
保健セクター会議の 開催頻度 (行動)	質問せず	93.8

5. プロジェクト終了までの提言

(1) 成果4の達成に向けて、保健省として取り組むべき活動の方針・目標を関係者全員で確認・共有し、本省、SIL AISならびに各支所の強いリーダーシップのもと、モニタリング評価の実施と分析結果の活用を進めていくことが不可欠である。

(2) 上記活動のためには、通常、プロジェクトが活動した2 SIL AIS とその他の SIL AIS における同時期変化(with/without)の比較分析を行い、プロジェクトの貢献度とその要因を浮き彫りにすることが求められる。だが、本件は母子保健分野の情報の精度自体を向上させることに目的がおかれていることから、他 SIL AIS の精度の低い情報をそのまま受け入れて比較を行うことはできない。あくまでプロジェクトの介入前後、BLとELの比較に留めるべきであろう。

(3) 国際フォーラムでは、プロジェクト成果の達成要因を可視化し、とりわけ制度調整と研修、教材作成へのPDCAサイクルの導入効果に重点をおいた報告を行い、費用効果の高い形で成果4が達成しうることをアピールするための機会として活用する。

6. プロジェクト終了後への提言

プロジェクト成果の全国展開、ならびに RC とコミュニティからなる需要サイドの能力強化が残された課題だが、政情不安が続く状況の下、4-1で指摘した外部条件の変化や他ドナーの動向などを注視し、今後の協力方針を検討すべきであろう。

(1) 自立発展性の確保

保健省は政策・制度が相対的に確立し、政権交代の影響を受けにくい組織であり、オーナーシップも意識的に高めているが、とりわけ1~2年で交代する ES AFC 関係者への PDCA サイクルを取り入れた研修と情報管理システムの持続性には、当面、巡回指導のような形での日本からのフォローアップ指導が欠かせないだろう。また、政情不安によって保健省人事が変動しており、これが増幅リスクもあることに留意する必要がある。

(2) 全国 SILAIS への普及

好事例とは特定の文脈に依存した諸条件の集合の結果であるため、自動的に成果が波及することは考えにくい。すでにニカラグアにおいてもリプロ分野のプロジェクトがパイロット地区では成果を上げながらも、全国に普及することなしに終わった経験がある。これらを踏まえて、本プロジェクトでは定型化が容易で、なおかつ PDCA を活用して文脈依存型に柔軟に研修手法と内容を改訂でき、そのうえ費用効果が高い仕組みを設計し、2 SILAIS で成果を実証した。この手法は、たとえばハーバード大国際開発センターの PDIA (Problem Driven Iterative Adaptation) アプローチ³との共通性を持ち、国際的にも評価されよう。

成果4が目標とする全 SILAIS への成果の普及は、保健省中央の政策主導によってはじめて可能となることから、保健省保健総局に専門家を派遣することを提言する。

(3) RC とコミュニティの能力向上

保健サービスの需要サイドであるコミュニティ・レベルでの能力強化が残された重点課題であり、プロジェクト成果の自立発展性と全国への普及にも鍵を握る。今回の業務の一環として、半期評価会では生活改善アプローチ(EMV)の中南米諸国における成果と最新のモニタリング評価の仕組みを紹介した。保健省幹部は、この分野に優先的に取り組む必要を十分に意識しており、EMV の有用性への関心も高いことから、この分野での研修や短期専門家の派遣は効果的であろう。すでにエルサルバドル保健省は EMV を看護師研修に取り入れたモデル事業を開始している。

付属資料

半期評価会における課題グループ別ワークショップ

ESAFc 強化グループ



レファレル・カウンターレファレル第1グループ



³ Center for International Development at Harvard University, Building State Capacity Project (<https://bsc.cid.harvard.edu/>)

レファレル・カウンターレファレル第2グループ

巡回指導グループ

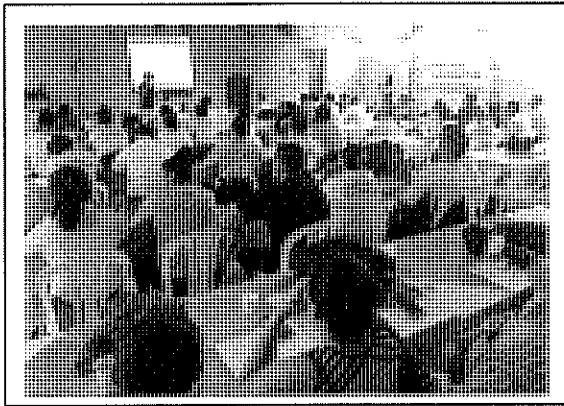


活動日程

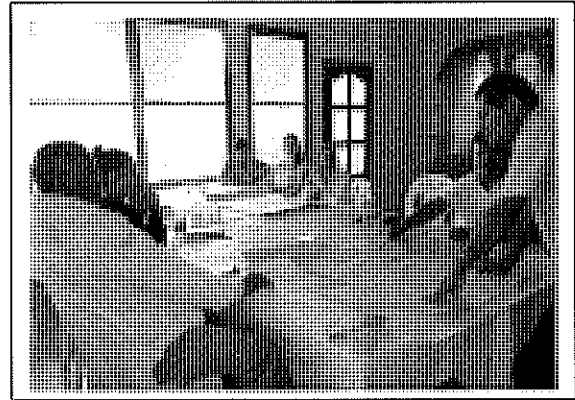
日付	時刻	移動	活動	宿泊先	
2月	24日	11:00	東京発、ANA便が遅延のため、ヒューストン空港ホテルに宿泊	移動、書類整理	Hotel Marriott Houston International Airport
	25日	9:40	ヒューストン発 13:00 マナグア着 ファイガルバへ移動 16:00着	マナグアから、ファイガルバへ移動 中村リーダーより活動状況のブリーフィング 半期評価会用の最新資料の分析	Hotel Luna (7号室) 電話(505) 2512-4672
	26日	8:00	ファイガルバ	第7回半期評価会・ワークショップ 会場:Hotel La Quinta会議室	Hotel Luna (7号室) 電話(505) 2512-4672
	27日	8:00	ファイガルバ	第7回半期評価会・ワークショップ 会場:Hotel La Quinta会議室	Hotel Luna (7号室) 電話(505) 2512-4672
	28日	8:00	ファイガルバ→コマラバ→マナグア	SILAISチヨントレス コマラバ支所保健セクター及びコンセプション支所 視察 保健省保健サービス総局、日本大使館	Hotel Holiday Inn Express 電話(505) 2298-5800
3月	1日	7:30	マナグア	AM 書類整理 PM JIGAニカラグア事務所	Hotel Holiday Inn Express 電話(505) 2298-5800
	2日	5:30	ホテル発 マナグア発、パナマ、ロサンゼルス経由 (CM710便, 7:52出発予定)	ホテル→空港 (プロジェクト車両、中村送り)	
	3日				
	4日	5:40	羽田着		

以上

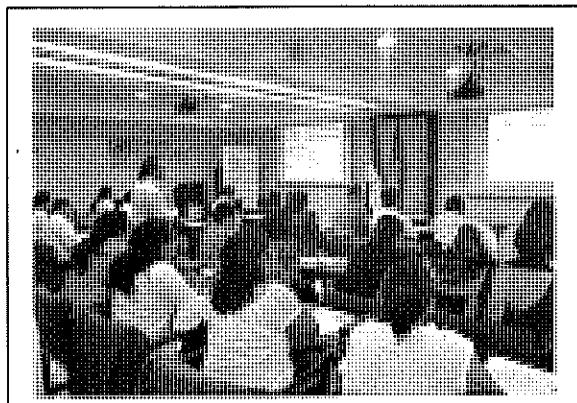
5. 活動写真



第7回半期評価会・ワークショップ
ESAFC 活動の可能性について講義する
保健行政専門家



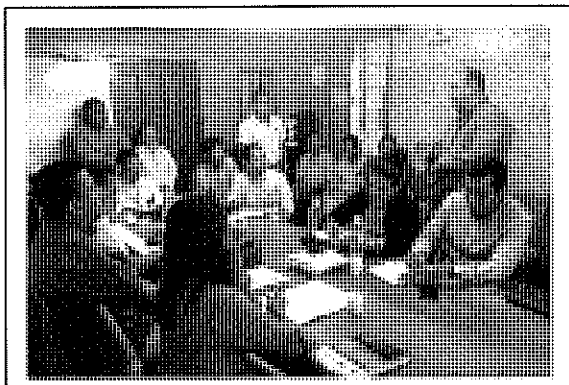
第7回半期評価会・ワークショップ
2日目ワークショップで、レファラル・カ
ウンターレファラルの業務フロー図を更新



プロジェクトの好事例研修
保健省本省の技官に対してプロジェクトの
好事例を説明する DGSS 総局長



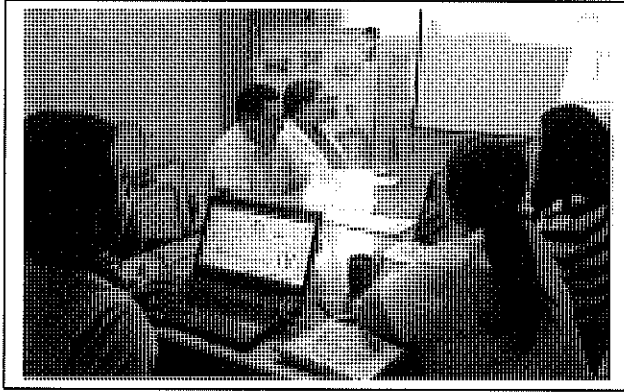
国際フォーラム、テレビ会議
チリ、パラグアイ、ホンジュラスと通信



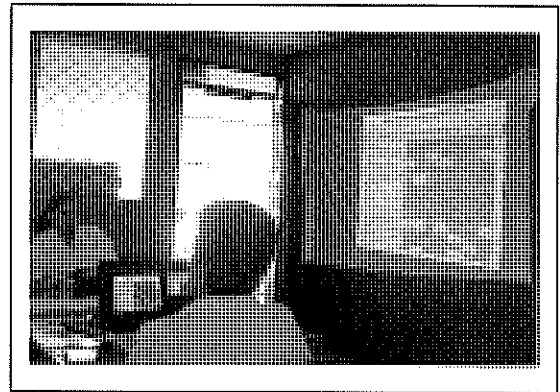
レファラル・カウンターレファラル
5 SILAIS 合同会議
DGSS 病院局長が取り組みについて説明



レファラル・カウンターレファラル
5 SILAIS 合同会議
業務フロー図を説明し、同システムの導入
を提言



SILAIS チョントレス母子保健技術委員会
母子保健のテキスト改定版について協議



支所技術審議会
所定の様式を用いて、進捗状況を分析
サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所



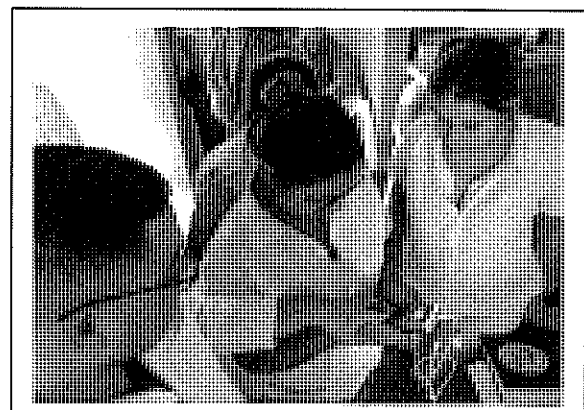
技術統合巡回指導 (ATI)
確認された問題点について協議
サント・トマス支所
グアボ保健セクター



技術統合巡回指導 (ATI)
記録が正しき字記述されているかを確認
エル・ラマ支所
カルデロン保健セクター



機材取扱・日常点検研修
各支所でカスケード方式研修を開催
エル・コラル支所



機材取扱・日常点検研修
パルスオキシメーターの取扱い
ビジャ・サンディーノ支所



2019 年 4 月 8 日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 青木 恒憲 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤ・セントラル保健管区に
おける母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2019年3月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. 第4回合同調整委員会（JCC）

第4回 JCC は、プロジェクトの終了時合同自己評価、エンドライン調査とプロジェクト終了までに残されている課題に関して協議した。

1) 参加者、日時、場所

参加者：ニカラグア側：8人

- 外務省2人：アジア・太平洋総局員
- 保健省本省3人：大臣、保健サービス総局（DGSS）総局長、対外協力（DCE）局長
- SILAIS チョンタレス2人：局長、保健サービス課長
- SILAIS セラヤ・セントラル1人：保健サービス課長

日本側：9人

- 日本大使館2人：書記官、ローカルスタッフ
- JICA ニカラグア事務所3人：所長、企画調査員、ローカルスタッフ
- プロジェクト4人：総括、副総括、母子保健専門家、テクニカル・アシスタント

日時：2019年3月14日、10:30～12:15

場所：保健省保健大臣会議室

2) JCC アジェンダ

- ① 第4回 JCC 開会宣言（ボエデッカーDCE 局長）
- ② エンドライン調査報告（シリアス SILAIS チョンタレス局長）
- ③ プロジェクト終了時合同自己評価（クルス DGSS 総局長）
- ④ 対象地区から全国への提言（タレノ SILAIS セラヤ・セントラル保健サービス課長）

- ⑤ 家庭地域保健国際フォーラム（クルス DGSS 総局長）
- ⑥ JICA からコメント（名井 JICA ニカラグア事務所長）
- ⑦ 保健省からコメント（カストロ保健大臣）

3) 発表と協議

発表スライドは、添付資料①「発表スライド」を参照。
協議内容は、添付資料②「JCC 議事録」を参照。

- 計画**
- ① 家庭地域保健国際フォーラムを開催する。
 - ② 17 SILAIS を対象とした全国セミナーを開催する。
 - ③ JICA ニカラグア事務所のプロジェクトフォローアップ評価計画を支援する。

1-2. 家庭地域保健国際フォーラム

JICA、PAHO/WHO、ニカラグア保健省の共催による「家庭地域保健国際フォーラム」を開催した。2015 年にパラグアイ、2016 年にドミニカ共和国で開催した国際フォーラムに続くものである。

1) 参加者、日時、場所

参加者：国外招待：23 人

- ① エルサルバドル（JICA 事務所員 1 人）
 - ② キューバ（保健省 1 人）
 - ③ グアテマラ（保健省 2 人、JICA 事務所員 1 人）
 - ④ コスタリカ（JICA 事務所員 1 人）
 - ⑤ チリ（保健省 2 人）
 - ⑥ ドミニカ共和国（保健省 2 人）
 - ⑦ 日本（JICA 国際協力専門員 1 人）
 - ⑧ パナマ（保健省 1 人）
 - ⑨ パラグアイ（保健省 2 人）
 - ⑩ ブラジル（保健省 1 人）
 - ⑪ ボリビア（プロジェクトスタッフ 2 人、JICA 事務所員 1 人）
 - ⑫ ホンジュラス（保健省 2 人）
 - ⑬ メキシコ（保健省 1 人、JICA 事務所員 2 人）
- （以上、50 音順）

ニカラグア：139 人

- 外務省 1 人（開会式のみ）：アジア・太平洋総局員
- 保健省
 - 本省（18 人）：大臣、副大臣、保健サービス総局（DGSS）総局長、
 - 対外協力（DCE）局長ら
 - SILAIS（43 人）：チョンタレス 4 人、セラヤ・セントラル 4 人、その他 17SILAIS35 人
 - 支所（34 人）：支所長
 - 病院（11 人）：一次病院関係者
 - 展示関係者（10 人）：障害者団体、妊婦ボランティア等
- 日本大使館（3 人：開会式のみ）
- JICA ニカラグア事務所（4 人）
- PAHO/WHO ニカラグア事務所（8 人）

➤ SAMANI プロジェクト (7人)

日時： 2019年3月28日、8:00~17:00
29日、8:30~16:00

場所： マナグア市、Hotel Hex コンベンションセンター

2) アジェンダ

1日目は下記4つのテーマに関する基調講演を行い、2日目は同4つのテーマについてグループワークを行い、好事例を集約した。詳細は、添付資料③を参照。

【フォーラムの4つのテーマ】

- ユニバーサルヘルスとSDGsの目標のための課題
- PHCと保健サービス統合ネットワークにおけるユニバーサルヘルス
- 包括的保健ケアにおける住民参加
- PHCと非感染性疾患

- 【計画】
- ① 保健省とPAHOとともに、フォーラムで発表されたスライド、グループワークの成果品をデジタルデータとして整理し、まとめる。
 - ② まとめられたデータを参加者へ配布する。

1-3. 医療従事者研修プログラム

1) 母子保健5項目のテキスト第2版

DGSSによる5項目のテキスト内容の確認作業が終了し、テキスト第2版は承認された。印刷用原稿の確認と修正を行っている。

2) 母子保健研修ガイドの改定

両SILAISの母子保健技術委員会とともに、研修ファシリテーター用の研修ガイド、研修の事前・事後テスト、及び、症例検討教材の改定作業を実施し、DGSSによる最終確認作業を終え、改定版は承認された。

3) 全国SILAISセミナーとファシリテーター研修の準備

4月に開催予定の全国SILAISに対するセミナーと、SILAIS チョントレスとセラヤ・セントラルの14支所の研修ファシリテーターに対する研修で使用するPowerPoint教材の改訂作業等、開催準備を進めた。

- 【計画】
- ① 母子保健5項目のテキスト第2版と母子保健研修ガイドを印刷し、配布する。
 - ② 全国セミナー及びファシリテーター研修用PowerPoint教材の改定作業を完了する。
 - ③ 全国17SILAISに対するセミナーで、研修プログラムに関して作業工程、実施・評価方法などを解説する。

1-4. ESAFC 活動

1) ESAFC 活動の継続

両SILAISの14支所でESAFc活動は継続されている。各支所は、2月に開催した

第 7 回半期評価会・ワークショップにおいて合意した、家庭調査票を用いた ESAFC 活動強化に取り組んでいる。

2) ESAFC 活動ガイドと好事例集の更新

「ESAFc 活動ガイド(改定版)」と「ESAFc 活動の好事例集(第 2 版)」について、保健省 DGSS の承認を得て、各 600 部の印刷を発注した。配布先は、表 1 のとおり。

表 1 ①「ESAFc 活動ガイド(改定版)」と ②「好事例集(第 2 版)」の配布先

	SILAIS チョントレスと セラヤ・セントラル	全国 17 SILAIS	その他
SILAIS	①と② 各 5 冊	①と② 各 4 冊	保健省： ①と② 各 39 冊 JICA： ①と② 各 2 冊
支所	①と② 各 3 冊	①と② 各 2 冊	
保健セクター	①と② 各 1 冊	—	
合計	①と② 各 213 冊	①と② 各 346 冊	①と② 各 41 冊

- 計画
- ① 両 SILAIS 及び各支所は、ESAFc 活動を継続し、通常活動のほか、活動強化 3 項目についてモニタリングする。
 - ② 17SILAIS に対するセミナーで、ESAFc 活動ガイド及び同好事例集について解説する。
 - ③ ESAFC 活動ガイド(改定版)及び ESAFC 活動好事例集(第二版)を配布する。

1-5. 技術統合巡回指導

1) 巡回指導の現状

両 SILAIS では技官による巡回指導を継続している。PDM 指標成果 3-1「技術統合巡回指導」、同 3-2「技術審議会への同席」の支所の実施状況と SILAIS の同行回数は、表 2 のとおりであった。

表 2 支所の巡回指導と SILAIS の同行回数 (2019 年 3 月)

支所の活動	特徴	チョントレス		セラヤ・セントラル	
		支所実施数	SILAIS 同行回数	支所実施数	SILAIS 同行回数
技術統合巡回指導	保健セクターを訪問。活動をモニタリング・指導し、改善に取り組む	10 支所 24 保健セクター	2 支所 4 保健セクター	4 支所 18 保健セクター	4 支所 4 保健セクター
支所の技術審議会(CTAM)開催	保健セクターの医療チームが出席する支所レベルの技術審議会	10 支所	3 支所	4 支所	3 支所

SILAIS チョントレスは、保健省及び保健省の組合から指示された様々な活動によって、巡回指導の同行及び CTAM への同席ができない場合が多かった。

2) 統計データの質管理評価

統計データの質管理のための「正確な分析についての評価」は、SILAIS チョントレスでは先月に続き実施されなかった。現在、SILAIS チョントレスで同活動強化

の方策が検討されている。SILAIS セラヤ・セントラルでは、ヌエバ・ギネア支所とエル・コラル支所で実施された。評価結果は表 3 とおり。

表 3 統計データの質管理評価結果

SILAIS	統計データの質管理実施場所	評価結果
セラヤ・セントラル	ヌエバ・ギネア支所サン・アントニオ保健セクター	82.0%
	エル・コラル支所市街地 1 保健セクター	84.9%
	エル・コラル支所コロニア・リオ・ラマ保健セクター	85.0%

今回の評価では、概ね正しい記述及び診断分析がなされていた。記述の不備があった部分に対しては、OJT で指導している。

- 計画
- ① 両 SILAIS 及び各支所は、技術統合巡回指導、CTAM の実施と SILAIS の同席を継続する。
 - ② SILAIS チョンタレスと統計データの質管理評価活動の強化に対して、対策を検討する。
 - ③ 巡回指導の実施方法に関して、17SILAIS に対する全国セミナーで解説する。

1-6. レファラル・カウンターレファラル

1) レファラル・カウンターレファラル委員会

第 7 回半期評価会・ワークショップにおいて提案された「カウンターレファラル情報伝達管理の改善方法」は、地域病院の院長主体で実践されている。その目的は、妊娠時にリスクの確認された産褥婦の退院情報の速やかな伝達であり、具体的な方法として、病院長自らが WhatsApp を用いて、各支所長へ直接連絡を取り、各支所長は、支所看護師長及び担当保健セクターにこの情報を伝えている。また、これらの情報は、SILAIS 保健サービス課にも共有されている。

2) 周辺 5 SILAIS レファラル・カウンターレファラル会議

3 月 20 日に開催が予定されていた 5 SILAIS レファラル・カウンターレファラル合同会議は、保健大臣の承認を得られず開催が延期となった。今後の、開催の見通しは立っていないが、南カリブ海沿岸自治州からのレファラル患者の情報伝達は、2 月 20 日の会議後から改善されていることが、両 SILAIS 及び地域病院関係者から確認が取れている。携帯電話と WhatsApp を利用した、即時の情報伝達により緊急搬送された妊婦への対応及び処置に問題がなかったことが報告されている。

- 計画
- ① 周辺 5 SILAIS (ボアコ、サン・カルロス、RAAS、チョンタレス、セラヤ・セントラル) と地域病院間で開催するレファラル・カウンターレファラル会議の再開を DGSS に働きかける。
 - ② 17SILAIS に対する全国セミナーで、プロジェクト対象地域におけるレファラル・カウンターレファラルの好事例について解説する。

1-7. 機材稼働モニタリングシステム

- 1) 2019 年 2 月に実施した機材稼働モニタリングシステムで、両 SILAIS で合計 25 台の血圧計に不具合が確認され、結局 21 台は修理され、4 台 (SILAIS チョンタレス 3 台、SILAIS セラヤ・セントラル 1 台) は修理できなかった。SILAIS セラヤ・セント

ラルでは、新たに器械台や回転椅子などの故障が確認されたが修理されている。

1-8. 運營業務

1) プロジェクト終了後のモニタリングシステム

第4回 JCC において、JICA ニカラグア事務所よりプロジェクトの成果の持続性を高めるために、プロジェクト終了後、保健省と JICA ニカラグア事務所による活動モニタリングの実施が提案された。これについて、あらためてニカラグア事務所と協議し、日本人専門家の離任前に保健省とモニタリング方法を定めることで合意した。

2) JICA ニカラグア事務所によるプロジェクト SAMANI の広報

政情不安による国外一次退避措置終了後の活動再開に際し、JICA ニカラグア事務所の勧告に従い、プロジェクトの広報活動は、国際フォーラムなどのイベントも含め、ニカラグア国内では基本的に控え、国外に対する広報活動のみを継続している。

4~5 月中に RC にフォーカスした JICA ニカラグア事務所スタッフによる取材を受けることとなり、今後、その準備を進めてゆく。取材内容は、今後、JICA 事務所のホームページなどで公開される予定である。

- 計画 ① JICA 及び保健省と、プロジェクト終了後にモニタリングする項目、方法、時期などを決定する。
- ② 広報資料作成のため、パイロット保健セクターを訪問し、RC に対するインタビューを実施する。

2. 主な活動日程

【3月】

- 1日：狐崎知己（保健行政）専門家活動報告会
- 2日：狐崎知己（保健行政）専門家離任
- 4日：SILAIS チョントレス保健サービス審議会（CTSS）、サント・トマス支所技術審議会（CTOM）、SILAIS チョントレス母子保健技術委員会研修プログラム検証会議、SILAIS セラヤ・セントラル母子保健技術委員会研修プログラム検証会議
- 5日：JICA ニカラグア事務所・プロジェクト会議、国際フォーラム保健省・PAHO・プロジェクト合同準備会議、SILAIS チョントレス技術審議会（CTOD）
- 6日：国際フォーラム・モデレーター会議、SILAIS セラヤ・セントラル母子保健技術委員会研修プログラム検証会議
- 7日：DGSS 母子保健テキスト作成会議
- 11日：SILAIS チョントレス技術審議会（CTOD）、SILAIS チョントレス保健サービス審議会（CTSS）、SILAIS セラヤ・セントラル母子保健技術委員会研修プログラム検証会議
- 12日：国際フォーラム保健省・PAHO・プロジェクト合同準備会議、JICA・保健省・プロジェクト JCC 準備会議
- 13日：DGSS 母子保健テキスト作成会議
- 14日：第4回 JCC、SILAIS セラヤ・セントラル母子保健技術委員会研修プログラム検証会議
- 15日：DGSS 母子保健テキスト作成会議

- 18日：SILAIS チョントレス技術審議会（CTOD）
19日：SILAIS チョントレス技術審議会（CTAD）、SILAIS チョントレス保健サービス
審議会（CTSS）
20日：エル・ラマ支所技術統合巡回指導（ATI）
21日：JICA ニカラグア事務所・プロジェクト会議、DGSS 母子保健テキスト作成会
議
22日：国際フォーラム保健省・PAHO・プロジェクト合同準備会議
25日：SILAIS チョントレス技術審議会（CTOD）、SILAIS チョントレス保健サービス
審議会（CTSS）、DGSS 母子保健テキスト作成会議
26日：国際フォーラム保健省・PAHO・プロジェクト合同準備会議
27日：国際フォーラム参加者到着
28-29日：家庭地域保健国際フォーラム開催
30日：国際フォーラム参加者出発
31日：渡辺咲子（副総括／地域保健／業務調整）専門家離任

3. 今後の予定

【4月】

- 9・10日：17SILAIS 対象 SAMANI プロジェクト好事例研修
12日：JICA ニカラグア事務所広報撮影及びインタビュー取材（アコヤパ支所チナ
ル保健セクター）
23・24日：ファシリテーター強化研修
28日：中村二郎（総括／地域保健）専門家離任

4. 添付資料

- 添付資料① JCC 発表スライド
② JCC 議事録
③ 国際フォーラムアジェンダ

5. 活動写真

別添のとおり

6. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

添付資料①

第4回JCC発表スライド

Gobierno de Reconciliación y Unidad Nacional
El Pueblo, Presidente!
MINISTERIO DE SALUD

JICA

ニカラグア共和国チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

PRYECTO SAMANI

エンドライン調査

2019年3月14日

1

ベースライン調査

- 母子保健サービスの実態を母子保健サービスを提供する医療従事者及びその利用者に対する調査を、SILAISチョンタレスおよびSILAISセラヤ・セントラルの5支所で実施
- 2014年に出産した母親に対するCAP調査

エンドライン調査

- 母子保健サービスの実態を母子保健サービスを提供する医療従事者及びその利用者に対する調査を、SILAISチョンタレスおよびSILAISセラヤ・セントラルの10支所で実施
- 2017年に出産した母親に対するCAP調査
- 社会奉仕医師・看護師へのアンケート調査

2



3

調査方法

- ▶保健ポストもしくは保健センターで、産前健診と乳幼児健診のサービスの利用者に、受けたサービスの内容について、受診直後に聞き取り調査をした。
- ▶産前健診と乳幼児健診について、実際に提供されたサービスの内容を、ベースラインの調査票を使用し、カルテを精査した。
- ▶聞き取り調査で、利用者が「サービスを受けた」と認識（自覚）した項目と、同利用者のカルテに記載されたサービスの内容との差異を確認した。
- ▶母子保健サービスを提供する医療従事者は、2017年母子保健研修を受講者を対象とした。

4

調査サンプル数								
調査場所	カルテ調査				聞き取り調査			
	産前健診		乳幼児健診		産前健診		乳幼児健診	
	BL	EL	BL	EL	BL	EL	BL	EL
SILAIS チョントレス	35人	50人	35人	50人	10人	50人	10人	50人
SILAIS セラヤ・セントラル	35人	50人	35人	50人	10人	50人	10人	50人
調査サンプル数合計	70人	100人	70人	100人	20人	100人	20人	100人

BL - ベースライン EL - エンドライン

5

「産前健診利用者からの聞き取り」と「カルテと照合」の結果分類（産前健診・乳幼児健診）

分類 1. 妊婦はこのサービスを受けたことを自覚しており、記録も正しくされている。

分類 2. 妊婦はこのサービスを受けたことを自覚しているが、記録漏れがある。

分類 3. 妊婦はこのサービスを受けたことを自覚していないが、記録は正しくされている。

分類 4. 妊婦はこのサービスを受けたことを自覚しておらず、記録もない。

6

聞き取りとカルテ照合結果(産前健診)		
調査項目	BL	EL
■ 検査 (血液、尿、細胞診)	70%	99%
■ 妊娠中の危険兆候や症状に関するカウンセリング	65%	89%
■ 分娩についての説明/出産計画	47%	69%
■ 産後生活、完全母乳栄養、家族計画に関するカウンセリング	45%	76%
■ 妊娠高血圧腎症の危険因子のある妊婦に対する1800mg/日の経口カルシウム剤の処方 (12~16週の間を開始し、36週まで継続)	72%	92%
■ 妊娠高血圧腎症の危険因子のある妊婦に対する100mg/日の経口アスピリン錠の処方 (12~16週の間を開始し、36週まで継続)	65%	96%

7

聞き取りとカルテ照合結果(乳幼児健診)		
調査項目	BL	EL
■ バイタルサインの測定 (体温・呼吸等)	45%	82%
■ 早期成長発達カウンセリング	65%	90%
■ 鉄分サプリメントの処方 (低体重・早産児の継続ケア、小児疾患統合管理に基づく予防の適応者のみ)	67%	92%
■ 駆虫剤の処方(生後24ヶ月以降)	50%	100%

8

カルテの確認(産前健診)

調査項目	BL	EL
(1) BMI値からの栄養状態の評価	97%	96%
(2)母体の体重増加をもとにした栄養状態の評価 (初診以外)	82%	96%
(3)母体の体重増加をもとにした栄養状態の解釈 (初診以外)	71%	88%
(4)血圧の値の評価	60%	88%
(5)尿検査テープ結果の解釈	81%	88%

9

カルテの確認結果(乳幼児健診)

調査項目	BL	EL
(1) 栄養状態の分類 (体重/年齢、身長/年齢、体重/身長)	99%	93%
(2) 成長の傾向判定 (満足、不満足)	97%	97%
(3)小児発達評価(精神運動)	97%	98%
(4) 栄養不足、貧血および栄養的リスクの問題判定	100 %	94%

10

プロジェクトPDM 指標				
PDM指標		SILAIS	2014年	2018年
成果 1-1	保健施設で現在有効な産前ケアの指標を満たす割合が2014年の46.2%から2018年の60.0%に上昇する。	チョンタレス	46.1	71.5
		セラヤ・セントラル	46.4	87.6
		両 SILAIS	46.3	79.6
成果 1-2	保健施設で現在有効な2歳未満児へのケアの質の指標を満たす割合が2014年の46.3%から2018年の60.0%に上昇する。	チョンタレス	52	61.2
		セラヤ・セントラル	40.4	85.4
		両 SILAIS	46.2	73.3

11



KAP調査結果



12

KAP調査

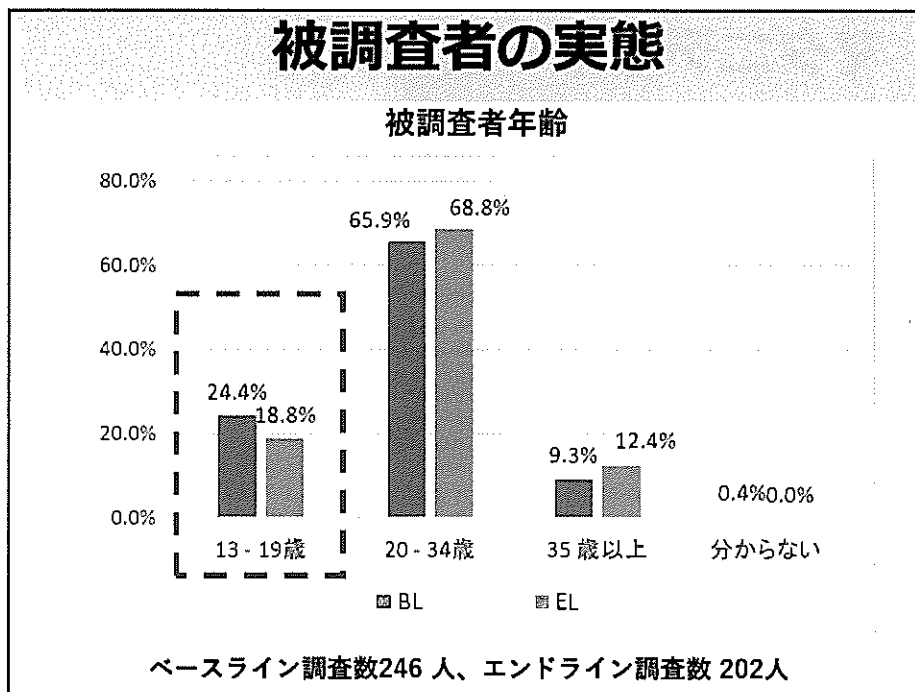
- 調査目的
 - 母親の母子保健に関する、知識 (Knowledge) ・ 態度 (Attitude) ・ 行動 (Practice) を知り、プロジェクト介入前後の母親の行動変容を明らかにする。
- 被調査者
 - 2014年に出産した母親対2017年に出産した母親の比較
 - SILAISチョンタレス及びSILAISセラヤ・セントラル管轄内で出産した母親。
 - 7パイロット保健セクターに居住する者

13

KAP調査項目

	項目	調査内容
1	産前健診	産前健診を開始する時期と健診回数
2	妊娠中の危険兆候	妊娠中の危険兆候とその対処
3	マタニティホーム	マタニティホームのサービス内容と理解状況
4	分娩	分娩介助者、施設と家族の協力
5	産後健診	産後健診を開始する時期
6	乳幼児健診	出生後第1回目の乳幼児健診開始時期
7	乳幼児の下痢	乳幼児の下痢への対処
8	RC	コミュニティにおけるRCの役割
9	社会経済環境	被調査者の社会経済環境と実態

14



15

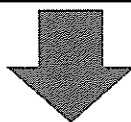
産前健診

産前健診開始時期	ベースライン			エンドライン		
	知識 (%)	態度 (%)	行動 (%)	知識 (%)	態度 (%)	行動 (%)
妊娠1か月～3か月	79.7%	93.5%	74.8%	97.0%	100.0%	85.6%
妊娠4か月～6か月	6.9%	2.4%	14.2%	2.5%	0.0%	12.9%
妊娠7か月～9か月	2.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	1.0%
10か月以上	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
知らない・回答なし	11.4%	3.7%	6.9%	0.5%	0.0%	0.5%
受診しなかった(行動のみ)	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%

16

マタニティホーム

マタニティホームの紹介	ベースライン	エンドライン
	行動(%)	行動(%)
紹介された	78.0%	95.0%
紹介されなかった	22.0%	5.0%



マタニティホームの利用	ベースライン	エンドライン
	行動(%)	行動(%)
はい	21.5%	55.9%
いいえ	50.0%	44.1%
無回答	23.6%	0.0%

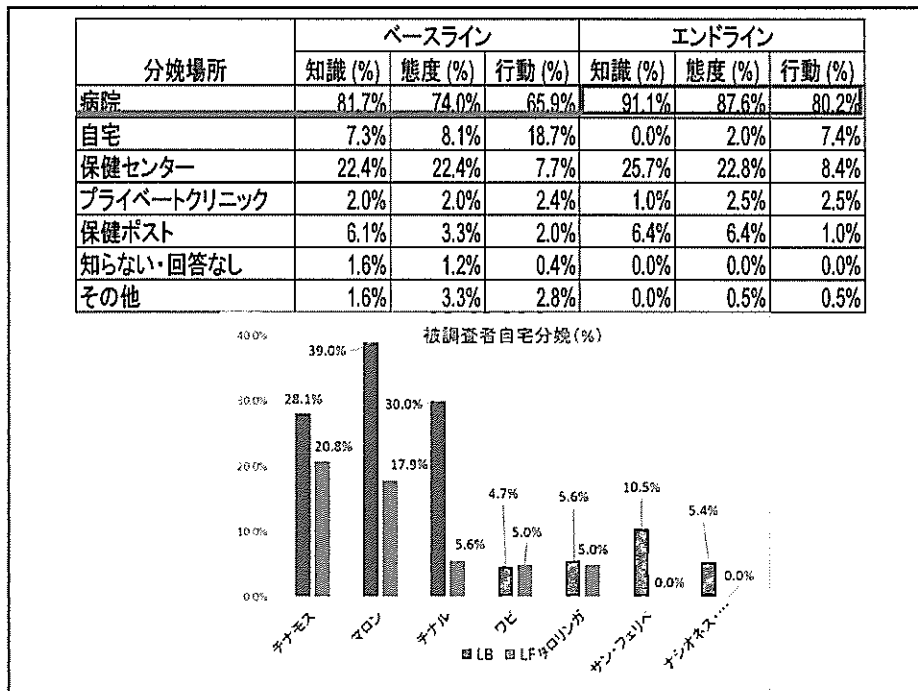
17

マタニティホームのサービス	ベースライン	エンドライン
	知識(%)	知識(%)
出産前に宿泊する	48.0%	91.1%
出産後に宿泊する	11.4%	57.4%
診察をする	29.7%	55.9%
健康トーク	4.5%	12.9%
産前健診をする	6.1%	10.9%
家族計画の提供	1.6%	8.4%
母乳栄養指導	3.3%	3.0%
知らない・回答なし	41.5%	3.0%
その他	1.2%	4.5%

18



19



20

産後健診						
産後健診の時期	ベースライン			エンドライン		
	知識 (%)	態度 (%)	行動 (%)	知識 (%)	態度 (%)	行動 (%)
出産後2日～10日後	38.2%	40.2%	39.4%	90.1%	90.6%	88.6%
出産後11日～45日後	34.6%	39.8%	29.3%	7.9%	7.9%	9.9%
出産後46日～60日後	6.5%	6.1%	5.3%	0.5%	0.5%	1.0%
61日以上あと	4.1%	5.7%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%
知らない・回答なし	16.7%	8.1%	13.4%	1.5%	1.0%	0.5%
受けていない(行動のみ)	0.0%	0.0%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%

21

乳幼児健診						
乳児健診の時期	ベースライン			エンドライン		
	知識 (%)	態度 (%)	行動 (%)	知識 (%)	態度 (%)	行動 (%)
出生後8日以内	56.1%	57.3%	48.4%	92.1%	92.1%	87.1%
出生後16～30日	23.2%	16.7%	18.3%	5.0%	5.4%	5.9%
出生後9～15日	4.1%	6.1%	10.6%	2.0%	2.0%	4.5%
出生後31日以降	12.2%	15.4%	20.7%	1.0%	0.5%	2.5%
知らない・回答なし	4.5%	4.5%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%


22

ESAFFC訪問


RCを知っているか	知識(%)
知っている	89.1%
知らない	9.9%
分からない・回答なし	1.0%

ESAFFCの家庭訪問	行動(%)
訪問した	96.0%
訪問していない	3.5%
分からない・回答なし	0.5%


23



Gobierno de Reconciliación
y Unidad Nacional
¡Por un Nuevo País!
MINISTERIO DE SALUD



PROYECTO
SAMANI



JICA

ニカラグア共和国チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

社会奉仕医師・看護師と
新任准看護師への
アンケート調査

Proyecto SAMANI

24

・調査目的

1年間のESAFc活動に取り組んだ社会奉仕の医師および看護師と新規採用された准看護師に対し、活動に従事した前後で、ESAFc活動に対する認識の変化を比較する。

・調査数

2017年4月に開始した、社会奉仕の医師および看護師と新規採用された准看護師

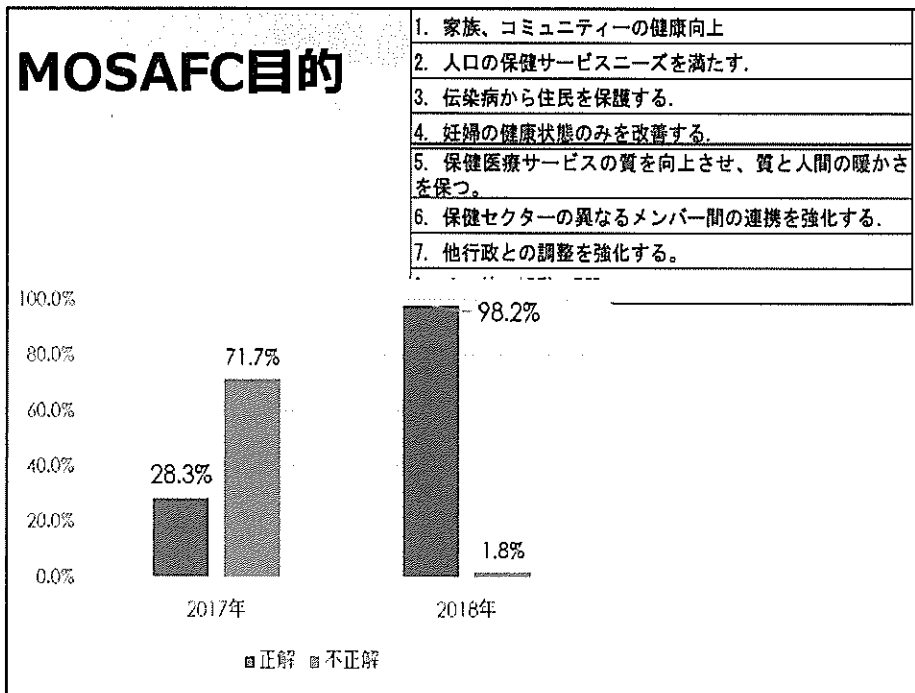
- 2017年調査数113人
- 2018年調査数109人

25

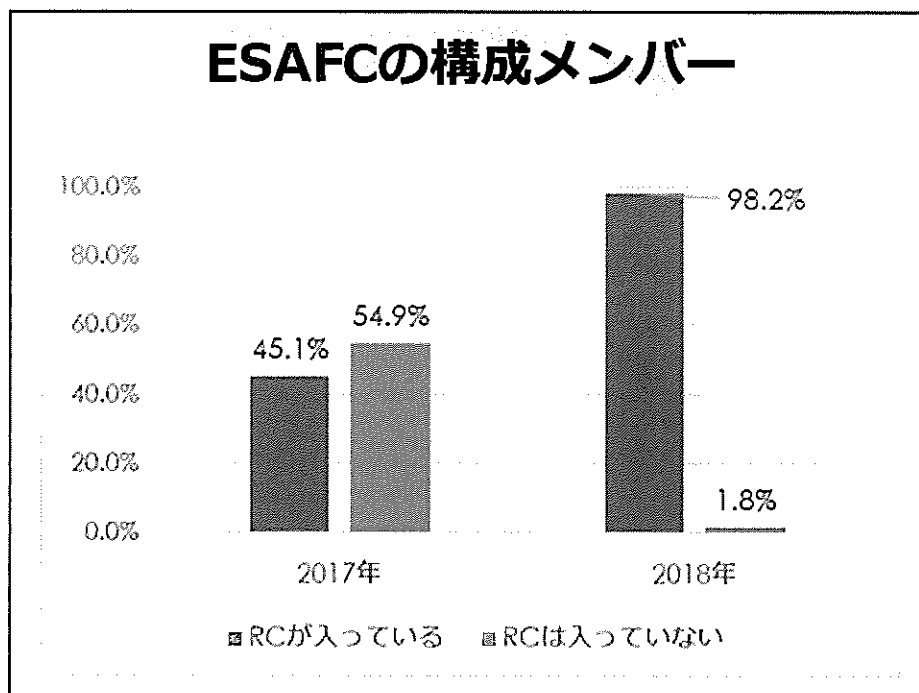
調査項目

項目	確認内容
MOSAFCの目的	MOSAFCの目的の正しい理解
ESAFcの構成メンバー	RCのESAFcの構成メンバーへの配置
保健セクター会議	保健セクター会議の開催頻度
集落活動	集落活動の頻度と内容
家庭調査票	家庭調査票作成の目的の理解
集落別マップ	集落別マップ作成の目的の理解
活動意欲調査	ESAFcとしての活動意欲の自己評価

26



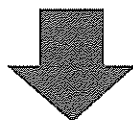
27



28

ESAFC活動意欲

1. 自己学習意欲を向上させたいか
2. チームワークは必要と思うか
3. ESAFC内のコーディネイトを強化したいと思うか
4. ESAFCの組織を改善したいか
5. RCの参加を活性化させたいか
6. 保健セクター内の健康状態を改善したいか
7. ESAFCのメンバーとして満足しているか

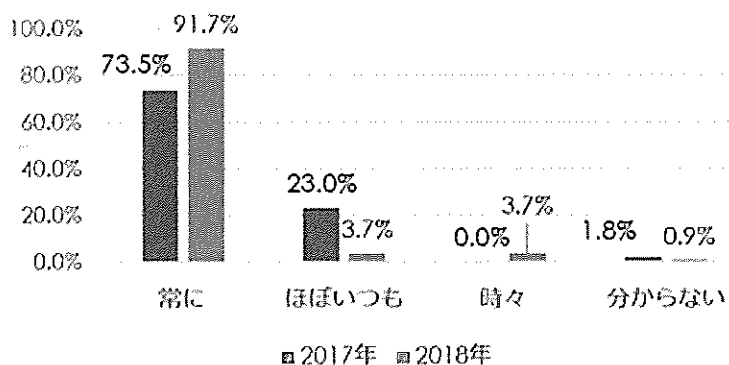


「常にある」、「ほぼいつもある」、「時々ある」、「分からない」の4段階で表示

29

ESAFCメンバーとしての活動意欲としては、2017年と2018年ともに、質問7以外常に90%を超える割合で、「常に」と回答があった。一方、「7.ESAFCのメンバーとして満足しているか」は、2017年に73.5%と質問の中で最も低かったが、2018年には91.7%まで上昇した。

7. 満足度



30

結果

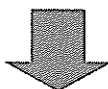
- 母子保健サービス実情調査では、母子保健サービスにおいて、改善された割合が増加した。
- 保健サービス利用者の母子保健に関するポジティブな行動変容が確認された。
- ESAFC活動に対する意欲は高く、2017年と2018年の比較では、MOSAFCの目的や、ESAFc活動の正しい知識、理解が向上した。

31

考察

ESAFc活動は医師、看護師の社会奉仕者が担っていることが多く、1、2年で替わってしまう。

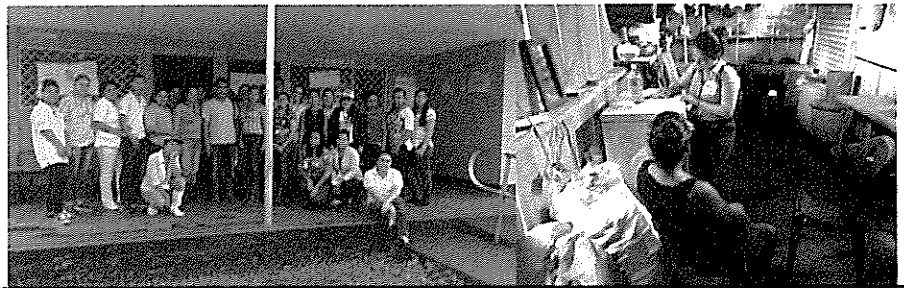
- ・ 母子保健研修プログラム
- ・ ESAFC活動ガイドに沿った、基礎的な活動
- ・ 巡回指導



- ✓ 質のある保健サービスの提供と保健指標の向上
- ✓ 保健サービス利用者への裨益効果の増加

32

ありがとうございました



33

チヨンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における 母と子どもの健康プロジェクト

 **プロジェクト
終了時評価**

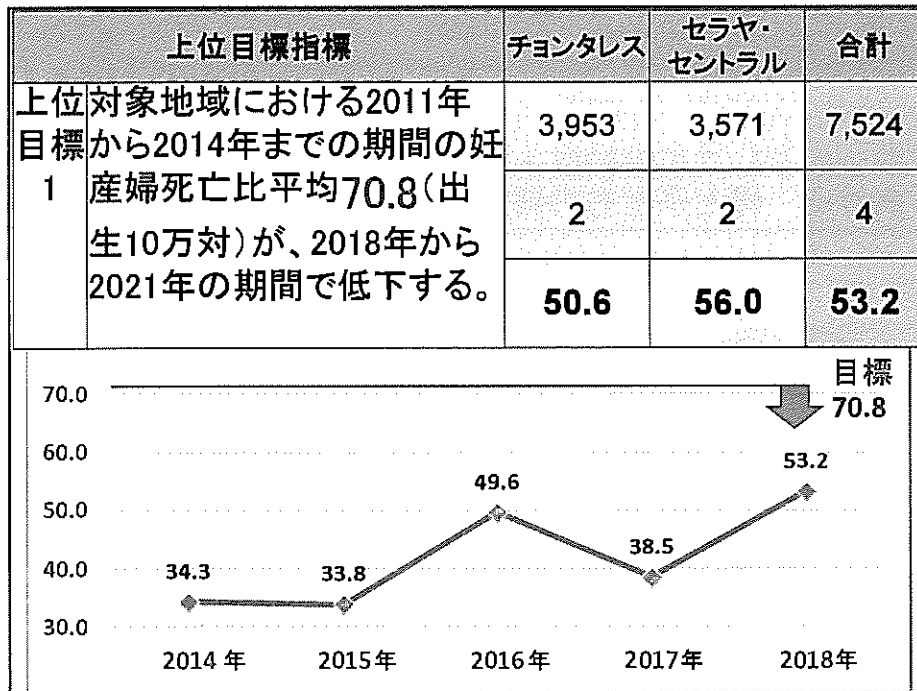
JCC, 2019年3月14日

1

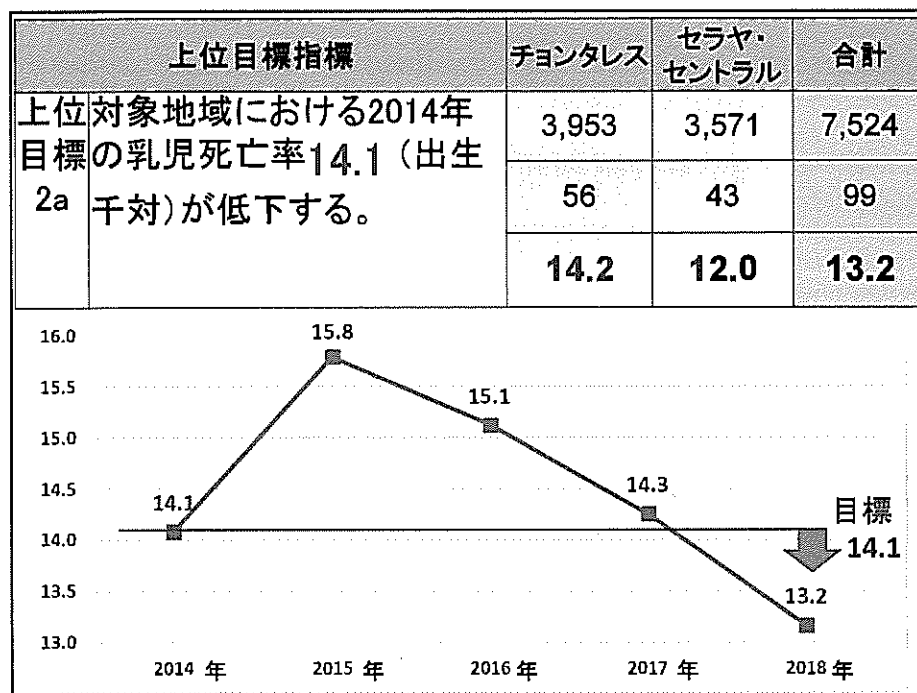
発表内容

- 1. PDM指標**
 - 上位目標
(プロジェクト終了後、2~3年後)
 - プロジェクト目標
 - 成果指標
(プロジェクト終了時)
- 2. 自己評価方法**
- 3. 5項目評価**
- 4. 評価結果**

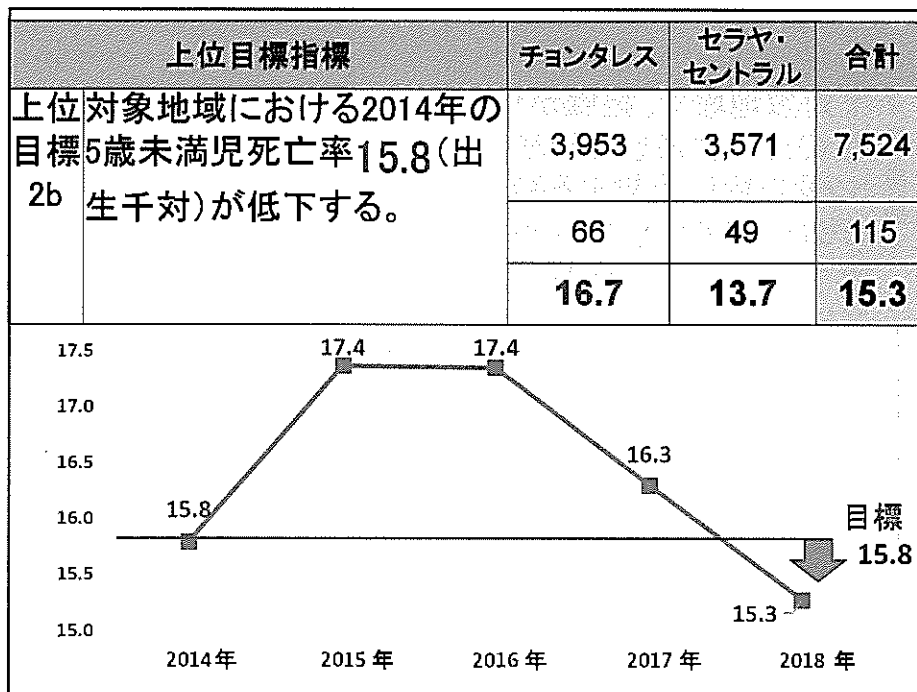
2



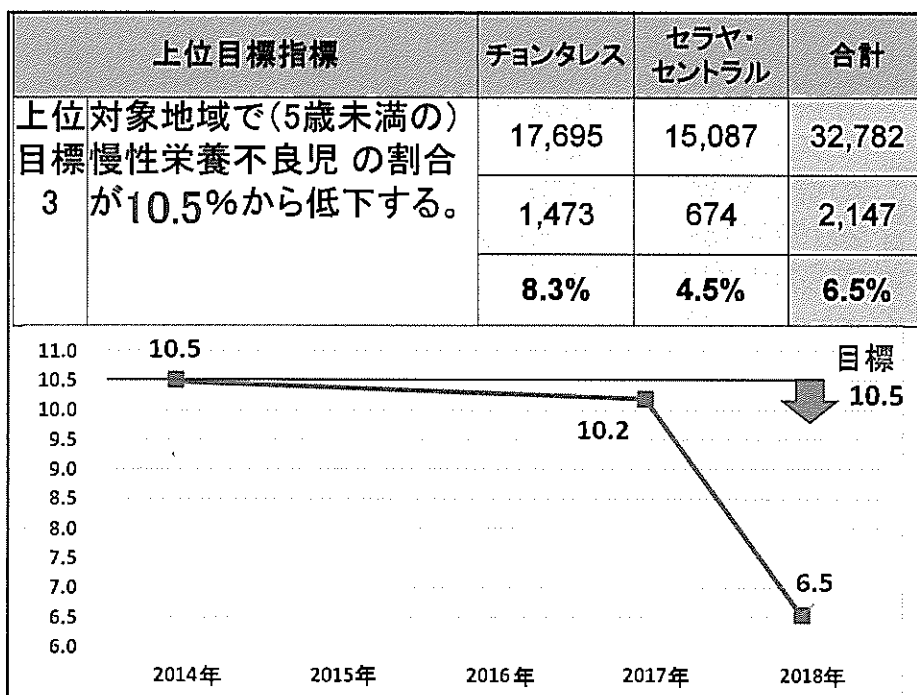
3



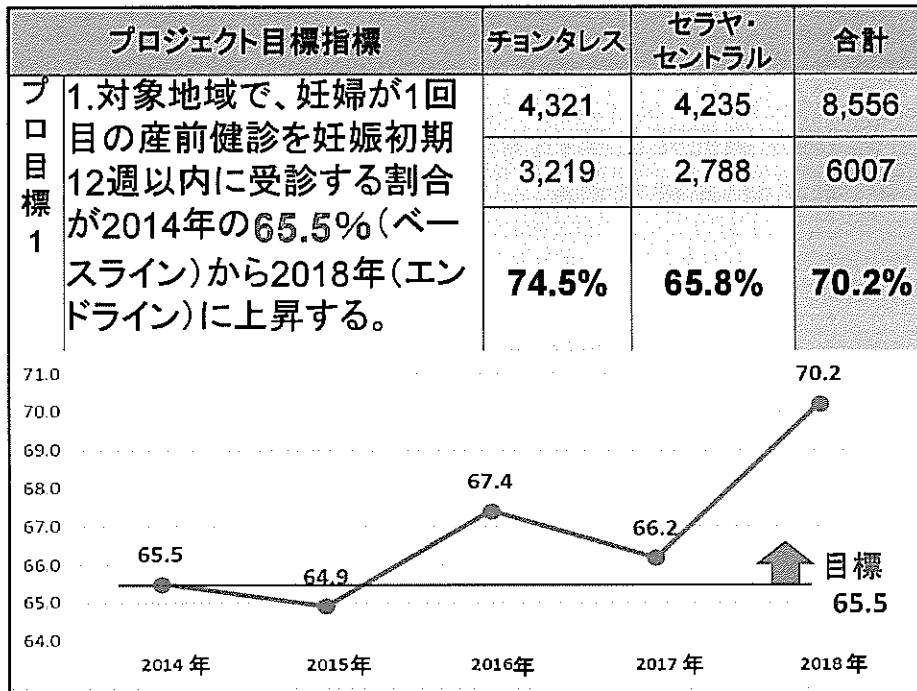
4



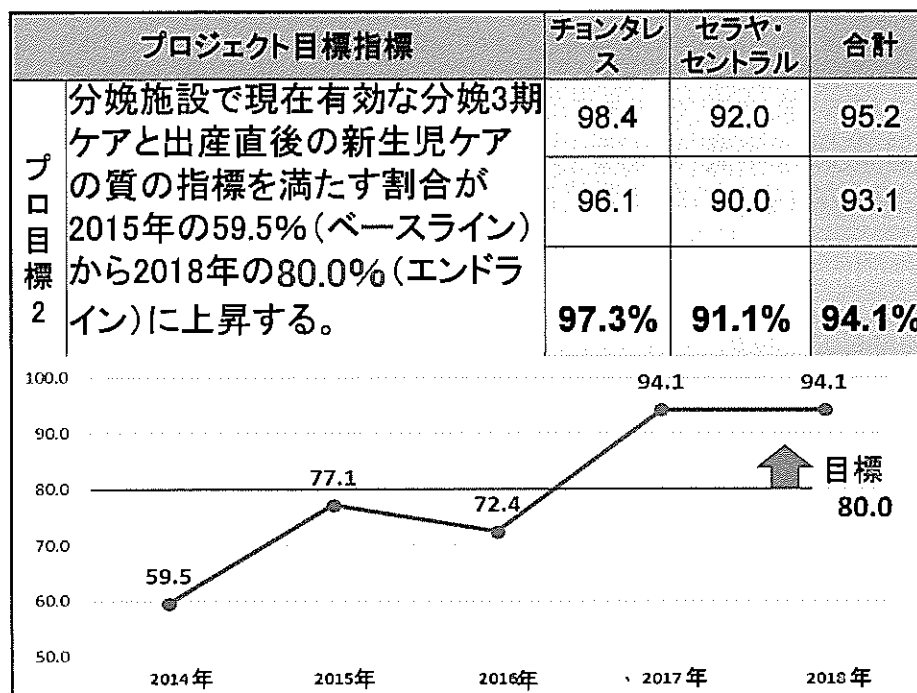
5



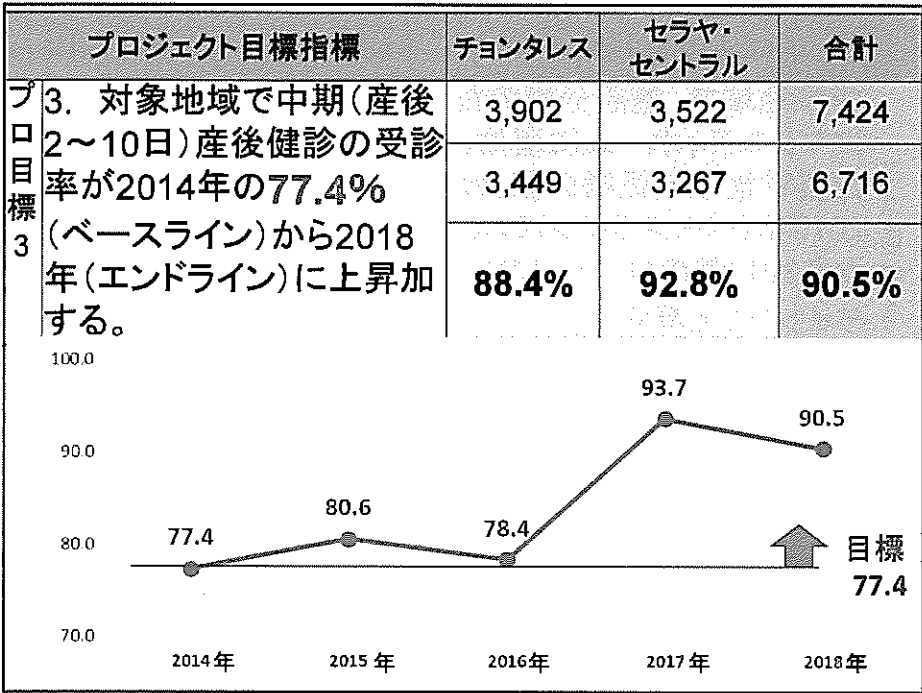
6



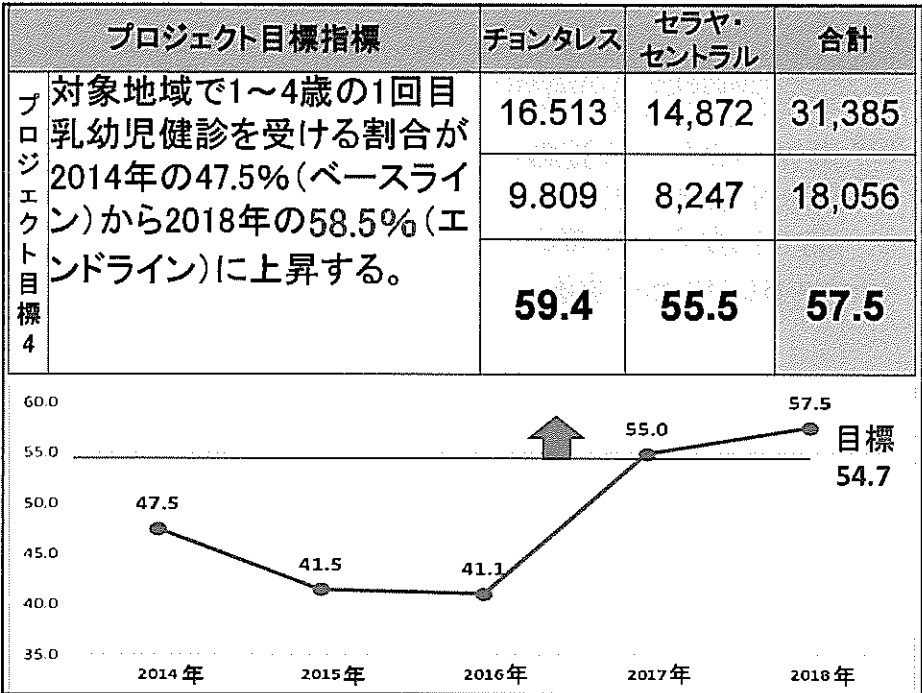
7



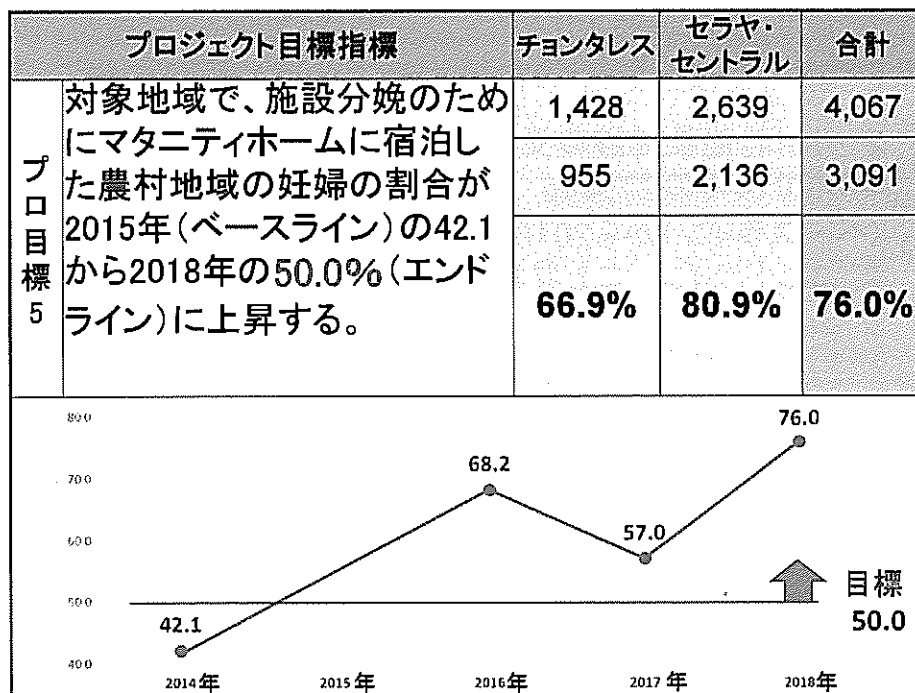
8



9



10



11

PDM成果指標		チョンタレス	セラヤ・セントラル	合計
成果 指標 1-1	保健施設で現在有効な2歳未満児へのケアの質の指標を満たす割合が2014年の46.3%から2018年の60.0%に上昇する。	71.5%	87.6%	79.6%
成果 指標 1-2	保健施設で現在有効な産前ケアの指標を満たす割合が2014年の46.2%から2018年の60.0%に上昇する。	61.2%	85.4%	73.3%

12

PDM成果指標		チョンタレス	セラヤ・セントラル	合計
成果指標 1-3	レファラル・カウンターレファラル省令を満たす形で支所から病院へ緊急レファラルされた妊産婦及び2歳未満児のレファラル台帳の記録が80%の割合で一致する。	93.0%	74.8%	88.6%
成果指標 1-4	レファラル・カウンターレファラル省令を満たす形で病院から支所へカウンターレファラルされた妊産婦及び2歳未満児のレファラル台帳の記録が70%の割合で一致する。	75.8%	72.8%	75.2%

13

PDM成果指標			チョンタレス	セラヤ・セントラル	合計
成果指標 2-1	対象地域において、100%のES AFCが住民参加型保健強化手法を用いて、活動計画を策定・実施する。	保健セクター数	87	74	161
		実施保健セクター数	87	73	160
		目標 100	100.0	98.6	99.3
成果指標 2-2	コミュニティネットワークのイニシアチブの合意として実施された活動数が増加する。	保健セクター数	87	74	161
		実施保健セクター数	82	72	154
			94.3	97.3	95.6
成果指標 2-3	全てのセクターにおいて、ES AFCはコミュニティとともに分析や反映を行う。	保健セクター数	87	74	161
		実施保健セクター数	81	72	153
			93.1	97.3	95.6

14

四半期評価結果 (2018年10-12月)

SILAIS チオンタレス		アコヤバ	コマラバ	クアバ	エル・アヨ テ	フィガル バ	ラ・リベル タ	サン・パド・ロ デ・ロバゴ	サント・ド ミンゴ	サント・ト マス	ビジャ・サン デーノ	平均点
2017年	6月	17.5	13.1	23.4	17.0	4.2	14.7	14.5	33.6	16.5	11.8	16.6
	9月	39.2	32.2	26.0	33.4	22.0	20.8	16.7	32.4	23.5	16.3	25.9
	12月	40.0	41.8	35.0	36.6	38.2	30.9	26.8	47.2	29.5	32.7	35.6
2018年	3月	44.3	47.3	37.6	45.6	36.5	41.4	40.2	48.6	40.3	34.3	41.3
	6月	42.1	42.6	45.2	50.1	31.6	32.9	41.8	48.9	33.1	29.2	39.7
	9月	44.9	46.9	41.6	50.5	34.6	30.0	45.9	43.4	44.4	32.7	41.7
	12月	49.1	51.0	40.1	50.3	50.2	42.6	43.7	44.8	50.1	47.3	47.8

SILAIS セラヤ・セントラル		エル・コラ ル	エル・ラ マ	△エシエ デ・ロス・ブ エシユス	ヌエバ・ ギネア	平均点
2017年	6月	17.5	12.5	19.2	20.9	17.5
	9月	21.6	22.5	29.6	30.2	26.0
	12月	33.0	34.8	32.4	46.3	36.6
2018年	3月	44.4	36.6	35.7	45.8	41.1
	6月	38.0	47.6	29.6	30.3	36.4
	9月	48.2	47.3	48.5	48.3	47.7
	12月	46.8	48.1	48.6	49.0	48.6

無	0-9.9	
可	10.0-19.9	
良	20.0-29.9	
優	30.0-39.9	
秀	40.0-52.0	

15

PDM成果指標		チオンタレス	セラヤ・ セントラル	合計
成果 指標 3-1	SILAISの技術統合巡回指導を受 ける支所の数が増加する。	40	16	56
		19	30	49
		47.5	100	87.5
成果 指標 3-2	全支所は、毎月ES AFCとSILAIS が同席し、妊産婦及び2歳未満児 のケアに関してする活動方針を決 める情報分析会議を実施する。	120	48	168
		62	30	92
		51.7	62.5	54.8
成果 指標 3-3	妊婦と2歳未満児に関する情報を 正確に記録し、分析する第1次保 健施設の割合が増加する。	28	36	64
		15	26	41
		53.6	72.2	64.0

16

2. 自己評価方法

【メンバー】

- 保健省DGSSとDCEの局長
- 両SILAIS局長と保健サービス課長
- SAMANIプロジェクトメンバー

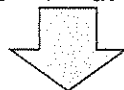
【評価方法】

- 活動進捗の検証
- CAD/OCDEの5項目評価

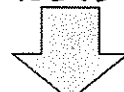
17

3. 5項目評価

経済協力開発機構(OCDE)



開発援助委員会 (CAD)



5項目評価を提唱(1991)

18

妥当性

開発インターベンションの目標が、受益者の要望、対象国のニーズ、地球規模の優先課題及びパートナーやドナーの政策と合致している程度。

有効性

開発インターベンションの目標が実際に達成された、あるいはこれから達成されると見込まれる度合いのことであり、目標の相対的な重要度も勘案しながら判断する。

19

効率性

資源及び（又は）インプット（投入）（資金、専門技術（知識）、時間など）がいかに経済的に結果を生み出したかを示す尺度。

インパクト


開発インターベンションによる貢献が期待されている、より高次の目標。

持続性

開発インターベンションの終了時における開発インターベンションによる便益の持続性。長期的便益が継続する見込み。時間の経過に伴う純益の流出というリスクに対する回復力。

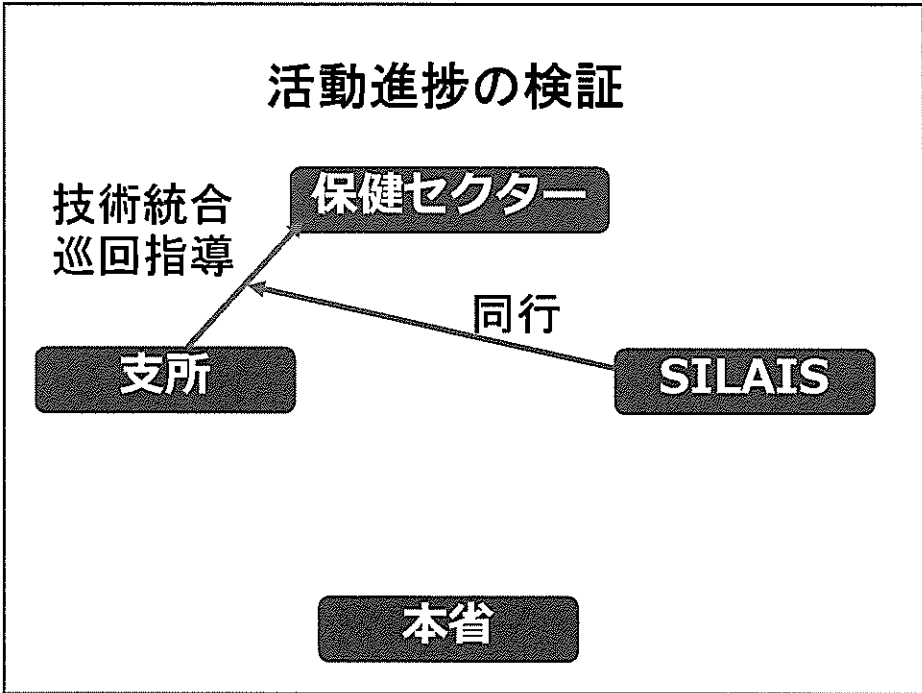
20

4. 結果

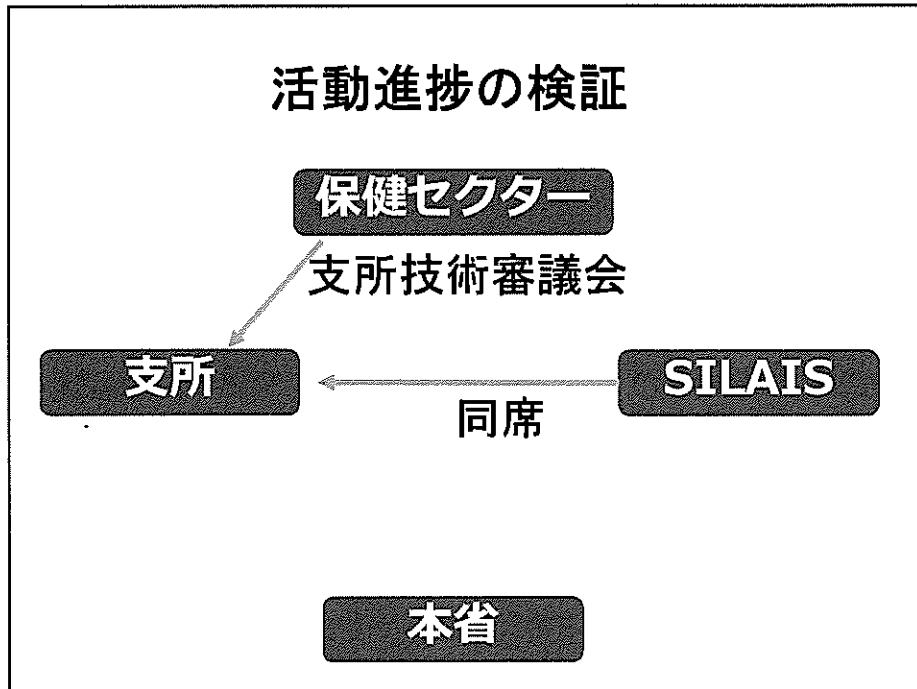


The slide features the title "4. 結果" (4. Results) in large black font. In the bottom right corner, there is a logo for "PROYECTO SAMANI" which depicts a stylized illustration of a woman's face and a child's face within a heart shape.

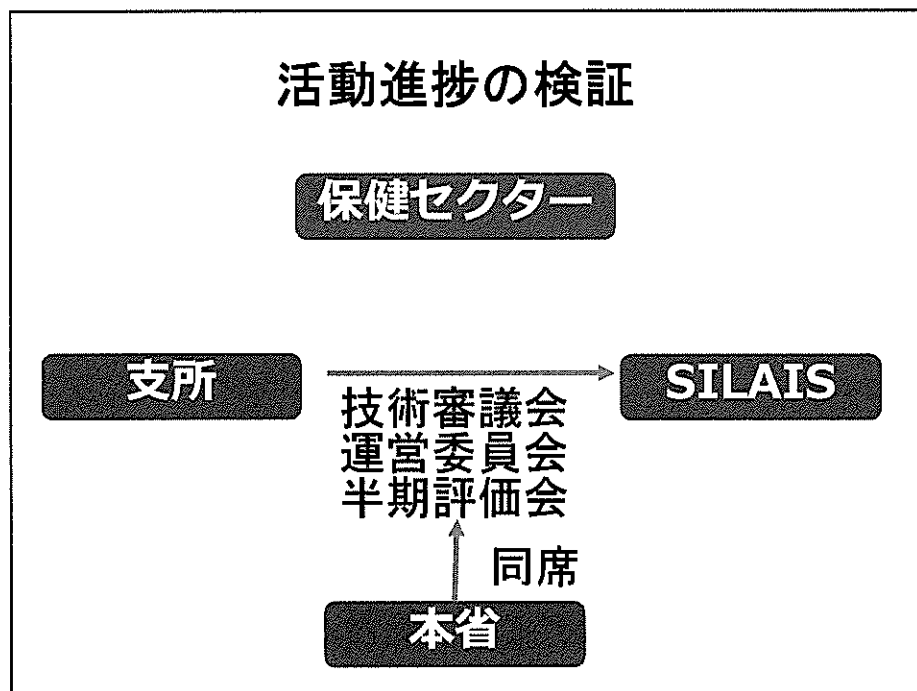
21



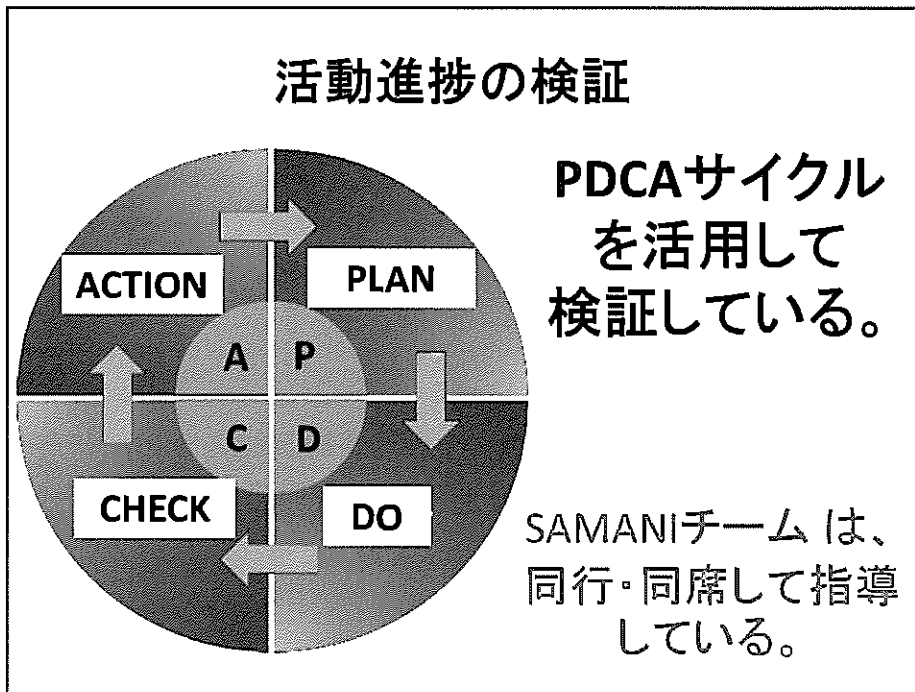
22



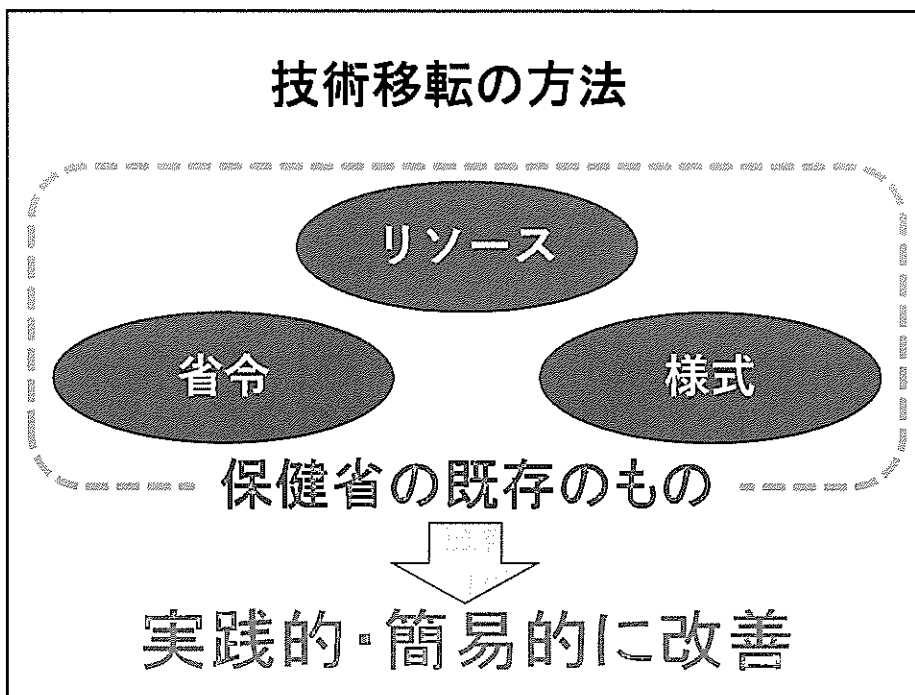
23



24



25



26

妥当性

プロジェクトの活動は、対象地域のニーズに合致し、またニカラグアの保健政策および日本の支援政策とも合致することから、妥当性が高いことが確認された。

有効性

これまでの各活動が計画通り実施され、アウトプットが産出されていることが確認されており、有効性は高いと言える。

27

効率性

政情不安などの影響を受けつつも、活動のすべてが概ね計画どおり実施されており、効率性は高いと言える。

インパクト

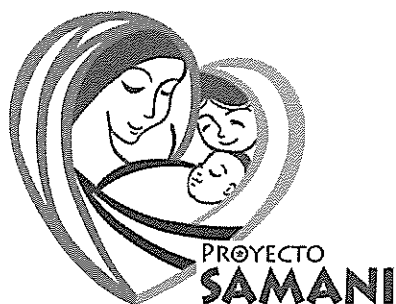
プロジェクト目標の達成が見込まれるものの、指標に対し、現時点で、具体的な数値が得られていない項目もあるため、今は、その判断時期ではない。しかしながら、いくつかの正のインパクトが確認された。

28

持続性

C/Pは、積極性およびオーナーシップも高く、政策・制度面、技術面、組織・財政面から判断すると持続性は高いと言える。

29



Gracias!!!

家庭の健康は、地域の幸せ!


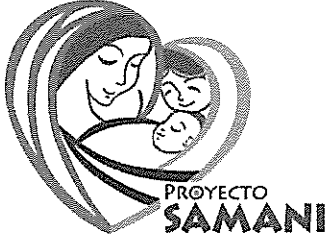
30

Gobierno de Reconciliación y Unidad Nacional
El Pueblo, Presidente! 49 años 2019
Aquí nos ilumina, un Sol que no declina
El Sol que ilumina las nuevas victorias
EN LA OMBRA

jica

ニカラグア共和国チョンタレス保健管区とセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

プロジェクト終了までの課題

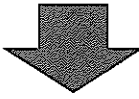


Salud de Madres y Niños

1

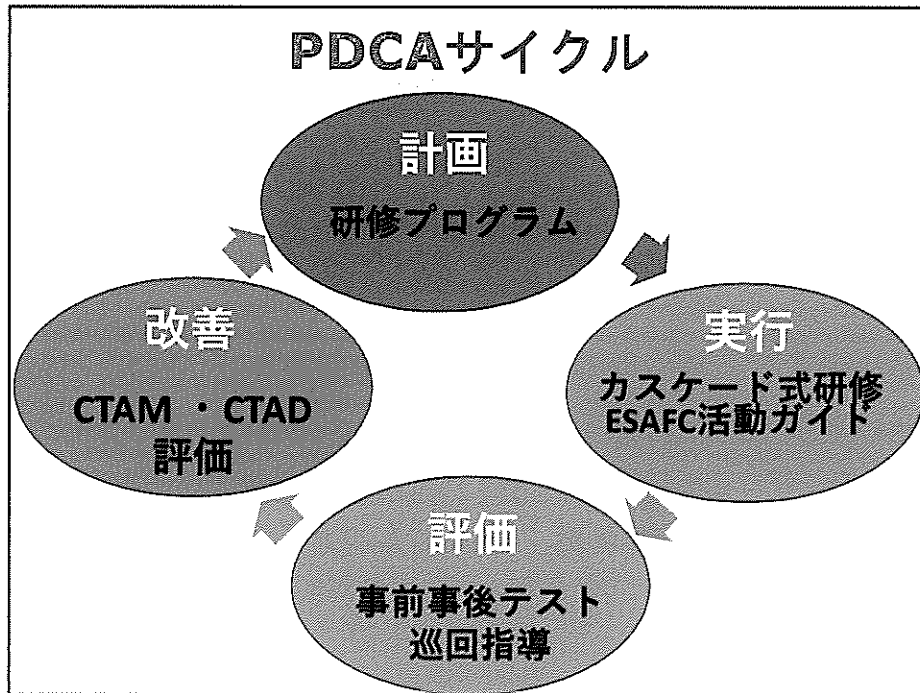
プロジェクト好事例の普及

1. 研修プログラム
2. ESAFC活動ガイド
3. レファラル・カウンターレファラル



PDCAサイクル


2



3

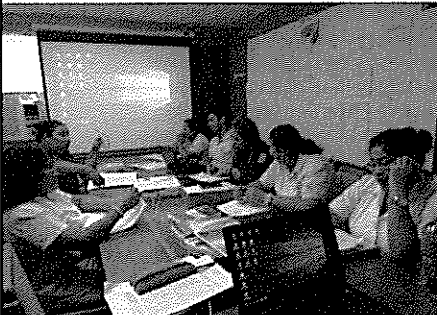


4

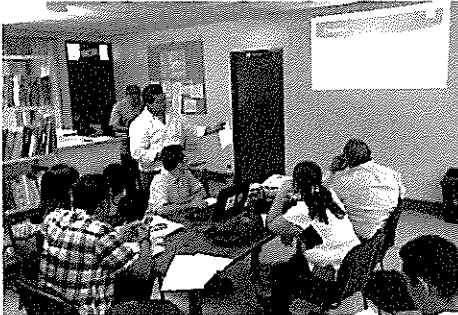


計画

各SILAISに技術委員会を設置




母子保健技術委員会




レファラル・カウンター
レファラル委員会

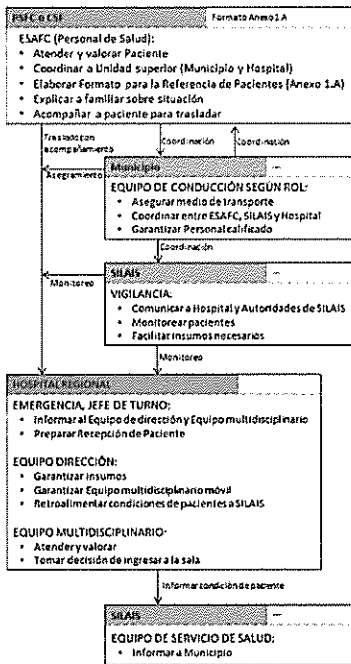
5



計画

レファラル・カウンター レファラルの業務フロー 図作成





```

graph TD
    A["ESAF (Personal de Salud):  
• Atender y valorar Paciente  
• Coordinar a Unidad superior (Municipio y Hospital)  
• Elaborar Formato para la Referencia de Pacientes (Anexo 1.A)  
• Explicar a familiar sobre situación  
• Acompañar a paciente para trasladar"]
    B["Municipio  
EQUIPO DE CONDUCCIÓN SEGÚN ROL:  
• Asegurar medio de transporte  
• Coordinar entre ESAFC, SILAIS y Hospital  
• Garantizar Personal calificado"]
    C["SILAIS  
VIGILANCIA:  
• Comunicar a Hospital y Autoridades de SILAIS  
• Monitorear pacientes  
• Facilitar insumos necesarios"]
    D["HOSPITAL REGIONAL  
EMERGENCIA, JEFE DE TURNO:  
• Informar al Equipo de dirección y Equipo multidisciplinario  
• Preparar Recepción de Paciente  
EQUIPO DIRECCIÓN:  
• Garantizar insumos  
• Garantizar Equipo multidisciplinario móvil  
• Retroalimentar condiciones de pacientes a SILAIS  
EQUIPO MULTIDISCIPLINARIO:  
• Atender y valorar  
• Tomar decisión de ingresar a la sala"]
    E["SILAIS  
EQUIPO DE SERVICIO DE SALUD:  
• Informar a Municipio"]

    A -- "Trasladan a campo" --> B
    B -- "Coordinación" --> A
    B -- "Coordinación" --> C
    C -- "Monitoreo" --> A
    C -- "Monitoreo" --> D
    D -- "Informar condiciones de paciente" --> E
    
```

6

医療従事者に対する母子保健研修

実行

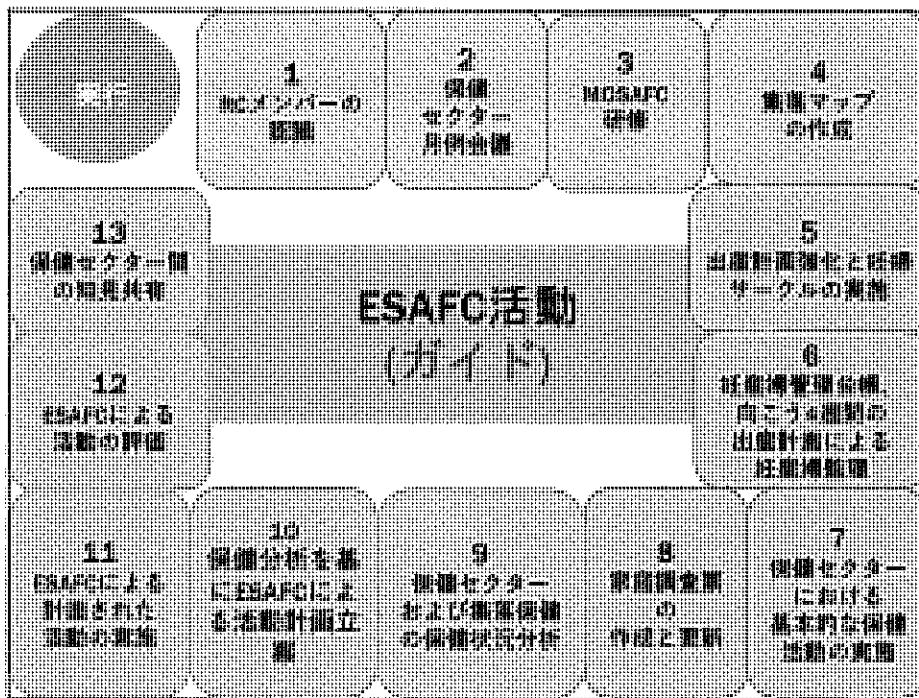


SILAIS内全支所の
ファシリテーター育成



各支所における
カスケード式研修

7



8



実行

コミュニティネットワーク活動



コミュニティネットワーク
が行うESAFc活動



コミュニティネットワーク間
の知見共有

9



実施

母子保健研修各テーマの事前事後テスト

実施年度	実施月	実施日	実施時間	実施場所	実施人数	事前テスト	事後テスト	備考
2018年度	11月	11月14日	13:00-15:00	市立市民会館	20	10	15	母子保健研修
		11月21日	13:00-15:00	市立市民会館	20	10	15	母子保健研修
2017年度	11月	11月14日	13:00-15:00	市立市民会館	20	10	15	母子保健研修
		11月21日	13:00-15:00	市立市民会館	20	10	15	母子保健研修
2016年度	11月	11月14日	13:00-15:00	市立市民会館	20	10	15	母子保健研修
		11月21日	13:00-15:00	市立市民会館	20	10	15	母子保健研修
2015年度	11月	11月14日	13:00-15:00	市立市民会館	20	10	15	母子保健研修
		11月21日	13:00-15:00	市立市民会館	20	10	15	母子保健研修
2014年度	11月	11月14日	13:00-15:00	市立市民会館	20	10	15	母子保健研修
		11月21日	13:00-15:00	市立市民会館	20	10	15	母子保健研修
2013年度	11月	11月14日	13:00-15:00	市立市民会館	20	10	15	母子保健研修
		11月21日	13:00-15:00	市立市民会館	20	10	15	母子保健研修
2012年度	11月	11月14日	13:00-15:00	市立市民会館	20	10	15	母子保健研修
		11月21日	13:00-15:00	市立市民会館	20	10	15	母子保健研修
2011年度	11月	11月14日	13:00-15:00	市立市民会館	20	10	15	母子保健研修
		11月21日	13:00-15:00	市立市民会館	20	10	15	母子保健研修
2010年度	11月	11月14日	13:00-15:00	市立市民会館	20	10	15	母子保健研修
		11月21日	13:00-15:00	市立市民会館	20	10	15	母子保健研修

10

評価

ESAF活動の進捗四半期評価



エル・ラマ



サン・ペドロ・デ・ロバゴ



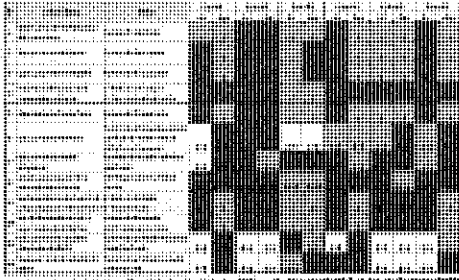

保健セクターと
証拠書類を確認

ヌエバ・ギネア

13

改善

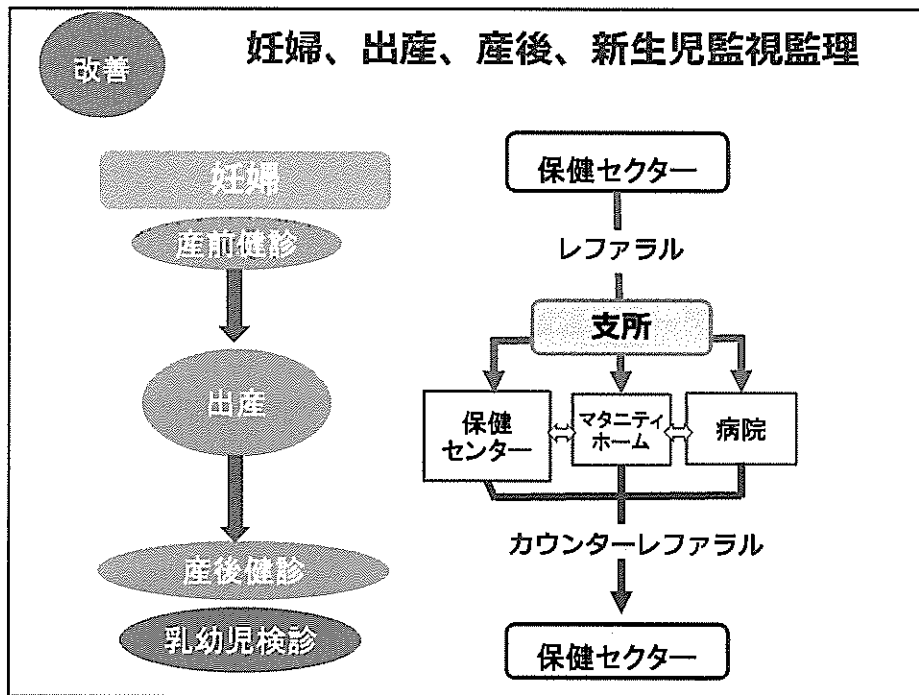
支所技術審議会(CTAM)



SIGRUN と ESAFC の 4 四半期進捗評価

**CTAMで保健セクターによる、保健指標、
ESAF活動分析を可視化するために
統一した発表スライドを導入**

14



15

改善 妊婦、出産、産後、新生児監視監理

向こう4週間の出産計画

産後健診 乳幼児健診

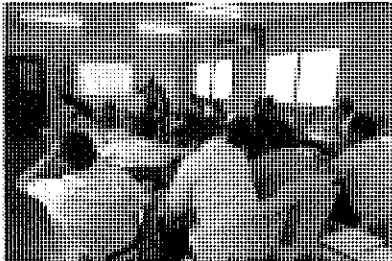
Nombre y apellido	Edad	Comunidad/Barrio	FPP	# APN	Factor de Riesgo	Ubicación/居場所	Puerperio			Plan de Acción/行動
							Fisiológico	Patológico	Peso RN	
URUAMA ARACELYS MEDINA FLORES	21	ZONA D	29/07/2018	2	NINGUNO	SE FUE A COSTA RICA				
KEYLING HERMANDEZ	20	ZONA B	30/07/2018	6	ALTO	CASA URBANA	MEDIATO		2500GR	Canguero
TANIA MORALES DUARTE	21	ZONA C	01/08/2018	4	ALTO	ESTA URBANO	MEDIATO			
MORELIA GUADALUPE DURAN	20	ZONA D	03/08/2018	5	ALTO	CASA URBANA	MEDIATO		2600GR	
MARTHA BARRAZA	20	ZONA C	03/08/2018	5	ALTO	COSTA RICA				
ANGELA GUIDO GUTIERREZ	20	ZONA C	04/08/2018	4	ALTO	ESTA URBANO	MEDIATO			
MARTHA HURTADO DUARTE	20	ZONZ B	05/08/2018	2	ALTO	CASA URBANA	MEDIATO		2500GR	
MARIA GUILLERMINA ARGUELLO	23	ZONA D	06/08/18	4	ALTO	HOSPITAL MARIA LIZADA				

16


改善

教訓のフィードバック

- モニタリングとフィードバック
- 技術審議会でのデータ分析
- 正確なデータと登録とデータ分析



SLAIS・支所技術審議会



定期評議会

17

計画

検証結果をフィードバック



レファラル・カウンターレ
ファラル委員会



母子保健技術委員会

- 教訓に基づいた改定
- 指標分析
- プログラム、システムの改善

18

プロジェクト好事例の共有



2019年2月13日
保健省本省で
プロジェクト好事例
研修開催

2019年4月9日、10日に17SILAISに
対する全国セミナーを開催



1

招待者 (約110人)

- ベルーズ (1)
- ホンジュラス (2)
- ボリビア (3)*
- 日本 (1)*
- ブラジル (1)
- メキシコ (3)*
- チリ (2)
- ニカラグア (90)*
- コスタリカ (2)*
- パナマ (1)
- キューバ (2)
- パラグアイ (2)
- エルサルバドル (1)*
- ドミニカ共和国 (1)
- グアテマラ (3)*

* JICA関係者を含む

2

フォーラムの軸:

4つのテーマで構成

- ①ユニバーサル・ヘルスとSDGsの目標
達成のための課題
- ②保健サービスの統合型ネットワーク
- ③PHCと住民参加
- ④PHCと非感染性疾患

3

1日目の進行方法

1日目

- 基調講演
- テーマ別進捗について発表
- 質疑応答

4

2日目の方法

2日目、グループ討論

- テーマ別参加国による好事例を発表
- 意見交換の上、教訓と好事例についてドキュメントの作成
- テーマ別に発表を用意

5

1日目: 2019年3月28日 (木)

時刻	テーマ	プレゼンター
08:00 -	受付	
08:30 -	国際フォーラム開会式 <ul style="list-style-type: none"> • 開会の言葉 ➤ PAHO/WHOニカラグア代表 ➤ 在ニカラグア日本大使 ➤ 保健大臣 	保健省
09:30 -	パネル1 - ユニバーサルヘルスとSDGsの目標のための課題	モデレーター Dr. Alexander Florencio
09:30 -	ニカラグアにおける家庭地域保健の成果、課題と展望	クルスDGSS局長/保健省
10:10 -	PHCとSDGs: アスタナ宣言後の道筋は?	Dra. Amalia del Riego OPS/OMS

6

時刻	テーマ	プレゼンター
10:50 -	アジェンダ2030に向けたPHCにおけるJICAのパートナーシップ協力	戸辺誠専門員 JICA
11:10 -	南南協力における好事例	JICA メキシコ
11:10 -	質疑応答	
11:10 -	集合写真	
12:00	昼食	
13:00 -	パネル2 - PHCと保健サービス統合ネットワークにおけるユニバーサル・ヘルス	モデレーター Dra. Maria Estrada
13:00 -	人々のための統合ケアの知見	キューバ
13:30 -	PHCと住民参加型保健活動	パラグアイ
14:00 -	保健サービスネットワークの構築	ホンジュラス

7

時刻	テーマ	プレゼンター
14:30 -	アクセスが困難な遠隔地の治療	チリ
15:00 -	休憩	
15:20 -	パネル3 - 包括的保健ケアにおける住民参加	モデレーター Lic. Scarlet Ortiz
15:20 -	統合型ケアにおける住民参加の知見	グアテマラ
15:50 -	統合型ケアにおける住民参加の知見	ブラジル
16:20 -	保健サービスにおける市民参加の知見	ニカラグア
16:50 -	1日目の閉会と2日目のグループワークのオリエンテーション	Dr. Carlos Cruz

8

2日目：2019年3月29日（金）

時刻	テーマ	プレゼンター
08:00 -	パネル4 - PHCと非感染性疾患	モデレーター Dr. Joaquin Escoto
08:00 -	高齢者における非感染性疾患のアプローチ	キューバ
08:30 -	高齢者における非感染性疾患のアプローチ	ドミニカ共和国
09:00 -	慢性非感染性疾患の包括的な保健サービス	コスタリカ

9

時刻	テーマ	担当
09:40 -	グループワーク1（会場：メインサロン） > テーマI「ユニバーサル・ヘルスとSDGsの目標のための課題」 - 健康の権利（政策面） - ユニバーサル・ヘルス（1：保健医療サービスへのアクセスとUHC、2：保健行政の運営、3：保健財政、4：専門分野とそれ以外の機関との連携）	モデレーター： Dr. Carlos Cruz, Dr. Alexander Florencio (OPS/OMS) および書記：
09:40 -	グループワーク2（会場：メイン1） > テーマII「PHCと保健サービス統合ネットワークにおけるユニバーサル・ヘルス」 - 保健における統合ネットワークの組織と機能 - 集落と各医療診療レベル間のレファラル・カウンターレファラル強化 - 公共医療機関と私立医療機関の連携 - 保健サービス統合ネットワークの質管理	モデレーター： Dra. Maria Estrada, Dr. Roger Montes (OPS/OMS) および書記：

10

時刻	テーマ	担当
09:40 -	<p>グループワーク3 (会場：メイン2)</p> <p>➤ テーマ III 「包括的保健ケアにおける住民参加」</p> <ul style="list-style-type: none"> - 各国の疾病予防やヘルスプロモーションにおけるコミュニティネットワークの組織化プロセス - コミュニティネットワークと保健行政人材との連携 - PHCにおける住民参加（個人・家庭・集落）のためのモチベーション 	<p>モデレーター: dora: Lic. Scarlet Ortiz, Dr. Reynaldo Aguilar (OPS/OMS) および書記</p>
09:40 -	<p>グループワーク4 (会場：メイン3)</p> <p>➤ テーマ IV (PHCと非感染性疾患)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 各国の第1次医療施設による非感染性疾患のヘルスプロモーションと包括的な管理の経験 - 医薬品の合理的な使用の啓発、使用、監視の経験 - 非感染性疾患の患者管理における自然療法と補完療法 	<p>モデレーター: Dr. Juaquin Escoto, Dr. Guillermo Gonzalvez (OPS/OMS) および書記</p>

11

時刻	テーマ	担当者
12:31 -	昼食	
13:31 -	各グループにて成果報告を作成	
14:31 -	各グループの発表（発表20分） 各グループ代表	Dr. Alexandre Florencio (OPS/OMS)
15:31 -	参加者コメントとフォーラムの精励	Dr. Carlos Cruz (MINSIA)
17:40 -	閉会式 ➤ JICAニカラグア代表 ➤ PAHO/WHOニカラグア代表 ➤ 保健大臣	保健省 PAHO/WHO JICA

12



13

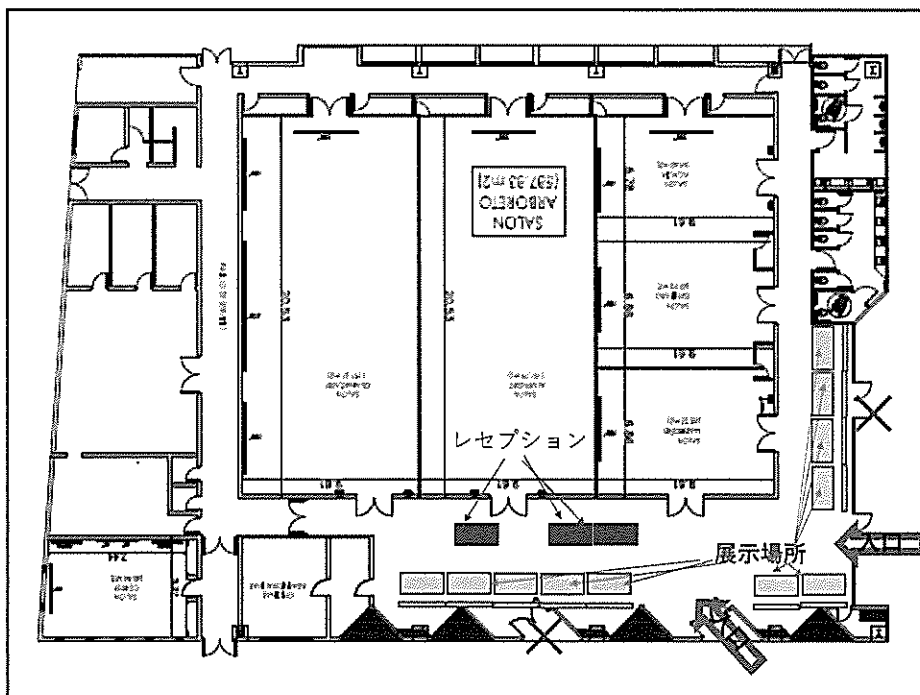


14

コンベンションセンターの通路



15

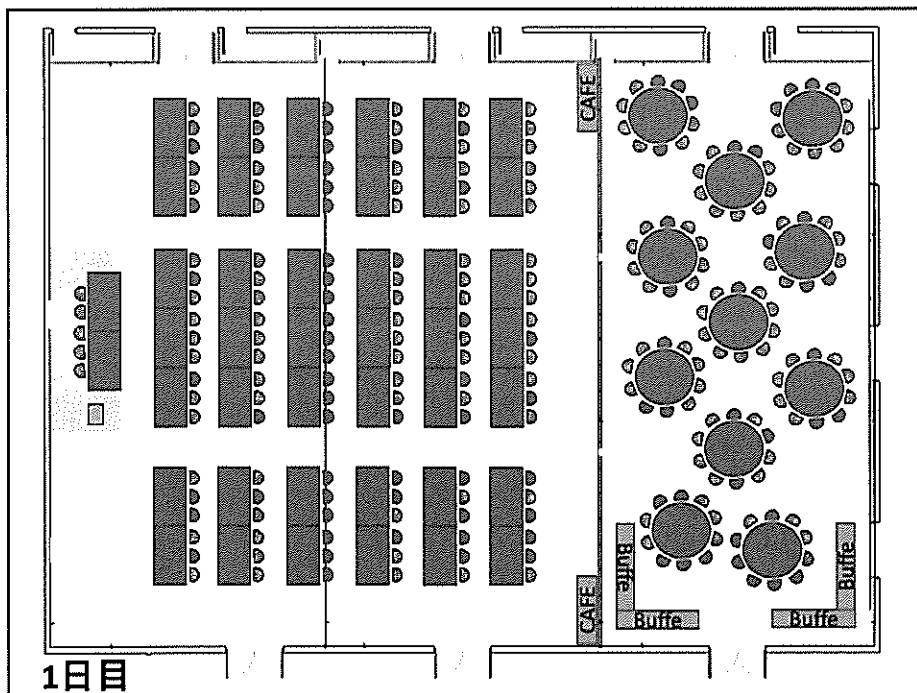


16

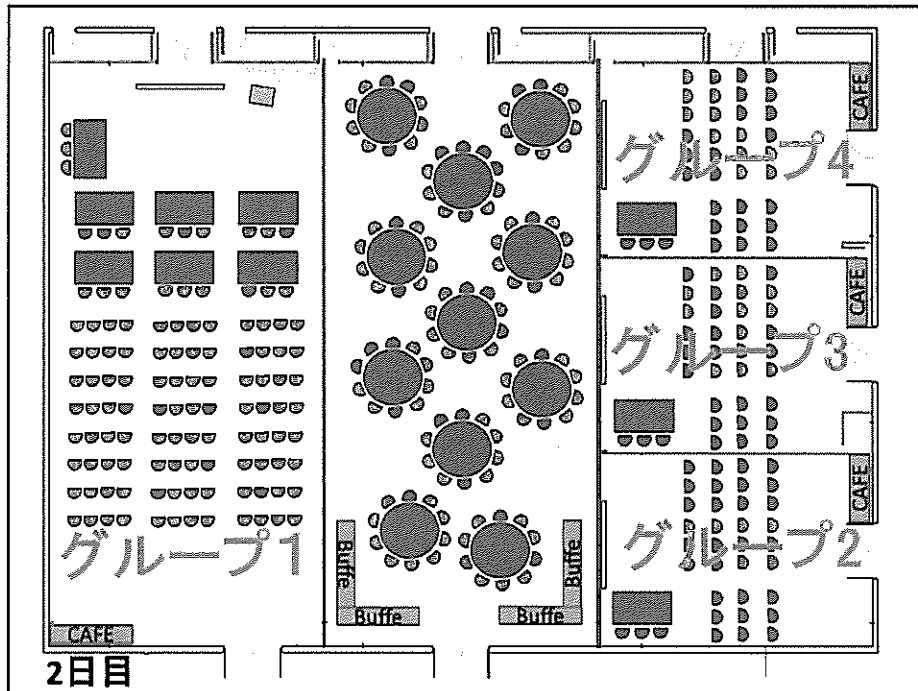
会場設営



17



18



19

横断幕デザイン (5m x 2.5m)

GOBIERNO DE PANAMÁ ILIACIÓN Y SOCIEDAD PARTICIPATIVA
¡Que Pueblo, Panamés! 43
Aquí nos reunimos, un Sol que se eleva. El Sol que alumbró las nuevas sociedades.

FORO INTERNACIONAL DE SALUD FAMILIAR Y COMUNITARIA

28 y 29 Marzo 2019

Organización Panamericana de la Salud

JICA

20



1

招待者 (約110人)

- ベルーズ (1)
- ホンジュラス (2)
- ボリビア (3)*
- 日本 (1)*
- ブラジル (1)
- メキシコ (3)*
- チリ (2)
- ニカラグア (90)*
- コスタリカ (2)*
- パナマ (1)
- キューバ (2)
- パラグアイ (2)
- エルサルバドル (1)*
- ドミニカ共和国 (1)
- グアテマラ (3)*

*JICA関係者を含む

2

フォーラムの軸:

4つのテーマで構成

- ①ユニバーサルヘルスとSDGsの目標達成のための課題
- ②保健サービスの統合型ネットワーク
- ③PHCと住民参加
- ④PHCと非感染性疾患

2019/3/14

3

1日目の進行方法

1日目

- 基調講演
- テーマ別進捗について発表
- 質疑応答

2019/3/14

4

2日目の方法

2日目、グループ討論

- テーマ別参加国による好事例を発表
- 意見交換の上、教訓と好事例についてドキュメントの作成
- テーマ別に発表を用意

2019/3/14

5

1日目: 2019年3月28日 (木)

時刻	テーマ	プレゼンター
08:00 -	受付	
08:30 -	国際フォーラム開会式 <ul style="list-style-type: none"> • 開会の言葉 ➤ PAHO/WHOニカラグア代表 ➤ 在ニカラグア日本大使 ➤ 保健大臣 	保健省
09:30 -	パネル1 - ユニバーサルヘルスとSDGsの目標のための課題	モデレーター Dr. Alexander Florencio
09:30 -	ニカラグアにおける家庭地域保健の成果、課題と展望	クルスDGSS局長/保健省
10:10 -	PHCとSDGs: アスタナ宣言後の道筋は?	Dra. Amalia del Riego OPS/OMS

6

時刻	テーマ	プレゼンター
10:50 -	アジェンダ2030に向けたPHCにおけるJICAのパートナーシップ協力	戸辺誠 専門員 JICA
11:10 -	南南協力における好事例	JICA メキシコ
11:10 -	質疑応答	
11:10 -	集合写真	
12:00	昼食	
13:00 -	パネル2 - PHCと保健サービス統合ネットワークにおけるユニバーサルヘルス	モデレーター Dra. Maria Estrada
13:00 -	人々のための統合ケアの知見	キューバ
13:30 -	PHCと住民参加型保健活動	パラグアイ
14:00 -	保健サービスネットワークの構築	ホンジュラス

7

時刻	テーマ	プレゼンター
14:50	アクセスが困難な遠隔地の治療	チリ
15:10	休憩	
16:20	パネル3 - 包括的保健ケアにおける住民参加	モデレーター Lic. Scarlet Ortiz
16:30 -	統合型ケアにおける住民参加の知見	グアテマラ
16:30 -	統合型ケアにおける住民参加の知見	ブラジル
16:30	保健サービスにおける住民参加の知見	ニカラガア
16:50 -	1日目の閉会と2日目のグループワークのオリエンテーション	Dr. Carlos Cruz

8

2日目：2019年3月29日（金）

時刻	テーマ	プレゼンター
08:00 -	パネル4 - PHCと非感染性疾患	モデレーター Dr. Joaquin Escoto
08:00 -	高齢者における非感染性疾患のアプローチ	キューバ
08:30 -	高齢者における非感染性疾患のアプローチ	ドミニカ共和国
09:00 -	慢性非感染性疾患の包括的な保健サービス	コスタリカ

2019/3/14

9

時刻	テーマ	担当
09:40 -	<p>グループワーク1（会場：メインサロン）</p> <p>＞ テーマI 「ユニバーサルヘルスとSDGsの目標のための課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> - 健康の権利（政策面） - ユニバーサルヘルス（1：保健医療サービスへのアクセスとUHC、2：保健行政の運営、3：保健財政、4：専門分野とそれ以外の機関との連携） 	<p>モデレーター： Dr. Carlos Cruz, Dr. Alexander Florencio (OPS/OMS) および書記：</p>
09:40 -	<p>グループワーク2（会場：メイン1）</p> <p>＞ テーマII 「PHCと保健サービス統合ネットワークにおけるユニバーサルヘルス」</p> <ul style="list-style-type: none"> - 保健における統合ネットワークの組織と機能 - 集落と各医療診療レベル間のレファラル・カウンターレファラル強化 - 公共医療機関と私立医療機関の連携 - 保健サービス統合ネットワークの質管理 	<p>モデレーター： Dra. Maria Estrada, Dr. Roger Montes (OPS/OMS) および書記：</p>

2019/3/14

10

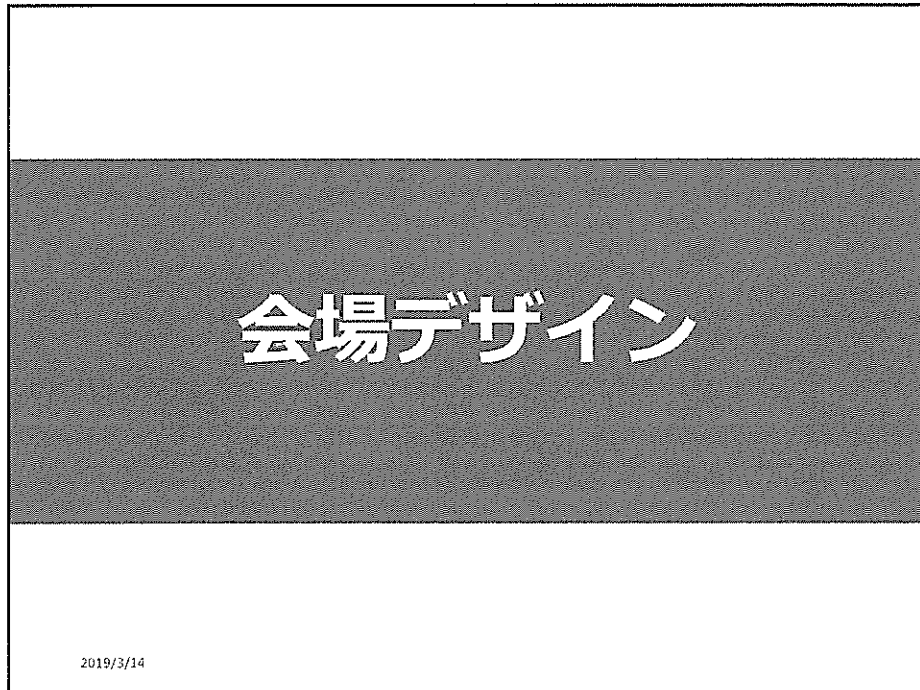
時刻	テーマ	プレゼンター
13:00	グループワーク③ (会場：メイン2) > テーマ 田「包括的保健ケアにおける住民参 画」 ・ 各国の疾病予防やヘルスプロモーションに におけるコミュニティネットワークの組織 化プロセス ・ コミュニティネットワークと保健行政人材 との連携 ・ PHCにおける住民参画（個人・家庭・集 団）のためのモデルセッション	モデレーター： dora Lic. Scarlet Ortiz, Dr. Reynaldo Aguilar (CPSCMS) および書記
13:45	グループワーク④ (会場：メイン3) > テーマ 田「PHCと非感染性疾患」 ・ 各国の第1次医療施設による非感染性疾患 のヘルスプロモーションと包括的な管理の 経験 ・ 医薬品の合理的な使用の啓発、使用、監視 の経験 ・ 非感染性疾患の患者管理における自然療法 と補完療法	モデレーター： Dr. Joaquín Escoto, Dr. Guillermo González (CPSCMS) および書記

11

時刻	テーマ	プレゼンター
13:00	昼食	
13:30	各グループにて成果報告を作成	
14:00	各グループの報告（報告者分） 各グループ代表	Dr. Alexander Fierencia (CPSCMS)
15:00	参加者コメントとフォーラムの結論	Dr. Carlos Cruz (MINSIA)
15:45	閉会式 > JICAニカラグア代表 > PAHO/WHOニカラグア代表 > 保健大臣	保健省 PAHO/WHO JICA

2019/3/14

12

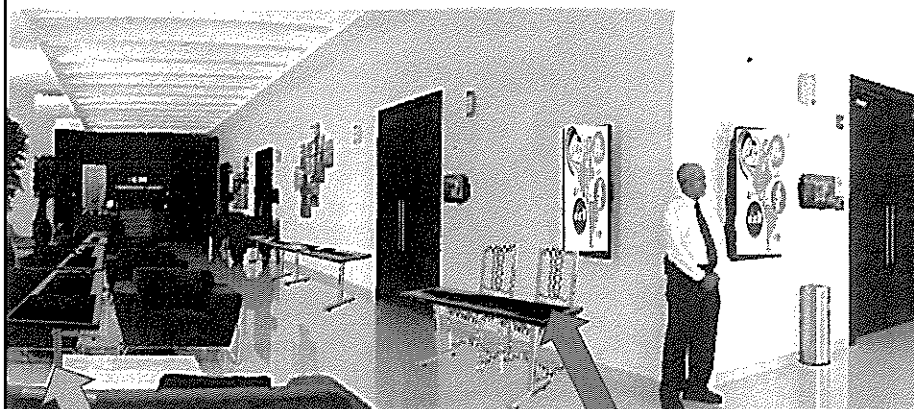


13



14

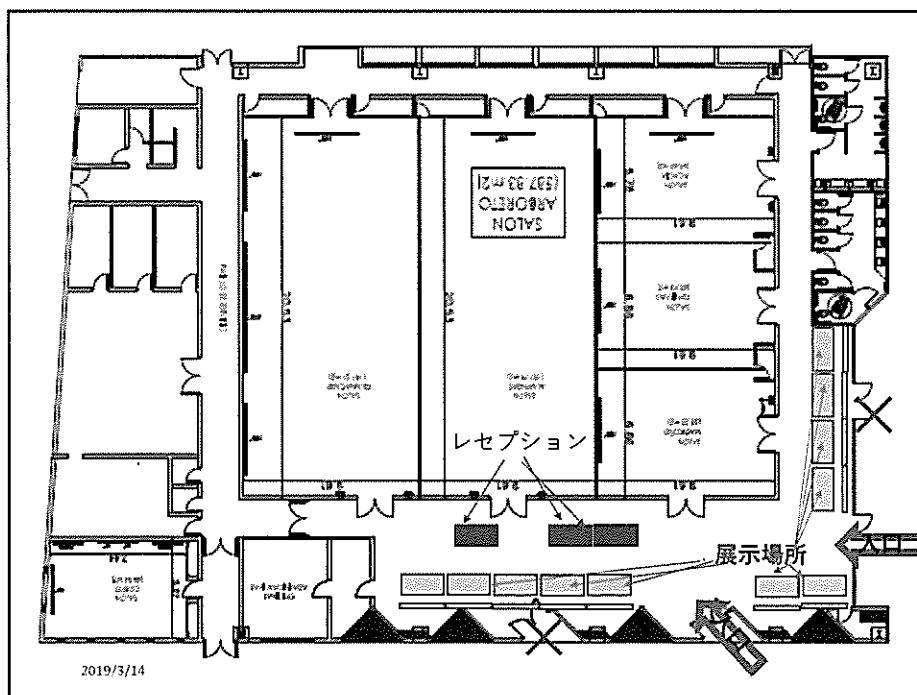
コンベンションセンターの通路



展示場所

レセプション

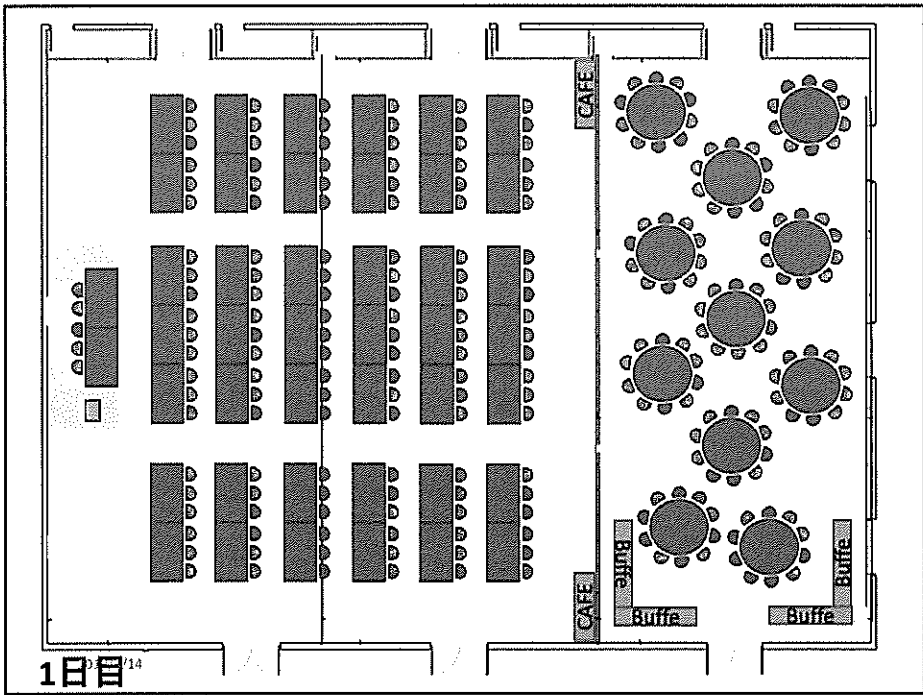
15



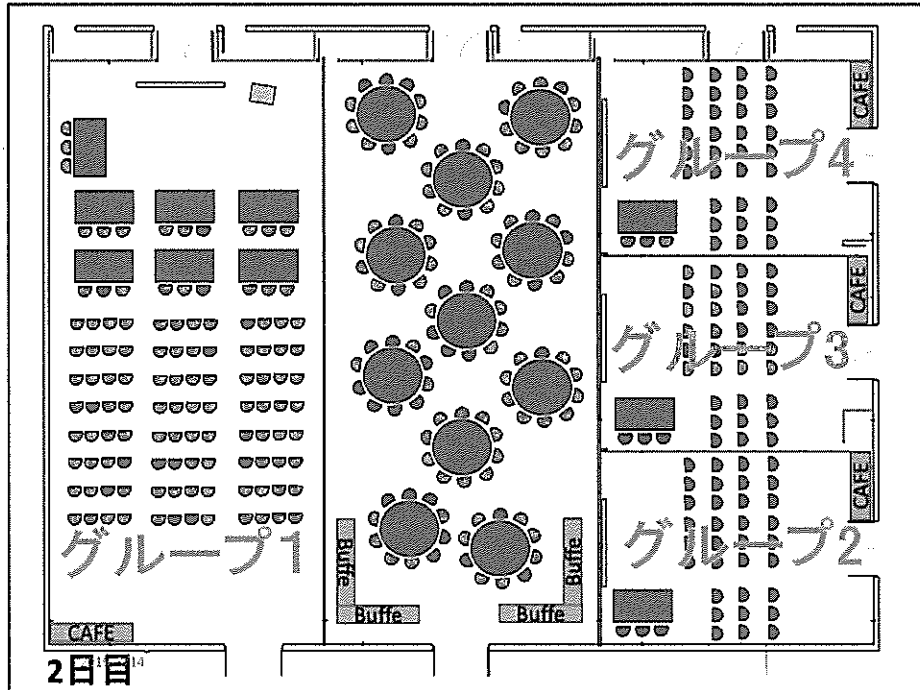
16



17



18



19

横断幕デザイン (5m x 2.5m)

The banner design for the 'FORO INTERNACIONAL DE SALUD FAMILIAR Y COMUNITARIA' (International Forum on Family and Community Health) is presented on a grid background. On the left, a map of the Americas is formed by a grid of dots, with icons of a family, a person, and a house. At the top right, the logo of the 'Gobierno de Barón Ilcatun y Unidad Vecinal' is shown, along with the text '40 años' and '¡22 Años, Pasadísimo!' and '2019'. Below this, the slogan 'Apoyamos a las mujeres, en Solano se desfilan. El Sol que alumbra las nuevas victorias' is displayed. The main title 'FORO INTERNACIONAL DE SALUD FAMILIAR Y COMUNITARIA' is centered. Below the title, a row of flags represents the participating countries. The dates '28 y 29 Marzo 2019' are printed below the flags. At the bottom, the logos for 'Organización Panamericana de la Salud' and 'jica' are included.

2019/3/14

20

添付資料②

議事録
母と子どもの健康プロジェクト
第4回合同調整委員会 (JCC)
2019年3月14日(木) マナグア

場所: 保健省保健大臣会議室
時間: 10:30 ~ 12:15

目的:

- エンドライン調査結果の確認
- PDM 指標達成度及びプロジェクト終了時評価の確認
- プロジェクト終了までの提言
- 国際フォーラム準備の進捗確認

参加者:

ニカラグア側

- 保健省本省:
ソニア・カストロ保健大臣、プロジェクトディレクター
マリアデルロスアンヘレス・ボエデッカー対外協力局 (DCE) 局長
カルロス・クルス保健サービス総局 (DGSS) 総局長
- 外務省:
クラウディア・ペレス対外協力局技官専門官 (オブザーバー)
ジェシカ・レイバ対外協力局技官専門官 (オブザーバー)
- SILAIS チョントレス:
ディルマ・シリアス SILAIS チョントレス局長、プロジェクトマネージャー
マリソル・メヒア保健サービス課長
- SILAIS セラヤ・セントラル:
アロンソ・タレノ保健サービス課長

日本側

- JICA ニカラグア事務所
名井弘美事務所長
上村美輪子企画調査員
エドルフオ・グティエレス, プログラムオフィサー
- 在ニカラグア日本大使館
小松崎佳次三等理事官 (オブザーバー)
Cesar Horney が抜けている
- SAMANI プロジェクト:
中村二郎総括/地域保健専門家
渡辺咲子副総括/地域保健/業務調整専門家

石原尚子母子保健専門家
エセキエル・ヌニェツ, プロジェクトテクニカルアシスタント

議事進行:

1. 開会の辞と目的説明
2. エンドライン調査結果.
3. PDM 指標達成度及びプロジェクト終了時評価
4. プロジェクトから全国への提案
5. 国際フォーラム準備の進捗確認
6. JICA ニカラグア所長からの言葉
7. 閉会の辞と JCC のまとめ

1. 開会の辞と目的説明 (発表者: ポエデッカーDCE 局長)

DCE 局長により、開会の辞と、JCC の目的について、4年間のプロジェクト終了に向けた活動進捗と成果を共有することの説明があった。また、JCC に参列した外務省、日本大使館と JICA、保健省関係者に謝辞が述べられた。

2. エンドライン調査結果 (発表者: シリアス SILAIS チョントレス局長)

2018 年にエンドライン調査として保健省の医療施設で産前健診と乳幼児健診を受診した母親に対して聞き取り調査を行い、実際に受けた保健サービスの内容とカルテの記録内容を確認し、母子保健サービス実状を調査した。利用者の聞き取り調査では、産前健診と乳幼児健診で、省令に則った健診ができていないか、利用者が健診で受けたと認識したサービスの内容と、カルテの記録内容を比較した。聞き取り調査とカルテの記録内容の比較で、産前健診の、栄養状態の評価以外で、利用者が受けたと認識した健診内容と、カルテの記録内容が一致する割合がベースラインと比較して、上昇した。栄養状態の評価が一致する割合が減低下したのは、ベースラインの評価基準より、さらに基準を厳格化したことによる。これは、乳幼児健診の結果にも表れた。

母親に対する KAP 調査は、ベースラインでは、2014 年に出産した母親、エンドラインでは、2017 年に出産した母親に聞き取り調査を実施し、その結果を比較した。エンドラインでは、知識、態度、経験とも、正しい回答が増加した。また、エンドラインではコミュニティネットワークに関する質問を追加した結果、集落のコミュニティネットワークメンバーを大半が知っていた。

保健大臣より自宅分娩数の減少に関して、コメントがあった。調査対象地区は、アクセスが悪く、特にヌエバ・ギネア市のナシオネス・ウニダス周辺は、現政権に反発する住民が多いにもかかわらず、自宅分娩が減少したのは、住民の保健省を信頼し、利用しているということである。

ESAFIC の医療従事者に対する MOSAFIC の知識アンケート調査では、エンドラインで、MOSAFIC に対する基礎的な知識が上昇し、コミュニティネットワークが ESAFIC の一員であると認識した。これは、ESAFIC 活動がコミュニティネットワークと共に活動する自覚が増したと言える。エンドライン調査の結果、プロジェクトの活動をとおして、母子保健サービスの質の向上が確認された。KAP 調査では、母子保健に関する正しい知識が増加し、行動変容が確認さ

れた。また、ES AFC アンケートでは、ES AFC の一員としての満足度が上昇したことから、活動の継続性が重要である。

3. PDM 指標達成度及びプロジェクト終了時評価（発表者：クルス DGSS 総局長）

プロジェクト上位目標の評価指標は、両 SILAIS の平均値において、すでに目標値に到達していることが確認された。しかし、SILAIS チョントレスは、乳児、5 歳未満の死亡率が目標値を達成していない。プロジェクト目標 1 から 5 は、両 SILAIS とも、目標を達成した。

PDM 成果指標では、両 SILAIS の平均値が、すでに達成されていることが確認された。しかし、SILAIS セラヤ・セントラルは成果指標 1-3 「レファラル・カウンターレファラル省令を満たす形で支所から病院へ緊急レファラルされた妊産婦及び 2 歳未満児のレファラル台帳の記録の割合が一致する」と 2-1 「対象地域において、100% の ES AFC が住民参加型保健強化手法を用いて、活動計画を策定・実施する」が、目標を達成できなかった。

プロジェクト終了時評価は、保健省とプロジェクトが合同で評価した。5 項目評価の結果、

- ① プロジェクトの活動は、対象地域のニーズに合致し、またニカラグアの保健政策及び日本の支援政策とも合致することから、妥当性が高いことが確認された。
- ② これまでの各活動が計画どおり実施され、アウトプットが産出されていることが確認されており、有効性は高いと言える
- ③ 活動は追加予算を計上することなく、概ね計画どおり実施されていることから、効率性が高いことが確認された。
- ④ プロジェクト目標の達成が見込まれるものの、指標に対し、現時点で、具体的な数値が得られていない項目もあるため、今は、インパクトの判断時期ではない。しかしながら、いくつかの正のインパクトが確認された。
- ⑤ C/P は、積極性及びオーナーシップが高く、政策・制度面、技術面、組織・財政面から判断すると持続性は高いと言える。また、プロジェクト活動は、保健省令や既存の人材、予算を使用しているため、持続性は高く、今後も保健省中央の支援を得られる。

4. プロジェクトから全国への提案（発表者：タレノ SILAIS セラヤ・セントラル保健サービス課長）

プロジェクト終了時までの課題とプロジェクト活動好事例の普及に関して、発表が行われた。好事例では、PDCA サイクル手法を研修プログラム、ES AFC 活動ガイド、レファラル・カウンターレファラルの活動に用いた実例を示した。これらの活動の、全国普及に向け、全国セミナーを計画している

5. 国際フォーラム準備の進捗確認（発表者：クルス DGSS 総局長）

15 か国を招待し、エルサルバドルとウルグアイ以外の 13 か国から参加表明があった。エルサルバドルは政権交代直後であり、参加が困難であると説明された。

保健大臣より、ボリビアの参加表明に関して、説明を求められた。DGSS 総局長より、ボリビア政府への招待状の所在が分からず、返答を受けていないが、JICA ボリビアより 3 名の参加

が確認されていると説明された。保健大臣より、外務省官へ、招待状のフォローが依頼された。

DGSS 総局長より、フォーラムのアジェンダが説明された。1 日目は、国外招待者による基調講演を実施、2 日目は、4 テーマに分かれ、グループワークを実施する。また、フォーラムのロゴマークの確認をした。

プロジェクト総括より、横断幕のデザインが確認され、保健大臣より承諾を得た。

保健大臣より、フォーラム期間中に、国外招待者を招いて、ニカラグア文化及び医療施設ツアーの実施が提案され、JICA 関係者の参加が要請された。JICA 事務所長より、謝辞が述べられたが、JICA 在外事務所からの参加者はすでに、JICA 内部の会議を実施する計画であるため、参加を辞退した。

6. JICA ニカラグア所長からの言葉(発表者：名井事務所長)

名井事務所長より、第 4 回 JCC の参加者に謝辞が述べられた。4 年間のプロジェクトの終了に向け、プロジェクトの進捗、成果を確認することができた。プロジェクト上位目標の達成に至っていないものもあったが、これらは、プロジェクト終了約 3 年後を目標に設定されているものである。プロジェクト目標は、ほぼ達成していることが確認できた。JICA ニカラグア事務所として、指標は、あくまでも数値であり、ここまで達成できた過程を知ることが重要であるとする考えが述べられた。JICA 所長より、保健大臣へ、プロジェクト終了に向け、JICA 事務所と保健省で、プロジェクト成果を維持し、活動の継続をフォローするためのメカニズムを確認するために、2019 年 7 月もしくは 8 月に会議を開催したい旨、提案された。プロジェクトは終了するものの、保健サービスの改善は始まったばかりであるとその理由が述べられた。

7. 閉会の辞と JCC のまとめ(発表者：カストロ保健大臣、JCC 委員長)

カストロ保健大臣より、日本が協力したグラナダ病院やボアコ病院を含む、国内の保健施設に関して、現地を訪問したが、日本が協力した病院はすでに 10 年以上経過しているにも関わらず、施設・機材メンテナンスが施設従事者により、実施されている。また、ほかには、国立癌センターの高度医療に関する機材供与も計画中である。

医療従事者とプロジェクト関係者を誇りに思う。それは、MOSAFC には、コミュニティネットワーク、家庭、医療従事者の 3 つの要素があり、プロジェクトで、すべての要素に働きかけ、向上した。プロジェクトメンバーは意欲的に活動し、かつ保健省メンバーへの配慮もした。プロジェクト活動により、妊産婦死亡比、乳幼児死亡率が低下し、コミュニティネットワークを用いて保健分野で行われる行動が改善されたことを証明し、保健サービスを改善するための基礎として役立つことが明らかになった。両 SILAIS とも、保健活動が向上したが、SILAIS チョントレスにおいては、さらなる強化が必要である。

これらの成果は、我政府の確固たる方策と、我が国の母子保健に対する支援を惜しまない、日本政府により、成し遂げられたことに感謝する。

プロジェクトの好事例を、ビルウィヤヒノテガなど、アクセス困難な地域に普及できるよう、正式にプロジェクト継続を申請する。これらの地域は、我が国の保健指数の改善のために、惜しみない努力をしている。そのためにも、プロジェクトの成果をこの地域の SILAIS で普及することは、SILAIS チョントレス、セラヤ・セントラルのように、大きな支援となる。

国際フォーラムは、プロジェクトの好事例を他国と共有する、我が国にとって、大きな挑戦である。ここに、この経験を得ることができることに感謝し、フォーラムでは、これまでの保健に関する成果を提示する。

以上

以下参加者署名



Gobierno de Reconciliación
y Unidad Nacional
El Pueblo, Presidente!

40
2019

Aquí nos ilumina,
un Sol que no declina
El Sol que alumbra
las nuevas victorias
RUBÉN DARÍO

添付資料③

ニカラグア保健省

2019 年 家庭地域保健国際フォーラム



1. 家庭地域保健国際フォーラム開催の背景

1978年にアルマ・アタで合意されたプライマリ・ヘルス・ケア(PHC)は、2018年10月25・26日に、アスタナ(カザフスタン共和国)で開催された国際会議で40周年を祝った。この会議では、国家・政府首脳、大臣および代表が出席し、アルマ・アタからユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)と持続可能な開発目標(SDGs)をめざし、1978年の前進的かつ先見性のある「アルマ・アタ宣言」と「2030年の持続可能な発展のためのアジェンダ」に示されたコミットメントを再確認した。

アスタナ宣言は、以下のとおりであった。

- ① いかなる区別をせず、すべての人間が持つ健康基準を享受する権利。
- ② PHCを強化することは、人々の身体的および精神的健康、ならびに社会福祉を高める最も包括的かつ効果的かつ効率的なアプローチ。
- ③ ヘルスプロモーション、予防、治療、リハビリテーションおよび緩和ケアは、すべての人が利用可能でなければならない。
- ④ あらゆる分野にわたる健康のための大胆な政治的選択を行う。
- ⑤ 持続可能なPHCを構築する。
- ⑥ 個人と地域社会に権限を与える。
- ⑦ 利害関係者の支持を国の政策、戦略、計画と整合させる。

2005年に、家庭地域の健康増進を目指したPHCの強化について、「モンテビデオ宣言」で提唱された。2016年から貧困の根絶し、地球の保護し、すべての人々の繁栄を目指すための「持続可能な開発目標(SDGs)」が設定された。これらの目標の下、各国は地域の健康状況を改善するために、それぞれのニーズと能力に応じて、行動計画を作成した。

JICAは、他援助機関と連携し、中南米保健国際フォーラムを開催し、中南米諸国と共通する保健課題のために、協働して対処できる課題やドナー間連携の効率性などについて、議論を重ねてきた。2015年9月にパラグアイで実施された「国際プライマリーヘルスケア会議」では、ポスト2015年保健開発アジェンダとしてUHCの達成が新たな目標になってきている中で、PHCの理念に基づく地域ネットワークの構築・強化の意義と重要性を再確認した。2016年11月にドミニカ共和国で開催した「ラテンアメリカ国際保健医療フォーラム」においては、SDGsがもたらす新たな課題へPHCを強化するために開発された行動を共有する機会となった。これらのフォーラムでは、各国のPHC活動の取り組みに違いがあることが明らかとなった。

2019年3月28・29日にJICAが保健省と共催する「家庭地域保健国際フォーラム」では、持続可能な保健システム、健康のための住民参加、課題に対する好事例などをテーマとしている。共通課題に取り組んだ効果や好事例について、PAHO等国际機関の関係者も巻き込んで関連な議論を行う好機ととらえている。PHC活動は、医療従事者と住民がともに地域で効果的に展開され、非感染性疾患(NCD)を含むすべての疾患の予防と早期治療・回復につながるよう促進する。ラテンアメリカ各国のPHC活動の進捗に違いがあるものの、NCDや保健財政の増加など、ひっ迫する公衆衛生上の共通の問題に対して、戦略的に取り組む必要がある。

2. 目的

PHC と SDGs の焦点に基づいて、地域の国々で実施されている好事例の対話と交流を促進し、SDGs の目標達成に向けて、現状の活動を分析し、ユニバーサルヘルスに対する行動計画の構築に貢献する。

3. テーマとキャッチコピー

テーマ： 持続可能な開発目標を達成するための家庭地域保健・PHC。
キャッチコピー： 「家族の健康は、コミュニティの幸せ」

4. 開催時期

2019 年 3 月 28 日(木)～29 日(金)

5. 招待国

ニカラグア国外参加者(25 人)

ボリビア、ブラジル、チリ、コスタリカ、キューバ、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、日本、メキシコ、パナマ、パラグアイ、ドミニカ共和国

6. 開催場所

ニカラグア国マナグア市

Bello Horizonte frente, al centro, comercial Multicentro Las Americas,

Hotel HEX、コンベンションセンター Tel. +505 2248 9400

<http://hex.hotelsinmanagua.com/es/>

7. 内容(アジェンダ)

1 日目: 2019 年 3 月 28 日(木)、コンベンションセンター内メインサロン

時刻	テーマ	プレゼンター
8:00 -	受付	受付責任者:
8:30 -	国際フォーラム開会式	ニカラグア保健省
8:30 -	<ul style="list-style-type: none"> ● 開会の言葉 <ul style="list-style-type: none"> ➢ PAHO/WHO ニカラグア代表 ➢ 在ニカラグア日本大使 ➢ 保健大臣 	セリア・リベラ代表 鈴木康久大使 ソニア・カストロ大臣
9:30 -	パネル 1 - ユニバーサルヘルスと SDGs の目標のための課題	モデレーター エルナンデス技官(保健省)
9:30 -	ニカラグアにおける家庭地域保健の成果、課題と展望	クルス DGSS 総局長(保健省)
10:10 -	PHC と SDGs: アスタナ宣言後の道筋は?	フロレンシオ職員/PAHO
10:50 -	SDGs に達成にむけた PHC における JICA の協力戦略	戸辺専門員/JICA
11:10 -	SDGs に達成にむけたパートナーシップ	JICA メキシコ
11:30 -	質疑応答、コメント	
11:45 -	集合写真撮影	
12:00 -	昼食	
13:00 -	パネル 2 - PHC と保健サービス統合ネットワークにおけるユニバーサルヘルス	モデレーター エストラダ技官(保健省)
13:00 -	人々のための統合ケアの知見	キューバ保健省
13:30 -	PHC と住民参加型保健活動	パラグアイ保健省
14:00 -	保健サービスネットワークの構築	ホンジュラス保健省
14:30 -	アクセスが困難な遠隔地の治療	チリ保健省
15:00 -	休憩	
15:20 -	パネル 3 - 包括的保健ケアにおける住民参加	モデレーター オルティス技官(保健省)
15:20 -	統合型ケアにおける住民参加の知見	グアテマラ保健省
15:40 -	統合型ケアにおける住民参加の知見	ブラジル保健省
16:20 -	保健サービスにおける市民参加の知見	ニカラグア保健省
16:50 -	1 日目の閉会と 2 日目のグループワークのオリエンテーション	クルス DGSS 局長

2日目:2019年3月29日(金)

時刻	テーマ	プレゼンター
8:30 -	パネル 4 - PHC と非感染性疾患	モデレーター エスコット技官(保健省)
8:30 -	高齢者における非感染性疾患のアプローチ	キューバ保健省
9:00 -	ドミニカ共和国における非感染性疾患のアプローチ	ドミニカ共和国保健省
		参加
9:40 -	<p>グループワーク 1 (会場:メインサロン)</p> <p>➤ テーマ I 「ユニバーサルヘルスと SDGs の目標のための課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> - 健康の権利(政策面) - ユニバーサルヘルス(1:保健医療サービスへのアクセスと UHC、2:保健行政の運営、3:保健財政、4:専門分野とそれ以外の機関との連携) 	<p>モデレーター</p> <p>フロレンシオ所員 (PAHO)</p> <p>クルス総局長(保健省)</p> <p>書記</p>
	<p>グループワーク 2 (会場:メイン 1)</p> <p>➤ テーマ II 「PHC と保健サービス統合ネットワークにおけるユニバーサルヘルス」</p> <ul style="list-style-type: none"> - 保健における統合ネットワーク の組織と機能 - 集落と各医療診療レベル間のレファラル・カウンターレファラル強化 - 公共医療機関と私立医療機関の連携 - 保健サービス統合ネットワークの質管理 	<p>モデレーター</p> <p>エストラーダ技官(保健省)</p> <p>モンテ所員(PAHO)</p> <p>書記</p>
	<p>グループワーク 3 (会場:メイン 2)</p> <p>➤ テーマ III 「包括的保健ケアにおける住民参加」</p> <ul style="list-style-type: none"> - 各国の疾病予防やヘルスプロモーションにおけるコミュニティネットワークの組織化プロセス - コミュニティネットワークと保健行政人材との連携 - PHC における住民参加(個人・家庭・集落)のためのモチベーション 	<p>モデレーター</p> <p>オルティス技官(保健省)</p> <p>アギラル所員(PAHO)</p> <p>書記</p>
	<p>グループワーク 4 (会場:メイン 3)</p> <p>➤ テーマ IV (PHC と非感染性疾患)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 各国の第 1 次医療施設による非感染性疾患のヘルスプロモーションと包括的な管理の経験 - 医薬品の合理的な使用の啓発、使用、監視の経験 - 非感染症疾患の患者管理における自然療法と補完療法 	<p>モデレーター</p> <p>エスコット技官(保健省)</p> <p>ゴンサルベス所員 (PAHO)</p> <p>書記</p>
12:00 -	昼食	

13:00 -	各グループにて好事例集(ツール)を作成	
14:00 -	各グループの発表(発表 20 分) 各グループ代表	フロレンシオ所員 (PAHO)
15:20 -	コメントとフォーラムの結論	クルス総局長(保健省)
15:40 -	閉会式 <ul style="list-style-type: none"> ➢ JICA ニカラグア代表 ➢ PAHO/WHO ニカラグア代表 ➢ 保健省 	保健省、PAHO、JICA

8. 国際フォーラムの方法

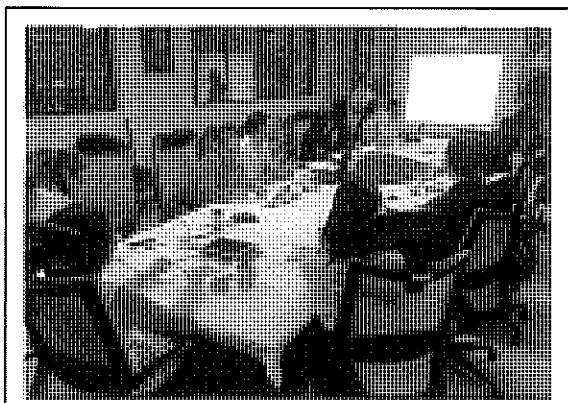
フォーラムでは、第 1 セッションでは、閉会式を実施し、4 つのテーマ(①ユニバーサルヘル
スと SDGs の目標達成のための課題、②保健サービスの統合型ネットワーク③PHC と住民参
加、④PHC と非感染性疾患)に即して発表を行う。

9. グループワーク

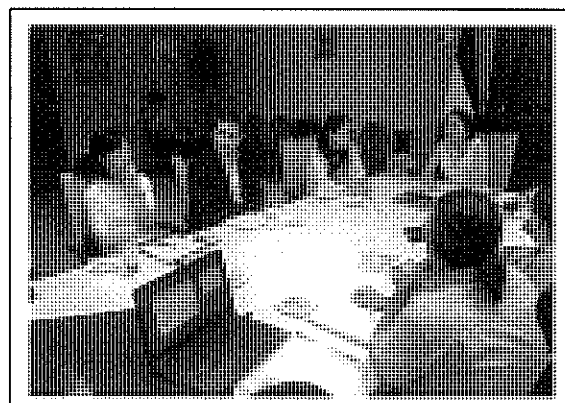
2 日目、グループワークを実施

- 各グループの参加者は、30 名程度。
- フォーラムの目的に重点を置き議論するために、モデレーターを割り当てる。
- 各グループの秘書官は、Word 文書、Courier New 12 の手紙、一行の間隔、通常のマー
ジン、最大 2 ページで結論をまとめる。
- 割り当てられたテーマの議論に、2 時間 40 分、09:40~12:00。
- 午後 1 時から午後 2 時までにグループワークの結論を準備。
- それには次の内容が含まれている必要があります：
 - ① 経験の交換によって確認された優良事例。
 - ② 各参加国の SDGs への遵守に貢献する教訓。
- 午後 2 時から午後 3 時 20 分までの PowerPoint(各グループ 20 分)でのグループ作業
の結論を発表する。

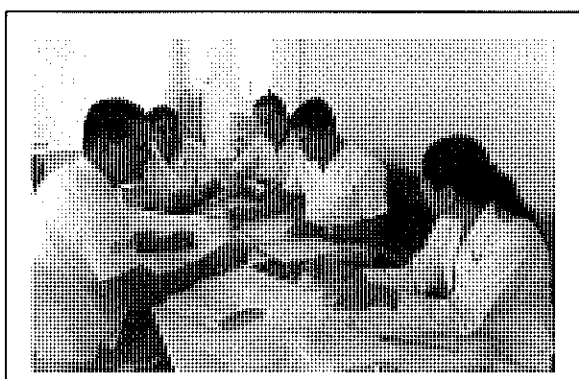
5. 活動写真



第4回 JCC
PDM 指標の達成度を発表する
クルス DGSS 総局長



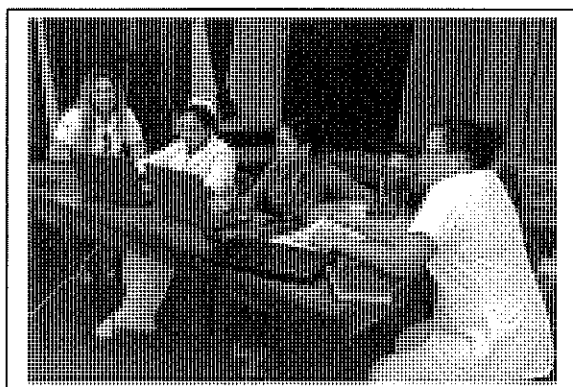
第4回 JCC
プロジェクト活動についてコメントする
カストロ保健大臣



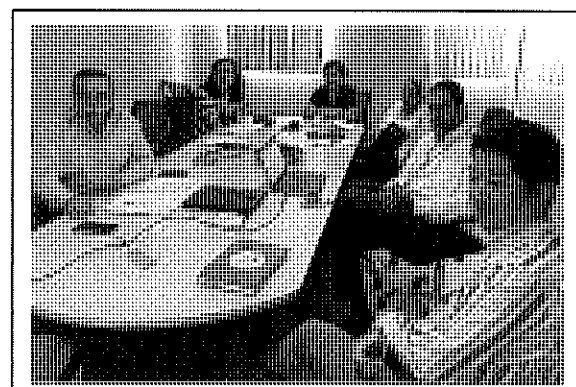
技術統合巡回指導
エル・ラマ支所サン・ペドロ保健セクター
健診記録を確認



技術統合巡回指導
エル・ラマ支所サン・ペドロ保健セクター
薬品の在庫を確認



母子保健技術委員会
テキスト作成会議
SILAI セラヤ・セントラル



国際フォーラム準備会議
保健省、PAHO/WHO、プロジェクトの
合同会議



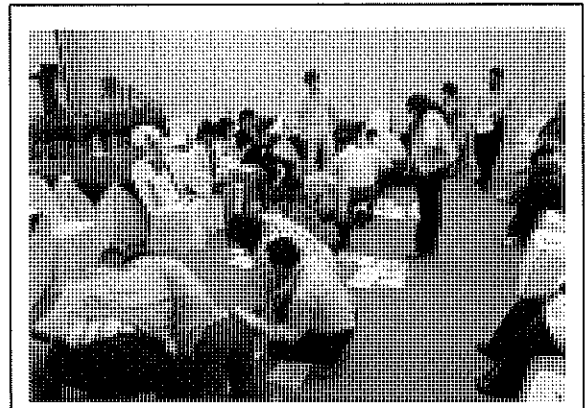
家庭地域保健国際フォーラム
開会式
開会を宣言する保健大臣



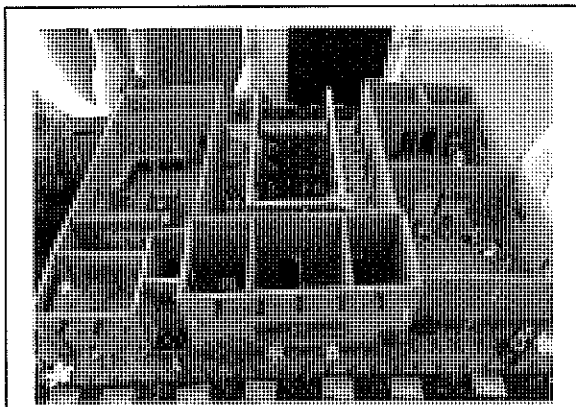
家庭地域保健国際フォーラム
JICA の基調講演する戸辺専門員



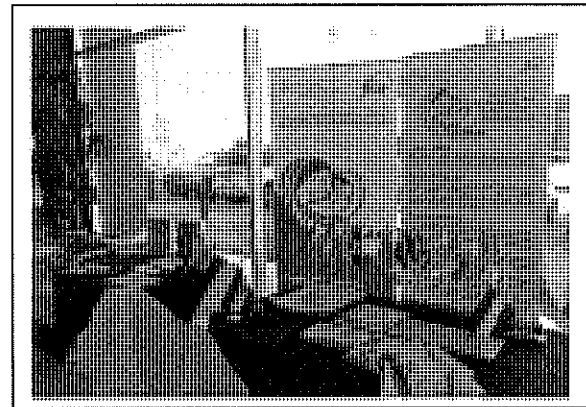
家庭地域保健国際フォーラム
参加者
手前は、国外招待者



家庭地域保健国際フォーラム
グループワーク
参加者が課題や好事例を整理



家庭地域保健国際フォーラム
ニカラグアの SILAIS マサヤの展示物
妊産婦教室などの模型を展示



家庭地域保健国際フォーラム
ポリビア・FORSA プロジェクト（左）と
SAMANI プロジェクトの展示物

Aolew

2019年5月11日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 青木 恒憲 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤ・セントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2019年4月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎 

標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. 全国セミナー

保健省保健サービス総局 (DGSS) が主導して、プロジェクト対象地域外の 17 SILAIS を 2 グループに分けて、プロジェクト活動の好事例を紹介し解説する全国セミナーを開催した。本研修には、2月13日の保健省技官対象の好事例研修に参加できなかった本省技官も参加した。研修の詳細は、以下のとおりである。

1) 参加者、日時、場所

参加者は、17 SILAIS から合計 66 人、本省から 26 人であった。詳細は表 1 のとおり。

表 1 17 SILAIS 及び本省からの参加者

1 日目 (4月9日)		2 日目 (4月10日)	
SILAIS	人数	SILAIS	人数
マサヤ	4	ビルウィ	3
グラナダ	4	ラス・ミナス	4
カラソ	4	南カリブ海自治州	2
リバス	4	リオ・サン・フアン	4
エステリ	5	ポアコ	4
マタガルバ	4	レオン	4
ヒノテガ	2	チナンデガ	5
マドリス	5	マナグア	3
ヌエバ・セゴビア	5		
本省	14	本省	12
計	51	計	41
		総計	92

日時： 2019 年 4 月 9 日、9:00～17:00
 2019 年 4 月 10 日、8:40～16:10
 場所：保健省保健技術院(2018 年 1 月開所の研修施設)

2) アジェンダ

- ① JICA ニカラグア事務所長挨拶、DGSS 局長挨拶
- ② SAMANI プロジェクトの活動概要（エルナンデス DGSS 技官）
- ③ PDCA による活動マネジメントシステム（メヒア SILAIS チョントレス保健サービス課長）
- ④ 母子保健研修プログラム（バエス SILAIS セラヤ・セントラル・ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所長）
- ⑤ ESAFC 活動ガイド（セラーノ SILAIS チョントレス・コマラパ支所長）
- ⑥ レファラル・カウンターレファラル（タレノ SILAIS セラヤ・セントラル保健サービス課長）

3) 研修内容

研修は、報告された好事例のうち、全国展開が可能と判断された上記③～⑥の 4 項目で構成した。各項目の主たる説明内容は次のとおりである。

① 「PDCA による活動マネジメントシステム」について

下記の PDCA サイクルを本省・SILAIS・支所・保健セクター間で用いた活動マネジメント方法である。これによって、課題の抽出、問題分析、改善策の立案、活動の実施などが容易になった。保健行政を担う、SILAIS 及び支所の各担当官は、問題発見及び分析する能力が向上し、それらの対応及び対策が強化された。

P(Plan)：ベースライン調査、問題抽出ワークショップ等に基づく研修プログラム策定、作成したレファラル・カウンターレファラル業務フロー図や ESAFC13 活動ガイドを活用した業務計画立案など。

D(Do)：母子保健研修の実施、ESAFc 活動ガイドに沿った活動、レファラル・カウンターレファラルの実施など

C(Check)：研修の事後テスト、技術統合巡回指導の分析・評価、ESAFc 活動四半期評価、レファラル・カウンターレファラル委員会における分析・評価など。

A(Action)：補完講習用教材の作成、研修プログラムの改定、ESAFc 活動好事例集の作成、SILAIS 及び支所審議会における分析及び改善策立案など。

② 「母子保健研修プログラム」について

ベースライン調査、問題抽出ワークショップ、母子保健研修で実施した事前事後テストの結果から抽出・分析した課題から、研修内容を構築/再構築し、1 度の講義の実施だけではなく、研修→巡回指導→モニタリング評価→業務の改善策立案や必要に応じた補完講習→業務実施→巡回指導のサイクル工程について、解説した。特に、既存の保健省令 2009 年「質と指標の評価」が的確に実施されるために導入したモニタリングハンドブックの活用及び使用方法について多く説明した。

③ 「ES AFC 活動ガイド」について

コマラパ支所長が同ガイドに沿った活動に、両 SILAIS と共に 2 年間取り組んだ経験を基に、その効果と成果について説明した。特に同ガイドの簡明性、内容の視認性の高さ等の特徴を説明し、導入前と導入後を比較した支所職員、医療従事者、及び RC の行動変容について以下のとおり解説した。

- 支所職員は、ガイドに基づいて ES AFC 活動をモニタリングすることで、ES AFC 活動の理解を深め、支所として支援が必要なこと、指導すべき項目が明確となった。
- 医療従事者は、日常業務の多忙さや移動手段の確保が難しいことなどから、これまで集落における家庭調査票作成や RC 主体の活動について、漠然と「困難である」というイメージを抱いていたが、ガイドに具体的な手法が示されたことにより、実施可能な活動計画が立案でき、目標達成に至り、マネジメント能力だけでなく、記録作成などを含め業務能力が向上している。
- RC については、医療従事者の支援を得て、RC 自らが、集落のニーズに即した活動を計画・実施した。活動後の評価会では、その成果や課題を RC 自身が言葉で表現し、月例会議で他の RC らと活動結果を共有するなど、一連の工程を通じた努力が結実し、RC のエンパワーメントに繋がっている。これらの活動を繰り返すことで、ES AFC 活動において、RC の主体性が向上している。

④ 「レファラル・カウンターレファラル」について

業務フロー図を作成して、責任と業務の体系化及び可視化をしたこと、省令で示されているレファラル・カウンターレファラルの記録様式を的確に活用したこと、指標を用いたモニタリング及び分析の取り組みを行ったこと等を説明した。また、両 SILAIS のレファラル・カウンターレファラル担当官とレファラル・カウンターレファラル委員会の活動で、弱点を解消する作業が定着していることを説明した。

4) カスケード研修

17 SILAIS は、全国セミナーの成果普及のため、各 SILAIS においてカスケード方式による研修を開始した。研修計画は、表 2 のとおりである。

表 2 17 SILAIS における SAMANI プロジェクト好事例のカスケード研修計画

SILAIS	研修開始日	SILAIS	研修開始日
マサヤ	5 月 14 日	ビルウィ	4 月 24 日
グラナダ	4 月 25 日	ラス・ミナス	5 月 14 日
カラソ	4 月 25 日	南カリブ海自治州	4 月 25 日
リバス	4 月 26 日	リオ・サン・ファン	4 月 23 日
エステリ	4 月 26 日	ボアコ	5 月 10 日
マタガルパ	4 月 24 日	レオン	5 月 15 日
ヒノテガ	4 月 25 日	チナンデガ	5 月 15 日
マドリス	4 月 23 日	マナグア	4 月 26 日
ヌエバ・セゴビア	4 月 24 日		

1-2. 研修ファシリテーター養成研修

母子保健 5 項目テキスト、ヘルスプロモーション基礎知識・技術ガイド及び ES AFC 活動ガイド改定に伴い、対象 14 支所の研修ファシリテーター対象の養成研修を開催した。

2) 参加者、日時、場所

参加者：(講師) 母子保健技術委員会メンバー（地域病院医師、SILAIS 技官、支所長など、計 13 人）

(受講者) 14 支所、各 2 人の研修ファシリテーター（計 28 人）

日時： 2019 年 4 月 23 日、8:30~17:30

4 月 24 日、8:30~17:15

場所：ホテル Quinta 会議室

3) 研修アジェンダ

添付資料①参照。

4) 研修内容

研修内容は、表 3 のとおり。

表 3 研修ファシリテーター養成研修プログラム

No	研修項目	研修目的と内容
1	妊産婦管理台帳	妊産婦のリスク回避、リスク妊婦の診断と継続ケア強化のため、その基本となるツールの運用方法と内容の実践、及び適切なレファラルについて、教授法に関する知識の強化、情報整理、説明技術等の拡充をはかる。
2	産前健診	的確な産前健診の実施、リスクの回避とサービスの質向上のため、基本的な健診項目に関する知識と技術、その実践及び適切なレファラルについて、教授法に関する知識の強化、情報整理、説明技術等の拡充をはかる。
3	妊娠高血圧症候群	主たる死因である妊娠高血圧症候群の妊産婦の緊急搬送強化のため、病態・治療・予防・診断・適切なレファラル等について、教授法に関する知識の強化、情報整理、説明技術等の拡充をはかる。
4	産後出血	二番目の死因である産後出血の産婦・褥婦の緊急搬送強化のため、病態、治療、予防、診断・適切なレファラル等について、教授法に関する知識の強化、情報整理、説明技術等の拡充をはかる。
5	小児統合ケア	6 歳未満の乳幼児健診の確実な実施とサービスの質向上のため、リスクの発見と診断、健診に関する知識と技術、その実践及び適切なレファラルについて、教授法に関する知識の強化、情報整理、説明技術等の拡充をはかる。
6	ヘルスプロモーション	プロモーション活動を強化するため、疾病予防・IEC・啓発教材の活用・情報伝達に関する基本的な技術と知識について、教授法に関する知識の強化、情報整理、説明技術等の拡充をはかる。
7	ESAFc 活動ガイド	MOSAFc をベースとした保健セクターで実施すべき基本的な活動と RC と連携した活動 13 項目について、教授法に関する知識の強化、情報整理、説明技術等の拡充をはかる。
8	保健セクターからの感染症対策	特に妊娠初期の女性のジカ熱感染防止、媒介虫対策強化のため、感染症の症状、健診を受ける時期など、感染症対策について、教授法に関する知識の強化、情報整理、説明技術等の拡充をはかる。
9	緊急時のレファラル	レファラル強化のため、保健ポストから保健センターを經由して地域病院への救急搬送の手順と実践について、教授法に関する知識の強化、情報整理、説明技術等の拡充をはかる。

5) 研修計画

SILAIS チョントレスと SILAIS セラヤ・セントラルにおけるカスケード方式による研修開始日は、表 4・表 5 のとおりである。

表 4 SILAIS チョントレス研修計画

研修項目	アコヤバ	コマラバ	クアバ	エル・ア ヨテ	ファイガル バ	ラ・リベル タ	サン・ペドロ・ デ・ロバロ	サント・ド ミンゴ	サント・ト マス	ビジャ・サン ティーン
研修受講者数	7人	6人	6人	8人	8人	5人	2人	3人	9人	1人
妊産婦管理 台帳	5月23日	5月3日	5月15日	5月17日	5月14日	5月27日	5月23日	5月16日	5月9日	5月16日
産前健診	5月16日	5月13日	5月22日	5月17日	5月14日	5月20日	6月6日	5月23日	5月16日	5月23日
妊娠性高血 圧	5月16日	5月17日	5月29日	5月17日	5月14日	7月8日	7月4日	5月29日	5月23日	6月4日
産後出血	5月16日	5月17日	6月5日	5月24日	5月15日	7月1日	6月20日	6月6日	5月29日	6月11日
乳幼児健診	6月6日	5月13日	6月12日	5月24日	5月15日	5月6日	5月16日	6月13日	4月25日	6月18日
ヘルスプロモ ーション	5月23日	5月24日	6月19日	6月6日	5月14日	6月3日	8月1日	6月13日	6月6日	5月16日
ESAFc 活動 ガイド	6月13日	5月24日	6月21日	5月31日	5月15日	5月13日	6月13日	6月13日	4月25日	6月11日
感染症対策	5月23日	5月24日	6月26日	6月14日	5月14日	6月10日	8月19日	6月26日	6月6日	5月23日
緊急時のレ ファラル	6月13日	5月24日	6月26日	6月14日	5月15日	7月15日	8月15日	6月20日	6月6日	6月4日

表 5 SILAIS セラヤ・セントラル研修計画

SILIAS 支所	ヌエバ・ギネア	エル・ラマ	ムエジェ・デ・ ロス・ブエジェス	エル・コラル	
研修受講者数	25人	24人	14人	5人	
研 修 項 目	妊産婦管理台帳	6月6日	5月27日	6月6日	6月5日
	産前健診	6月7日	6月3日	6月13日	6月12日
	妊娠性高血 圧	6月27日	6月10日	6月20日	6月19日
	産後出血	6月27日	6月10日	6月20日	6月19日
	乳幼児健診	6月28日	6月17日	6月27日	6月26日
	ヘルスプロモ ーション	6月7日	6月3日	6月13日	6月12日
	ESAFc 活動 ガイド	6月6日	5月27日	6月6日	6月5日
	感染症対策	6月28日	6月17日	6月27日	6月26日
	緊急時のレ ファラル	6月27日	6月10日	6月20日	6月19日

① 両 SILAIS は、各支所が保健セクターの医療従事者を対象に開催する研修をスーパーバイズする。

1-3. ESAFC 活動

1) ESAFC 活動の継続

両 SILAIS の 14 支所で ESAFC 活動は継続されており、SILAIS チョントレスでは 7 支所が、SILAIS セラヤ・セントラルでは 1 支所が 2019 年第 1 四半期の活動評価を開始した。各支所は、聖週間休暇明けの 4 月 21 日より予防接種キャンペーンを開始しており、四半期評価は、キャンペーンの合間に実施されている。

① 各支所で実施する四半期評価の日程を確認し、同評価をスーパーバイズする。

1-4. 技術統合巡回指導

1) 巡回指導の現状

両 SILAIS では技官による巡回指導を継続している。PDM 指標成果 3-1「技術統合巡回指導」、同 3-2「技術審議会への同席」の支所の実施状況と SILAIS の同行回数は、表 6 のとおりであった。

表 6 支所の巡回指導と SILAIS の同行回数 (2019 年 4 月)

支所の活動	特 徴	チョンタレス		セラヤ・セントラル	
		支所実施数	SILAIS 同行回数	支所実施数	SILAIS 同行回数
技術統合巡回指導	保健セクターを訪問。活動をモニタリング・指導し、改善に取り組む	7 支所 11 保健セクター	0	4 支所 15 保健セクター	3 支所 3 保健セクター
支所の技術審議会(CTAM)開催	保健セクターの医療チームが出席する支所レベルの技術審議会	10 支所	8 支所	4 支所	2 支所

4 月は、本省で実施された通常の研修プログラムのほかに、1 週間の聖週間休暇と予防接種キャンペーンにより、多くの活動について、当初の計画遂行に支障が生じた。

2) 統計データの質管理評価

両 SILAIS は、統計データの質管理のための「正確な分析についての評価」を実施した。評価結果は表 7 とおりであった。

表 7 統計データの質管理評価結果

SILAIS	統計データの質管理実施場所	評価結果
チョンタレス	エル・アヨテ支所市街地保健セクター	84.5%
	エル・アヨテ支所ラ・ピニューエラ保健セクター	71.7%
セラヤ・セントラル	エル・コラル支所ラ・サントス保健セクター	95.0%
	ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所プレシージャ保健セクター	87.0%

今回の評価では、概ね正しい記述及び診断分析がなされていた。記述の不備があった部分に対しては、0JT で指導している。

計画 ① 両 SILAIS 及び各支所は、技術統合巡回指導、CTAM の実施と SILAIS の同席を継続する。

1-5. 家庭地域保健国際フォーラム

1) 国際フォーラム報告書（デジタル版）作成

グループワークの成果品などを含めた、国際フォーラム報告書の作成を進めている。4つのグループワークの成果品は、添付資料②のとおりである。

2) 国際フォーラム参加者へのアンケート結果

国際フォーラムの参加者に対するアンケート調査を実施した。国内外からの参加者 162 人のうち、58 人からの回答を得た。参加者の大半から企画・ロジスティック

ス・テーマに関して好評価を得た。詳細は、添付資料③のとおりであった。

1-6. 運營業務

1) プロジェクト終了後のモニタリングシステム

第4回 JGC において、JICA ニカラグア事務所よりプロジェクトの成果の持続性を高めるために、プロジェクト終了後、保健省と JICA ニカラグア事務所による活動モニタリングの実施が提案された。これについて、あらためてニカラグア事務所と協議し、日本人専門家の離任前に保健省とモニタリング方法を定めることで合意した。

2) JICA ニカラグア事務所によるプロジェクト SAMANI の広報

3月に JICA ニカラグア事務所より、RC にフォーカスした取材要請を受け、日程を確認のうえ現地と調整したが、事務所の都合により見送られた。今後の広報活動は未定である。

2. 主な活動日程

【4月】

2日：SILAIS セラヤ・セントラル技術審議会（CTOD）

5日：SILAIS セラヤ・セントラル技術審議会（CTAD）

8日：エル・ラマ支所技術統合巡回指導（ATI）、ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所技術審議会（CTOM）

9・10日：17 SILAIS 対象 SAMANI プロジェクト好事例全国セミナー

12日：アコヤパ支所チナル保健セクター会議

15～19日：聖週間休暇

21日：SILAIS チョンタレス保健サービス審議会（CTSS）、SILAIS チョンタレス技術審議会（CTOD）

23・24日：ファシリテーター養成研修

24日：エル・コラル支所 ESAFC 活動四半期評価

26日：JICA ニカラグア事務所・保健省 DGSS 及び DCE 会議、ヌエバ・ギネア支所技術審議会（CTAM）

28日：中村二郎（総括／地域保健）専門家離任

3. 今後の予定

【5月】

6日：サンペドロ・デ・ロバゴ支所 ESAFC 活動四半期評価、サント・ドミンゴ支所 ESAFC 活動四半期評価

10日：サント・トマス支所 ESAFC 活動四半期評価、ビジャ・サンディーノ支 ESAFC 活動四半期評価

17日：中村二郎（総括／地域保健）専門家帰国報告

27日：渡辺咲子（副総括／地域保健／業務調整）専門家着任

28日：第8回プロジェクト運営委員会

31日：石原尚子（母子保健）専門家離任

4. 添付資料

- 添付資料① ファシリテーター研修アジェンダ
② 国際フォーラムグループワーク成果品
③ 国際フォーラム参加者アンケート結果

5. 活動写真

別添のとおり

6. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

添付資料①

支所研修ファシリテータ養成研修時間割り(サマニ・プロジェクト)

日付: 2019年4月23日(火)～24日(水)

時間: 1日目・2日目ともに、8時 - 17時

場所: ホテル La Quinta 会議場

対象者: 14支所の研修ファシリテーター (医師、看護師)

目的: プロジェクト14支所の研修ファシリテーターに対して、カスケード研修方法を補強する

研修テーマ: 1. 産前健診、2. 妊産婦管理台帳、3. 妊娠高血圧症候群、4. 産後出血、5. 小児統合ケア、6. 保健セクターからの感染症対策、7. ヘルスプロモーション、8. ES AFC活動ガイド、9. 緊急時のレファラル(ビデオ)

司会進行: 1日目: イサベル・ボラーニョス (SILAISチョンタレス教育担当技官)
2日目: ダルリン・ブラボ (SILAISチョンタレス母子保健技術委員会)

2日目(4月23日)

時間割り	テーマ	特定の目的	内容	方法	機材や資材	責任者
07:50-08:00	受付	研修受講者の受付		支所研修ファシリテーターリストの確認	受講者リスト、ボールペン、マーカー	サマニ・プロジェクト
08:00-08:10	開会式	SILAIS チョンタレス局長の開会の挨拶		解説		ディルマ・シリアス(SILAIS チョンタレス局長)
08:10-08:20	導入	研修オリエンテーション	自己紹介、研修中の規則と日程	説明		イサベル・ボラーニョス (SILAISチョンタレス教育担当技官)
08:20-08:40	研修ファシリテーターの役割	研修ファシリテーターの役割について説明	研修ファシリテーターの役割	講義	コンピューター プロジェクター	ペトロニラ・フローレス (SILAISチョンタレス母子保健技術委員会)
08:40-08:50	事前テスト、テーマ1. 妊産婦管理台帳	講義の実施前、実施後に受講者の基礎知識を評価する	事前テスト	個別で事前テストに回答	事前テスト用紙	両SILAIS母子保健技術委員会
08:50-09:10	(講義)妊産婦管理台帳	妊産婦管理台帳への正確な記入と解釈、運用について強化する	1. 妊産婦管理台帳への正確な記入、分析と解釈 2. 適切な判断のための危険因子識別	講義	コンピューター プロジェクター	ヘイセル・トリゲロ、ディオニシア・セビジャ (SILAISチョンタレス母子保健技術委員会) 担当以外の母子保健技術委員会メンバーで講義を手伝う
09:10-10:30	(ケースクリニック)妊産婦管理台帳	妊産婦管理台帳における解釈と判断のための正しい記入を強化する	3. 報告書の作成 - 向こう4週間出産予定者の週間報告書 - 産前健診欠席者の月間報告書 - モニタリングと評価	演習	印刷用紙とボールペン	ヘイセル・トリゲロ、ディオニシア・セビジャ (SILAISチョンタレス母子保健技術委員会) 担当以外の母子保健技術委員会メンバーで講義を手伝う
10:30-10:50	妊産婦管理台帳の事後テストとテーマ2. 産前健診の事前テスト	講義の実施前、実施後に受講者の基礎知識を評価する	事前・事後テスト	個別で事前テスト、事後テストに回答	コンピューター プロジェクター	両SILAIS母子保健技術委員会
10:50-11:10	(講義)産前健診	産前健診の項目6、11、12の解釈と判断のための正しい記入を強化する	1. 母体の栄養状態の評価 - BMI値からの栄養状態の評価と解釈 - 母体の体重増加をもとにした栄養状態の評価と解釈 - グラフ記入と解釈	講義	コンピューター プロジェクター	ヘイセル・トリゲロ、シオマラ・メネセス (SILAISチョンタレス母子保健技術委員会) 担当以外の母子保健技術委員会メンバーで講義を手伝う
11:10-12:30	(ケースクリニック)産前健	産前健診の12項目における解釈と判断のための正しい記入を強化す	2. 血圧の値と解釈 3. 尿検査レポート結果の記録と解釈	演習	コンピューター	ヘイセル・トリゲロ、シオマラ・メネセス (SILAISチョンタレス母子保健技術委員会)

11:10-12:00	診	予備知識の強化を図る	0. 産後出血の予防と治療の基礎知識	個別作業とグループワーク	プロジェクター	担当以外の母子保健技術委員会メンバーで講義を手伝う サマニ・プロジェクト
12:30-01:30	昼食					
01:30-01:50	産前健診の事後テストとテーマ3. 妊娠高血圧症候群の事前テスト	講義の実施前、実施後に受講者の基礎知識を評価する	事後テスト	個別で事前テスト、事後テストに回答	事前・事後テスト用紙	両SILAIS母子保健技術委員会
01:50-02:10	(講義)妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群の診断についての知識を強化する	1. 妊娠高血圧症候群の定義 2. 妊娠高血圧症候群の危険因子を識別する 3. 妊娠高血圧症候群の分類 4. 妊娠高血圧症候群の対応	講義	コンピュータープロジェクター	ベルタ・バジャダレス、タニア・ガルシア(SILAISセラヤ・セントラル母子保健技術委員会) エサウ・ラソ(地域病院 産婦人科医師) 担当以外の母子保健技術委員会メンバーで講義を手伝う
				演習	コンピュータープロジェクター	ベルタ・バジャダレス、タニア・ガルシア(SILAISセラヤ・セントラル母子保健技術委員会) エサウ・ラソ(地域病院 産婦人科医師) 担当以外の母子保健技術委員会メンバーで講義を手伝う
02:10-03:30	(ケースクリニック)妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群の予防を強化する		グループワーク		
03:30-03:40	妊娠高血圧症候群の事後テスト	講義の実施前、実施後に受講者の基礎知識を評価する	事前・事後テスト	個別で事後テストに回答	事後テスト用紙	両SILAIS母子保健技術委員会
03:40-04:10	テーマ6. 保健セクターからの感染症対策	保健セクターからの感染症対策について復習	保健セクターからの感染症対策復習	講義	コンピュータープロジェクター	タニア・ガルシア (SILAISセラヤ・セントラル母子保健技術委員会) 担当以外の母子保健技術委員会メンバーで講義を手伝う
04:10-05:00	テーマ7. ヘルスプロモーション	ヘルスプロモーションについて復習	ヘルスプロモーション復習	講義	コンピュータープロジェクター	ペトロニラ・フローレス (SILAISチョンタレス母子保健技術委員会) 担当以外の母子保健技術委員会メンバーで講義を手伝う
05:00-05:10	閉会式	1日目のまとめ		質疑応答等		受講者の1名

2日目(4月24日)

時間割り	テーマ	特定の目的	内容	方法	機材や資材	責任者
07:50-08:00	受付	研修受講者の受付		支所研修ファシリテーターリストの確認	受講者リスト、ボールペン、マーカペン	サマニ・プロジェクト
08:00-08:10	事前テスト、テーマ4. 産後出血	講義の実施前、実施後に受講者の基礎知識を評価する	事前テスト	個別で事前テストに回答	事前テスト用紙	両SILAIS母子保健技術委員会
08:10-08:30	(講義)産後出血	産後出血の予防を強化する	1. 産後出血の診断、治療、予防 2. 分娩第3期の取り扱い	講義	コンピュータープロジェクター	ギジェルミナ・クルス、タニア・ガルシア(SILAISセラヤ・セントラル母子保健技術委員会) エサウ・ラソ(地域病院 産婦人科医師) 担当以外の母子保健技術委員会メンバーで講義を手伝う
				演習	コンピュータープロジェクター	ギジェルミナ・クルス、タニア・ガルシア(SILAISセラヤ・セントラル母子保健技術委員会) エサウ・ラソ(地域病院 産婦人科医師) 担当以外の母子保健技術委員会メンバーで講義を手伝う
08:30-09:50	(ケースクリニック)産後出血	産後出血の診断、治療、予防において強化する		個別作業とグループワーク		

09:50-10:10	産後出血の事後テストと テーマ5. 小児統合ケアの 事前テスト	講義の実施前、実施後に受講者の 基礎知識を評価する	事前・事後テスト	個別で事前テスト、 事後テストに回答	事前・事後テスト用 紙	両SILAIS母子保健技術委員会	
10:10-10:30	(講義)小児統合ケア	小児統合ケアをとおして実施した項 目の正しい記入と解釈を強化する	小児統合ケアをとおして実施した項 目の正しい記入と解釈	講義	コンピューター プロジェクター	リサ・ラソ (SILAISチョンタレス母子保健技術委員 会) ギジェルミナ・クルス (SILAISセラヤ・セントラル母 子保健技術委員会) 担当以外の母子保健技術委員会メンバーで講義 を手伝う	
10:30-11:50	(ケースクリニック)小児統 合ケア	小児統合ケアをとおして実施した項 目の正しい記入と解釈を強化する			演習	印刷用紙とボール ペン	リサ・ラソ (SILAISチョンタレス母子保健技術委員 会) ギジェルミナ・クルス (SILAISセラヤ・セントラル母 子保健技術委員会)
					個別作業とグループ ワーク	コンピューター プロジェクター	担当以外の母子保健技術委員会メンバーで講義 を手伝う
11:50-12:00	小児統合ケアの事後テス ト	講義の実施後に受講者の基礎知 識を評価する	事後テスト	個別で事後テストに 回答	コンピューター プロジェクター	両SILAIS母子保健技術委員会	
12:00-01:00	昼食					サマニ・プロジェクト	
01:00-02:00	モニタリングハンドブック の使用	産前健診と乳幼児健診の質管理の 評価時に使用するモニタリングハン ドブックの使用方法を説明する	産前健診と乳幼児健診の質管理の 評価時に使用するモニタリングハン ドブックの使用方法	講義	プロジェクター モニタリングハンド ブック用紙	ペトロニラ・フローレス (SILAISチョンタレス母子 保健技術委員会)	
02:00-03:30	テーマ8: ESAFC活動ガイ ド	ESAFc活動ガイドについて説明す る	ESAFc活動ガイド最終バージョン	講義と演習	コンピューター プロジェクター	ジェイミ・リバス (アコヤパ支所長、SILAIS チョ ンタレス)	
03:30-03:50	Tema 9: 緊急時のレファラ ル(ビデオ)	レファラルのメカニズムについて復 習する	ビデオ教材による復習	講義	コンピューター プロジェクター ビデオ	ミゲル・マルティネス (SILAIS チョンタレス) 担当以外の母子保健技術委員会メンバーで講義 を手伝う	
03:50-04:10	研修の評価		受講者のコメント	意見交換		ダルリン・ブラボ (SILAISチョンタレス母子保健技 術委員会)	
04:10-04:30	合意			意見交換		イサベル・ボラーニョス (SILAISチョンタレス教育 担当技官)	
04:30-04:45	閉会式					デイルマ・シリアス (SILAIS チョンタレス局長)	

添付資料②

グループ 1

ラテンアメリカにおけるユニバーサル・ヘルス・カバレッジと持続可能な開発目標に向けて:

- 健康の権利 (政策).
- ユニバーサル・ヘルス (1: 健康への普遍的なアクセスとユニバーサル・ヘルス・カバレッジ、2: ガバナンス、3: 財政、4: インターセクショナリティ).

【質問】:

1. ユニバーサル・ヘルス・カバレッジと持続可能な開発目標に向けて、現在課題となっていることは何ですか。

- 人口統計、疫学的推移
- インターセクショナリティ
- 公平性
- アクセス
- 異なる保健施設レベルの統合 (Integration and integrality)
- 保健人材
- 診療の質
- 住民参加

2. ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの保証のための課題をどう克服できますか。

- 公平性(ライフサイクル全体)に重点を置いた政策と、戦略計画の策案
- 一次診療の強化
- 各要因のクローズアップ
- 財源の拡大
- モニタリング、評価の方策
- 保健人材、地域社会の能力強化
- 住民参加の強化
- 大学、専門学校との連携
- 伝統医学と補完療法

3. 保健システムのガバナンス強化に何が必要ですか。

- セクター間連携
- 戦略的な協力
- 評価メカニズムによる計画の進捗確認
- 統合的情報システム
- 省令、ガイドの更新
- 住民参加の奨励

4. 自国の保健活動におけるセクター間連携をどのように強化しますか。

- 異なる管轄とその管轄の責任を踏まえた、セクター間連携計画の策案(モニタリングと評価)
- 主要アクターとの連携(教会、学校、組合、村落リーダー)
- 村落リーダー及び住民全体で会合を開催
- 異なった地域間で知見の共有
- 継続教育計画
- 保健フェスティバルの推進

グループ 2

ユニバーサル・ヘルスと PHC、保健サービス統合ネットワーク (RISS、西語略語)

- RISS の組織と運営
- 連携: 異なる医療施設レベル及び住民間のレファラル・カウンターレファラル
- 公共医療施設と民間医療施設間のネットワーク
- RISS のモニタリングと評価

【質問】:

1. 家庭地域保健モデルと RISS の課題は何ですか。

- プライマリケアに基づくモデルの強化
- 質のある、保健サービスへのアクセスの増加
- コミュニティネットワークとソーシャルアクターとの活動
- レファラルのメカニズム強化による、機能発揮
- 省令やプロトコル(手順)の遂行のモニタリング
- 多民族の国における、民族間の異文化要素の健康モデルへの取り入れ
- 訓練を受けた、人的リソースと地域のギャップ
- 保健サービスの管理と需要と供給
- 保健行政ガバナンスの強化
- 公共政策の推進
- 保健行政の地方分権化

2. RISS の課題となっていることに関して、どのように克服すべきですか。

- セクター間協力戦略の策案
- コミュニティへの継続教育
- 村落リーダーによる、ヘルスプロモーション、予防活動について保健セクターとの連携による計画立案
- 保健省予算の増加の提唱
- RISS 実施ツールの使用推進
- すべての保健人材に対する保健モデルの教育
- PHC の大学教育への取り込み
- 地域の経験、知見共有のためのフォーラムの開催
- 人的リソースの増加

3. レベルの異なる医療施設やコミュニティの連携を強化させるには、何をすべきですか。

- 保健セクターに対応した RISS の評価会の実施
- RISS の実践における、地域診断書の作成と更新の住民参加による確実な実施
- 情報通信技術(チャット、ビデオ通信)を用いた、遠隔医療の推進
- カルテの電子化

- RISS の体系化に関する経験と成果の共有
- 専門医の RISS への参加促進

4. 保健サービスの質と管理プロセスを改善するには、どうしたらよいですか。

- 省令やプロトコル(手順)の遂行
- 人間味のあるサービスの提供
- 保健人材の継続教育
- 診療中心からヘルスプロモーション、予防活動の推進
- 遠隔医療の強化
- 医療フォーマットの簡素化
- 保健サービスの質管理委員会設置
- ボトルネックになっている事項の特定
- 利用可能なリソースの合理的かつ効率的な使用
- 健康指標の定性分析
- 病院の待ち時間改善
- 健康に関する継続的な研究

5. 好事例、教訓、提案等 ありますか。.

- レファラル・カウンターレファラル委員会による、評価の実施
- コミュニティ活動の導入
- 保健セクター間での、経験、知見の共有
- 村落会議の情報共有にとどまらない、活動評価や意思決定としての役割形成
- 住民と警察との連携
- コミュニティネットワークの強化
- CIRA (Consejo Integrado de la Red Asistencial・統合ケアネットワーク)の運営
- ソーシャル・アカウンティングの実施
- 情報の本質を失わない、省令・プロトコルの多様文化への適応
- 異なったメディアを使った、ヘルスプロモーションの実施
- コミュニティ戦略の実施
- PHC への専門医の参加
- 異なる医療レベル間の連携のための会合
- 他国との経験の共有
- 子宮頸がん予防に焦点をあてた症例検討
- PHC に焦点をあてた、フォーラムの市、県、全国、国際、各レベルでの開催
- 疫学監視体制の強化

PHC における総合的保健に対する住民参加:

- 各国のコミュニティネットワークによる、疾病予防、ヘルスプロモーションの活動経験
- 各国の保健人材とコミュニティネットワークの連携
- ヘルスプロモーションへの住民、家庭、集落の参加モチベーション

【質問:】

1. 保健モデルに基づく地域家庭保健で、プロモーション、予防活動で課題となっていることは何ですか。

- 保健人材とコミュニティネットワークの連携
- 地域保健に対する、保健人材の意識改革
- 個人、家族、地域の保健問題に対する主体性
- アクセス困難な地域での保健サービスの提供
- 保健教育の内容の地域文化への適応
- 地域を対象としたヘルスプロモーション、予防戦略の持続性の確保
- 社会的特定グループにおける、保健活動のための、セクター間協力の強化
- 保健人材とコミュニティネットワークの活動の構築

2. 前述の課題を克服し、健康阻害要因に関して、コミュニティと共に、どのように介入できますか

住民およびコミュニティ参加、共同責任、対話および合意、教育、保健サービスの拡大、保健サービスを身近なものとし、計画の立案、合同モニタリングおよび評価、具体的かつ実践的な活動、セクター間協力、地域診断とコミュニティマップの作成、コミュニケーションスペースの設置、コミュニティのエンパワーメント、管理の強化、教育プログラム、効率性と有効性の促進、モニタリングプロセスと巡回指導

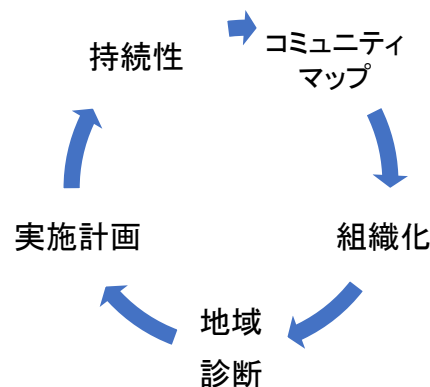
- 地域診断の分析
- セクター間協力の参加型計画プロセスの実施と助言
- フレンドリーなサービス、意識、熟考、教育および訓練
- 地域社会が自らの健康管理において担う主導的な役割
- セクター間協力ネットワークの調整と指導
- 住民参加を促しながらのコミュニティネットワークとの活動促進及び、士気発揚、意義の認識等
- コミュニティ共同計画のモニタリングとフォロー

3. 保健サービスとともに住民参加型の活動を強化するには何をしますか

- コミュニティネットワークとの対話と彼らの文化的知識を尊重する。
- 地域戦略を推進し、保健サービスをより身近なものとする。

- コミュニティ活動を活性化し、経験を共有する。
- 保健サービスと地域住民間で参加型健康計画の立案を推進する。
- コミュニティネットワークとの連携について保健医療従事者の意識を高める。
- 地域社会と保健医療従事者の共同責任を促進する。
- コミュニティネットワークと保健医療従事者の信頼を生み出す行動を実践する。
- ヘルスプロモーション活動予算を管理する。
- 目的の達成を検証し、活動の教訓から、あらたな計画立案の過程とその経験を体系化し文書化する。

4. 健康を促進し、地域社会からの病気を予防するために、どのようなセクター間協力ができますか



- 地域開発のためのマッピングにより、関係者、地域リーダー、関連機関等、既存の資源の特定をする
- 他の政府機関のモデルプログラム、プロジェクトと連携し、作業ネットワークの調整を行う
- 地域診断: 様々なセクターを巻き込み、コミュニティの問題を話し合い、改善のための計画を参加者合意のもとに作成する
- セクター間で、健康的なライフスタイルの促進、感染症対策、水の管理、住民主導のプロジェクト、廃棄物管理/衛生管理などの活動計画を立案する
- 持続性: 能力向上ため、様々な教育システムを利用し、ソーシャルアクターの知識の向上および大衆教育、ソーシャルコミュニケーターの訓練と普及を行う

キーワード: 参加、ムーブメント、政策、公平性、アクセシビリティ、トレーニング、コミットメント、質、持続性、組織、統合、計画、強化、アクター、共感、セクター化、意識、動機、異文化間、エンパワメント、包括的

5. 好事例、教訓、提案等 ありますか。

教訓:

- 健康を守るには住民参加による、計画と実施が必要

- 住民の保健に関する意思決定ができるための、エビデンスに基づいた、保健情報の提供
- PHC の主体となるのは、予防、プロモーション活動

好事例:

- コミュニティベースの保健活動の実施（安全な出産、代表的なプログラム、アモール・プログラム等）

提案:

- コミュニティのエンパワメントの促進と、健康管理（セルフケア）の重要性の周知、彼らが果たす重要な役割を振り返るための会合の開催
- コミュニティネットワークの活動の推奨

グループ 4

PHC からの非感染性慢性疾患へのアプローチ

- 各国の保健施設での健康の促進と非感染性慢性疾患の包括的な管理の経験
- 医薬品の合理的使用の促進、活用例、およびモニタリングの経験
- 非感染性慢性疾患における自然医学および補完療法の活用

【質問】

1. 地域家庭保健に基づいた保健モデルにおける、非感染性慢性疾患の管理の課題はなんですか。
 - 家族からのエンパワメント
 - 健康と思われる住民への教育
 - 患者への治療の継続
 - 教育（コミュニティ、医療従事者）
 - 保健省からヘルスプロモーションの強化
 - 統合的なセクター間協力のアプローチ
 - マスメディアを通じた教育
2. 様々な保健施設レベルにおける、非感染性慢性疾患の保健サービスの向上、改善のために何が必要ですか。
 - 学校をはじめ、各ライフサイクルにおける教育
 - 運動のための、公園、自転車専用車線、レクリエーションエリアの改善
 - さまざまなソーシャルセクターの巻き込み
 - 非感染性慢性疾患診断のための保健施設の機材整備
 - 栄養教育
 - レファラル・カウンターレファラルの好事例の普及
 - 健康なライフスタイルを広めるための視聴覚メディアの活用
 - 保健人材の継続教育
3. 非感染性慢性疾患の治療における医薬品の合理的使用の促進と実施および管理のために何ができますか。
 - 保健省令に則った、基準とプロトコルに沿った、治療薬の処方
 - 医薬品の適切な保管
 - 慢性患者登録に従った、治療薬の処方（患者台帳、パスポート・身分証）
4. 自然医学および補完療法を活用し、非感染性慢性疾患のケアと患者管理をどのように強化できますか

- 自然医学および補完療法のプロモーション
- 自然医学および補完療法の継続教育
- 伝統的医療の尊重



Gobierno de Reconciliación
y Unidad Nacional

El Pueblo, Presidente!

40
2019

Aquí nos ilumina,
un Sol que no declina
El Sol que alumbra
las nuevas victorias
RUBÉN DARÍO

添付資料②

ニカラグア保健省

家庭地域保健国際フォーラム



ニカラグア - 2019

2019年3月28日、29日家庭地域保健国際フォーラム



参加者アンケート調査結果

国際フォーラム参加者登録時にアンケート用紙を配布した。質問は 10 項目で、8 項目は選択式、2 項目は記述式とした。質問内容は下記のとおり。アンケート調査用紙は最後に添付する。

A. 回答者情報: (選択式)

1. 性別
2. 年齢
3. 就業場所

B. 満足度: (選択式)

4. フォーラム全般
5. フォーラムのテーマ
6. フォーラムの企画
7. フォーラム会場
8. 業務への活用

C. 気づき、意見、提言等 (記述式)

9. フォーラムで最も重要な側面
10. フォーラムへの提言

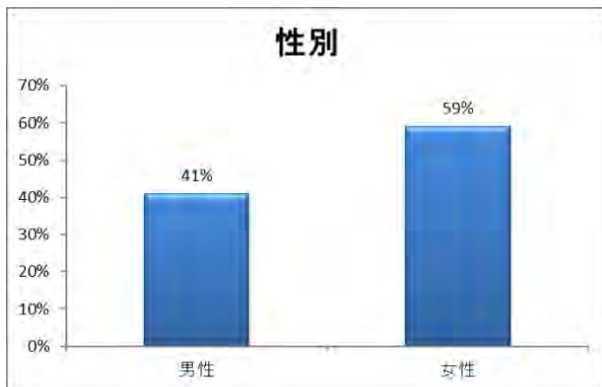
アンケート用紙は、フォーラム開催第 1 日目に 110 名に配布し、第 2 日目のグループワーク終了後に 58 名分が回収された。

結果

回答者情報

1. 性別

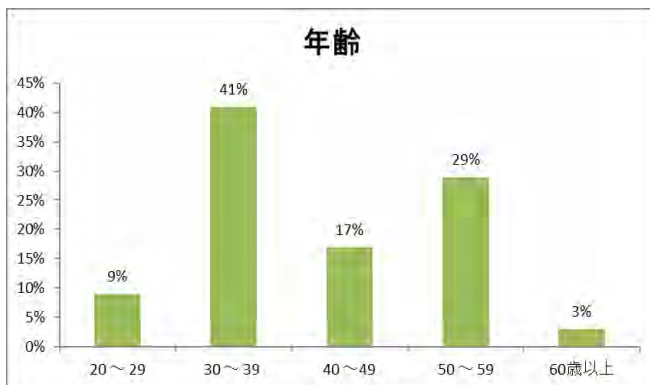
グラフ 1



アンケート回答者は女性の割合が多く、59%であった。(グラフ1)

2. 年齢

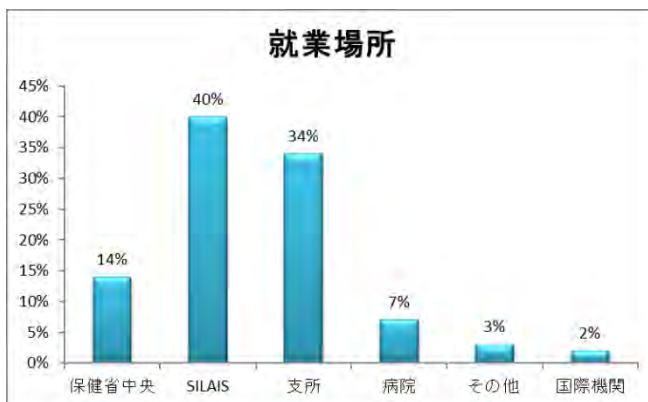
グラフ 2



アンケート回答者は、30歳から39歳が多く41%、次に50歳から59歳の29%であった。(グラフ2)

3. 就業場所

グラフ 3



アンケート回答者は SILAIS 勤務者が40%であった。次に支所34%、保健省中央14%であった。(グラフ3)

満足度

質問4から8では、フォーラム全体、フォーラムのテーマ、企画、会場、そして今回得られた情報の仕事への活用の可能性についての満足度を選択式の回答で求めた。

質問4から7の選択肢は、非常に満足、満足、普通、少し不満、不満とし、質問8は、とても役立つ、役立つ、普通、役立たない、まったく役立たないとした。

4. フォーラム全般について:

93%の参加者は、非常に満足と回答し、7%は満足と回答した。(グラフ4)

5. フォーラムのテーマについて:

90%の参加者は、非常に満足と回答し、10%は満足と回答した。(グラフ5)

6. フォーラムの企画について:

96%の参加者は、非常に満足し、満足、普通は各2%だった。(グラフ6)

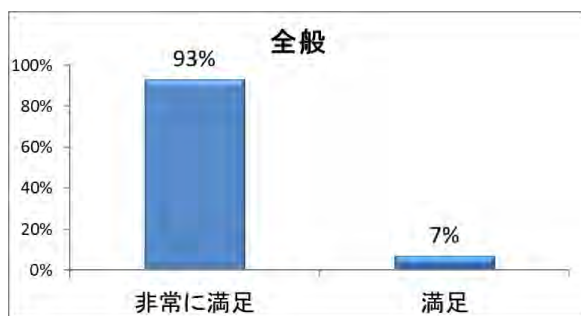
7. 会場について:

91%の参加者は、非常に満足と回答し、9%は満足と回答した。(グラフ7)

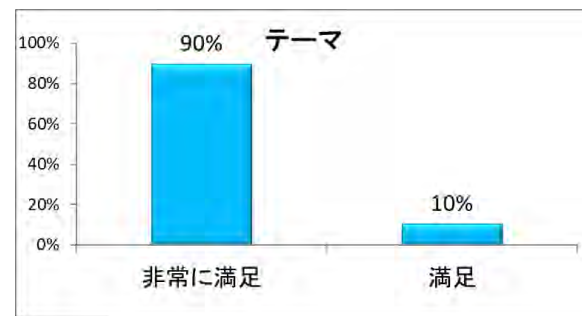
8. 業務への活用について:

91%の参加者は、非常に満足と回答し、9%は満足と回答した。(グラフ 8)

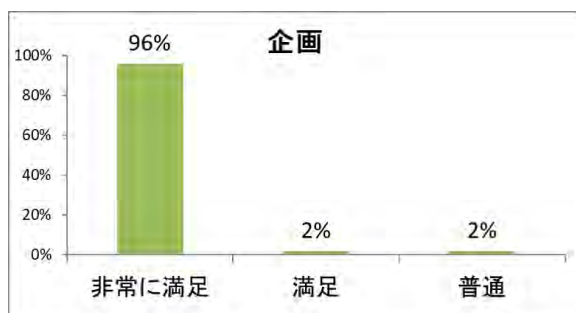
グラフ 4



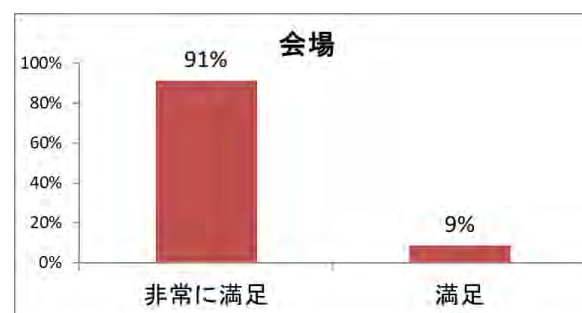
グラフ 5



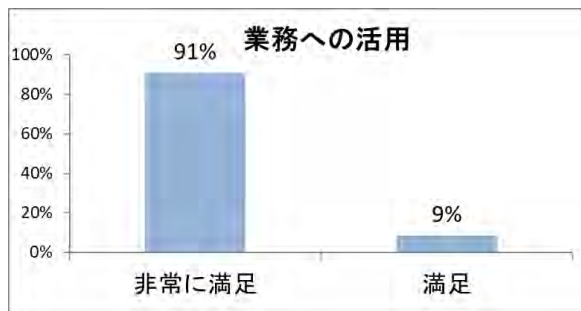
グラフ 6



グラフ 7



グラフ 7



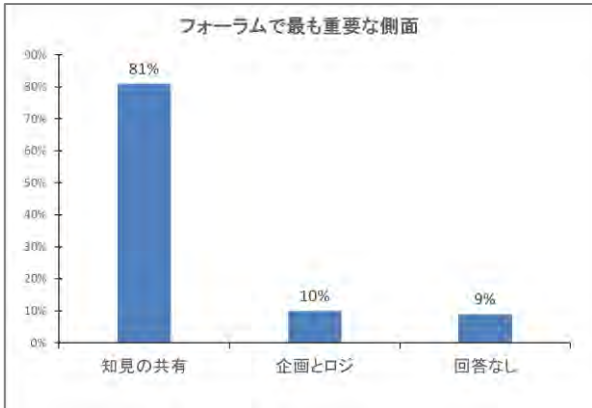
9. フォーラムで最も重要な側面に関して、記述式で回答を募った。(グラフ 9)

81%の回答者の記述内容は下記のとおり。

- 他国のプライマリーヘルスケアや家庭地域保健の進捗を知ることができた。
- 各国の保健モデル、現状と保健モデルと実務経験からのギャップを感じた。
- 保健モデルに基づいた、活動を進めるための住民参加と組織化を進めており、知見の共有を図ることができた。
- コミュニティ戦略に関して、住民参加度の高い活動の経験を共有することができた。

また、10%の回答者は、フォーラムの企画やロジスティックスに関して優れており、専門的レベルが高く、参加者の間で調和の雰囲気広がっていたと答えた。9%は無回答であった。

グラフ 8

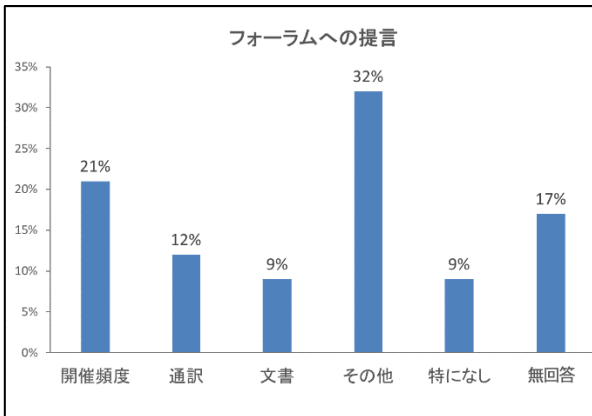


10. フォーラムへの提言として次のような意見があった。(グラフ 10)。

- 同フォーラムは、より頻繁に実施されるべきである。(21%)
- フォーラムの主要言語を話さない講演者が参加した場合に通訳を付けたほうが良い(12%)
- フォーラムに関連する文書を提供すべきだ(9%)
- その他：
 - 情報交換のための Web サイトを作成する
 - このフォーラムで合意された、内容のフォローを行う
 - より多くの裨益者を招待する 等

特になし、または無回答は 17%であった。

グラフ 9



まとめ

本アンケート調査では、フォーラムの企画、ロジスティックス、テーマに関して、参加者の満足度は高かった。PHCに基づき、SDGs に焦点を当てた、各国の経験や好事例の共有する場となった。

家庭地域保健国際フォーラム参加者アンケート

匿名アンケート（質問 1～8 は該当する欄に X、質問 9, 10 はコメントを記入）

1. 性別： 男性 女性
2. 年齢：20～29 30～39 40～49 50～59 60以上
3. 就業場所：
本省 県レベル・SILAIS 支所・市レベル 病院

満足度:

4. フォーラム全般

非常に満足 満足 普通 少し不満 不満

5. フォーラムのテーマ

非常に満足 満足 普通 少し不満 不満

6. フォーラムの企画

非常に満足 満足 普通 少し不満 不満

7. フォーラム会場

非常に満足 満足 普通 少し不満 不満

8. 業務への活用

とても役立つ 役立つ 普通 役立たない まったく役立たない

9. フォーラムで重要な側面を記述してください

10. フォーラムに関して、提言があれば記入してください

ありがとうございました。第 2 日目グループワーク終了後に、グループのモデレーターに提出してください。

5. 活動写真



全国セミナー
対象地域以外の 17 SILAIS と
保健省技官が参加



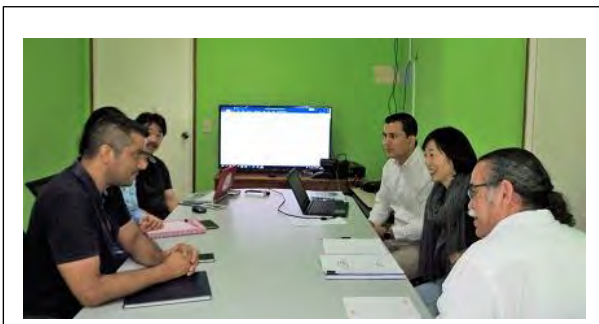
全国セミナー
開会の言葉を述べる
JICA ニカラグア事務所・名井所長



研修ファシリテーター養成研修
支所研修ファシリテーターと母子保健技術
委員会メンバー



研修ファシリテーター養成研修
ケーススタディをグループワークにて
取り組む



MINSA・JICA ニカラグア会議
SAMANI プロジェクトの
モニタリングに関して協議



4月に着任した社会奉仕の医師と看護師
SIL AIS チョンタレス



技術統合巡回指導 (ATI)
エル・ラマ支所
エル・レクレオ保健セクター



ESAFc 活動・月例会議
アコヤパ支所
エル・チナル保健セクター



支所審議会 (CTAM)
ムエジェ・デ・ロス・ブエセス支所



支所審議会 (CTAM)
サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所



ESAFc 活動
支所内の RC に
プロジェクトロゴ入り Tシャツを配布
フィガルパ支所



ESAFc 活動四半期評価
活動実績を確認し、好事例を共有
エル・コラル支所




2019年6月7日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 青木 恒憲 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤ・セントラル保健管区に
おける母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2019年5月分）

【受注者名】
業務主任者 中村 二郎 

標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. 第8回プロジェクト運営委員会¹

プロジェクトの2019年1～4月までのPDM指標及び主な活動の進捗評価、プロジェクト事業完了報告書（草案）の記述内容の確認、プロジェクト終了後の自立発展のための活動計画立案を目的として、運営委員会を開催した。

1) 参加者、日時、場所

参加者：計64人（以下、内訳）

- ・ 両SILAIS（14人）、14支所（37人）、地域病院・第1次病院（2人）
- ・ 保健省保健サービス総局 [DGSS]（2人）
- ・ JICAニカラグア事務所（3人）
- ・ プロジェクト（6人：専門家、テクニカルアシスタント、秘書）

日時：2019年5月28日午前8時30分～午後4時

場所：チョンタレス県ファイガルパ市、Hotel La Quinta 会議場

2) 運営委員会アジェンダ（各項目の進捗は、本文各項目に記載）

- ① 第7回半期評価会・ワークショップ（2019年2月26～27日実施）合意事項進捗確認
- ② 2019年1～4月のPDM指標達成状況
- ③ ESAFC活動の四半期評価結果
- ④ 医療従事者向け9項目研修の進捗確認
- ⑤ プロジェクト事業完了報告書（草案）の確認
- ⑥ プロジェクト終了後の自立発展のための活動計画立案

¹ プロジェクト活動の進捗状況を確認するため、毎年5月と11月に開催している。

3) PDM 指標の達成状況 (2019 年 1 月～4 月)

PDM3 の指標に基づき、上位目標、プロジェクト目標と成果の達成状況を確認した。その結果は添付資料①のとおりである。

第 7 回半期評価会で 2018 年の指標を確認した際、プロジェクト目標 4「1～4 歳の 1 回目乳幼児健診を受ける割合」が目標値に達していなかった。これについて、本運営委員会において 2018 年と 2019 年 1 月～4 月の指標を比較し、両 SILAIS とも達成に至らなかったことを確認した。他の指標については、達成されていた。プロジェクト目標 4 の今後の取り組みについて現状を分析し、①ES AFC のカルテへの記録漏れ、②データ登録の記述間違い、③保健施設での乳幼児に対するサービスが、傷病の治療や検査にとどまり、利用者は乳幼児健診の機会を失っている、などの課題を確認した。その改善にむけ、ES AFC は、①乳幼児のデータ登録方法について自己評価すること、②ワクチン接種台帳から未実施者をリストアップし探すこと、③母親や家族へ乳幼児健診の必要性を説明していくこと、④支所による ES AFC の乳幼児健診数の目標達成状況およびデータ登録状況を毎週モニタリングしていく等の行動計画を立案した。

4) プロジェクト終了後の自立発展のための活動計画立案

活動計画に盛り込む内容として、主な合意事項は以下のとおりであった。

- ① 保健セクター活動の継続による、乳幼児健診の強化
- ② 妊産婦管理台帳のモニタリングによる、産前・産後および新生児健診の強化
- ③ 技術統合巡回指導の継続と、それによる PDCA サイクル手法の実施
- ④ 3 か月ごとの ES AFC 活動評価の実施
- ⑤ SILAIS/支所技術審議会の継続
- ⑥ レファラル・カウンターレファラル委員会の継続
- ⑦ 母子保健技術委員会の継続
- ⑧ 医療従事者への研修
- ⑨ 年 2 回の機材稼働モニタリングの実施
- ⑩ 保健省本省による両 SILAIS 活動進捗フォロー。モニタリングシートの作成、プロジェクト指標および活動のモニタリング

5) 第 8 回運営委員会合意事項

今回の主な新規合意事項および、再確認した第 7 回半期評価会・ワークショップでの合意事項は以下のとおりであった。

【研修】

2019 年 5～7 月にかけて、新たに配属される社会奉仕の医師・看護師及び新規に雇用契約される准看護師候補生に対して、研修プログラムを実施する（前回合意の再確認）。

【母子管理】

- ① 保健セクターは、毎週金曜日午前中に母子保健管理台帳情報を支所に届け、午後 4 時までに SILAIS へ更新したデータを連絡する（前回合意の再確認）。
- ② 支所は、マタニティホーム入居者情報を毎日 SILAIS へ連絡する（新規合意）。

【データ管理統計】

各支所の統計データ担当者は、巡回指導に参加し、データを正確に記録し分析しているか確認する（前回合意の再確認）。

【技術統合巡回指導】

第 7 回半期評価会・ワークショップで定めた実施基準を順守する（前回合意の

再確認)。

【ESAFIC 活動】

- ① 支所幹部はモニタリングをとおして、ESAFIC 活動の実施を維持する（新規合意）。
- ② SILAIS は、支所が 3 か月ごとに実施する ESAFIC 活動評価に、同席する（新規合意）。
- ③ 各支所長は、ESAFIC 活動項目 7「保健セクターの基本活動を計画・実施する」について、第 7 回半期評価会・ワークショップで定めた活動をフォローする（前回合意の再確認）。

1-2. 全国 17 SILAIS におけるカスケード研修

1) カスケード研修

プロジェクト対象外の全国 17 SILAIS は、4 月に全国セミナーで共有された SAMANI プロジェクトの成果（効果的な活動手法、好事例等）を各管轄地域内に普及するため、カスケード方式による研修を開始した。研修進捗状況は、表 1 のとおり。これまでに 17 SILAIS 中 8 SILAIS が、支所代表者に対する研修を終了させた。また、研修が終了した各支所では、ESAFIC に対する研修が計画されている。残りの SILAIS に対しても、DGSS は研修の計画と実施に関するモニタリングを継続している。

表 1 17 SILAIS 研修実施状況

	マサヤ	グアナダ	カラソ	リバス	エステリ	マタガルバ	ヒノテガ	マドリス	ヌエバ・セゴ ピヤ	ビルウイ	ミナス	ラウラス	リオ・サン フアン	ボアコ	レオン	チナンティガ	マナグア
支所数	9	4	8	10	6	14	8	9	12	3	5	7	6	6	10	13	9
研修責任者	ウイメル ベラタ	ラファエル グティエレス	エルバ タピア	マルベル ピディア	ロウルデス ブランドン	フランシスコ バジェ	ハイメ メテイナ	エスマラダ ゴンザレス	カルロス アコスタ	ロランド セビージャ	エルバ パレラ	パネサ バルデス	ランダル オリバス	サルバドール グスマン	イバニア ライネス	マリツサ モリーナ	ガブリエラ モラレス
計画	14/05/2019	25/04/2019	25/04/2019	26/04/2019	26/04/2019	24/04/2019	25/04/2019	23/04/2019	24/04/2019	24/04/2019	14/05/2019	25/04/2019	23/04/2019	10/05/2019	15/05/2019	15-16/05/2019	26/04/2019
実施		25/04/2019			26/04/2019	21/05/2019	25/04/2019	27/04/2019	29/04/2019				24/05/2019	24/05/2019		16/05/2019	

■ 対象全支所代表者に対する研修終了

■ 研修実施中

1-3. 対象 14 支所における医療従事者研修

1) 9 項目研修プログラム

SIL AIS チョントレスと SIL AIS セラヤ・セントラルにおけるカスケード方式による研修進捗状況は表 2・表 3 のとおりである。SIL AIS チョントレスでは、10 支所中 2 支所が 9 項目研修を終了した。また、研修が計画通りに進まなかった項目の再計画立案に関し、SIL AIS は支所をモニタリング中である。SIL AIS セラヤ・セントラルでは、1 支所が研修を開始した。

表 2 SILAIS チョンタレス研修実施状況

研修項目	アコヤバ	コマラバ	クアバ	エル・アヨチ	ファイガルバ	ラ・リベルタ	サン・ベドロ・デ・ロバゴ	サント・ドミンゴ	サント・トマス	ビジャ・サン・ティノ
研修受講者予定数	8人	8人	5人	7人	8人	6人	2人	3人	8人	2人
研修時間帯	午後1-5時	午前8時-午後1時	午後1時30分-5時	午前8-12時 午後1-5時	午前8-12時 午後1-5時	午前8-12時 午後1-5時	午後1-4時	午前8-12時 午後2-5時	午後1-5時	午後1-5時
妊産婦管理台帳	5月23日	4月29日	5月15日	5月17日	5月14日	5月13日	5月23日	5月16日	5月9日	5月16日
産前健診	6月13日	5月17日	5月22日	5月17日	5月14日	5月13日	6月6日	5月9日	5月16日	5月23日
妊娠高血圧症候群	5月16日	5月13日	5月29日	5月17日	5月14日	5月13日	5月23日	5月23日	5月23日	6月4日
産後出血	5月16日	5月13日	6月5日	5月24日	5月15日	5月13日	6月20日	5月30日	5月29日	6月11日
乳幼児健診	6月6日	5月17日	6月12日	5月24日	5月15日	5月13日	5月16日	6月13日	4月25日	6月18日
ヘルスプロモーション	5月23日	5月17日	6月19日	6月6日	5月14日	5月13日	8月1日	6月13日	6月6日	5月29日
ESAFIC活動ガイド	6月13日	5月17日	6月21日	5月31日	5月15日	5月13日	6月13日	6月13日	4月25日	6月11日
感染症対策	5月23日	5月17日	6月26日	6月14日	5月14日	5月13日	8月19日	6月26日	6月6日	5月29日
緊急時のレファラル	6月13日	5月13日	6月26日	6月14日	5月15日	5月13日	8月15日	6月20日	6月6日	6月4日

対象者全員に対する研修終了

研修実施中

表 3 SILAIS セラヤ・セントラル研修実施状況

SILAIS支所	ヌエバ・ギネア	エル・ラマ	ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス	エル・コラル	
研修受講者数	25人	26人	14人	5人	
研修項目	妊産婦管理台帳	6月6日	5月27日	6月6日	6月5日
	産前健診	6月7日	6月3日	6月13日	6月12日
	妊娠高血圧症候群	6月27日	6月10日	6月20日	6月19日
	産後出血	6月27日	6月10日	6月20日	6月19日
	乳幼児健診	6月28日	6月17日	6月27日	6月26日
	ヘルスプロモーション	6月7日	6月3日	6月13日	6月12日
	ESAFIC活動ガイド	6月6日	5月27日	6月6日	6月5日
	感染症対策	6月28日	6月17日	6月27日	6月26日
	緊急時のレファラル	6月27日	6月10日	6月20日	6月19日

対象者全員に対する研修終了

研修実施中

- 計画
- ① 両 SILAIS は、各支所が保健セクターの医療従事者を対象に開催する研修をスーパーバイズする。
 - ② 各支所は、研修事前・事後テストの結果、研修プログラムに基づき、自己学習、再研修が必要な受講者をフォローしていく。

1-4. ESAFC 活動

1) 四半期進捗評価

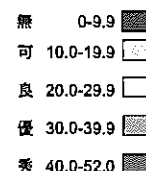
両 SILAIS による 2019 年 1 月～3 月の四半期評価が終了した。その結果は、表 4 のとおりであった。両 SILAIS の 14 支所で ESAFC 活動は継続され、着実に活動が進捗していることが確認できる。

表 4 ESAFC 活動四半期評価結果

SILAIS チョンタレス		アコヤバ	コマラバ	クアバ	エル・ア ヨテ	フィガル バ	ラ・リベ ルタ	サン・ペド ロ・デ・ロハ コ	サント・ド ミンゴ	サント・ト マス	ビジャ・サン ディーノ	平均点
2017年	6月	17.5	13.1	23.4	17.0	4.2	14.7	14.5	33.6	16.5	11.8	16.6
	9月	36.2	32.2	26.0	33.4	22.0	20.8	16.7	32.4	23.5	16.3	25.9
	12月	40.0	41.0	35.0	36.8	36.2	30.8	25.8	47.2	29.5	32.7	35.6
2018年	3月	44.3	47.3	37.8	45.5	36.5	41.4	40.2	45.8	40.3	34.3	41.3
	6月	42.1	42.8	45.2	50.1	31.5	32.9	41.5	48.8	33.1	29.2	39.7
	9月	44.9	49.9	41.8	50.5	34.5	30.0	45.0	43.4	44.4	32.7	41.7
2019年	3月	49.1	51.0	49.2	50.3	50.2	42.6	43.7	44.8	50.1	47.3	47.9
	6月	49.9	49.2	51.8	50.3	49.8	48.7	48.8	48.0	49.3	48.2	49.4

SILAIS セラヤ・セントラル		エル・コ ラル	エル・ラ マ	ムエン デ・ロス・ブ エシエス	ヌエバ・ ギネア	平均点
2017年	6月	17.8	12.5	19.2	20.9	17.6
	9月	21.8	22.5	29.6	30.2	26.0
	12月	33.0	34.8	32.4	46.3	36.6
2018年	3月	44.4	38.8	35.7	45.5	41.1
	6月	38.0	47.5	29.6	28.3	35.9
	9月	49.2	47.5	48.6	48.3	47.7
2019年	3月	48.8	49.1	48.9	49.0	48.9
	6月	51.2	49.4	51.0	51.0	50.7

四半期平均点 (0-52.0)
17.6
26.0
36.6
41.1
35.9
47.7
48.9
50.7



計画 ① 両 SILAIS および各支所は、ESAFc 活動を継続する。

1-5. 技術統合巡回指導

1) 巡回指導の現状

両 SILAIS では技官による巡回指導を継続している。PDM 指標成果 3-1 「技術統合巡回指導」、同 3-2 「技術審議会への同席」の支所の実施状況と SILAIS の同行回数は、表 5 のとおりであった。

表 5 支所の巡回指導と SILAIS の同行回数 (2019 年 5 月)

支所の 活動	特 徴	チョンタレス		セラヤ・セントラル	
		支所 実施数	SILAIS 同行回数	支所 実施数	SILAIS 同行回数
技術統合 巡回指導	保健セクターを訪問。活 動をモニタリング・指導 し、改善に取り組む	6 支所 11 保健 セクター	1 支所 1 保健 セクター	4 支所 20 保健 セクター	3 支所 3 保健 セクター

支所の技術審議会(CTAM)開催	保健セクターの医療チームが出席する支所レベルの技術審議会	10 支所	4 支所	4 支所	4 支所
------------------	------------------------------	-------	------	------	------

4 月より引き続き予防接種キャンペーンにより、当初の活動計画遂行に支障が生じている。

2) 統計データの質管理評価

両 SILAIS は、統計データの質管理のための「正確な分析についての評価」を実施した。評価結果は表 6 とおりであった。

表 6 統計データの質管理評価結果

SILAIS	統計データの質管理評価実施場所	評価結果
チョンタレス	サント・トマス支所サンティアゴ保健セクター	80.2%
	サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所市街地 A 保健セクター	64.5%
セラヤ・セントラル	エル・コラル支所市街地保健セクター	100%
	ラマ支所ラス・ラパス保健セクター	100%

SILAIS チョンタレスの担当者が同行した今回の評価では、カルテの記述に不備があったほか、カルテと傷病登録用紙の記載データの不一致がみられた。これらに対して、正しい記述方法について OJT で指導している。

- 計画** ① 両 SILAIS 及び各支所は、技術統合巡回指導、CTAM の実施と SILAIS の同席を継続する。

1-6. レファラル・カウンターレファラル

1) 両 SILAIS レファラル・カウンターレファラル委員会

今回のレファラル・カウンターレファラル委員会では、2019 年 1 月に実施した委員会合意事項の進捗確認、両 SILAIS のレファラル・カウンターレファラル指標（2019 年 1~4 月）の発表、共有された SILAIS ポアコと SILAIS 南カリブ海沿岸自治区のレファラル・カウンターレファラルのフロー図の分析を主に行った。委員会ではこれらの結果をふまえて協議を行い、10 項目を合意した。以下にその要点をまとめる。

【合意事項】

- ① 両 SILAIS は、毎月 SILAIS 技術審議会および保健サービス課技術審議会においてレファラル・カウンターレファラル指標 12 項目の分析を行う。その責任者は両 SILAIS のレファラル・カウンターレファラル担当技官および保健サービス課長とする。
- ② 各 SILAIS 保健サービス課は、コミュニティネットワークが関わるレファラル・カウンターレファラル指標 4 項目（指標 3, 4, 5, 10）の報告書を支所が毎月 SILAIS へ提出することを指示する。
- ③ 次回、両 SILAIS はレファラル・カウンターレファラル委員会を 6 月に開催する。その議題は、省令 11 号、省令 77 号、省令 109 号の分析および、産科搬送における救急と非救急の識別状況を改善するための基準（救急と非救急の定義）の策定とする。
- ④ 支所が地域病院の外来へレファラルする際には、患者にレファラル用紙を 2

枚渡し、持参させる。1枚はカルテに、もう1枚は、病院の統計課へ保存するためである。

- ⑤ 支所は、レファラル台帳 (Excel 版) にコミュニティからのレファラルを毎月記録し、SILAIS 統計課へ送付する。
- ⑥ 両 SILAIS のレファラル・カウンターレファラル委員会は、SILAIS にとって重要なレファラル症例について分析を行う。
- ⑦ SILAIS チョントレス保健サービス課長は、DGSS 総局長と周辺 5 SILAIS (ボアコ、リオ・サン・ファン、南カリブ海沿岸自治地域、チョントレス、セラヤ・セントラル) 及び地域病院との広域レファラル・カウンターレファラル会議を開催するための調整を行う。
- ⑧ 周辺 5 SILAIS と地域病院間で開催する第 2 回レファラル・カウンターレファラル会議では、3 SILAIS (ボアコ、リオ・サン・ファン、南カリブ海沿岸自治地域) が、他 SILAIS の病院へ患者を搬送した際に記載したレファラル台帳の内容を発表する。
- ⑨ 両 SILAIS のレファラル・カウンターレファラル委員会は、SILAIS 南カリブ海沿岸自治地域と SILAIS ボアコに対し、各 SILAIS で作成するレファラル・カウンターレファラル業務フロー図に他 SILAIS との関連を含めることを助言する。
- ⑩ 両 SILAIS のレファラル・カウンターレファラル委員会は、周辺 SILAIS とのレファラル・カウンターレファラル委員会で、各 SILAIS がレファラル・カウンターレファラル指標 12 項目を発表できるよう調整する。

計画 ① 両 SILAIS のレファラル・カウンターレファラル委員会の活動を継続する。

1-7. 運營業務

1) プロジェクト終了後のモニタリング方法

JICA ニカラグア事務所よりプロジェクト成果の持続性を高めるために、プロジェクト終了後、保健省と JICA ニカラグア事務所による活動モニタリングの実施が提案され、保健省保健サービス総局 (DGSS) と対外協力局 (DCE) により、プロジェクト終了後の自立発展のための活動計画草案が作成された。活動計画草案は、第 8 回運営委員会にてその内容が確認され、承認に至った。

2) プロジェクト事業完了報告書及びプロジェクト活動報告書² (西語版)

- ① 業務計画書どおり、4 月末にプロジェクト事業完了報告書 (和文草案) を JICA 本部及び JICA ニカラグア事務所へ提出した。
- ② 両 SILAIS とプロジェクト活動報告書 (西語版) を作成し、保健省サービス総局での最終確認作業中である。

計画 ① 報告書 and 文草案に対する修正指示等への対応と清書版の作成作業を行う

- ② プロジェクト活動報告書 (西語版) について、保健サービス総局での確認を終了し、印刷、配布する。

² 事業完了報告書とは別にプロジェクトと両 SILAIS で作成した SAMANI プロジェクトの好事例集をまとめた報告書を西文で作成した。

2. 主な活動日程

【5月】

- 6日：SILAIS チョントレス保健サービス審議会（CTSS）、SILAIS チョントレス技術審議会（CTOD）、サンペドロ・デ・ロバゴ支所 ESAFC 活動四半期評価、ヌエバ・ギネア支所エル・ベルドゥン保健セクター技術統合巡回指導
- 10日：ヌエバ・ギネア支所技術審議会（CTAM）
- 13日：SILAIS チョントレス保健サービス審議会（CTSS）、SILAIS チョントレス技術審議会（CTOD）
- 13～14日：エル・ラマ支所 ESAFC 活動四半期評価
- 15日：SILAIS チョントレス技術審議会（CTAD）
- 16日：サント・ドミンゴ支所技術審議会（CTAM）
- 17日：両 SILAIS レファラル・カウンターレファラル委員会、JICA ニカラグア事務所・保健省 DGSS 及び DCE 会議、SILAIS セラヤ・セントラル保健サービス審議会（CTSS）、中村二郎（総括／地域保健）専門家 JICA 本部帰国報告
- 20日：SILAIS チョントレス保健サービス審議会（CTSS）、SILAIS チョントレス技術審議会（CTOD）、エル・コラル支所コロニア・リオ・ラマ保健セクター技術統合巡回指導
- 21～22日：ヌエバ・ギネア支所 ESAFC 活動四半期評価
- 23日：ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所 ESAFC 活動四半期評価
- 24日：アコヤパ支所サン・フェリペ保健セクター会議
- 27日：SILAIS チョントレス技術審議会（CTAD）、渡辺咲子（副総括／地域保健／業務調整）専門家着任
- 28日：第8回プロジェクト運営委員会
- 31日：JICA ニカラグア事務所報告、石原尚子（母子保健）専門家離任

3. 今後の予定

【6月】

- 7日：渡辺咲子（副総括／地域保健／業務調整）専門家離任

4. 添付資料

添付資料① PDM 指標の達成状況（2019年1月～4月）

5. 活動写真

別添のとおり

6. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

PDM Versión 3 指標評価結果 (評価期間: 2019年1~4月)

チョンタレス保健管区およびセラヤセントラル保健管区における母と子どもの健康プロジェクト

目標と成果	指標	SILAIS	分母	分子	結果	結果	
上位目標 チョンタレス保健管区とセラヤ・セントラル保健管区の母子の健康が改善される。	1. 対象地域における2011年から2014年までの期間の妊産婦死亡比平均70.8(出生10万対)が、2018年から2021年の期間で低下する。	チョンタレス	1,022	0	0.0	両SILAISともに、目標値に達成済み。	
		セラヤ・セントラル	926	0	0.0		
		両SILAIS	1,948	0	0.0		
	2a. 対象地域における2014年の乳児死亡率14.1(出生千対)が低下する。	チョンタレス	1,022	13	12.7	両SILAISともに、目標値に達成済み。	
		セラヤ・セントラル	926	3	3.2		
		両SILAIS	1,948	16	8.2		
	2b. 対象地域における2014年の5歳未満児死亡率15.8(出生千対)が低下する。	チョンタレス	1,022	13	12.7	両SILAISともに、目標値に達成済み。	
		セラヤ・セントラル	926	3	3.2		
		両SILAIS	1,948	16	8.2		
	3. 対象地域で(5歳未満の)慢性栄養不良児の割合が10.5%から低下する。	チョンタレス	17,695	1,473	8.3	両SILAISともに、目標値に達成済み。	
		セラヤ・セントラル	15,087	674	4.5		
		両SILAIS	32,782	2,147	6.5		
プロジェクト目標 対象地域において妊産婦と2歳未満児を対象とする質の高い保健医療サービスがより利用される。	1. 対象地域で、妊婦が1回目の産前健診を妊娠初期12週以内に受診する割合が2014年の65.5%(ベースライン)から2018年(エンドライン)に上昇する。	チョンタレス	1,442	1,105	76.6	両SILAISともに、目標値に達成済み。	
		セラヤ・セントラル	1,432	1,006	70.3		
		両SILAIS	2,874	2,111	73.5		
	2. 分娩施設で現在有効な分娩3期ケアと出産直後の新生児ケアの質の指標を満たす割合が2015年の59.5%(ベースライン)から2018年の80.0%(エンドライン)に上昇する。	チョンタレス	98.7	96.1	97.4	両SILAISともに、目標値に達成済み。	
		セラヤ・セントラル	89.6	88.9	89.3		
		両SILAIS	94.2	92.5	93.3		
	3. 対象地域で中期(産後2~10日)産後健診の受診率が2014年の77.4%(ベースライン)から2018年(エンドライン)に上昇する。	チョンタレス	1,253	1,170	93.4	両SILAISともに、目標値に達成済み。	
		セラヤ・セントラル	1,142	973	85.2		
		両SILAIS	2,395	2,143	89.5		
	4. 対象地域で1~4歳の1回目乳幼児健診を受ける割合が2014年の47.5%(ベースライン)から2018年の58.5%(エンドライン)に上昇する。	チョンタレス	5,420	3,115	57.5	両SILAISともに、目標値に達しなかった。	
		セラヤ・セントラル	4,944	2,678	54.2		
		両SILAIS	10,364	5,793	55.9		
	5. 対象地域で、施設分娩のためにマタニティホームに宿泊した農村地域の妊婦の割合が2015年(ベースライン)の42.1%から2018年の50.0%(エンドライン)に上昇する。	チョンタレス	496	365	73.6	両SILAISともに、目標値に達成済み。	
		セラヤ・セントラル	888	610	68.7		
		両SILAIS	1,384	975	70.4		
	成果 1. 妊産婦と2歳未満児を対象とする医療施設でのサービス提供能力が強化される。	1-1. 保健施設で現在有効な2歳未満児へのケアの質の指標を満たす割合が2014年の46.3%から2018年の60.0%に上昇する。	チョンタレス			72.0	両SILAISともに、目標値に達成済み。
			セラヤ・セントラル			88.8	
			両SILAIS			80.4	
1-2. 保健施設で現在有効な産前ケアの指標を満たす割合が2014年の46.2%から2018年の60.0%に上昇する。		チョンタレス			81.3	両SILAISともに、目標値に達成済み。	
		セラヤ・セントラル			89.1		
		両SILAIS			85.2		
1-3. レファラル・カウンターレファラル省令を満たす形で支所から病院へ緊急レファラルされた妊産婦及び2歳未満児のレファラル台帳の記録が80%の割合で一致する。		チョンタレス	873	730	83.6	目標値の平均は、達成済みだが、SILAISセラヤ・セントラルは未達成。	
		セラヤ・セントラル	261	201	77.0		
		両SILAIS	両SILAISの平均		80.3		
1-4. レファラル・カウンターレファラル省令を満たす形で病院から支所へカウンターレファラルされた妊産婦及び2歳未満児のレファラル台帳の記録が70%の割合で一致する。		チョンタレス	953	836	87.7	両SILAISともに、目標値に達成済み。	
		セラヤ・セントラル	221	199	90.0		
		両SILAIS	両SILAISの平均		88.9		

2. 妊産婦と2歳未満児の健康に関するコミュニティ活動が強化される。	2-1. 対象地域において、100%のESAFCが住民参加型保健強化手法を用いて、活動計画を策定・実施する。	チョンタレス	87	87	100.0	161保健セクターにESAFC活動ガイドを導入して、2017年6月の最初の評価の32.5%からほぼ100%に到達した。
		セラヤ・セントラル	74	74	100.0	
		両SILAIS	161	161	100.0	
	2-2. コミュニティネットワークのイニシアチブの合意として実施された活動数が増加する。	チョンタレス	87	84	96.6	
		セラヤ・セントラル	74	74	100.0	
		両SILAIS	161	158	98.1	
	2-3. 全てのセクターにおいて、ESAFCはコミュニティとともに分析や反映を行う。	チョンタレス	87	81	93.1	
		セラヤ・セントラル	74	74	100.0	
		両SILAIS	161	155	96.3	
3. 妊産婦と2歳未満児の健康に関するSILAISの行政能力が強化される。	3-1. SILAISの技術統合巡回指導（妊産婦管理台帳と予防接種台帳における妊産婦及び2歳未満児のケアに関するデータの正確な記録と分析、プロジェクトが実施した研修のフォロー）を受ける支所の数が増加する。	チョンタレス	13	13	100.0	全く実施されていないゼロから始まった活動は、増加し定着している。しかし、支所数の多いSILAISチョンタレスは2か月で全10市の技術統合巡回指導と情報分析会議の同席に活動を修正した。
		セラヤ・セントラル	8	15	187.5	
		両SILAIS	21	28	133.3	
	3-2. 全支所は、毎月ESAFCとSILAISが同席し、妊産婦及び2歳未満児のケアに関する活動方針を決める情報分析会議を実施する。	チョンタレス	20	20	100.0	
		セラヤ・セントラル	16	12	75.0	
		両SILAIS	36	32	88.9	
	3-3. 妊婦と2歳未満児に関する情報を正確に記録し、分析する第1次保健施設の割合が増加する。	チョンタレス	4	2	50.0	
		セラヤ・セントラル	10	10	100.0	
		両SILAIS	14	12	85.7	

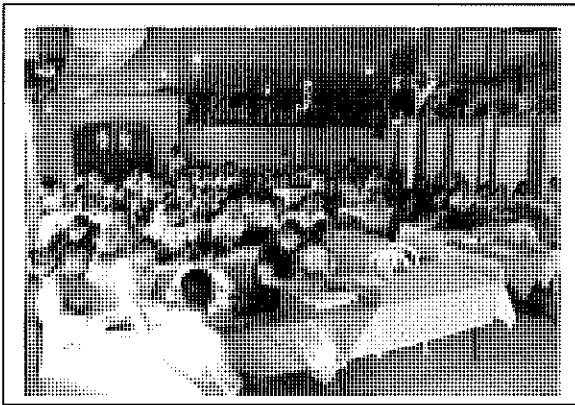
5. 活動写真



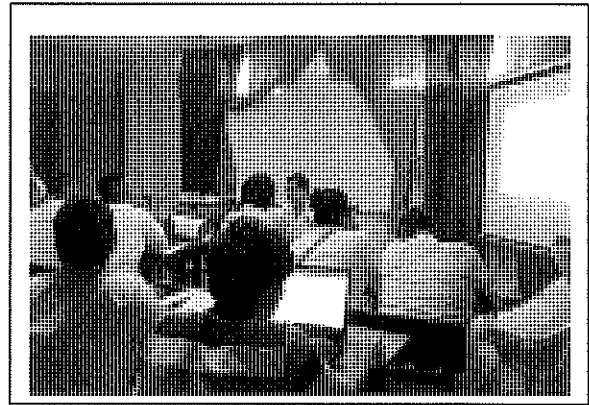
第8回運営委員会
手前右は、C.クルス DGSS 総局長



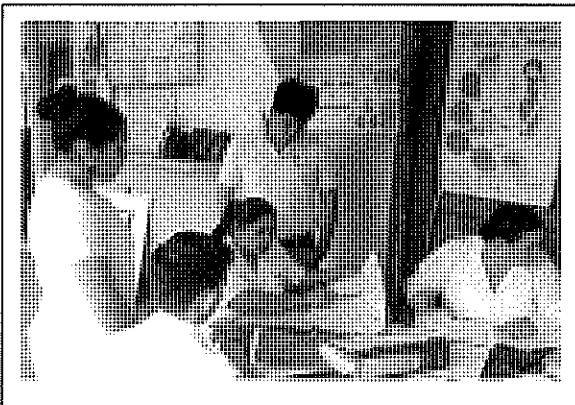
第8回運営委員会
発表する D.シリアス SILAIS チョントレス
局長



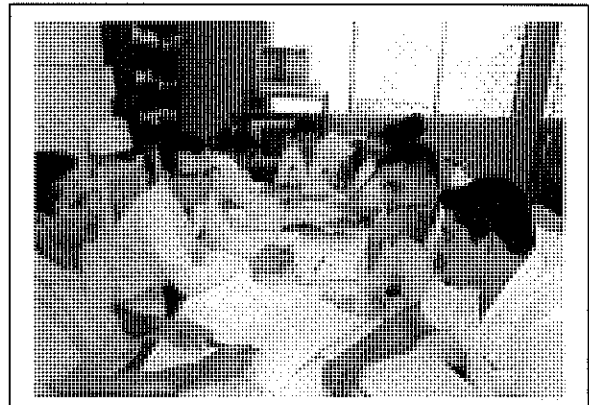
第8回運営委員会
保健省本省、両 SILAIS、
JICA ニカラグア事務所が参加



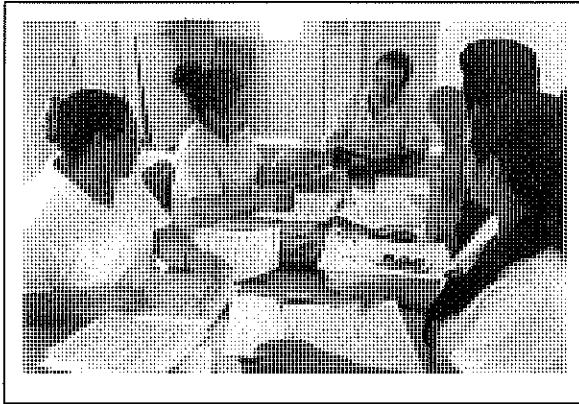
支所審議会 (CTAM)
ヌエバ・ギネア支所
SIL AIS セラヤ・セントラル



技術統合巡回指導
エル・ベルドゥン保健セクター
ヌエバ・ギネア支所
SIL AIS セラヤ・セントラル



ESAF C 活動四半期評価
サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所
SIL AIS チョントレス



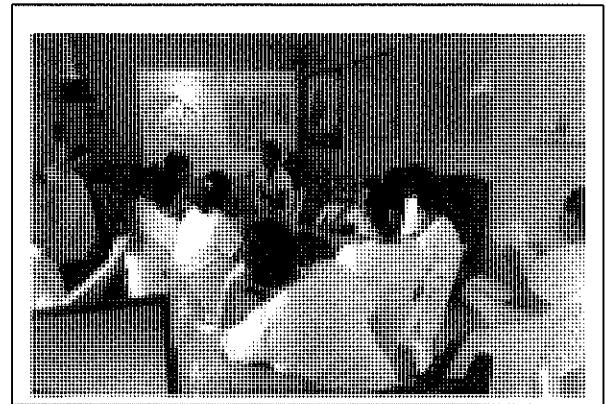
ESAFc 活動四半期評価
エル・ラマ支所
SILAIS セラヤ・セントラル



ESAFc セクター会議
アコヤバ支所
サン・フェリペ保健セクター
会議後、RC メンバーと母の日を祝う



全国セミナー後のカスケード式研修
SILAIS マドリス
支所関係者へ SAMANI プロジェクトの
好事例について説明



全国セミナー後のカスケード式研修
ハラバ支所
SILAIS ニエバ・セゴビア
ESAFc 関係者へ SAMANI プロジェクトの
好事例について説明

監督職員




2019 年 7 月 19 日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 青木 恒憲 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤ・セントラル保健管区に
おける母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2019年6月分）

【受注者名】
業務主任者 中村 二郎 

標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

6月7日の副総括の離任を持って、日本人専門家の現地業務は終了した。2019年5月に実施した第8回プロジェクト運営委員会の合意に基づき、プロジェクト現地活動のモニタリングを実施した。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. 対象 14 支所における医療従事者研修

両 SILAIS では、4 月から新たに配属された社会奉仕活動の研修医・看護師及び新規に契約された准看護師に対するカスケード方式による研修を実施している。SILAIS チョンタレスでは、10 支所中 5 支所、SILAIS セラヤ・セントラルは、4 支所すべてで、9 項目研修を終了した。進捗状況は表 1・表 2 のとおりである。

表 1 SILAIS チョンタレス研修実施状況

研修項目	アコバ	コロン	グアタ	エル アソ	サントスピリ ト	サンタフェ	サンタクル ス	サンタクル ス	サンタクル ス	サンタクル ス
研修実施者数	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人
研修実施日	5月10日	5月10日	5月10日	5月10日	5月10日	5月10日	5月10日	5月10日	5月10日	5月10日
研修実施時間	1時間	1時間	1時間	1時間	1時間	1時間	1時間	1時間	1時間	1時間
研修実施場所	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室
研修実施者	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室
研修実施者数	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人
研修実施日	5月10日	5月10日	5月10日	5月10日	5月10日	5月10日	5月10日	5月10日	5月10日	5月10日
研修実施時間	1時間	1時間	1時間	1時間	1時間	1時間	1時間	1時間	1時間	1時間
研修実施場所	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室
研修実施者	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室
研修実施者数	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人
研修実施日	5月10日	5月10日	5月10日	5月10日	5月10日	5月10日	5月10日	5月10日	5月10日	5月10日
研修実施時間	1時間	1時間	1時間	1時間	1時間	1時間	1時間	1時間	1時間	1時間
研修実施場所	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室
研修実施者	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室	研修室

 対象者全員に対する研修終了

 研修実施中

表 2 SILAIS セラヤ・セントラル研修実施状況

SILAIS支所	ヌエバ・ギネア	エル・サウ	五エジエ・手・ ロス・プエジェ ス	エル・コラル
研修受講者数	24人	20人	14人	5人
研修項目	妊産婦管理台帳	0/20日	0/20日	0/20日
	産科健診	0/20日	0/20日	0/20日
	妊産婦高血圧症検出	0/20日	0/20日	0/20日
	産後出血	0/20日	0/20日	0/20日
	乳幼児健診	0/20日	0/20日	0/20日
	ヘルスプロモーション	0/20日	0/20日	0/20日
	ESAFG活動ガイド	0/20日	0/20日	0/20日
	産後産対策	0/20日	0/20日	0/20日
	開乳時のレファラル	0/20日	0/20日	0/20日

対象者全員に対する研修終了
 研修実施中

計画 ① SILAIS チョントレスにおけるカスケード研修をモニタリングする。

1-2. SILAIS による、技術統合巡回指導と CTAM 同席実績

各支所は、活動の進捗状況や母子保健データなどを基に、巡回指導を計画した。また、各 SILAIS は、支所の巡回指導計画と技術審議会 (CTAM) 開催計画を基に、優先順位をつけ、巡回指導の同行及び CTAM の同席計画を立案した。表 3 に支所の巡回指導と SILAIS の同行回数の実績を示す。

SILAIS チョントレスでは、6 月に 5 支所の CTAM 同席を計画したが、支所の計画の変更と、移動手段が確保できなかったことにより、3 支所のみの実施であった。SILAIS セラヤ・セントラルは、計画した 4 支所すべてで実施した。

表 3 支所の巡回指導と SILAIS の同行回数 (2019 年 6 月)

支所の活動	特徴	チョントレス		セラヤ・セントラル	
		支所実施数	SILAIS 同行回数	支所実施数	SILAIS 同行回数
技術統合巡回指導	保健セクターを訪問。活動をモニタリング・指導し、改善に取り組む	10 支所 25 保健セクター	2 支所 2 保健セクター	4 支所 11 保健セクター	4 支所 4 保健セクター
支所の技術審議会 (CTAM) 開催	保健セクターの医療チームが出席する支所レベルの技術審議会	10 支所	3 支所	4 支所	4 支所

SILAIS セラヤ・セントラルは、統計データの質管理のための「正確な分析についての評価」を 4 支所中 2 支所で実施した。SILAIS チョントレスでは、各支所の統計担当者が同評価を実施しているが、SILAIS からの同行はなかった。

1-3. レファラル・カウンターレファラル

6月28日に、エル・ラマ支所で両 SILAIS 合同のレファラル・カウンターレファラル委員会を開催した。主な議題は下記のとおりであった。

- ① 前回委員会の合意事項の確認。
- ② レファラル・カウンターレファラル省令に沿った2019年1～5月の指標の発表。
- ③ SILAIS チョントレスによる、レファラル・カウンターレファラルの質の指標分析。
- ④ 産科疾患の緊急時搬送の基準（緊急時搬送決定者に関して）。

また、本委員会での合意事項は下記のとおりであった。

- ① 緊急産科疾患のレファラルがあった場合は、レファラル元の保健セクターと移送先の病院の双方で症例検証を行い、SILAIS 及び支所へ報告する。SILAIS セラヤ・セントラル支所は、レファラルした日から15日以内に、SILAIS セラヤ・セントラルに報告をする。
- ② SILAIS チョントレス保健サービス課は、今回の会議で発表された妊娠高血圧症候群の第三者による症例検証を行い、次回のCTADで、その結果を共有する。
- ③ フイガルパ地域病院は、各支所、保健セクターが、早い段階からフォローできるように、ハイリスク産科疾患の入院患者を毎日、WhatsApp のメッセージで、両 SILAIS へ報告する。
- ④ フイガルパ地域病院は、SILAIS セラヤ・セントラルからレファラルされた患者数、カウンターレファラルする患者数、未回収のカウンターレファラル用紙数を WhatsApp のメッセージで SILAIS セラヤ・セントラルへ報告する。
- ⑤ 病院で患者の受け入れ準備を円滑にするため、SILAIS セラヤ・セントラルは、搬送前に緊急搬送される患者の情報を、地域病院幹部へ連絡する。
- ⑥ 次回の合同のレファラル・カウンターレファラル委員会は、7月25日とする。
- ⑦ 前回会議の合意事項で、完了しなかった項目に関して、両 SILAIS は、引き続きフォローをする。

1-4. 運營業務

1) プロジェクト事務所の閉鎖

2019年5月の運営委員会に基づき、6月末日をもって、SILAIS チョントレスのプロジェクト事務所、SILAIS セラヤ・セントラルのプロジェクト事務スペース、保健省保健サービス総局（DGSS）のプロジェクト事務室を閉鎖した。また、各事務スペースで保有していた事務機材は、2019年3月に開催したJCCの合意に基づき、各 SILAIS 及び DGSS へ供与した。同様にプロジェクト車両（2台）の移管手続きを進め、保健省へ引き渡した。車両登録の最終手続きは、JICA ニカラグア事務所と保健省対外協力局（DCE）間で取り交わされることになっている。主な供与事務機材リストは、添付資料①を参照。

- 2) プロジェクト事業完了報告書及びプロジェクト活動報告書（西語版）
ワークプランどおり、事業完了報告書の草案を JICA へ提出するとともに、西語版の作成を行い、保健省側から内容の確認を得た。
- 3) プロジェクト活動集の作成
プロジェクトは、両 SILAIS と共に、プロジェクトの好事例をまとめることを目的にプロジェクト活動集（西語版）を作成した。その構成は、①PDCA サイクルと用いた計画立案、活動実施、モニタリング評価、フィードバックのプロセス、②研修プログラム、③ESAFIC 活動ガイド、④レファラル・カウンターレファラルの4つの好事例である。また、成果品や教材リスト、指標や達成度なども含めた内容となっている。これを保健省本省、全国 19 SILAIS, プロジェクト対象 14 支所に配布した。

2. 主な活動日程

【6月】

- 5日：プロジェクト事務機材引き渡し（SILAIS チョントレス、SILAIS セラヤ・セントラル）
6日：プロジェクト車両引き渡し（保健省）
7日：JICA ニカラグア事務所・プロジェクト間会議、渡辺咲子（副総括／地域保健／業務調整）専門家離任

3. 添付資料

添付資料① プロジェクト事務所及び執務室閉鎖に伴う機材供与リスト

4. 活動写真

別添のとおり

5. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

以上

添付資料1. プロジェクト事務所機材供与リスト

供与先: 保健省総サービス局 (DGSS)

機材名	メーカー	型式	シリアス番号	利用頻度	管理状況
エアコン	GREE	LIVS24AC230V1BH	3117GS09634	A	A
カラープリンター	Epson	L120	TNUK247218	A	A
カラープリンター	Canon	MG3500	KJES71253	A	A

供与先: SILAISチョンタレス

機材名	メーカー	型式	シリアス番号	利用頻度	管理状況
ノートブックPC	TOSHIBA	satellite C55-C5208K	5f248645C	A	A
デスクトップPC	DELL	Optiplex3020	S/NBR-04RK1P-07591-3615-3nnm	A	A
プロジェクター	EPSON	PX24+	S/NVA9K530268	B	A
コピー機	Xerox	workcentre3655x	ise4811-fax4ki+	A	A
複合型プリンター	EPSONL555	C463B	TIDPC4-12-0925	A	A
事務用椅子				A	A
事務用椅子				A	A
事務用椅子				A	A
事務用椅子				A	A
事務用机				A	A
事務用机				A	A
事務用机				A	A
事務用机				A	A
事務用棚 引出付				A	A
事務用棚 金庫付				A	A
ホワイトボード 48x60				A	A
コルボード 48x48				A	A
ホワイトボード 48x60				A	A
ホワイトボード				A	A
プリンター用USB				A	A
パソコン用USB				A	A
コピー機用USB				A	A
メタル 書類棚				A	A
メタル 書類棚				A	A
メタル 書類棚				A	A
メタル 書類棚				A	A
本棚 (大)				A	A
本棚 (小)				A	A
	TRIPP-LITE	AVR750U	2502AVOM879DO3703	A	A
	FPC	UPS 1880		A	A

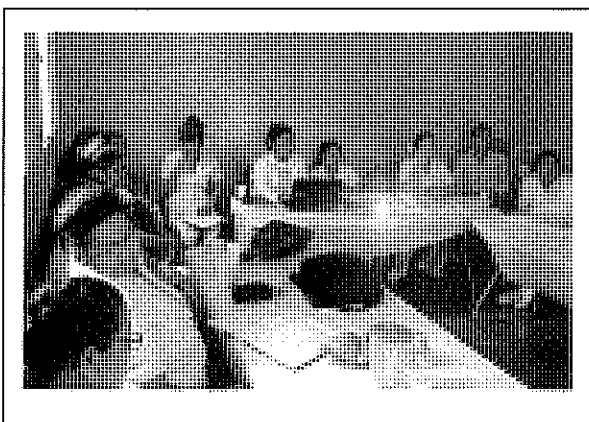
機材名	メーカー	型式	シリアス番号	利用頻度	管理状況
	Moltech 120 v	ER-10x16		A	A
	Levinton	1K3401		A	A
	Moltech 120 v	ER-10x16		A	A
	Aluminium			A	A
				A	A
	Levinton	1K3401		A	A

供与先: SILAISセラヤ・セントラル

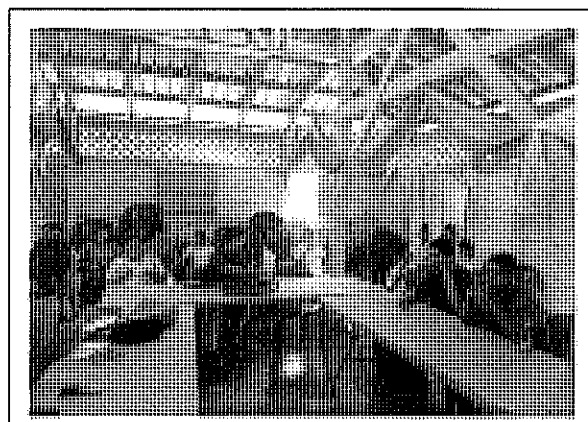
機材名	メーカー	型式	シリアス番号	利用頻度	管理状況
カラープリンター	Epson	C463C	W98Y044226	A	A
パソコン用USB				A	A
デジタルカメラ	SONY	cyber-shot DSC-W830	S01-5219073-D	A	A
事務用椅子				A	B
シュレッター	Fellowes	POWERSHERD75Cs	75Cs180926A A0007747 CRC 46757	A	A
パソコン用スピーカー	Logitech	z313	PID A504	A	A
コーヒーメーカー	DURABRAND	DK30N	4.89703E+12	A	A
ノートブックPC	Toshiba	SatelliteC55-b116km	1f257729p	A	A
デスクトップPC	DELL	DellE1912H	VA9K5302613	A	A
プロジェクター	EPSON	POwerliteX24	S/NVA9K5302613	B	A
エアコン	FRIGIDAIRE	FASC09C6CHLW		A	A
プリンター	HP	SHNGC-1100/0	VNB5P02405	A	A
事務用椅子				A	A
事務用机				A	A
事務用机				A	A
事務用棚 (小)				A	A

<利用状況> A:毎日, B:週に一度, C:時々 <管理状況> A:良好, B:修理必要, C:破損

4. 活動写真



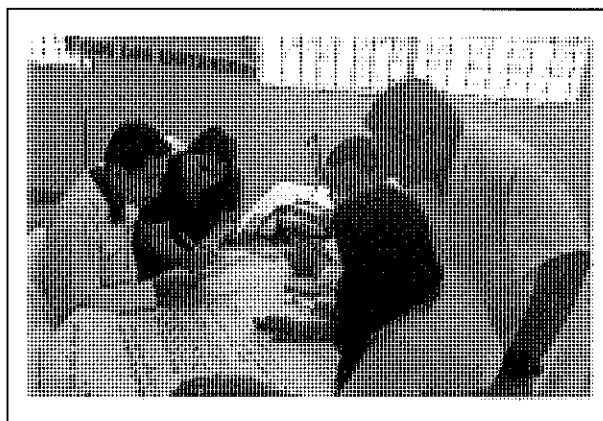
コマラパ支所 CTAM
SILAIS チョントレス技官が同行



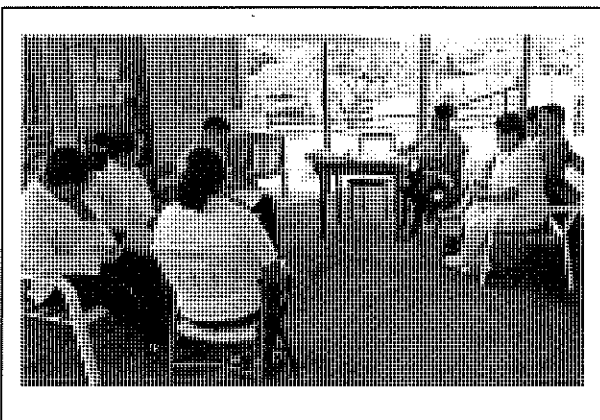
エル・ラマ支所 CTAM
SILAIS セラヤ・セントラルの技官が同行



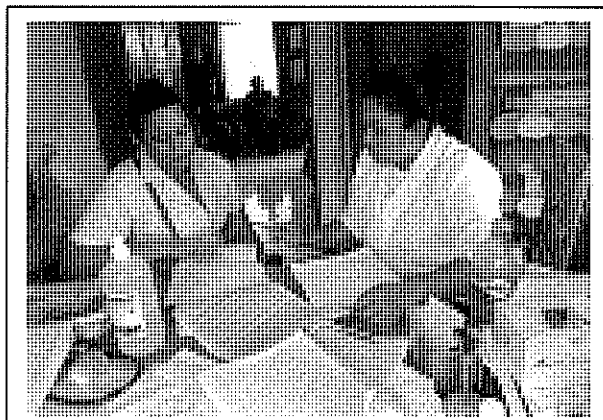
アコヤパ支所の ESAFC 活動
医療従事者と RC が、保健セクター間で
知見の共有



ムエジェ・デ・ロス・ブエジェス支所
9 項目研修プログラム
カスケード方式による研修を開催



SILAIS チョントレス
クアパ支所ジャノ・グランデ保健セクター
巡回指導



SILAIS セラヤ・セントラル
ヌエバ・ギネア支所サン・ファン
保健セクター巡回指導

Aoki

2019 年 8 月 6 日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 青木 恒憲 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤ・セントラル保健管区に
おける母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2019年7月分）

【受注者名】

業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. プロジェクト対象地域の活動

両 SILAIS では、専門家やテクニカル・アシスタントが離任後も、下記プロジェクト活動が継続して実施されており、アプリ WhatsApp により写真情報などが共有されている。

- ① カスケード研修は、研修が終了していなかった 5 支所のうち 4 支所で終了し、残りはサント・ドミンゴ支所のみとなった。
- ② 技術統合巡回指導および支所審議会への SILAIS 技官の同席が継続されている。
- ③ ESAFC 活動の四半期評価が、各支所で開始されている。

活動の様子は、添付の写真を参照。

1-2. プロジェクト成果品の承認

プロジェクトで作成した下記成果品は、保健省による承認後、関係者がいつでもダウンロードできるように、保健省 HP へ掲載を申請していたが、この度、URL (www.minsa.gob.ni/index.php/component/remository/Descargas-MINSA/Dirección-General-de-Servicios-de-Salud/Calidad-de-la-Atención/orderby,2/page,1/?Itemid=0) に掲載されていることが確認された。

- ① 母子保健 5 項目受講者用研修テキスト（第 2 版）
- ② 母子保健 5 項目ファシリテーター用研修ガイド（第 2 版）
- ③ ヘルスプロモーション基礎知識・技術ガイド（第 2 版）
- ④ ESAFC 活動ガイド（第 2 版）及び ESAFC 活動好事集（第 2 版）

⑤ モニタリングハンドブック

1-3. 運營業務

1) プロジェクト帰国報告会

2019年7月17日、戸辺保健医療分野専門員、人間開発部保健第一チーム・青木チーム長、芳野案件担当、ニカラグア事務所・上村企画調査員が列席される中、プロジェクト最終報告会を行った。プロジェクト活動の中で、カウンターパートから好事例として承認され、全国セミナーで解説した活動内容のほか、指標の達成度、活動における工夫、教訓、提言について発表を行った。また、今後の展開に関して意見交換を行った。報告会の最後に、青木チーム長より、プロジェクト活動の工夫や教訓に関して、人間開発部や地域部の他案件担当者らへ再度、発表してもらいたい旨、要請を受けた。9月に開催を計画中。

2) プロジェクト事業完了報告書

事業完了報告書（草稿）を JICA へ提出し、いくつかのコメントを受け、修正作業を進めるとともに、スペイン語版との整合化を進めている。

3) プロジェクト活動資金精算業務

プロジェクト事務所閉鎖、会計業務終了に伴い、精算報告書作成の着手及び同報告書に添付しなければならない証憑資料の整理をニカラグアで実施した。

2. 主な活動日程

【7月】

17日：JICA 人間開発部にて帰国報告会開催。

3. 活動写真

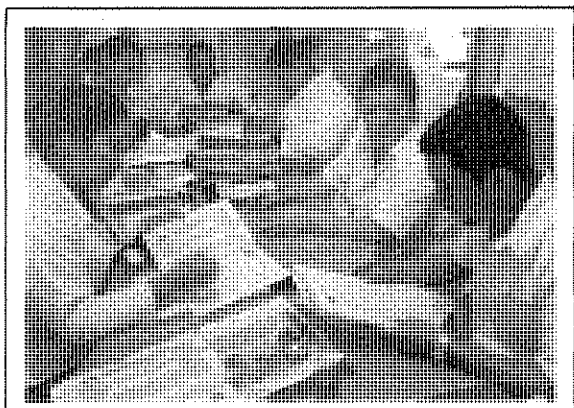
別添のとおり

4. 業務従事者の従事計画／実績表

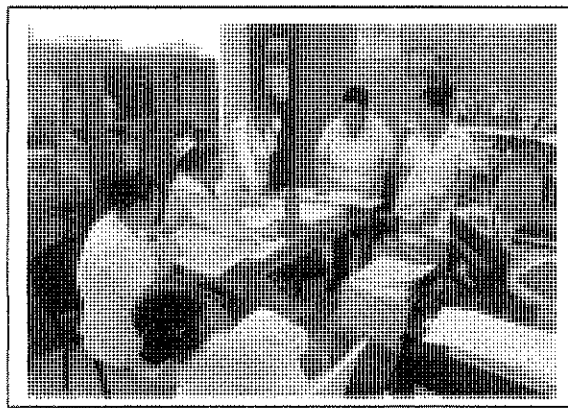
別添のとおり

以上

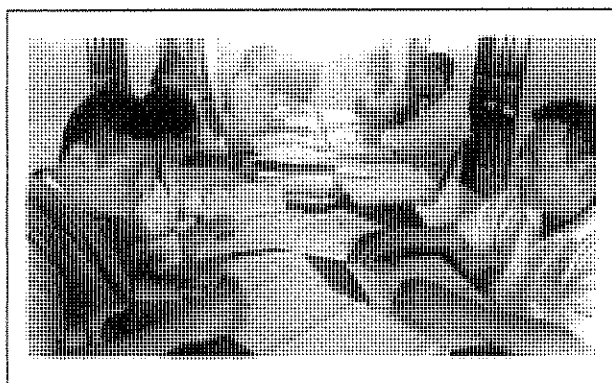
3. 活動写真



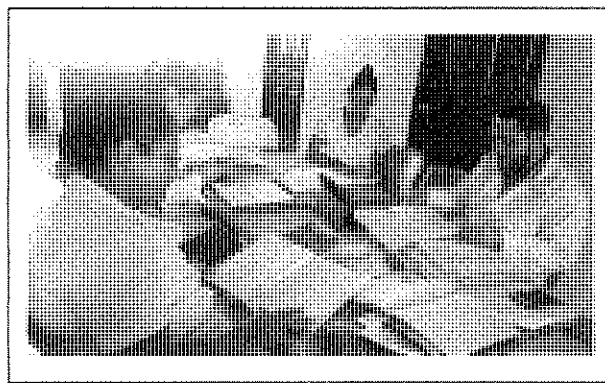
ESAFc 活動の四半期評価
アコヤパ支所



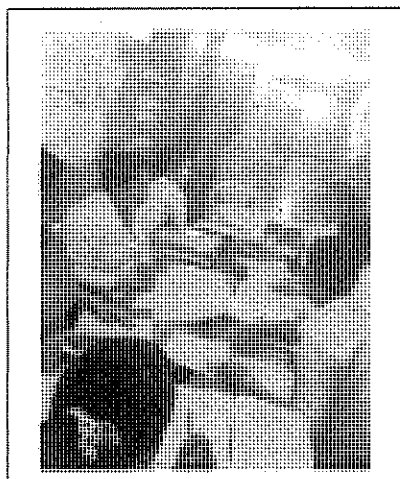
ESAFc 活動の四半期評価
ファイガルバ支所



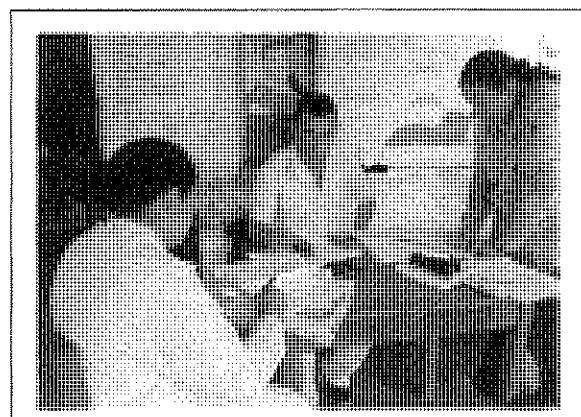
ESAFc 活動の四半期評価
サント・ドミンゴ支所



ESAFc 活動の四半期評価
サント・ドミンゴ支所



ESAFc 活動四半期評価会
サン・ペドロ・デ・ロバゴ支所



技術統合巡回指導
アコヤパ支所保健セクター

様式 1

監督職員

Achi

2019 年 8 月 14 日

独立行政法人国際協力機構
監督職員 青木 恒憲 殿

契約案件名：ニカラグア国・チョンタレス保健管区とセラヤ・セントラル保健管区に
おける母と子どもの健康プロジェクト

コンサルタント業務従事月報（2019年8月分）

【受注者名】
業務主任者 中村 二郎



標記案件の業務従事内容について、以下のとおり報告します。

1. 本月の業務進捗の概要

1-1. 終了業務

- 1) プロジェクト事業完了報告書の作成
プロジェクト事業完了報告書の最終校閲の実施及び印刷・製本に係る作業を行った。
- 2) プロジェクト事業完了報告書及び添付資料等の提出
事業完了報告書（最終版）を JICA へ提出し、承認を得て、特記仕様書で定められたとおり、製本版として和文 2 部、西文 12 部及び CD-R 3 枚を提出した。
- 3) プロジェクト活動資金精算業務
プロジェクト事業終了に伴い、精算報告書を作成した。

2. 主な活動日程

【8 月】

プロジェクト対象地域の活動について、契約満了日まで遠隔によるモニタリングを継続する。

3. 業務従事者の従事計画／実績表

別添のとおり

以上

